

2003(平成15)年度

# 講義内容

法学部



# 講 義 内 容

## 目 次

### 法律学科フレックス A・第1部法律学科・政治学科

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	.....
2	教養教育科目	.....
3	外国語科目	.....
4	保健体育科目	.....
II	専門教育科目	
1	法律学科	.....
2	政治学科	.....
III	他学部履修科目	.....
IV	「日本語」・「日本事情」科目	.....
V	随意科目	.....

### 法律学科フレックス B・第2部法律学科

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	.....
2	教養教育科目	.....
3	外国語科目	.....
4	保健体育科目	.....
II	専門教育科目	.....
III	他学部履修科目	.....

法律学科フレックスA・第1部法律学科・政治学科	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育 法律 政治 治他学部
	専門教育科目	履修科目
	随意科目	「日本語」 「日本事情」
	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育 専門教育 治他学部
	法律学科フレックスB・第2部法律学科	履修科目



法律学科フレックスA

第 1 部 法 律 学 科

政 治 学 科



# I 全学共通科目





# 1 宗教教育科目



# 1. 宗教教育科目

仏教と人間（法A）〈峰岸孝哉〉	11
仏教と人間（法A）〈佐藤秀孝〉	11
仏教と人間（法A）〈岩永正晴〉	12
仏教と人間（法A）〈石井清純〉	12
仏教と人間（政）〈菅原壽清〉	13
仏教と人間（政）〈渡部正英〉	13
仏教と人間（政）〈川上新二〉	14
仏教と人間〔再クラス〕〈熊本英人〉	14
仏教と人間〔再クラス〕〈木村誠司〉	14
仏教と人間〔再クラス〕〈晴山俊英〉	15



科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	みねぎし こうさい 峰 岸 孝 哉	法 A 1 必	4

講義のねらい

人類史で宗教文化を持たなかった民族はないとされる。このことは人間や文化を考える上で非常に重い意味をもつのではなかろうか。

さて一口に宗教文化といってもこれは実に様々な要素から成り立っていることがわかる。そしてこれらを整理しどう考えるかについても多くの課題があるのである。

そこでこの「宗教現象」と「宗教学」との関係に注目し、その理論的枠組みを学んでみよう。なぜなら多くの宗教現象の理論的整理には、もっとも有効な枠組みの提示があったからである。

歴史を通じて日本列島には「民俗宗教」が定着した。そして外來宗教であり世界宗教である仏教・キリスト教が伝来したが、実態は日本の仏教であり、キリスト教として定着したのである。このような定着の仕方は、例えば「本地垂迹説」にみられるように「神仏混交」として古くから成立してきたと思われる。こうした現象は、宗教学では「宗教複合」、「シンクレティズム」と呼ばれる。ある宗教学者はこの現象を日本的な特色とみなし、まさに世界の宗教の実験の坩堝であるとするのである。恐らくこうした日本的特色は民俗宗教の性格によるものであろう。

本講では日本人の暮らしの中の宗教的行動を通して、そこに見られる宗教的意味について考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず宗教現象と宗教学の関係に注目し宗教理解の理論的枠組みについて学ぶ。次に宗教と文化の関係について考えてみる。例えば仏教はインドで成立し、中国を経て日本に伝来した。それぞれインド仏教・中国仏教・日本仏教として成立した。つまり日本人の暮らしを通じてみられる仏教のことである。

履修上の留意点

日頃とかく無関心になりがちと思われるが、自分のこととしても重要な問題なのではないだろうか。

成績評価の方法

期末試験で評価。

教科書

佐々木宏幹著『聖と呪力の人類学』（講談社学術文庫）960円

参考書等

講義の進行と共に指示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	さとう しゅうこう 佐 藤 秀 孝	法 A 1 必	4

講義のねらい

仏教はインドのゴータマ・シッダッタ（釈迦牟尼仏）を開祖とする宗教であり、すでに2500年の歴史を有している。世間一般の仏教に関する理解は、おおむね葬式仏教というイメージが中心であろう。しかし、実際には仏教の思想は生きた人間そのものを見つめるきわめて現代的なものである。仏教が他の諸宗教ときわめて相違する点は、神を持ち出さず、あくまで人間（自己）の苦悩や生死の問題に正面から立ち向かっているところにある。その面で仏教はまさに人間学なのであって、「人（人生）とは如何にあるか」「人（人生）とは如何にあるべきか」を課題にしているわけである。

講義の内容・授業スケジュール

講義では人間学としての仏教の基本的なものの考え方（無常・縁起など）を諸方面から窺い、仏教の現代的意義を探ってみたい。また合わせて本学の建学の理念でもある禅のものの考え方についても、その実践性から禅の人間観・修行観・生活観などの諸方面から説明したい。とくに永平寺を開いた道元は「仏道をならふといふは自己をならふなり」と述べており、自己とは何か、自己そのものを学ぶのが仏道であることを表明している。とかく宗教問題が錯綜している現今であるが、東洋の思想の一つとして、本当の仏教とは何か、禅とは何かを窺ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末試験およびレポート提出などを中心とするが、さらに出席を重視するのでそのつもりで臨んでもらいたい。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅰ』（更生社）と同『宗教学Ⅱ』を使用する。

参考書等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍・東書選書）や松本史朗『仏教への道』（東京書籍・東書選書）などが有益であろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間	<small>い わ な が し ょ う せ い</small> 岩 永 正 晴	法 A 1 必	4

講義のねらい

曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教への関心を持ってもらうことが本講義の目的です。しかし、煩雑な儀礼や慣例・漢文などの語学・特殊な用語・独特の思考法・多量の文献など、諸君から仏教を遠ざける要因は少なくないでしょう。そこで本講義では、その要因のひとつ、仏教で用いる用語の解説に主眼を置きながら、仏教の考え方を紹介していきます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、仏教について冷静に考察するための材料が提供できれば、と考えています。

講義の内容・授業スケジュール

原則として毎回ひとつの用語をテーマに定め、解説する。

履修上の留意点

成績評価に際しては、平常点など補助的な評価材料を一切用いないので注意して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート、出席点等はない。

教 科 書

講義の進行に随って資料を配布する。

参 考 書 等

平川彰著『仏教入門』（春秋社刊）  
古田紹欽訳注『正法眼蔵随聞記』（角川文庫）。  
その他は講義の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間	<small>い し い せ い じ ゅ ん</small> 石 井 清 純	法 A 1 必	4

講義のねらい

仏教の思想と曹洞宗の教義について解説し、本学の依って立つところを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

種々の経典における仏教の教えと、禅思想の展開について歴史的に概観する。また、鎌倉時代に成立した各宗派の内容を対比的に解説しつつ、現代社会と仏教あるいは宗教の関わりについて問題提起をしてゆきたい。

成績評価の方法

前期終了時にレポートを課す。それと年度末の筆記試験をもって評価を行う。

教 科 書

適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅰ』・『宗教学Ⅱ』（更生社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間	すがわら としきよ 菅 原 壽 清	政 治 1 必	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教・仏教文化の理解は、激しく変貌する現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「人間と宗教・仏教」という視点から、人間と宗教的な営みをとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、前期は宗教学についての基礎的な講義を東南アジアや中国雲南の宗教を事例として行い、後期では仏教について順次進めて行く予定です。特に、日本の仏教については神仏習合や修験を事例として展開して行きたいと思ひます。

講義の内容・  
授業スケジュール

〈宗教へのアプローチ〉

1. 宗教と宗教学（宗教をとらえる視点）
2. 宗教学の研究領域（多様なアプローチ）

〈宗教の多様性〉

3. さまざまな宗教形態（その多様な形態）  
（東南アジア・中国雲南の宗教文化）
4. 宗教の分類方法（現代の分類方法）

〈人びとの暮らしと仏教〉

5. 仏陀の教え（インドの仏教）
6. 仏教の伝播と変容（中国の仏教）
7.       〃                   （日本の仏教）
8.       〃                   一禅仏習合から
9.       〃                   神仏分離へー
10. 禅のこころ（道元禅師の教え）

成績評価の方法

試験+出席+レポート点

教 科 書

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参 考 書 等

授業で紹介。

そ の 他

授業の方法－講義形式

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間	わた なべ まさひで 渡 部 正 英	政 治 1 必	4

講義のねらい

宗教教育としての「仏教と人間」であり特定宗教にこだわるものではない。ここでは特に我々日本人にとって馴染み深い仏教に主眼をおき、仏教から見た人々の姿、民衆から見た仏教の立場の両方を視点にいれて考察していく。それは宗教としての仏教を頼りにしている人間の行動とその思いを中心テーマにしていくことである。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は仏教からの視点で進める。まず、世界宗教としての位置付けから始める。宗教学的立場から、他の諸宗教と比較しながら仏教の特色を考え、ブッダの目指したものを通して、その教えが我々にどの様な影響があったかを考える。後期に入っては、民衆の視点で仏教を見ていく。特に仏教儀礼に視点を当てていく。仏教儀礼は現代に生きた宗教の姿である。その中での信仰者、修行者を通して、我々の日常に仏教はどの様な立場で接しているのか。また、信仰者としての民衆はなにを考えているのかを研鑽していきたい。さらに民間信仰などの要素を加えた民俗宗教的な立場と仏教儀礼を比較することによって、現代の仏教と人間の関わりを考察していきたい。

履修上の留意点

出席は、たえず注目しチェックする予定。

成績評価の方法

成績は、一年の最終講義日に試験をするほか、途中でレポート等を作成してもらったものを通して評価する。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	川 上 新 二 <small>かわかみ しんじ</small>	政治 1 必	4

講義のねらい

私たちは多くの面で仏教と関連した生活を送っています。お葬式や年忌法要が先ず思い出されるかもしれませんが、お彼岸やお盆のお墓参りとか初詣を思い起こしたり、さらには寺院に参詣する人々や仏壇に手を合わせるおばあさんの姿が思い浮ぶかもしれません。この講座では仏教と人間とのさまざまな関わり合いについての理解を深めたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

先ず宗教学の視点と方法を通じて世界のさまざまな宗教について考察し、次いで仏教の教え、思想を紹介します。そして仏教が各地で生活する人々にどのように受け入れられているか、仏教が人々の生活にどのような影響を与えているかについて学ぶことにしています。

履修上の留意点

皆さんの日常生活に宗教、仏教がどのように関連しているか、常に関心を寄せてみてください。

成績評価の方法

定期試験や出席状況などで総合的に評価します。レポートを提出してもらう場合もあります。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	熊 本 英 人 <small>くまもと えい にん</small>	全 学 科	4

講義のねらい

日本における宗教とは何か、仏教を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教史を概観したうえで、日本の仏教および宗教の現在を考える。仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。特に、明治維新以後の日本の近代化における仏教の功罪や、第二次世界大戦後の地域社会や家の変容に対して、仏教は何をしてきたかなどについてもみてみたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。随時レポートを課す。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	木 村 誠 治 <small>きむら せいじ</small>	全 学 科	4

講義のねらい

仏教の教えから、生命観や自己存在の意義を確認し、自己自身の生き方を探ることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えを明らかにして行く。出家に至るまでの課題が一人釈尊に限られるものではなく、生死の課題は人間の実存として関わっていることを学ぶ。成道後に展開された縁起の教えから、心と存在の在りようを学ぶ。

履修上の留意点

静粛を第一とし、雑談は禁止する。教科書は特に用意しないので、講義内容の記録が定期試験の鍵となる。

成績評価の方法

定期試験と出席率による。

教科書

なし。

参考書等

授業において紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	は れ や ま し ゅ ん え い 晴 山 俊 英	全 学 科	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況を加味して評価する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。



## 2 教養教育科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、  
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 495)



## 2. 教養教育科目

### (1) 人 文 分 野

文学〔日本のことば〕	〈須田義治〉	23
文学〔外国文学〔中国文学〕〕	〈佐藤普美子〉	23
歴史学〔日本近世史〕	〈小高昭一〉	23
歴史学〔日本近代史〕	〈立川章次〉	24
芸術学(1)〔日本美術〕	〈松田誠一郎〉	24
芸術学(2)〔西洋美術〕	〈矢野陽子〉	25
芸術学(3)〔音楽〕	〈赤羽由規子〉	25
哲学〔近代の人間観と世界観〕	〈麻生享志〉	26
哲学〔現代文明と人間〕	〈黒崎剛〉	26
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈山口祐弘〉	27
論理学〔知の技法〕	〈箭野浩司〉	27
論理学〔知の技法〕	〈伊古田理〉	28
科学史〔科学と技術〕	〈小宮山隆〉	28
倫理学(1)〔人間観〕	〈古田知章〉	29
倫理学(2)〔応用倫理学〕	〈黒崎剛〉	29
倫理学(3)〔価値観〕	〈及川和剛〉	30
倫理学(4)〔応用倫理学〕	〈箭野浩司〉	30
倫理学(5)〔制度とモラル〕	〈久保陽一〉	31
倫理学(6)〔東洋倫理〕	〈末木恭彦〉	31
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	〈池上良正〉	32
宗教学(2)〔聖と俗〕	〈田中かの子〉	32
宗教学(3)〔思想と儀礼〕	〈小川順敬〉	33
宗教学〔組織と運動〕	〈洗建〉	33
人文地理学(1)(2)〔風土と文化〕	〈竹林和彦〉	34
人文地理学(3)(4)〔空間と行動〕	〈伊藤勝久〉	34
教育の思想	〈伊藤茂樹〉	35
教育の思想	〈坂本信昭〉	35
教育と社会	〈伊藤茂樹〉	36
教育と社会	〈坂本信昭〉	36
発達と学習の心理学	〈大浜幾久子〉	37
発達と学習の心理学	〈川田三夫〉	37
発達と学習の心理学	〈山本政人〉	38
カリキュラムと学習	〈大浜幾久子〉	38
カリキュラムと学習	〈川田三夫〉	39
カリキュラムと学習	〈山本政人〉	39

## (2) 社会分野

社会学〔現代文化を考える〕	〈呉 炳 三〉	40
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内 康 慈〉	40
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈鈴木 一 馨〉	41
文化人類学〔社会変化と価値観〕	〈小 川 順 敬〉	41
法学・憲法〔法と国家〕	〈新 田 浩 司〉	42
法学・憲法〔法と国家〕	〈織 田 晃 子〉	43
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—	〈西 修〉	44
政治学〔政治システムと政治参加〕	〈富 崎 隆〉	45
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	〈橋 本 泰 明〉	46
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈大 石 雄 爾〉	47
教育学〔デス・エデュケーション〕	〈柳 堀 素雅子〉	48
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	〈野 中 弘 敏〉	49

### (3) 自然分野

生物学〔生態と進化〕〈清水善和〉	50
地球科学〔自然景観の成り立ち〕〈市川清士〉	51
自然環境論〔環境と保全〕〈古藤田一雄〉	52
自然環境論〔環境と保全〕-夏季集中-〈山縣毅〉	53
自然誌(1)〔現代の自然像〕〈清水善和・篠原正雄・持丸真里・山縣毅〉	54
数学(1)〔微積分学入門〕〈小沢誠〉	55
数学(2)〔線型代数学入門〕〈小沢誠〉	55
数学(3)〔現代数学入門〕〈福田賢一〉	56
情報数学〔情報と論理〕〈高橋一嘉〉	56
物理学〔光と物質〕〈篠原正雄〉	57
化学(2)〔衣食住の化学〕〈持丸真里〉	58
宇宙科学〔星と銀河〕〈篠原正雄〉	58
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)〔コンピュータの実際〕	〈小沢誠〉 … 59
コンピュータ基礎(2)(7)(23)(24)〔コンピュータの実際〕	〈山本博信〉 … 60
コンピュータ基礎(3)(8)〔コンピュータの実際〕	〈小川健次郎〉 … 61
コンピュータ基礎(20)(22)〔コンピュータの実際〕-夏季集中-	〈小川健次郎〉 … 62
コンピュータ基礎(5)(10)〔コンピュータの実際〕	〈竹田洋一〉 … 63
コンピュータ基礎(11)(15)〔コンピュータの実際〕-夏季集中-	〈竹田洋一〉 … 64
コンピュータ基礎(12)〔コンピュータの実際〕-夏季集中-	〈小沢誠〉 … 65
コンピュータ基礎(16)〔コンピュータの実際〕-夏季集中-	〈高橋一嘉〉 … 66
コンピュータ基礎(13)(17)〔コンピュータの実際〕-夏季集中-	〈山本博信〉 … 67
コンピュータ基礎(14)(18)(19)(21)〔コンピュータの実際〕-夏季集中-	〈長坂浩史〉 … 68
コンピュータ応用(1)(2)〔コンピュータの原理〕	〈今泉淳〉 … 69
人類学〔人類の進化〕〈遠藤万里〉	70
心理学〔人間関係を考える〕	〈高橋良博〉 … 70
心理学〔人間関係を考える〕	〈北川公路〉 … 71
心理学〔心を科学する〕-夏季集中-	〈堀内正彦〉 … 72

## (4) 総合分野

総合Ⅰ	〈 休 講 〉	
総合Ⅱ	〈 休 講 〉	
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡崎 寿一郎〉	73
総合Ⅲ(3)〔フランス現代思想〕	〈桑田 禮彰〉	73
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	〈林 明人〉	74
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸 小哲雄〉	74
総合Ⅴ(1)〔イギリス文化探訪〕	〈川 股陽太郎〉	75
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	〈大野 祐二〉	76
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	〈前期：青柳かおる、後期：吉田京子〉	76
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早川 紀代〉	77
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	〈北野かほる・小木曾 綾・王 志安 ・金子 昇平・佐藤多美夫・西 修〉	78
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	〈早川純貴・品田知美・中野裕二・保坂尚郎〉	79
総合Ⅷ	〈 休 講 〉	



科目名	担当者名	配当学科	単 位
文学 〔日本のことば〕	須 田 義 治	法 A・政選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

日本人として日本語で言語生活をするうえで知っておくべき、日本語についての基礎的な知識を身につけるようにする。また、一般言語学の観点から日本語をみることによって外国語や言語一般に対する理解を、より深めることができるようにする。  
内容は、文法論を中心として、音韻論や語彙論など、日本語学の基礎的な領域をあつかう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文学 〔外国文学「中国文学」〕	佐 藤 普 美 子	法 A・政選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

在米の中国人チェリスト、ヨーヨーマはあるインタビューに答えた際、まず李白の詩を吟じてみせた。また、日本のある酒造メーカーは陶淵明の詩の一部をコピーに使ったことがある。何世紀も前の中国の詩が、時空を超えて人の心を捉えるのは何故だろう。その言葉の秘密を解き明かしてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

古典詩詞から現代詩まで、テーマ別に読んでいく予定。基本的には講義形式。

成績評価の方法

出席・レポートを総合的に評価。

教科書

教材プリントを配布。

参考書等

講義時に指示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 〔日本近世史〕	小 高 昭 一	法 A・政選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

織田信長から徳川十五代将軍慶喜までの約三百年、日本近世史のおおまかな流れを一年間でたどる。近世に成立した物事は、近代を経て現代にも影響を与えたものが多い。その始点を省みて、現代を生きる我々の知恵となるものを探れないだろうか。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書を通して読み、江戸時代の流れを捉える。教科書には細かい事項も記述されているが、全体としての流れ、重要な問題を押さえることを主眼とするので、高校までの日本史の勉強とは違う。

成績評価の方法

前期までの授業のまとめとしてレポートを課す。また、定期試験の論述試験での成績で評価する。

教科書

深谷克己著『江戸時代』（岩波ジュニア新書）『日本の歴史6』（岩波書店）2000年3月刊。

参考書等

授業の際、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 〔日本近代史〕	たちかわ しょうじ 立 川 章 次	法 A・政選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

日本史の流れを概観し、幕末から維新期にかけての過程を考察する。幕末のわが国は、国内的には商品経済の流通により、封建制が内部矛盾を露呈し、崩壊への兆が、その一方、対外的には欧米列強の外圧に遭遇し、国家存亡の危機に直面したのである。幕末から明治初期にかけての人々は、この恐るべき外圧を契機として、みごと新国家の創造に成功し、近代日本の今日への基礎を築いたのである。このことに留意して新しく維新史を学びたい。

成績評価の方法

定期試験と出席日数により総合的に評価する。

参考書等

尾佐竹猛著 『幕末遣外使節物語』 (講談社学術文庫) 800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学(1) 〔日本美術〕	まつだ せいいちろう 松 田 誠 一 郎	全 学 科 選	4

講義のねらい

飛鳥時代〔538～710〕から天平時代前期〔710～753〕にいたる仏教彫塑の歴史を詳しく講義する。講義では、関連史料を講読して、作品が造られた歴史的背景をたどる一方、時代ごとの表現や技法の特徴を指摘し、その歴史的変遷や研究上の問題点を説明する。また、中国や朝鮮半島の作品との比較を通して、日本的な美意識の問題についても論究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

【前期】

- 第 1 回 ガイダンス
- 第 2-4 回 1. 法隆寺金堂と釈迦三尊像
- 第 5-7 回 2. 救世観音像と百済観音像
- 第 8-9 回 3. 法隆寺再建期の童顔童形像
- 第10-12回 4. 広隆寺と中宮寺の半跏思惟像
- 第13-15回 進度調整のための予備日

【後期】

- 第 1-3 回 5. 興福寺仏塔と薬師寺金堂本尊
- 第 4-5 回 6. 法隆寺五重塔の塑像
- 第 6-8 回 7. 興福寺の十羅漢・八部衆像
- 第 9-10回 8. 東大寺法華堂の乾漆像
- 第11-12回 9. 東大寺・新薬師寺の塑像
- 第13-15回 進度調整のための予備日

履修上の留意点

仏像の本当のよさは、スライドを見ているだけではわからない。教室で講義を受けるだけでなく、できるだけ履修期間中に東京国立博物館の法隆寺宝物室や奈良・京都の古寺を訪れて、仏像に接する機会を積極的につくるように努力すること。

成績評価の方法

後期末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

教 科 書

水野敬三郎著 『奈良・京都の古寺めぐり—仏像の見かた—』 1985年 (岩波書店) 650円

参 考 書 等

水野敬三郎監修 『カラー版 日本仏像史』 2001年 (美術出版社) 2,500円

そ の 他

毎回スライドを使用する。参考文献については、講義ごとに指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学(2) 〔西洋美術〕	矢野陽子	全学科選	4

講義のねらい	この授業では15世紀から18世紀までのヨーロッパ諸地域の美術を対象とし、まずその主要な流れを理解することを目的とする。そして表現内容と様式、芸術家とパトロン、美術理論などを踏まえて、美術作品がどのように制作され享受されたか、美術が社会の中で占めていた位置、さらに各国の美術の特質、地域間での影響関係について考察する。
講義の内容・授業スケジュール	前期は15・16世紀、すなわち初期ルネサンスからマニエリスム美術を、後期は17・18世紀、すなわちバロック・ロココ美術を扱う予定である。
履修上の留意点	教科書を毎回持参すること。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてほしい。
成績評価の方法	夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価する。
教科書	高階秀爾監修 『カラー版 西洋美術史』 (美術出版社) 1,900円
参考書等	授業中に適宜紹介する。
その他	授業では毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学(3) 〔音楽〕	赤羽由規子	全学科選	4

講義のねらい	前期 民族音楽学—日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子ども遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。 後期 20世紀と音楽 20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。
履修上の留意点	第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。
成績評価の方法	夏期レポートと学年末試験で採点する。
教科書	印牧由規子著 『現代からの音楽史』 (公論社) 2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	あさお たかし 麻生 享志	法A・政選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

どういうものが真理だろうか、認識はどのようになっているのだろうか、存在とは何であろうか。このような問いが、哲学の立てる問いである。普通、「哲学」という言葉は、経営哲学とか、趣味における哲学などと使われる。それは、人生論とか、自分独自のこだわりや目標のようなものであろう。そのような哲学は、学問的でもないし、哲学との内容的なつながりもない。そういったものではなく、本当の「哲学」、本物の現代の視点から案内したい。講義では、いろいろな哲学関係の議論の中で、おもしろさを伝えられるようなものを選び、わかりやすく説明する。また、哲学の議論は人間の諸問題とつながっている。だから過去に行なわれた議論を紹介するだけでは足りない。講義を聞く一人一人が、自分の問題として考えられるようになるために、私自身の考え方や批判も示す。

講義の内容・授業スケジュール

主な問題として、プラグマティズム・分析哲学・ドイツ観念論・生の哲学などを考えているが、西洋近世に限らず、古代や東洋思想にも言及する予定である。

履修上の留意点

学問の場として、自分で考える態度を持つように努めること。そのためには、自分で読んだり、調べたり、書いたりしなければならない。その具体的なやり方は講義において、場合に応じて説明する。

成績評価の方法

前期・後期試験・夏のレポートを中心とし、平常点（出席）を加味する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

参考書は、その都度、講義の中で丁寧に紹介する。

その他

多少は指名して対話するかもしれないが、基本的には講義。主体的な質問は大いに歓迎する。初日はガイダンスとし、定時から五分間、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（その間は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	くろさき つよし 黒崎 剛	法A・政選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

近代社会（近代とは現代も含む）のなかで人間のあり方と、社会構造（近代市民社会＝資本主義社会）について、近現代哲学を総括した上で、テーマ別に人間論と社会論について入門的な講義を行う。個々の哲学者の学説史ではないので、哲学史の知識を求める人には向かない。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下のテーマを取り上げる予定
1. はじめに：われわれはどんな社会に生きているか。
  2. 近代的自我：「自分である」とはどういうことか
  3. 近代的自由：自己決定。自律、労働
  4. 労働の哲学的意義
  5. 近代資本主義社会の構造：われわれはなぜモノとカネに支配されるか
  6. 二十世紀の人間解放論
  7. 歴史哲学

履修上の留意点

近代哲学の主要テーマ別によりかなり抽象的な形で取り上げるので、単位獲得のためだと割っている人は退屈するはず。自分で考える姿勢を持つことを要求したい。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。教科書、参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	やまぐち まさひろ 山 口 祐 弘	全 学 科 選	4

講義のねらい

伝統的論理学から現代の記号論理学に至るヨーロッパの論理思想の発展を、弁証法論理や東洋の思惟様式にも眼を向けつつ広い視野において学び、人間の思考の働きを理解するとともに、正しく考える態度を養う。

- |      |             |      |                   |
|------|-------------|------|-------------------|
| 【前期】 | 1. 論理学とは何か  | 【後期】 | 1. 記号論理学の基本思想     |
|      | 2. 思考の原理    |      | 2. 真理関数           |
|      | 3. 同一性と同一律  |      | 3. 標準形            |
|      | 4. 関係の思想    |      | 4. 公理体系           |
|      | 5. 対立と矛盾    |      | 5. 定理の演繹          |
|      | 6. 矛盾の概念    |      | 6. 同              |
|      | 7. 判断論      |      | 7. 同              |
|      | 8. 無限判断     |      | 8. 体系の条件          |
|      | 9. 二律背反     |      | 9. 述語論理学          |
|      | 10. 弁証論     |      | 10. 無矛盾性、完全性、決定問題 |
|      | 11. 無限性の思想  |      | 11. 伝統的論理学との対応    |
|      | 12. 論理思想の比較 |      | 12. 三段論法の基礎付け     |

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

テストによる。

教科書

『論理学概論』（岩波書店）

参考書等

『ドイツ概念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔知の技法〕	やのひろし 箭 野 浩 司	全 学 科 選	4

講義のねらい

日本の教育制度はディベートやディスカッションの技術を教えない。同様に、レポートや小論文の書き方についても、それを教える学校は少ない。しかし社会人として、あるいは国際社会の一員として生きてゆくためには、考えを言語化してコミュニケーションをとることは必要不可欠なスキルである。

この授業は、各国の言論文化の違いに留意しながら、話すことと書くことに重点を置いて思考表現とコミュニケーションのスキルを向上させることをめざす。参加者は、表現する前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるが、それを乗り越えることも目的の一つとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下のような思考表現の技術について解説し、トレーニングを行う。ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、小論文、クリティカル・シンキング、情報分析等。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とする。ほぼ毎回、何かしゃべってもらうことになる。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔知の技法〕	<small>いこた まさる</small> 伊古田 理	全 学 科 選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるという一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著 『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹 『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつと指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
科学史 〔科学と技術〕	<small>こみやま たかし</small> 小宮山 隆	法 A ・ 政 選	4

講義のねらい

科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。

そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。

成績評価の方法

前・後期の試験と夏のレポートで評価する。

教科書

八杉龍一『図解・科学の歴史』（東京教学社）

参考書等

講義の際に、その都度紹介する。

その他

通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等を持ちいて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(1) 〔人間観〕	ふるた ともあき 古 田 知 章	全 学 科 選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的な生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

西洋倫理学の代表的学説を、古代ギリシアから現代への流れに沿って時代ごとに紹介し、「人間」、あるいは、この「人間」という名称を与えられる「私」や「自己」という概念が、どのように、「行為」や「善」などのその他の倫理学の主題とともに論じられてきたのかを考察する。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(2) 〔応用倫理学〕	くろさき つよし 黒 崎 剛	全 学 科 選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもなつて提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理——講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(3) 〔価値観〕	おいかわ かずよし 及 川 和 剛	全 学 科 選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

「私はどうしたらいいのか」「ままたらぬこの自分とはなんであるのか」といった問いは思春期にいる少年少女だけに特有のものではない。それはおそらく一生続く問いである。この授業では、それぞれの人生で繰り返し立ち現われ問い返される“私”や“自分”とはなんであるのかということ論じる。そうして行く中で、“私”は“どうしようもなく”感情に支配されてしまっている、ということがクローズアップされてくるであろう。そこで次に、その“感情”とはなんであるのかということ論じる。(この問題は<自由>の問題につながるはずである。) 他方、“私”は自分一人で生きていけるわけではなく、他の“私”達とともに生きているという事実にも着目しなければなるまい。そこでまた、その“他者”とはなんであるのかということも論じたい。(この問題は<規範>の問題につながるはずである。)

講義の内容・授業スケジュール

- おおかた次のような内容を取り扱う。
- I 現代の日本で“私”について論じている人々
  - II 「心の受動」としての“感情”
  - III ウィトゲンシュタインと“他者”の問題

成績評価の方法

年2回(夏期と年度末)の試験、およびレポートで評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

北明子『メーヌ・ド・ピランの世界経験する<私>の哲学』(劉草書房)  
野矢茂樹『心と他者』(劉草書房)  
その他についてはその都度授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(4) 〔応用倫理学〕	や の ひ ろ し 箭 野 浩 司	全 学 科 選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、人間がいかに生き、何をなすべきかを探求する学問である。言い換えれば、問題の多い世界の中で生き方を模索する哲学である。われわれが自己の生き方を決めるためには、知識を習得するとともに、自分の力で考えねばならない。応用倫理学の<応用>という言葉は、理論の応用という意味ではなく、具体的な問題に参入して、意思決定のシミュレーションを行うことを意味する。この授業は、テクノロジー、医療、宗教、メディア、教育、環境破壊、テロ、人口圧、多様な価値観の共存など、さまざまな問題と向き合っ、どうすべきかを考え、自分の意見を持ち、判断を下すこと、言い換えれば、生きてゆくための知を構築することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

問題の多くはビデオで提示する。身近な問題から始めて、別の場所で起きている問題や未来に起きる問題にまで射程を広げてゆく。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

その都度紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(5) 〔制度とモラル〕	くぼ しょういち 久保 陽 一	全学科選	4
		12以降入学生/法B選	

講義のねらい

最近、簡単に人を殺害したり、職業倫理を無視したりする事件があとを断たない。あらためて何が正しいかが問われている。そこで本講義では「正義」について、倫理思想の歴史をたどり、今日の問題を考える参考にしてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I 近代以前の正義
  - (1) 古代ギリシア (ギリシア悲劇・プラトン・アリストテレス・ストア派)
  - (2) キリスト教
- II 近代の正義
  - (1) 人権と社会契約の思想 (ホッブス・ロック・ルソー・カント)
  - (2) ヘーゲルの法哲学
  - (3) 功利主義
- III 現代の正義
  - (4) 社会主義と社会権
  - (5) ロールズとテイラー
  - (6) 生命倫理と環境倫理

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取ることを。私語や途中退室はつつしむこと。

成績評価の方法

中間試験、レポート、期末試験と出席状況。

教科書

河谷・久保編 『原典による哲学の歴史』 (公論社)

参考書等

高木・末延・宮沢編 『人権宣言集』 (岩波文庫)  
シンガー 『私たちはどう生きるべきか』 (法律文化社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(6) 〔東洋倫理〕	すえき やすひこ 末 木 恭 彦	全学科選	4
		12以降入学生/法B選	

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人との間で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はある。漢文古典の世界を知ることは、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ることは、我々の未来の生き方を開くことにもなる。このような重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む----ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理-環境問題にいかに対処してゆかかという問題を取り挙げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、このような問題意識に基づいて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性(質問の有無-質問は原則書面で提出して貰う)などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』(農山漁村文化協会)

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学(1) 〔比較宗教文化〕	いけがみ よしまさ 池上良正	全学科選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」(マックス・ミュラー)という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。  
本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①近代宗教学の成立とその意義。②宗教の比較類型論の試み。③民俗・民衆宗教研究の展開。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学(2) 〔聖と俗〕	たなかかのこ 田中かの子	全学科選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

「聖と俗」という対立概念は、ある宗教的世界観のなかで生きる人間が「日常から非日常」「不浄から清浄」「苦悩から救い」「罪からの改悛」「離叛から和解」「死から再生」などのプロセスを体験するために仮設する自己一新の装置である。人格的「神」や非人格的「法」などに由来する「聖」なるものの完全さ・神秘性・絶対的力は、至らぬ無力な自己をおのずと「俗」なる領域に押しやるかにみえる。しかし実際には、「聖」なる人間性を志向してやまない日々の宗教生活そのものが既に、「聖」なる領域のなかに取り込まれて一体化しているのである。つまり、ここでの「聖と俗」は、世間一般にいう「宗教」と「非宗教」の対比としての「聖」と「俗」ではない。本講は、この点をおさえたうえで、1) 宗教学の基本的立場をふまえ、2) 世界の諸宗教の歴史・思想・文化における「聖と俗」の諸相を観察することにより、3) 「宗教」とは何か、「人間」とは何かという問いを深めていくことをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

I. 宗教学とは何か、II. 宗教生活の原初形態(「いのち」の発見)、III. 宗教の類型論(ひとつの宗教の諸相・さまざまな宗教の比較)、IV. 「聖なるもの」をめぐる諸宗教の構成要素一覧、V. 芸術と聖なるもの、VI. 宗教的人間観、VII. 宗教的世界観、VIII. 本講の後半では、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教の歴史・思想・文化を解説し、それぞれの現代的意義を考える。

履修上の留意点

板書を写すだけでは、本当にノートを取ったことにはならない。工夫してみよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

脇本平也著 『宗教学入門』 (講談社学術文庫)

その他

講義担当者の現地調査に拠るスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学(3) 〔思想と儀礼〕	おがわ としゆき 小 川 順 敬	全 学 科 選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なののでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼(宗教行動)とその思想について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教学人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価は原則として年度末の筆記試験により行います。なお、夏期休暇前にレポート課題を出しますが、提出は受講者の自由意思とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

未定。授業開始後、紹介します。

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学(4) 〔組織と運動〕	あらい けん 洗 建	全 学 科 選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生ずる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生ずるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実に基づいて考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なものが、わが国の社会や文化の形成に、いかにかかわっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学(1)(2) 〔風土と文化〕	たけばやし かずひこ 竹 林 和 彦	全 学 科 選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学的アプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. ガイダンス
2. 人文地理学の学問的性格
3. 人文地理学の基本概念
4. 人文地理学の思考対象とその方法
5. 人文地理学と地誌学
6. 地理学にとって文化とは何か？
7. 地域とは（地域概念）
8. 文化地域
9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～
10. 文化景観
11. 文化伝播
12. 東南アジアの風土と文化
13. 東アジアの風土と文化
14. 市場の風景
15. 都市での居住（都市の文化）
16. 都市と農村
17. まとめ

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

教 科 書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参 考 書 等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学(3)(4) 〔空間と行動〕	いとう かっひさ 伊 藤 勝 久	全 学 科 選	4

講義のねらい

社会科学全般の動向を眺みつつ、その中で的人文地理学における空間論／行動論の展開と変化を概観する。

講義の内容・  
授業スケジュール

全般的な流れとしては、伝統的地理学から機能主義的地理学、歴史主義的地理学、批判主義的地理学、人間主義的地理学等の多様な空間観を把握しつつ、ポストモダニズムの空間論まで網羅する予定。具体的な授業スケジュールは講義初日に配布するシラバスに詳述する。

履修上の留意点

受講者には「データを収集し批判的に分析しつつ持論を展開する」というアカデミアの基本的態度を要望する。従って本講義では、受講者が各講義で得た知識を如何に使い、あるいは論理的に批判する事ができるかを重視したい。その具体的方法に関しては、授業の中で逐次教授する。

成績評価の方法

出席30%、中間試験（小論文）35%、期末試験（小論文）35%の総合点で評価する。

教 科 書

教科書は講義初日に配布するシラバスにて指示する。

参 考 書 等

参考書等は講義初日に配布するシラバスにて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想 (前期)	いとう しげき 伊 藤 茂 樹	法 A・政 2 選	2
		12以降入学生/法 B 1 選	

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・  
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。  
 ・近代社会と教育  
 ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1 回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想 (前期)	さかもと のぶあき 坂 本 信 昭	法 A・政 2 選	2
		12以降入学生/法 B 1 選	

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著 『現代教育を考える』 (昭和堂) 2,600円

参考書等

デューイ著 『学校と社会』 (岩波文庫) 410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1 回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	いとう しげき 伊藤 茂樹	法 A・政 2 選	2
		12以降入学生/法 B 1 選	

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会において学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。  
 ・現代の教育問題  
 ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がけること。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	さかもと のぶあき 坂本 信昭	法 A・政 2 選	2
		12以降入学生/法 B 1 選	

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなると、それは、社会そのものが全休として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著 『現代教育を考える』 (昭和堂) 2,600円

参考書等

デューイ著 『学校と社会』 (岩波文庫) 410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	おおはま きくこ 大 浜 幾 久 子	法 A・政 2 選 12以降入学生/法 B1選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	かわだ みつお 川 田 三 夫	法 A・政 2 選 12以降入学生/法 B1選	2

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達や学習の理論
- 2) 乳児期・幼児期
- 3) 児童期
- 4) 青年期
- 5) 青年後期・成人期
- 6) 人格の発達
- 7) 社会性の発達
- 8) 情緒や性意識の発達
- 9) 交友・対人関係の発達
- 10) 若者文化や社会風俗
- 11) 非行等の問題行動
- 12) 情緒障害や神経症的な問題行動
- 13) 学校生活をめぐる問題点
- 14) 試験

履修上の留意点

教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにはしている。日頃から努力して語彙力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う。それ以外にも不定期に小試験(論述、レポート)を行うことがある。授業の際に口頭試問や提出してもらうものがあり、評価の際に考慮される。以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。現実を見聞しながら考えてほしいと思っている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	やまもと まさと 山 本 政 人	法 A・政 2 選	2
		12以降入学/法 B 1 選	

講義のねらい	児童・生徒の発達と学習のメカニズム、およびそれらへの援助、指導のあり方について、教育心理学の見地から概説する。
講義の内容・授業スケジュール	①発達とは何か ②発達の要因 ③発達理論 ④人格発達 ⑤認知発達 ⑥学習理論 ⑦学習の要因 ⑧発達と学習⑨発達と教育 ⑩発達・学習と臨床
履修上の留意点	不定期に小レポートを課すことがある。
成績評価の方法	学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。
そ の 他	講義形式で行う。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。 この科目は、平成11年度までに、「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはま きくこ 大 浜 幾 久 子	12以降入学生/法 A・政 2 選	2
		12以降入学生/法 B 1 選	

講義のねらい	はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。
成績評価の方法	レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。
参 考 書 等	『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』 文部科学省 その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。
そ の 他	前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。 この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。



科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 〔後期〕	かわだ みつお 川 田 三 夫	12以降入学生/法A・政1選	2
		11以降入学生/法B1選	

講義のねらい

- 1) 教育や学習の基本的な事項を学習する。
- 2) 教育課程を中心に学校・学級等の全般的な運営について理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 発達について
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論
- 4) 教育(学)・教育心理学
- 5) 教育方法(歴史の変遷)
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程
- 8) 教授—学習
- 9) 教育評価
- 10) 学習指導要領(歴史の変遷)
- 11) 職業教育、生涯学習
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題
- 13) その他(教科書、教育制度・教育行政等の問題、障害児教育等)
- 14) 試験

履修上の留意点

教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。日頃から努力して語彙力を高めて欲しいと思っている

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う。それ以外にも不定期に小試験(論述、レポート)を行うことがある。授業の際に口頭試問や提出してもらったものがあり、評価の際に考慮される。以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。現実を見聞しながら考えて欲しいと思っている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 〔後期〕	やまもと まさと 山 本 政 人	12以降入学生/法A・政1選	2
		11以降入学生/法B1選	

講義のねらい

児童・生徒の学習のメカニズムを踏まえ、学習指導とカリキュラムのあり方、学習の評価、学習の障害とその指導、教育相談等について概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①学習のメカニズム
- ②学習と動機づけ
- ③学習方法
- ④学習の評価
- ⑤学習の障害と指導
- ⑥不適応の心理と教育
- ⑦教育相談
- ⑧学級集団
- ⑨カリキュラムと学習
- ⑩教師の役割

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

その他

講義形式を中心とするが、可能ならば討論を行いたい。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 〔現代文化を考える〕	お 呉 <small>びよんさん</small> 炳 三	法 A・政選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

社会学が対象とする領域は「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「思想」「文化」など様々である。このような領域において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。

②経済のグローバル化にともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。

③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。

④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち <small>こうじ</small> 新 行 内 康 慈	法 A・政選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方や諸手法を、現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①記述統計 ②標本空間と確率  
③確率変数と確率分布 ④母集団と標本  
⑤推定 ⑥検定 ⑦相関 ⑧回帰

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

出席状況、課題演習、期末試験を総合して評価します。

教科書

- ・P. G. ホーエル著（浅井晃、村上正康共訳）『初等統計学』（培風館）1,650円
- ・必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

必要に応じて適時紹介します。

その他

教科書・配布資料に基づき、例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするため、適時課題演習を実施します。また、期末試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すずき いっけい 鈴木 一 馨	法 A・政選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

文化人類学は、人類を人類としている「文化」というものを、いろいろな方向から検討し、さまざまな文化の姿と、その本質を明らかにし、「人類とはなにか」を問う学問である。

この講義では、コスモロジーというものをどのように理解したらよいかを具体的な事例によって学び、同時に文化人類学ものの考え方を習得していく。それは自分を取巻く文化の形や、自分の所属する。文化（集団）を理解することであり、国際化する現代社会の中で、これから出会うであろう異文化と上手に付合う術を学ぶことでもある。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部、「文化人類学」の基礎的知識
  - I. 「文化」と「文化人類学」/II. 「民族」とはなにか
- 第2部、民族とコスモロジー
  - I. 「コスモロジー」とはなにか/II. さまざまなコスモロジー
- 第3部、「風水」のコスモロジーとひとびと
  - I. 風水をつくる要素/II. 風水と人間社会

履修上の留意点

この講義では学生諸君の積極性を重視する。授業中の質問に答えたり、授業後の不明な点の質問、レポート提出（任意）など、積極的な姿勢を見せてほしい。また、出席には特に厳しくし、出席カードの代筆や代出は厳禁とする。

成績評価の方法

出欠状況・期末試験・小テスト・受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

参考書等

- 祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』（中公新書560）
- 綾部恒雄編『文化人類学15の理論』（中公新書741）
- 佐々木宏幹『神と仏と日本人』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔社会変化と価値観〕	おがわ としゆき 小 川 順 敬	法 A・政選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

文化人類学（以下、人類学）とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。

人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思っています。

成績評価の方法

評価は主に年度末の筆記試験により行います。なお、夏期休暇前にレポート課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方式、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書560番 中央公論社）

参考書等

講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法 〔法と国家〕	に つ た ひ ろ し 新 田 浩 司	法 A・政 選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

日本国憲法（以下「現行憲法」と略称）が制定されて半世紀が過ぎた。敗戦による占領下において制定されたという経緯等、当初よりさまざまな問題を孕んでの制定であった。自衛隊をめぐる国論を二分する論議が続きながらも、我が国は、日米安保条約というアメリカの傘の下で、高度経済成長をおう歌してきたのであるが、その歪みが社会の隅々に露呈している。たとえば、公務員の不祥事、教育問題、凶悪犯罪の増加、環境問題等々。

法は、社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものであるが、法、なかならず、憲法はそれらの問題の解決となりうるのだろうか。このような問題に対しては、法による解決に加え、我々国民が持つ習俗、習慣、あるいは道徳をふくめた、その国の文化も多いに影響するものであるといえる。

現行憲法による過度の民主主義、個人主義の蔓延、また、我が国の文化及び伝統もまた憲法によって歪められてしまっていることは大いに指摘されているところである。このことの妥当性、あるいは、戦前の軍国主義を否定するあまり我が国の文化までも現行憲法は破壊しては来なかったか。いずれにせよ、我々の生活にとって、法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず、我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

この講義においては、我々が国民として住民として生活する上で必要な法学・憲法学的知識を得ることができるように、現実が発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1回目	ガイダンス	第14回目	信教の自由
第2回目	法学の基礎知識(1)	第15回目	表現の自由
第3回目	法学の基礎知識(2)	第16回目	学問の自由/教育権
第4回目	法学の基礎知識(3)	第17回目	経済的自由
第5回目	憲法の基礎知識	第18回目	身体の自由
第6回目	憲法とは何か	第19回目	新しい人権
第7回目	日本国憲法の制定過程	第20回目	社会権
第8回目	日本国憲法の基本原理	第21回目	参政権
第9回目	国家の安全保障(戦争放棄)	第22回目	国務請求権
第10回目	基本的人権(1)	第23回目	統治機構(1)(天皇)
第11回目	基本的人権(2)	第24回目	統治機構(2)(国会)
第12回目	平等権(法の下での平等)	第25回目	統治機構(3)(内閣)
第13回目	思想・良心の自由	第26回目	統治機構(4)(裁判所)

教 科 書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乗正臣編『現代法学と憲法』(成文堂)2,500円+税

参 考 書 等

『小六法』(何でも可)があれば持参することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法 〔法と国家〕	お 織 だ て る こ 織 田 晃 子	法 A・政 選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

法とは何かに始まり、日本国憲法と人権、法と国家について判例を多く使って講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 法とは何か
  - (1) 法と道徳
  - (2) 法の解釈
- 2 日本国憲法と人権
  - (1) 人権の主体
  - (2) 私法関係と人権
  - (3) 生命・自由および幸福追求権
  - (4) 法の下での平等
  - (5) 精神的自由権
  - (6) 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由
  - (7) 経済的自由権
  - (8) 社会権
  - (9) 人身の自由・裁判手続の保障
  - (10) 新しい人権
- 3 法と国家
  - (1) 日本における近代憲法の成立
  - (2) 日本国憲法の統治原理
  - (3) 司法権とその限界
  - (4) 平和主義と戦争の放棄

履修上の留意点

授業にはポケットサイズのもので十分であるが、六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

期末試験の成績と出席日数による。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

『ポケット六法』（有斐閣）  
最近の判例を重視するため、プリントの配布が多くなる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕 (夏季集中)	にし 西	全学科選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があります。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講者諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画(シラバス)を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し(質問欄あり)、双方向性を大切にした授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- ⑥ 成績評価の日安は、おおむね以下のとおり。  
前期試験30%、後期試験40%、出席・レポート30%  
要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講義は「法学・憲法」という二つの標題になっていますが、「法と人権」を主たるテーマにしたいと思っています。日本国憲法のみならず、世界を視野において幅広い視点から考察をこころみます。日本国憲法における人権については、判例を中心に検討したいと考えています。取り扱うおもなテーマは、つぎのとおり。

- ① 「法と人権」を学ぶにあたって
- ② 人権の生成と発展(国際的視野にたつて)
- ③ 国民主権の意味
- ④ 平和と人権
- ⑤ 日本国憲法第3章における人権の意味と限界(法の下での平等、参政権、精神的自由、経済的自由、社会権など)
- ⑥ 西洋における人権観とアジアにおける人権観
- ⑦ 社会主義諸国における人権
- ⑧ イスラム諸国における人権
- ⑨ 「共生の権利」を求めて

教科書

開講時に指示。

その他

授業日程  
法学・憲法

前半								後半							
	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○		8月20日	火	△	△	△	△	△	
8月2日	金	○	○	○	○	○		8月21日	水						
8月5日	月	○	○	○	○	○		8月22日	木						
8月6日	火	○	○	○	○	○		8月23日	金						
8月7日	水	○	○	○	○	○		8月26日	月						
8月8日	木	○	○	○	○	○		8月27日	火						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	とみさき 富 崎	法 A 選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

「2001年9月11日、世界が変わった」と表現されることがある。米同時多発テロを境に、「ポスト冷戦」が終了し、「新しい時代」に入ったとする論者は多い。しかし、世界政治の方向性がはっきりとしている訳ではない。一方、世界の急速なグローバル化と情報化を背景に、膨大な情報が、テレビ、ラジオ、新聞、コンピュータ・ネットワークを通じ流通している。しかし、これらの情報を単に漫然と受け取っているだけでは、毎日起こる事件の本当の意味は理解できない。事件や出来事を整理する「体系的視点」がどうしても必要となる。政治学を学ぶ基本的な意義もここにある。

本講義では、政治学が蓄積してきた視点を、最新の成果を含めた形で、かなり網羅的に、かつ現実政治との関連を失わないように検討し、受講生が日々の政治的事件に対し自分の見解をもつための土台を提供したい。講義は、大きく「マクロ政治学」、「ミクロ政治学」、「国際政治学」3部に分かれる。講義全体として、特に現代における「国家」と「民主主義」の意義と役割、その動態について明らかにし、考えてもらうことを中心テーマとしていきたい。さらに、今日の対テロ問題とグローバル化・情報化が現代政治と政治学にどのように影響を与えるかについても検討していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I マクロ政治学－国家と自由民主主義体制の枠組み－
  - 1. 政治・権力・国家の意味
  - 2. 望ましい「国家」のあり方 (1);国家の仕事の範囲
  - 3. 望ましい「国家」のあり方 (2);国家の運営方法
  - 4. 自由民主主義体制の意味
  - 5. 民主化と体制変動
  - 6. 自由民主主義体制の比較枠組み
- II ミクロ政治学－自由民主主義体制の作動メカニズム－
  - 1. 政党と政党制
  - 2. 有権者の投票行動と選挙
  - 3. 官僚制と議会
  - 4. 利益集団とマスメディア
  - 5. 中央地方関係
- III 国際政治学
  - 1. 国際政治の意味
  - 2. 国際政治の主要理論潮流
  - 3. 日本の外交政策
  - 4. 冷戦後の世界政治展開をみる新視点

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価する。

教科書

青木・大谷・中邨編『国家のゆくえ－21世紀世界の座標軸－』（芦書房）2001年

参考書等

適時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済学 〔現代経済理解へのガイド〕	はしもと ひろあき 橋 本 泰 明	法 A・政 選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

経済学的なものの見方、考え方を修得することを目標とする。より具体的には、前期では、日本経済の現状を念頭におきつつ、一国の国民の所得や労働環境の決まり方を理論的に把握し、後期では、消費者と生産者の経済的行動が、ものの価格の決定にどう作用するのかを理解することを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：日本経済の概観 経済循環 国民所得 消費・貯蓄 国民所得の決定要因の分析 物価  
為替変動と国民所得  
後期：需要と供給 無差別曲線 所得の制約 需要量の決定 生産曲線 費用曲線 限界費用曲  
線 利潤最大化 供給量の決定 市場による価格決定 余剰概念 市場の効率性

履修上の留意点

さまざまな経済政策の背後にある理論の基礎を理解することが目標であるので、かなりの出席率を確保し、しかも授業中に脳細胞を働かせて思考し、論理展開を十分理解することが大切である。いったん考え方をマスターしてしまえば、かなりの応用が利き、試験のための丸暗記は不要になるであろう。

成績評価の方法

前期と後期の二回の筆記テストおよび授業中に課せられる小レポートによる。なお再試験は実施しない。

教 科 書

小野編著『現代経済学の基礎』（学文社）3,000円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おおいし ゆうじ 大 石 雄 爾	全 学 科 選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出していません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることをとおして、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。複雑きわまりない現代社会の諸問題の原因をさぐり、問題解決への展望をさし示すことが求められている、とあってよいでしょう。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械成大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げて、現代的な意味について考えてみたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 社会科学とは何か
2. 社会の歴史的発展と社会思想
3. 社会科学の生誕：ホブズとロック
4. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
5. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
6. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
7. 資本主義と民族
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても、随時とり上げてみるつもりです。

履修上の留意点

この講義は、年間の講義をとおして聞くことではじめて社会科学の意味とおもしろさが理解できるように組み立てられています。また、講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。追再試を実施します。

参 考 書 等

- 高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）  
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）  
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）  
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	柳 堀 素 雅 子 <small>やなぎほり すがこ</small>	全 学 科 選	4

講義のねらい

20世紀は医療が急速に進歩した時代であった。医学、医療が進めば、病気の治療も進み、これまで治療不可能と考えられてきた病気が、どんどん治療可能になってきた。現代医療のメリットだけを見れば夢と希望にあふれているが、デメリット、現代医療の影の部分、悪い部分にも目を向けることを忘れてはならないだろう。

たとえばヒトゲノム（人間の全遺伝子）が解読されたことは、オーダーメイド医療の普及や新薬の開発につながる可能性は大きい。しかし遺伝子情報は個人のプライバシーに触れるため、情報の管理がきちんとしていなければ重大な人権侵害となる。あるいは「脳死は死である」という社会的な合意が成立していない現時点で、脳死になった人からの臓器を勝手に摘出して他人に移植することは許されない。また植物状態になった人の人工呼吸器ははずしてもいいのか否かといった問題などもある。

現代医療の進歩にともなって、人間の生と死をめぐる新たな問題が噴出してきた。いずれも根本的解決には至っていない。以上のような人間の生と死をめぐるさまざまな問題について考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

現代の医療をめぐる状況  
 バイオエシックスとは何か  
 生命をめぐる新しい視点  
 人権の保護と生命の尊厳との相剋など

履修上の留意点

新聞等の医療問題記事には、なるべく目を通して欲しい

成績評価の方法

出席、レポート提出等を総合的に評価する

教 科 書

なし

参 考 書 等

必要なものをその都度紹介します

そ の 他

授業の方法－講義、ビデオ、OHP、討論

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育心理 〔大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－〕	の な か ひ ろ と し 野 中 弘 敏	全 学 科 選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・  
授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理－社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参 考 書 等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生物学 〔生態と進化〕	しみず よしかず 清水 善和	法 A・政選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20 mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1章 遺伝子と進化-我ら生物みな兄弟

- (1) 生命の歴史性
- (2) 遺伝子と生命現象
- (3) 進化のメカニズム

第2章 40億年の生物進化-偶然と必然が織りなす奇跡

- (1) 地質年代図
- (2) マーグリスの共生説
- (3) カンプリアの爆発
- (4) 大量絶滅
- (5) 生物の上陸

第3章 系統と分類-名もなき雑草はない

- (1) リンネ式分類体系
- (2) 生物五界説
- (3) 種の定義と属性
- (4) 分子時計と系統樹

第4章 行動と進化-生物は誰がために生きるか

- (1) 動物行動学の歩み
- (2) 適応度とゲーム理論
- (3) 利他的行動と血縁淘汰
- (4) 性選択と性比
- (5) 利己的遺伝子

第5章 個体群生物学-産めよ殖えよ地に満てよ

- (1) 潜在的な増殖率
- (2) 密度効果
- (3) 生命表

第6章 共生と競争-出し抜きながら深い仲

- (1) 種間関係と共生
- (2) 花と昆虫の共進化
- (3) 菌根
- (4) 擬態

第7章 人類の進化-ヒトは唯一の生き残り

- (1) 霊長類の系統
- (2) ヒトの発展段階
- (3) ホミニゼーション (ヒト化)
- (4) 人体の特徴

第8章 進化論-進化論も進化する

- (1) ダーウィン以前
- (2) ダーウィン進化論
- (3) ネオ・ダーウィニズム
- (4) 進化論批判

第9章 生態系-命は無数のつながりの中で

- (1) 生態系 (エコ・システム)
- (2) 食物連鎖と生物濃縮
- (3) 光合成と呼吸

- (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環-元素はめぐるよどこまでも
  - (1) 物質循環の大原則
  - (2) 水の循環
  - (3) 炭素の循環
  - (4) 窒素の循環
  - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移-裸地もいずれは森林に
  - (1) 遷移のモデル
  - (2) さまざまな遷移
  - (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性-多様な世界に未来あり
  - (1) 3つの多様性
  - (2) 多様性の尺度
  - (3) 生物地理区と植生帯
  - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物-生物界のグローバリゼーション
  - (1) 里山の生物
  - (2) 都市と生物
  - (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点	特になし。
成績評価の方法	レポート、試験、出席を勘案して評価する。
教科書	特に定めない。
参考書等	適宜紹介する。
その他	必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔自然景観の成り立ち〕	いちかわ きよし 市川清士	法A・政選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい	地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようになされたのでしょうか？ 本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。
--------	--

講義の内容・授業スケジュール	<p>前期では、大陸の成り立ちや造山運動（プレートテクトニクス）、氷河期（気候変動）などの大きなスケールの変動について探っていきます。</p> <p>後期では、前期の内容をふまえて、南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについてより具体的に探っていきたいと思います。</p> <p>また、毎回の講義のはじめには、新聞に掲載されている自然環境に関する記事について解説・議論を行い、身近な環境の変化について考えていきます。</p>
----------------	---

履修上の留意点	高校で使用した地図帳を用意すること（できれば最新のものが望ましい）。また毎週、新聞を読んでから授業に参加することを望みます。
---------	--

成績評価の方法	授業への参加・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。
---------	---------------------------------

教科書	使用しません。
-----	---------

参考書等	その都度紹介します。
------	------------

その他	<p>一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。</p> <p>また、駒沢公園など近くに行き実際に野外観察もする予定です。</p>
-----	---

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 〔環境と保全〕	ことうだ かずお 古藤田 一 雄	法 A・政 選	4
		12以降入学生/法B選	

講義のねらい

地球は“水の惑星”と呼ばれるように、地球表面の約70%は水で占められている。地球の水は、地球上の大気・陸地・海洋の三圏を絶え間なく循環し、自然環境を形成する重要な要素の一つになっている。本講義は、まず地球上の水循環（水文循環）に関する基礎知識を理解し、つぎに大気・地上・地下を巡る水の動態の把握とその環境場との相互関係についての理解を深める。最後に、人間生活とかかわりの深い水環境・水資源・水質の保全について考究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の内容に沿って、講義を進める。

1. 水と人間の関わり合い  
水と古代文明
2. 地球上の水循環  
水循環の思想の変遷  
陸水の循環  
日本の水土環境
3. 水利用と土地・水環境  
わが国の水利用  
環境汚染  
水と生活

履修上の留意点

やむを得ず欠席した場合には、その事由を付して担当教員に直接申し出ること。

成績評価の方法

定期試験（筆記）で行う。

教 科 書

特に教科書は指定しない。参考書は講義中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 〔環境と保全〕 (夏季集中)	やまがた 山 縣 たけし 毅	全 学 科 選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化  
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害  
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教 科 書

特に定めません。

参 考 書 等

講義の中で紹介します。

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程  
自然環境論

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○		8月20日	火						
8月2日	金	○	○	○	○	○		8月21日	水						
8月5日	月	○	○	○	○	○		8月22日	木						
8月6日	火	○	○	○	○	○		8月23日	金						
8月7日	水	○	○	○	○	○		8月26日	月						
8月8日	木	○	○	○	○	○		8月27日	火						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然誌 (1) 〔現代の自然像〕	清水 善和・篠原 正雄 持丸 真理・山縣 毅	法 A・政選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。

本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
  - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
  - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
  - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
  - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 生命の起源と進化 清水善和
- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
  - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
  - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
  - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第3講 地球環境形成の歴史 山縣毅
- (1) 地球環境の変遷（プレュームテクトニクスからプレートテクトニクス）
  - (2) 地震のメカニズムとその災害
  - (3) 火山活動のメカニズムとその災害
  - (4) 大陸移動による気候変化
- 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真理
- (1) 化石燃料の消費と大気の変化（地球温暖化、大気汚染）
  - (2) 環境問題の歴史（公害から環境基本法制定まで）
  - (3) 石油化学工業の発達と生態系への影響
  - (4) 未来へ向けて-石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
数学(1) 〔微積分学入門〕	小沢 誠	全学科選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期に、一変数関数・一変数関数の微分・一変数関数の積分を、後期に、二変数関数・二変数関数の微分・二変数関数の積分を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子 『やさしく学べる微積分』 (共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子 『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』 (共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学(2) 〔線形代数学入門〕	小沢 誠	全学科選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期に、行列・連立一次方程式・行列式を、後期に、空間ベクトル・線形空間・内積空間を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子 『やさしく学べる線形代数』 (共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子 『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』 (共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
数学(3) 〔現代数学入門〕	ふく だ けん い ち 福 田 賢 一	全 学 科 選	4

講義のねらい	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会現象に応用例を求め具体的事例から無理のない抽象化を計り、理論体系の理解、実的な応用力の養成を目指す。
講義の内容・ 授業スケジュール	1. 論理の基礎 2. 論理の応用 3. 線型代数 4. 線型計画法 5. 幾何学 6. 微分法 7. 積分法 8. 微積分法とその応用 9. 確率現象とその捉え方 10. 種々の応用
履修上の留意点	高校2年程度の平均的な学力があれば十分理解できるが、数学は系統性の強い学問であるから、基本的な事項を確実に理解する必要がある。
成績評価の方法	期末試験、レポート、小テスト等の結果を総合的に判定する。
教科書	使用しない。プリントを配布する。
参考書等	その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報数学 〔情報と論理〕	た か ほ し か ず よ し 高 橋 一 嘉	全 学 科 選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい	コンピュータ科学やコンピュータによる情報処理などについて学ぶ際に必要な基礎数学を解説する。
講義の内容・ 授業スケジュール	本年度は初歩的な初等整数論から始めて、公開鍵暗号のひとつであるRSA暗号について解説する予定である。
履修上の留意点	予備知識は仮定しないが、出題された演習を必ず解いているものとする。
成績評価の方法	評価は原則として前期末と後期末の2回の試験によって行う。
教科書	楫 元著『情報数理論シリーズA-5 工科系のための初等整数論入門-公開鍵暗号をめざして-』(培風館)2,400円を使用する。
参考書等	必要に応じて紹介する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
物理学 〔光と物質〕	しのはら まさお 篠原正雄	法 A・政選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取る。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきた。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定されず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことにある。数式は物理学に不可欠な言葉ではあるが、大切なのは数式により表現された意味である。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識は必要としない。

講義の内容・  
授業スケジュール

次のような項目について講義する。

波としての光

光線 影 鏡 蜃気楼 透明人間 光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

色とは何か

色即是波長？ 虹は七色か 三原色 茶色い光の波長？

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気 電波望遠鏡 X線とガンマ線 光子 熱と光

星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。

成績評価の方法

数回のテストを含む平常点を主に評価する。ただし、単位取得を希望する者は簡単な期末試験も受けていただく。

教 科 書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参 考 書 等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円。その他、講義の中で適宜紹介する。

そ の 他

講義を中心とするが、理解を深めるためには毎回問題を考えてもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
化学(2) 〔衣食住の化学〕	<small>もちまる まり</small> 持丸 真里	全 学 科 選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について講義する。

その後、衣食住の化学として、以下のような各論の解説を行う予定である。

- ①衣の化学：合成繊維  
合成洗剤（酵素化学の基礎、水質汚染問題も含む）
- ②食の化学：遺伝子組換え食品（遺伝子工学の基礎を含む）  
食品の安全性
- ③住の化学：ダイオキシン問題  
内分泌攪乱物質  
フロン類によるオゾン層破壊 など

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教 科 書

なし

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宇宙科学 〔星と銀河〕	<small>しの はら まさお</small> 篠原 正雄	法 A ・ 政 選	4

講義のねらい

観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。本講では現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。

宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は恒星について講義する。初めに最もよく知られた恒星である太陽について、構造やエネルギー源を調べる。次に恒星一般について、研究の方法、恒星の分類、その結果わかってきた恒星の進化についてのべる。最後に、太陽系の起源について最近の説を紹介する。

後期は銀河系および宇宙の起源と進化について講義する。銀河系の中で、星間物質から星々が生まれては、再び星間物質へと戻っていくことを繰り返す中で、物質が進化してきた。この過程の重要な現場である星生成領域の研究を紹介しつつ、前期に触れた恒星の進化を銀河系の進化の側面から捉えなおす。

星と銀河についての知識はほとんどすべて20世紀になって明らかにされたものである。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験による。平常点を加味する。

教 科 書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

そ の 他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お ぎ わ 小 沢 誠	法 A ・ 政 選	2

講義のねらい	HTML (Hypertext Markup Language) 及びCSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学ぶ。HTMLでは基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。
履修上の留意点	毎回出席すること。
成績評価の方法	レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。
教科書	HTML 4.01 Specification ( <a href="http://www.w3.org/TR/html4/">http://www.w3.org/TR/html4/</a> )、Cascading Style Sheets, level2 ( <a href="http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/">http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/</a> )
参考書等	The World Wide Web Consortium ( <a href="http://www.w3.org/">http://www.w3.org/</a> )
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (2) (7) (23) (24) 〔コンピュータの実際〕 (前期) (後期)	やまもと ひろのぶ 山 本 博 信	法 A・政選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた”コンピュータリテラシ”および”情報リテラシ”を実習を通じて理解する。特に、インターネットの原理や原則を学ぶ。インターネット上で実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンの高性能化やLANの普及により、ユーザは自分たちで情報を収集し処理加工して利用することができる。(1)表現手段としてのコンピュータ、(2)情報処理手段としてのコンピュータ、(3)コミュニケーション手段としてのコンピュータ、それぞれについて実習を通じて理解を深める。電子メールやWWWなどのインターネットのサービスを、できる限り具体的に技術的・倫理的側面などを加味した上で活用する。

- ・コンピュータによる情報処理
- ・コンピュータ・リテラシの理解
- ・Windowsの環境(個人情報の自己管理)
- ・電子メールの利用
- ・文章の作成技法(自己の主張と他社の発言の区別、引用などのスタイル)、文章の編集
- ・文章の構成(構造的文書作成とドキュメント管理)
- ・インターネットの基本
- ・Webページの作成
- ・インターネットの諸サービス
- ・インターネットの利用(情報収集と文書作成)
- ・情報発信の法的・倫理的責任(知的財産権、個人情報保護法、モラル)

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	おがわ けんじろう 小 川 健 次 郎	法 A・政 選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。利用申請は、授業の中で適宜行う。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (20) (22) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	おがわ けんじろう 小川 健次郎	法 A・政選	2

講義のねらい	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何が出来るか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。
履修上の留意点	予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。利用申請は、授業の中で適宜行う。
成績評価の方法	評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。
参考書等	参考書は必要に応じて紹介する。
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程  
コンピュータ基礎 (20)

前半								後半							
	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○				8月20日	火						
8月2日	金	○	○	○				8月21日	水						
8月5日	月	○	○	○				8月22日	木						
8月6日	火	○	○	○				8月23日	金						
8月7日	水	○	○	○				8月26日	月						
8月8日	木	△	△	△				8月27日	火						

△は予備日

コンピュータ基礎 (22)

前半								後半							
	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木			○	○	○		8月20日	火						
8月2日	金			○	○	○		8月21日	水						
8月5日	月			○	○	○		8月22日	木						
8月6日	火			○	○	○		8月23日	金						
8月7日	水			○	○	○		8月26日	月						
8月8日	木			△	△	△		8月27日	火						

△は予備日



科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (5)(10) [コンピュータの実際] (前期)(後期)	た け だ よう い ち 竹 田 洋 一	法 A ・ 政 選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン(OSはWindows)で主としてワープロソフト(WORD)と表計算ソフト(EXCEL)を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習(自宅または情報センターの自習室などのパソコンで)を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらった課題、そして筆記テストの三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (11) (15) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	たけだ よういち 竹 田 洋 一	法 A・政 選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことのない初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OSはWindows) で主としてワープロソフト (WORD) と表計算ソフト (EXCEL) を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習 (自宅または情報センターの自習室などのパソコンで) を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらった課題、そして筆記テストの三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

その他

授業日程  
コンピュータ基礎 (11)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○				8月20日	火						
8月2日	金	○	○	○				8月21日	水						
8月5日	月	○	○	○				8月22日	木						
8月6日	火	○	○	○				8月23日	金						
8月7日	水	○	○	○				8月26日	月						
8月8日	木	△	△	△				8月27日	火						

△は予備日

コンピュータ基礎 (15)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木			○	○	○		8月20日	火						
8月2日	金			○	○	○		8月21日	水						
8月5日	月			○	○	○		8月22日	木						
8月6日	火			○	○	○		8月23日	金						
8月7日	水			○	○	○		8月26日	月						
8月8日	木			△	△	△		8月27日	火						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	お ざ わ 小 沢 誠	法 A・政治選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及びCSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学ぶ。HTMLでは基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

教科書

HTML 4.01 Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>)、Cascading Style Sheets, level2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参考書等

The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (12)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○					8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○					8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○					8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○					8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○					8月26日	月							
8月8日	木	△	△	△					8月27日	火							

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (16) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	た か は し か ず よ し 高 橋 一 嘉	法 A・政 選	2

講義のねらい

コンピュータに対する基礎知識を習得し、基本的なソフトウェアやHTML言語の実習などを通じて、コンピュータでの情報処理能力を養うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

コンピュータに対する基礎知識（構成要素・動作原理等）の解説から始めて、ハードウェアとソフトウェアの役割、プログラム言語とプログラミング等の簡単な解説をし、それぞれについてコンピュータを操作する実習を行う。具体的には、基本的なソフトウェア（ワープロ、表計算、インターネットアクセス等）とHTML言語の実習及び簡単なプログラミングの演習を行いたい。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、集中講義なので講義には毎日必ず出席すること。  
講義開始日までに駒澤大学総合情報センターのコンピュータ利用申請を済ませておくこと。  
なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教 科 書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のため計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程  
コンピュータ基礎 (16)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木				○	○	○		8月20日	火							
8月2日	金				○	○	○		8月21日	水							
8月5日	月				○	○	○		8月22日	木							
8月6日	火				○	○	○		8月23日	金							
8月7日	水				○	○	○		8月26日	月							
8月8日	木				△	△	△		8月27日	火							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やまもと ひろのぶ 山本博信	法A・政選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた”コンピュータリテラシ”および”情報リテラシ”を実習を通じて理解する。特に、インターネットの原理や原則を学ぶ。インターネット上で実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンの高性能化やLANの普及により、ユーザは自分たちで情報を収集し処理加工して利用することができる。電子メールやWWWなどのインターネットのサービスを、できる限り具体的に技術的・倫理的側面などを加味した上で活用する。あらかじめ収集、蓄積した情報を分析することによって問題を解決する(グループ演習によって行う)。

- ・コンピュータによる情報処理
- ・コンピュータ・リテラシの理解
- ・表計算処理の概念

(1) 行・列の計算 (2) ファイル形式 (3) 並べ替え、平均、集計、分散 (4) データの視覚化 (5) 統合的利用(ワープロ文書への表・グラフの埋め込み) (6) マクロ機能

- ・Windowsの環境(個人情報管理)
- ・電子メールの利用
- ・インターネットの利用(情報収集と文書作成)
- ・Webページの作成(内容の構造化、表現および技術)
- ・情報発信の法的・倫理的責任(知的財産権、個人情報保護法、モラル)
- ・情報生産のプロセスの演習

(1) 演習の方法 (2) メディアを利用したグループ演習 (3) 情報システムの活用について

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

参考書等

その他

未定

参考書は必要に応じて紹介する。

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (13)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○					8月20日 火							
△8月2日 金	△							8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○					8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○					8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○					8月26日 月							
8月8日 木	○	○	○					8月27日 火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (17)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木								8月20日 火	○	○	○				
8月2日 金								8月21日 水	○	○	○				
8月5日 月								8月22日 木	○	○	○				
8月6日 火								△8月23日 金							
8月7日 水								8月26日 月	○	○	○				
8月8日 木								8月27日 火	○	○	○				

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (14) (18) (19) (21) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	ながさか ひろふみ 長 坂 浩 史	法 A・政 選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握、一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。

また、社会に出たとき必ず要求されると思われる「入手した情報を自分なりに整理し、体裁を整えて他者に伝える」ということの基礎を学んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OSはWindows) を使用し、実習を行う。ワープロソフト、表計算、データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらうつもり。この資料はウェブページの体裁で作成してもらうので、ウェブページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。

予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。

課題は基本的にファイルの形で提出してもらう予定だが、各自バックアップ用に、初日からフロッピーディスクを持参すること。

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。

実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思っ

教科書

前半は主に情報教育センターから配布されるガイドに沿って実習を行うが、その場で簡単な資料を配布する予定。

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (14)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○					8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○					8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○					8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○					8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○					8月26日	月							
8月8日	木	△	△	△					8月27日	火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (18)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木				○	○	○		8月20日	火							
8月2日	金				○	○	○		8月21日	水							
8月5日	月				○	○	○		8月22日	木							
8月6日	火				○	○	○		8月23日	金							
8月7日	水				○	○	○		8月26日	月							
8月8日	木				△	△	△		8月27日	火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (19)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木								8月20日	火	△	△	△				
8月2日	金								8月21日	水	○	○	○				
8月5日	月								8月22日	木	○	○	○				
8月6日	火								8月23日	金	○	○	○				
8月7日	水								8月26日	月	○	○	○				
8月8日	木								8月27日	火	○	○	○				

△は予備日

授業日程  
コンピュータ基礎 (21)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木								8月20日	火				△	△	△	
8月2日	金								8月21日	水				○	○	○	
8月5日	月								8月22日	木				○	○	○	
8月6日	火								8月23日	金				○	○	○	
8月7日	水								8月26日	月				○	○	○	
8月8日	木								8月27日	火				○	○	○	

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ応用 (1)(2) 〔コンピュータの原理〕	いまいずみ 今 泉 じゅん 淳	法 A・政 選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また「効率のよいプログラム」とは何かを知る。

講義の内容・  
授業スケジュール

コンピュータとは、単純な動作をたくさん積み重ねることで、さまざまな処理を行うことができる機械であることを知る。実際にまとまった処理を行う場合には、こうした単純な動作を目的に応じて組み合わせること（これを「プログラミング」とよぶ）が必要になる。そこでプログラミングの基礎を学ぶ。また、特定の問題を解決するためには「解決の手順」が必要になるが、同じ問題であっても異なる「解決の手順」があり、それらの比較を通じて「効率の良い解決手段」について学ぶ。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は仮定しないが、必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。なお、駒澤大学の総合情報センターの利用申請と電子メールのアカウント取得は必須である。また、プログラミングで使用するコンピュータ言語はPascalである。本授業は一回でも欠席すると以後の授業についてこれなくなる可能性が非常に高く、欠席は厳禁である。

成績評価の方法

毎回の出席と適宜出題されるレポート課題の点数の総合評価によって行う。

教 科 書

山崎秀記『Delphiによるプログラミング入門』（培風館）2,100円

参 考 書 等

随時紹介する。

そ の 他

授業は全て実習形式で、計算機室で行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学 〔人類の進化〕	えんどう ばんり 遠藤 萬里	法 A・政選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようになったヒトの特異性とは何か、身体のみならず構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であまり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教科書

遠藤萬里編 『人類生物学入門』 (てらべいあ)

参考書等

進化については  
遠藤萬里 『人類学百話 一話』 (てらべいあ) 2,000円 アンドリュース・ストリンガーイラ  
スト・ガイド 『私たちヒトの進化』 (てらべいあ) 2,400円  
他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

その他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	たかはし よしひろ 高橋 良博	法 A・政選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

基礎的な心理学の概論を学ぶ人を対象にして、日常的問題に即しながら、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間の行動生物学的研究や、環境心理学的研究などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の人間行動に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)など総合して評価を行う。

教科書

講義の中で指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 〔人間関係を考える〕	きたがわ こうじ 北 川 公 路	法 A 選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

心理学をこれから学ぼうと考えている人のなかには先入観をもっている人が多いと思われる。それはマスコミなどで取りあげられることの多い深層心理やカウンセリングの問題である。そのため心理学ではそれだけを扱うものであるという誤解が生まれやすい。臨床心理の問題も、心理学の中で重要な問題領域であるが、心理学が扱う問題は、それだけではないということを学ぶ。心理学全般をおさえ、日常生活において心理学を生かしていく「きっかけ」を身につけることが本講義の目的である。

講義の内容・  
授業スケジュール

心理学は独立した学問として認められてから、多くの研究領域に分化し、それぞれ多くの基礎的事実を蓄積してきた。そのようなすでに確立した基礎的な事実と考え方を、いずれの学派にも偏らない立場ですすめるとともに、できるかぎり最新の成果をとりいれてすすめていく。基礎的分野だけでなく、社会生活の広い分野で心理学が応用されている現状を反映させて、心理学の応用分野についてもふれていく。

前期は主に基礎的分野について、後期は主に応用分野について進めていく予定である。また、法学部の学生が履修することから、専門に関わること（例えば、犯罪など）もとりいれる。

履修上の留意点

具体的な内容、成績評価については初回の授業時に説明する。

成績評価の方法

定期試験、レポート提出、出席など総合評価とする。

教科書

使用しない。

参考書等

適宜案内をする。

その他

授業方法は履修者数により決めるが、基本的なスタイルとして講義形式を考えている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 〔心を科学する〕 (夏季集中)	ほりうち まさひこ 堀内 正彦	全学科選 12以降入学生/法B選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・  
授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業日程

心理学

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○			8月20日	火		△	△				
8月2日	金	○	○	○	○	○			8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○	○	○			8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○	○	○			8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○	○	○			8月26日	月							
8月8日	木	○	○	○	○	○			8月27日	火							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おかざき としちろう 岡 崎 寿 一 郎	全 学 科 選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅲ (3) 〔フランス現代思想〕	くわた のりあき 桑 田 禮 彰	全 学 科 選	4

講義のねらい

今日に至るまでフランスは、世界の思想界をリードしてきました。この講義では、特に二十世紀に照準を絞って、その豊かな成果を皆さんにご紹介します。重要な思想家を、おおむね時間順序に従って取り上げていきながら、時代背景も説明するつもりです。でも思想の最大の魅力は、スリリングと言ってもいいような鋭い洞察に触れる点にありますから、ときには、そうした著作の一節を一緒に読んでみましょう。また、「フランス現代思想」とは言っても、孤立しているわけではないので、ドイツ・イギリス・アメリカなど諸外国の思想について触れることもあります。わくわくするような「知の冒険」のガイドになればと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 講義概要
  2. 生の哲学とベルクソン
  3. 実存主義とサルトル
  4. 現象学とメルロ＝ポンティ
  5. 構造主義(1)レヴィ＝ストロース
  6. 構造主義(2)ロラン・バルト
  7. 構造主義(3)ラカン
  8. 構造主義(4)アルチュセール
  9. フーコー
  10. ブルデュー
  11. デリダ
  12. まとめ
- (2～11は、各2～3回ずつを予定)

履修上の留意点

フランス語の知識は必要ありません。

成績評価の方法

成績評価は、学年末の試験で行います。

教科書

特に指定しません。

参考書等

講義の中で、その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ(1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし 林 明 人	全 学 科 選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Law等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教 科 書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ(3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこてつお 丸 小 哲 雄	全 学 科 選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味をこめて解釈されています。ポスト学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化にたいする批判）することがあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている歴史的過渡期の時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（＝文化）をどう捉え、どう身体的に受け止めて、主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き：「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における事故言及のパラドックスについて
3. 「モダン」の語源と定義について；ポストモダンの特質について
4. ソシユールの言語観；言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの遍在性とディスコースについて
6. 人間観、宇宙観、社会観の変化について
7. 西洋の理性批判について；ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス；とりわけニーチェのルサンチマン哲学による理性批判としての『道徳の系譜』を取り扱う。
8. マックス・ヴェーバーの問題について；合理的理性批判について
9. フーコーなどを中心にしてモダン批判；外部の力と内部の力について
10. トランスモダン（横断的近代；アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョンナル意識との対抗性について
11. レヴェュー：冷戦後における自己組織と反省の人間の特質について

成績評価の方法

出席、ターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。さらに、前期、後期に配布された関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだレポート作成。

教 科 書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合Ⅴ(1) 〔イギリス文化探訪〕	かわまた ようたろう 川 股 陽 太 郎	全 学 科 選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。日本とは、日本人とはと問われたとき、あなたがたはどう説明しますか。イギリスとは、イギリス人とはということをごく限られた時間で、しかしできる限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。ある民族の文化を理解しようとするとき、その民族の言語・風俗・習慣を知る必要がある。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみるとしよう。イングランド、スコットランド、ウェールズ、コーンウォール、シェットランド・オークニー諸島、ヘブリディーズ諸島という地理的側面から、またイングランド人、シェットランド人、ウェールズ人、コーンウォール人とか、シーズナルハンター、ピクト人、ケルト人、ローマ人、アングロサクソン人、デーン人、バイキング、ノルマン人という人種的側面から理解してみるのも一つのやり方である。

イギリス人は自分たちを「混血」(ミックスチャー)であるという。人がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは「血」もさることながら、土地と無縁でないし、地域の文化(言語、風俗、習慣)と無縁ではない。しかしそれを決定するのはあくまでその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、ローマの植民地時代、キリスト教の普及、アングロサクソン人、デーン人、バイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性をその崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで日本とイギリスを比較・検討することで、よりいっそう明確にその差異を認識することができる。それは、自分の所属する社会と別の社会を比較することによって、それぞれの文化がもつ性格をいっそう明確に認識するということである。

「日本の常識は世界の非常識」であることが多いのも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあつて、もっとも大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためには、まず自国の文化を理解し、そして他国の文化を理解することが重要である。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポート用紙10枚程度のものを、年1回提出。レポートには「参考文献名」を記入し、「引用文」には注)を付し、書名とページ数を記入すること。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じ講義要録、参考資料等を適宜配布する。

参 考 書 等

講義形式をとる。パソコン、ビデオ、書画カメラを用い、映像、写真、絵図、史料を提示しつつ講義を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ(1) 〔民族とは何か〕	おののゆうじ 大野祐二	全学科選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著 『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）  
吉野耕作著 『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）  
李孝徳著 『表象空間の近代』（新曜社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ(2) 〔イスラム〕	前期：青柳かおる 後期：吉田京子	全学科選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関して、日本人の知識は非常に低く、その結果誤った解釈や理解による偏見が生まれる可能性が大きい。国際社会への一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。イスラームを語る場合、あらゆる側面では、もっとも基本的な「イスラーム」という語を持つすべての領域における共通理念とも言える、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本に焦点をあてた授業を行う予定である。従って国際関係論的、政治学的、社会学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点に注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期において異なる教官による授業となるが、内容、問題意識等は一貫したものとする。前期、後期を通じ、イスラームの信仰の核である。クルアーン、預言者ムハンマド、イスラーム法学、イスラーム神学、歴史的分派、スーフィズム等々の点から概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、基礎的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的、アプローチの前提となるような内容であるため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不相当である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率と、前期の提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合Ⅳ(3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわ のりよ 早 川 紀 代	全 学 科 選	4

講義のねらい

改正雇用機会均等法が施行されて3年たちましたが、依然新卒男女学生の就職率は格差があります。なぜこうした格差が生まれるのだろうか？世間の男と女の座標軸はいったいどのようにつくられているのだろうか？こうした疑問を私たちがくらしている、さまざまな場面をとりあげて、経済学や社会学、歴史学の成果を土台にして考えます。

講義の内容・  
授業スケジュール

1年間の講義を4期にわけます。

- a ジェンダーってなんだ？  
フェミニズムの歴史とフェミニズムの歴史のなかから生まれたジェンダーという考え方について。
- b 自分らしく働いて自分を高く売ってどういうこと？  
雇用のなかの男女の分離、男性の会社人生、女性の会社人生？ 改正雇用機会均等法  
男も女も自分らしく働く
- c 家族ってなんだ？  
家族の人間関係と機能、近代家族と現代家族、家族のなかのいろいろな問題  
どんな家族を創りたい？ シングルの選択。
- d セクシュアリティってなに？  
オスの性と男の性、性における男性支配、セクシュアリティの歴史、援助交際は自分の考えで性をうるからいいの？人間らしい性関係ってなに？

成績評価の方法

論述試験。再試験は実施しない。

教 科 書

教科書は指定しない。講義にあわせて資料を配布する。また参考書を随時紹介するので、そのうち1冊は読むこと。映画やビデオの上映もする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ(1) 〔トラブルと法的解決〕	北野かほる・小木曾綾 王 志安・金子昇平 佐藤多美夫・西 修	全学科選	4

講義のねらい

人間の日常生活は、常に順調であるとは限らない。社会生活にはトラブルがつきまとう。トラブルには様々な形で解決を試みることが考えられるが、法的な解決は最も効力のある解決方法である。しかしその類型は一樣でなく、社会生活の様々な側面において様々なトラブルの類型とその法的解決方法がある。

法的トラブルにはどのようなパターンが考えられるか。法的トラブルに遭遇したらどのように解決すればよいのか。あるいは法的トラブルを未然に防ぐにはどのようにすべきなのか。これらの点についてマクロ及びミクロの観点から分析し、法治国家の市民として知っておくべき法的知識やトラブル解決の糸口について考えていきたい。

昨年度までは民事法的領域について考察したが、今年度は、公法と呼ばれる領域に焦点を当て、我々の社会生活の各側面から考えられる法的なトラブルとその解決方法について考える。

講義は6名の教員が交替で行う。講義の具体的内容については担当教員がそれぞれの開講の際に開示する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 「トラブルと法概論」北野かほる
- (2) 「憲法裁判からみたトラブルと法的解決」西修
- (3) 「行政事件を巡るトラブルと法的解決」金子昇平
- (4) 「現代型犯罪と法的解決」佐藤多美夫
- (5) 「犯罪と刑罰（犯罪の実情と捜査・刑事裁判の諸原則、被害者支援など）」小木曾綾
- (6) 「国家間紛争と国際裁判の役割」王 志安

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席するほか、試験は必ず受けること。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際して必要の都度開示する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅶ(2) 〔都市論〕	早川 純貴・品田 知美 中野 祐二・保坂 尚朗	全 学 科 選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。しかしそれは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返す都市社会が示す多様な表象にはかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は4名の講師により、各々6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。

早川純貴『都市論』のガイダンス(1回/4月)

品田知美 「都市の変容と生活様式」(6回/4・5月)——都市には、多くの人々が集う場として独特の社会的現実が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を主に2つの視点からたどっていく。①環境：都市の構造は、エネルギーや資源の消費と関係が深い。②家族：都市は次々と新しい家族生活のかたちを生み出してきた。変貌しつづける都市家族にみられる光と影。これら2つの視点を生活様式というキーワードで結びつけながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。

保坂尚郎 「都市と労働」(6回/6・7月)——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の設備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。

早川純貴 「『まちづくり』と住民参加」(6回/9月・10月)——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

中野祐二 「移民問題とフランスの苦悩」(6回/11・12月)——移民や外国人労働者の問題は先進諸国で等しく見られるが、その問題の起こり方は国によって様々だろう。講義ではフランスの移民問題を概観した後、住宅や教育そして地域生活への参加に焦点を当て、フランスに特徴的な点を浮き彫りにする。さらにはこれらの点を中心に日本との比較を試みたい。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。



### 3 外国語科目



### 3. 外国語科目

[ 英 語 ]

英語	I	A (法 A)	丸小哲雄	93
英語	I	A (法 A)	岩原康夫	93
英語	I	A (法 A)	飯沼好永	94
英語	I	A (法 A)	三浦真理	94
英語	I	A (法 A)	岩田洋子	94
英語	I	A (法 A)	山岸二郎	95
英語	I	A (法 A)	安斉芳	95
英語	I	A (法 A)	三輪久恵	96
英語	I	A (政)	三浦真理	96
英語	I	A (政)	岩田洋子	97
英語	I	A (政)	山岸二郎	97
英語	I	A (政)	安斉芳	98
英語	I	A (政)	三輪久恵	99
英語	I	B (法 A)	木元喜久子	100
英語	I	B (法 A)	藤井道行	100
英語	I	B (法 A)	海琳泰子	101
英語	I	B (法 A)	真砂久晃	101
英語	I	B (法 A)	木元喜久子	102
英語	I	B (法 A)	藤井道行	102
英語	I	B (法 A)	海琳泰子	103
英語	I	B (法 A)	真砂久晃	103
英語	I	B (政)	木元喜久子	103
英語	I	B (政)	藤井道行	104
英語	I	B (政)	海琳泰子	104
英語	I	B (政)	真砂久晃	104
英語	I	B (政)	江田幸子	105
英語	II	A (法 A)	吉川直澄	106
英語	II	A (法 A)	太田雅子	106
英語	II	A (法 A)	佐藤アヤ子	107
英語	II	A (法 A)	山本長一	107
英語	II	A (法 A)	平林卓郎	107
英語	II	A (法 A)	高柳文江	108
英語	II	A (法 A)	堀千和子	108
英語	II	A (法 A)	北村弘文	109
英語	II	A (法 A)	塚本利男	109
英語	II	A (政)	前期：佐藤アヤ子、後期：中尾俊光	110
英語	II	A (政)	木村正俊	110
英語	II	A (政)	川股陽太郎	110
英語	II	A (政)	梁瀬浩三	111
英語	II	A (政)	風間則比古	111
英語	II	A (政)	河内山有佐	111
英語	II	B (法 A)	逢見明久	112

英	語	II	B (法 A)	〈鈴木 美貴子〉	112
英	語	II	B (法 A)	〈林 明 人〉	112
英	語	II	B (法 A)	〈井 伊 順 彦〉	113
英	語	II	B (法 A)	〈杉 村 初 枝〉	113
英	語	II	B (法 A)	〈平 林 卓 郎〉	113
英	語	II	B (法 A)	〈中 林 正 身〉	114
英	語	II	B (法 A)	〈井 出 功 一〉	114
英	語	II	B (法 A)	〈風 間 則比古〉	114
英	語	II	B (政)	〈牧 野 輝 良〉	115
英	語	II	B (政)	〈八十木 裕 幸〉	115
英	語	II	B (政)	〈岩 山 義 春〉	115
英	語	II	B (政)	〈萩 原 輝〉	116
英	語	II	B (政)	〈埴 美 智 子〉	116
英	語	II	B (政)	〈伊勢村 定 雄〉	117
英	語	II	D (法 A)	〈牧 野 輝 良〉	118
英	語	II	D (法 A)	〈岩 屋 玉 江〉	118
英	語	II	D (法 A)	〈高 見 陽 子〉	118
英	語	II	D (法 A)	〈川 崎 浩 太郎〉	119
英	語	II	D (法 A)	〈相 馬 美 明〉	119
英	語	II	D (法 A)	〈田 中 保〉	119
英	語	II	D (法 A)	〈岩 永 祥 恵〉	120
英	語	II	D (法 A)	〈小笠原 隆 元〉	120
英	語	II	D (法 A)	〈八十木 裕 幸〉	120
英	語	II	D (法 A)	〈丹 治 弘 昌〉	121
英	語	II	D (法 A)	〈三 芳 康 義〉	121
英	語	II	D (法 A)	〈町 田 尚 子〉	121
英	語	II	D (政)	〈西 田 義 和〉	122
英	語	II	D (政)	〈本 間 俊 一〉	122
英	語	II	D (政)	〈森 田 隆 光〉	122
英	語	II	D (政)	〈朝 川 真 紀〉	123
英	語	II	D (政)	〈本 間 俊 一〉	123
英	話	I	〈コプレーマッキー, D.S.〉	124	
英	話	I	〈ウェルズ, J.K.〉	125	
英	話	I	〈ソルタ, P.N.F.〉	125	
英	話	I	〈デンドウ, G.〉	126	
英	話	I	〈ハバード, W.D.〉	126	
英	話	I	〈ジトウィッツ, P.D.〉	127	
英	話	I	〈プラスキー, J.C.〉	127	
英	語	L L	I	〈甲 斐 捷 子〉	128
英	語	L L	I	〈埴 美 智 子〉	128
英	語	L L	I	〈西 村 祐 子〉	129
英	語	L L	I	〈加 藤 佐 和 子〉	129
英	語	L L	I	〈中 林 正 身〉	130
英	語	L L	I	〈久 保 ひ さ 子〉	130
英	話	II	(法A・政)	〈プラスキー, J.C.〉	131
英	話	II	(法A・政)	〈ジトウィッツ, P.D.〉	131
英	話	II	(法A・政)	—夏期集中— 〈ピアス, D.M.〉	132

英語	L	L	II (法A・政)	〈西村 祐子〉	133
英語	L	L	II (法A・政)	〈町田 尚子〉	134
英語	L	L	II (法A・政)	〈太田 雅子〉	134

〔ドイツ語〕

ドイツ語	I	A (法A・政)	〈河上 和史〉	135
ドイツ語	I	A (法A・政)	〈百濟 勇〉	135
ドイツ語	I	B (法A・政)	〈飯塚 公夫〉	135
ドイツ語	I	B (法A・政)	〈柴野 博子〉	136
ドイツ語	I	C (会話) (法A・政)	〈松岡 晋〉	136
ドイツ語	II	A (政)	〈藪下 絃一〉	136
ドイツ語	II	A (法A)	〈河上 和史〉	136
ドイツ語	II	A (法A)	〈野島 利彰〉	137
ドイツ語	II	A (法A)	〈藪下 絃一〉	137
ドイツ語	II	B (法A)	〈河上 和史〉	137
ドイツ語	II	B (政)	〈松岡 晋〉	137
ドイツ語	II	D (法A・政)	〈志真斗 美恵〉	138
ドイツ語	L	L I (法A・政)	〈小林ゲアリンデ〉	138

〔フランス語〕

フランス語	I	A (法A・政)	〈森本 信子〉	139
フランス語	I	A (法A・政)	〈長谷川 光明〉	139
フランス語	I	B (法A・政)	〈大野 英士〉	139
フランス語	I	B (法A・政)	〈菅原 猛〉	140
フランス語	I	C (会話) (法A・政)	〈佐藤 久美子〉	140
フランス語	II	A (政)	〈前田 祝一〉	140
フランス語	II	A (政)	〈遠山 博雄〉	141
フランス語	II	A (法A)	〈畑中 千晶〉	141
フランス語	II	A (法A)	〈遠山 博雄〉	141
フランス語	II	A (法A)	〈谷川 かおる〉	142
フランス語	II	B (法A)	〈菅谷 暁〉	142
フランス語	II	B (政)	〈畑中 千晶〉	142
フランス語	II	D (法A・政)	〈伊藤 なお〉	143
フランス語	L	L I (法A・政)	〈ラリア・三倉, M.〉	143

〔中国語〕

中国語	I	A・I B (法A・政)	〈宮本厚子・王聡〉	145
中国語	I	A・I B (法A・政)	〈村松 哲文・鶴島俊一郎〉	146
中国語	I	A・I B (法A・政)	〈天野 節・松本 丁俊〉	146
中国語	I	A・I B (法A・政)	〈弘兼加奈子・岩崎 皇〉	146
中国語	I	A・I B (法A・政)	〈福地 桂子〉	147
中国語	I	C (会話) (法A・政)	〈戸張 嘉勝〉	147
中国語	II	A (政)	〈松本 丁俊〉	147
中国語	II	A (政)	〈福地 桂子〉	148
中国語	II	A (政)	〈陳 洲 拳〉	148
中国語	II	A (政)	〈弘兼 加奈子〉	148

中国語	Ⅱ	A (政)	〈胡玉華〉	149
中国語	Ⅱ	A (法A)	〈釜屋修〉	149
中国語	Ⅱ	A (法A)	〈櫻庭和典〉	149
中国語	Ⅱ	A (法A)	〈李雲〉	150
中国語	Ⅱ	A (法A)	〈松本丁俊〉	150
中国語	Ⅱ	B (法A)	〈陳洲拳〉	150
中国語	Ⅱ	B (法A)	〈平石淑子〉	151
中国語	Ⅱ	B (法A)	〈弘兼加奈子〉	151
中国語	Ⅱ	B (政)	〈根岸政子〉	151
中国語	Ⅱ	B (政)	〈櫻庭和典〉	152
中国語	Ⅱ	B (政)	〈李雲〉	152
中国語	Ⅱ	D (法A・政)	〈曹泰和〉	152
中国語	Ⅱ	D (法A・政)	〈李雲〉	153
中国語	Ⅱ	D (法A・政)	〈工藤早恵〉	153
中国語	L L	I (法A・政)	〈佐藤普美子〉	153

〔スペイン語〕

スペイン語	I	A (法A・政)	〈荻野雅司〉	154
スペイン語	I	A (法A・政)	〈中川清〉	154
スペイン語	I	A (法A・政)	〈宮地達郎〉	154
スペイン語	I	B (法A・政)	〈荻野恵〉	155
スペイン語	I	B (法A・政)	〈ナバロ, ホワンJ.〉	155
スペイン語	I	B (法A・政)	〈ナバローボロ, L.S.〉	156
スペイン語	I	C (会話) (法A・政)	〈ルイズティノコ, C.〉	156
スペイン語	Ⅱ	A (政)	〈宮地達郎〉	156
スペイン語	Ⅱ	A (政)	〈ナバローボロ, L.S.〉	157
スペイン語	Ⅱ	A (法A)	〈大岩功〉	157
スペイン語	Ⅱ	A (法A)	〈福本久美子〉	158
スペイン語	Ⅱ	B (法A)	〈宮地達郎〉	158
スペイン語	Ⅱ	B (政)	〈福本久美子〉	158
スペイン語	Ⅱ	D (法A・政)	〈ナバロ, ホワンJ.〉	159
スペイン語	L L	I (法A・政)	〈ナバロ, ホワンJ.〉	159

〔ロシア語〕

ロシア語	I	A (法A・政)	〈杉山秀子〉	161
ロシア語	I	B (法A・政)	〈木村英明〉	162
ロシア語	I	C (会話) (法A・政)	〈佐野朝子〉	162
ロシア語	Ⅱ	A (法A・政)	〈佐野朝子・木村英明〉	163
ロシア語	Ⅱ	B (法A・政)	〈木村英明・佐野朝子〉	163
ロシア語	Ⅱ	D (法A・政)	〈クロチコフ, Y〉	163
ロシア語	L L	I (法A・政)	〈安徳ニーナ〉	164

《再履修クラス》

〔英語〕

英語 I A [再クラス]	〈西村祐子〉	165
英語 I A [再クラス]	〈川股陽太郎〉	165



英語 I A	〔再クラス〕	〈広川 治〉	166
英語 I A	〔再クラス〕	〈太田 美智子〉	166
英語 I A	〔再クラス〕	〈伊藤 美代子〉	166
英語 I A	〔再クラス〕	〈高橋 寛〉	167
英語 I A	〔再クラス〕	〈吉江 正雄〉	167
英語 I A	〔再クラス〕	〈前期：八十木裕幸、後期：中尾俊光〉	167
英語 I A	〔再クラス〕	〈塚本 利男〉	168
英語 I A	〔再クラス〕	〈川島 弘之〉	168
英語 I A	〔再クラス〕	〈尾上 典子〉	169
英語 I A	〔再クラス〕	〈太田 由紀子〉	169
英語 I A	〔再クラス〕	〈高柳 文江〉	170
英語 I A	〔再クラス〕	〈山縣 裕〉	170
英語 I A	〔再クラス〕	〈森田 隆光〉	170
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩原 康夫〉	171
英語 I A	〔再クラス〕	〈西原 克政〉	171
英語 I B	〔再クラス〕	〈牧野 輝良〉	171
英語 I B	〔再クラス〕	〈木村 克彦〉	172
英語 I B	〔再クラス〕	〈武藤 久緒〉	172
英語 I B	〔再クラス〕	〈手島 敬子〉	172
英語 I B	〔再クラス〕	〈田中 保〉	173
英語 I B	〔再クラス〕	〈前田 脩〉	173
英語 I B	〔再クラス〕	〈太田 由紀子〉	173
英語 I B	〔再クラス〕	〈井出 功一〉	174
英語 I B	〔再クラス〕	〈神戸 春樹〉	174
英語 I B	〔再クラス〕	〈松堂 啓子〉	174
英語 I B	〔再クラス〕	〈三浦 眞理〉	175
英語 I B	〔再クラス〕	〈飯沼 好永〉	175
英語 I B	〔再クラス〕	〈甲斐 捷子〉	175
英語 II A	〔再クラス〕	〈牧野 輝良〉	176
英語 II A	〔再クラス〕	〈佐藤 明子〉	176
英語 II A	〔再クラス〕	〈宇都宮 秀和〉	176
英語 II A	〔再クラス〕	〈今井 夏彦〉	177
英語 II A	〔再クラス〕	〈江田 幸子〉	177
英語 II A	〔再クラス〕	〈笹倉 貞夫〉	177
英語 II A	〔再クラス〕	〈井伊 順彦〉	178
英語 II A	〔再クラス〕	〈小笠原 隆元〉	178
英語 II A	〔再クラス〕	〈八十木 裕幸〉	178
英語 II A	〔再クラス〕	〈外池 一子〉	179
英語 II A	〔再クラス〕	〈岩田 洋子〉	179
英語 II A	〔再クラス〕	〈山岸 二郎〉	179
英語 II B	〔再クラス〕	〈山縣 裕〉	180
英語 II B	〔再クラス〕	〈小布施 圭佐三〉	180
英語 II B	〔再クラス〕	〈岩井 洋美〉	180
英語 II B	〔再クラス〕	〈川手 浩一〉	181
英語 II B	〔再クラス〕	〈太田 美智子〉	181
英語 II B	〔再クラス〕	〈落合 和昭〉	181

英語ⅡB〔再クラス〕	〈川 股 陽太郎〉	182
英語ⅡB〔再クラス〕	〈河 内 賢 隆〉	182
英語ⅡB〔再クラス〕	〈本 間 俊 一〉	182
英語ⅡB〔再クラス〕	〈朝 川 真 紀〉	183
英語ⅡB〔再クラス〕	〈西 田 義 和〉	183
英語ⅡD〔再クラス〕	〈牧 野 輝 良〉	183
英語ⅡD〔再クラス〕	〈岩 屋 玉 江〉	183
英語ⅡD〔再クラス〕	〈高 見 陽 子〉	183
英語ⅡD〔再クラス〕	〈川 崎 浩太郎〉	184
英語ⅡD〔再クラス〕	〈相 馬 美 明〉	184
英語ⅡD〔再クラス〕	〈田 中 保〉	184
英語ⅡD〔再クラス〕	〈岩 永 祥 恵〉	184
英語ⅡD〔再クラス〕	〈小笠原 隆 元〉	184
英語ⅡD〔再クラス〕	〈八十木 裕 幸〉	184
英語ⅡD〔再クラス〕	〈丹 治 弘 昌〉	184
英語ⅡD〔再クラス〕	〈三 芳 康 義〉	184
英語ⅡD〔再クラス〕	〈町 田 尚 子〉	185
英語ⅡD〔再クラス〕	〈西 田 義 和〉	185
英語ⅡD〔再クラス〕	〈本 間 俊 一〉	185
英語ⅡD〔再クラス〕	〈森 田 隆 光〉	185
英語ⅡD〔再クラス〕	〈朝 川 真 紀〉	185
英語ⅡD〔再クラス〕	〈本 間 俊 一〉	185

### 〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈柴 野 博 子〉	186
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈野 島 利 彰〉	186
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈織 田 繁 美〉	186
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈栗 原 万 修〉	187
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈五十嵐 信 子〉	187
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈薮 下 紘 一〉	187
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈松 岡 晋〉	188
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈薮 下 紘 一〉	188
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈杉 本 正 俊〉	188
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈柴 野 博 子〉	189
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈本 橋 右 京〉	189
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈杉 本 正 俊〉	189
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈薮 下 紘 一〉	190
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百 濟 勇〉	190
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈本 橋 右 京〉	190
ドイツ語ⅡD〔再クラス〕	〈志 真 斗美恵〉	190

### 〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈菅 谷 暁〉	191
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈芦 原 眷〉	191
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈竹 田 正 純〉	191
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈小 玉 齊 夫〉	192
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈長谷川 光 明〉	192

フランス語 I B [再クラス] <前田 祝一> .....	192
フランス語 I B [再クラス] <今関 アン> .....	193
フランス語 I B [再クラス] <森本 信子> .....	193
フランス語 I B [再クラス] <長谷川 光明> .....	193
フランス語 I B [再クラス] <谷川 かおる> .....	194
フランス語 II A [再クラス] <畑中 千晶> .....	194
フランス語 II A [再クラス] <沼倉 広子> .....	194
フランス語 II A [再クラス] <谷川 かおる> .....	195
フランス語 II B [再クラス] <遠山 博雄> .....	195
フランス語 II B [再クラス] <沼倉 広子> .....	195
フランス語 II B [再クラス] <長谷川 光明> .....	196
フランス語 II D [再クラス] <伊藤 なお> .....	196

[ 中国語 ]

中国語 I A・I B [再クラス] <胡 玉華> .....	197
中国語 I A・I B [再クラス] <平石 淑子> .....	197
中国語 I A・I B [再クラス] <松本 丁俊> .....	197
中国語 I A・I B [再クラス] <釜屋 修> .....	198
中国語 I A・I B [再クラス] <佐藤 普美子> .....	198
中国語 I A・I B [再クラス] <天野 節> .....	198
中国語 I A・I B [再クラス] <根岸 政子> .....	199
中国語 I A・I B [再クラス] <櫻庭 和典> .....	199
中国語 I A・I B [再クラス] <曹 泰和> .....	199
中国語 I A・I B [再クラス] <李 雲> .....	200
中国語 I A・I B [再クラス] <工藤 早恵> .....	200
中国語 I A・I B [再クラス] <小川 隆> .....	200
中国語 I A・I B [再クラス] <塩旗 伸一郎> .....	201
中国語 I A・I B [再クラス] <秋元 翼> .....	201
中国語 I A・I B [再クラス] <蘭 明> .....	201
中国語 II A [再クラス] <江林 英基> .....	202
中国語 II A [再クラス] <宮本 厚子> .....	202
中国語 II A [再クラス] <天野 節> .....	202
中国語 II A [再クラス] <三田村 圭子> .....	203
中国語 II B [再クラス] <李 雲> .....	203
中国語 II B [再クラス] <宮本 厚子> .....	203
中国語 II B [再クラス] <蘭 明> .....	204
中国語 II D [再クラス] <曹 泰和> .....	204
中国語 II D [再クラス] <李 雲> .....	204
中国語 II D [再クラス] <工藤 早恵> .....	204

[ スペイン語 ]

スペイン語 I A・I B [再クラス] <宮地 達郎> .....	205
スペイン語 I A・I B [再クラス] <大岩 功> .....	205
スペイン語 I A・I B [再クラス] <上野 勝広> .....	206
スペイン語 I A・I B [再クラス] <佐藤 紘子> .....	206
スペイン語 I A・I B [再クラス] <佐藤 麻里乃> .....	206

スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈福本久美子〉	207
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈大岩功〉	207
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈佐藤紘子〉	207
スペイン語ⅡD〔再クラス〕	〈ナバロ, ホワンJ.〉	208

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈廣田英靖〉	209
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐野朝子・木村英明〉	209
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈安徳ニーナ〉	210
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈クロチコフ, Y.〉	210
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈安徳ニーナ〉	210
ロシア語ⅡD〔再クラス〕	〈クロチコフ, Y.〉	211

〔英語〕

英文講読	〈林明人〉	212
英文講読	〈前田脩〉	212
英文講読	〈牧野輝良〉	212
時事英語研究	〈竹村恵都子〉	213
時事英語研究	〈林明人〉	213
時事英語研究	〈川手浩一〉	213
マルチ・メディア	〈落合和昭〉	214
マルチ・メディア	〈大庭直樹〉	215
マルチ・メディア	〈町田尚子〉	216
英会話Ⅱ	〈プラスキー, J.C.〉	216
英会話Ⅱ	〈ジトウィッツ, P.D.〉	216
英会話Ⅱ-夏季集中-	〈ピアス, D.M.〉	216
英会話Ⅲ	〈ウェルズ, J.K.〉	217
英会話Ⅲ	〈ハバード, W.D.〉	217
英会話Ⅲ-夏季集中-	〈レーン, C.M.〉	218
英語L LⅡ	〈西村祐子〉	219
英語L LⅡ	〈町田尚子〉	219
英語L LⅡ	〈太田雅子〉	219
英語L LⅢ	〈井伊順彦〉	220
英語L LⅢ	〈久保ひさ子〉	220
英語L LⅢ	〈西村祐子〉	221

〔ドイツ語〕

ドイツ語L LⅠ	〈小林ゲアリンデ〉	222
ドイツ語L LⅡ	〈小林ゲアリンデ〉	222
ドイツ語ⅠA(選)	〈栗原万修〉	222
ドイツ語ⅠB(選)	〈織田繁美〉	222
ドイツ語Ⅱ(選)	〈百濟勇〉	223

〔フランス語〕

フランス語L LⅠ	〈ラリア・三倉, M.〉	224
フランス語L LⅡ	〈ラリア・三倉, M.〉	224
フランス語ⅠA(選)	〈井田清子〉	224

フランス語 I B (選) 〈桑田 禮彰〉	224
フランス語 II (選) 〈小玉 齊夫〉	225

〔 中 国 語 〕

中国語 L L I 〈佐藤 普美子〉	226
中国語 L L II 〈小川 隆〉	226
中国語 I A (選) 〈釜屋 修〉	226
中国語 I B (選) 〈佐藤 普美子〉	226
中国語 II (選) 〈岩崎 皇〉	227

〔 スペイン語 〕

スペイン語 L L I 〈ナバロ, ホワン J.〉	228
スペイン語 L L II 〈ナバロ, ホワン J.〉	228
スペイン語 I A (選) 〈ナバロ-ポロ, L.S.〉	228
スペイン語 I B (選) 〈瓜谷 アウロラ〉	229
スペイン語 II (選) 〈荻野 雅司〉	229

〔 ロシ ア 語 〕

ロシア語 L L I 〈安徳 ニーナ〉	230
ロシア語 L L II 〈安徳 ニーナ〉	230
ロシア語 I A (選) 〈クロチコフ, Y.〉	230
ロシア語 I B (選) 〈木村 英明〉	231
ロシア語 II (選) 〈安徳 ニーナ〉	231

〔 朝 鮮 語 〕

朝鮮語 I A・I B (選) 〈宋 美玲〉	232
------------------------	-----



# 英 語 I A

## 〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	丸 小 哲 雄	法 A 1 年	2

### 講義のねらい

法律問題を素材とした英語自己表現を目指す。リーガル・マインドと法的表現力とを培うために、日常の法律問題に親しむ。問題意識を高めて、その社会問題がどんなかたちをとっているかに焦点を合わせ、それに対して自分自身の考え方で対応できるように考える英語表現に親しむ。日本語・日本文化を乗り越えるための問題意識とその英語表現能力を涵養する。

### 講義の内容・授業スケジュール

20分間を教材を利用してリスニング・タイムとして70分をリーディング・タイムとします。リスニング・タイムは語彙と総合理解を、リーディング・タイムはテキストの読み・解釈・批評の能力を涵養してゆきます。数回の小テストを行います。レポート提出もあります。

### 成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の語学試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

### 教 科 書

リスニング：『12 Great Hit Songs (4)』(英宝社)  
リーディング：『Viewpoint in Law』(マクミラン)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	岩 原 康 夫	法 A 1 年	2

### 講義のねらい

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及び、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としてますますその比重を高めてつづいていく。このような観点にたつて、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとする。そのために、ある一定の基本的な動詞を中心にした構文と用法をマスターし、日常的なレベルでのコミュニケーション力を高めたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

### 履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。また辞書の積極的な使用を望む。

### 成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおけるparticipationによって判断する。

### 教 科 書

『Cultivating Writing Skills』(『基本語彙を使った発展英作文』)(朝日出版) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A	い いぬま よしなが 飯 沼 好 永	法 A 1 年	2

講義のねらい

入学時の英語力を基礎とし、センテンス単位からパラグラフ単位の英文を書くことのできる英語力を身につけることを目標とする。それには英文のセンテンスの構造だけでなく、英文のパラグラフの構成に関する知識を踏まえながら、英語の文章と日本語の文章との違いを十分に理解することが不可欠である。また、英語の文章を書く時に、単語は和英辞書等で確認することができるが、単語を並べて文章を作る時には文法の知識も要求されるので、随時、文法に関する解説も行っていきたい。

履修上の留意点

テキストでは大学生の日常生活に基づいている例文等が取り上げられているので、各自の実状に合った英文も作成できるよう、基本的な英語表現を学びながら、応用的な英語表現も修得して欲しい。また、和英辞書で調べた英単語は英和辞書で再確認する習慣を付け、英単語の微妙なニュアンスの違いも分かるよう心がけて欲しい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%)

教科書

山村三郎、木下裕昭、小峰和子 『Expanding Your Writing Skills』(朝日出版) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A	み う ら ま まり 三 浦 眞 理	法 A 1 年	2

講義のねらい

日常の色々な題材を用いて英語表現・運用能力の向上をはかり、自分の考えを豊かに表現できるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって基礎的な英文構造、成句、熟語をできるだけ多く学習し、それを基礎にして英作文を色々な工夫しながら作成してみたいと思います。そして独特なニュース英語表現の基礎的知識を身につけて、実際に活用できるように練習していこうと思います。また、hearingの練習、さらに、時間が許す限りTOEICの練習もできるだけ行いたいと思います。

テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に小テストとして行います。後期最後に総まとめ試験実施(授業時間中の小テスト重視)

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席(厳守)、小テスト、授業中の発表(70~75%)及び後期試験の結果によりおこないます。

教科書

『Writing English through Major News』(金星堂) 1,650円

参考書等

プリントを使用することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A	い わ た よう こ 岩 田 洋 子	法 A 1 年	2

講義のねらい

本授業は英語WritingにとどまらずSpeaking、Listeningの演習・習得を目的とします。まず Useful Expressionsを暗記し、次にBasic Training、Writing Practiceへ、最後にSpeaking Practiceで使える英語を学びます。Coffee Break(英語面白ばなし)

成績評価の方法

毎回の出席状況、平常点、提出物、前期・後期の試験の結果等を総合して行う。

教科書

山口俊治、Timotty Minton 著  
『THE ROAD FROM WRITING TO SPEAKING』[「コミュニケーションのための口語英作文」(成美堂)  
広本勝也、Francis J. Kardya a 著『Communication in Action』[「ブラウン氏の日本体験-ビデオで学ぶ英会話」(朝日出版)]



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	やまぎし じろう 山 岸 二 郎	法 A 1 年	2

講義のねらい

社会生活の諸問題について考察し、自分の意見を英文にまとめる。  
 情報化社会にあつて、伝達手段としての英語は一層重要になってきた。世界各地の情報は、先ず音声で、それも英語で伝えられる場合が多い。多国間による国際会議でも英語の使用度は多く、英語は自ずと国際語化している。このような状況から、事実の伝達・意見の表明などスムーズな英語表現が求められている。  
 授業ではそのための準備として、短文からある程度まとまりのある文章表現力の向上を図りたい。

成績評価の方法

出席を重視する。平常の学習、小テスト、テストその他総合的に評価する。

教 科 書

未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	あんざい よしみ 安 斉 芳	法 A 1 年	2

講義のねらい

英文を理解し英問英答を行なう。また、英文の中に出てきた重要な連語を使用した自然な英語で表現する口語英作文を行ない、英語の運用能力を養うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. My major at College. Exercise
2. Driving to School. Exercise
3. Classes. Exercise
4. Dictionaries. Exercise
5. Media. Exercise
6. Japan is the 21st Century. Exercise
7. Japan
8. Nihongo Explosion. Exercise
9. Friends. Exercise
10. Telephone. Exercise
11. A letter. Exercise
12. Travel abroad. Exercise
13. Forcin Colleges and Universities. Exercise
14. Part-time jobs. Exercise

履修上の留意点

この授業を履修するにあたって、学生の皆さんは、予習をして授業に参加することを望む。特に口語英作文においては、自分の力で表現してみることが、英語の力を養うことになる。

成績評価の方法

授業中の発表、前期、後期の試験、出席状況等を総合して評価を行う。特に不正行為は一切認めない。

教 科 書

『Communicative English Writing』中田清一、田辺正美 (成美堂) 1,500円

参 考 書 等

『英和辞典』 『和英辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA	みわひさえ 三輪久恵	法 A 1 年	2

講義のねらい

海外へ出た時に独力でコミュニケーションをとることができる英語能力を養う。対処の仕方などを通して日本とは異なる文化・物の考え方も学ぶ。将来、添乗員としての勤務もこなせる基礎力をつけたい。

講義の内容・授業スケジュール

旅行中に出あう様々な場面で役立つ英語表現の習得をめざす。DialogのListeningを中心に練習問題形式の語彙・英語表現を主眼に置き、WritingやGrammarも学習する。

成績評価の方法

テキストに添って毎回のように授業の終わりに8～10分程度のクイズがあります。必然的に、平常点重視・出席重視となります。定期試験はやらない予定ですから注意して下さい。

教科書

『Trouble-Free Travel Cravotta』他著 (郁文堂) 1,800円 後期はTOEIC形式のテキストで学ぶ予定

その他

演習形式

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA	みうらま 三浦眞理	政治 1 年	2

講義のねらい

日常の色々な題材を用いて英語表現・運用能力の向上をはかり、自分の考えを豊かに表現できるようにすることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって基礎的な英文構造、成句、熟語をできるだけ多く学習し、それを基礎にして英作文を色々工夫しながら作成してみたいと思います。そして独特なニュース英語表現の基礎的知識を身につけて、実際に活用できるように練習していこうと思います。また、hearingの練習、さらに、時間が許す限りTOEICの練習もできるだけ行いたいと思います。

テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に小テストとして行います。

後期最後に総まとめ試験実施(授業時間中の小テスト重視)

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席(厳守)、小テスト、授業中の発表(70～75%)及び後期試験の結果によりおこないます。

教科書

『Writing English through Major News』(金星堂) 1,650円

参考書等

プリントを使用することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA	いわた ようこ 岩田洋子	政治1年	2

講義のねらい

本授業は英語WritingにとどまらずSpeaking、Listeningの演習・習得を目的とします。まず Useful Expressionsを暗記し、次にBasic Training、Writing Practiceへ、最後にSpeaking Practiceで使える英語を学びます。  
Coffee Break（英語面白ばなし）

成績評価の方法

毎回の出席状況、平常点、提出物、前期・後期の試験の結果等を総合して行う。

教科書

山口俊治、Timotty Minton 著  
『THE ROAD FROM WRITING TO SPEAKING』[コミュニケーションのための口語英作文]（成美堂）  
広本勝也、Francis J. Kardya a 著『Communication in Action』[ブラウン氏の日本体験ービデオで学ぶ英会話]（朝日出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA	やまぎし じろう 山岸二郎	政治1年	2

講義のねらい

社会問題、社会生活について考察し、自分の意見を英文にまとめる。  
情報化社会にあつて、伝達手段としての英語は一層重要になってきた。世界各地の情報は、先ず音声で、それも英語で伝えられる場合が多い。多国間による国際会議でも英語の使用度は高く、英語は自ずと国際語化している。このような状況から、事実の伝達・意見の表明などスムーズな英語表現が求められている。  
授業ではそのための準備として、短文からある程度まとまりのある文章表現力の向上を図りたい。

成績評価の方法

出席を重視する。平常の学習、小テスト、テストその他総合的に評価する。

教科書

未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	あ ん ぎ い      よ し み 安 齊      芳	政 治 1 年	2

外国語

講義のねらい

英文を理解し英問英答を行なう。また、英文の中に出てきた重要な連語を使用した自然な英語で表現する口語英作文を行ない、英語の運用能力を養うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. My major at College. Exercise
2. Driving to School. Exercise
3. Classes. Exercise
4. Dictionaries. Exercise
5. Media. Exercise
6. Japan is the 21st Century. Exercise
7. Japan
8. Nihongo Explosion. Exercise
9. Friends. Exercise
10. Telephone. Exercise
11. A letter. Exercise
12. Travel abroad. Exercise
13. Foreign Colleges and Universities. Exercise
14. Part-time jobs. Exercise

履修上の留意点

この授業を履修するにあたって、学生の皆さんは、予習をして授業に参加することを望む。特に口語英作文においては、自分の力で表現してみることが、英語の力を養うことになる。

成績評価の方法

授業中の発表、前期、後期の試験、出席状況等を総合して評価を行う。特に不正行為は一切認めない。

教 科 書

『Communicative English Writing』 中田清一、田辺正美 (成美堂) 1,500円

参 考 書 等

『英和辞典』 『和英辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	みわひさえ 三輪久恵	政治1年	2

講義のねらい

海外へ出た時に独力でコミュニケーションをとることができる英語能力を養う。対処の仕方などを通して日本とは異なる文化・物の考え方も学ぶ。将来、添乗員としての勤務もこなせる基礎力をつけたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

旅行中に出会う様々な場面で役立つ英語表現の習得をめざす。DialogのListeningを中心に練習問題形式の語彙・英語表現を主眼に置き、WritingやGrammarも学習する。

成績評価の方法

テキストに添って毎回のように授業の終りに8～10分程度のクイズがあります。必然的に、平常点重視・出席重視となります。定期試験はやらない予定ですから注意して下さい。

教科書

『Trouble-Free Travel』 Cravotta他著 (郁文堂) 1,800円 後期はTOEIC形式のテキストで学ぶ予定。

その他

演習形式。

# 英 語 I B

## 〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の 3 分の 2 以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	木 元 喜 久 子	法 A 1 年	2

### 講義のねらい

人類は今、21世紀へ突入した。20世紀は部族間の、民族間の、そして国家間の対立と戦争の世紀を言われている。21世紀の世界はどう動くのか。民族の動きを分析することから世界の動きを見ていくことをテーマとしたテキストを通して、21世紀世界の行方を追ってきたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストの速読、精読による内容把握の練習を通して、英語の読解力の向上を目指す。また、今や就職等の必須となったTOEICへの対策を主眼としたテストペーパーのリスニング編を使って、段階的に効果的に高得点を狙えるリスニングの実力要請をはかる。

### 履修上の留意点

十分な予習と授業への積極的な参加が求められる。また、授業中には英和辞典を必ず持参のこと。

### 成績評価の方法

成績は出席率（全授業の2 / 3 以上）、授業中の発表と、前・後期試験の結果を総合して評価する。

### 教 科 書

大橋久利 Gary Dendo (編・著) 『民族で読む21世紀の世界』(成美堂)、森田勝之 野中泉 (著) 『Practical Listening for TOEIC』(金星堂)

### そ の 他

水曜日 3時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	藤 井 道 行	法 A 1 年	2

### 講義のねらい

日本の「いま」を伝える時期を新聞、雑誌から選んで読みます。取り上げる分野は特に限定していませんが、呼んで発見すること、考えることの多い記事を選びたいと思います。授業では速読でよめるものは、パラグラフごとの要約と質疑応答を中心に進め、歯ごたえのあるものは、疑問点を残さないよう丹念に読みます。

### 講義の内容・授業スケジュール

毎回授業のはじめに、予習の確認のためのクイズを出します。

### 成績評価の方法

成績評価の決め手となるのは、前・後期に行う試験の出来です。ただし、出席不良の場合は、受験資格を失うので注意してください。

### 教 科 書

プリント使用

### そ の 他

水曜日 3時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B	み た ま や す こ 海 琳 泰 子	法 A 1 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

Reading—私達は一日たりとも「科学」の恩恵なしには、生きていけない。「身近な科学」を学び、現代人として不可欠な教養としてのサイエンスを身につけよう。Listening—BBC Worldのニュースの聞き取り、新聞記事のdictation。

成績評価の方法

前、後期末試験と年間8回の小テストを実施、期末試験はいかなる理由でも、又一回でも欠試験の場合は単位修得不可能。

教科書

Laura Stark Johnson 編 畠田豊文編注、【The Wonders of Science (科学の世界)】(成美堂) 1,600円

その他

水曜日3時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B	ま な ご ひ さ あ き 真 砂 久 晃	法 A 1 年	2

講義のねらい

基本的な英語の読解能力とListeningの能力向上をめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

学生諸君には、毎時間、順番に各自英文の読解とListeningの練習をしてもらう。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。(正当な理由のある欠席については考慮する)

成績評価の方法

成績=(前期の成績+後期の成績)÷2  
前期、後期共、成績(100点満点)=出席点(20~30%)+テスト(70~80%)となる。

教科書

【New Interactive Reader】石田雅近著 (金星堂) 1,900円

その他

水曜日1時限 最初の授業では、詳しい説明をするので、必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB	木元喜久子	法 A 1 年	2

講義のねらい

原子力に変わる代替エネルギーの開発、セクハラなどのジェンダー問題、マス・メディアの真偽性等、現代の地球社会が抱える主要問題を様々な視点から論じたエッセイを読んで、人と地球の未来を様々な角度から一緒に考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの速読、精読や内容理解を確認する為の練習問題やエッセイの内容を広い観点から議論するためのディスカッション練習を通して読解力の向上を目指す。また、今や就職等の必須となったTOEICへの対策を主眼としたテストペーパーのリスニング編を使って、無理なく効果的に高得点を狙える実力の養成をはかる。

履修上の留意点

十分な予習と授業への積極的な参加が求められる。また、授業中には英和辞典を必ず持参のこと。

成績評価の方法

成績は、出席率（全授業の2/3以上）、授業中の発表と、前・後期試験の結果を総合して評価する。

教科書

David Peaty (著)『地球的問題群の背景を考える』（金星堂）、森山勝之 野中泉 (著)『Practical Listening for TOEIC』（金星堂）

その他

水曜日 1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB	藤井道行	法 A 1 年	2

講義のねらい

ひとりのジャーナリストが、日本のマスコミでは取り上げられることのない世界各地を旅して、考えたことをエッセイとしてまとめたテキストを読みます。日本の大学用の英語テキストとして書き下ろされたものなので文章は平易ですが、ウイットに富んだ表現が程よく散りばめられているので、よくある概説書の類と異なり、再読に耐えるものになっています。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、パラグラフごとの要約を中心に、テキストに用意されている多様な問題を解くことで内容の確認をします。また、時間と意欲があれば、関連資料を他の文献から読む機会をもちたいと思います。

成績評価の方法

成績評価は、前・後期試験の出来が決め手となります。ただし、出席不良の場合は、受験資格を失います。

参考書等

『Wander the World』（金星堂）

その他

水曜日 1時限



科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B	み た ま や す こ 海 琳 泰 子	法 A 1 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

Reading—ヨーロッパ文明の根底に流れている一見、相反するキリスト教と科学の発展についてOxford大の原子核物理学者Hodgsonのやさしい解説で学ぶ。欧米人の思考の基になっている論理体系、合理主義に触れたい。Listening—BBC Worldのニュースの聞き取り、新聞記事のdictation。

成績評価の方法

前、後期末試験と年間8回の小テストを実施。期末試験はいかなる理由でも、又一回でも欠試験の場合は単位修得不可能。

教科書

Peter Hodgson 著 三雲/P.Milward編注『Science and Christianity (キリスト教と科学の進歩)』(金星堂) 1,400円

その他

水曜日 1 時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B	ま な ご ひ さ あ き 真 砂 久 晃	法 A 1 年	2

講義のねらい

基本的な英語の読解能力とListeningの能力向上をめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

学生諸君には、毎時間、順番に各自英文の読解とListeningの練習をしてもらう。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。(正当な理由のある欠席については考慮する)

成績評価の方法

成績=(前期の成績+後期の成績)÷2  
前期、後期共、成績(100点満点)=出席点(20~30%)+テスト(70~80%)となる。

教科書

『A Guide to Effective Reading』北尾謙治著 (金星堂) 1,900円

その他

最初の授業では、詳しい説明をするので、必ず出席すること。  
水曜日 3 時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B	き も と き く こ 木 元 喜 久 子	政治 1 年	2

講義のねらい

人類は今、21世紀へ突入した。20世紀は部族間の、民族間の、そして国家間の抗争と戦争の世紀と言われている。21世紀の世界はどう動くのか。民族の動きを分析することから世界の動きを見ていくことをテーマとしたテキストを通して、21世紀世界の行方を追っていききたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストの速読、精読による内容把握の練習を通して、英語の読解力の向上を目指す。また、今や就職等の必須となったTOEICへの対策を主眼としたテストペーパーのリスニング編を使って、無理なく効果的に高得点を狙えるリスニングの実力要請をはかる。

履修上の留意点

十分な予習と授業への積極的な参加が求められる。また、授業中には英和辞典を必ず持参すること。

成績評価の方法

成績は出席率(全授業の2/3以上)、授業中の発表と、前・後期試験の結果を総合して評価する。

教科書

大橋久利 Gary Dendo (編・著)『民族で読む21世紀の世界』(成美堂)、森田勝之 野中泉 (著)『Practical Listening for TOEIC』(金星堂)

その他

水曜日 2 時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	藤井道行	政治Ⅰ年	2

講義のねらい

歴代のアメリカ大統領が今日の日本に及ぼしている直接的、間接的影響について平易な英語で書かれたテキストを読みます。あくまで日本との関わりという点に限定して記述されているので、20人もの大統領が紹介されていても、内容は整理しやすいのではないのでしょうか。

授業は、パラグラフごとの要約と質疑応答を中心に進めるつもりです。ただし、わかりにくい箇所、重要な項目については、補足資料などを読むことによって理解を深めるようにします。

成績評価の方法

前・後期末試験の出来が決め手となります。ただし、出席不良の場合は受験資格を失うことになります。注意してください。

教科書

『American Presidents and Japan Today』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	海琳泰子	政治Ⅰ年	2

講義の内容・授業スケジュール

Reading—2000年8月Parisでは、2002年EURO通貨実使用に向けて、領収書はFrFとEUROの二重表示となっていた。Nice条約により東方拡大進化しているEU。ヨーロッパ8ヶ国の祭りをビデオでたどり、ヨーロッパ文化の根源に触れたい。Listening—BBC Worldのニュースの聞き取り、新聞記事のdictation。

成績評価の方法

前、後期末試験と年間8回の小テストを実施。期末試験はいかなる理由でも、又一回でも欠試の場合は単位修得不可能。

教科書

D.Duly/丸橋/佐川編注 『Touring the Great Festivals of Europe (ビデオで周遊・ヨーロッパの祭り)』(北星堂書店) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	真砂久晃	政治Ⅰ年	2

講義のねらい

基本的な英語の読解能力とListeningの能力向上をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

学生諸君には、毎時間、順番に各自英文の読解とListeningの練習をしてもらう。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。(正当な理由のある欠席については考慮する)

成績評価の方法

成績=(前期の成績+後期の成績)÷2  
前期、後期共、成績(100点満点)=出席点(20~30%)+テスト(70~80%)となる。

教科書

『New Interactive Reader』石田雅近著 (金星堂) 1,900円

その他

最初の授業では、詳しい説明をするので、必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB	江田幸子 <small>えだ さちこ</small>	政治1年	2

講義のねらい

基礎的な文法事項を再確認し、確かなものとして修得しつつ、英語長文を読むことに慣れるのがこの授業の目的です。

英文は、文の長短にかかわらず、基本五文型（5つのセンテンス・パターン）のいずれか、又はこれらの文型の組み合わせで出来ていますが、私達の生が多様であるのに応じて、使用される言葉や語句、表現方法も多種多様になってきます。私達が英語（英文）と呼ぶものは、これ等の文型を使って様々な情報の伝達される言葉と文の総体だと言えるでしょう。

講義の内容・  
授業スケジュール

初めはテキストを精読して正確に内容を把握して行く読み方で授業を進めます。さらに音を聴いて書かれた文字はいかに発音されているのか、「耳に依る読解」も平行して行います。後半から速読に入り、英文の進行する方向に従って（左→右へ）読み流せるようになるのが目標です。そのためには文法が身につけていなければなりません。

履修上の留意点

あらゆる分野の英語（文）を読みこなせるようになりたいものです。それには英語で書かれた情報をたくさん読み、英語表現法に慣れることです。従って地味で継続的な学習が欠かせません。語学はくり返し・蓄積・反復することによって習得されていくので、「予習と出席」が大事です。綿密に辞書を調べ予習を欠かさないようにして出席して下さい。

成績評価の方法

成績評価の方法は前期と後期のクラス内平常試験（定期試験に代るもの）と、適宜クラス内で行う小テスト、及び授業中のプレゼンテーション、出欠によって総合的に評価します。平常授業内に於る努力と学習態度の積極性が非常に大切であるということを心に留めておいて下さい。

教科書

【A Guide to Effective Reading: Understanding Grammar and Paragraph】 著者：Kenji Kitao, S.Kathleen Kitao (KINSEIDO) 1,900円

# 英 語 Ⅱ A

## 〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	きつかわ なおずみ 吉 川 直 澄	法 A 2 年	2

### 講義のねらい

英語ⅠAを基礎として、より高度な英語運用能力を身につける。

### 講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本表現を復習しつつ、英語での自己表現を拡大させる。前期は、主に音声を通じて、目から覚えられていた英語表現が“運用可能”となっているかどうか確認してゆく。後期は、前期の目標を継承しつつ、可能な限りプレゼンテーションを学生諸君にしてもらう。

### 履修上の留意点

とにかく繰り返し練習すること。付属のCDは聞くだけではなく、声を出して練習するためにある。練習する場合には、英語のリズムとイントネーションを極力“模倣”するように心掛けること。

### 成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、プレゼンテーション、前期試験もしくは夏休みレポート、後期末試験を総合して評価する。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

### 教 科 書

【Let's Talk 2】 Cambridge University Press

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	お お た ま さ こ 太 田 雅 子	法 A 2 年	2

### 講義のねらい

英語のスピーキングとリスニングの力を養成することを目標とする。

### 履修上の留意点

全授業数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

### 成績評価の方法

毎回小テスト。

### 教 科 書

テキストは未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	さとう あやこ 佐藤 アヤ子	法 A 2 年	2

履修上の留意点

真面目な授業態度を求めるので出席と発表を重視する。

教科書

テキストは4月最初の授業の時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	やまもと ちよういち 山本 長一	法 A 2 年	2

講義のねらい

日本人の犯しやすい英作文上のエラーを矯正しながら、正しく、up-to-dateなネイティブの書くであろう英文を、豊富な語彙と適切な例文を参考にしつつ、英文の表現能力を高めるように努める。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、受講生に指名、アサイメントをするので、予習が肝要。

履修上の留意点

評価は①指名、アサイメント時のレスポンス②数回のショートテストによる総合評価とする。

教科書

『Writing with Idioms.』(南雲堂)  
(他に、手作りの時事英語プリント)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	ひらばやし たくろう 平林 卓郎	法 A 2 年	2

講義のねらい

基本的文法的事項の解説を中心にして、文法作文の能力を様々な問題形式を使ってマスターさせる。またListening用のテープを使って英文を聞く能力の開発をも目指す。半年間で10課を消化することを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール

あくまでも語学教育を通じて学生の主体的養成を目的とするので予習復習を徹底させる。

成績評価の方法

あくまでも前期後期の試験を中心に評点を出すが出席点や小テストも重視する。

教科書

青木庸效他『Let's write and communicate』(金星堂)  
教科書の到達目標は20課をマスターすることにする。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	<small>たかやなぎ ふみえ</small> 高柳文江	法 A 2 年	2

講義のねらい

言語とは、その言語を話す人々の文化を包括した相対的な生きた知識です。そうした知識を学ぶためには、あらゆる方面からのアプローチが必要です。この英語表現法の授業においては、Situationによる英会話をもとに英作文を学んでいきます。実際の場面での慣用表現や、それを応用した自由作文の習得をめざします。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。単位を取るためには2/3以上の出席が要求されます。前期の後半より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）：60%、日常点（出席、演習テスト等）：40%

教科書

羽鳥博愛著『作文から会話へ』（弓プレス）1,180円  
前期後半より演習ノートを使用します。（開講時に指示）

参考書等

テープ、ビデオ教材使用。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	<small>ほり ちわこ</small> 堀千和子	法 A 2 年	2

講義のねらい

豊富な語彙力を身につけて、あなたのコミュニケーション能力を高めましょう。日本語ではわかっていても英語ではなかなか言えない単語や言い回しを習得して、英語でコミュニケーションが必要な場面で、実際に使えることを目指した授業を行います。

講義の内容・授業スケジュール

授業は予習を前提として答え合せをしながらすすめます。ユニットで勉強する事柄に関連した単語や表現を毎回5-10くらい覚えてもらいます。また、インターネットやE-mail等も授業に取り入れていきます。

履修上の留意点

学生は予習を必ずして授業に臨むこと。

成績評価の方法

前・後期の期末テスト、小テスト、課題（作文、レポートなど）、授業中の貢献度（発言等）から総合的に評価します。欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の1/3以上の欠席で失格とします。

教科書

野口ジュディー『インターネットで学ぶ発信型英語』（三修社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	きたむら ひろふみ 北 村 弘 文	法 A 2 年	2

講義のねらい

普段日本にいて英語を話す機会が少ない我々は、外国人の話す英語を聞いてある程度理解はできて、英語で自分の意見を言うとなると、そう簡単ではない。ただこれも習慣の問題で、それほど深刻に考える必要はない。今、我々が英語で自分の意見を言う時、我々はまず頭に日本語が浮かび、次いでその日本語を英語に翻訳して発表する。ところが、もしこの日本語を英語に翻訳するというプロセスを省いて、一挙に頭に英語が浮かぶようにはできないだろうか？勿論それができるのです。そういう習慣を身に付ければよいわけです。

成績評価の方法

定期試験（前・後期）の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教科書

【Try America】（三修社）1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	つかもと としお 塚 本 利 男	法 A 2 年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語で自分の考えや意見を読み手に理解させるために文章構成法を学び、習得することを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストとして、『発信するパラグラフ・ライティング』を取り上げ、現実に議論や論争を巻き起こし易い問題、例えば、日本は豊かな社会か、体罰は必要か、老人介護は誰がすべきか、安楽死は許されるべきかなどの内容本文を読み、①英語の文章構成法を学ぶ②その英文を踏まえて読解と英作文を統合して演習する。以上の段階を踏みながら1回の授業の総仕上げとして、授業の最後に英作の場となるように毎回小テスト(15分～20分)を実施します。

履修上の留意点

授業は演習形式なので必ず予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小テストと前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業時での発表・小テストが50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に、平常授業を重視しますので、全授業の3分の2以上は必ず出席して下さい。

教科書

『発信するパラグラフ・ライティング』（桐原書店）1,500円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A	前期：佐藤アヤ子 後期：中尾俊光	政治 2 年	2

講義のねらい

言葉は暗記していなければ活用できません。「英語が話せるようになりたい」ということをよく耳にしますが、英語が話せるということは、それを暗記しているからです。

本授業では、すぐに役立つ英会話表現を学び、暗記することからはじめて、それらを使って自ら英語が話せる、書けるという能力を身につけることをねらいます。そのためには、学んだものを次の授業までに暗記し、書けるようにしていただきます。毎授業暗写のテストをします。

成績評価の方法

評価は毎回行なう小テスト（欠席の場合は0点になります）60%、定期試験40%とします。

教科書

テキスト 『i TRAVEL-A Ticket to Communication』 (Macmillan Languagehouse)  
他プリント

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A	木村まさとし 正俊	政治 2 年	2

講義のねらい

現代的なトピックを扱った教材を用い、多様な英語の用法を理解すると共に、コミュニケーション能力を高めるための実際的な訓練を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

使用テキストの第1課から第20課まで順次学習するが、録音テープを聞いたあと、英文の内容把握、重要構文・語法の分析、キーセンテンスの暗誦、口頭試験を行なう。各課の終了ごとにテストを行い、定着力を高めることにする。

履修上の留意点

実践的訓練を中心にするので授業への遅刻、欠席はきびしくチェックする。

成績評価の方法

平常点で評価する。すなわち、授業への出席状況、参加度、試験及びレポート等の成績などを総合して評価する。

教科書

『Reading Communicator』 (『英文読解パワーアップ講座』) (三修社) 1,800円

参考書等

教室で随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A	川股陽太郎	政治 2 年	2

講義のねらい

I Aを基礎として英語の運用能力をやしなう。

講義の内容・授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングのより高度な運用能力をする。ビデオ (VHS、DVD) 等も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表、小テスト、定期試験の成績を総合し評価する。

教科書

プリント教材を適宜配布、使用する、教科書は未定。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	やなせ こうぞう 梁 瀬 浩 三	政治 2 年	2

講義のねらい

まず第1に、基礎力の再確認する。基礎が弱い上に、新しい知識が積み上げられて、崩れてしまう危険がある。基礎をしっかり固めて進んでいきたい。

第2に英語による表現力をつけさせたい。易しい英語で、意味が伝わるよう表現すること（英作文）を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って行うが、説明と演習という形をとりたい。説明は基礎の再確認という意味で、日英語の文構造の違い、発想の違いに重点をおく。演習はテキストの練習問題を黒板に出て書くという作業になるが、これが一番大きな要素になるだろう。黒板に書かれた英語を例として、文法や英語らしさの面から検討を加えたい。

履修上の留意点

演習中心である以上、出席を重視する。総時間数の1/3以上休んだ場合は失格とする。具体的には8回以上休んだ場合、単位は認められない。予習が特に大事である。

成績評価の方法

年2回のテストを中身の濃いものにし、よく準備しなければできない内容とする。普段の授業態度、特に黒板に書く回数、予習状態などを重視し、評価の対象とする。

教 科 書

村井、メドレー他『ザ ニューアート オブ イングリッシュ コンポジション』（泰文堂）第2巻

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	かざま のりひこ 風 間 則 比 古	政治 2 年	2

講義のねらい

英語に限らず語学の勉強は‘hearing’、‘speaking’、‘reading’、‘writing’に分かれるが、ここでは主に、‘reading’を通して意味を正確に理解することを学ぶ。

成績評価の方法

評価は出席、発表、前期と後期の試験結果などを総合して決める。

教 科 書

『There's a reason for everything』（西洋故事来歴ものがたり）（マクミラン）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	こうちやま ありさ 河内山 有 佐	政治 2 年	2

講義のねらい

スピーキング、プレゼンテーション能力を育てる

講義の内容・授業スケジュール

プレゼンテーション（Show&Tell）教科書におけるダイアログの応用表現 ディスカッション

履修上の留意点

なし

成績評価の方法

出席、プレゼンテーション重視

教 科 書

『EVERYBODY'S TALKING』（マクラミン）1,748円

# 英 語 Ⅱ B

## 〈英語ⅡBの授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I Bを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	お う み あ き ひ さ 逢 見 明 久	法 A 2 年	2

### 講義のねらい

インターネットの英字新聞の記事・小説・詩・戯曲・映画など、様々な表現形式の英語に触れて、文語体と口語体の違いを確認し、音声面から口語体の表現を捉えて英語の聞き取りの力を養成することを目標にします。

### 履修上の留意点

平常点の比重が大きいため、欠席は成績表に大きく影響します。遅刻した場合、発表の機会を失うことがあるので要注意。予習は必須で、少なくとも、未知の単語は調べておくように。発言は正誤に関わらず、事前に調べてきた成果を発表できている場合は、評価します。

### 成績評価の方法

評価の割合は、平常授業での発表や受講態度、及びレポートの合計をおおよそ60%までとし、前後期の試験の結果の合計を40%とします。

### 教 科 書

随時プリントを配布しますので、テキストを購入する必要はありません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	す ず き み き こ 鈴 木 美 貴 子	法 A 2 年	2

### 講義のねらい

アメリカのキャンパスにおけるPolitical Correctness (政治的正しさ) について書かれたテキストを読むことによって、人種・性による差別のない真の平等とは何かを考えながら英文の読解力を伸ばしていただきたい。また随時こちらで用意したプリントを読んでいただき時事英語に触れると共に速読力を高めていただきたい。

### 履修上の留意点

読み応えのあるテキストのため予習が不可欠である。

### 成績評価の方法

出席状況、前・後期試験により総合的に評価する。

### 教 科 書

Jane Barrnes Mack 『Political Correctness on College Campuses キャンパスのPC』  
(弓プレス) 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	はやし あ き と 林 明 人	法 A 2 年	2

### 講義の内容・ 授業スケジュール

この授業は精読を通し、未知の語を含んだ長文であっても何とか文の要素を把握できるようになることを目的とする。自らの英語の知識を駆使し、長文を解読することが、まるで推理小説を読むようにスリリングだと実感できるようになります。あらかじめ各ユニットの試訳を皆さんに提出してもらい、質問をしながら授業を行います。

### 成績評価の方法

前・後期の定期試験、ユニットの試訳、小テスト、出席の総合評価。

### 教 科 書

『「タイム」を読む』(英宝社) 1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	井伊順彦	法 A 2 年	2

講義のねらい

現代アメリカの文化に関する歯ごたえのある文章によって読解力をきたえるとともに、アメリカの光と影を認識する。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テープを用いて相当量の英文を聞かせる。耳も手も快い疲労(?)をおぼえるだろう。和文英訳も少しだがおこなう。

履修上の留意点

各授業で相当数に何らかの形で答えてもらい、それを平常活動とする。なお、リーディングに関して、精読にするか多読にするかは、学生諸君の適性を見て決める。

成績評価の方法

数回の小テスト、平常活動、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。

教科書

『Snapshot USA』(『現代アメリカの洞察』)(金星堂)1,850円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	杉村初枝	法 A 2 年	2

講義のねらい

IBを基礎として、読む速度をあげながら、大意の把握と正確な英文読解ができるよう、出来るだけ多くの量を読んで行くことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

毎回初めに予習復習の確認のための小テストを行います。授業は発表を中心に進めます。発表時には同時にレポートの提出が課せられます。

履修上の留意点

出席数が全授業の3分の2に満たない場合には成績評価の対象となりません。出欠の確認は、授業の初めに行う小テストの提出により行いますので、遅刻をしないよう気をつけて下さい。

成績評価の方法

成績評価は、小テスト、授業時の発表、レポート(年間10回程度)、夏期レポートにもとづいて行います。

教科書

テキストは開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	平林卓郎	法 A 2 年	2

講義のねらい

授業はあくまで学生の語学の授業を通じて主体性の養成を目的とするので各自予習、復習をさせ授業がスムーズにゆくよう努力させる。

講義の内容・授業スケジュール

地球環境問題をはじめとして現代の我々をとりまく問題について勉強する。Readingの部分をもっと徹底的に理解するために各章ごとにExercise(問題)がついており、Listeningの勉強も含まれている。文法・作文も同時に重点を置いた教科書である。

成績評価の方法

あくまでも前後期の試験を中心に評価を出す。時に小テストを含むが出席点をも特に重視する。

教科書

John H Randl 他『GLOBOL ISSUES TODAY』(成美堂)

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	<small>な か ば や し ま さ み</small> 中 林 正 身	法 A 2 年	2

講義のねらい

多くの量の英文を読めるように、大意の把握に心がけるリーディングをしていく。

講義の内容・授業スケジュール

一冊の長編小説を一年かけて読むようなことはしないで、一回乃至は二回の授業で読み終わるくらいの長さレベルの英文をできるだけ数多く読んでいきたい。従って、従来諸君の多くが経験してきたであろう逐語訳をしながらの輪読形式は採らない。とにかく英文を皆で順番にドンドン読んでいく。質問があれば僕がそれに答え、ときには僕のほうから諸君に質問をする。互いに質問がなければ、ひたすらに読み進む。

成績評価の方法

出席状況と授業への参加態度、そして各期末試験を総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指示する。

参考書等

『Collins Cobuild English Dictionary』

その他

授業は演習形式で行なう。従って学生諸君の毎回の授業への参加態度は重視される。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	<small>い で こう い ち</small> 井 出 功 一	法 A 2 年	2

講義のねらい

テキストは『巨視的な立場での経済学入門』とでも訳すべき教材で、人々のくらしは個人だけでなく、'Everybody'との関わりの中で動いているという趣旨で書かれている。

講義の内容・授業スケジュール

内容は『価格、賃金、所得、税金・・・』などを人間にとっての立場で描いてある。ラーナー氏はミシガン大学の教授で、とくに「機能財政学」では屈指の学者である。

なお、テキストの英文は平易な上にも味のある表現に溢れ、英作文、英文法の力をつけるにも絶好なモデルである。

また、英語の表現力を養うため、情報化社会に向けて書かれた文法書も使う予定。

履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教科書

『Everybody's Business (みんなの経済)』(南雲堂)  
『新しい学習英文法』(研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	<small>か ざ ま の り ひ こ</small> 風 間 則 比 古	法 A 2 年	2

講義のねらい

英語に限らず語学の勉強は'hearing'、'speaking'、'reading'、'writing'に分かれるが、ここでは主に'reading'を通して意味を正確に理解することを学ぶ。

成績評価の方法

評価は出席、発表、前期と後期の試験結果などを総合して決める。

教科書

テキスト、『Prosperous Life』(豊かな生活) (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	まきのてるよし 牧野輝良	政治 2 年	2

講義のねらい

IBの授業より難しい英文の内容把握の訓練を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

内容把握のため、重要な構文、慣用句、単語を正確に習得する。そのために小テストを多く行う。

履修上の留意点

学生はよく自習しておき、指名されたら答えられるように心掛けておくこと。毎時間の練習問題は解答し、全員提出すること。

成績評価の方法

成績評価は授業中の成績、小テスト、レポート、期末テスト等を総合して行う。

教科書

伊藤秀一注『ケンブリッジ プラクティカル・リーディング』（朝日出版社1,262円＋税）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	やそぎひろゆき 八十木裕幸	政治 2 年	2

講義のねらい

日本と海外の社会問題を取り上げ、それらに対する学習者の認識・知識を深めながら、英語力を養成することを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

比較文化、国際社会に共通する問題、わが国の社会問題の特質、アメリカの社会問題などを取り上げます。プリントでは英字新聞に出でくるその時々政治問題などを読解します。リスニング訓練としてヒットソングを取り入れながら授業を進めます。

履修上の留意点

指名しながら授業を進めますので予習を必ず実行してください。

成績評価の方法

前期後期テスト、小テスト、レポート、出席状況（1回欠席－5点減点）などを総合して評価します。

教科書

西本徹『BOTH SIDES NOW』（成美堂） 1,700円（税別）  
プリント

参考書等

授業時に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	いわやまよしはる 岩山義春	政治 2 年	2

講義のねらい

米国で話題となった10冊の本（文化論）を解説したテキストを読みます。この本を通して、米国の悩みは決して米国だけのものではないことを学んで欲しい。

履修上の留意点

あらかじめ予習をやってくること。毎回の授業、できるだけ全員に訳してもらう。

成績評価の方法

全評価のうち、毎回訳してもらうのが50%、前・後期末試験が50%となる。出席が全授業の3分の2に満たない場合は不合格とします。

教科書

『Books As Opinion Makers』（松柏社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	はぎわら 萩原 輝	政治 2 年	2

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、自分の考えや意見を、英語で表現出来る能力の習得を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

4月から6月は、“Happiness”と“Money”と“Work”についての章を学ぶ。7月は前期のまとめと、前期試験を実施。9月から12月は、“Love and Hate”と“Humor and Laughter”と“Experience”についての章を学ぶ。1月は後期試験を実施する。

履修上の留意点

いつでも自分の考えや意見を英語で表現出来るようにするために、自主的に勉強する態度を身に付けて欲しい。なお、教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果、等の総合評価。

教科書

Jim Knudsen著『名句で英語を学ぶ』（南雲堂）1,957円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	はなわ 埴 美智子	政治 2 年	2

講義のねらい

より高度な構文の理解とスピード・リーディングの基礎を身につけていく。そのために出来るだけ多くの英文を読み大意の把握に心がけ読む速度とあげていく。更により高度な英文を正確に理解するために多くの構文も習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

外国語学習は発音、単語、文法の習得と考えるが、外国語学習のもう一つの大切な面、その言語の背景を成す文化全般に関する広い知識の吸収が意外に見落とされている。そこで文化的な知識や意味の重要性に目を開き、ことばと文化の問題に興味を覚え、かつ文化的なギャップを埋める様な学習法を確立していく。内容豊かな英文の中から多くの文化的常識を取り入れ英文を正確に理解するための構文も学習していく。

履修上の留意点

必ず復習し又予習もしておく。

成績評価の方法

出席率、普段の授業態度、小テスト、前・後期試験等の総合評価で行う。

教科書

『The background of English』  
by Joan McConnell『英語の常識』編注 雨宮剛（成美堂）

参考書等

必要に応じて黒板に板書きする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	いせむら さだお 伊勢村 定 雄	政 治 2 年	2

講義のねらい	主としてReadingの基本である辞書のひき方と英語の読み方（音読）をやる。
講義の内容・ 授業スケジュール	各レッスンを音読と訳読をくり返す。その中で、発音の仕方、意味のとり方などを考えてもらう。
履修上の留意点	辞書は必ず持参し、予習も必ずすること。
成績評価の方法	主としてペーパーテストと授業態度による。
教 科 書	Setsuko Watanabe他、『インターネットで世界旅行』（南雲堂）1,800円
参 考 書 等	中型英和辞典
そ の 他	1時限目に詳細は説明するので必ず出席のこと。

# 英 語 II D

## <英語 II D の授業内容と履修上の留意点>

専門学部に応じた英語のテキストを用いおこなう講読の授業です。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II D	まきの てるよし 牧 野 輝 良	法 A 2 年	2

### 講義のねらい

専門分野の原書講読にそなえて、長文読解の訓練をする。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業は予習・復習を前提とした発表形式によって行なう。

### 履修上の留意点

受講者はよく自習し、指名されたら答えられるように心がけておくこと。

### 成績評価の方法

成績評価は授業中の読解力のチェックとレポート、テスト等の総合による。

### 教 科 書

神保尚武注 『真の国際化とは』 (成美堂) 980円+税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II D	い わ や た ま え 岩 屋 玉 江	法 A 2 年	2

### 講義のねらい

再履修クラスとの合併なので、英語が苦手な学生が多いと思います。それだけに肩のこらないテキストを選びました。構文や慣用語区などに注意を払いながら、基礎的な英語力の充実を心がけたいと思います。

### 履修上の留意点

授業は演習方式でおこないますので、十分に予習をして臨んでください。出席を重視します。

### 成績評価の方法

出席および演習への参加状況、定期試験を評定の材料にします。

### 教 科 書

『Stories behind English Words』 (成美堂) 980円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II D	た か み よ う こ 高 見 陽 子	法 A 2 年	2

### 講義のねらい

法律に関する語彙を学び、英文を的確に速く読む力を伸ばすことを目標とします。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

専門用語とそれを用いた表現をテキストでしっかり覚えることを授業の目的とし、講読用のプリントでまとまった量の英文を読む機会をつくります。

### 成績評価の方法

前・後期試験をベースに、授業での積極性や小テスト等の課題を平常点として加え、総合的に評価します。なお、前授業回数の3分の2以上の出席が必要です。

### 教 科 書

ニコラ・チャールズ, ジャニス・ジェイムズ著, 高畑哲男 編 『Know Your Law (くらしの法律小百科: Q&A)』 (南雲堂) 1,600円 テキストの他プリントを使用。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡD	かわさき こうたろう 川 崎 浩太郎	法 A 2 年	2

講義のねらい

法を学ぶものにとって、最近の国内外の情勢——例えば、IT、クローン、環境などの諸問題に関連した法的問題等——に精通していることが必要不可欠となってくる。本講義においては、ここ数年の新聞記事等を読むことを通して、広範な分野にまたがる語彙力を増強し、より早く多く、かつ正確に読めるようになることを目標とする。毎時間全員に発表してもらうので予習は不可欠である。

また、TOEFL、TOEICの問題なども取り入れていきたい。

履修上の留意点

毎時間必ず辞書を持ってくること。

成績評価の方法

前期レポート・後期試験50%、出席点、授業中の発表50%、全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

馬場彰 佐藤和哉 著 『2002/2003Current English』 (成美堂) 1,700円 (税別)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡD	そうま よしあき 相 馬 美 明	法 A 2 年	2

講義のねらい

これまで培ってきた英語力を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。教科書の読解を通じ、精読、多読の両面から、英語そして日本語訳に対する理解を深める。また、種々の検定試験対策として、適宜TOEICのリスニング・セクションの問題等にも触れ聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

全授業日数の2/3以上の出席を基本とし、前期・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を含め総合的に評価する。

教科書

Mituko Sugawara 『10-Minute Listening(Introductory)』(桐原書店) 780円  
和田晋…大東俊…他 『Your Access To The Future (国際社会へ英語でアクセス)』  
(南雲堂 フェニックス) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡD	たなか たもつ 田 中 保	法 A 2 年	2

講義のねらい

英文の読解力を養成する。英文を正確に理解し、要約・解釈できる力を身につけることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は予習・復習を前提とした発表形式によって行なう。

成績評価の方法

成績評価の方法は、以下の項目を総合的に検討して評価する。

1. 授業時の発表
2. 前期・後期の筆記試験
3. 出席状況
4. 授業態度

教科書

『新聞の英語——2002年度版』(Newspaper English 2002 Edition) (朝日出版社)1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡD	いわなが よしえ 岩 永 祥 恵	法 A 2 年	2

講義のねらい

本クラスでは文法事項の復習に重点を置きつつ、専門分野を扱うテキストを通して、法学に対する基礎知識をはじめ、背景となる文化的側面にも考慮したい。また、効果的なテキスト理解のために適宜リスニング等の練習も取り入れる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

専門分野を扱うテキストを読む。内容をより速く正確に読み取るためにリーディングの効果的な方法を模索しつつ、できるだけ多くの文章に接する。場合によりグループでの発表、討論に発展させる。

履修上の留意点

毎回の授業への積極的な参加。辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席、予習、授業参加、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。詳細は開講時に指示する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡD	おがさわら りゅうげん 小 笠 原 隆 元	法 A 2 年	2

講義のねらい

日本語を母国語とする我々が英語を学ぶので、両言語の特質を知り、その背景文化、歴史等に配慮して話を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では法学・社会科学系の英文を講読して、その内容について論評できるように心がけたい。年間数回のレポート提出を指示します。

履修上の留意点

初回時に教場で諸資料を配布し、実力考査を実施、テキスト・参考書・読書本等々について指示します。必ず出席してください。

成績評価の方法

成績は総合的評価

教科書

テキストは『民族で読む21世紀の世界』（成美堂） 1,700円  
他にプリントコピーを適宜配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡD	やそぎ ひろゆき 八 十 木 裕 幸	法 A 2 年	2

講義のねらい

日本と海外の社会問題から認識、知識を深めながら英語力を養成することを目的とします。またプリントでは政治、経済、法律に関する事柄を報道英語から取り出し読解力の滋養を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

国際社会共通の問題をテキストを通して読解し、さらにプリントでその時々の世界情勢を英語報道から引用し要約してもらいながら授業を進めます。

履修上の留意点

指名しながら演習方式で授業を進めますので予習を確実に実行してください。

成績評価の方法

前期・後期テスト、小テスト、レポート、出席状況（1回欠席－5点減点）などを総合的に判断して評価します。

教科書

西本徹『BOTH SIDES NOW』（成美堂） 1,700円（税別）  
プリント

参考書等

授業時に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡD	丹 治 弘 昌 <small>た ん じ ひ ろ ま さ</small>	法 A 2 年	2

講義のねらい

具体的には教場にて指定します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡD	三 芳 康 義 <small>み よ し や す よ し</small>	法 A 2 年	2

講義のねらい

この科目の目的は、今日の激動の時代を予感させる衝動的な事件や出来事が起き始めた、国内外の情勢を的確にとらえた時事的な英文を読みこなすことにあります。こうしたニュース記事を読みこなすことにあります。こうしたニュース記事を読むためには、時代をとらえるアンテナを常に鋭敏にしておくこととその言外の意味するところをしっかりと把握することが大事になります。

履修上の留意点

授業は、予習を前提とし、読解力をつけるために段落ごとの単位で精読し、徐々に全体の容姿をつかむことを重視します。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、レポート、全・後期試験の結果などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書

馬場彰・佐藤和哉著 『Current English——2002/2003 Edition——』（成美堂） 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡD	町 田 尚 子 <small>ま ち だ な お こ</small>	法 A 2 年	2

講義のねらい

海外の英語新聞から法律や政治の問題を扱った最新の報道記事、特集記事、論説・社説を選び、メディアの英語に習熟し、内容の正確な理解を第一目標とします。さらに問題点の要約と、自らの見解をまとめる段階に進みます。また、複数のメディアを読み比べ、同じ出来事の報道がどのように異なっているか比較してみます。Nytimes, washingtonpost, guardian, straitstimesなどのウェブサイトの電子記事を利用します。

講義の内容・  
授業スケジュール

4・5・6月：報道記事の英語文体に習熟し、速読できるようになる。見出しの文法、同格表現、言い換え(パラフレイズ)、分詞構文、関係節、従属節などスペース上求められる、構文特長の理解を徹底する。

9・10・11月：特集記事、論説、社説の英語理解へと進み、論の展開の仕方に注目し、自らの見解をまとめる。

履修上の留意点

記事・社説を担当し、要約を発表する演習形式で授業を進めます。常日頃、邦文報道記事によく接していること、予習と疑問・問題点をもって毎授業に臨む姿勢を前提とします。テキスト教材はすべてプリントコピーで準備し、前もって教場で渡します。

成績評価の方法

平常授業での発表を重視し、前期(中間)・後期末(定期)試験結果と同等の扱いで評価点を出します。

教科書

プリント

参考書等

『時事ニューズワード2002→2003』（時事通信社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡD	にしだ よしかず 西 田 義 和	政治 2 年	2

講義のねらい

読解力の向上を第一の目的とする。英語の文章をその流れに沿って読んでゆく。原文をやたらに分解したり、後ろのほうからひっくり返ったりして解釈するのではなく、いわば日本語の場合と同じように、読みながら意味をとり、意味を取りながら読んでゆく姿勢を身につけるようにする。これらをこなすためには予習が大切である。それは単に知らない単語の意味を辞書で調べることではなく、そこに書かれていることを完全にマスターすることである。その一つとして少なくとも5回以上は声を出して読む練習をしていく必要がある。

成績評価の方法

授業中における発表、レポート、前・後期の定期試験などを総合的に判断して評価する。ただし、原則として平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

開講時に指示する。

その他

上記にあげたことを最初の授業でさらに詳しく説明するので必ず出席するように。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡD	ほんま としかず 本 間 俊 一	政治 2 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

近年の情報革命はかつてない様相を呈し、ITやE-Mali, ECなどによってinternationalという言葉ではなくglobalという言葉で世界を説明しなければならない時代に突入した。このような時代にあって英語教育の世界も極めて刺激的な段階に至ったように思える。ある意味では、変革期は混乱を生み出すことにもなるのだが、私はこれらのNew Media を学習の動機づけととらえ、今日的话题を提供するつもりである。学生諸氏も、これを機会にコンピューター・ネットワークに習熟することが望まれる。

成績評価の方法

前期・後期の二回のテストと不定期に要求されるレポートによって評価される。又、普段の出席回数、授業中の発表も加味される。

教科書

『Let's Enjoy Economics』(南雲堂) 1,957円

その他

土曜日1時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡD	もりた たかみつ 森 田 隆 光	政治 2 年	2

講義のねらい

このクラスは英語ⅡDの再履修のクラスと合併ですが、授業はⅡDに適した内容になることは、勿論です。特に法学部政治学科の学生諸君にとって120%満足感を与える講義を行ってゆきます。教科書の内容は欧米の政治学者達が、著作したものを使用する予定です。非常に学生諸君には満足していただけたと思います。大学院に進む学生諸君は是非この講座を履修されることを希望します。また徹底的に英文でレポートが作製できるようにします。まずクラスの説明会に出席して下さい。

成績評価の方法

前期、後期の試験  
レポート年1回(英文にて)

教科書

開講時指示

その他

年3回まで(欠席回数)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD	あさかわ まき 朝川 真紀	政治 2 年	2

講義のねらい

日常生活で出合いがちな民事トラブルを法律相談の形で読んでいく。専門用語やキーワードをチェックした上で、聴き取りや作文問題も取り入れ、総合的に専門的英語力を身につけていく。

成績評価の方法

評価は出席、平常点30%、レポート20%、前期後期試験50%とする。出席が3分の2に満たない者は不合格とする。

教科書

テキスト『くらしの法律小百科Q&A』（南雲堂）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD	ほんま としかず 本間 俊一	政治 2 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

近年の情報革命はかつてない様相を呈し、ITやE-Mail、ECなどによってinternationalという言葉ではなくglobalという言葉で世界を説明しなければならない時代に突入した。このような時代にあつて英語教育の世界も極めて刺激的な段階に至ったように思える。ある意味では、変革期は混乱を生み出すことにもなるのだが、私はこれらのNew Media を学習の動機づけととらえ、今日的な話題を提供するつもりである。学生諸氏も、これを機会にコンピューター・ネットワークに習熟することが望まれる。

成績評価の方法

前期・後期の二回のテストと不定期に要求されるレポートによって評価される。又、普段の出席回数、授業中の発表も加味される。

教科書

『ライフスタイルとニュービジネス』（成美堂）1,600円

その他

土曜日2時限

# 英 会 話 I

## <英会話 I の授業内容と履修上の留意点>

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL のスコア 450 点、TOEIC のスコア 500 点程度。I A の振り替え選択科目です。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	コブレマッキー, D. S.	法 A・政治 1 年	2

### 講義のねらい

To develop the students' ability to understand and use spoken English in everyday contexts.

### 講義の内容・ 授業スケジュール

April: Introductions, greetings, asking for information  
Talking and asking about families

May: Asking about and describing people  
Asking and answering questions about personal history  
Review  
Test

June: Welcoming, making offers, accepting & refusing  
Asking about and telling prices, paying for goods  
Asking about & identifying locations (inside), giving directions  
Describing procedures, narrating a sequence

July: Review  
Test

September: Routines & schedules, telling time  
Ordering food & drink, asking for information

October: Inviting, making excuses  
Making suggestions, talking about the weather  
Review  
Test

November: Likes & Dislikes, gift giving  
Suggestions, objections  
Describing people & jobs  
Asking & talking about past events

December: Review  
Test

January: Presentations & Discussion

### 履修上の留意点

Must be active learners, using English individually, in pairs, and in groups. Weekly use of internet resources will also be required.

### 成績評価の方法

Students will be assessed by homework, interview, role-play simulations and written tests. There will be two formal tests each semester.

### 教 科 書

The main text used will be 『Expressions: Book 1』, by David Nunan, published by Heinle & Heinle Cam (price apx. ¥2,400). Students will also need acquire the accompanying cassette tapes or CD.

### 参 考 書 等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅰ	ウェルズ, J. K.	法 A・政治1年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

WELCOME to my class! The following is an example of my class.

- ・ quizzes 25%
- ・ tests 25%
- ・ attendance 50%

Assignments will be given weekly, with emphasis on group or pairwork.

No one will be able to miss more than 3 classes.

Let's have fun !

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅰ	ソルタ, P. N. F	法 A・政治1年	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates, who have studied English for six years in secondary school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communication in natural spoken English. The course builds up students' speaking and listening skills, and improves their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・  
授業スケジュール

A textbook and a workbook, each with 15 units, and the instructors worksheets, will be used as sources of classroom material. The course is based on the belief that language acquisition requires a lot of practical experience in using the language, and cannot be achieved by studying about it. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening practice. Students will usually do exercises with another student (this is called pairwork) to give all students the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at secondary school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be a prerequisite for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam(30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year(40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教 科 書

『Communicate:Book 1a』 / David Paul / Macmillan LanguageHouse. 『Student's Book 1a』 (¥1,230)& 『Workbook 1a』 (¥880).

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	デンドウ, G.	法 A・政治 1年	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week. Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his / her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教科書

No text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ハバード, W. D.	法 A・政治 1年	2

講義のねらい

Goal: students are expected to acquire a basic ability to express themselves in day to day conversations.

講義の内容・授業スケジュール

This course includes oral/listening practice, role playing, pair practice, question and answer work, opportunities to exchange opinions and share information as well as other activities to improve student conversations skills in expressing topics of various interests.

履修上の留意点

Requirements: This is an introductory course for students who are not used to conversing in English.

成績評価の方法

Grading: Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests.

教科書

『i Talk』 by Dale Fuller and Timothy Kiggell, Macmillan Language House, Tokyo (I also request a copy teacher's manual and textbook cassette for myself)



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	ジトウィッツ, P. D.	法 A・政治1年	2

講義のねらい

English I is designed to give students confidence in speaking English. This will be done by giving students practice in every day English speaking situations and with intensive listening practice. Basic structures in conversation, vocabulary acquisition, and listening skills will be stressed. These exercises should make students better English communicators.

履修上の留意点

Students are expected to come to class weekly and four absences in one semester will result in failure.

成績評価の方法

Textbook-Students will be given a variety of handouts to give them practice in listening, speaking, reading and writing. They will also have the opportunity to gain access to the instructor's English language practice web site.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	プラスキー, J. C.	法 A・政治1年	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to reach a basic level of oral proficiency about topics with which they are familiar.

講義の内容・  
授業スケジュール

Basic grammar will be reviewed in a communicative context. Vocabulary development will be introduced through speaking activities primarily with other students. Pronunciation, intonation and listening practice will be incorporated through dictation exercises and tapes/CDs.

履修上の留意点

Conversations will be practiced with other students through pair discussions and dialogues.

成績評価の方法

Assessment will be a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%).

教 科 書

None.

# 英語 LL I

外国語

## 〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階LL教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFLのスコア450点、TOEICのスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。I Aの振り替え選択科目なので、各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 LL I	甲 斐 捷 子 か い か つ こ	法 A・政治1年	2

### 講義の内容・ 授業スケジュール

テキストは日本人の留学生がアメリカの家庭、教育現場を通してアメリカ社会に馴染んでゆく過程を写したビデオ教材です。様々な意思伝達の現場をビデオで見ながらコミュニケーションのための英語運用能力を高めることを目的とします。徹底的に「聞き」「話す」授業の中で、基本的な発音の矯正も適宜行います。

### 履修上の留意点

授業としては週1回ですが、練習科目の成否は学習量で決まりますから、最低週2回は、LL自習室で復習して下さい。また1単元終了時には小テストを行います。

### 成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

### 教科書

『Viva! San Francisco』（マクミランランゲージハウス） 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 LL I	埜 美 智 子 はなわ みちこ	法 A・政治1年	2

### 講義のねらい

英語の実力の養成に関して口頭によるコミュニケーションの重要性が指摘されている。聞き、話す能力が要求されているのである。本LL教室ではリスニングの力をつけると共に英語の発音等を徹底的に練習し明確な英語を話すことを目的とする。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

単語の発音、アクセント、イントネーション等を重点的に取り入れ練習問題等をこなしていく。ヒアリング能力を高めるため日常的な会話を取り入れ簡単な文章の暗記、口頭練習を通して英語に慣れていく。

### 履修上の留意点

テキストは忘れないこと。必ず復習を行う。テープに入れた音等を家でも聞き、声に出して練習する。

### 成績評価の方法

出席率、普段の授業態度、小テスト、前・後期試験等の総合評価で行う。

### 教科書

『Perfect Listening』（パーフェクト・リスニング）-TOEICテスト対応問題付-（朝日出版）2,000円

### 参考書等

日常的な情景を集めた会話のビデオを見てヒアリング・オーラル・プラクティスを数多くこなすためにプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLI	にしむら ゆうこ 西村 祐子	法A・政治1年	2

講義のねらい

基本的な表現をつかっても「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみることから始める。後期は日常のスピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。英語と日本語を半分程度づつ用いるが、後期にはほとんどの授業を英語ですすめるようになる。英検2級程度の実力獲得をめざす。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。  
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピューター教場の使用の際にも必要なので、事前におこなっておく。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出がある。電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

参考書等

サバイバルイングリッシュ（朝日出版）1、2をおもに使用するが、特に購入しなくともよい。  
使用ビデオGrapevine1,2,3、Survival English1,2、など

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLI	かとう さわこ 加藤 佐和子	法A・政治1年	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEICスコア500を目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを1Lesson進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度等で評価する。

教科書

『アメリカ英語の発音教本』（研究社）  
『10分間TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLI	なかばやし まさみ 中 林 正 身	法A・政治1年	2

講義のねらい

英語の発音、アクセント、イントネーション等の理解と習得。ほくたちが母語である日本語を習得してきたのと同じように、このクラスでは音声技能（リスニングとスピーキング）の習得に眼目を置く。英語の母音や子音の正しい発音を身につけて、英語の基本的な音を正しく発音できるようになり、また正しく聞き分けることができるようになってもらうことがこのクラスの第一のねらいである。第二のねらいは、多量の英語を聞き取り、リスニング能力を増強させることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、英語の特徴を掴みながら、とくにフレーズ、文章などのリスニングを重点的にやってもらう。この作業のなかで学生諸君他人には、日本語のアクセントはピッチ・アクセントであるのに対して、英語のアクセントはストレス・アクセントであるとか、日本語が各音節をほぼ等しい時間で発音することによってリズムをつくる言語であるのに対して、英語はほぼ等しい間隔でストレスを置くことによってリズムをつくる言語であるというようなことを実体験とおして知ってもらう。後期には、とにかく多種多様の英語をドンドン聞いて、英語の音に慣れてもらう。

履修上の留意点

上述したような能力をつけるためには、週に一回の授業では当然不十分である。従って諸君には何らかの課題を毎週課し、翌週の授業までの一週間に家などでその課題のためにそれ相応の時間を割いてもらうことになることを覚悟してもらいたい。そして、その結果を確認するためのテストを毎週行うつもりである。授業時間外での復習は必須である。

成績評価の方法

出席状況と授業への参加態度と毎回の確認テストを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指示する。

参考書等

最初の授業時に指示する。

その他

家庭やLL自習室を利用しての予習復習は、毎週課せられることを認識して履修してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLI	く ぼ ひ さ こ 久 保 ひ さ 子	法A・政治1年	2

講義のねらい

レクチュアが、聞き取れ、ディスカッションできる程度をめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。スピーチやビデオやディスカッションも含む。

履修上の留意点

LL授業は、ラボによる実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習点

教科書

World Times of Japan 【Michigan Action English Step 6】

## 英 会 話 II

### 〈英会話IIの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Iのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコア480点、TOEICのスコア700点程度。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。英語II Dの振り替え科目として選択できます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話II	プラスキー, J. C.	法A・政治2年	2

#### 講義のねらい

The goal of this course is for students to express themselves in a range of situations beyond the most basic level.

#### 講義の内容・授業スケジュール

Grammar will be presented in a communicative context. Getting the main idea, guessing vocabulary from context and drawing inferences will be practiced through speaking activities primarily with other students. Pronunciation, intonation and listening practice will be incorporated through dictation exercises and tapes/CDs.

#### 履修上の留意点

Conversations will be practiced with other students through pair discussions and dialogues.

#### 成績評価の方法

Assessment will be a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%).

#### 教 科 書

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話II	ジトウィッツ, P. D.	法A・政治2年	2

#### 講義のねらい

English 2 is designed to give students additional practice in basic conversational forms and to extend their range to more advanced conversational and social situations. Students will be expected to positively participate in class and prepare group presentations along with role-playing, debating, an oral interpretation. Students will also see short passages from films and be responsible for practicing short dialogs that have been taken from these films.

#### 履修上の留意点

Students are expected to come to class weekly and four absences in one semester will result in failure.

#### 教 科 書

Textbook. - "Hit Parade Listening"-Macmillan Language House, 1998, Nobuhiro Kumai, Stephen Timson and a wide variety of instructor's handouts/instructors.

They will also have the opportunity to gain access to the instructor's English language practice web site.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅱ (夏季集中)	ピアス, D. M.	法A・政治2年	2

講義のねらい

Elementary and Intermediate students would do well to master an ordinary conversational ability in this class. Students will spend most of the class time talking to each other in pairs or groups; it would be good to take this class together with a friend. Students will sit together with companions who have a similar degree of English ability, since English conversation is learned most quickly by practicing with people who have equal ability.

Part of the class time will be devoted to TOEFL grammar and listening comprehension problems so that students may get high scores in TOEFL and TOEIC tests. English composition will also be taught with a view to giving students an intuitive sense of how a good English sentence should sound. Learning composition will not consist of studying grammar or translating sentences. Advanced practice in listening comprehension will be conducted through short lectures on the different ways that Americans and Japanese think about work, money, marriage, politics, friendship, etc. The entire course is carefully organized and programmed in our textbook, which will be explained at the commencement of classes.

授業日程  
英会話Ⅱ

前半								後半							
	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○		8月20日	火						
8月2日	金	○	○	○	○	○		8月21日	水						
8月5日	月	○	○	○	○	○		8月22日	木						
8月6日	火	○	○	○	○	○		8月23日	金						
8月7日	水	○	○	○	○	○		8月26日	月						
8月8日	木	○	○	○	○	○		8月27日	火						

# 英 語 L L II

## 〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英研準1級合格、TOEFL のスコア480点、TOEIC のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時間を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL II	にしむら ゆうこ 西 村 祐 子	法 A・政治2年	2

### 講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベル I を終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベル II ではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700程度。難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

### 履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。  
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ (90分程度) をもってくる

### 成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

### 教 科 書

『Headway (pre-intermediate)』 Oxford Univ. Press.

### 参 考 書 等

使用ビデオ：Headway (elementary)、および (pre-intermediate)、その他。(いずれも本学 LL 事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLⅡ	ま ち だ な お こ 町 田 尚 子	法A・政治2年	2

講義のねらい

初級程度のLL授業履修済み、または未履修の場合、英検2級程度の英語力のある学生を対象に、TOEIC, TOEFLのテストに備えた聴解力と表現力の上達を目指すコースです。

講義の内容・授業スケジュール

4, 5月：ビデオテープを用い、TOEICの基本的な練習問題による復習。  
 6月と7月第1週：TOEIC スコア700程度を目指した聞き取り練習（添削指導）。  
 7月第2・3週：TOEICリスニング模擬テスト。  
 9, 10月：TOEFLのテスト用練習問題の添削指導。  
 11, 12月：パラフレイズ、含意、文脈による英文理解と表現力の向上。  
 1月9日（最終授業日）：テスト

履修上の留意点

Emailで連絡・添削等をするので、自習室(KOMANet)あるいは自宅のメールアドレスがあること。

成績評価の方法

毎授業のテストと最終テストで評価点を出示します。

教科書

LL事務室備付けの教材『Basic Skills and Strategies』『English Master Box (1)(2)』  
 『Cambridge Preparations for the TOEFL Test』等を使用します。

参考書等

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLⅡ	お お た ま さ こ 太 田 雅 子	法A・政治2年	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教科書

プリント教材  
 テキストは未定



〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA	<small>かわかみ かずひと</small> 河上 和史	法A・政治1年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずです。知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。

授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。

教 科 書

「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA	<small>ももずみ いさむ</small> 百 濟 勇	法A・政治1年	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。初めてドイツ語を学ぶ学生が多いと思うが、毎回、出席すること。

成績評価の方法

原則として、毎時間、小テストを行う。それゆえに期末試験は、行わない。

教 科 書

中村浩平、中村仁、『コンパクト10』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB	<small>いづか きみお</small> 飯 塚 公 夫	法A・政治1年	2

講義のねらい

ドイツ語及びドイツ文化に親しみをもつこと。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法を簡単に説明してから、教科書の文章の理解と読み（発音）に取り組みます。

履修上の留意点

まじめであること。

成績評価の方法

前後期の試験及び平常点。

教 科 書

小川さくえ他著『はじめてのドイツ語コミュニケーション』（白水社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠB	しばのひろこ 柴野博子	法A・政治1年	2

講義のねらい

ドイツ語の学習を通して、ドイツの文化にも触れる授業にしたいと思っています。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

小塩 節『ドイツ こころの旅』(朝日出版社) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠC(会話)	まつおか 松岡晋	13以前入学生/法A・政治1年	2

講義のねらい

初級ドイツ語会話の授業です。ドイツ語の発音規則の説明・練習から始め、基本的パターンの学習を積み重ねて、一年後には自分に関する事柄をドイツ語で述べるできるようになり、日常的によくある状況にもドイツ語で対応できるようになれば、と考えております。

講義の内容・授業スケジュール

授業は教科書欄に掲げられる教科書に基づいて行われます。口頭練習のほか、カセットテープを用いたのヒアリング訓練もほぼ毎回行います。

履修上の留意点

会話のクラスですので、毎回出席して口頭練習することが出発点となります。是非とも定期的に出席するように！また、教科書はCD付きですので、それを用いた自学自習も求められます。

成績評価の方法

成績評価は、学期末その他に行われる口頭試験および平常点(定期的に出席して、口頭練習に積極的に参加しているかどうか等々)によって行います。

教科書

筑和正格ほか著『ドイツ語・インターアクティブVer. 2』(郁文堂) 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	やぶしたこういち 藪下 紘一	政治2年	2

講義のねらい

中級文法を学びましょう。

成績評価の方法

成績は普段教室で、皆さんに発表してもらった平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教科書

M. Ferenbach u.B. Noonan『中級文法読本ドイツ語を読む』(朝日出版) 960円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	かわかみかずひと 河上 和史	政治2年	2

講義の内容・授業スケジュール

2年生は学力にかなり差があるので、最初の授業の時に幾つかの「授業プラン」を示して、学生諸君と話し合い、一年間の勉強の予定を決めます。

いずれにしても初めのうちは、一年で学んだ「文法」の復習に、相当時間を割くつもりです。諸君の積極性に期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	<small>のじま としあき</small> 野 島 利 彰	法 A 2 年	2

講義のねらい

前期は簡単な読み物を、後期は少し内容の高度な論文的なものを読みます。毎回テキストの文法解説をし、辞書が引きやすいようにした上で、訳を宿題として提出させます。授業はその訳を講評しつつ進めます。

成績評価の方法

提出した訳の総合成績と定期試験の成績により成績評価をします。

教科書

大岩信太郎『初級後期ドイツ語(5)』(三修社) 1,262円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	<small>やぶした こういち</small> 藪 下 紘 一	法 A 2 年	2

講義のねらい

中級文法を学びましょう。

成績評価の方法

成績は普段教室で、皆さんに発表してもらった平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人に答えてみよう!』(三修社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡB	<small>かわがみ かずひと</small> 河 上 和 史	法 A 2 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

2年生は学力にかなり差があるので、最初の授業の時に幾つかの「授業プラン」を示して、学生諸君と話し合い、一年間の勉強の予定を決めます。  
いずれにしても初めのうちは、一年で学んだ「文法」の復習に、相当時間を割くつもりです。諸君の積極性に期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡB	<small>まつおか すずむ</small> 松 岡 晋	政治 2 年	2

講義のねらい

教科書欄に掲げた教科書を用いてドイツ語の現代文を読みます。ドイツ語の新聞、雑誌等を読むための基礎訓練になれば、と思っております。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書は、各課とも、現代ドイツの生活や社会に関する約1ページのドイツ語の文章、関連する文法事項の説明および練習問題からなっています。ドイツ語の文章には注解も付いており、比較的容易に読みこなせるはずですが、教科書終了後は、また別の文章をコピーして読むつもりです。

履修上の留意点

多少は予習をお願いいたします。また、毎回、独和辞典を持参してください。ドイツ語に限らず、外国語のテキストを読むには、最初のうちは時間と忍耐力が必要です。すぐに諦めないで、粘り強く続けてください。

成績評価の方法

成績評価は最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点(出席率、授業に取り込む姿勢、分担箇所の和訳をきちんと準備したかどうかなど)によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

橋本政義ほか著『グレードアップドイツ語-初級から中級へ』(郁文堂)2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡD	し ま と み え 志 真 斗美恵	法A・政治2年	2

講義のねらい

ドイツ語初級を終えた方たちが対象のクラスですが、最初は初級文法をしっかり復習しながらすすめ、最終的には中級程度の読解力と文法、そして表現力を身につけることを目標にします。また、日独の生活習慣の相違、現在のドイツの社会事情等をテキストを通して考えていきます。

履修上の留意点

辞書をかみならず持参すること。

成績評価の方法

平常点（出席、発表等）と前・後期試験で総合的に評価します。

教科書

橋本・ノイベルガー『グレードアップドイツ語－初級から中級へ』（郁文堂）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語LLⅠ	こ ば や し 小林ゲアリンデ	法A・政治2年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	もりもと のぶこ 森 本 信 子	法A・政治1年	2

講義のねらい

英語以外の外国語として初めて学習する学生が抵抗なく学習できる授業を目指す。第一に興味を持ってもらうことに重点を置く。その上で、話したり読んだりする際に基本となる文法上のきまりなどを、反復練習を重ねることで、体得していつてもらいたい。

履修上の留意点

フランス語は難しいらしい、という風評を信じないこと。授業には積極的に参加すること。宿題は必ずやってくる。

成績評価の方法

平常授業内で行なう小テスト点、期末テスト点、出席点などを総合して評価する。従って欠席は極めて不利な事態となる事を自覚して欲しい。

教 科 書

『abCDfransais』（白水社）CD付きなので活用して欲しい。

参 考 書 等

授業内で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	はせがわ みつあき 長谷川 光 明	法A・政治1年	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を一通り習得することがこの授業の目標です。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期2回で行います。

履修上の留意点

フランス語にまず慣れ親しむために、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組んでもらいます。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教 科 書

小石悟『グラメール・オ・コティディアン』（第三書房）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB	お の ひ で し 大 野 英 士	法A・政治1年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識を整理しながら、平易なフランス語の読解力・運用力を総合的に涵養する。

講義の内容・  
授業スケジュール

発音と綴字の関係をしっかり学習した後で、本文・文法・練習問題・スケッチと4つの部分に分かれた教科書を用いて、文法の流れに沿って無理なく、フランス語のさまざまな表現に慣らしてゆく。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を特に要望します。必ず予習・復習をしてから出席すること。

成績評価の方法

前・後期の試験及び平常点。

教 科 書

安田悦子『F・コム・ファシル』（白水社）1,680円

参 考 書 等

最初の授業でガイダンスします。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB	すがわら 菅原 猛	法A・政治1年	2

講義のねらい

英語以外にも外国語を一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・  
授業スケジュール

IAを補完するかたちで授業を進め、1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

平常の授業、平常試験と学年末試験をプラスし、総合的な評価を出す。

教科書

久松健一著 『フェリシタシオン！－仏検シャ・シャ・シャー』(駿河台出版社) 2,500円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠC(会話)	さと 佐藤 久美子	法A・政治2年	2

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、挨拶の表現から始めて、日常会話を中心にコミュニケーション力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

発音練習と応答訓練に重点を置く。文法解説は必要最小限にとどめ、繰り返しによってフランス語に慣れてもらうことを目指す。

履修上の留意点

出席を重視する。会話の授業であるので、出席しなければ何の意味もないことをよく理解し、授業に臨んでもらいたい。年間授業回数<sup>の</sup>三分の<sup>一</sup>以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。音声教材を用意するので、授業時以外にも自主的に聞き取り・発音練習をすることが上達への道である。

成績評価の方法

前・後期の試験の結果、授業への参加度などから総合的に判断する。試験の内容は、聞き取り、応答、発音を予定している。

教科書

曾我・中井、他著『コレクション フランス語(1)入門』(白水社) 定価1,890円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA	まえだ 前田 祝一	政治2年	2

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、1年生で勉強したフランス語の後半部分から始めて、かなり詳しくじっくりと学習して行きます。仏検3級が取れる程度まで。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストに沿って進め、こまかいニュアンスの違いも感じ取ってもらいます。

履修上の留意点

初級フランスの単位が取れていない人、またあまり自信のない人は、自分で参考書を入手して、勉強をやり直す覚悟でいること。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題・出席状況にも配慮します。

教科書

久松健一他編『ボン・ヌフー中級レベル50の鍵一』(駿河台出版社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	政 治 2 年	2

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。

講義の内容・  
授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。後期は短い読み物に挑戦します。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。リスニングも含まれます。

教 科 書

藤田友尚著『ネット時代のフランス語』（白水社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA	は た な か ち あ き 畑 中 千 晶	法 A 2 年	2

講義のねらい

子ども向けに書かれたフランス語新聞を読むことを通じて、辞書を片手にまとまったフランス語の文章を読み解く力をつける。話題は、科学・医療・環境・教育など多岐にわたっており、さらにヨーロッパあるいはアジアなどの最近の話題も盛り込まれているため、今後、自分の力でフランス語の新聞・雑誌記事を読む際に必要な語彙を増やすことができる。

成績評価の方法

宿題などの提出物、小テスト、前期末・学年末テストなどを総合して評価する。

教 科 書

瀧川好庸・ガブリエル・メランベルジェ・東多鶴恵編著『やさしいフランス語新聞（3）』（第三書房）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	法 A 2 年	2

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。

講義の内容・  
授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。後期は短い読み物に挑戦します。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。リスニングも含まれます。

教 科 書

野村訓子他著『アニエスの日々』（駿河台出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA	<sup>たにがわ</sup> 谷川 かつおる	法 A 2 年	2

講義のねらい	フランス語中級
講義の内容・授業スケジュール	1年次で学んだフランス語の基礎を復習・確認しながら、日常的なフランス語の文章を読み、フランス語の理解を深めます。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	牛場由紀子『小説への旅立ち』（朝日出版社）2,100円
参考書等	そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB	<sup>すがや</sup> 菅 谷 <sup>さとる</sup> 暁	法 A 2 年	2

講義のねらい	教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランスの社会や文化についての理解を深めます。
成績評価の方法	前期末と後期末の試験によります。
教科書	ボームルー著『時事フランス語（2002年度版）』（朝日出版社）1,800円
その他	毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正しく発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB	<sup>はたなか</sup> 畑 中 <sup>ちあき</sup> 千 晶	政治 2 年	2

講義のねらい	リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。
履修上の留意点	ペアワークなど、クラス内の活動に積極的に参加してください。平常点を重視します。
教科書	中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』（白水社）1,800円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語II D	伊 藤 な お <small>いと う</small>	法 A・政治2年	2

講義のねらい

フランスの時事社会問題および文化を扱った文章を読み、読解力を養うとともに、フランスの社会について理解を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

平易な文章で綴られた青少年向けの新聞記事やインタビュー記事を読み、併せてテキストの理解度をチェックする簡単な問題をやってもらいます。文法に関しては、「フランス語I」で学んだことの復習、新しい事項の学習を随時行ないます。テキストがスムーズに読めるよう、音読の矯正にも力を注ぎます。

履修上の留意点

初級文法を終えたばかりの皆さんでも充分取り組める平易なテキストを用意しますが、辞書を用いて予め予習をしてから授業に臨むことが必須の要件です。

成績評価の方法

前・後期の試験、および平常点を重視します。音読の試験も行い、判定に加味します。

教 科 書

随時コピーを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語LL I	ラリア・三倉, M. <small>みくら</small>	法 A・政治2年	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教 科 書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P. P. P (パーパーパー) Presenter Pratique Produire』(第三書房) 2,800円

# 中国語

## 外国語

### 中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

### 中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2編の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

### 中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

### 中国語ⅡD

現在の中国の社会情勢を知ることができるよう、時事的内容のテキストを用いて行われる中国語の授業である。

但し、内容は時事的であっても、社会情勢の解説を主にする授業ではない。あくまで、中国語の文章が読めるようになるための授業である。

【辞書について】

○2年次まで学習する場合

- ・松岡榮志ほか『クラウン中日辞典』（三省堂） 4,000円
- ・上野恵司『基礎中国語辞典』（NHK出版） 3,500円
- ・武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（小学館） 3,500円
- ・相原茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,800円

ここに挙げた以外にも、同規模あるいはさらに小型の、また中日・日中を1冊で間に合わせるような辞書が幾つか出版されているが、内容が粗雑であったり、古かったり、学習に必要な配慮を欠いていたりで、薦められない。なお、日中辞典は必携ではないが、以下のものが手元があれば重宝するであろう。

- ・北京・対外経済貿易大学『日中辞典〔第2版〕』（小学館） 7,000円 2002年
- ・倉石武四郎、折敷瀬興『岩波 日中辞典〔第2版〕』（岩波書店） 5,000円 2001年

○2年次以降も継続して学習する場合は、以下のうち、実際に手に取ってみて気に入ったものを選ぶとよい。かなり値が張るものが多いが、じっくりと親しみ使い込むほどに、大枚を叩いた以上の恩恵が身にしみるのもこれらの書である。

- ・相原茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,800円
- ・伊地智善継『白水社中国語辞典』（白水社） 7,800円
- ・商務印書館・小学館『中日辞典』（小学館） 6,800円
- ・愛知大学『中日辞典〔増訂第2版〕』（大修館書店） 8,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA	宮本厚子	法A・政治1年	2
中国語ⅠB	主 聡		

成績評価の方法	年に2～3回の筆記試験、(前後期末試験を含む)と平常点で評価する。
教科書	相原茂・陳淑梅『語学三十六景』(東方書店) 2,400円
その他	詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	村松 哲文	法A・政治1年	2
中国語ⅠB	鶴島 俊一郎		

講義のねらい	中国語で簡単な日常会話が出来、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。
講義の内容・授業スケジュール	はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記（ピンイン）を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしていく。
履修上の留意点	授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。
成績評価の方法	前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合して評価する。
教科書	牧田英二・楊立明『新編例文中心初級中国語』（同学社）2,300円
参考書等	参考書は授業中に適宜紹介する。
その他	授業には「守り」ではなく「攻め」の態勢で出席してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	天野 節	法A・政治1年	2
中国語ⅠB	松本 丁俊		

講義のねらい	文法を踏まえ、「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」という四技能を関連付けながら学習して行けるよう援助する。最終的には、その後独学でも継続して学習して行ける基本的な能力を修得することがねらいである。
履修上の留意点	最後まで情熱を持ち続け学習する決意をして、授業にのぞんで欲しい。
成績評価の方法	出席、授業態度、課題、小テストによる平常点と期末テストの結果を合わせ総合的に評価する。
教科書	牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円
参考書等	授業の中で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	弘兼 加奈子	法A・政治1年	2
中国語ⅠB	岩崎 皇		

講義のねらい	発音、文法、単語などの最も基礎的な部分を、修得することが目標ですが、言葉の学習の面白さを伝えられたらと思っています。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに沿って授業を進めていきます。最初の数回、発音を重点的に練習します。
履修上の留意点	授業での練習が大切です。どのような理由でも欠席が多い場合は成績評価をしません。
成績評価の方法	試験結果を中心にして、授業態度、出席状況を考慮して評価します。
教科書	八木章好『はじめての中国語ぶくとんほあ』（朝口出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA 中国語ⅠB	福 地 桂 子 <small>ふくち けいこ</small>	法A・政治1年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

ⅠAとⅠBを一人の教員が一冊の教科書を用いて授業する。拼音（中国語のローマ字）に従って正確な発音を学び、文法の基礎を一通り学ぶ。

履修上の留意点

練習や小テストにできるだけ時間をかけ、一時間に一、二回は必ず当たるので復習しておくこと。

成績評価の方法

年4回の試験の成績に平常点を加味。出席が5分の4に満たない者は失格。

教科書

相原茂他『語学三十六景』（東方書店）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠC（会話）	戸 張 嘉 勝 <small>とばり よしかつ</small>	13以前入学生/法A・政治1年	2

講義のねらい

中国語を学ぶ場合、発音と声調を正確に覚えるのが最も大切なことである。発音をしっかりマスターして、語彙を増やし、そして「聞く」と「話す」基礎をつくるのがこの授業のねらいである。

講義の内容・  
授業スケジュール

発音と声調に重点を置き、同時に簡単な会話を行い、発音を聞いて、その声調やピンイン・漢字の書きとりなど、耳と口を中心とする授業を行い、聞きとりと会話の基礎をつくる。授業の展開順序は教科書に従います。

履修上の留意点

出席率は成績に加味する。

成績評価の方法

前後期の中間テスト・前後期の期末試験・出席率そして授業態度などによって評価する。

教科書

相原茂著『中国へのパスポート』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	松 本 丁 俊 <small>まつもと ちやうし</small>	政治2年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に配列したテキストを使用。長文学習では、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることができる。それによって、中国をより多く知ることができるだろう。

教科書

陳栄生 頼石傳 蔡柱国編著『現代中文読本』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	福地桂子	政治2年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国語Ⅰで学んだ文法の基礎を確認しつつ、少し長い文章を読む。又中国の歴史、文化についての理解を深める。

履修上の留意点

新出単語については必ず辞書を引いてくること。読みの練習をしておくこと。

成績評価の方法

期末テスト+平常点。(テストでは読解、文法のほか発音テストも行う)。出席が5分の4に満たない者は失格。

教科書

小川郁夫『中国を知るための中国語中級テスト』(白帝社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	陳洲挙	政治2年	2

講義のねらい

発音と基礎文法の復習、定着、中級程度の語い、文法、文型の学習、そして長文の文章構成の把握等を目標として、中級程度の読解力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

作者がいろいろな違った角度から中国の有名な都市の一つの側面を紹介した文章で綴ったテキストを使用。全22編なので、1回毎に1課のペースで授業を行う。文法項目と単語の解説がついているので、自習しても内容を把握することがある程度できるはず。授業中一人ずつ、少しずつ読んで、訳してもらって、そして発音の訂正とこまかい説明を行う。

履修上の留意点

辞書を引いて予習することが必要。本文の漢字にピンインがついているし、本文のカセットテープもあるので、予習は簡単。

成績評価の方法

テキストよりやや簡単な中国語の文章を日本語に訳す。辞書持ち込み可。後期のテストの成績を重視する。

教科書

陳洲挙他『中国名都物語』(中国文化出版センター) 1,800円

参考書等

『簡明中日、日中学習詞典』(中国文化出版センター) 3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	弘兼加奈子	政治2年	2

講義の内容・授業スケジュール

一年次で学んだことを定着させ、更に発展させることを目標とする。課文には現在の中国事情に関するものが多く取り上げられている。翻訳が中心となるが発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

年数回のテスト、提出物、教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

山下輝彦『今日の中国トピック12』(金星堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	こ ぎょくか 胡 玉 華	政治 2 年	2

講義のねらい

ピンインの付いた読み物の講読を通して、初級の授業で身につけた中国語の発音、読解力の基礎を実用的なレベルに高めることを目指す。また教材を通して、今日の中国社会がもつ様々な姿及び中国人の考え方や生活スタイルなどを理解する機会としたい。

講義の内容・授業スケジュール

本文の朗読・翻訳及び関連語彙・語句を用いた作文練習。

履修上の留意点

『中日辞典』を用意すること。  
受講者は毎回十分な予習をした上で、出席すること。

成績評価の方法

「A+α」制で評価する。「A」は定期試験による評価；「α」は、出席状況、宿題の出来具合、授業中の積極性などによる評価。

教科書

孟広学・本間史 著『中国は今』（白水社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	かまや おきむ 釜 屋 修	法 A 2 年	2

講義のねらい

中国語Ⅰで学んだ発音をより正確にするための復習、文法事項のより体系的な把握をめざす。簡単な文の中国語訳へも積極的にとりくんでもらう。

履修上の留意点

漢字表記だから易しいという誤った常識から、日本語とは異なった系列の外国語としての中国語の特質を楽しむ積極性を発揮してほしい。自主的学習を求める。

成績評価の方法

平常点、出席状況、宿題、小テスト、期末テスト（前後期各一回）により総合判定する。

教科書

荒川清秀『中国語文法システム』（同学社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	さくらば かずのり 櫻 庭 和 典	法 A 2 年	2

講義のねらい

やさしい長文の文章の読解と、日常生活に使われるより多くの語彙を習得し、実践会話の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

文章を正しく読めるよう、音読のトレーニングと文章の理解力を高める。受講者には一人一人読みと訳をしてもらい、さらに、日常生活に使われる語彙を実際につかって会話のトレーニングを行う。

履修上の留意点

必ず予習を行うこと。  
授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席回数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）を行うが、特に平常評価に重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。

教科書

八木章好編著『漢語趣話』（白帝社）1,800円

参考書等

必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	李 雲	法 A 2 年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進捗で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

戸沼市子・邢玉芝・渋谷瑞江「動詞をながめて中国語」(朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	松本 丁俊	法 A 2 年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に配列したテキストを使用。長文学習では、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることができる。それによって、中国をより多く知ることができるだろう。

教科書

陳栄生 頼石傳 蔡柱国編著『現代中文読本』(神保出版) 1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	陳 洲 拳	法 A 2 年	2

講義のねらい

今までの学習を活かしつつ、より実用的な運用能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

やや簡単な会話体のテキストを使用。新出単語を学生自身が辞書でしらべて、授業中、簡単に文法事項と本文の内容を説明してから、学生に二人一組で大きな声で読んでもらう。そして、本文の内容をある程度書き直して、暗記してから発表してもらう。その時、発音と発表した内容の訂正を行う。

履修上の留意点

本文のカセットテープをよく聞き、まねをして練習して欲しい。

成績評価の方法

後期のテストの成績を重視。

教科書

授業の初日に指定する。テキストがそろうまでプリントを配布します。

参考書等

『簡明中日、日中学習詞典』(中国文化出版センター) 3,800円



科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	ひらいしよしこ 平石淑子	法 A 2 年	2

講義のねらい	初級で習得した事柄を実際にコミュニケーションの手段として活用できるようにする。
講義の内容・ 授業スケジュール	中国語の多様な動詞の使い方を中心に学習する。正しい発音の習得にも力を入れる。
履修上の留意点	①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習をしてくること。③授業には辞書を携帯すること。
成績評価の方法	平常点、及び期末試験による。
教科書	戸沼市子他著『動詞をながめて中国語』（朝日出版社） 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	ひろかねかなこ 弘兼加奈子	法 A 2 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール	一年次で学んだことを定着させ、更に発展させることを目標とする。 課文は会話体の本文、文法、口答練習のためのトレーニング問題、ヒアリング問題から構成されている。実践的な中国語を学んでほしい。
成績評価の方法	成績は年数回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。
教科書	塚本慶一・劉穎『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	ねぎしまさこ 根岸政子	政治 2 年	2

講義のねらい	1年次に習得した基本文法を復習、確認しながら、身近な会話をもとに、「読む」「聞く」を中心とした中国語の習得をめざす。
講義の内容・ 授業スケジュール	会話を中心としたテキストを使用し、やさしい言葉ですぐ使える会話表現を身に付ける。
履修上の留意点	毎日の反復練習が中国語上達への鍵であるから、まずは大きな声を出して読むこと。付属のCDを活用して予習復習を忘れないこと。
成績評価の方法	前期後期の試験および小テスト、出席状況や授業への参加度などで評価する。
教科書	相原茂・喜多山幸子・魯曉晔『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	さくらば かずのり 櫻庭和典	政治2年	2

講義のねらい

中国語は、特に発音（四声）が明瞭でないと、意味が通じないため、一年次で学んだことを復習しながらより正しい発音（四声）の習得と、実生活で使える会話の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得、中国語文の反復・応用練習・暗誦を中心に授業をおこない、さらに、各課ごとに内容について、中国語で質問し中国語で答える練習をする。

履修上の留意点

必ず予習を行うこと。授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）を行うが、特に平常評価を重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

櫻庭和典・服部元彦・堀誠共著『音で学ぶ中国語』（晃洋書房）1,600円

参考書等

必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	り うん 李 雲	政治2年	2

講義のねらい

基礎文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

相原茂・玄宜青『中国語スピーキング倶楽部』（朝日出版社）2,300円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡD	そう た い わ 曹 泰 和	法A・政治2年	2

講義のねらい

時事的な文章を読むことによって、中国社会への関心と理解を高めると同時に、読解力を養うことを目的とする。

履修上の留意点

授業に積極的に参加すること。予習、復習を毎回欠かさずすること。長い記事を順番で読んで訳していくので、担当者はとくに予習を忘れないこと。

成績評価の方法

定期テストの成績、出席率、課題提出、学習態度で総合評価する。

教科書

三瀬正道・陳祖蓀『2002年度版 時事中国語の教科書』（朝日出版社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡD	李 雲	法A・政治2年	2

講義のねらい

中国の新聞記事にピンイン、単語表、社会背景を添付した教科書を採用する。読み物中心の授業なので、現代の中国の事情を知らながら中国語が上達できるのがねらい。

履修上の留意点

教科書の課文を適宜選んで進める。

成績評価の方法

定期試験を中心にその他総合的に判断する。

教科書

三瀧正道・陳祖蓓『99年度版 時事中国語の教科書』（朝日出版社）1,700円

参考書等

必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡD	工 藤 早 恵	法A・政治2年	2

講義のねらい

一年次に身に付けた基礎の上に、現代中国の姿を紹介した文を理解する力を身につける。

履修上の留意点

前もって単語や文法を調べ、一字一句にこだわったきちんとした訳を心掛けてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト、定期試験によって総合的に評価する。

教科書

三瀧正道・陳祖蓓著『時事中国語の教科書2002年度版』（朝日出版社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語LLI	佐 藤 普美子	法A・政治2年	2

講義のねらい

初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでにIA-I Bの単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では基礎的な文法・文型の音声による徹底的な習得を目ざす。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。

履修上の留意点

予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。また教科書付録のCDを活用して、毎日、中国語を口にし耳にしてほしい。短期留学をめざす人にはおすすめ。

成績評価の方法

平常点（授業への参加意欲）を重視。

教科書

楊達他『新・聞こえる中国語』（南雲堂）2,800円

## [スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	おぎのまさし 荻野 雅 司	法A・政治1年	2

### 講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようになります。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

### 成績評価の方法

原則として年2回の正規のテストを行います。総合的な成績の評価に当たっては、良くて悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

### 参考書等

使用する教科書等は開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	なかがわ きよし 中 川 清	法A・政治1年	2

### 成績評価の方法

前期・後期の各期末にテストを行うが、平常の授業の参加意欲を重視する。なお、希望者に対して課題レポートを提出させ、その成績を加点する。

### 教科書

中川・見玉『スペイン語への誘い』（芸林書房） 2,200円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	みやち たつろう 宮 地 達 郎	法A・政治1年	2

### 講義のねらい

英語につぐ世界語のスペイン語にたいする興味を持たせる。大学入学まで学習してきた英語との対比で授業を行い、日本語対英語・スペイン語の比較も学習する。

### 履修上の留意点

各課の練習問題の提出は生徒の自主性に任せる。提出された問題は教員が添削した後、次週生徒に返還する。

### 成績評価の方法

前期、後期のテスト、練習問題提出、出席で総合判断する。

### 教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠB	おぎの 荻野 恵	法A・政治1年	2

講義のねらい

イベリア半島を構成する2国、スペイン・ポルトガルの文化に関する簡単な会話と講読を通して、初級文法の基礎固めをする。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記教科書を使用し、前期は第1課～第4課、後期は第5課～第8課まで進む予定。(途中プリントで文法やリスニング等の練習問題を行う)

履修上の留意点

毎回の予復習を心掛け、積極的姿勢で授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、年4回(前期2回、後期2回)のテスト、平常点(授業への取り組み、提出物等)を総合して評価する。

教 科 書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』(大学書林)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠB	ナバロ, ホワンJ.	法A・政治1年	2

講義のねらい

この一年を通して卒業後も実用可能なスペイン語の基礎学力を修得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期及び後期の約半分の時間は動詞の現在形、後期の残りの時間は動詞の過去形について、教師が一課毎に簡単な説明を行なう。その後学生諸君の動詞の活用練習を中心に、質疑応答形式の練習問題を解答して頂く。

履修上の留意点

毎回一課進むので必ず予習して頂きたい。この場合の予習とは、説明が理解でき練習問題をスムーズに行なう為の下調べ(辞書で調べるetc.)を意味する。疑問点は授業説明時、又は練習問題施行時に必要があれば質問し、確実に理解できるようにする。つまり授業自体が復習になるように心掛けて頂きたい。

成績評価の方法

練習問題の応答を通し、予習復習ができていくか否かで成績評価する。

教 科 書

Juan J. Navarro 『Español en laboratorio』 1,000円  
この講義の初回授業時に、教室にて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠB	ナバローボロ, L. S.	法A・政治1年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIENとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR動詞・ER動詞・IR動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞1・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞2・IR A+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子/フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）  
『新スペイン語辞典』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠC（会話）	ルイズティノコ, C.	13以前入学生/法A・政治1年	2

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、基本的な文法を学び、練習をしながら、スペイン語の構造や表現になれ、会話能力を高めることを目指す。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態で評価します。

教科書

『ESPAÑOL EN DIRECTO IA』 著者、Sánchez, Ríos, Domínguez 発行所、SGEL

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	みやち たつろう 宮 地 達 郎	政治 2 年	2

講義のねらい

英語と比較して再度スペイン語に対する興味を持たせる。

履修上の留意点

最低復習をして、質問あれば次週にそれを行うことはしてほしい。

成績評価の方法

前・後期のテスト及び出席点。

教科書

『新日本語の基礎Ⅰ 分冊スペイン語訳』（スリーエーネットワーク）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	ナバローボロ, L. S.	政治 2 年	2

講義のねらい

日常会話の表現の習得を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 比較級・比較級の不規則形・最上級
2. 直説法過去：規則動詞と不規則動詞Ⅰ・過去の時を特定する表現
3. 直説法過去：不規則動詞Ⅱ・過去における期間の言い方
4. 直説法不完了過去・過去の不定期間の表現
5. 未来形・JR+Aについて・未来を表わす語句
6. 天候と無人称表現・その他の無人称表現
7. 現在進行形・不規則現在分詞
8. 現在完了

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	<small>おおいわ</small> 大 岩 <small>いさお</small> 功	法 A 2 年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりとやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』教材マルコ社  
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書  
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円  
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円  
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円  
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円  
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	福本久美子	法 A 2 年	2

講義のねらい

基礎文法の終了と平易な日常会話の表現の習得を目標とする。

履修上の留意点

出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻は入室を認めない。但し欠席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。  
授業を妨げるような振る舞い(私語・無断退出等)は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。

成績評価の方法

前・後期テストと授業中の平常点(宿題・小テスト)の合計に拠る。

教科書

佐藤惣平『楽しいスペイン旅行』(大学書林)

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	宮地達郎	法 A 2 年	2

講義のねらい

英語と比較して再度スペイン語に対する興味を持たせる。

履修上の留意点

最低復習をして、質問あれば次週にそれを行うことはしてほしい。

成績評価の方法

前・後期のテスト及び出席点。

教科書

『新日本語の基礎Ⅰ 分冊スペイン語訳』(スリーエーネットワーク)

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	福本久美子	政治 2 年	2

講義のねらい

基礎文法の終了と平易な日常会話の表現の習得を目標とする。

履修上の留意点

出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻は入室を認めない。但し欠席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。  
授業を妨げるような振る舞い(私語・無断退出等)は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。

成績評価の方法

前・後期テストと授業中の平常点(宿題・小テスト)の合計に拠る。

教科書

佐藤惣平『楽しいスペイン旅行』(大学書林)



科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡD	ナバロ, ホワンJ.	法A・政治2年	2

講義のねらい

この一年を通じ、卒業後も実用可能なスペイン語の基礎学力を習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

動詞の過去形（不完了過去・不定過去）を中心に勉強する。各一課は、短い文章や会話及び練習問題で構成されている。

履修上の留意点

予習として単語の意味などは辞書で調べて頂きたい。

教科書

この講義の初回授業時間に教室にて配布するプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語LLI	ナバロ, ホワンJ.	法A・政治2年	2

講義のねらい

授業対象者：基礎スペイン語終了者  
 ※スペイン語を勉強したことがない方はご遠慮下さい。  
 授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通じて実際のスペイン語会話に触れると同時に、スペインの習慣や情景を知り、スペイン語習得の上での基礎知識を増やして頂きたい。

教科書

『Viaje al español』  
 テキスト及びVTR教材

## ロシア語

### 外国語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際的時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。駒澤大学での必修クラスのロシア語は1週間に2度しかありませんが、与えられた時間を最大限に有効に使うべく、次のような目標と年間スケジュールで授業はすすめられます。

なお、ここで参考までに辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤勇著

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠA	すぎやま ひでこ 杉 山 秀 子	法A・政治1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

- 4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。  
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『1年生のロシア語』戸辺又方 編（白水社）  
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,600円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠB	木村英明	法A・政治1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をさきとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。  
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『1年生のロシア語』戸辺又方 編(白水社)  
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』(大学書林)1,600円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠC(会話)	佐野朝子	13以前入学生/法A・政治1年	2

講義のねらい

このクラスはロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。文法を学び、辞書を使ってテキストを読んでいくクラスよりロシア語をより身近に感じるよう、500ぐらいの単語だけを使って、発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。  
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA	佐野朝子	法A・政治2年	2
ロシア語ⅡA	木村英明		

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡB	木村英明	法A・政治2年	2
ロシア語ⅡB	佐野朝子		

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

教科書

1年で使用した教科書および1年のときに渡した文法表。

その他

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡD	クロチコフ, Y.	法A・政治2年	2

講義の内容・授業スケジュール

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語LLI	安徳ニーナ <small>あん とく</small>	法A・政治2年	2

講義のねらい	ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。 日常の話題等についても自由に会話が出来ようになることを目指します。
講義の内容・ 授業スケジュール	教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。
履修上の留意点	講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
教科書	S, KHAVRONINA著『RUSSIAN AS SPEAK IT』（ナウカ社）
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布します。

〔再履修クラス〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	にしむら ゆうこ 西 村 祐 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語による電子メールの書き方を修得しながら「苦手な英語」から「使える英語」を習得することをめざす。基本的なタッチタイピングから指導し、インターネットをつかって英語で海外の各地の情報を得たり電子メールをといあわせたりしてみる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。  
後期：インターネットのウェブサイトをつかって実際に問い合わせ、サイトの感想のメールなどをかいてみる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。  
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものをもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、事前におこなっておくこと。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

成績評価の方法

成績評価：ほとんど隔週ごとに課題が与えられ、電子メールでの課題提出がある。電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。なお、出欠はすべてその場での電子メール送付によって課題提出という形態での確認となるため、学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。

教 科 書

テキスト『Subject: E-mail: writing effective message』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	かわまた ようたろう 川 股 陽 太 郎	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として英語の運用能力をやしなう。

講義の内容・  
授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングの運用能力練習をする。ビデオ（VHS、DVD）等も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表、小テスト、定期試験の成績を総合し評価する。

教 科 書

プリント教材を適宜配布、使用する。教科書は未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA 〔再クラス〕	ひろかわ 広川 治	全学科2年	2

講義のねらい 映画のシナリオをテキストに使用する。

履修上の留意点 遅刻、居眠等は欠席扱いとなる厳しい授業。

成績評価の方法 平常点と前後期試験で評価。

教科書 授業内に購入を指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA 〔再クラス〕	おおたみちこ 太田 美智子	全学科2年	2

講義のねらい コミュニケーションの手段として英語を使えるようになることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 会話の基本フレーズを身につけ、応用する力を養いましょう。但し、大学の英語ということを加味し、表層的な会話だけでなく、もっと有意義且つ知的な英語の楽しみ方を学ぶ場になりたいと考えています。

履修上の留意点 必ず予習し、真摯な態度で授業にのぞむこと。単位の取得ではなく、各々の実力を向上させることが目的であるということを銘記してください。

成績評価の方法 平常点、授業中の態度、予習の有無、レポートの内容、等々からの総合評価。

教科書 開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA 〔再クラス〕	いとみよこ 伊藤 美代子	全学科2年	2

講義のねらい 英語による意思伝達を可能にすることがまず第一の目的。当然、ライティングだけでなく、スピーキングの訓練も行う。ライティングは、センテンスからパラグラフまで、スピーキングは日常会話からスピーチまでをめざす。その過程で当然、ヒヤリングの訓練も行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール 原則として、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用し、日本語の説明は必要最小限に抑える。

履修上の留意点 予習が絶対条件である。また、半期に4回以上欠席したものは、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法 各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教科書 1. Nobukazu Aoki, Haruo Erikawa 『コミュニケーションのための基礎英作文』(金星堂)1,850円  
2. 伊藤美代子(編著)『さらばジャパニーズイングリッシュ』(北樹出版)1,500円



科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	たか はし 高 橋 寛	全 学 科 2 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

英会話を学ぶには語彙力や文法的知識を身につけることはもとより、口語体特有の言い回しも覚える必要があります。本講義では特に後者に力点を置き、なるべく多く会話に役立つ表現を覚え、それを実際に使う練習を行っていきます。

履修上の留意点

講義に臨む際、こちらがあらかじめ指定した部分については必ず予習をしておいてください。予習を怠ったもの、テキストを持ってこないものは欠席とみなします。

成績評価の方法

評価は出席点と定期試験の結果を合わせて出します。

教 科 書

『Terrific Talk』（金星堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	よ し え ま さ お 吉 江 正 雄	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これからのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・  
授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてくることを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分之一を越える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教 科 書

『A Short History of the World』（こびあん書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	前 期：や ま ぎ 裕 幸 ひろゆき	全 学 科 2 年	2
	後 期：な が ね 俊 光 しゅんこう		

講義のねらい

ことばの習得には誤りがつきものである。特に日本人がおかしやすい誤りを選び、これまで気付かずいた誤りを訂正し、活用して総合的な技能の向上を計る。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法項目の点から分類。特に述語動詞、準動詞、助動詞、時制、名詞、代名詞、形容詞、限定詞等を取り扱う。

履修上の留意点

参考書、辞書等を用いてよく調べてくること。

成績評価の方法

前期テスト、小テスト、レポート、出席状況、発表成果等を総合して評価します。

教 科 書

J. B. HEATON 『誤りから学ぶ英語演習』 英潮社 1,400円（税別）

参 考 書 等

ND Turton 『Longman Dictionary of Common Errors—New Edition-』 Longman Corpus Network

そ の 他

授業は演習形式で行ないます。かならず一回は発表してもらいますので予習を忘れることなく行ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA 〔再クラス〕	つかもと としお 塚 本 利 男	全学科2年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語の語順・文章構造を確実に理解し、日常生活の様々な事柄について英語で表現する事を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

各章で①基本文法事項②練習問題③発展問題さらに学習した事柄についての確認をする④復習問題をやりながら、運用の能力の練習をします。授業の最後に、毎回総仕上げとして、日常の身近な事柄、例えば、日本の四季、大学生生活、コンパなどについて意見・考えを英語で記述してもらう小テスト（15～20分）を行います。

成績評価の方法

授業における発表・小テスト・前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業時での発表・小テストが、50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『語順が身につく英作文』（朝日出版）1,800円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA 〔再クラス〕	かわしま ひろゆき 川 島 弘 之	全学科2年	2

講義のねらい

受験英語を生かして、英語を楽しんでもらうことを目指す。そのためには、学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生1人1人のロック音楽等のリクエスト曲を中心にして授業を行う。

現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代っているばかりか、現代詩の一翼になっている。ロックの中には「生きがい（生きる真の目的、生きる意味、価値）」や「LOVE」について深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

英単語とPleaseだけで通じる超ミニ英会話を楽しんでもらう。

成績評価の方法

授業中、他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを重視する。

発表、レポート、前後期の定期試験に基づく。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『ロックの心』大修館書店  
『超ミニ英会話』明日香出版社

参考書等

『ロックで読むアメリカ』（近代文芸社）  
『ロックの意味』（草思社）  
『ロック・ミュージックとアメリカ』（シンコーミュージック）  
『ロック音楽と現代社会』（マクミラン・ランゲージハウス）

その他

ビデオ、レーザーディスク、DVDで英語を楽しむ。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	おのえのりこ 尾 上 典 子	全学科 2年	2

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・  
授業スケジュール

Benjamin Franklin, Susan B. Anthony, Sitting Bull, Andrew Carnegie, Thomas A. Edison, Henry Ford, Helen Keller, Walt Disney, Martin L. King Jr., Elvis Presleyなどアメリカン・ドリームを形作るのに貢献してきた偉大な人々の生涯や業績を紹介した英文を取り上げ、アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、読解・聴解・作文などの総合的英語運用能力の向上をはかる。

また、折にふれて英米文化に関する英語ビデオを鑑賞させて、時事英語の理解力と聞解能力の増強もはかる。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が3分の2に満たないものおよび授業態度の非常に悪い者は落第させる。毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験および小テストによって総合的に判断する。

教 科 書

Roy E. Charron、宮野智靖著 『Profiles of the American Dream』 (『アメリカン・ドリームを読む』) (金星堂) 1,800円 (税別)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	おおたゆきこ 太 田 由 紀 子	全学科 2年	2

講義のねらい

英語の基本構造の確認と応用により「書ける」楽しさを実感して貰う。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは全十二章からなる。よって一章に二回分の授業を充てる予定。ある授業で該当章の文法事項を確認した上で応用英作文問題を課す。次週その解答を皆で検討する作業を終えたら、次章の解説に入る。

履修上の留意点

とにかく熱心に授業参加すること。

成績評価の方法

平常点と前期・後期それぞれの期末試験により総合的に判断する。

教 科 書

石黒照博・山内信幸著 『「橋渡し」英作文』 (金星堂) 1,600円

参 考 書 等

安井稔・角谷裕子著 『英作文要覧』 (開拓社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	<small>たかやなぎ ふかみえ</small> 高 柳 文 江	全学科2年	2

講義のねらい

この授業においては、世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずそのListeningとComprehensionを行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法を理解し、それを基にwriting、speaking両面から文章を作る事を学びます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には、2/3以上の出席が要求されます。前期後半より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験（前期試験、後期試験）60%、日常点（出席、演習テスト等）40%

教科書

『World Today--文化の諸相』（鳳書房）

参考書等

テープレコーダー使用

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	<small>やまがた ゆたか</small> 山 縣 裕	全学科2年	2

講義のねらい

アメリカ文化のさまざまな側面を学びながら、スピーキングの力の向上をはかる。

履修上の留意点

6回以上欠席した者には原則として単位を与えない。

成績評価の方法

出席点・中間テスト・期末テスト・小テストなどから総合的に評価する。

教科書

森田彰・飯尾牧子・狩野紀子・土屋武久・Jeff Martin共編 『ビデオで学ぶアメリカ文化・C D付』（成美堂） 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	<small>もりた たかみつ</small> 森 田 隆 光	全学科2年	2

講義のねらい

英語の基礎から学生諸君にわかりやすく講義を行って行きます。聞く、書く、話すを全部行ってゆきます。クラスは非常に興味のある授業になると思います。授業は日本語と英語を併用し時にはフランス語でも行います。まずクラスに出席してみてください。

成績評価の方法

前期、後期の試験  
レポート年1回（英文にて）

教科書

開講時指示

そ の 他

欠席は3回まで（年間）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	いわはら やすお 岩 原 康 夫	全学科2年	2

講義のねらい

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及び、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としてますますその比重を高めつつある。このような観点にたつて、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとする。そのために、ある一定の基本的な動詞を中心にした構文と用法をマスターし、日常的なレベルでのコミュニケーション力を高めたい。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。また辞書の積極的な使用を望む。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおけるparticipationによって判断する。

教科書

『Cultivating Writing Skills』(『基本語彙を使った発展英作文』)(朝日出版) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	にしほら かつまさ 西 原 克 政	全学科2年	2

講義の内容・授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心にした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられているBasic English (850語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方)を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているのので、その基礎を自分のものとして、会話に応用して行ってもらいたいと考えている。

履修上の留意点

受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

教科書

『英語表現トレーニング』(北星堂書店)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	まきの てるよし 牧 野 輝 良	全学科2年	2

講義のねらい

英語の構文を再度学習し、英語の構造をしっかりと身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

重要な英語の構造が一単元となっているテキストを使用するので、各単元の英文を覚える努力をする。

履修上の留意点

学生は辞書を持参し、自分にわからない語句が出て来たらすぐ辞書を引き、身につけることに心掛けること。

成績評価の方法

毎時間提出のレポートと期末テストによって成績評価する。

教科書

石黒他編 『大学英文法A to Z』(金星堂) 1,300円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB 〔再クラス〕	木村 克彦 <small>きむら かつひこ</small>	全学科2年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

『Developing Reading Skills』(朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB 〔再クラス〕	武藤 久緒 <small>むとう ひさお</small>	全学科2年	2

講義のねらい

これまでに習得した英語知識を確実なものにしながら、語い、語法の面で難のない理解しやすい文章を読み英文に親しみ読解力を養うことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

日常ひんぱんに使われている語、例えば、Smog, Kangaroo, Nicknameなど114の単語の由来、それぞれの持つ特有の歴史を読み、言語と文化に対する関心を高めたいと思う。

前期：1ページから44ページ

Piano から Tennis までの57の単語の由来について

後期：45ページから87ページ

Utopia から Postman に至る57の単語の由来について

履修上の留意点

授業は訳読形式で行い、受講者全員に本文を読み訳してもらいます。随時・文法を含む必要事項の説明をします。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテストの成績；授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教科書

Arkady Leokum and others 『Where Words Were Born』 (朝日出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB 〔再クラス〕	手島 敬子 <small>てじま けいこ</small>	全学科2年	2

講義のねらい

本科目は発音・リズム等の音声面の指導に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を読む力を養うことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率良く、また適切に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教科書

『日常生活の中のアメリカ文化』(マクミランランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	た な か 田 中 保	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

より高度な構文の理解と文章の大意の把握に重点を置きながら読解力をつける。  
また、サブ・テキストを使用して、リスニング力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は予習・復習を前提とした発表形式によって行なう。

成績評価の方法

成績評価の方法は、以下の項目を総合的に検討して評価する。

1. 授業時の発表
2. 授業時の小テスト
3. レポート
4. 前期・後期の筆記試験
5. 出席状況

教 科 書

1. 『10 minute Basic Listening』（桐原書店） 950円
2. 『大学生のための初級英語』（STEP-UP ENGLISH）（南雲堂） 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	ま え だ 前 田 脩	全 学 科 2 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストに戯曲をもらいて、会話の面白さと、英語の文化を学びつつ語学力をつけていきます。  
毎回あてますので予習は必須です。時々、英字新聞のコピーを使用します。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価と出席率、前期、後期のテストを総合評価します。

教 科 書

『フル・フォア・ラヴ』（鶴見書店）1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	お お た 太 田 由 紀 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

豊かな内容を楽しみながら語彙力・読解力を向上させる。

講義の内容・  
授業スケジュール

言葉と文学、歴史、自然科学といった様々な分野・領域における英語文化の基礎知識を学ぶ。

履修上の留意点

とにかく熱心に授業参加すること。

成績評価の方法

平常点と前期・後期それぞれの期末試験により総合的に判断する。

教 科 書

E.D.Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で楽しく知の礎』（鶴見書店） 1,600円

参 考 書 等

江戸川泰一郎著 『英文法解説』（金子書房） 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	い で こう い ち 井 出 功 一	全 学 科 2 年	2

講義のねらい	テキストは、私たちの身のまわりの経済生活の知恵を、平易な英語で綴った『くらしの経済学』である。「お金の役割」、「収入と支出」、「国の経済は誰が動かすか」など私たちのくらしがテーマになっている。
講義の内容・授業スケジュール	経済学は私たちの日常生活そのものなので、そこに出てくる英文を十分聞いたり、読んだりして、英語を正しく捉える力を養う。内容は、「国の経済は家の経済と同じ」、「お金とは何か」など。
履修上の留意点	全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。
成績評価の方法	前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。
教科書	『George Soule Economics for Living』 『くらしの経済学』 (南雲堂) 1,400円
参考書等	英語を的確に理解し、表現する能力を高めるため、1語的表現と文語的表現、英米用法の相違、情報量の度合いにまで触れた文法書も使う予定。 『新しい学習英文法』 (研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	こ う べ は る き 神 戸 春 樹	全 学 科 2 年	2

講義のねらい	英語は、その基礎力の鍛錬がとくに重要なものである。テキストを用いながら、さまざまな角度から、英語の実力英語の実力の養成を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	基本的な英文に触れることにより、英語の実践的な運用を身につけられるように、具体的に説明を加えながら進めていく。
履修上の留意点	積極的に授業に参加してもらうので、必ず予習をしてきてもらいたい。
成績評価の方法	出席率、授業中の発表、そして前・後期の定期試験によって評価する。出席率と授業中の平常点が50%、前・後期の定期試験が50%で、総合的に決める。
教科書	最初の授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	ま つ ど う ひ ろ こ 松 堂 啓 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい	最新科学に関するトピックを読み、構文の理解力を高め、大意把握の速度を上げていく。
履修上の留意点	予習が必要。
成績評価の方法	試験と出席状況で評価する。
教科書	『To the Future-VOA Special English Program 』 (マクミランランゲージハウス)



科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB 〔再クラス〕	みうら まり 三 浦 眞 理	全学科2年	2

講義のねらい

非常に平易な英語で書いてある文章を、できるだけ速読し、量を多く読むことによって、英文を読む力と内容把握力の向上を図りたいと思います。ごく基本的な構文及び語句を中・高校生に戻ったつもりで復習し、再確認しながら学習していこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

英文のstoryを読んで、その内容がある程度把握できるようになることを目標に、ごく簡単な表現で書かれている文を多読し、基礎的にしっかり学習していこうと思います。  
また、hearingの練習、さらに、時間が許す限りTOEIC等の練習をできるだけ行いたいと思います。ごく基礎的な英語を（最初から再学習するつもりで）しっかりとおぼえてもらいます。  
テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に小テストとして行います。  
後期最後に総まとめ試験実施（授業時間中の小テスト重視）

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席（厳守）、授業中の発表、小テスト（70～80%）及び後期試験の結果によりおこないます。

教科書

『Twenty Tales』（成美堂）1,600円

参考書等

プリントを使用することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB 〔再クラス〕	いぬま よしなが 飯 沼 好 永	全学科2年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて、修得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受け身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加して下さい。特に英語に対し苦手意識のある学生は、予習に力を入れて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教科書

千葉元信・松尾秀樹・岡崎久美子 『Reading Landmarks of the world』 「英文読解のトレーニング」（三修社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB 〔再クラス〕	か い か つ こ 甲 斐 捷 子	全学科2年	2

講義のねらい

テキストはアメリカの文化、社会事情を様々な角度から紹介するビデオ教材です。現場の映像と生の音声を通して、臨場感を楽しみながら英語の運用能力を統合的に高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」総合演習ですが、このクラスでは特にリスニング重点を置きます。

履修上の留意点

1 単元終了時に小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて勉強してください。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意してください。

教科書

『Century—Life in New Age』（朝日出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	<sup>ま</sup> きの <sup>て</sup> る <sup>よ</sup> し 牧 野 輝 良	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

英語の構文を再度しっかりと学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストの英文を読み、文中に現われた重要な構文、慣用句、単語を正確に習得する。そのために小テストを多く行う。

履修上の留意点

学生はよく自習しておき、指名されたら答えられるように心掛けておくこと。毎時間の練習問題は解答して全員提出すること。

成績評価の方法

成績評価は授業中の成績、小テスト、レポート、期末テスト等を総合して行う。

教 科 書

田本、サイモン・サナダ 『基本英語表現法』 (成美堂) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	<sup>さ</sup> と <sup>う</sup> あ <sup>き</sup> こ 佐 藤 明 子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

リーディング・リスニング問題を中心に英語の運用能力を高めることを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは、内容読解やリスニングの問題も入った総合テキストです。1回の授業で、1章程度進む予定です。

履修上の留意点

授業ではなるべく多くの学生を指名します。毎回予習を十分にしてくることを望みます。

成績評価の方法

前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。(ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします)

教 科 書

『Real Life in Britain』 (イギリスを感じてみよう) (三修社) 1,850円 (税別)

参 考 書 等

辞書を持ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	<sup>う</sup> つ <sup>の</sup> み <sup>や</sup> <sup>ひ</sup> で <sup>か</sup> ず 宇 都 宮 秀 和	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

長年英語を教えてきて感じることは、多くの学生諸君が、基本的なことを理解していないということである。土台をきちんと築かないことには、何の役にも立たない。

基本的なこととは、英文の文型、時制、名詞の複数にはSをつける、などのことである。英文を書くことは、論理的な思考の訓練にもなるのである。基本的なことをしっかりとやりたい。

成績評価の方法

成績は平常点とし、期末試験行わない。出席は2/3以上。

教 科 書

プリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	<sup>い ま い な つ ひ こ</sup> 今 井 夏 彦	全学科3年	2

講義のねらい	日常的な場面の中でライティングとオーラル・コミュニケーション能力を養成することを目標とします。		
講義の内容・授業スケジュール	テキストに従って1章を2回でこなすことを心がけます。		
履修上の留意点	日常のことが「書いて話せる」ようになることを望みます。		
成績評価の方法	成績は、出席点、平常点、レポート、期末テストの点などを総合して評価します。		
教科書	『日常会話英作文』（成美堂） 1,600円		

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	<sup>え だ さ ち こ</sup> 江 田 幸 子	全学科3年	2

講義の内容・授業スケジュール	読む、書く、聞く、話すの英語運用能力を総合的にバランスよく育成していくのがこの教科の目的です。これらの四大要素を生活の上で実践的に、臨機応変に運用出来るようになることがこの授業の最終的な目標です。従って、使用するテキスト中心に、まず、reading-読解、listening-耳で読む、を徹底し、次にテキスト中の英語表現を応用したwriting-運用、口頭で簡単に発表する-oral presentation in English、の学習プロセスで授業を進めていきます。		
成績評価の方法	前期、後期の定期試験、提出物、適宜行う小テスト等を総合した平均点60点以上、全授業回数の2/3以上の出席をもって合格点としますが、平常授業内での努力点も合わせて評価しますので、授業毎の学習-予習、発表-に対して熱心な姿勢で臨むことが望まれます。語学の習得には学習の地道な積み重ねが必要不可欠なので、このことは特に強調しておきたいと思います。		
教科書	David E. Bramley 河合忠仁：『Basic English for Communication (英会話のためのコミュニケーション英作文)』（松柏社） 1,500円		

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	<sup>さ さ く ら さ だ お</sup> 笹 倉 貞 夫	全学科3年	2

講義のねらい	近年ますます国際化・ボーダーレス化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに、実践的な英語運用能力の伸長をめざす。		
講義の内容・授業スケジュール	平易な現代アメリカ口語英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学びながら、英語による実践的な英語表現能力の育成に努めたい。従って、随時、英文による物語の内容要約を課すことがある。(1)スニング教材併用)		
履修上の留意点	予習・出席重視、常時英和辞典持参。		
成績評価の方法	前・後期末テストの他、内容要約の英文レポート随時提出していただき、出席状況等々も勘案しながら総合的に最終評価を出す。		
教科書	Pearl S. Buck 『The Story Bible』(太陽社) 1,442円		

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	井 伊 順 彦 <small>い い のぶ ひこ</small>	全学科3年	2

講義のねらい	バラエティに富む楽しいテキストで、言葉の4技能をのばすとともに、現代アメリカの若者文化に触れる。
講義の内容・ 授業スケジュール	毎回テープをいやになるほど聞いてもらう。また、速読力や文法力の養成にも力を注ぐ。ときには授業の最後にビデオを観てアメリカ文化への理解を深め、同時に聞き取りの力をつける練習もおこなう。
履修上の留意点	毎回かなりの人数の諸君に何らかの形で答えてもらい、それを平常活動とする。発音のチェックもおこないたい。
成績評価の方法	数回の小テスト、平常活動、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。
教科書	『Real-life Scenes of Young Americans (アメリカの若者とライフスタイル)』 (成美堂) 1,700円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	小 笠 原 隆 元 <small>おがさわら りゅうげん</small>	全学科3年	2

講義のねらい	これまで7～8年間学んだ英語力を生かして、英語による意志伝達、運用能力の向上を目標としたいが受講生の実力は各人各様と思われるので、日英両語によるレポート提出で各自の自己主張、表現力向上をめざしたい。
履修上の留意点	初回時の授業で諸資料配布と実力考査を実施したいので必ず出席してください。
成績評価の方法	再クラスは出席率が一定しないが成績は総合評価、受講者は各自、最大限の努力をして下さい。
教科書	テキストは『コミュニケーション ナウ』(南雲堂) 1,300円 他にプリントコピーを適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	八 十 木 裕 幸 <small>やそぎ ひろゆき</small>	全学科3年	2

講義のねらい	よく使われる語彙を効果的に増やし、より豊かな英語表現ができるようになることを目的とします。プリントでは間違いや不自然な使い方の例題を取り上げライティングの向上を目指します。
講義の内容・ 授業スケジュール	類義語、改まった表現とくだけた表現、コミュニケーションと基本動詞の表現、比喩的表現とイデオム表現、日英表現の比較、複合語などを取り扱います。並行してプリントで補いながら授業を進めます。
履修上の留意点	毎回指名して授業展開をしますので確実に予習をしてきてください。
成績評価の方法	前期・後期のテスト、小テスト、レポート、出席状況(1回欠席-5点減点)などを総合的に判断し評価します。
教科書	石黒昭博他『語彙・表現力のアップの総合演習』(英宝社) 1,680円 プリント
参考書等	最初の授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	とのいけ かずこ 外 池 一 子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的にはテキストに従って進みますが、必要に応じて英字新聞や英語のニュース、討論番組のビデオなども使います。ディスカッションやディベートの意見の組み立て方についても訓練します。

履修上の留意点

テーマは皆さんの身近な問題です。授業の前にある程度自分の意見をまとめておいて積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2-3回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	いわた ようこ 岩 田 洋 子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

「文は人なり」時間・空間をこえて、書物の言葉=人との出会いには、無上の喜びがある。先人達人たちの簡潔鮮明な表現から、①単なる知識だけでなく知恵を学びとること。②選び抜かれた絶対的一語一語から修辞法を学ぶ。③言葉は言葉（ことだま）。頭だけで覚えるものではない。感得するもの、体得するものである。言葉にも音色や香りや匂いがあることを学びたい。

“Who Said That?”が真実なるもの、美しいもの、素晴らしいものとの出会いになれば・・・

“The truth makes you free!”かもしれない。

授業は徹底的な演習形式で行う。

成績評価の方法

毎回の出席状況、平常点、提出物、前期・後期の試験の結果等を総合して行う。

教 科 書

Jim Knudsen著 九頭見一士 注 『“Who said That?” A Book of Famous Quotations (名句で英語を学ぶ)』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語IIA 〔再クラス〕	やまぎし じろう 山 岸 二 郎	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

大学生の日常生活を英文で表現しよう。

言語学習は通常Listening, Speaking, Reading, Writingの順に展開する。ここで四領域に分けたのも便宜上のことで、実施の学習は相互に影響し合って、すすめられる。あるレベル以上になると四技能は一体となる。そうになると言語は大きな力を発揮し、思考力の発達を促す。このときReadingは、知識の吸収と、それに基づく思索の世界を形成する上で、中心的役割を課す。Writingは、書く事柄について反省・整理し、それを説得力ある言葉で、明快にあるいは情緒的に表現する訳である。

教室ではそのための準備として、目標に掲げたような身近な英語表現能力の向上を目指す。

成績評価の方法

出席を重視する。平常の学習、小テスト、テストその他総合的に評価する。

教 科 書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語IIB 〔再クラス〕	やまがた 山 縣 ゆたか 裕	法A・政治3年	2

講義のねらい	ビデオの助けを借りて、CNNのニュースを読む。		
履修上の留意点	6回以上欠席した者には原則として単位を与えない。		
成績評価の方法	出席点・中間テスト・期末テスト・小テストなどから総合的に評価する。		
教科書	『CNN：ビデオで見る世界のニュース』関西大学英語教育研究会編著（朝日出版社）1,800円		

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語IIB 〔再クラス〕	おぶせ 小布施 けさぞう 圭佐三	法A・政治3年	2

講義のねらい	読むためのスキル (skill) として、英文構成の理解・語彙力・内容予測・大意把握・趣旨判別などの力を養成します。		
講義の内容・ 授業スケジュール	教材内容は比較文化が中心となっており、文化の裾野を広げることができます。 前期：Lesson 1 (p.1) ~Lesson 10 (p.42) 後期：Lesson 11 (p.43) ~Lesson 20 (p.86)		
履修上の留意点	予習の励行・レポーター制の採用・英語の辞書持参など。		
成績評価の方法	出席点/レポーター点/試験（前・後期）などを加味して総合評価します。		
教科書	Alan Turney/川辺康男 『Seeing More of the World』 (SEIBIDO) 1,600円		

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語IIB 〔再クラス〕	いわい ひろみ 岩井 洋美	法A・政治3年	2

講義のねらい	様々な英文を通して、実用的な英語の力をつけていく。		
講義の内容・ 授業スケジュール	英文を日本語に訳しながら読み進めていくリーディングだけではなく、旅行などで外国へ行った時に見るインフォメーションや案内といったものの大意を把握し、必要な情報を得るといったリーディングも行う。また、異文化についての知識も深めたい。		
履修上の留意点	第一回目の授業からの出席。		
成績評価の方法	出席とクラス内のテスト50%、前期、後期試験50%で評価する。		
教科書	北尾・S・キャスリーン、北尾謙治『アメリカ実際生活—会話と読解—』（朝日出版社）		

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	かわてひろかず 川 手 浩 一	法 A・政治3年	2

講義のねらい

外国語を学習する目的はその国の文化を知ることにある。  
今や世界はせまくなり、自国の文化のみにとらわれては日常生活すらできなくなっている。  
特に英語は世界各地で使いやすい言葉として国際語の役割をはたしている。

講義の内容・  
授業スケジュール

ここでは主として読解力に重点をおいているが、重要な単語、イディオム、構文などを英文の中  
中にちりばめて、多様に富んだ学習ができるようにしてある。

成績評価の方法

出席、レポート、テストなど総合評価である。

教 科 書

Tuyoshi Tiba『Prosperous Life〔豊かな生活〕〕(Naundo) 1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	おおたみちこ 太 田 美 智 子	法 A・政治3年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語を使えるようになることを目的とします。  
具体的には伝達内容を正しく速く把握するための訓練を行う予定です。

講義の内容・  
授業スケジュール

我々人間にとっても興味深い動物の生態について読みます。さらに、毎回リスニングの練習も  
積みます。歌、映画、ニュースなどの様々な素材から幅広く学ぶつもりです。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業にのぞむこと。単位の取得ではなく、各々の実力を向上させる  
ことが目的であるということを銘記して下さい。

成績評価の方法

平常点、授業中の態度、予習の有無、レポートの内容、等々からの総合評価。

教 科 書

『Animal Watching』(南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	おちあいかずあき 落 合 和 昭	法 A・政治3年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級(英検準二級、二級、準一級)程度とし、現代口語英語で書  
かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。  
また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL 等)の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自  
然なスピードに慣れる。第二段階はそのなかで、使用されている慣用表現の意味や用法を、テキ  
ストを通して、確認する。第三段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表等が60%(課題は年間約10回程度提出。  
授業中の発表等に関しては、全員に一回の授業に最低一回は当てるつもりでいる。)出席率が三分  
の二を超えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 1) 『決まり文句書取り練習帳』(鶴見書店) 800円
- 1) 『ネイティブ英語の慣用表現(2)』(マクミラン) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	かわまた ようたろう 川 股 陽 太 郎	法 A・政治3年	2

講義のねらい	IBを基礎として英語の読解力をやしなう。
講義の内容・ 授業スケジュール	より高度な英語の読解力をやしなうと同時に、大意の把握練習をする。 ビデオ等も使用する。
履修上の留意点	3分の2以上出席し、授業に参加すること。
成績評価の方法	発表、小テスト、定期試験の成績を総合し評価する。
教科書	プリント教材を適宜配布、使用する、教科書は未定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	かわうち けんりゆう 河 内 賢 隆	法 A・政治3年	2

講義の内容・ 授業スケジュール	本テキストは身近な話題を易しい英語で取り上げている。英字新聞の記事としては、全く初歩的なものである。再クラスだけに、文法事項や語法などを詳しく解説しながら、スローペースですすめる。
成績評価の方法	出席点と発表点（年間3回以上）を重視する。前者30、後者30に定期試験の二回の点数を加える。良い結果が出なくとも、努力している姿を見せて欲しい。
教科書	『やさしい英語ニュース』（成美堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	ほんま としかず 本 間 俊 一	法 A・政治3年	2

講義の内容・ 授業スケジュール	教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。
成績評価の方法	前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。
教科書	『Checknote For Business Trends』（金星堂） 1,100円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	あさかわ まき 朝 川 真 紀	法 A・政治3年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

国際的な視野を養いながら実用的な英語力を身につけること、英文を速く正確に読める能力を養うことを目的とする。授業ではニュース記事を扱ったテキストと、英字新聞を読んで行く。

成績評価の方法

評価は出席・平常点40%、前期後期試験60%とする。出席が3分の2に満たない者は不合格とする。

教 科 書

『やさしいニュース英語 2002/2003』 (成美堂) 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	にしだ よしかず 西 田 義 和	法 A・政治3年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

この授業では質的な深さの精読だけではなく、読解力の量的幅の拡大も含めて、総合的に学習しながら、読解力を養成する。

英語に限らず、外国語を読むとき文法をはじめ語いなど重要な要素があるが、それ以外にも文化的な背景なども重要な役割を果たしている。表現や文法に注意するだけでなく、敏速に大意・要点をつかみながら授業を進める。学生諸君の知識で容易に読みこなせるテキストを採用する。時として未習の語句等があると思うが、文脈からそれらの意味は容易に理解できよう。

成績評価の方法

出席率を重要視し、中間試験・期末試験、普段の授業態度等を総合して評価する。原則として授業回数の3分の1以上欠席した場合は不合格とする。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

上記にあげたことを最初の授業でさらに詳しく説明するので必ず出席するように。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡD 〔再クラス〕	まきの てるよし 牧 野 輝 良	法 A 3 年	2

(P.118) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡD 〔再クラス〕	いわや たまえ 岩 屋 玉 江	法 A 3 年	2

(P.118) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡD 〔再クラス〕	たかみ ようこ 高 見 陽 子	法 A 3 年	2

(P.118) 参照

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD 〔再クラス〕	かわさき こうたろう 川崎 浩太郎	法 A 3 年	2

(P.119) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD 〔再クラス〕	そ う ま よしあき 相馬 美明	法 A 3 年	2

(P.119) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD 〔再クラス〕	た な か たもつ 田中 保	法 A 3 年	2

(P.119) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD 〔再クラス〕	い わ な が よ し え 岩永 祥恵	法 A 3 年	2

(P.120) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD 〔再クラス〕	おがさわら りゅうげん 小笠原 隆元	法 A 3 年	2

(P.120) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD 〔再クラス〕	や そ ぎ ひ ろ ゆ き 八十木 裕幸	法 A 3 年	2

(P.120) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD 〔再クラス〕	た ん し ひ ろ ま さ 丹治 弘昌	法 A 3 年	2

(P.121) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD 〔再クラス〕	み よ し や す よ し 三芳 康義	法 A 3 年	2

(P.121) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD 〔再クラス〕	<small>まちだ なおこ</small> 町田尚子	法 A 3 年	2

(P.121) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD 〔再クラス〕	<small>にしだ よしかず</small> 西田義和	政治 3 年	2

(P.122) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD 〔再クラス〕	<small>ほんま としかず</small> 本間俊一	政治 3 年	2

(P.122) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD 〔再クラス〕	<small>もりた たかみつ</small> 森田隆光	政治 3 年	2

(P.122) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD 〔再クラス〕	<small>あさかわ まさき</small> 朝川真紀	政治 3 年	2

(P.123) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD 〔再クラス〕	<small>ほんま としかず</small> 本間俊一	政治 3 年	2

(P.123) 参照

## 〔ドイツ語〕

### 外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	柴野博子 <small>しばのひろこ</small>	全学科2年	2

#### 講義のねらい

この授業は、初級文法の最も基本的な事柄のみを重点的に教え、ドイツ語の大枠がつかめるようにすることを目標にしています。

#### 履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

#### 成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

#### 教科書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ（新装版）』（三修社） 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	野島利彰 <small>のじまとしあき</small>	全学科2年	2

#### 講義のねらい

ドイツ語の文法を理解するにはドイツ語で簡単な作文練習をすることが非常に役に立ちます。この授業では作文問題を中心に文法の授業を行います。

#### 成績評価の方法

教科書の作文問題を毎回宿題とします。宿題を提出して初めて出席とします。成績評価は定期試験と宿題の総合評価によります。

#### 教科書

横山靖『ドイツ語の作文と文法』（郁文堂） 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	織田繁美 <small>お織だしげみ</small>	全学科2年	2

#### 講義のねらい

文法と聞くと、どうも面白くないという気持ちが先だち、勉強意欲が湧かないと思う学生が多いと思われるが、ドイツ語の会話では恐らく英語以上に正しい文法が要求されると思われる。美しいドイツ語の言葉が電話を通じて快く感じるのも、高度な文法をこなして話しかけてくるからである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この授業では教科書を用いるが、副教材としてドイツの日常生活を題材としたプリントを用いて文法事項の理解に役立てたい。前期は単純な文の構成を主に扱うが、後期になると、文体として少し複雑になるが、あくまで前期に学んだことが土台になるので、真面目に出席している学生には、演習が苦になるどころか、むしろ興味さえ感じ、楽しく思えるようになると思う。

#### 成績評価の方法

前期、後期の試験も勿論考慮されるが、平常点に重きが置かれるので、出席が大切である。

#### 教科書

高橋 『わかりやすいドイツ文法』（芸林書房） 1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	<small>くりはら かずのぶ</small> 栗原万修	全学科2年	2

講義のねらい

このクラスの受講者は、すでに初級ドイツ語は終了しているはずですが、〔再クラス〕ですので、最初からのつもりで、できるだけ丁寧に、わかりやすく説明します。ただし、外国語は継続的に勉強しないと習得できませんので、出席を重視します。欠席を続けると名簿から名前を抹消し、再び<再履修>となります。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の教場での学習意欲、さらに出欠等も含め、すべてを総合して判断します。

教科書

大岩信太郎 『快速ドイツ文法』 (朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	<small>いがらし のぶこ</small> 五十嵐信子	全学科2年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な文法を理解し、これを身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができるようになります。そのことにより、ドイツ語圏のさまざまな文化現象への関心、理解がふかまり、一そう広い視野を獲得することができます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語の正しい発音を身につけます。
- 2) ドイツ文法の基本を理解し、文法の各項目の例文、練習問題を読み解くことでしっかり覚えこみます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

履修上の留意点

学生諸君にのぞむこと  
新しい言葉を学ぶことは本来楽しいことです。しかし言語は、どの部分も欠くことのできない一つの建造物に似ています。柱一本抜けても傾いてしまう、それゆえこの時間は休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加えて評価します。

教科書

在間進・納谷昌宏・清野智明『明るく楽しくドイツ語を!』(改訂版)(三修社)1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	<small>やぶした こういち</small> 藪下紘一	全学科2年	2

講義のねらい

初級ドイツ語の復習をしましょう。今年で絶対ⅠBの単位をとるぞ、と肝に銘じて、普段辞書をひいて教室に来てください。

成績評価の方法

成績は教室で、皆さんに発表してもらおう平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教科書

佐藤洋子 他 『シュリット・フェア・シュリット』 (白水社) 1,500円

その他

月曜日5時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	まつおか 松 岡 晋	全学科2年	2

講義のねらい

あまり難しくないドイツ文を読み通すことによって、同時に、初等文法の復習も行おう、というのがこの授業の目指すところです。

講義の内容・授業スケジュール

授業は教科書に即して行われます。各課は読章（1ページからなるドイツ語の文章）、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限にとどめ、ドイツ文の読解と簡単な文章での表現練習に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。

履修上の留意点

再履修する羽目になった理由は、たいていの場合、出席不足です。今年こそ規則的に出席してください。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので。

成績評価の方法

成績評価は、最低限二回以上行われる筆記試験および平常点（出席率、担当箇所和訳をきちんと行ったかどうか等々）によって行います。

教科書

入谷幸江ほか著『ドイツ語コミュニケーション 独検4級対応』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	やぶした こういち 藪 下 紘 一	全学科2年	2

講義のねらい

初級ドイツ語の復習をしましょう。今年で絶対ⅠBの単位をとるぞ、と肝に銘じて、普段辞書をひいて教室に来て下さい。

成績評価の方法

成績は、教室で皆さんに発表してもらった平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教科書

浦野・酒井 『ドイチュラント・ライヴ』（有久堂）500円

その他

水曜日2時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	すぎもと まさとし 杉 本 正 俊	全学科2年	2

講義のねらい

「再」クラスではあるが、学生がドイツ語を「全く知らない」事を前提に、発音と文法を初めからやり直し、その知識を基礎にドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

一年でいちおう初級文法のすべてを終え、それに対応したドイツ語の文を読むつもりです。

履修上の留意点

学生諸君は、必ずしも予習は要求されない。しかし授業中は勉強に集中する。また、負担にならない程度の課題が時々出るが、きちんとこなして行けば力が付くと思う。学生の理解力に応じた授業を行うので修得すべき事項は何度でも反復説明します。

成績評価の方法

前後期2回の大テストの他、随時小テストを行う。平常点もかなり重視する。

教科書

桐川修 岸川良蔵 『ドイツ語のアウトライン』（東洋出版）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	し ば の ひ ろ こ 柴 野 博 子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

この時期は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んで行きます。テキストは、はじめてドイツに留学した日本の大学生の〈異文化との出会い〉を扱ったものです。

履修上の留意点

ドイツ語の学習には、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教 科 書

岩崎英二郎・山路朝彦・Wolf Gewehr『留学生のみたドイツ』（朝日出版社） 1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	も と は し う き よ う 本 橋 右 京	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

初級文法項目を確認しながら、比較的やさしいテキストを読むことで、読解力を高めてゆきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

ドイツ語のやさしい文章にできるだけ多く触れ、基本的な語彙や枠組みを習得していきます。その過程で、ドイツ語圏の社会や文化についても学びます。  
毎時間CD-ROMを利用します。まずは、発音・数字・日常的な表現等から始め、徐々に基本的な語彙や表現、文法事項を確実なものにします。

履修上の留意点

みなさんの積極的な学習を希望します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教 科 書

Schlecht&三室 CD-ROMブック『パソコンで学ぶドイツ語 ハロー、ヴィーゲーツ?』（三修社）4,800円

そ の 他

スライド、テープなど。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	す ぎ も と ま さ と し 杉 本 正 俊	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

発音と、初級文法をはじめからやり直し、その知識を土台にして、やさしいドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

一年間でいちおう初級文法の必要知識をすべて与え、それに応じたドイツ語の文を読むつもりです。学生の理解力に応じた授業を行うので、難解な事項は何度でも反復説明します。

履修上の留意点

学生の皆さんには必ずしも予習は要求しません。しかし授業中は勉強に集中して下さい。また時々負担にならない程度のやさしい課題を出しますが、きちんとこなして行けば力がつくと思います。

成績評価の方法

前後2回の大テストの他随時小テストを行い、平常点もかなり重視する。

教 科 書

志田裕朗・羽根田知子 『コンタクトドイツ語』（三修社） 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	やぶした こういち 藪 下 紘 一	8以降入学生/法A・政治1年	2

講義のねらい

ドイツ語中級の復習をしましょう。今年こそⅡBの単位をとるぞと、肝に銘じて、普段辞書をひいて教室に来て下さい。

教科書

内藤 『中級・小文法読本』 (同学社) 650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	ももずみ いさむ 百 済 勇	8以降入学生/法A・政治1年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。毎回、何等かの形でテストを行う。

成績評価の方法

平常点で採点、期末試験は行わない。

教科書

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もとはし うきょう 本 橋 右 京	8以降入学生/法A・政治1年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法面からドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた簡単な文法表現を覚え、練習問題でもって理解を確実なものとしします。

履修上の留意点

みなさんの予習や授業中の発表など積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡD 〔再クラス〕	し ま と み え 志 真 斗 美 恵	法A・政治3年	2

(P.138) 参照



## [フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	菅 谷 暁 <small>すが や さとる</small>	全 学 科 2 年	2

講義のねらい	フランス語文法の基本を勉強します。
成績評価の方法	前期末と後期末の試験、および小テストによります。
教科書	瀬倉他著 『新世紀グラス』 (駿河台出版社) 2,500円 『基本問題集』 (駿河台出版社) 300円
その他	教室でのさまざまな練習を軸に授業を進めるので、休まずに出席することが非常に重要です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	芦 原 眷 <small>あしはら けん</small>	全 学 科 2 年	2

講義のねらい	1年かけて、仏語のやさしい文章(おもに会話の多い文章)が読めて(発音)、その内容が理解(読解力)できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。
履修上の留意点	教科書と同時に辞書を持参して下さい。
成績評価の方法	毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。
教科書	『キャロット』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	竹 田 正 純 <small>たけだ まさずみ</small>	全 学 科 2 年	2

講義のねらい	クラスの性質上、文法の復習が中心となるが、反復練習によって基礎的事項の徹底理解を目指す。可能な限り、個別指導を心懸けていくつもりである。
成績評価の方法	前・後期の最終日のテストを中心に評価するが、平常授業での課題も真面目に取り組んでほしい。
教科書	内藤他 『フランス語へのパスポート』(白水社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	こ た ま な り お 小 玉 齊 夫	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

フランス語文法の復習です。文の仕組みの基礎を知る授業ですから、単純に繰り返して記憶する項目が多くなりますが、可能なかぎり、多様な観点から、フランス語の表現を覚えていくようにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

回の授業で一課あるいは二課ほど、進んでいくことになります。全課を終えると、同時に、フランスの各地域の概観を知ることも出来るようになっていきます。文化的な面での知識も獲得できるようにしたいと思います。

履修上の留意点

予習・復習をきちんと行うこと。特別な場合を除いて、授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

随時行われる小テストと、前期・後期の試験によって成績評価をします。

教 科 書

青木『エグザゴス』（駿河台出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	は せ が わ か つ あ き 長 谷 川 光 明	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・授業スケジュール

もう一度ゼロから、しっかり確認していきましょう。あまり無理をしないで、基礎力を確実に身につけることをめざします。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業における評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

山村喜巳他『ジュタンプラス』（朝日出版社）2,000円

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	ま え だ の り か ず 前 田 祝 一	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

2年生が対象とはいえ、初めてフランス語を勉強するものとして、発音・綴字の読み方など、一番の基礎から開始します。

講義の内容・授業スケジュール

練習問題などをていねいにクリアし、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、それまでの学習の成果の上に成り立っているのですから、つまり毎週新しいことの勉強が始まるのですから、欠席しないように努力してください。欠席すれば取り残されるものと覚悟すること。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストを基本に成績を評価します。しかし教室での課題、出席状況にも配慮します。

教 科 書

滑川他編 『ポケットにフランス語（改訂版）』（第三書房）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	いまぜき 今 関 ア ン	全 学 科 2 年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

練習問題（口頭、聞き取り、作文）を中心に進めてゆく。

履修上の留意点

学習者主体の授業なので、積極的な参加を切望する。もちろん欠席など論外である。授業終了時にその日の成果を提出してもらい、これをもって出席とみなすつもりである。

成績評価の方法

平常点により評価するので、毎回出席すること。  
辞書、教科書を必ず持ってくること。

教 科 書

藤田裕二著 『新・えすかるごⅠ』（朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	もりもと のぶこ 森 本 信 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

フランス語に対する苦手意識を取り除くことが主眼。あまり複雑な文法の解説をせずに会話的な表現をどんどん使っていく、活気ある授業にしたい。学生同志のペアワーク、グループワークを活用しながら、参加型の授業にするつもりである。1年学習した後は、フランス語に対して自分なりの達成感を持てる様努力したい。

履修上の留意点

とにかく授業に欠かさず出て、毎回何かをつかんで教室を出ていけるように、積極的な参加を強く望んでいる。

成績評価の方法

授業での取り組み方、小テスト点、期末テスト点、出席点等を統合して評価する。最も重視するのは出席である。

教 科 書

『C'est facile!』（三修社）

参 考 書 等

参考書等は授業内で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長 谷 川 光 明	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を学習します。

講義の内容・  
授業スケジュール

旅行の場面と実際に活用できる表現を用いて文法事項を再確認していきます。各項目を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとりません。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発音することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教 科 書

林田遼右 『テキスト版 パリ散歩』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	<sup>たにかわ</sup> 谷川 かつお	全学科2年	2

講義のねらい

旅行で使うフランス語を通じて、フランス語の基礎からゆっくりやり直します。

講義の内容・授業スケジュール

まず、旅行のさまざまな場面で必要とされるフランス語表現を暗記し、関連する文法を習得します。基本が理解できたら練習問題に取り組み、応用表現を学びます。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行います。

履修上の留意点

教科書に付属するカセットテープをなるべく繰り返し聴き、耳からフランス語に親しむようにして下さい。

成績評価の方法

前期・後期試験および毎週の小テスト。

教科書

瀬戸秀一・瀬戸和子 『街かどのフランス語』新訂版(朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	<sup>はたなか</sup> <sup>ちあき</sup> 畑中 千晶	全学科3年	2

講義のねらい

フランス文化についての短い読み物を読み進めながら、同時に、話す力、書く力につながるように、文法を復習する。

履修上の留意点

出席重視。長時間にわたって、連絡もせず、また、理由なく休んだ場合は、単位を放棄したものと見なすので、注意すること。成績はクラス内の小テスト、前期末、学年末テストなどから総合的に評価する。

教科書

澤田直之・リリアヌ・ラタンジオ・黒川学著『アミカルマン—フランス語・フランス文化への誘い』(駿河台出版社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	<sup>ぬまくら</sup> <sup>ひろこ</sup> 沼倉 広子	全学科3年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして、文章を読む力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

文化、地理、スポーツなどを題材にフランスの現在を知る。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教科書

クリスチャン・ボームルー著『時事フランス語』(2002年度版)(朝日出版社) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	<sup>たにかわ</sup> 谷 川 かおる	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

フランス語の基本文法を復習し、中級程度のフランス語が読めるようになることを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

ごく基本的な文法の復習から始め、簡単な読み物を読みます。後期には、出席者と相談の上、簡単な新聞記事など、少し本格的なフランス語に取り組む予定です。

履修上の留意点

指定の予習箇所は必ず予習してきて下さい。

成績評価の方法

前期・後期試験および小テスト。

教 科 書

牛場由紀子 『小説への旅立ち』 (朝日出版社) 2,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	<sup>とおやま ひろお</sup> 遠 山 博 雄	{以降入学生/法A・政治}年	2

講義のねらい

ごくやさしい文章やスケッチを読み、会話的表現を覚えること。

講義の内容・  
授業スケジュール

最小限の文法知識を復習して身につけ、辞書を片手に調べて読み、かつ繰り返し発声練習をしていきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、声を出すこと。

成績評価の方法

2回の筆記もしくは口述試験を行います。

教 科 書

中井珠子他著 『発見！フランス語教室』 (第三書房) 2,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	<sup>ぬまくら ひろこ</sup> 沼 倉 広 子	{以降入学生/法A・政治}年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして読解力をつける。

講義の内容・  
授業スケジュール

フランス語圏の学生たちのために書かれた歴史、文学、文化、経済など多岐にわたる内容のテキストを使用する。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教 科 書

特に決めず、その都度プリントを使用する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光 明	以降入学生/法A・政治1年	2

講義のねらい	フランス語中級
講義の内容・ 授業スケジュール	フランス語の基礎を復習・確認しながら、平易な文章を読んでいます。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回・回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教 科 書	野村訓子『アニエスの日々』（駿河台出版社）1,800円
参 考 書 等	そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡD 〔再クラス〕	いとう なお 伊 藤 な お	法A・政治3年	2

(P.143) 参照

〔中国語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	こ 胡 ぎょくか 玉 華	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の発音の仕組み、発音の方法、中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）を理解しながら、繰り返し聞き発音し、中国語の発音の仕方を修得する。音声を通して、基礎的な単語や単語の結びつき方、配列順序、基本的な文句や表現を学び、簡単な文章や会話を「聞き」「話す」基礎力を養成する。  
コトバだけではなく、コトバの勉強を通じて中国或いは中国文化への理解を高めることを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、発音の基礎の習得が中心となり、ピンイン表記の通りに正確な発音ができるようにする。前期の後半は、発音を復習しながら、本文を通じて簡単な日常あいさつができるようにする。後期は、本文の学習によって、初級レベルの基本的な文の構造、語彙、文法を習得し、聞き、話し、読み、書く能力をバランスよく身につけるようにする。

履修上の留意点

発音の習得には授業への出席と復習がカギとなる。故に出席と復習を心掛けてほしい。

成績評価の方法

「A+α」制で評価する。「A」は、平常の小テスト（発音チェック、単語テストなど）及び定期試験による評価、「α」は、出席状況、宿題の出来具合、授業中の積極性などによる評価。学ぶ側と教える側が共に楽しい授業になるように、授業中の積極性を高く評価したい。

教科書

渡辺晴夫・楊幸雄・高村麻実 著『(改訂版)フレッシュ中国語』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ひういし よしこ 平 石 淑 子	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の基礎的な発音、文法の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

比較的やさしいテキストを用い、練習問題や小テストなどによって内容の習得をはかる。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習・復習をすること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テストなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

方如偉他著『中国語10課』（白水社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	まつもと あつとし 松 本 丁 俊	全学科2年	2

講義の内容・授業スケジュール

最初は発音篇1～11課まで基本発音を覚える。つづいて本篇に入るが、日本人が中国家庭を訪問するという設定で、会話を通じて文法・文型の基礎を学んでゆく。

教科書

植田渥雄著『八木さんの中国家庭訪問—会話で学ぶ文法の基礎』（金星堂）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	かまや おさむ 釜屋 修	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の発音、ピンイン表記、文法の基礎をあらためて再学習するが、目標はⅠA、ⅠBに同じ。

履修上の留意点

前年度ⅠA、ⅠBの挫折の原因をしっかりと総括し、前向きの学習姿勢であらたな一年に挑戦すること。散漫な出席は許されない。とりわけ高学年次生は注意されたい。

成績評価の方法

平常点、出席点、小テスト、前・後期の期末考査により総合的に判定する。

教科書

荒川清秀・許秋寒・上野由紀子『中国語スケッチ15』（朝日出版社）CD付き2,200円

参考書等

辞書は開講後に解説する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さと う ふみこ 佐藤 普美子	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかりと身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点

授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。

成績評価の方法

学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教科書

野澤俊敬監修『中国語レッスンA・B・C』（白帝社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	あまの せつ 天野 節	全学科2年	2

講義のねらい

文法を踏まえ、「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」という四技能を関連付けながら学習して行けるように援助していく。最終的には、独学でも学習を継続していけるような基本的能力を修得することがねらいである。

履修上の留意点

最後まで学習を継続する決意をして授業にのぞんで欲しい。

成績評価の方法

出席、授業態度、小テスト等の平常点と期末テストの結果を合せ、総合して評価する。

教科書

坂本英雄『できる中国語』（同学社）1,700円



科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ね ぎ し ま さ こ 根 岸 政 子	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の正しい発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の1ヶ月は中国語の発音を確認しながら進むので、必ず出席すること。学習したことがちゃんと身についているかを確認するために随時小テストを行う。

成績評価の方法

前期後期のテストおよび小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

是永駿・陳薇 『中国語入門晶子さんのホームステイ』(郁文堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さ く ら ば か ず の り 櫻 庭 和 典	全学科2年	2

講義のねらい

日常生活でよく使う表現を選び、実生活に役立つ基礎的な中国語会話の習得を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

始めは、発音(四声)・ピンイン表記(中国式ローマ字)の習得に重きをおき、初歩的な語法にはいり、平易な文型を通して表現力を高める。中国語文の反復・応用練習・暗誦により基礎語学の向上を計る。

履修上の留意点

授業の開始までに、教科書・辞書を必ず購入すること。

成績評価の方法

平常評価(授業態度・出席日数)、小テスト、学期末テスト(前期、後期各一回)。出席日数の足りない場合受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

小川郁夫著 『中国語初級対話64』(白帝社) 1,550円

参考書等

辞書は当然必要ないが、必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	そう た い わ 曹 泰 和	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の基礎的な発音、基本文法をしっかり身につける。

履修上の留意点

4分の3以上の出席と、元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

楊凱榮・張麗群著『身につく中国語』(白帝社) 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	李 雲	全学科2年	2

講義のねらい	基礎文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
教科書	尹景春・竹島毅 『中国語はじめの一步』(白水社) 2,200円
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	工 藤 早 恵	全学科2年	2

講義のねらい	中国語学習の基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法を身につける。
履修上の留意点	語学は積み重ねである。欠席せずに最後まできちんと授業に出ることが大切である。
成績評価の方法	出席状況、平常点、小テスト、定期試験によって総合的に評価する。
教科書	相原茂等著 『学ビテ時ニ之ヲ習フ』(好文出版) 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	小 川 隆	全学科2年	2

履修上の留意点	発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかり反省して授業にのぞむこと。やり直したからといってしよげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からていねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りくんでもらいたい。
成績評価の方法	年間4～5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は初回に指示を受けること。
教科書	八木・郷 『はじめての中国語 ぶうとんほあ』(朝日出版社) 2,200円 (CD付)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	しおはた しんいちろう 塩 旗 伸一郎	全学科2年	2

講義のねらい

中国語は漢字を使うから簡単だと思った人ほど実は挫折しやすい。字には音が書いてないので、いつまで経っても中国語が読めないのだ。もう一度スタートラインに立ち、耳と口づくりから始めよう。でもどうしても、あの魅力あふれる音と相性が悪いという人は、せめて毎回出席し、課題毎に提出してもらおうドリルで張り切ろう。

履修上の留意点

毎回出席が当然。

成績評価の方法

定期試験＋小テスト－欠席点。欠席が3回超えた場合は理由を問わず10点ずつ減点。

教科書

尹景春・竹島毅『新版 中国語はじめの一步』（白水社） 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	あきもと たすく 秋 元 翼	全学科2年	2

講義のねらい

再履修者がこれまでの学習方法の欠点を自覚し、自分でその欠点を克服して当初の学習目標を達成できるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

発音入門からやり直し、初級の文法と表現を一年間でマスターする。

履修上の留意点

発音訓練が重要なので、教室では口を大きく動かし、積極的に声を出すようにしてほしい。また、基本単語を覚えることも大事なので、CD等を活用し、復習することを望む。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度と理解度および前・後期の期末テストで評価する。

教科書

山田真・『500語マスター基本中国語』（同学社） 2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	らん めい 蘭 明	全学科2年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は最初の二ヶ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分けて試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁 『話す中国語』（北京篇1）（朝日出版社） 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	こうりん ひでもと 江 林 英 基	全学科3年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全25課、各課の本文のあとに会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

張乃方、長谷川寛 『中国語読本（初級編）』（白水社） 1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	みやもと あつこ 宮 本 厚 子	全学科3年	2

講義のねらい

前半は指定した教科書を用い基礎を固め、後半はプリントを配りより難しい文章を読んでいく。

履修上の留意点

授業の前に、必ず辞書をひき予習を行なうこと。

成績評価の方法

年に2～3回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点で評価する。

教科書

竜燕・遠藤光暁 『読む中国語』（朝日出版社） 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	あまの せつ 天 野 節	全学科3年	2

講義のねらい

中国語Ⅰの基本を復習しながら、会話文を通し中国語Ⅰ以上の表現を学習する。最終的には、独学でも学習を継続して行けるような基本的能力を修得することがねらいである。

履修上の留意点

最後まで学習を継続する決意をして授業に臨んで欲しい。

成績評価の方法

出席、授業態度、小テスト等の平常点と期末テストの結果を合せ、総合して評価する。

教科書

荒川清秀『美香 in China』（同学社）1,900円税別

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	み た む ら け い こ 三田村 圭 子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

基礎の復習をしながら、中級への橋渡しになるような文章を読む。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は、中国語Ⅰの復習を行い、後半は比較的長い文章を読解する。

履修上の留意点

まとめてやろうとせず、毎時間課題を確実に仕上げるように。

成績評価の方法

出席重視。試験は年4回実施する。遅刻は3回で1回の欠席とする。

教 科 書

竹島金吾『中国語さらなる一歩』（白水社）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	り 李                      うん 雲 李                                      雲	以 降 入 学 生 / 法 A ・ 政 治 1 年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教 科 書

水野蓉・渡辺安代・滝澤恭子 『元気です中国』（朝日出版社） 2,000円

そ の 他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	み や も と あ つ こ 宮 本 厚 子	以 降 入 学 生 / 法 A ・ 政 治 1 年	2

講義のねらい

一年次に学んだ文法事項を復習しつつ、実際に役立つような会話体の文を学ぶ。

履修上の留意点

学んだ文が実際に言えるようになるよう繰り返し練習を行なうので、積極的に取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

前後期末試験、中間試験（2回）、出席点。

教 科 書

王占華・劉慶 『就職に役立つ中国語』（駿河台出版） 1,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	らん 蘭                      めい 明	以降入学生/法A・政治3年	2

講義のねらい	基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。
講義の内容・ 授業スケジュール	発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。
履修上の留意点	授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。
成績評価の方法	出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。
教科書	董燕・遠藤光暁 『話す中国語』（北京篇2）（朝日出版社） 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD 〔再クラス〕	そう 曹                      た い わ 泰 和	法A・政治3年	2

(P.152) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD 〔再クラス〕	り 李                      うん 雲	法A・政治3年	2

(P.153) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD 〔再クラス〕	く ど う 工 藤                      さ え 早 恵	法A・政治3年	2

(P.153) 参照

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>みやち たつろう</small> 宮 地 達 郎	全 学 科 2 年	2

講義のねらい 文法解説をできるだけ容易に説明する。簡単な日常会話も織込み、興味を持続させる。

履修上の留意点 最低限の復習、それに対する質問が望ましい。

成績評価の方法 前・後期のテスト及び出席点。

教科書 宮本博司著 『ようこそスペイン語の世界へ』(大学書林)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>おおいわ いさお</small> 大 岩 功	全 学 科 2 年	2

講義のねらい 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・  
授業スケジュール 文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点 予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法 数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書 寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』教材マルコ社  
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等  
辞書  
有本紀明編『西和辞典』(白水社) 4,500円  
宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 4,000円  
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』(研究社) 4,860円  
桑名一博編『西和中辞典』(小学館) 6,120円  
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	うえの かつひろ 上野 勝 広	全学科2年	2

講義のねらい	スペイン語の基礎（発音、文法、語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課～9課まで、後期は10課～18課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。
履修上の留意点	新しい外国語を少しでも身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音テープのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。
成績評価の方法	年間4回のテストと平常点を総合的に評価します。
教科書	淵上英二・アルフレッド・ロバス 『確認して進むスペイン語』（朝日出版社） 2,500円
参考書等	初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	またう ひろこ 佐藤 紘 子	全学科2年	2

講義のねらい	必要最低限の文法事項に通じ、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。
履修上の留意点	欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。
成績評価の方法	毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。
教科書	佐々木克美著『スペイン語との出会い』（芸林書房）
参考書等	最初の授業で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	またう まりの 佐藤 麻里乃	全学科2年	2

講義のねらい	文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的特徴を理解する。
履修上の留意点	初回の授業で述べる注意事項を必ず守ること。
成績評価の方法	出席率、授業態度、課題の出来具合などにより評価する。
教科書	寺崎英樹著『スペイン語文法のシステム』同出版社
参考書等	『西和中辞典』（小学館）、『現代スペイン語辞典』（白水社） 『新スペイン語辞典』（研究社）、『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）など。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	ふくもと くみこ 福 本 久美子	全学科3年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		8以降入学生/法A政治1年	

講義のねらい

基礎文法の充実とスペイン語圏の文化に触れることを目的とする。前期は文法を、後期は講義を中心とした授業とする。

履修上の留意点

出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻は入室を認めない。但し出席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。

授業を妨げるような振る舞い(私語・無断退出等)は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。

成績評価の方法

前・後期テストと授業中の平常点(宿題・小テスト)の合計に拠る。

教科書

西川 喬著 『新スペイン語ゼミナール』(第三書房) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おおいわ いさお 大 岩 功	全学科3年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		8以降入学生/法A政治1年	

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』教材マルコ社  
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書  
有本紀明編『西和辞典』(白水社) 4,500円  
宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 4,000円  
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』(研究社) 4,860円  
桑名一博編『西和中辞典』(小学館) 6,120円  
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	さとう ひるこ 佐 藤 紘 子	全学科3年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		8以降入学生/法A政治1年	

講義のねらい

1年次で学習した基礎文法を復習し、更にそれを広げていく。同時にスペイン・中南米の現代事情について基礎的な理解をめざす。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』(朝日出版社)

参考書等

最初の授業で指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡD 〔再クラス〕	ナバロ, ホワンJ.	法A・政治3年	2

(P.159) 参照

外国語

〔ロシア語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ひろた ひでやす 廣 田 英 靖	全学科2年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
  - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
  - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
  - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
  - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。  
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

戸部又方編 『1年生のロシア語』（白水社）  
杉山秀子他 『やさしいロシア語読本』（大学書林） 1,600円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さの あさこ きむら ひであき 佐野 朝子・木村 英明	全学科2年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。  
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	あん とく 安 徳 ニーナ	全 学 科 2 年	

講義のねらい	基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教 科 書	桑野隆 『はじめてのロシア語』（白水社）
参 考 書 等	必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	全 学 科 3 年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕		8以降入学生/法A政治1年	

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教 科 書	プリント配布。
参 考 書 等	ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	あん とく 安 徳 ニーナ	全 学 科 3 年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕		8以降入学生/法A政治1年	

講義のねらい	一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教 科 書	桑野隆 『はじめてのロシア語』（白水社）
参 考 書 等	必要に応じてその都度資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡD 〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	法A・政治3年	2

(P.163) 参照

外国語

〔選択科目〕

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	はやし 林 明 人	法A・政治1・2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようになれば幸いです。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、発表、レポート、小テスト、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを uses。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	まえだ 前 田 脩	法A・政治1・2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

イギリス風景庭園を主題としますが、まずはじめに、イギリス及びヨーロッパの庭園の概略を知ってもらうため、簡単な庭園史のテキストを使います。その後、イギリス庭園と対比されるフランス庭園の概念を知るためのテキストのコピーを使用します。最後にイギリス風景庭園の成立の原因をさぐるために適すると思われる本を読みませ。庭園の概念についての説明はしますが、授業はあくまでも講読です。

成績評価の方法

授業中の発表等日常評価を重視します。後期テストも評価に入れます。

教科書

- 1) 『イギリス庭園物語』(南雲堂) 1,200円
- 2) コピーを使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	まきの 牧 野 輝 良	法A・政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

内容のある英文を読み、正しく内容を理解すること。

講義の内容・  
授業スケジュール

高い教養の持主である筆者の歴史や文化の見方を学ぶ。特に結果から原因をたどる手法を学ぶ。

履修上の留意点

受講する学生はよく自習しておき、指名されたら解答出来るように心掛けること。

成績評価の方法

時間中の成績と期末テストの成績を総合して評価する。

教科書

ピーター・ミルワード『西欧文明をどう理解するか』(南雲堂) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	たけむら えつこ 竹 村 恵都子	法A・政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

テキストは最初の授業時に発表します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	はやし あきと 林 明 人	法A・政治1・2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

CNN, Herald Tribune紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、小テスト、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを uses。

参考書等

『*Sanseido's Dictionary of News English*』（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	かわて ひろかず 川 手 浩 一	法A・政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

外国語を学習する目的はその国の文化を知ることである。しかしながら今や世界はせまくなり、自国の文化のみにとられていては日常生活すらできなくなっている。

講義の内容・  
授業スケジュール

ここでは主として読解力に主眼をおいて、重要な単語、イディオム、構文などを英文の中にちりばめて、多様性に富んだ英文が学習でき生活英語としても活用できる。

成績評価の方法

成績評価は出席とテスト、レポートなど総合評価です。

教科書

Shino Sano『*Health and Business*（健康とビジネス）』（Nan'Undo） 1900

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おちあいかずあき 落 合 和 昭	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一の目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講を希望する学生は、最初の授業の時に、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないLL教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%（ヒヤリングが20%、会話英作文が20%）、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業に、全員が最低一回は当てるようにする）。出席率が三分の二を超えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 1) 『5分間口語英語表現 (I)』(南雲堂) 900円
- 2) 『ルル・オン・ザ・ブリッジ』(松柏社) 1,900円
- 3) Phrasal Verbs (洋書) (オックスフォード大学出版局) 2,200円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	お お ば な お き 大 庭 直 樹	全学科1・2・3・4選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

このクラスの第一の課題は、Office 2000 を使いこなすことである。Office 2000 は Word (ワープロ)、Excel (表計算)、PowerPoint (プレゼンテーション)、Schedule+ (スケジュール管理) を中心としたアプリケーションである。Word と電子辞書を使いながら、論文、公式文書、ビジネス文、手紙、英文等の書き方を訓練する。また、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウをを体得する。更に、Excel での表、グラフ、データベースの作成、また、図形、画像、デザイン文字の作成を学び、それらをリンクさせた複合文書を作成する訓練をする。

第二の課題は、インターネット (マルチメディア) の世界を探索することである。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。ネット・サーフィンで大切なことは、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、学術ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。

第三の課題は、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使いこなすことである。このソフトは、カード型のデータベースをつくることを目的とし、受講生は各自の研究、文献・資料整理等、それぞれの必要に合った「メモ・カード」の作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。

第四の課題は、ホームページの基本的な概念を理解し、受講生全員が「ホームページ・ビルダー2001」を使って、自分のホームページを作成する。出来上がったホームページは、インターネット上に流すことになる。

後期からは、受講生一人一人にプレゼンテーションをしてもらう。発表内容は、コンピュータ、インターネットについてならば何でもよしい。発表は、コンピュータ・インターネットについての知識、情報の交換を目的とする。受講生は、前期から発表のプロジェクトを決めて、入念に発表の準備をしてほしい。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するたするはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室 (朝9時より夜9時まで開館) で補修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マルチ・メディア	ま ち だ な お こ 町 田 尚 子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

インターネット上のマスメディアの英語理解の上達を考えている人たちのためのコースです。

講義の内容・  
授業スケジュール

4-204教場のPCで、英語新聞のウェブサイト上のオンライン記事・論説・特集等を選んで速読し、Wordで要約、さらに自分の見解をまとめ、電子メール・添付ファイルで提出し、添削指導を受けます。担当者とのメールは英文で行い、英文メール作成をマスターします。受講者のPC習熟度にあわせて、個別指導から始める予定です。

履修上の留意点

クラス人数は30名以下に限定し、メールアドレスを取得していることが前提となります。授業時間内に終了しないときは、自習室あるいは自宅で完成させて送信します。

成績評価の方法

毎授業の要約と作成メールの成績で評価します。

教 科 書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英会話Ⅱ	プラスキー, J. C.	全学科2・3・4選	2

(P.131) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英会話Ⅱ	ジトウィッツ, P. D.	全学科2・3・4選	2

(P.131) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英会話Ⅱ (夏期集中)	ピアス, D. M.	全学科2・3・4選	2

(P.132) 参照

## 英 会 話 Ⅲ

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ	ウエルズ, J. K.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

WELCOME TO MY CLASS! MY CLASS IS FOR STUDENTS WHO CAN SPEAK ENGLISH SOMEWHAT FLUENTLY. YOU WILL ONLY BE ACCEPTED IF YOU CAN UNDERSTAND. YOU WILL LEARN TO SPEAK OPENLY AND QUIZZEZ, REPORTS, AND HOMEWORK WILL BE GIVEN.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ	ハバード, W. D.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this course is to develop the skills of Research, Analysis, and Reasoning that build fluency in communication.

講義の内容・  
授業スケジュール

For successful communication Japanese students need a high English ability and the ability to convey their opinions logically and clearly. Debating issues help Japanese students develop these skills. This course develops the skills of Research, Analysis, and Reasoning through current and sensitive topics related to youth culture and ethics and morals that are discussed and debated in countries around the world. Students will also have the opportunity to practice public speaking and discuss issues related to their own fields.

履修上の留意点

Requirements: Students who take this course are strongly advise to have taken level 2.

成績評価の方法

Grading: Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests.

教 科 書

Textbook: 『*Debating the Issues*』 by Stephen Hesse, Macmillan LanguageHouse, Tokyo  
(I also request a copy of the teacher's manual and the textbook cassette for myself)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

There are two important aims of this course. First, and most important, is to help students develop their English conversation skills and to learn to express their opinions spontaneously on a number of topics with confidence. However, as the majority of misunderstandings between different nationalities stem, not only from language difficulties, but also from cultural ones, the second aim is to promote knowledge and awareness of the cultural heritages of other countries.

講義の内容・  
授業スケジュール

This is a highly intensive class concentrated within six days. During that period a number of different themes will be covered. These will range from simple personal issues, current trends and cultural issues to deeper more involved international problems. Included within the course will be research projects where in the students will be expected to collect information and present it to the class. Individual presentations will also be required.

履修上の留意点

This course offers students an opportunity to express their ideas on a variety of everyday matters. However, as this course is based on fluency and discussion, it is not recommended for students who want to concentrate on grammar skills, or for students who are unwilling to participate fully in pair work, role plays or group activities.

成績評価の方法

Evaluation  
 25% attendance  
 25% presentations  
 50% participation and contribution to discussions.

参 考 書 等

Dictionary

そ の 他

Method of Teaching.

Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程  
英会話Ⅲ

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○	○	○			8月20日 火							
8月2日 金	○	○	○	○	○			8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○	○	○			8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○	○	○			8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○	○	○			8月26日 月							
8月8日 木	○	○	○	○	○			8月27日 火							

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLII	<small>にしむら ゆうこ</small> 西村祐子	全学科2・3・4選	2

(P.133) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLII	<small>まちだ なおこ</small> 町田尚子	全学科2・3・4選	2

(P.134) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLII	<small>おおた まさこ</small> 太田雅子	全学科2・3・4選	2

(P.134) 参照

外国語

# 英 語 L L Ⅲ

## ＜英語 LL Ⅲの授業内容と履修上の留意点＞

上級：LL Ⅱを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語LLⅢ	井 伊 順 彦 <small>い い のぶ ひこ</small>	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

リスニング、ボキャブラリー、発音のいずれの面でも一定水準以上にある学生を対象とし、会話などを浴びるように聞いて耳をさらにきたえるとともに、スピーキング力を開発するべくパラエティに富んだ練習をおこなう。

### 講義の内容・授業スケジュール

プロの通訳も取り入れているシャドーイングを重視する。また、ビデオや別のテープを用いての発展的なリスニング練習も、授業の後半におこなうことになる。

### 履修上の留意点

毎回一度はほぼ確実に指名したい。その答えの出来を平常点として採点する。録音用テープを各自が用意してほしい。

### 成績評価の方法

数回の小テスト、平常活動、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。

### 教 科 書

『*Listening, Shadowing, and Speaking*』 (リスニング・シャドーイング・スピーキング)  
(英潮社) 1,700円＋税。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語LLⅢ	久 保 ひ さ 子 <small>く ぼ ひ さ こ</small>	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

海外旅行の場面別に、一回で通じる短い会話文を習得する。

### 講義の内容・授業スケジュール

旅行会話の短文を、ラボを使用して、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。さらに、応用できるように暗記する。小テストあり。

### 履修上の留意点

LL授業は、ラボによる実習授業のため欠席しないようお願い致します。

### 成績評価の方法

小テスト合計点と授業実習点

### 教 科 書

マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 L L III	にしむら ゆうこ 西 村 祐 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかっても「話すこと」からはじめたLL1のレベルに対して、レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。レベルⅢは一層高度な、それを利用して会話の表現力を増していくことをめざしている。授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。ほとんど毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、それにもとづいた教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルⅡを終了し、英検一級程度(TOEIC900程度)をめざす学生用なので、このレベルにみえない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は課題提出用に全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ(90分程度)をもってくること。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語での短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出がある。電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

使用カセットテープ：Open University Program シリーズ (LL事務室備え付け)。  
使用ビデオ：Mapping the Landscape (ジェムコ出版、LL事務室備え付け) その他オープンユニヴァーシティシリーズを適宜使用。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語LLI	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

(P.138) 参照

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語LLII	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

教科書

『Themen I neu』

その他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語IA(選)	<small>くりはら かずのぶ</small> 栗原万修	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を最初からやります。できるだけいねいに、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的につけないと習得できませんから、出席を重視します。欠席しないように。欠席をつづけると名簿から名前を抹消します。

成績評価の方法

成績評価はテストのほか、日常の出欠、学習意欲等も含め、すべてを総合して判断します。

教科書

大岩信太郎『快速ドイツ文法』(朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語IB(選)	<small>お だ し げ み</small> 織田 繁美	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ヨーロッパには実に沢山の言語があり、その一つ一つに歴史、文学、芸術など独自の文化を持つ。十六世紀のスペインの宮廷社会の人物を用い、十八世紀ほぼ同じ頃、一つはイタリアで、一つはドイツで別々の詩人が戯曲を書き、この二作品を土台にしてイタリアの作曲家がオペラという音楽戯曲を作曲した。事の成り行きでオリジナルはフランス語の歌詞が付き、その歌詞がイタリア語、ドイツ語等に翻訳され、しかもこれらの翻訳が同一の内容ではなく、元の内容からはみ出し、翻訳に工夫が凝らされている。このようにヨーロッパでは異なる言語でありながら、文化的には早くから一つの統一体であったかに見える。先ずその一つの砦としてのドイツ語を切り崩す一歩を踏み出す切掛けをこの授業で始めてみたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を用いるが、プリントを用い、日常生活で大切な言い回しを学び、テープレコーダーを用いて耳で聞き取る練習もする。

成績評価の方法

前期末、後期末の試験も勿論勘案するが、平常点に重きが置かれるので、出席が大切である。

教科書

荻野『ドイツってすてき!』(前編)(朝日出版社) 1,900円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語Ⅱ（選）	ももずみ いさむ 百 済 勇	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。

成績評価の方法

毎回、何等かの形でテストを行う。平常点で採点、期末試験は行わない。

教 科 書

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語L L I	ラリア・三倉, M. <small>みくら</small>	全学科2・3・4選	2

(P.143) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語L L II	ラリア・三倉, M. <small>みくら</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。  
尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

井上美徳他『C'EST A TOI !』(伸興通商) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語I A (選)	井 田 清 子 <small>い だ き よ こ</small>	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、パリの生活情景を主題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

パリを中心とした生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜まず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

教科書は、山崎庸一郎他『パリのどこかで』(第三書房)です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語I B (選)	桑 田 禮 彰 <small>く わ た の り あ き</small>	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得

講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

滑川明彦、前川泰子著『ポケットにフランス語』(第三書房)

参考書等

そのつど授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語II (選)	こ だ ま な り お 小 玉 齊 夫	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級フランス語の応用・展開として、一年次での文的知識を復習しながら、文化的な要素の込められた文章を、さまざまに考えながら、読み進んでいくつもりです。

講義の内容・  
授業スケジュール

必ずしも、教科書の構成にこだわらずに、時には調査してもらうことがらも含めて、フランス・日本間の文化的な「つながり・へだたり」を理解していきたいと思います。

履修上の留意点

特別な場合を除き、かならず出席すること。

成績評価の方法

随時行われる小テスト、前期・後期の試験によって成績評価をします。

教 科 書

コルノリエ・野村『私の日仏異文化体験』(第三書房) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語LLI	佐藤 普美子	全学科2・3・4選	2

(P.153) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語LLII	小川 隆	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

テープを使って、中級ていどの会話と聴き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

また、短期・長期の留学をめざす人は、この科目やその他の中国語選択科目をなるべく多く履修しておいてほしい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

揚顕栄『表現する中国語』（白帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語IA（選）	釜屋 修	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

週一回一年で中国語初歩の一通りの修得をめざす。正確な発音、ピンイン表記のマスター、基本文法の理解を中心に進めるが音読を重視し、「目」にたよらない「耳」で学ぶ姿勢をたいせつにする。

履修上の留意点

初級外国で週一回の授業ゆえ、欠席は許されない。IB（選）その他とあわせて受講する人も同じ。自主的な学習を求める。

成績評価の方法

平常点、出席点、小テスト、前・後期の期末テスト等で総合的に評価する。

教科書

守屋宏則・柴森『フォーアップ初級中国語』（同学社）CD付き 2,500円

参考書等

辞書については開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語IB（選）	佐藤 普美子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

中国語入門段階で最低限の基礎知識を系統的にまとめたテキストを用い、豊富なドリルをも活用して発音の基礎をしっかりと学ぶ。

履修上の留意点

休まないでテキストをじっくり読みこむこと。異文化、外国語としての中国語の魅力を発見すること。

成績評価の方法

声の大きさ+小テスト+期末テスト+出席状況により総合的に評価。

教科書

野澤俊敬監修『中国語レッスンA・B・C』（白帝社）2,500円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語Ⅱ（選）	いわさき 岩 崎 ひろし 皇	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

新たな知識を獲得するというよりも、中国語の音声になれるということを目標にします。具体的には、テキストのスキットを全て憶えて言えるように練習します。

履修上の留意点

授業での練習が大切なので、出席を重視します。欠席が既定の回数を超えた場合は成績評価をしません。また、音声の習得は人により早い遅いの差がありますから、自分の状況を見て各自で補う必要があります。

成績評価の方法

教室での学習状況および試験結果で判断します。

教科書

董燕、遠藤光暁『話す中国語-北京編1』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語LLI	ナバロ, ホワンJ.	全学科2・3・4選	2

(P.159) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語LLII	ナバロ, ホワンJ.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：中級スペイン語終了者  
 ※スペイン語を勉強したことのない方及び初級程度の学力の方には困難、御遠慮頂きたい。  
 授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通して上級スペイン語会話に接して頂く。

教科書

『Viaje al español』上級編  
 テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語IA (選)	ナバローポロ, L. S.	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIENとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR動詞・ER動詞・IR動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞1・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞2・IR A+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞  
 ・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験－7月と1月－

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）  
 『新スペイン語辞典』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠB(選)	<sup>うりたに</sup> 瓜谷アウロラ	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の初級文法をベースに会話表現を覚える。必要に応じてプリントによる練習も行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

挨拶、自己紹介、家族紹介、職業、交通手段、食料、色、店の名前、体の調子、スポーツ、時刻、日常生活、天候。

成績評価の方法

平常点及び期末筆記試験その他から総合的に判断する。この授業では出席も非常に重視する。欠席と遅刻は減点の対象となり、欠席が7回に達すると自動的に期末試験の受験資格が失われるので、注意すること。

教科書

『*Vivir@Espana.es*』(生活cスペイン、スペイン語) (芸林書房)

その他

読解だけではなく、口頭表現練習も重視するので、受講生の積極的な参加が期待されている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語Ⅱ(選)	<sup>おぎのまさし</sup> 荻野雅司	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行うcommunicationの術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(芸林書房)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語LLI	安徳 二一ナ	全学科2・3・4選	2

(P.164) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語LLII	安徳 二一ナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい	日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。
成績評価の方法	講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
教科書	新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。 (学生の希望も考慮します。)
その他	講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語IA (選)	クロチコフ, Y.	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。</li> <li>2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。</li> <li>3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。</li> <li>4) 基礎的な初等文法を学びます。</li> <li>5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。</li> </ol> <p>はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。</p>
成績評価の方法	<p>何よりも授業の出席を重視。 平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。</p>
教科書	<p>プリントを配布、教場にて指示します。 『セメスターのロシア語』(白水社) 1,300円 杉山秀子他『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,600円</p>
参考書等	『露和辞典』



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠB（選）	木 村 英 明 <small>きむら ひであき</small>	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ロシアは現在、政治的、経済的に混迷の淵をさまよいつづけている観がありますが、依然として国際社会において様々な分野で多大な影響力を有しています。隣国日本との関係も、文化交流や地域間協力など確実に広がりつつあり、ロシアの人々と直接にコミュニケーションできる機会、必要性は徐々に高まっています。この授業では、言葉を通してロシアの文化や人々の暮らしなども紹介していきたいと考えています。

講義の内容・  
授業スケジュール

この授業では、簡単な日常表現に即しながら初歩のロシア語文法を学習することにします。音声面にも留意して、コミュニケーションに役立つロシア語の修得を計ります。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教 科 書

桑野隆著『エクスプレス・ロシア語』（白水社）をもとに、必要に応じ適宜プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語Ⅱ（選）	安 徳 ニーナ <small>あん とく</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語Ⅰで学んだことを基に、ロシア文学を理解できることを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書にもとづいて会話を主体的に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で時々行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教 科 書

S. KHAVRONINA著『RUSSIAN AS WE SPEAK IT』（ナウカ社）

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
朝鮮語ⅠA(選)	<small>そん</small> 宋 <small>みりよん</small> 美 玲	全学科1・2・3・4選	2
朝鮮語ⅠB(選)			

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書で授業を行う。選択科目なのでⅠA(選)またはⅠB(選)のどちらか1科目か、必要に応じてA、B2科目選択してもよい。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するたいせつな時期なので、熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

野間秀樹 著『至福の朝鮮語』(朝日出版社) 2,900円

参考書等

野間秀樹 著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

## 4 保健体育科目

## 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

## 4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (サッカー)	〈秋田浩一〉	251
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈館岡儀秋・森本葵〉	253
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈森本葵〉	253
健康・スポーツ実習 (テニス)	〈高橋俊介〉	254
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈竹田幸夫〉	255
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈秋田浩一〉	256
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (サッカー)	〈秋田浩一〉	257
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (卓球)	〈川村正義〉	258
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (ゴルフ)	〈鈴木淳平〉	259
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (空手道)	〈高橋俊介〉	260
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (バドミントン)	〈牧野茂〉	261
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (ソフトボール)	〈山口良博〉	262
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (室内球技)	〈鈴木淳平〉	263
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期 / 基礎 (簡化太極拳)	〈大石武士〉	266
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期 / 基礎 (バドミントン)	〈長濱友雄〉	265
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期 / 基礎 (室内球技)	〈鈴木淳平〉	265
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期 / 基礎 (卓球)	〈牧野茂〉	266
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期 / 基礎 (バスケットボール)	〈牧野茂〉	267
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期 / 応用 (簡化太極拳)	〈大石武士〉	268
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期 / 応用 (ニュースポーツ)	〈大石武士〉	269
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期 / 応用 (バドミントン)	〈長濱友雄〉	270
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期 / 応用 (室内球技)	〈鈴木淳平〉	270
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期 / 応用 (バドミントン)	〈鈴木淳平〉	271
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期 / 応用 (卓球)	〈牧野茂〉	272
生涯スポーツ実習 I～IV 前後期 / 応用 (バスケットボール)	〈牧野茂〉	273
生涯スポーツ実習 (集中前期) (テニス集中)	〈江口淳一〉	274
生涯スポーツ実習 (集中後期) (テニス集中)	〈江口淳一〉	275

生涯スポーツ実習 (集中後期) (ゴルフ集中) 〈三 幣 晴 三〉 .....	276
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ) 〈竹田幸夫 他〉 .....	277
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード) 〈佐藤政之 他〉 .....	278
健康・スポーツ論 1 〈舘 岡 儀 秋〉 .....	279
健康・スポーツ論 1 〈竹 田 幸 夫〉 .....	280
健康・スポーツ論 2 〈大 石 武 士〉 .....	281
健康・スポーツ論 2 〈川 村 正 義〉 .....	282
健康・スポーツ論 2 〈牧 野 茂〉 .....	283

# 「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1 時限 (政治)		2 時限 (法律 - 1)		3 時限 (法律 - 2)	
水曜日	※秋田	サッカー	※館岡	ゴルフ	※森本	ソフトボール
	高橋	テニス	秋田	トレーニング	秋田	トレーニング
	竹田	室内球技	高橋	テニス	館岡	ゴルフ
	森本	ゴルフ	森本	ソフトボール	竹田	室内球技

※は、科目の担当者

保健  
体育

# 「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日					
1 時限										
2 時限	長	大 石	前期・応用 ニュースポーツ※ 後期・応用 ニュースポーツ※	牧	前期・応用 卓球 後期・応用 卓球					
						野	野			
	演			前期・基礎 バドミントン				前期・応用 バドミントン	前期・基礎 卓球	前期・応用 バスケットボール
						野	野			
3 時限	長	大 石	前期・基礎 簡化太極拳※ 後期・基礎 簡化太極拳※	鈴	前期・応用 室内球技 後期・応用 室内球技			牧	前期・基礎 卓球 後期・基礎 卓球	前期・基礎 バスケットボール 後期・基礎 バスケットボール
						野	野			
	演			前期・応用 バドミントン				前期・応用 バドミントン		
						野	野			
4 時限	大	前期・応用 簡化太極拳※ 後期・応用 簡化太極拳※	鈴	前期・基礎 室内球技 後期・基礎 室内球技	鈴			前期・応用 バドミントン 後期・応用 バドミントン		
						石	木			木
	野				野					
						野	野			

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

保健体育



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (サッカー)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	政治1選	2

#### 講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（とらッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明
- 2 時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング（グランダー）
- 3 時限目：インサイドキック、練習ゲーム
- 4 時限目：浮玉のとらッピング1、リーグ戦1
- 5 時限目：インステップキック、リーグ戦2
- 6 時限目：インフロントキック、リーグ戦3
- 7 時限目：オフサイドルールの理解、リーグ戦4
- 8 時限目：浮玉のとらッピング2、リーグ戦5
- 9 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦6
- 10 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦7
- 11 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦8
- 12 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦9
- 13 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 14 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 15 時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手のものがよい。

#### 成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。

#### そ の 他

雨天の場合は、室内にて他種目の運動もしくは、ルールの説明、ビデオによるプロゲームの観戦

注) 運動服装は雨天でも持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	たておか よしあき もりもと まもる 館岡 儀秋・森本 葵	法A・政治1選	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。  
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	もり 森 もと 本 まもる 葵	法A1選	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目： 〃
- 3 時限目：試合(勝ち点制)
- 4 時限目： 〃
- 5 時限目： 〃
- 6 時限目： 〃
- 7 時限目： 〃
- 8 時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
- 9 時限目： 〃
- 10時限目：試合(勝ち点制)
- 11時限目： 〃
- 12時限目： 〃
- 13時限目： 〃
- 14時限目： 〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与  
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。  
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

保  
健  
体  
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (テニス)	たか はし しゆん すけ 高 橋 俊 介	法A・政治1選	2

## 講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本記述
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本記述
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

## 履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

## 成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

## そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	たけだ 幸夫 竹 田 幸 夫	法A・政治1選	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バトミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明  
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフ・コート 2 対 1、ゲーム (1 次リーグ)
- 4 時限目：ハーフ・コート 3 対 2、ゲーム (1 次リーグ)
- 5 時限目：ハーフ・コート 4 対 3、ゲーム (1・2 次リーグ)
- 6 時限目：ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (2 次リーグ)
- 7 時限目：実技テスト、ゲーム (2 次リーグ)  
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：実技テスト、ゲーム (トーナメント)  
(バトミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70 点)、実技テスト (20 点)、態度点 (10 点)、60 点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	法A1選	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないと成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単かつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3~2/3の負荷を各自で選び5~8種類のマシンを、2~3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(サッカー)	あき 秋 田 浩 一 た こう いち	法A・政治(2年次以降)	2

**講義のねらい** サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1日目午前：基本技術練習(キック、トラップ、ヘディング、ドリブル) チーム分け
- 1日目午後：〃
- 2日目午前：パス練習、ゲーム
- 2日目午後：ロングキック、ゲーム
- 3日目午前：ドリブル、ゲーム
- 3日目午後：シュート、ゲーム
- 4日目午前：ルールの解説、ゲーム
- 4日目午後：ゲーム(リーグ戦)
- 5日目午前：〃
- 5日目午後：〃

**履修上の留意点** 服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手ものがよい。

**成績評価の方法** 出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

**そ の 他**

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)  
(後期) 12月21日(日)～25日(木)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前10:00～12:00  
午後13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(卓球)	かわむらまさよし 川村正義	法A・政治(2年次以降)	2

## 講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール(シングルス、ダブルス)を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明。ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形。  
 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム。  
 2日目午前：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム。  
 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法。シングルスゲーム。  
 3日目午前：シングルスゲーム。ダブルスゲームのやり方。  
 3日目午後：ダブルスゲームの練習。  
 4日目午前：ダブルスゲーム。  
 4日目午後：ダブルスゲーム。  
 5日目午前：トーナメント形式の試合。  
 5日目午後：まとめ。

## 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

## 成績評価の方法

評価は出席点70点。実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

## そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期)7月18日(金)～22日(火)  
(後期)12月21日(日)～25日(木)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00  
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への「履修届(事前登録)」は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(ゴルフ)	すずき しゆん べい 鈴 木 淳 平	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。  
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 日目：オリエンテーション  
グリップ、アドレス、スイング  
打撃練習 (7・9 アイアン)
- 2 日目：打撃練習 (7・9 アイアン) ・ビデオによるスイング理論の解説  
打撃練習 (5 アイアン)  
打撃練習 (5 アイアン)
- 3 日目：打撃練習 (W 1・W 3)  
打撃練習 (W 1・W 3)  
打撃練習 (アプローチ)  
打撃練習 (アプローチ)
- 4 日目：打撃練習 (パッティング) ・ルールの解説  
打撃練習 (パッティング) ・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説  
ラウンド (模擬コース)
- 5 日目：ラウンド (模擬コース)  
実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点 70%・実技点 (実技テストを含む) 30% の割合で評価する。

そ の 他

- 雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。  
再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)  
(後期) 12月21日(日)～25日(木)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
  - (2) 実施時間：10:00～12:00  
13:00～15:30
  - (3) 実施場所：玉川グラウンド
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(空手道)	たか 高 はし 橋 しゆん 俊 すけ 介	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1日：空手道の歴史と技の説明  
自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受  
閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 第2日：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り  
前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受  
自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 第3日：総合的に反復して練習  
総合的に反復して練習  
2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 第4日：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。  
総合的に反復して練習  
総合的に反復して練習
- 第5日：総合的に反復して練習  
総合的に反復して練習  
実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)  
(後期) 12月21日(日)～25日(木)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00  
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(バドミントン)	まきの野 茂 <small>しげる</small>	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 1 日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク  
①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
- 2 日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク  
②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
- 2 日目午後：アンダー・ハンド・ストローク  
①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 3 日目午前：アンダー・ハンド・ストローク  
②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
- 3 日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 4 日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク  
③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
- 4 日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5 日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5 日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）  
（後期）12月21日（日）～25日（木）  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
  - (2) 実施時間：10:00～12:00  
13:00～15:30
  - (3) 実施場所：玉川体育館
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への「履修届（事前登録）」は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(ソフトボール)	やまぐちよしひろ 山口良博	法A・政治(2年次以降)	2

#### 講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッテイング、走塁練習、その他）  
午後：同上

第2日目 午前：ゲーム  
午後：〃

第3日目 午前：〃  
午後：審判法・ゲーム

第4日目 午前：〃  
午後：〃

第5日目 午前：〃  
午後：〃

#### 履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

#### 成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

#### そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）  
（後期）12月21日（日）～25日（木）  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00  
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(室内球技)	すずき じゆん へい 鈴 木 淳 平	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい	室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる基礎的な技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。
講義の内容・ 授業スケジュール	バレーボール・バスケットボール・バドミントンを行なう。チームスポーツ、個人スポーツに必要とされる要素（体力的・技術的）を意識してゲームを多く消化していく。 スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。
履修上の留意点	○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
成績評価の方法	出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。
そ の 他	再クラス 集中授業コース実施について (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火） （後期）12月21日（日）～25日（木） 7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合 (2) 実施時間：10:00～12:00 13:00～15:30 (3) 実施場所：玉川体育館 (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。 (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攢雀尾・右攢雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率 70%、総合評価 30% で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。  
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。  
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：〃
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	すず き じゆん へい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (室内球技)		全学科4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。  
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まき の 野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。  
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
  - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
  - (2) スマッシュを打つことが出来る。
  - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
  - 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
  - 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
  - 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
  - 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
  - 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
  - 7 時限目：シングルスゲームの練習
  - 8 時限目：
  - 9 時限目：
  - 10 時限目：
  - 11 時限目：
  - 12 時限目：
  - 13 時限目：
  - 14 時限目：
  - 15 時限目：
- 総合練習、シングルスゲーム練習
- 総合練習、ダブルスゲーム

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。



科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バスケットボール)	まきの 牧野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス①、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス②、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク①、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク②、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：初歩的なマンツーマン・オフense①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：初歩的なマンツーマン・オフense②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：初歩的なマンツーマン・オフense③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おおいし たけし 大石 武士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		全学科4選	

## 講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

## 履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

## 成績評価の方法

出席率 70%、総合評価 30% で行う。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (ニュースポーツ)	おお いた たい し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ：                    ♪                    ♪
- 9 時限目：スポーツチャンバラ：                    ♪                    ♪
- 10時限目：スポーツチャンバラ：                   ♪                   ♪
- 11時限目：スポーツチャンバラ：                   ♪                   ♪
- 12時限目：スポーツチャンバラ：                   ♪                   ♪
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：35名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。  
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。  
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション  
 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ  
 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ  
 4 時限目：総合練習  
 5 時限目：総合練習  
 6 時限目： } 総合練習・ゲーム (シングルス)  
 10時限目： }  
 11時限目： } 総合練習・ゲーム (ダブルス)  
 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	すず き じゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム(主にチームスポーツ)を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。  
スケジュール(どの種目をどの程度やるか等)は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア(上下)、スポーツシューズ(室内用として履き分ける)の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	オオノ 木 じゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。  
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。  
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目： }
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： }
- 11 時間目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 12 時間目： }
- 15 時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム

履修上の留意点

1. 定員は 40 名とする。
2. 実技は本校第 1 体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率 70%、総合評価 30% で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 しのぶ	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目： }
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目： }
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バスケットボール)	まきの 牧野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによっては、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフense①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフense②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフense③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフense①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフense②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフense③ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）





科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	えぐちじゆんいち 江口淳一	全学科選	1

#### 講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニス兼打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる能度を養う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

#### 履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

#### 成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

#### そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（日）～25日（木）  
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00  
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	み ぬま はる み 三 幣 晴 三	全学科選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）  
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）  
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）  
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）  
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具  
① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）  
② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間：平成 15 年 12 月 21 日（日）～25 日（木）  
12 月 21 日更衣の上、午前 10 時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00  
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費 用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000 円程度必要である。
- (5) 定 員：40 名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への「履修届（事前登録）」は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
特・4 時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	たけだゆきお他 竹田幸夫	全学科選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的なねらいを主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 12:20~12:40 2研-101 教場  
2回目 4月16日(水) 12:20~12:40 2研-101 教場  
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書発行を行います。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 7月20日(日) 13:00~16:00 2研-102 教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
  - 1日目【9月8日(月)】実技：14:00~17:00《打撃練習》  
講義：19:00~21:00《ゴルフスイングの基本》
  - 2日目【9月9日(火)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》  
講義：19:00~21:00《ゴルフのマナーやエチケット》
  - 3日目【9月10日(水)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》  
講義：19:00~21:00《ゴルフのルール・ラウンドについて》
  - 4日目【9月11日(木)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《ラウンド・その他》  
講義：19:00~21:00《ラウンドの反省と総括》
  - 5日目【9月12日(金)】実技：9:00~11:00・12:30~14:30《ラウンド・その他》

履修上の留意点

生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 実習日程：平成15年9月8日(月)~9月12日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 場 所：①宿泊 軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話(0267)46-1111  
長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉  
②練習場 軽井沢ゴルフ練習場 電話(0267)48-1211  
③コース 晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- 定 員：30名
- 集合解散：現地(軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)  
詳細については事前授業で説明するので必ず出席すること。
- 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。  
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。  
納入期間：平成15年5月26日(月)~6月7日(土)
- 服装・用具：
  - ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
  - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
  - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。  
※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、出席点70%、技術の上達度および小テスト30%(ルール、マナー等)

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	佐藤政之他	全学科選	2

#### 講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 12:20~12:40 2研-101 教場  
2回目 4月16日(水) 12:20~12:40 2研-101 教場  
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月22日(月) 13:00~16:00 2研-102 教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
  - 1日目【2月16日(月)】午後、現地ホテルロビー集合  
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
  - 2日目【2月17日(火)】  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
  - 3日目【2月18日(水)】  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
  - 4日目【2月19日(木)】  
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
  - 5日目【2月20日(金)】  
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

#### 履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成16年2月16日(月)~2月20日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場  
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話 (0195) 73-5019
- 3) 定 員：スキー 40名  
スノーボード 10名(但し、初心者に限る)
- 4) 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。  
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。  
納入期間：平成15年5月26日(月)~6月7日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているため特に注意すること。

#### 成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

#### そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ論1(前期)	たて かね よし あき 館 岡 儀 秋	法A1選	2

## 講義のねらい

健康を保持することは、すべての個人の願望にほかならないが、現代社会においては健康そのものの捉えかたが多様化している。また、運動やスポーツが健康増進の手段として考えられてきたが、その方法を誤ると健康を阻害する一面も内在している。健康管理を人に頼るのではなく、自主管理していくための基礎的知識を解説する。

人間の根源とも言える性と関連するエイズの諸問題を解説し、HIV感染者・エイズ患者を差別することなく、偏見を抱くことなく、エイズと共存する社会の実現のための知識・態度を解説する。

私たちは、いつ、どこで、どのような急病・事故・災害に出会うかわからない。このようなときに、医師以外の一般人でも、器具や薬品を使わずにできる一次救命処置の基礎的知識を解説する。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：人間と健康（体力と健康）
- 3時限目：　　　〃　　　（寿命と健康）
- 4時限目：　　　〃　　　（運動不足症）
- 5時限目：　　　〃　　　（健康管理法）
- 6時限目：献血と血液製剤
- 7時限目：エイズ（エイズの現状と推移）
- 8時限目：　　　〃　　　（エイズの予防・検査・治療）
- 9時限目：　　　〃　　　（人権と差別）
- 10時限目：体力とトレーニング（トレーニングの方法・運動処方）
- 11時限目：救命救急（一次救命処置）
- 12時限目：　　　〃　　　（一次救命処置）
- 13時限目：　　　〃　　　（一次救命処置）
- 14時限目：　　　〃　　　（応急処置）
- 15時限目：まとめ

## 履修上の留意点

授業時間内に次のことを発表するので注意すること。

- ①「小テスト」の期日（1、2回実施する予定）
- ②「レポート」の提出期日（1、2回）

## 成績評価の方法

「小テスト」70%、「レポート」30%で総合評価する。

## 教科書

特に指定しない。

## 参考書等

駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』  
『学生のための性とエイズ』（朝倉書店）  
『救命救急』（小学館）

## その他

授業は主に講義形式で行うが、ビデオ等も活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	たけだゆきお夫 竹田幸夫	法A・政治1選	2

講義のねらい

健康・スポーツに関する基礎的な知識についての講義を行なう。健康については、現代病やストレス、肥満などのテーマで、とくに心と体の関わりで考えていく。体力については、基礎的な体力要素の特徴とトレーニング方法、またスポーツ運動学の立場から人間の運動のさまざまな特徴を具体的な例によって解説する。

大学生の年代は、将来におけるライフスタイルの基礎を確立する大切な時期でもある。講義の内容から、自分の健康や体力、さらにはスポーツに関する基礎的な知識と考え方について理解を深めてもらいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限：人間と健康（心と体、現代病）
- 3 時限：〃（心と体、ストレス）
- 4 時限：〃（心と体、肥満とダイエット）
- 5 時限：体力とトレーニングの方法（基礎的な体力要素）
- 6 時限：〃（体力要素の特徴）
- 7 時限：〃（トレーニング方法）
- 8 時限：スポーツ運動の理論（スポーツ運動の特徴）
- 9 時限：〃（運動の上達、習熟とは）
- 10 時限：〃（運動の発達）
- 11 時限：〃（スポーツにおける右と左）
- 12 時限：〃（イメージトレーニング）
- 13 時限：〃
- 14 時限：まとめ
- 15 時限：試験

履修上の留意点

授業において扱う内容を、知識として聞くだけではなく、自分の身近な、そして具体的な問題として考えながら講義を聞いてほしい。

成績評価の方法

授業最後の試験と出席を加味して成績評価を行なう。

教 科 書

駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版部）1,700 円

参 考 書 等

- 授業内容と関わりのある以下の書籍を参考図書として上げておきたい。
- 1) 芦原睦著『心でおきる身体の病』（講談社ブルーバックス）760 円
  - 2) D. チョブラ著『パーフェクトヘルス』（ダイヤモンド社）
  - 3) 白石豊著『スポーツ上達の基礎理論』（自由現代社）1,200 円

そ の 他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらいたい場合もある。また、バイオフィードバック装置（脳波測定装置）等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	おおいし たけし 大石 武士	全学科選	2

## 講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ日になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病气や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病气・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

## 成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

## 参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カツサ出版）1,700 円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700 円

## そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	かわむらまさよし 川村正義	全学科選	2

講義のねらい

「健康は人間が自分に贈れる最大のプレゼントである」ことを念頭に、生涯にわたり健康的でより豊かな生活の実現に必要な身体にかかわる教養を高めることをねらいとする。そして今から「知識」と「態度」が連動して成り立つ「行動」を起こしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目 講義のねらいと内容説明
- 2 時限目 健康や体力と考え方
- 3 時限目 運動・スポーツの実施の意義
- 4 時限目 ・生物学的意義
- 5 時限目 ・社会的意義
- 6 時限目 ・教育学的意義
- 7 時限目 健康と体力の現状
- 8 時限目 運動・スポーツの実践
- 9 時限目 ・運動の仕組み ・運動技能
- 10時限目 ・トレーニング方法と障害
- 11時限目 ・体力測定と評価方法
- 12時限目 運動・スポーツ実施の効果
- 13時限目 ・身体的効果 ・身体の発達成長
- 14時限目 ・心理的效果 ・生活習慣病の改善
- 15時限目 まとめ・「健康寿命をのばし自分の意志で自由に行動できる長生きほど幸せな生涯はない」

履修上の留意点

数回の小テストを行う予定

成績評価の方法

定期試験と受講態度を加味して評価する。

教 科 書

特に指定しない。資料を配布する。

参 考 書 等

- 『健康・体力のための運動生理学』(杏林書院)
- 『健康と運動の科学』(大修館書店)
- 『スポーツと寿命』(朝倉書店)



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	まきの 野 茂 牧 野 茂	全学科選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か① 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か②
- 4 時限目：健康とは何か③
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進① 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10時限目：日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- 11時限目：日常生活と健康② 〃・〃・〃 ②
- 12時限目：日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- 13時限目：感染症について① インフルエンザ、結核
- 14時限目：感染症について② 性行為感染症
- 15時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参 考 書 等

『保健体育概論』（カツサ出版部）1,700円  
他は、講義のなかで紹介する。

保健体育

## Ⅱ 専 門 教 育 科 目

### 1 法律学科フレックス A

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、  
フレックス B の頁を参照してください。(→P. 585)

法

律



基	礎	民	法	演	習	〈早	坂	亨	.....	326
礎	刑	法	法	演	習	〈木	村	美隆	.....	327
債	權	各	論			〈青	野	博之	.....	328
英	米		法			〈北	野	かほる	.....	329
仏			法			〈上	井	長久	.....	330
独			法			〈山	口	邦夫	.....	331
登	記		法			〈田	沼	浩	.....	331
基	礎	演	習			〈大	宮	隆	.....	332
基	礎	演	習			〈龜	田	浩一郎	.....	332
基	礎	演	習			〈佐	藤	多美夫	.....	333
基	礎	演	習			〈原	口	伸夫	.....	334
基	礎	演	習			〈日	笠	完治	.....	334
基	礎	演	習			〈和	知	恵一	.....	335
税		治	法			〈岸	田	貞夫	.....	335
地	方	自	法			〈富	井	幸雄	.....	336
環		境	法			〈松	村	弓彦	.....	336
法		哲	学			〈河	見	誠	.....	337
經		濟	法			〈岡	田	外司博	.....	338
航	空	宇	法			〈工	藤	聡一	.....	338
消	費	者	法			〈河	野	弘矩	.....	339
証	券	取	法			〈春	田	博	.....	340
金	融	引	法			〈川	田	悦男	.....	341
民	事	執	法			〈橋	本	聡	.....	341
倒	産	処	法			〈雨	宮	眞也	.....	342
知	的	財	法			〈盛	岡	一夫	.....	342
国	際	取	法			〈横	山	眞規雄	.....	343
財	政	学	学			〈里	中	恆志	.....	344
經	濟	政	策			〈森	岡	仁	.....	345
社	会	政	策			〈原	田	啓一郎	.....	345
国	際	関	論			〈南	山	淳	.....	346
外	交	史	史			〈高	光	佳絵	.....	347
政	治	思	想			〈有	賀	誠	.....	347
外	書	講	読	I・II (英書)		〈岡	田	外司博	.....	348
外	書	講	読	I・II (英書)		〈金	子	昇平	.....	348
外	書	講	読	I・II (英書)		〈牧	野	和夫	.....	349
外	書	講	読	I・II (独書)		〈松	村	格	.....	349
外	書	講	読	I・II (仏書)		〈荒	木	正孝	.....	350
外	書	講	読	I・II (中国書)		〈江	林	英基	.....	350
外	書	講	読	I・II (スペイン書)		〈真	下	祐一	.....	351
応	用	憲	法	演	習	〈中	野	辰久	.....	351
応	用	民	法	演	習	〈鶴	井	俊吉・上野雅祥・小林 覚・濱中善彦	.....	352
応	用	刑	法	演	習	〈木	村	美隆	.....	352
現	代	企	業	論		〈代	田	純	.....	353
演		習	I			〈大	山	礼子	.....	353
演		習	I			〈河	野	弘矩	.....	354
演		習	I			〈小	林	弘人	.....	354
演		習	I			〈島	原	宏明	.....	355
演		習	I			〈早	川	純貴	.....	355
演		習	I			〈日	笠	完治	.....	356

演習	I	・	II	〈青野博之〉	.....	356
演習	I	・	II	〈雨宮眞也〉	.....	357
演習	I	・	II	〈荒木正孝〉	.....	357
演習	I	・	II	〈王塚志安〉	.....	358
演習	I	・	II	〈大塚桂〉	.....	358
演習	I	・	II	〈大宮隆〉	.....	359
演習	I	・	II	〈岡田外司博〉	.....	359
演習	I	・	II	〈小木曾綾〉	.....	360
演習	I	・	II	〈金子昇平〉	.....	360
演習	I	・	II	〈北野かほる〉	.....	361
演習	I	・	II	〈佐藤多美夫〉	.....	361
演習	I	・	II	〈塩入みほも〉	.....	362
演習	I	・	II	〈竹花光範〉	.....	362
演習	I	・	II	〈鶴井俊吉〉	.....	363
演習	I	・	II	〈西修〉	.....	363
演習	I	・	II	〈原田啓一郎〉	.....	364
演習	I	・	II	〈藤本茂〉	.....	364
演習	I	・	II	〈松村格〉	.....	365
演習	I	・	II	〈間瀬清史〉	.....	365
演習	I	・	II	〈山口邦夫〉	.....	366
演習	I	・	II	〈山田泰彦〉	.....	366
演習	II	・	II	〈河野弘矩〉	.....	367
演習	II	・	II	〈小林弘人〉	.....	367
演習	II	・	II	〈島原宏明〉	.....	367
演習	II	・	II	〈早川純貴〉	.....	368
演習	II	・	II	〈林幸司〉	.....	368

法

律



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 概 論	また 北 野 かほる	法 A 1 必	4

講義のねらい

これから法学を学んで行くための基本的観点と感覚を養うため、「法」と社会と人間との関わりについての一般的考察、「法」の社会的機能の要点、を概観し、「法学」の全般的機能を考察した上で、「法学」を学ぶことの意味を改めて考える。また、今後の学習の指針として、現代日本の法学の諸分野とその大まかな特徴を解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 社会と法
  - 第1章 一般的考察
    - 第1節 人間と法
    - 第2節 規範と権力
    - 第3節 正義
  - 第2章 集団編成原理と法規範
    - 第1節 初期的段階の社会原理と法規範
    - 第2節 発達した段階の社会原理と法規範
- 第2部 近代日本の法
  - 第1章 近代日本の系譜
    - 第1節 日本の法的近代化
  - 第2章 近代日本の法
    - 第1節 近代日本法の特徴
    - 第2節 日本近代法の分類
    - 第3節 現代日本法の動向

法  
律

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく制限する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

そ の 他

夏休みに法・法学関連の書籍を一冊読んで概要をまとめる訓練を目的とするレポートを課す。強制ではないが、レポート提出者には一定限度の優遇措置をとる。読書感想文を求めるレポートではなく、学術書の内容を正確に把握する訓練であるので、目的を十分理解して取り組むこと。

一冊読めば試験勉強ができるような教科書はない。試験準備には講義ノートが最も有効な手段である。講義内容は毎年少しずつ違うので、過年度のノートはあまり役に立たない。出席はとらないが、事実上出席していないと試験準備ができなくなるので、十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学概論	藤本 茂 <small>ふじもと しげる</small>	法A1必	4

#### 講義のねらい

本講義は、法学部の専門科目を学ぶための準備段階として、以下のことを目的としている。

- ・高校までの学習法とは違う、法学の学び方にふれてもらう。
- ・法学や法を学ぶうえで必要な基礎知識を身につけてもらう。
- ・主要法領域の役割・特質を概観し、関心をもってもらおう。
- ・我々と法との関わりを現代的問題を手がかりに学んでもらおう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

専門的な議論や各法領域に特有の問題は、専門科目で学んでもらうが、できるだけ具体的な問題・事例にふれながら、法を学びはじめる諸君の水先案内をつとめたいと思う。

講義スケジュールについては、

- ・法的思考を形成する基本的な諸概念の考察
- ・現代法にいたる法の発展（西欧近代法の形成をふくむ）の概観
- ・近現代法の原理の概観。特に憲法の諸原理と基本的人権
- ・公法と私法、民事法と刑事法、実体法と手続法等の概観
- ・現代社会問題に対する法的視角からの検討 などなど

なお、これは予定であり、講義開始時にあらためて伝える。また受講者の反応に応じて、変更することがある。

#### 履修上の留意点

講義中、質問はOK、私語はNO、携帯電話はOFF、内職はNO、用なく席を立つのはNOなど、授業でのマナー厳守のこと。

#### 成績評価の方法

成績評価は記述式試験によって行なう。また、レポート等を実施することがある。その場合は、これも評価対象とする。

#### 教科書

伊藤正巳・加藤一郎編『新版現代法学入門』（有斐閣双書）。教科書の内容を順次説明するという形式をとるわけではない。随時、レジュメや資料のプリントを配布する。授業はもっぱらこの配布プリントでおこなう。上記を教科書としたのは、学習の道しるべとして参考書だけというのは、不安を感じたからである。ただし、講義で言及できない部分を教科書や参考書の記述に委ねることがある。そうした場合は口頭、板書で触れなかったことがらでも試験の範囲となりうると考えて欲しい。

#### 参考書等

参考書は、概説書ということになるが、いろいろ出版されている。たとえば、西村健一郎他『判例法学』（有斐閣）、道垣内正人『自分で考えるちょっと違った法学入門』（有斐閣）、渡辺洋三『法とは何か』（岩波新書）、『法学入門2002』別冊法学セミナー（日本評論社）、三ヶ月章『法学入門』（弘文堂） その他の参考文献、資料は講義の中でそのつど指示する。

#### その他

毎回使用するわけではないが、六法を持参のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲 法	日 笠 完 治 ひ かさ かん し	法 A 1 必	4

講義のねらい	憲法学の体系的な理解ができるようにする。とはいえ、憲法学のすべての領域に触れることはできないので、基礎的項目や重要な論点を取り上げながら講義をする。そして、受講者が憲法学的に思考する能力を修得することを望む。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、イントロダクション、憲法学の体系、憲法の理念及び原理、立法・行政・司法という統治機構、財政、地方分権などを扱う。後期は、基本的人権の理論、精神的自由権、経済的自由権、国務請求権、社会権、参政権、人身の自由などを検討していく。
履修上の留意点	授業後に質問を受け付けたい。積極的に質問して欲しい。
成績評価の方法	原則的には、定期試験の結果に基づき評価を行う。なお、レポート提出などの日常的学習活動については、加点主義で考慮する。
教科書	日笠完治『憲法がわかった』（改訂版）、法学書院、2600円前後
参考書等	法令集として、『ポケット六法』『コンパクト六法』『デューリー六法』などの最新版が必要。判例集として、『憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ〔第4版〕』『憲法判例集』などを参考に。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲 法	にし 西 おさむ 修	法 A 1 必	4

#### 講義のねらい

何年前前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があります。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講生諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切にした授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、パワーポイントなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- ⑥ 成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。  
前期試験 40%、後期試験 40%、出席・レポート 20%。  
要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

## 法 律

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

取り扱う主な項目は、以下のとおり。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| ① 日本国憲法の制定過程  | ⑨ 国会の組織と機能    |
| ② 憲法の改正と限界    | ⑩ 経済的自由権      |
| ③ 国民主権と象徴天皇制  | ⑪ 内閣の機能、議院内閣制 |
| ④ 基本的人権の歴史と意義 | ⑫ 社会権         |
| ⑤ 日本国憲法と平和主義  | ⑬ 司法の構造と権限    |
| ⑥ 法の下での平等     | ⑭ 身体的自由       |
| ⑦ 政治改革と憲法問題   | ⑮ 憲法の保障       |
| ⑧ 精神的自由権      | ⑯ 財政・地方自治     |

#### 教 科 書

西 修編著『エレメンタリ憲法』（成文堂）2001年 2,700円＋税

#### 参 考 書 等

- (1) 西 修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年 1,500円＋税
- (2) 西 修著『日本国憲法がおどろくほどよくわかる本』（ワニブックス）2002年 1,000円  
ほかに配布または KOSY の授業細目を参照すること

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法総則	はやし 林  こうじ 幸  司	法A1必	4

講義のねらい

- 1：民法総則の分野について、受講生に「基礎的な理解」が身につくよう目指すこと。
- 2：「具体的な事例を通して理解を深める方法」を習得することによって、受講生の民法に対する興味を触発すること。

講義の内容・  
授業スケジュール

民法とは「私たち個人間の生活関係、特に財産（契約や所有物など）と家族（親子・夫婦など）に関する権利・義務関係を規律する法律」のことで、ここで扱われる問題は、諸君が日常生活で無意識のうちに触れているものばかりである。

民法典は大きく分けると、①総則、②物権（担保物権も含む）、③債権（債権総論と債権各論）、④親族、⑤相続の五つの部分に分けられるが、本講義では、①総則の分野を扱う。この①総則は「民法全体（特に②③）に共通する原則や事項を扱う分野」であり、その内容は、次のように権利を中心に構成されている。

- 一、基本原則（信義誠実、権利濫用の禁止）
- 二、権利の主体（権利を取得できるのは誰か）
  - 1：自然人（生きて生まれた者）
    - (1) 権利能力（権利主体になれる地位）出生による権利能力の発生と胎児の例外など
    - (2) 制限能力者（未成年者・成年被後見人・被保佐人・被補助人）
  - 2：法人（法によって認められた権利の帰属点）公益法人の設立・管理・解散など
  - 3：住所・失踪・同時死亡の推定
- 三、権利の客体（どのようなものが権利の対象となるか）  
物とは何か、動産と不動産の区別、主物と従物の関係など
- 四、権利の変動（どのような場合に権利は発生し、移転し、消滅するか）
  - 1：法律行為（契約など意思表示を構成要素とする行為）
    - (1) 総則 法律行為一般に共通する事項（公序良俗違反や法律行為の解釈など）
    - (2) 意思表示（権利義務の変動を望む意志を相手に表示する行為）
      - ・意志の欠缺（表示に対応する意志の欠落）①心裡留保、②虚偽表示、③錯誤
      - ・瑕疵ある意思表示（不当に動機づけられた欠落のある意思表示）①詐欺、②脅迫
    - (3) 代理（他人〔代理人〕が行った法律行為で本人が権利を取得する制度）
      - ・本人、代理人、相手方の三面関係
      - ・無権代理（代理人と称する者が行った行為につき代理権がなかった場合）
        - ①表見代理、②本人による無権代理行為の追認、③無権代理人の責任、など
      - (4) 法律行為の無効・取消
      - (5) 法律行為の条件・期限
    - 2：期間
    - 3：時効（時間の経過によって権利の変動を認める制度）
      - (1) 総則 時効一般に共通する事項（援用の必要性、中断、停止など）
      - (2) 取得時効（時間の経過によって権利の取得（発生）を認める制度）
      - (3) 消滅時効（時間の経過によって権利の消滅を認める制度）

本講義もほぼこの順序で解説して行くが、一の基本原則（信義誠実・権利濫用）と二2の法人については、時効の後にまわすことにする（その理由は開講時に説明する）。そのかわりに、最初の数回は、民法入門をかねて、i)民法とはどのような法律か、ii)民法の全体像の把握、iii)近代市民法の三原則（私的自治の原則、所有権絶対の法則、過失責任の原則）をとりあげて解説する。

履修上の留意点

私語の厳禁 ここで触れることすら情けないのだが、大学生にもなって、講義中の私語が許されると思っている者がいるようである。強く注意して、やっとな静かになるというのが現状であるが、不思議にも、本人に全く反省の色が見られなかったり、何か悪いことをしたのか（または「なぜ私だけが」と言わんばかりににらみ返してくるという者もいる。このテの者にはその場で退場を通告するという強い態度で臨むので覚悟してもらいたい。

成績評価の方法

期末試験の評価が中心となるが、講義前に配布した用紙に質問や意見などを書いてもらい、講義後に回収する。これらにも受講生の理解度や積極的な姿勢が現れていることが多いので、若干のプラス評価を行うつもりである。

教科書

永田・松本・松岡著『民法入門・総則 [第2版] エッセンシャル民法I』（有斐閣）2,000円  
※気に入った教科書がほかにある場合はそれでもよいが、講義で読み上げたり引用する場合はこの教科書を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 総 則	あおのひろゆき 青野博之	法A1必	4

講義のねらい

民法総則の分野についての基本的な理解ができるように具体的に考え、しかもそこで得られたルールを抽象化できるように、講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

民法総則とは、民法典のうち、第1編「総則」をいう。

たとえば、Aが自分の本をBに売却する契約をBとの間で締結した場合には、Aは、Bに対して代金を払うように請求することができる。つまり、代金債権が発生する。この場合において、Aが未成年者であったときは、どうなるか。また、長期間経過してから、あのときの代金を払ってくれと言われたときは、どうなるか。このような問題は、民法ではどのように解決され、民法総則ではどこまで扱っているのかを検討する。

民法総則は、第1章「人」、第2章「法人」、第3章「物」、第4章「法律行為」、第5章「期間」及び第6章「時効」に分けられている。これは、権利の主体、権利の客体及び権利の変動にまとめることができる。

授業スケジュールとしては、ほぼこの順序で行うが、民法総則が民法全体の入門を兼ねていることに鑑み、民法とはどのようなことを扱い、その中で基本とされている事柄は何かということから始める。理解の容易さを考えて、法典の順序を少し入れ替えて講義を進める。主な項目は、以下の通りである。

- 1 民法入門
- 2 権利能力
- 3 行為能力（上の例では、Aが未成年者であったときはどうなるか、という問題）
- 4 法律行為の有効要件
- 5 心裡留保・虚偽表示
- 6 錯誤
- 7 詐欺・強迫
- 8 意思表示の効力発生時期
- 9 代理
- 10 無権代理
- 11 表見代理
- 12 無効・取消
- 13 条件・期限
- 14 時効（上の例では、長期間経過してからあのときの代金を払ってくれと言われたときはどうなるか、という問題）
- 15 法人
- 16 信義則・権利濫用の禁止

履修上の留意点

できるだけ親族法も受講してほしい。民法総則を理解するために重要な科目だからである。また、これ以外の民法の科目も2年次以降に受講すると、民法全体の理解につながる。

質問は大歓迎である。講義の中では、私からも質問するので、答えてほしい。双方向型の講義を目指している。

成績評価の方法

質問した回数及び私からの質問に対する解答の回数を重視する。解答が正しいかどうかではなく、考えて解答することに意味がある。安心して答えてほしい。

質問と応答による平常点を加味した上で、年度末に行う試験で成績を評価する。試験では、いっさいの持ち込みを不可とする。

教科書

安井宏ほか著『プリメール民法1・民法入門・総則』（法律文化社、2000年）2800円。  
教科書は上記のものを使うが、自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

参考書等

講義に際して紹介する。

その他

出席し、質問し、私からの質問に答える、積極的な学生であってほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
刑法総論	やまぐちくに お 夫 山口邦夫	法A1必	4

講義のねらい

一年次の専門科目として、高校時代の学習あるいは予備校時代の勉強方法から、一日も早くぬけ出し、大学における真の学問を学ぶ姿勢になってもらうことを主眼に講義をする。大学生の自覚をもって、講義や読書を通じて、みづから積極的に研究する態度を身につけるように諸君も努力してほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

一年間を次の4期に分けて講義をする。I期(4・5月)、II期(6・7月)、III期(9・10月)、IV期(11・12月)。

I期。学問とは何か。特に学問の限界について考える。それから、法律学とは何か。法律学の体系における刑法学の位置づけへと進む。

II期。刑法における刑罰と犯罪概念を中心に、法治国家の原則として罪刑を法定しておくことの意味を検討する。

III期。ドイツの構成要件論を手がかりに、犯罪論の構築の仕方について、数種のパターンを考えて講義をする。その際、違法と責任との区別を峻別する立場から解説をする。

IV期。犯罪の既遂・未遂について、昔の学派の対立を考慮しながら、未遂処罰の根拠、さらに過失犯に実行行為があるか否かを考えながら、故意犯と過失犯との区別について検討する。最後に二人以上の犯罪者が加わる共犯の問題について論究し、刑法学の概説を終る。

履修上の留意点

年間を通じて、原則として出席はとらない。ただし、上記の各期ごとのまとめとして、小テストを時間内に行う予定である。

質問時間は、研究室2719号に掲示してある。毎週2~3時間は、毎年確保しているのので、この時間内は、自由に質問が可能である。

成績評価の方法

上記の小テストが実行できれば、その結果を、年一回の期末試験の成績と一緒に評価し、単位を認定する。

教科書

教科書は、原則として使用せずに講義をすすめ、参考書はその度に紹介するので、積極的に読書してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 法 総 論	まつむら いたる 松 村 格	法A1必	4

講義のねらい

刑法（刑罰法規）は、歴史的には支配者が市民を抑圧する最強の手段として長い間悪用されてきたし、近年に入ってからファシストたちから悪用された。今日、刑法は、市民の自由と権利を保障する機能をもつものとして把握されなければならない。そのためにも、刑罰権の発動と処罰の範囲をできる限り制限する理論操作が必要である。法益保護と人権保障の両方を考えながら刑法理論を構築しなければならない。授業では、刑法総論を中心に講義していくが、もちろん、刑法各論とのかかわりを無視することなく具体的な事例を参考にしながら刑法総論を学ぶことによって、刑法学の全体像を理解できるようにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- 第1回（刑法システムとその余のシステムとの関係および刑法システムと隣接領域システムとの関係）
- 第2回（刑法および刑法学システムとその部分システムとの関係ならびに刑法総論とその部分システム）
- 第3回（刑法の意義と機能および犯罪の意義）
- 第4回（刑罰論と罪数論＝刑罰の本質と機能および目的／罪数論の意義）
- 第5回～6回（刑法の原理・原則論＝罪刑法定主義／責任主義／謙抑主義）
- 第7回～9回（行為と構成要件の理論＝行為論／犯罪の主体と客体／故意と錯誤の理論／不作為犯論／因果関係論）
- 第10回以降（違法性の理論＝違法性の本質と実質／正当防衛と緊急避難／自救行為／正当業務行為とくに治療行為／臓器移植／安楽死・尊厳死）

後期

- 第1回～3回（責任論＝責任の本質／責任能力／故意と違法性の意識／期待可能性）
- 第4回～5回（未遂論＝未遂の意義と処罰根拠／実行の着手／中止未遂／不能未遂）
- 第6回～9回（共犯論＝共犯の意義と形態／処罰根拠／正犯と共犯の区別と関係／共同正犯／共犯と身分／共犯の諸問題）
- 第10回～最終回（補足）

履修上の留意点

刑法学は、きわめて体系的な学問なので、継続的に出席して講義を受けないと理解できなくなる。できる限り具体的な事例を利用して説明するが、それでも観念的思考が入りこむので、考える力を必要とする。教科書以外のことをたくさん話すので、講義をよく聴き、必ずノートをとることが大切である。ただし、黒板に書くことは最小限度必要な事項だけであるから、それを筆記するだけでは意味がない。六法全書・教科書・ノートを毎回持参することが必要条件である。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末の定期試験とその他の小テストの成績を総合して判断する。

教科書

松村格『刑法学への誘い』（八千代出版）  
松村・神田・都築・野崎『刑法総論』（ミネルヴァ書房）

参考書等

別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅰ総論（第4版）』（有斐閣）  
斉藤誠二編『演習ノート刑法総論』（法学書院）  
『刑法基本講座（全6巻）』のうち1～4巻（法学書院）

その他

授業の方法は、すべて講義方式で行なう。必要に応じてプリントを配布することがある。その場合には、そのプリントに沿って講義をする。



科目名	担当者名	配当学科	単位
会社法	やま だ やす ひこ 山 田 泰 彦	法A2必	4

#### 講義のねらい

会社——特に、株式会社は、現在の経済活動にとって不可欠の組織である。この講義では、株式会社の組織・運営に関する法規制、株式会社法を中心にその制度の体系および構造を概観する。会社法といっても、学生諸君にすれば、会社という場に身を置いていないこともあって、それは別世界のことであり、あまり身近に感じられない遠い世界でもあるかのようである。しかし、私たちの生活は、高度な経済社会の営みの上に展開しているのであり、それは、企業活動の単位としての株式会社によって支えられているといっても過言ではない。平成13年、14年と相次いで株式会社法には大きな改正が行なわれ、株式会社制度は、大きく変貌するにいたっている。このような会社という存在に、法の側面から、この講義では接近する。

さて、株式会社とは、出資単位を均一の細分化した株式にして、社会に潜在している資本を効率よく集めるために、考案されたものである。したがって、立法制定者は、相当大きな資本を擁する複雑な構造をもった組織として、典型的な株式会社の姿を法典の上に描いて見せたが、現実には、個人企業や組合に等しいような株式会社が多い。このような株式会社にとって株式会社法は、身の丈に合わないだぶついた服となっており、法と現実との遊離といった問題が生じている（そもそも、こうした小さな企業がなぜ株式会社という法形態選択をするのだろうか。講義ではこの点にも触れる）。他方、株式を証券市場に上場しているような会社は、その資本金も株主の数も多く、中にはそれ自体が一個の社会的権力にも比肩できるような巨大会社もめずらしくないが、これら会社にとって株式会社法は、むしろスモール・サイズの服となっている。株式会社法は、この両極において、困難な問題に直面しているといえよう。講義では、株式会社法の基本的な制度内容に十分配慮しながら、株式会社法制度の根幹にかかわる困難な問題が、株式会社法の個々の制度・規制について、どのように問題となっているかについても触れてみたい。

法  
律

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容は、会社法の中でも、最も重要な株式会社法を中心とする。そこでまず、①会社法総論として、会社の経済的機能、法的意義、法的特色を押さえた後、株式会社の特徴を位置付ける。次いで、②株式会社の設立に入る。設立手続の内容、定款の作成、変態設立事項、出資の履行、設立登記とその効果とその具体的内容となる。③株式制度として、株式の意義、種類、株主平等の原則、株式譲渡自由の原則とその例外、株券、株主名簿、名義書換、株式金融、単元株制度・端株を順次、取り上げる。④会社の運営機構を見る。具体的には、機関総論、株主総会、取締役・取締役会、監査役を講義する。このようにして、株式会社の基本的内容を見た後、余裕があれば、⑤資金調達にも入りたい。⑥株式制度の途中で、夏季休暇に入るものと予定している。

#### 履修上の留意点

講義での私語は厳禁する。六法全書は、必ず持参すること。講義では、必ず条文を参照する必要が生じる。六法がないと、そこで理解がスムーズに行かなくなる。平成13年および14年に改正があったので、平成15年度以降の六法を持参して下さい。

#### 成績評価の方法

成績評価は、期末試験での評価による。出席は、取らない。これまでの私の経験から言えば、不可を取る学生の数は、およそ、出席していない学生の数にほぼ相当すると感じている。大体、履修登録者数の半分前後が、出席しているが、この位の数が、単位を取得しているからである。

#### 教科書

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 社 法	あら き まさ たか 荒 木 正 孝	法 A 2 必	4

講義のねらい

この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、多くの人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を探り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原則を理解してもらうつもりである。

具体的には、①会社法総論として、会社の経済的機能、法的概念、権利能力などについて解説し、②会社の設立においては、株主有限責任の原則、資本に関する原則、発起人の意義・地位、定款の作成、会社の実体形成手続、設立関与者の責任、設立無効、設立登記などを説明し、③株式制度では、株式の概念、株式の種類、株式の併合・分割・消却、株式譲渡の自由と制限、名義書換、株式の担保化などに触れる。④会社の管理・運営については、機関の意義・特色・分化、株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、監査役について各種の問題点を検討する。

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。商法は、民法を一般法とする特別法であるから、会社法に限らず、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層理解しやすい。ただ、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法＝財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履修していなくても受講には差し支えない。

平成 13 年度および 14 年度に重要な商法の改正が行なわれたので、必ず平成 15 年度版の六法をもって講義に臨んで下さい。

成績評価の方法

年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

鴻・落合・岩原・江頭編『会社判例百選』（第 6 版）（有斐閣）  
奥島・中島編『商法演習 I（会社法）第 3 版』（成文堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
物 権 法	つるいしゆんきち 鶴井俊吉	法A2選必	4

講義のねらい

この講義では、民法典の第二編「物権」のうち総則、占有権、所有権、地上権、永小作権、地役権を対象とする。所有権を中核とする物権法は、今日の社会構造の法的土台をなしており、憲法上の私有財産制度の骨組を定めたものである。その意味で、物権法は民法の中で最も基礎的な重要な部分であるといえる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の主な内容は、不動産売買をめぐるトラブルがどのように解決されているのかなど、物権変動を中心に、不動産利用権、物権的支配の秩序維持についての制度を解説する。

講義では、物権法の基礎的な考え方を理解できるように、できるだけ判例等の具体例を入れ、図解してわかりやすいように心掛ける予定でいる。

履修上の留意点

物権法は、解釈学上においても体系的理解が困難な分野であるといわれている。それは立法の沿革に基づいている。現行民法がドイツ民法を継受してできあがっているにもかかわらず、物権法の主要な部分については、フランス民法の影響を強く受けているからである。それゆえに講義に出席しないとなかなか興味が持てないし、理解しづらい分野であるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

法  
律

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教科書

遠藤・川井他編『民法（2）物権』（有斐閣双書）を予定している。

参考書等

講義の最初に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
債権総論	河野弘矩	法A2選必	4

講義のねらい

債権法とは、形式的には民法第三編債権の規定の総体（399条～724条）をいい、実質的には債権関係を規律する法規の全体を意味している。債権法は、物権法と共に市民生活のうち財産関係を規律する法規であり、主として財貨の移動関係を定めた法律といえよう。

債権法 債権総論 第一章 総則－債権の目的、効力、多数当事者の債権、債権譲渡、債権の消滅の5節から構成されている（399条～548条）。

債権各論 第二章 契約（549条～696条）

第三章 事務管理（697条～702条）

第四章 不当利得（703条～708条）

第五章 不法行為（709条～794条）

講学上、債権法第一章総則を債権総論といい、第二章以降を債権各論と呼んでいる。

本講義は、上記の第一章の債権総則を対象とする。債権総則は、実質上契約から生ずる債権を念頭においた規定と解される場合が多いことから、講義のなかでは契約の例示を多く登場させ、極力具体的事例を以て抽象的理論を説明するようにしたい。

法  
律

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行は、債権法の規定の順序に従い、以下の通り行う。

- (1) 債権の意義及びその性質
- (2) 債権の目的
- (3) 債権の種類（特定債権、種類債権、金銭債権、利息債権、選択債権、任意債権）
- (4) 債権の効力（自然債務、強制履行、債務不履行、第三者による債権侵害、責任財産の保全、他）
- (5) 多数当事者の債権関係（連帯債務、保証債務）
- (6) 債権関係の移転（債権譲渡、債務の引受、契約上の地位の譲渡）
- (7) 債権の消滅（弁済、代物弁済、供託、相殺、更改、免除、混同）

履修上の留意点

必ず続けて受講すること。講義には、六法全書を必ず持参すること。

講義についての質問は、毎回講義終了後質問を受けることは当然であるが、その他前期と後期の授業最終日に質問を受ける時間を設ける予定です。

成績評価の方法

期末試験により評価する。出席点を加味するか否かは今後検討したい。

教科書

教科書は、河野弘矩『債権法講義』（八千代出版）価格未定を使用予定。  
参考書については、授業のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
有価証券法	しま ほん ひろ あき 島 原 宏 明	法A2選必	4

講義のねらい

現代の経済社会における企業間の取引では、手形や小切手等の有価証券が数多く使用されている。中でも手形と小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制の多くは商法上の他の有価証券にも及んでいる。したがってその体系の理解は有価証券全般を理解する上で不可欠なものである。また、手形や小切手は金銭債権と結び付いた証券であるため、これに関する法体系は債権法の一部として把握され、民法の債権総論と密接な関係にある。

講義の内容・授業スケジュール

手形法は第一編が替手形と第二編が約束手形の二編から成り立っており、為替手形についての規定の多くを約束手形に準用するという構成になっている。ただし、わが国においては為替手形がほとんど用いられていないという現実があり、また為替手形に比べて約束手形の方が仕組みが単純であるため、条文の順序とは一致しないが講義では約束手形を中心に説明を行い、適宜が替手形、及び為替手形と基本的な仕組みを同じくする小切手についての説明を付け加えていくという形をとる。

なお、企業活動に関わったことのない学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味が起こりにくいと思われるため、なるべく具体的な判例を示して解説をしていくつもりである。

法  
律

成績評価の方法

成績評価は期末試験による。

教科書

島原宏明『手形法学への誘い』（八千代出版）2,500円

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
刑法各論	やま ぐち くに お 山 口 邦 夫	法A2選必	4

講義のねらい

1年次の必修科目、刑法総論の単位を取得済みの者を前提に授業を進める。できれば、単位未取得者は履修を遠慮していただきたい。3年次の履修でも遅くはないはずである。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を次の4期に分けて講義をする。

I期（4・5月）、II期（6・7月）、III期（9・10月）、IV期（11・12月）。

I期 犯罪の分類について。犯罪の分類は何のためにするのか、何を基準にして分類するのか、などいろいろな犯罪について一般論を検討する。犯罪の分類は、犯罪学や刑事政策にとっては有用であっても、解釈学にとってはそれほど有用とも思われない。分類することよりも、各犯罪類型を厳格に解釈することの方が重要であることを指摘する。

II期 通説ともいえる3分類の意義についてふれたあと、いわゆる個人法益に対する罪について検討する。

III期 いわゆる社会法益に対する罪について。

IV期 いわゆる国家法益に対する罪について。

II期、III期、IV期と順次検討する予定であるが、場合によっては、II期の対象を中心に1年間が終了、II・III期の対象は、そのつど関連する個所で、加味してやることになるかもしれない。

履修上の留意点

履修者が50名以内であれば、年間を通じて出席をとりたい。出席カードをもとに、毎回数名の人の質疑や問答を中心とした、コロキウム方式で授業を進める。

成績評価の方法

履修者が50名を越えた場合は、各期ごとに小テストを行う予定である。そして4回のテストと期末試験の結果を総合して単位を認定する。少人数の時は、平常の履修態度や宿題を中心に、平常点で評価し期末試験を省略して単位を認定する。

教科書

教科書は、原則として使用しない。参考書を紹介するので積極的に読書してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行政法総論	かねこしょうへい 金子昇平	法A2選必	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、プライバシー保護法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・ツー・デートな課題を積極的に提示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 行政と法の関係
  - ①法による行政の原理 ②行政法の意義と範囲 ③行政法の法形式 ④行政上の法律関係
- 2) 行政主体と私人
  - ①行政主体と行政客体 ②国の行政組織 ③地方公共団体の行政組織
  - ④行政機関・公務員 ⑤行政情報と法
- 3) 行政手段法
  - ①行政立法 ②自治法 ③行政計画 ④行政行為 ⑤行政契約 ⑥行政指導 ⑦行政調査
  - ⑧行政強制 ⑨行政罰
- 4) 行政手続の法

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』(学陽書房)

参考書等

塩野宏他編『行政判例百選III』(第四版)(有斐閣)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 法	おう し あん 王 志 安	法 A 2 選 必	4

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規則、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

法  
律

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（上）、東信堂、2002、2,800円

参 考 書 等

松田幹夫編著『現代国際法』（八千代出版）1997年 2,700円  
市販されている国際条約集

そ の 他

授業はすべて講義方式で行い、適宜に参考資料を配付し、power pointを利用した講義を行いません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
裁 判 法	前期：間 潤 清 史	法 A 2 選 必	4
	後期：小 木 曾 綾		

講義のねらい

民事手続・刑事手続の入門編として、前期は間潤が、後期は小木曾が担当します。  
 前期は、民事手続法の入門講座と位置づけます。学生諸君は、民事手続法については3年次以降に本格的に学習することになりますが、裁判制度ないし司法制度一般に対する理解を欠いたままいきなり高度な手続法理論を教授されるならば、手続法アレルギーという半永久的宿痾を引き起こす余地があるので、そのような仕儀とならぬよう配慮しつつ、民事手続法本論の周辺領域を中心として講じたいと考えています。  
 後期は、刑事訴訟法の入門編として、刑事手続の基本思想を学ぶことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、民事裁判所制度、民事裁判に携わる人々および民事裁判手続概観。後期は、概ね、①日本の犯罪の実情、②『刑事』手続とは何か、③警察・検察、④捜査の基本的関心、⑤公判の諸原則、⑥少年手続、⑦犯罪被害者支援、などを扱う予定。社会で起こる具体的な犯罪や事件と法を結び付けて思考することができるように、統計資料、新聞記事、ビデオなどを適宜用います。

履修上の留意点

講義には気楽に参加してください。(間潤)  
 毎回のレジュメや資料をホームページに掲載し、読むべき文献も示すので、日常の予習・復習を怠らず勉強してください。出席はとらないので、出席するならば真剣に授業を聴いてください。また、六法は必携です。(小木曾)

成績評価の方法

前期の評価と後期の評価を総合しますので、それぞれの試験は必ず受けてください。  
 前期は主として、前期試験の結果に依拠して行う予定ですが、出題は授業出席者に有利になるように工夫したいと考えています。(間潤)  
 後期は、学年末試験によります。(小木曾)

教 科 書

市川正人、酒巻 匡、山本和彦著『現代の裁判 (第2版)』(有斐閣アルマ) 2001年

参 考 書 等

田宮裕『日本の裁判 (第2版)』(弘文堂)



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
担 保 物 権 法	鶴 井 俊 吉 <small>つる い しゅん きち</small>	法 A 3・4 選必	4

講義のねらい

この講義では、民法典の第二編「物権」のうちで、留置権、先取特権、質権、抵当権を中心に、譲渡担保、仮登記担保等が対象となる。担保物権制度は、資本主義経済の発展に伴って、その重要性がますます増大している。今日、財産法領域で最も変化の多いところであり、取引界の要請により、新しい法令が制定され、年々歳々進展し、著しく変動している。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが土地を買い、建物を建てる、あるいは自動車を買うという場合に、多くは金融機関から融資を受けることになるが、金融機関では何らかの担保を要求してくる。この場合に、抵当権や質権といった担保物権を金融機関に設定する。このように小は個人の資金調達のため、あるいは大は、企業の活動資金獲得のために担保は重要な役割を担っている。担保物権法のもつ経済的意義は極めて重要である。

しかし、学生にとって担保物権法は、民法の中で最も難解なところと感じられ、また比較的なじめない領域だと思われる。それは、多数の関係当事者が複雑に絡み合い、また解釈上でも技術的性格が強いことに原因がある。

そこで講義では、担保物権法の基礎的な考え方を理解できるように、できるだけ判例等の具体例をとりあげ、図解してわかりやすいように心掛ける予定である。

法  
律

履修上の留意点

学期の初めには、担保物権法の主要な部分についての概略の説明を予定している。それによって担保制度の全体像がおおよそ把握できるであろう。それゆえ、最初から講義に出席しないと理解できなく、なかなか興味が持てなくなるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

成績評価の方法

年度末の定期試験の結果と講義出席の状況を考慮して総合的に評価する。

教 科 書

遠藤・川井他編『民法（3）担保物権』（有斐閣双書）を予定している。

参 考 書 等

講義の最初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	門 広 乃 里 子 <small>かど ひろ のりこ</small>	法 A 3・4 選必	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法（9）相続〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円  
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商法総則・商行為法	く どう そう いち 工 藤 聡 一	法A3・4選必	4

講義のねらい

商法は企業に関する法であり、商法総則は企業の人的・物的組織を規定し、商行為法は企業取引に特有な法律関係を規律する。本講義では、商法総論として、商法の意義とその内容について基礎知識を得た後、商法総則および商行為法の基本的枠組みを考察する。企業実務は変化が著しく、商法典は必ずしもそれについていけていない。そこで、現行法の弾力的柔軟な解釈に留意するとともに、法文には現れていない現代的な企業取引に関する法規整のあり方についても、考えていくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

商法総論に関して一商法の意義、商法の特徴、商法の体系、商法の適用等  
 商法総則に関して一商人、商業使用人、代理商、商号、商業帳簿、商業登記、営業譲渡等  
 商行為法に関して一商事売買、仲立営業、問屋営業、運送取扱営業、運送営業等  
 ＊詳細な講義計画は開講時に発表する。

成績評価の方法

後期末試験（70％）の結果に平常点（30％）を加えて成績評価する。  
 試験は論述式とする。平常点のカウントの仕方は、受講者の数をみて決める。

教科書

関口雅夫編著『現代商法Ⅰ（総則・商行為）』（八千代出版）2,800円＋税  
 必要に応じてプリント教材を配布する。なお、六法を毎回必ず持参すること。

参考書等

江頭憲治郎・山下友信編『商法（総則・商行為）判例百選（第4版）』（有斐閣）2,300円＋税  
 江頭健治郎『商取引法（第2版）』（弘文堂）3,800円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 険 ・ 海 商 法	か せ こう き 加 瀬 幸 喜	法A3・4選必	4

講義のねらい

保険法および海商法の基礎的知識を習得することがこの講義の目的です。  
 まず、保険についてですが、私達は、火災、自動車事故、病気といった様々な危険に囲まれて生活しています。これらの危険を減少させることは可能です。しかし、それをまったく除去することは不可能です。ここに、保険の必要性があります。つまり、共通する危険をもつ者達があらかじめ掛け金を拠出して、それを現実に損害を被った者の損害填補に充てるという仕組みです。これが保険制度です。保険制度はこのように有用なものです。他面、これは濫用されるおそれの高いものでもあります。少額の保険料で多額の保険金を取得することが可能であるからです。近年、しばしば新聞などで報道されている保険金殺人事件はこの代表的なものです。この講義では、保険制度のもつこれら2つの側面を法的視点から解明しようと考えております。

次に、海商法ですが、海商法は船舶を手段とする海上企業活動に関する法です。船舶というと、時代遅れの交通手段に思われますが、物品の運送については依然として主役の地位にあります。また、海商法は、歴史的にいうとその起源を中世の慣習法に求めることができます。そのため、この法分野には独特の制度がみられます。これらについて、概説する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期および後期の前半を保険法の講義にあて・残りの時間を海商法にあてる予定です。

履修上の留意点

債権法の基礎的知識を習得していることが望ましいです。

成績評価の方法

出席は年間を通じて7～8回とする予定です。これは、成績評価の際に加点事由とします。期末試験は持ち込み不可で行います。

教科書

山野嘉朗・山田泰彦編著『現代保険・海商法30講第5版』（中央経済社）4,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
民事訴訟法	間 瀧 清 史 ま ぶち きよ し	法A3・4選必	4

講義のねらい

この講義では、民法など民事実体法についての一応の学習を終えた人を対象として、民事訴訟手続の概説を行います。ここに民事訴訟手続とは、私人間の権利義務ないし法律関係の存否を巡って生じた紛争の解決を目指し、そのための基準を提示する手続のことをいいます。判決手続のみならず、和解、調停および仲裁などの訴訟以外の民事紛争解決手続についても講ずる予定です。受講者に民訴手続の全体像と民訴理論の基本を体得してもらうのがこの講義の目標です。

講義の内容・授業スケジュール

①民事紛争の解決制度、②民事訴訟制度の現代的課題、③訴え、④裁判所、⑤当事者、⑥第三者による訴訟進行、⑦本案と訴訟要件、⑧当事者と裁判所の役割、⑨口頭弁論の諸原則、⑩口頭弁論の準備、⑪証明と証拠、⑫証明責任、⑬当事者の行為による訴訟の終了、⑭終局判決とその効力、⑮複数請求、⑯共同訴訟、⑰訴訟参加、⑱当事者の変動、⑲上訴・再審、⑳簡略な手続

履修上の留意点

受講者は相当の覚悟をもち、かつ必ず予習のうえ出席すること。

成績評価の方法

学年末試験の結果と受講者の提出物の内容に依拠して行います。問題作成および成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮します。

教科書

上原敏夫・池田辰夫・山本和彦 著『民事訴訟法（第3版補訂）』（有斐閣Sシリーズ）2001年および小林秀之編『判例講義民事訴訟法』（悠々社）2001年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しいる 藤 本 茂	法 A 3・4 選必	4

#### 講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用労働関係は、リストラ、解雇や能力主義人事管理の導入などが行われ、従来の日本型雇用システムの見直しがなされています。労働法は、雇用労働関係において生じる紛争を法的解決方法を検討する法領域です。この変化に無関係ではられません。この変化は労働法の領域でも労働者の雇用にすなわち雇用関係法領域に大きく関わってきます。労働組合をめぐるの法領域、労使関係法領域に割く時間を減らさざるを得ません。本講義では、雇用関係法領域を中心に、上述した雇用労働関係の変化を頭の隅に置きつつ、これまでに形成定着した労働法理の基礎を学びます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

## 法 律

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業では下記事項について、基本的なことを中心にまなぶとともに、現代的課題に言及します。詳しくは第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応のアウトラインを示すに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本的雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 労働条件の変更
- (9) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (10) 人事異動－配転、出向、転籍
- (11) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (12) 賃金、賞与、退職金
- (13) 労働時間、時間外労働
- (14) 休憩、休日、休暇
- (15) 労働災害など

#### 履修上の留意点

毎時間出席してください。そして、積極的に質問をしてください。ただし、授業のマナーは守ってください。

授業は、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要ですし予習復習は欠かせません。

#### 成績評価の方法

出席、質問を加味しますが、学年末試験（論述式）がメインです。追・再試験は、実施します。

#### 教科書

教科書は、ベーシック労働法（浜村彰ほか著・有斐閣）、労働法（浅倉むつ子ほか著・有斐閣）が手ごろでしょう。しかし、物足りなさを感じるかもしれません。そのような受講生は、労働法（菅野和夫著・弘文堂）がいいでしょう。教科書は予習復習をするうえで必要です。少なくとも1冊は用意してください。他に教科書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして用意してください。

#### 参考書等

労働判例百選第7版（別冊ジュリスト）、六法は用意してください。六法は、法改正がありますから、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものが、必要です。第1回目の授業で紹介します。

#### その他

皆さんが、各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 私 法	かさ ほら とし ひろ 笠 原 俊 宏	法 A 3・4 選必	4

講義のねらい

渉外的要素を有する私法問題の解決を目的とするのが国際私法である。それは、狭義において、準拠法の選定を主たる役割とする。その意味において、国際私法は、民法や商法のように私法問題の直接的な判断基準となる法律とは、規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範などと呼ばれることがある。講義においては、国際私法のこのような特質を明らかにしつつ、実質法における理念の変化が国際私法にとっても無縁でないことを実証的に論じたいと考えている。時として難解な科目であるといわれることがあるが、最近の身近な問題を具体例として取り上げるなどして、できる限り分かり易いものとなるよう工夫したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容およびスケジュールについては、ほぼ次のように予定している。

1. 国際私法総論（4月、5月、6月）
2. 国際家族法（6月、7月、9月、10月）
3. 国際財産法（11月、12月）
4. 国際民事訴訟法（1月）

法  
律

履修上の留意点

基礎となる他の科目、就中、家族法について、基礎知識を有することが好ましく、民法についても併せて学習することを期待する。

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって行なう予定である。

教 科 書

笠原俊宏著『国際家族法要説（新訂版）』（高文堂出版社）を使用する。

参 考 書 等

いずれかの六法を常に携帯することを望む。

そ の 他

授業は普段講義によって進行するが、時折、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	かね こ しよう へい 金 子 昇 平	法 A 3・4 選必	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教 科 書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

そ の 他

堀野宏他編『行政判例百選 I・II』第四版（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際紛争解決法	おう し あん 王 志 安	法A3・4選必	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストや出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）、東信堂、2002、2,000円

参考書等

市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業はpower pointを使って講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求められることもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会保障法	はら だ けいちろう 原 田 啓一郎	法A3・4選必	4

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。

社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

講義開講時に指定する。参考文献については、適宜指示する。  
なお、多方面の法律に言及するため、ポケット六法レベルのものでは不十分であるので、社会保障立法を取録する六法を各自必ず用意すること。

その他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは本科目と平行履修していることが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 事 訴 訟 法	おぎそ 綾 <small>りょう</small>	法A3・4選必	4

#### 講義のねらい

個人の自由や命は、犯罪による脅威からも国家の不正な権限行使からも守られなければならない。国民が刑事裁判に参加する制度の導入が検討されているが、その前提となるのは、正しい刑事司法制度の理解である。

犯罪が解明され、その実行者が何らかの「けじめ」をつけることは、犯罪によって損なわれた被害者－社会－加害者の関係修復に必要不可欠なことであるが、国の強制権限が用いられる刑事手続では、個人の自由やプライバシー、無辜の不処罰といった自由社会の拠って立つ価値もまた守られなければならない。こうした複合的な目的を実現するために刑事司法制度が用意している仕組みを理解し、その適正な運用について考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

概ね、前期は、①刑事手続の概要、②任意捜査と強制捜査、③逮捕、④捜索・押収、⑤職務質問、所持品検査捜査、⑥新しい捜査方法、⑦被疑者取調べ、⑧被疑者の弁護権、について、後期は、①訴追裁量、②公判構造、③起訴方式と訴因、④証拠開示、⑤排除法則、⑥自白の証拠能力、⑦伝聞法則、⑧無罪推定、⑨二重危険禁止、⑩被害者支援、⑪少年手続などを扱う予定である。

理解を助けるために、統計資料や新聞記事、ビデオなどを適宜用いる。また、下記のとおり毎回のレジュメを用意している。

#### 履修上の留意点

毎回のレジュメをホームページ (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ogiso/>) に掲載し、読むべき教科書・参考書のページも指定する。資料や判例がリンクしているので、予習・復習に用いてほしい。レジュメは授業中にも映すが、履修者は、あらかじめそれを入手して授業の理解の補助としてほしい。

また、履修者は、社会に生起する事件や法律問題に常に関心をもち、予習・復習を怠らず、真剣に授業に臨んでほしい。これを怠ると単位の修得は難しい。

授業には六法を必ず持参すること。

なお、2年次に裁判法を履修していることが望ましい。

#### 成績評価の方法

基本的には年度末の筆記試験によるが、日常の勉強を促すため、何らかの課題を課すことを考えている。基本的概念の理解、論点の把握・整理、正確な法律用語の使用、文章構成力などが評価基準となる。

#### 教 科 書

初回の授業を聴いてから購入するのがよいが、田口守一著『刑事訴訟法』（弘文堂）を薦める。

#### 参 考 書 等

田口・佐藤・白取編『目で見える刑事訴訟法資料』有斐閣、渥美東洋著『レッスン刑事訴訟法（上）（中）（下）』（中央大学出版部）。前者は初学者向け、後者は、刑事手続を深く学ぼうとするものの必読書である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 憲 法	にし 西 おさむ 修	法A・法B1・2選	4

法  
律

講義のねらい	比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといって非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。
講義の内容・授業スケジュール	おおむね以下の内容になる。①比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）②主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、③アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、④項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。
履修上の留意点	①開講時にシラバスを配付するか、KOMSY に詳細を記載するので、よく読んでおくこと ②日本国憲法との関連で問題意識をもつこと ③私語は絶対に慎むこと ④途中からの入退室はしないこと。
成績評価の方法	①出席・レポート 20点 ②前期試験 40点 ③後期試験 40点。
教科書	年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。
参考書等	①西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」 ②アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年 ③西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年
その他	授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親 族 法	ごとう きょう 五 島 京 子	法A・法B1・2選	4

講義のねらい	民法典第四編親族編に規定される内容を中心に「親族法」の講義を行う。身近な家族の問題を法的視点から理解することを通じて、民法の基礎的な考え方を身につけることを目的としたい。
講義の内容・授業スケジュール	私法の一般法である民法には財産関係を規律する法と家族関係を規律する法が含まれるが、本講座は後者を講義の対象とする。具体的には、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次講じていくことになるが、法律を初めて学ぶ方たちのために最初はゆっくりと基本的用語の説明をしながら講義を進め、知識がある程度集積してくる夏休み明けから進度を速めていく予定である。民法の条文解釈を中心に、わが国における制度の歴史や欧米家族法との比較、法社会学的な考察をも踏まえ、最近の立法の動向を紹介しながらダイナミックな家族をめぐる法状況を検討したい。
履修上の留意点	面白がって講義に参加していただくのは大歓迎だが、その興奮を講義の時間内に隣の人たちと分かち合うのは控えていただきたい。1人のひそひそ話が100人分集まれば、もはやひそひそ話ではなくなるのである。
成績評価の方法	定期試験により成績評価をするが、出席状況などの平常点をも加味する。
教科書	遠藤浩ほか編『民法（8）親族 [第4版増補版]』（有斐閣双書）1,600円
参考書等	久貴忠彦・米倉明・水野紀子編『家族法判例百選 [第6版]』（有斐閣）2,200円 六法



科目名	担当者名	配当学科	単位
法社会学	おがき 岡 寄 修	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

法社会学は、比較的新しい学問であり、研究領域は多方面に及ぶ。このため、本講義では、主に前期と後期とに分け、前期は、法社会学誕生に到るヨーロッパ近代の知的歴史、ならびに市民社会における法の機能、後期は、法解釈の性格、について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：ヨーロッパ近代の知的発展、啓蒙主義と科学、法典化運動、法社会学の誕生、近代市民社会における法など  
後期：法解釈の性格、概念法学と自由法論、アメリカのプラグマティズム法学など

履修上の留意点

法の解釈論に留まらず、広く知識・歴史一般への関心を持って臨んでもらいたい。

成績評価の方法

今年度からレポートを課題とする。それに、学年末の論述試験を加え、成績を決める。

教科書

上記の二つの焦点を満たす適当な書物はないので、教科書は指定せず、次の三冊を参考書として上げておく。これらは、必要な箇所を抜粋し、講義の際にプリントとして配布する。

参考書等

碧海純『法と社会：新しい法学入門』中公新書 125 (1967)  
J. プロノフスキー 三田・松本訳『科学とは何か』(1968, みすず)  
川島武宜『科学としての法律学』(1964, 弘文堂)

法  
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 法 制 史	しげのたかほる 茂野隆晴	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り、法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。年間の通史の授業は時代区分に基づいて行うのがふつうである。近年では、近現代史のもつ重要性も強調されるようになってきているので、講義ではそうしたことに配慮しつつも、本年は国初から近世までの4期の法制の特色を主に講述し、終りに『家』制度を行いたい。

年間の講義を受講することによって、日本の法文化への愛着が深まったといわれるようになればと思う。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 日本法制史を学ぶにあたって
- I 日本法制史とは
  - II 基礎法学のなかの法制史
  - III 日本法制史の時代区分
  - IV 日本法制史教育の沿革
- 第1章 上古（氏族法時代）
- (1) 総説 (2) 氏族制度 (3) 法の始源 (4) 法の分化
- 第2章 中古（律令法時代）
- (1) 総説 (2) 律令法
- 第3章 中世（武家法時代前期）
- (1) 法の系統 (2) 分国法〔国法〕 (3) 起請文
- 第4章 近世（武家法時代後期）
- (1) 織豊二氏の法令 (2) 徳川幕府の法令
- 終りに 『家』制度と現代の法意識

履修上の留意点

史資料に則して行う授業ですのでテキストは必ず揃えて欲しい。また、授業中の私語は当然ながら厳禁ゆえ、守れない者があれば直接にも指摘することになろう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験と出席点によって評価する。

教 科 書

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円

参 考 書 等

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円。このほかにも、場合によりプリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋法制史	きたの 北野 かほる	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066 - 1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造 封建制
    - 第3節 統治構造 封建制の解体
    - 第4節 法構造
  - 第3章 近世 (1350 - 1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

法  
律

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 事 政 策	さいとう よしゆき 齋藤 静 敬	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

人間は、なぜ罪を犯すのであろうか。どうすれば、この世の中から犯罪を防止することができるのであろうか？ たしかに、犯罪のない社会を実現させることは非常に困難なことである。しかしながら、実現不可能であるとして、何の努力もせずには、何の解決策にもならない。少しでもよいから犯罪のない社会の実現にむけて、われわれは努力すべきである。刑事政策を学ぶということは、まさにこの犯罪のない社会の実現にむけて貢献することにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

刑事政策は犯罪を防遏するための合理的、合目的な手段、方法を探究するものである。そこで、

- 1 犯罪現象の類型的考察(例えば、少年犯罪、女性犯罪、性犯罪、暴力団犯罪、公務員犯罪、公害犯罪、精神障害者の犯罪、薬物乱用犯罪、交通犯罪、外国人犯罪)。
- 2 犯罪者の処遇(例えば、受刑者の法的地位、刑務作業、拘禁の形態、仮釈放)。
- 3 犯罪者に対する制裁(例えば、死刑、自由刑、財産刑、保安処分)。
- 4 犯罪の司法的処理(例えば、起訴猶予、執行猶予)……などについて概説する。

法  
律

履修上の留意点

1. 講義には、毎回かさず出席して欲しい。
2. 毎日、新聞の犯罪記事に目を通しておく。

成績評価の方法

筆記試験

教 科 書

齋藤静敬『刑事政策の諸問題』(創成社) 2,800円+税

そ の 他

講義方式

科目名	担当者名	配当学科	単位
法思想史	かわみ まこと 河見 誠	法A・法B1・2選	4

#### 講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀的枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方に関しても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人の生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそういった格闘は、何も2002年現在の私たちが初めて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にふさわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在よって立っている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的人権や民主的統治機構は、基本的には近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代法思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

近代以前：古代ギリシャの法思想（ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス）、

中世ローマ・キリスト教の法思想（キケロ、アウグスティヌス、トマス・アクィナス）

近代：自然権・社会契約論（ホッブス、ロック、ルソー）、ドイツ観念論（カント、ヘーゲル）

近代から現代へ：社会主義法思想（マルクス）、新カント派法哲学（ケルゼン、ラートブルフ）、新しい自然法論（コーイング、カウフマン、フィニス）、現代の法思想状況について

#### 履修上の留意点

レジュメと参考資料を配布し、それらに基づいて授業を進めていく。参考資料については授業中に配布するが、レジュメについてはKOMSY上の河見のURLから、各自、印刷して持ってくること（<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kawami/>）。

#### 成績評価の方法

定期試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課するかも知れない。

#### 教科書

特に指定しないが、参考書に挙げた2冊は教科書に準じたものとして、しばしば引用する。

#### 参考書等

田中成明他『法思想史（第2版）』（有斐閣Sシリーズ、1997年）1,700円

三島淑臣『法思想史（新版）』（青林書院、1993年）5,000円

その他、随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 原 論	おお つか かつら 大 塚 桂	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれませんが。政治学のみならずひろく隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

法  
律

講義の内容・  
授業スケジュール

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、ならびに方法

B 政治の原理的究明

① 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

② 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

③ イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）

C 政治の実体論的究明

① 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

② 機能論的究明

～政党、圧力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化

成績評価の方法

V 成績評価

単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。

成績評価は

中間試験：50%

学年末試験：50%

以上の割合によるものとします。

なお、追・再試験も実施します。

教 科 書

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参 考 書 等

上記教科書の巻末にある参考文献を参照のこと。

そ の 他

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」「政治学へのいざない」（成文堂）を参考にしてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	ひらつかちひろ 平塚千尋	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

現代社会に不可欠なものとして構造化されているマスコミを、テレビ報道・制作の経験を下に、現場に近い視点から具体的に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期…災害情報とメディア  
後期…社会の中のテレビ、テレビの中の世界  
この具体的な2つのテーマを通して、  
・マスコミの構造、特性、機能  
・マスコミ産業、制度  
・ジャーナリズム  
・マスコミ倫理  
など、マスコミの社会的な機能や意味、課題や問題点を考える。

履修上の留意点

積極的な発言・発表のある双方向の授業を期待

成績評価の方法

平常点、各回小論文及び期末レポートで総合的に評価

教 科 書

平塚千尋『災害情報とメディア』（リベルタ出版） 2,000円

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する

そ の 他

講義の初めで、その1週間のマスコミを巡るニュースに触れる。  
教科書のほかにVTR映像やナマ資料を多用しながら講義を進める。  
講義の最終10分位でなるべく小論文を書いてもらう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの かつみ 浅野 克巳	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I マクロ経済学
  1. 経済循環と国民所得の諸概念
  2. 所得はどのようにして決まるのか
  3. 45度線モデルとI-Sバランス
  4. IS-LM分析と財政金融政策
  5. 経済の変動と成長
  6. 賃金・物価・インフレーション
  7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
  1. 市場と価格メカニズム
  2. 消費者行動の理論
  3. 企業行動の理論
  4. 不完全市場とは何か
  5. 市場の失敗
  6. 不完全情報の経済学
  7. リスクと不確実性
  8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参 考 書 等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）  
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

そ の 他

経済学部浅野ゼミ HP の『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込み OK！ 大いに利用してください。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 史	むら い りょう た 村 井 良 太	法A・法B1・2選	4

#### 講義のねらい

政治は広く私たちの生活に関係しており、また私たちは主に選挙を通じて政治を形づくっていく立場にもあります。したがって政治を知ることは社会人の大事なたしなみといえます。本講義は、法律学科の1・2年生を対象としていますので、社会人の素養としての活きた政治史を心がけ、政治史上の基本的な知識を修めるとともに、歴史的な分析を通じて現在への政治的理解を深めることを目的としています。

そこで本年度の「政治史」では、現在と直接つながる第二次大戦後の政治史を、日本のおかれた環境とそのもとの選択に注目しながら論じていきたいと思えます。戦後50年、世界はどの様に動いてきたのでしょうか。そして日本は何を選択してきたのでしょうか。本講義は、下記の教科書を下敷きに進めますが、国内政治の展開、国際政治との相互作用、戦前政治との深いつながりなどを加味し、また、人物などにも注目していくことで、立体的な歴史像を提供することをめざします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は基本的に教科書に沿って、話を加えながら進めていきます。講義内容としては、戦前日本の政治外交の伝統、対日占領政策と戦後世界の形成、冷戦下の独立と日米安保条約、沖縄返還、冷戦後の世界と日本など、時代時代の主要テーマを1990年代半ばぐらいまで扱う予定です。詳しい予定は第一回目の講義でお知らせします。

#### 履修上の留意点

履修する学生に特別な知識などは求めませんが、講義への積極的な参加と、それを支える熱意と知的好奇心の豊かな学生を歓迎します。

#### 成績評価の方法

成績は、随時おこなう出席調査と中間レポート、学年末試験によって評価します。

#### 教科書

五百旗頭真編『戦後日本外交史』（有斐閣）1,800円＋税

#### 参考書等

参考図書は講義のなかで随時紹介していきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 学	た ま る だい 田 丸 大	法A・法B1・2選	4

#### 講義のねらい

行政学は政治学の中でも比較的新しい分野であるが、私たちの日常生活とも非常に関係の深い学問でもある。例えば、国レベルでは狂牛病騒動に見られる農林水産省の対応や、薬害エイズ・肝炎などに見られる旧厚生省の対応、自治体（地方）レベルでは、2003年4月に政令指定都市に昇格するさいたま市に見られるような市町村合併であるとか、原発の是非をめぐる住民投票など、世の中の様々な現象に何らかの形で行政は関わっている。これらの行政現象に流れる行政活動の論理を探ることが、行政学の大きなテーマの1つである。

本講義では、国の省庁や地方の自治体がどのようなメカニズムに基づき活動をしているのか、政策立案や執行さらには評価の過程などにも触れつつ検討することによって、複雑な現代社会の問題点や改革のあり方を正しく理解し、問題の本質を見抜くための基本的知識や思考様式を伝えたいと考えている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている（スケジュールなど詳細は開講後に知らせる）。

1 官僚制、2 議院内閣制、3 地方自治、4 公務員制度、5 政策過程、6 行政組織における意思決定、7 政策評価、8 行政改革、9 地方分権改革など。

#### 成績評価の方法

一学期最後の講義におけるテスト、および学年末のテストのみで評価する。出席は取らない。レポートは課さない。しかし、授業中に扱ったことがらはすべて試験範囲とし、その中から満遍なく出題するので、出席をしない者が単位を取得することは困難である。

#### 教科書

森田朗『改訂版 現代の行政』（放送大学教育振興会）2000年 本体2,000円  
教科書にアンダーラインを引く、書き込みを行うといった具合に使用するので、必ず用意してほしい。

#### 参考書等

西尾勝『行政学（新版）』（有斐閣）2001年 本体3,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
法律時事英語	まきの 牧野 和夫	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

国際取引やビジネスの場で実際に使用されている法律英語のキーワードを分かり易く解説することにより「法律英語」の実際を学習することをねらいとしています。社会に出てからも直ちに役立つように、実戦的、実務的な内容で、具体例を挙げつつ講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の順序で進める予定です。

- ① 英米法の考え方
- ② 英文契約の基礎
- ③ 国際ビジネスにおける法律英語キーワード
- ④ インターネット上の取引におけるキーワード

法  
律

履修上の留意点

講義を中心に進めますので、出来る限り講義へ出席することを要望します。

成績評価の方法

学年末筆記試験1回（論文式。但し、教科書など何でも持込み可とする）

教科書

牧野和夫著『法律英語ハンドブック（上）及び（下）』（プロスパー企画）各1,800円、1,500円（税別）

参考書等

河村實治他著『国際法務グローバル・スタンダード17ヶ条』（プロスパー企画）4,300円（税別）

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代法のトレンド	ふじもと 藤本 茂・青野 博之 あらかき 荒木 正孝・大宮 隆 おかだとしひろ 岡田外司博・間瀬 清史	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

現在、社会は大きく変化しようとしています。法もそれと無関係ではられません。本講義では、専門科目の講義担当者が講義では充分触れることのできない現代的課題について、いくつか取り上げて検討していきます。本年度は、主として民事法関係の担当者が、リレー形式で授業を行います。

通常の講義形態と異なりますので、第1回目の講義で、履修上の一般的な注意点と各専門領域での講義内容の概要を説明します。受講希望者は、第1回目の講義に必ず出席してください。

講義の内容・授業スケジュール

担当者の順および講義内容は、「詳細情報画面」を参照してください。専門領域ごとに3回～4回を予定しています。

履修上の留意点

私語はしないでください。携帯電話はスイッチOFF。欠席はしないように注意してください。

成績評価の方法

各担当教員（6名）が、それぞれの講義時間の中で、小テストやレポートなどによって評価を行ない、それらの総合点で全体的な評価・単位認定を行ないます。詳細については、担当者ごとに異なりますので注意してください。

リレー形式なので、学年末試験および追再試験は実施しませんので注意してください。

教科書

講義全体を通じた教科書は特に指定しません。

参考書等

参考図書等については、各回の担当者の指示に従ってください。なお、六法は毎回、必ず持参してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎憲法演習	なかの たつ ひさ 中野辰久	法A・法B1・2選	4

#### 講義のねらい

本演習の特徴は、弁護士が担当すること、司法試験等の国家試験を念頭にしていることの二点にあります。その特徴を踏まえ、本演習は以下の諸点を目的に行いたいと思います。

- 1 受講生に身近と思われる具体的事例を素材として取り上げ、憲法等の法律が実社会でどのような役割を担っているかを明らかにするとともに、憲法の基本原理を重点的に検討する。
- 2 1を通して、司法試験等の国家試験に必要と考えられる憲法の基本原理・基礎的知識の習得を目指し、リーガルマインドの養成をはかる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

主に基本的人権に関する事例を取り上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。検討テーマの一例をあげると下記のとおりです。

- 1 死刑の合憲性
- 2 氏名権
- 3 外国人の人権－選挙権、指紋押捺の問題
- 4 平和主義・戦争の放棄－自衛隊の合憲性
- 5 プライバシー権－タレントの権利
- 6 法の下での平等－尊属殺重罰規定違憲判決、議員定数不均衡問題
- 7 表現の自由－報道の自由
- 8 職業選択の自由－プロ野球のドラフト制度
- 9 生存権
- 10 教育を受ける権利－校則の問題
- 11 信仰の自由・政教分離－靖国神社の問題等

法  
律

#### 履修上の留意点

演習（ゼミ）形式ですから、できるかぎり出席することが望ましいと考えます。また、司法試験等の国家試験を念頭に置くと、復習は必ずしてほしいと思います。

#### 成績評価の方法

登録人数が多い場合は試験を実施します。そうでない場合には出席とレポートで評価することになります。

#### 教科書

芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法第三版』（岩波書店）  
芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ〔第四版〕』（有斐閣）

#### 参考書等

演習の都度、レジュメを配付する予定です。

#### その他

司法試験等の国家試験への対処、弁護士の仕事等についても適宜お話ししていきたいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 民 法 演 習	はやさか とうる 早 坂 亨	法A・法B1・2選	4

講義のねらい	本講義は、受講生が初学者であることを前提に、事例をもとに、実務的観点から民法の基礎・考え方を学ぶ。また、実務法曹になる前提としてロースクール入試、司法試験等を意識し、これらが何を要求しているかについて考える。
講義の内容・授業スケジュール	民法では、現実起こりうる私人間の紛争を規律するという側面を有するため、法的安定性ととともに、具体的事案について結論の具体的な妥当性が要求される。従って、事例は、実際の判例を取り上げるが、その他、実務法曹になる前提としての司法試験の問題等も取り上げ、実務法曹としてどのような基本的知識が必要とされるかについても講義、検討する。
履修上の留意点	本講義では、判例、司法試験の過去の問題を素材とするが、本科目の受講生は、民法の初学者を前提としていることから、これらの検討にあたっては、その点を充分配慮し、基本的事項から検討するので、予習よりも復習に重点をおいて受講して欲しい。 また、講義にあたっては、積極的に発言して欲しい。
成績評価の方法	知識の習得度には重点を置かない。むしろ民法の考え方をどれだけ理解したかという点から評価する。
教科書	特段指定はしない。
参考書等	講義において適宜指示する。
その他	本講義は基本的に討論形式とする。 実務法曹として必要な知識の取得を目的とすることから、ロースクール教育、司法試験についても当然念頭においた講義となる。最終的な司法試験合格の為には、相当程度の勉強が必要だが、ただがむしゃらに勉強さえすれば良いというものではない。司法試験はあくまで法律実務家になる為の試験であるから、実務法曹として何が望まれているのかを理解し、その方向性に向かって勉強することが必要とされる。従って、判例、司法試験の問題の検討を通じて、実務法曹として、どのような能力が求められているのか、また司法試験では何が要求されているのか、そのためにはどのような勉強をしていけば良いのか、論文の考え方、特に勉強の方向性についての講義・討論を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 刑 法 演 習	木 村 美 隆 きむらよし たか	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

刑法の基礎知識、思考方法の習得を目的とすることは当然であるが、司法試験をはじめとする各種国家試験の合格を旨とする学生諸君の存在を意識して、その対策への導入路となることをも心がけたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

刑法は、犯罪の一般的成立要件を中心に分析、検討する刑法総論と、殺人罪、窃盗罪など個別の犯罪の成立要件を分析、検討する刑法各論に分けて講ぜられるのが一般である。この演習では、前期から後期途中までをかけ、刑法総論のテーマを取り上げ、その余の時間で刑法各論の重要論点にふれる予定としている。

刑法は、古くから学説上の争いが顕著で、ときに学界を二分するような議論もなされてきたが、この演習では特定の学説上の立場に把われることなく、常に多様な考え方、視点のあることにふれていきたい。

また、司法試験等各種国家試験の対策も念頭に置き、そのために必要な学習方法にも言及する予定である。

さらに、弁護士としての実務経験も適宜織り込み、法律が現実に応用される世界への興味を引き出せたら幸いと考えている。

履修上の留意点

テレビ・新聞等で多くの犯罪が取り上げられることもあって、刑法は親しみやすい科目であるかもしれない。しかし、ひとたび教科書を開いてみれば、極めて論理性の高い体系のあることに気づかされ、学習の容易でないことを知るはずである。中途半端な学習態度で臨んでもらいたくない。

成績評価の方法

出席と、試験の結果により評価する。

教 科 書

特定の教科書は使用しないが、学習上何らかの体系書に拠ることが望ましい。参考となる文献は開講時に指示する。

そ の 他

講義形式が中心となるが、学生の発表能力を養うため、試験とは別に答案を書き添削を加える、いわゆる答案練習の機会を持ってみたいと考えている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
債 権 各 論	あおのひろゆき 青野博之	法A・法B 2選	4

講義のねらい

債権各論とは、民法典のうち、第3編「債権」の第2章「契約」、第3章「事務管理」、第4章「不当利得」および第5章「不法行為」をいう。

たとえば、Aが自己所有の土地をBに売却する契約をBとの間で締結した場合には、Aは、Bに対して代金を払うように請求することができる。つまり、代金債権が発生する。また、Cの家にDの運転する車がぶつかって、家が壊れた場合には、Cは、Dに対して賠償金を払うように請求することができる。つまり、損害賠償債権が発生する。このように、債権は、契約、不法行為など、さまざまな理由によって発生する。このような債権発生原因について考察するのが、債権各論である。具体的には、たとえば不法行為では、どんな場合に損害の賠償を求めることができるか、どのような損害の賠償を求めることができるかが問題となる。

なお、債権の発生原因のうち、債権各論で学ぶのは、契約、事務管理、不当利得および不法行為だけであるが、これらが債権発生原因の主要なものである。

法  
律

講義の内容・  
授業スケジュール

契約の成立（申込、承諾）  
 契約の効力（同時履行の抗弁権、危険負担）  
 契約の解除  
 所有権移転型の契約（贈与、売買、交換）  
 貸借型の契約（消費貸借、使用貸借、質貸借）  
 労務提供型の契約（雇傭、請負、委任、寄託）  
 その他の契約  
 事務管理  
 不当利得  
 不法行為の要件  
 不法行為の効果  
 特殊な不法行為

履修上の留意点

できるだけ債権総論も受講してほしい。債権各論を理解するために重要な科目だからである。また、これ以外の民法の科目も受講すると、民法全体の理解につながる。

質問は大歓迎である。講義の中では、私からも質問するので、答えてほしい。双方向性型の講義を目指している。

成績評価の方法

質問した回数および私からの質問に対する解答の回数を重視する。解答が正しいかどうかではなく、考えて解答することに意味がある。安心して答えてほしい。

受講者がそれほど多くなければ、質問と応答による平常点だけで成績を評価する。しかし、平常点で成績を評価することができないほど受講生が多ければ、年度末の試験を行う。試験を行う際には、いっさいの持ち込みを不可とする。

教 科 書

大島俊之ほか著『プリメール民法4・債権各論』（法律文化社）2000年 2,700円  
 教科書は上記のものを使うが、自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

参 考 書 等

講義に際して紹介する。

そ の 他

出席し、質問し、私からの質問に答える、積極的な学生であってほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	きたの 北野かほる	法A・法B 2選	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1章 法系
  - 第1節 近代法の法系
    - (1) 西洋近代法
    - (2) 二大法体系
    - (3) 大陸法系あるいはローマ法系
    - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
  - 第2節 イギリス法の特徴
    - (1) 一般的特徴
    - (2) 歴史的特徴
  - 第3節 英米法の分類
    - (1) 法域
    - (2) 法源
    - (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
  - 第1節 法内容の歴史性
    - (1) 歴史的連続性
    - (2) 法系としての特徴
  - 第2節 法観念の社会性
    - (1) 法の観念
    - (2) 法システムにおける裁判の位置
    - (3) 救済と権利
  - 第3節 法思考の実務性
    - (1) 総論
    - (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
  - 第1節 判例法
    - (1) 判例法
    - (2) 判決における法考察
    - (3) 判例法の考察
  - 第2節 判例法の理論
    - (1) 外枠
    - (2) 内実
    - (3) 先例性の判断
  - 第3節 制定法の解釈
    - (1) 制定法の位置づけ
    - (2) 厳格な分離解釈の理論

法  
律

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円  
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

昨年度から講義計画に変更が生じているため、シラバスが一部大きく変更になっている。試験準備には講義ノートが最も有効であるが、過年度のノートの有効性は大きく下がる。各自注意して出席し、ノートをとること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 法	うえ い たけ ひさ 上 井 長 久	法A・法B 2選	4

講義のねらい

本講義は、フランス法のうち、とくにフランス私法の根幹をなす諸問題を対象として、フランス私法の基底を理解することを目的とする。近現代の私法の基本的問題ばかりでなく、古代フランク時代と封建制度下の中世の法とにわけられる古法の時代、および自由と平等を旗印とした大革命に始まる革命期の法すなわち中間法の時代の私法をも本講義の課題としているのはそのためである。フランスの近現代法は、19世紀初頭に統一的な成文法により樹立され発展したが、それまでの法を基礎として統一・整備されたものである。フランスの近現代の私法を深く理解するためには、古法、中間法をも学ぶ必要がある。本講義は、そのようなフランスでいわゆるフランス私法の序論と歴史と称する領域を原典資料(法文、判例、学説、一般論述等)により理解しようとするものである。

法 律

講義の内容・授業スケジュール

本講義は、まず、近現代のフランス公・私法の基礎であるフランス人権宣言と19世紀におけるその開化を学び、次いでフランスの革命期および近現代の私法の基本的問題を検討し、後に、その基本的問題さらには近現代の私法の個別的問題と出来るだけ関係づけながら古法における私法の歴史を考察する。講義の内容は、具体的には以下の通りであるが、その各項目について原典資料を解説しながら講義を進める。なお、フランスの革命期から今日までの政治、行政、裁判制度についても、適宜折り込み説明する。

I. 革命期および近現代の私法の基本的問題…… (前期)

1. 人権宣言と自由の確立

①人権宣言の着想の背景・精神・性質・効力・趨勢 ②人権宣言の内容——基本的人権、各種自由権、法の下での平等、法律の支配、政治組織の原理(国民主権、権力分立) ③公的自由と私的自由

2. 法典編纂とその後の私法の変遷

①法典化の意義・目的 ②ナポレオンの5法典と王令・中間法 ③法典編纂の経緯と問題点 ④近現代における私法の変遷

3. 判例の効力

①判決の構造と判例 ②判例観の変遷(古法、中間法) ③判決の既判力、判例の拘束力と創造力 ④法律の解釈と法学の法律学化(注釈学派、科学学派)

II. 私法の歴史…… (後期)

1. フランク王国の法

①法源(法の属人性) ②社会経済制度一人の身分、土地(個人、共同)所有形態、形式主義的契約、教会と家族財産(相続、贈与、遺贈)、フランクの家族共同体とローマの個人的家族制度 ③訴訟制度

2. 高期中世(制限王政期)の法

①法源(法の属地性、ローマ法の再生、教会法の編纂、慣習法) ②社会経済制度一階級制、封建的土地所有(分割所有権)と自由地、形式主義的契約と合意主義的契約、家族制度(教会婚、自由処分分と家族遺留分、夫婦財産共有制) ③都市の社会経済制度—ブルジュア身分大市・市の組織と取引、同業組合の組織と規約

3. 絶対君主制(旧体制)の法

①法源(慣習法の編纂、ローマ法の第二の再生、王令) ②社会経済制度一階級制の変遷、封建的土地所有制度の変遷

履修上の留意点

フランス法とフランス語に興味があれば、楽しく受講してもらえます。

成績評価の方法

成績評価は、学年末の定期試験で行う。

教科書

拙著プリント版 *Introduction au droit privé* 及び *Histoire du droit privé* (最初の講義の時に配付する予定)

参考書等

ジャン・アンベール著三井哲夫=菅野一彦訳『フランス法制史』(白水社文庫クセジュ)  
山口俊夫『概説フランス法 上』(東大出版会)



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
独 法	やまぐちくに お 山 口 邦 夫	法A・法B 2選	4

講義のねらい

外国法の種類としてのドイツ法全般について一年間で講義をすることは不可能なので、日本が明治以降、政治上の理由から、先進国の外国法を多数継受してきたなかで、ドイツ法のはたした役割を中心に講義をする。したがって、ドイツ法の歴史も近世以降に限定し、特に19世紀以降の立法と日本が継受する際に最も強く影響を受けた点を中心としたい。明治期の仏法・英法の影響については、各自学習することが望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

一年を次の4期に分けて講義をする。  
 I期 4/5月、II期 6/7月、III期 9/10月、IV期 11/12月。  
 I期 プロイセン憲法と明治憲法との関連、特に Kaiser と天皇との比較。次にドイツ民法第一草案と日本民法との関連。パンデクテンシステムの導入。行政法の分野について。  
 II期 一般ドイツ商法典と日本の商法との関連。民商統一論。社会法、経済法など。  
 III期 刑法及び手続法（特に民事訴訟法と刑事訴訟法）の分野において、ドイツ法が日本法に与えた影響について。  
 IV期 ドイツの法思想家のうち、I期からIII期において対象とした分野で影響を与えた法学者の思想をドイツの原書を参考に解説する。

法  
律

履修上の留意点

当然ドイツ語を履修した2年生以上の学生を念頭において講義をする。授業中にドイツ語の条文などが登場するので、他の外国語の履修者には不相当と考えるが、単位取得を目的としなければ聴講可能である。

成績評価の方法

毎年10人前後の小クラスなので、毎回出席をとり、平常点に、年2回のレポート提出によって単位の認定を行う。いわゆる学年末試験は行わない。

参考書等

Gerd Kleinheyer/Jan Schroder, *Deutsche Juristen aus fünf Jahrhunderten*. 2. Aufl. 1983. (初版の和訳あり) (IV期用参考書)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
登 記 法	たぬま ひろし 田 沼 浩	法A・法B 2選	4

講義のねらい

「不動産登記法」及び「商業登記法」の講義を行う。初めて不動産登記法・商業登記法を学ぶ者にも、以前勉強したことのある者にも、民法・商法の手続法としての不動産登記法・商業登記法が現在の取引社会においてどのような役割を担っているのか、不動産登記・商業登記制度の意義を通じて、両法より深い理解を図ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

不動産登記においては、不動産に関する取引全体の流れにおける不動産登記の役割を理解することを旨したい。商業登記法においては、会社法と関連させることによって会社の起業に役立つ程度の知識を最低限習得できるように努めたい。

履修上の留意点

受講者は民法第二編物権（物権法）、商法第二編会社（会社法）を履修することが望ましい。この講義を受講することが望ましい者は、将来、不動産・金融関係の会社に就職を希望する者、起業して自営業を目指す者、そして司法書士試験を受験したいと考えている者に限らない。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況や中間試験（レポート）も加味する。

教科書

法務省民事局編『不動産登記実務 [五訂版]』（法曹会）4,000円  
 法務省民事局第四課編『商業登記法入門』（きんざい）3,619円  
 六法全書（コピーでも良い）は、毎回持参すること。（最新の六法全書であること）

参考書等

遠藤浩・青山正明編『別冊法学セミナー 基本法コンメンタール [第四版補訂版] 不動産登記法』（日本評論社）3,500円（初学者は基本法コンメンタールを直ちに購入しなくても良い。）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	おおみや たかし 大 宮 隆	法 A 2 選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

本講は、3年次から開講されている演習のための基礎知識を修得することを目的とする。「婚姻及び離婚制度の改正問題」を通して、文献・資料の検索、発表の方法を指導する。よって、当初は私が法律雑誌や判例集について解説し、その後、各人の関心に沿ったテーマを選んで勉強し、報告、ディスカッションするという形をとる。

履修上の留意点

予習すること。

成績評価の方法

年間を通して、総合的に評価する。

教 科 書

プリントを配布する。

法  
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	かめだ こういちろう 亀 田 浩一郎	法 A 2 選	4

講義のねらい

3年次からの専門演習への橋渡しとして、基礎知識・考え方をしっかりと身につけると同時に、判例・文献の調べ方、レポートや議論の方法を習得することを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

民法総則に関する基本的な問題（事例問題）について、あらかじめ割り当てられたグループ（数名）にレポートしてもらい、それに基づいて全員で討論をするという形でを行います。

履修上の留意点

報告や討論を中心に進めていくので、意欲のある学生の参加を望みます。民法に興味があれば、得意不得意は問いません。

成績評価の方法

出席状況をベースに、レポートや発言等の受講態度を総合して評価します。試験は行いません。

教 科 書

使用しません。教材（問題等）はこちらで適宜用意し配布します。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介します。なお、六法は必ずもってくること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	佐 藤 多 美 夫 さとう たみお	法 A 2 選	4

講義のねらい

このゼミは刑法における基本的な問題を検討し、法的知識を修得するとともに法的な思考を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

刑法総論講義で修得した犯罪の成立要件である構成要件該当性、違法性、責任の基本的な問題を扱うが、以下のような諸問題も対象としたい。例えば、少年犯罪に関する問題、ハイテク犯罪に関する問題、生命に関する問題、犯罪被害者に関する問題などを予定している。

- 1回 ゼミ員紹介、レポート・小論文作成について、設問出題
- 2回 グループ決定・グループの研究テーマ決定、レポート・小論文作成について、レポート提出
- 3回 設問解説、レポート・小論文作成について、
- 4回 グループ研究
- 5回 グループ研究
- 6回 グループ研究
- 7回 グループ研究、全グループの研究報告書を提出
- 8回 グループ研究発表
- 9回 グループ研究発表
- 10回 グループ研究発表
- 11回 グループ研究発表、個人研究テーマ提出
- 12回 グループ研究発表
- 13回 グループ研究発表、前期のまとめ
- 後期 個人研究報告を中心に行う

法  
律

履修上の留意点

主体的、意欲的な学生の参加を望みます。

成績評価の方法

報告内容、質問、出席等総合して評価する。

教科書

各自テーマが異なるため特定のテキストはない。

その他

このゼミは、受講者数にもよるが個人およびグループによる研究発表をもとに行う。発表者は報告の一週間前までにレジメを配布し他のメンバーはこれをもとに質問出来るようにして、当日は活発な討論に参加できるようにしなければならない。発表者・質問者はそのテーマについて文献を収集したりその理解に努力する必要がある。また、図書館での資料収集の仕方、報告書の書き方等についてもアドバイスをする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	原 口 伸 夫 <small>はら ぐち のぶ お</small>	法A 2選	4

講義のねらい

この基礎演習は、刑法・犯罪論の基礎を理解するとともに、法律を学習する上で必要不可欠となる基本書・参考文献の探し方・利用の仕方、判例の調べ方・読み方、レポート・論文の作成方法等の習得を目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

まず、刑法総論の重要な解釈問題(たとえば、因果関係、正当防衛、錯誤、共謀共同正犯等)を題材としてテーマを決め、グループ(2~3人)で報告し、議論する。次いで、刑事法に関して各自興味のあるテーマを決め、個別に報告し、皆で議論する。

履修上の留意点

報告者はもとより、報告者以外の者も主体的に参加し議論することによって、本演習での目的である学習方法等を習得し、また、問題点やその背景事情について探り・考える力や、それを整理し・筋道立てて説明する力をしっかりと身につけ、今後の専門ゼミ等においてより深く研究する基礎を固めてもらいたい。

成績評価の方法

報告・出席等の平常点で成績を評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

法  
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	日 笠 完 治 <small>ひ かさ かん じ</small>	法A 2選	4

講義のねらい

一年次に履修した憲法学の基礎知識を整理し確認すると共に、三年次から始まる本格的な研究のための準備をする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、憲法総論・基本的人権論・統治機構論・憲法訴訟論に関する基礎学力の確認と充実に焦点を置き、判例・学説の理解を深める。後期は、各自の研究関心や最近の具体的問題について演習を重ねる。個人の研究発表を基に討論を行う演習形式をとる。

履修上の留意点

これからの学生は、教養や知識だけでなく、実社会で実践的に役立つレベルの学問的思考力や方法論の修得を要求されている。本基礎演習としても、その要請に応えたい。学問的関心をもち、自主性、積極性、責任感を有する学生の参加を望む。

成績評価の方法

出席率評価、発表力・応答力等の演習中の実力評価、提出レポートの質的評価を三本柱とする総合的評価方法を採用する。

教科書

- 日笠完治『憲法がわかった』法学書院、2,600円。
- 他に、①法令集、②憲法判例集、③法律用語辞典等が必要となるが、演習時に説明する。

参考書等

- ①西修編著『日本国憲法25講』八千代出版 ②芦部信喜『憲法』岩波書店 ③野中俊彦他『憲法I』『憲法II』有斐閣 ④法学教室、ジュリスト等の法律雑誌 ⑤判例時報、判例タイムズ等の判例雑誌

その他

演習を通して、憲法学に更に深い関心を抱き、憲法を好きになってもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	わ ち けい いち 和 知 恵 一	法 A 2 選	4

講義のねらい

本演習は、三年次以降における民法の専門演習に参加するために必要な基礎知識を整理・確認し、より高度な研究に対する準備を行うことを目的とする。判例や関連文献の収集方法および利用の仕方、レポート・論文の作成方法、報告・討論の仕方などの修得に努める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は、民法総則に関する基本的な事例問題をテーマとして、参加者全員にレポートを作成してもらい、割り当てられた数名のグループが報告を行う。その報告を基に、全員で議論する。後半は、各人（グループ）が興味・関心を持った具体的事件について、それぞれがレポートし、全員で議論する。

履修上の留意点

全員がレポート作成・発表・討論に参加することが義務付けられる。したがって、自主性・積極性・責任感を持った、意欲有る学生の参加を期待する。又コンピューターを利用して、インターネットにアクセスし、判例や文献の検索を行うことも考えており、多少のコンピューターの知識があることが望ましい。

成績評価の方法

受講態度、提出レポートおよび報告内容を総合的に評価する。（出席することは当たり前のことであり欠席は減点とする。）

教 科 書

法令集（六法）を必ず持参すること。その他については、授業中に適宜指示します。

法  
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 法	まし だ さだ お 岸 田 貞 夫	法 A・法 B 3・4 選	4

講義のねらい

税法の体系を法律的な見地から検討し、所得税法等の規定の解釈を中心として、税法の意義、役割、問題点等を研究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

税法の意義、機能、体系、租税法律関係の特色、租税の確定手続き、所得税法における納税義務者、課税所得の意義、所得の種類、収入及び必要経費の範囲等について、順次、講義する。

履修上の留意点

予習の上、問題意識をもって授業に参加されたい。

成績評価の方法

前期および後期の試験の結果により評価する。

教 科 書

岸田貞夫著『税法としての所得課税』（税務経理協会）2,900円

参 考 書 等

金子宏著『租税法』（弘文堂）

そ の 他

授業は講義方式で行う。なお、レジユメを配付する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富井 幸雄	法A・法B 3・4選	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房) 2,000円

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。  
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境法	まつ むら ゆみ ひこ 松村 弓彦	法A・法B 3・4選	4

講義のねらい

環境問題を事実と法律論の両面から理解する。私法からのアプローチを中心とするが、現在我が国が当面している環境法上の重要課題については、公法・国際法の分野の問題を含めて勉強する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書と判例(必要に応じて配布する)を中心とし、概ね以下の項目にわたる。  
 (1) 環境法の背景・歴史・理念等  
 (2) 環境保全法制  
 (3) 環境責任  
 (4) 費用負担  
 (5) 特殊問題-我が国が当面する諸問題

履修上の留意点

事実を踏まえた法理論の理解を深めること。

成績評価の方法

論文式試験(年1回)および授業中の報告の評価による。

教科書

拙著『環境法』(成文堂)

参考書等

森島昭夫ほか編『公害・環境判例百選(別冊ジュリスト126号)』(有斐閣) 2,300円

その他

授業の方法: テーマに応じて講義形式とゼミ形式を併用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法 哲 学	かわみ 河見 誠	法A・法B 3・4選	4

#### 講義のねらい

複雑多様化する現代社会の中で、法律も法学も法実務も専門分化し、細分化されていく傾向がある。そういう時代において法を適切に形成、適用、運用、活用、修正していくためには、逆に全体的な視座や基礎的的原理的思考が求められるのではないだろうか。法に関わる専門家としてであり市民としてであり、私たちが「法哲学」を学ぶ現代的意義は、ますます大きくなってきていると思われる。この講義の前半部分では、「法とはどのようなものであるのか」「法は国家、社会、人間とどのように関わっているのか」そして「法はどうあるべきか」といった、法の世界（ひいては人間の世界）全体にわたる根本問題を探究していくなかで、法に関する基礎的的原理的思考を身につけることを目的としたい。その上で、後半部分（6月末あたりから）では、現代社会の諸問題（生命倫理や家族倫理その他の社会倫理上の課題）において法がどのような位置づけにあり、またどのように関わるべきなのかという、いわば応用問題を考えていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

さしあたり、以下のようなことを扱う予定である。

- I. 法哲学の根本問題
  - 「法とはどのようなものであるのか」（法と強制、法と道徳）
  - 「法は国家、社会、人間とどのように関わっているのか」（法の機能、法化問題）
  - 「法はどうあるべきか」（自然法論と法実証主義、法と正義）
- II. 法哲学の応用問題
  - 「現代社会の諸問題と法」（自己決定と脳死・臓器移植、生命の尊重と安楽死、家族と福祉、平等と在日韓国・朝鮮人問題、平和と豊かさ・貧しさ）

#### 履修上の留意点

基本的に講義のスタイルをとるが、できるだけ受講者と一緒に考えていくスタイルをとりたい。そのために、特に後半部分においては、その場で考えてもらったり、次週までに考えてもらう質問を出すことがしばしばあると思う（例えば、「あなたなら臓器提供意思表示カードにどのような記載をするか」など）。その際には、じっくり考えて、積極的に発言してもらいたい。皆さんの意欲ある参加を楽しみにしている。

なお、前半部分ではレジュメを用いることがあるが、その際のレジュメは、KOMSY 上の河見の URL に掲載するので、各自、予め印刷して持ってくること (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kawami/>)。

#### 成績評価の方法

前期に I の部分についてのレポート、後期に II の部分についてのレポート、従って計二本のレポートによって評価する予定。

#### 教科書

- I. 三島淑臣編『法哲学入門』（成文堂、2002年）2,200円
- II. 河見誠『現代社会と法原理－自由、生命、福祉、平等、平和のゆくえ』（成文堂、2002年）3,200円

#### 参考書等

- I. 田中成明『法理学講義』（有斐閣、1994年）3,100円  
ホセ・ヨンバルト『法哲学案内』（成文堂、1993年）2,500円
- II. 葛生栄二郎・河見誠『新版・いのちの法と倫理』（法律文化社、2000年）2,800円  
その他、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	おがだとしひろ 岡田 外司博	法A・法B 3・4選	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教科書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

法  
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
航空・宇宙法	くどうそういち 工藤 聡一	法A・法B 3・4選	4

講義のねらい

航空法とは、航空によって生ずる法律関係を規律する規範の総称である。航空法は、規律の対象が国家および国家の私人に対する権力関係に関わるかどうかにより、航空公法と航空私法とに分類され、また、航空が単一国家の領域内のみで行われるのかどうかにより、国内航空法と国際航空法とに分類される。本講義では、こうした体系を意識しつつ、航空法の基礎構造を考察することにする。

航空法は比較的新しい法領域といえるが、宇宙開発の進展に呼応して、そこでの活動に対して適用される固有の法の必要性が認識されるようになり、より新しい法領域としての宇宙法が生まれている。本講義では、その主要な問題についても言及することにする。

講義の内容・授業スケジュール

航空公法に関して一航空協定、航空機の運航、航空機の救難と事故調査、ハイジャック等  
航空私法に関して一航空運送人の責任、航空機製造物責任、航空保険等  
宇宙法に関して一宇宙条約、宇宙の商業利用等  
\*詳細な講義計画は開講時に発表する。

履修上の留意点

航空・宇宙法が専門的技術的な内容を有するのは事実であるが、少なくとも航空は既に現代人の生活と切り離せないものとなっており、それに関する法的知識も航空関係者のみが独占すべきものではない。本講義は、比較的身近な説例から議論を始めることで、航空の専門家を志すひと以外にとっても、聞き易いものとするつもりである。身構えずに参加して欲しい。

成績評価の方法

後期末試験（70%）の結果に平常点（30%）を加えて成績評価する。  
試験は論述式とする。平常点のカウントの仕方は、受講者の数をみて決める。

教科書

坂本昭雄『新しい国際航空法』（有信堂）2,500円＋税。  
必要に応じてプリント教材を配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
消 費 者 法	こ 河 の 野 ひ ろ の り 矩	法A・法B 3・4選	4

#### 講義のねらい

今日、消費者を取り巻く生活環境は、訪問販売・通信販売・割賦販売契約、保証契約・クレサラ契約・電子商取引・介護契約・弁護士や医師などの専門家との契約などの例に見られるように多様化・複雑化・専門化の一途をたどっている。本来、消費者と事業者との間のいわゆる消費者契約自体は、自由・公正・安全に締結されることが望まれるものである。しかし、「消費者と事業者との間の情報の質及び量並びに交渉力の格差」のあることは否定できず、結果として消費者側に不本意な自己責任を強いることになり適当ではなく、消費者の利益の擁護と消費者が自己責任に基づいて契約を締結できるための諸環境の整備が不可欠である。そのための法制度としては、民法を基本として、「消費者契約法」、更には各種の取引に対応した特別法(特定商取引に関する法律・製造物責任法他)とが適用法令として制定されており、そのため消費者にとっては極めて複雑な法体系となっている。このうち「消費者契約法」は、2000年5月12日に公布、2001年4月1日から施行されており、「事業者の一定の行為により消費者が誤認し、又は困惑した場合について契約の申込み又はその承諾の意思表示を取り消すことができること」とするとともに、事業者の損害賠償の責任を免除する条項その他の消費者の利益を不当に害することとなる条項の全部又は一部を無効とする事により消費者の利益の擁護を図ることを目的として日常生活における消費者契約の基本法としての意味を持たせ、消費者が日常生活で締結する全ての消費者契約に対して例外のない適用を意図して制定されたものである(同法1条)。本講義では、この自由で公正・安全な消費者契約が締結されるための環境整備を目的とした同法を中心として以下のスケジュールにしたがった講義を計画している。

法  
律

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 総論(消費者契約の特質、消費者問題の多様性)
- 2 諸外国の法制度
- 3 消費者契約法の概要
- 4 特定商取引法(訪問販売、通信販売、電話勧誘販売、連鎖販売取引、特定継続的役務提供)
- 5 クレサラ契約と貸金業法・利息制限法
- 6 製造物責任法
- 7 消費者紛争の解決のための法や制度
  - (1) 小額訴訟(訴状の書き方、申立て手続き等を含む)
  - (2) 調停制度(調停申立て手続きを含む)
  - (3) 各種ADR

#### 履修上の留意点

消費者契約関連法規は、体系的であるとは言えないため、そのため可能な限り継続し受講することを心掛けて頂きたい。

#### 成績評価の方法

期末試験の成績によって評価する予定である。出席点を加味するかどうかは未定。

#### 教 科 書

未定。授業の始めに指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
証券取引法	はる 春  た ひろし 博	法A・法B 3・4選	4

法  
律

講義のねらい

証券取引法は会社の発行する株式・社債等の有価証券の発行・流通を規制の直接の対象とするが、その内容には、有価証券の定義、ディスクロージャーの規制、証券業と銀行業の業際問題、公開買付、5%ルール、インサイダー取引や相場操縦の規制等、数多くの現代的な問題が含まれており、また、実質的に会社法を補完する役割を担っていることもあって、今日その重要性を著しく増しつつある法分野である。加えて、平成10年の改正の結果、戦後一貫してきた規制の理念の多くが、その内容を大きく変ずることになった。本講義では、これら時事性のある問題にも可能なかぎり具体的に言及しながら、証券取引法による規制がどのような考え方や定義にもとづき、誰を名宛人とし何を目的に行なわれているかについて、わかり易く論じてゆくことにしたい。戦後に制定された若い法律であるため、母法であるアメリカ法の動向とも密接な関連を有しているが、こうした事情についても講義で伝えることができればと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

ほぼ法律の規定の順序に即して進める予定である。

履修上の留意点

履修者は会社法の履修を終え、あるいは自習している等、会社法に関する一応の理解を有していることが望ましい。また、出席に際しては必ず六法全書を持参すること。

成績評価の方法

学年末に実施される定期試験の結果によって行なう。

教科書

近藤光男、吉原和志、黒沼悦郎著『証券取引法入門（新訂第2版）』（商事法務）

参考書等

服部育生著『新証券取引法講義（第5版）』（泉文堂刊）4,000円

その他

授業は講義形式で行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
金 融 法	かわ 川 田 悦 男	法A・法B 3・4選	4

講義のねらい

わが国の金融界は、金融のグローバル化、自由化という大きな流れのなかで、不良債権問題などバブル後遺症からの早期脱却と、21世紀の生き残りをかけた業務戦略の再構築を図るといふ、相反する重要な経営課題に直面している。

これを利用者の側からみると、現代社会は企業も個人も金融機関と極めて密接な関わりあいをもっており、経済社会はもちろん個人の生活に至るまで銀行取引なしには成り立たないといっても過言ではない。

本講義は、このような認識のもとで、われわれ一般市民として、また将来の企業人・金融人として必要な金融取引に関する法律知識と諸問題について、できるだけ実社会の生きものとして学ぶことを狙いとしており、実学の楽しさも学びとっていただきたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

金融法はまだ新しい科目分野であるが、その対象領域はかなり広く関係する法律も多い。本講義では、これらを主に具体的な取引法の観点から学ぶこととし、制定法の規定が現実にはどのように修正されて実際取引に適用されているのか、また、金融環境の変化がどのような新しい法律問題を生じさせているのかなど生きた学問として学習する。

講義内容は次を予定している。詳しくは初回講義の際に資料配布する。

- I 金融法の特質、わが国の金融制度、金融機関の業務内容
- II 預金取引、為替取引、電子マネー・e取引
- III 手形取引、手形交換と取引停止処分制度
- IV 貸出取引、消費者取引、担保、倒産、相続、差押

成績評価の方法

学年末試験を基本に評価する。

教科書

最初の講義のときに話します。

その他

講義形式による。毎回のプリントとサブテキスト配布、一部ビデオ利用。

法  
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 事 執 行 ・ 保 全 法	はし 橋 本 聡	法A・法B 3・4選	4

講義のねらい

民事訴訟などによって確定された債権者の権利を、国家機関である裁判所が強制的に事実上実現するにあたっては、まず、権利の実現を簡易・迅速に行うことが要請されます。しかし、そのために、債務者の人格の尊重や生活の保障が犠牲になってもよいわけではありません。また、債権者の権利を実現する過程では、他の債権者や第三者の利益だけでなく、社会的利益も絡み合ってきます。

この講義では、民事執行法と民事保全法と取り上げますが、前者は、上のような諸利益の調整を行い、かつ、権利を迅速に実現するための仕組みを定めたものであり、後者は、そのような権利の実現を保全するための仕組みを定めたものです。講義では、これらの法律が具体的にはどのような仕組みを予定しているのか、そしてそれがどのような基本原則に基づいて動かされているのか、ということについて理解することを目的にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

第一回日の講義の際にシラバスを配布する予定です。

履修上の留意点

民事訴訟法および民法（特に担保物権）を履修しているか、または併行して履修していることが望ましい。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価を行います。

教科書

山木戸克己『民事執行・保全法講義 [補訂二版]』（有斐閣ブックス 1999年）

参考書等

授業の際に、適宜、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	あめ みや まさ や 雨宮 眞也	法A・法B 3・4選	4

講義のねらい

主として、破産法についての基礎理論と現行法の解釈論を中心に講義する。関連して会社更生法、民事再生法についても講義し、わが国の倒産処理体制の総合的理解が得られるよう講義する。

法理論は社会現象をリードするとともに、社会現象はまた法理論をリードする。両者の相互関係をふまえつつ、学生諸君の法的思考力の向上に努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の構成に従って、順次講義を進める。

履修上の留意点

破産法は、法律のつぼと云われるように、実体法、手続法、刑事法から構成され、民法、商法、労働法等々を、いかに修正するかの学問でもある。破産法の学習を通して、学生諸君が実体法と手続法を総合して理解する力を養うことを期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績により評価する。

教科書

倒産処理法の分野は、最近めまぐるしい改正が行われ、各種教科書の改訂作業が進められているので、開講時に指定する。

参考書等

同様に開講時に指定する。

その他

授業は講義方式となるが、受講生の数によっては、ゼミ方式を取り入れることもある。

法  
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
知的財産権法	もり おか かず お 盛岡 一夫	法A・法B 3・4選	4

講義のねらい

知的財産権法には、狭義の工業所有権法（特許法・実用新案法・意匠法・商標法）の他に著作権法等が含まれている。知的財産権法は知的所有権法または無体財産権法といわれることもある。

知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるように、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関連する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明した場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：特許法・実用新案法  
後期：意匠法・商標法・著作権法・不正競争防止法

成績評価の方法

後期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。

教科書

盛岡一夫『工業所有権法概説－知的財産権法の基礎知識〔第4版〕－』（法学書院）

参考書等

特許庁編『工業所有権法逐条解説』（発明協会） 中山信弘『工業所有権法上』（弘文堂）  
鴻・紋谷・中山編『特許判例百選』（有斐閣） 齊藤・半田『著作権判例百選』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 取 引 法	よこやま まきお 横 山 真規雄	法A・法B 3・4選	4

#### 講義のねらい

近年、日本企業の間でも、国際経営を行っていくには、効果的に法的リスク（危険性）の発生を回避することが、決定的意味を持つとの認識が定着している。

たとえ優れた競争力を持っていても、法律問題に対する配慮を怠れば、致命的結果を招くことを、過去の苦い経験から認知するようになったからである。

即ち今後、国際規模の経済活動を行っていくには、「国際社会でも十分に通用する」法律武装を行い、トラブルを未然に防ぐ「予防法学（病気が起こってから治療するのではなく予防に力点を置く姿勢）」の考えを修得することが必要となる。そのためには、「国際取引」に係わる様々な法学理念や法規範について、正確な知識を身に付けることが必須となる。

本講義では、以上のような視点に立脚し、定款上の企業活動が「国際性」を帯びた時、考えるべき様々な法律問題を検討することにした。聴講する学生諸君が法学部に在籍している事実を踏まえ、そこでは経営学の基礎部分にも触れ、「法学と経営学」の融合を目指すことにする。

そこでまず、国際化に向けて企業が踏むべき課題を順次検討していく。更に「国際法務」活動に求められる、民法・商法・憲法・経済法・知的財産権法・民事訴訟法・税法・行政法・国際法等の履修済み科目を、改めて「国際経営法務」上のリスク回避の視点から検討しなおしていくことにする。

その上で国際契約を支える「準拠法」の決定・外国法適用問題等を検討し、更に①取引相手を巡る社会的・法的信用調査、②取引内容の確定問題、③支払手段と運送方法を巡る確定問題、④契約書を巡る法戦略、⑤契約内容の実現と担保方法、⑥準拠法と約定条項との関係、⑦トラブル発生時の処理方法と裁判・調停・仲裁、と言った契約実施プロセス一連における具体的法律問題に検討を進めることにする。

もとより各企業の営業活動は多種多様であって、業種に応じて「取引形態」には大きな違いがある。そこで一般性の高い問題を中心に講義を進め、適宜それぞれの業界での特徴性について紹介することにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容は広範囲に及ぶことになるため、前期はノート講義を中心に進めることにする。後期に入ってから、改めて指示するテキストを使って講義を進める予定であるので注意されたい。テキストに予習内容が記載されている場合には、前の授業までに指示するので、当日は各自予習を行って参加することを求める。

#### 履修上の留意点

国際私法的発想が随所に求められるので、できれば「国際私法」を併せて履修されることが望ましい。

尚、授業進行上、極めて障害が多いことから、授業中の私語・飲食等は当然の事ながら、途中入室・途中退室も認めていない。定刻通りに授業を開始するので、予鈴をもって直ちにスタンバイしていただきたい。数分でも遅刻する場合には、教室全員に対して敬礼し初めて入室許可するものとする。予めその点を了解の上、誠実な気持ちをもって履修されることを願います。

#### 成績評価の方法

学年末試験における評価と出席点とを加味して決定する。

#### 教科書

後期の段階で、改めて指示する。

#### 参考書等

その他参照すべき資料については、適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 政 学	里 中 恆 志	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

経済生活の中で公共部門の占める比重は確実に増加しつつある。財政学は公共財政経済を対象とする学問であるが、そこでは市場経済原理の私経済とは異なる原理が作用する。公経済は租税徴収等による資金調達と、それをとおしての財政支出によらねば需要を充足できない経済領域である。したがって租税負担分配の方式、財政支出基準の考え方を問題にする。経済社会の変遷につれて負担の方式や支出基準についての考え方も変化する。そして公経済の比重が高まるにつれて、公経済と私経済の相互のかかわりもますます重要になる。

国民が財政意志の形成に参加する方法は民主主義の手続きをとおしてであるから、有効な財政政策の実現のためには、国民が財政をコントロールするルールと、その背後に作用し合う諸力について理解していなければならない。国民はまた財政政策に対する基礎的な判断基準をもっていなければならない。このような観点から財政意志の形成過程、租税徴収による負担の分配、歳出の効率と合理性、財政の総需要管理政策について講ずる。

講義の進め方はまず財政意志の形成過程では予算の編成手続きの理解から入る。歳入面については租税収入を主要税種別に扱い、つぎに歳出面について主要経費別の考察を進める。さらに公経済の私経済へのかかわりについて総需要管理政策を講ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール

(第1週) 講義内容の紹介と年間授業計画の説明 (第2週) 公共財と公共部門 (第3週) 財政の歴史概略 (第4週) 予算編成と主計局の査定 (第5週) 予算編成と政党政治 (第6週) 予算政府案と議会審議 (第7週) 予算の執行と競争入札 (第8週) 予算の政治過程 (第9週) 租税原則学説 (第10週) 給与所得税と課税の普遍性 (第11週) 申告所得税と累進課税 (第12週) 法人税と徴税技術 (第13週) 国際化と移転価格税制 (第14週) 一般消費税と付加価値 (第15週) 地方税と地方歳出 (第16週) 地方財政費と財政調整の制度 (第17週) 機関費と純粋公共財 (第18週) 公共事業費と費用=便益分析 (第19週) 公共事業費と公共財産の形成 (第20週) 社会保障関係費と所得再分配 (第21週) 補助金とスピルオーバー (第22週) 公債費と公債負担 (第23週) 総需要管理政策と国民所得の決定 (第24週) 課税乗数と均衡予算定理 (第25週) 公債による財源調達と債券価格 (第26週) 大量国債の累積とその限界 (第27週) 財政金融政策と国際収支 (第28週) 財政投融资と政府貯蓄 (第29週) 試験と評価についての説明 (第30週) 試験

授業の配当曜日によって年度授業回数に若干の異動があり、予定どおりの時間数が組めないことがある。その場合は一部予定を割愛することがある。

履修上の留意点

法学部には関連科目として経済学分野の「経済原論」及び「経済政策」の講義が設けられている。「財政学」は経済と政治の学際的な分野の科目であるから、こうした関連科目を履修することが望ましい。他学部履修の制度も活用が望まれる。

成績評価の方法

成績評価は学期末テストとして行われる試験による。試験は論述式による。自筆のノート持ち込み可。

教 科 書

里中恒志=八巻節夫編著『新財政学 [改訂版]』(文眞堂) 3,143円+税

参 考 書 等

大蔵省大臣官房調査企画課長編『図説日本の財政』各年度版(東洋経済新報社)  
野口悠紀雄著『公共政策』モダン・エコノミックス12(岩波書店) 2,000円  
中谷巖著『入門マクロ経済学』(日本評論社) 3,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 政 策	もり おか じん 森 岡 仁	法A・法B 3・4選	4

講義のねらい

経済学の実践部門としての経済政策が自由主義経済に成立した過程と、そこではたす役割を明らかにする。人口高齢化や少子化の経済的帰結にも言及し、最後に高齢化社会における経済政策と人口政策の関係を論ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール

I. 現代経済と経済政策 II. 経済政策学の発展 III. 現代経済政策の課題 IV. 経済の成長政策 V. 経済の安定政策 VI. 産業組織政策 VII. 社会均衡化政策 VIII. 経済政策と人口政策

履修上の留意点

日常生活に生起する経済問題に日頃から関心を抱き、自分達の身の回りにある経済問題の解決手段として経済政策を考え、学ぶことが大切である。

成績評価の方法

学年末の定期試験、授業の出席状況

教 科 書

森岡他著『現代経済政策』（千倉書房）1975年

法  
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	はら だ けいいちろう 原 田 啓一郎	法A・法B 3・4選	4

講義のねらい

社会政策は、市場経済の限界や市場経済が生み出す弊害から、人々を保護し、国民生活のリスクを社会的に軽減、防止する目的で発展してきたものである。本講義では、社会政策の過去と現状を再評価し、「福祉社会」における社会政策の課題を展望し、さらに理論的理解を行うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 社会政策の原理
  - 1 社会政策とは
  - 2 社会政策の歴史
  - 3 福祉国家と福祉社会
- II 社会政策の諸相
  - 1 労働時間と社会政策
  - 2 賃金と社会政策
  - 3 労働市場と社会政策
  - 4 所得保障と社会政策
  - 5 サービス保障と社会政策
- III 社会政策の理論的視点
  - 1 needの判定の基準と主体
  - 2 資源とその供給
  - 3 資源の再分配

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教 科 書

講義開講時に指定する。参考文献については、適宜指示する。

そ の 他

日頃より新聞、雑誌等で社会の動向を注視してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 関 係 論	<small>みなみ やま あつし</small> 南 山 淳	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国際社会は、戦争による秩序の崩壊と新たな秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバリゼーションの拡大、アメリカ同時多発テロ事件に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。

本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。国際構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題を関連させながら、講義を進めていきたい。

法  
律

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題など、現代国際関係の諸問題をとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験等により評価する。

教 科 書

進藤榮一著『現代国際関係学』（有斐閣）  
松岡完著『20世紀の国際政治』（同文館）

参 考 書 等

文献リストを配布する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
外 交 史	たか みつ よし え 高 光 佳 絵	法A・法B 3・4選	4

講義のねらい

1920～50年代の東アジアを中心に概観する。『日本外交文書』等を利用して実証史学の一端に触れつつ、歴史上の様々な外交構想を学ぶことで外交交渉というもののイメージをとらえることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 歴史とは何か：「国民の物語（フィクション）」？
2. 外交の主体と国際構造
3. 「ワシントン体制」は存在したか
4. 日本の連盟脱退における外交的意図
5. 英米の東アジア政策形成における天羽声明の位置付け
6. 四国借款団とホーンベック構想
7. 中国幣制改革とリース＝ロス構想
8. 重光葵と戦時外交
9. 朝鮮戦争をめぐる東アジア国際関係
10. 日ソ国交回復と北方領土問題

履修上の留意点

レポートの評価に際しては内容はもちろん、形式についても対象とするので、基本的な技術の修得に意欲のある学生の受講を望む。

成績評価の方法

レポート

教 科 書

山内志朗『ぎりぎり合格への論文マニュアル』（平凡社新書）2001年 700円  
藤原帰一『戦争を記憶する』（講談社現代新書）2001年 660円

参 考 書 等

加藤陽子『戦争の日本近現代史』（講談社現代新書）2002年  
細谷千博編『日米関係通史』（東大出版会）1995年  
木畑洋一・イアン＝ニッシュ他編『日英交流史 1600—2000』第1～2巻（東大出版会）2000年  
波多野澄雄『太平洋戦争とアジア外交』（東大出版会）1996年  
田中孝彦『日ソ国交回復の史的研究』（有斐閣）1993年

法  
律

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政 治 思 想 史	あ り が ま こと 有 賀 誠	法A・法B 3・4選	4

講義のねらい

皆さんも「民主主義」、「主権」、「自由」、「平等」、「権利」といった言葉はご存知だと思いますが、改めて「それって、どういう意味？」と問いかげられると困ってしまうのではないのでしょうか。この講義では、古典古代から現在に至る政治思想の流れを整理しながら、知っているようで知らない上記のような政治の基本概念を問い直してみることにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

古典古代のギリシア世界から中世、近代を経て、現代に至る西洋政治思想の流れを、代表的な政治思想家（プラトン、アリストテレス、アキナス、ホップズ、ロック、ルソーなど）を中心に見ていきます。また、それらの政治思想がどのような現代的意義をもちうるのかにも注目し、適時、現代の話題にも言及する予定です。

履修上の留意点

質問は大歓迎ですが、当然のことながら、授業中の私語は厳禁です。

教 科 書

有賀・伊藤・松井『ポスト・リベラリズム』（ナカニシヤ出版）3000円

参 考 書 等

ジョージア・ウォーンキー『正義と解釈』（昭和堂）3300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(英書)	おかだとしひろ 岡田 外司博	法A・法B 3選	4
外書講読Ⅱ(英書)		法A・法B 4選	

講義のねらい

合衆国憲法修正第1条が保障する表現の自由に関するリーディング・ケースとされる判決を読むことにより、法律英語(慣れれば必ずしも難かしくない)に親しみながら、英語の読解力をつけることを目標としている。扱う判決としては、New York Times Co. v. Sullivan. 376 U. S. 254 (公職者に対する名誉毀損的表現と修正1条の保護)、Miller v. California. 413 U. S. 15 (わいせつな表現と修正1条)、Cox Broadcasting Corp. v. Cohn. 420 U. S. 469 (犯罪被害者のプライバシーと修正1条)等を予定している。

講義の内容・授業スケジュール

出席者に定められた箇所をその場で日本語として不自然でないように和訳してもらい、こちらで適宜修正ないし補足するという形で進める。文法訳読法により英文の文法的解説も行う。

履修上の留意点

予定された範囲について、最低限単語の意味を調べ、内容を大づかみに把握するという作業を事前にやっておくことを強く期待する。

成績評価の方法

出席と英文和訳の巧拙により評価する。

教科書

判決についてはインターネットを使って入手するので、第1回目ないし第2回目の授業に必ず出席すること。

参考書等

松井茂記『アメリカ憲法入門』(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(英書)	かねこしょうへい 金子 昇平	法A・法B 3選	4
外書講読Ⅱ(英書)		法A・法B 4選	

講義のねらい

講義のねらいは、アメリカの憲法や法律、あるいは重要と思われる論文や判例を読むことによって、単なる法知識を得ることのみならず、その基本的な考え方をつかみとっていききたい。すなわち英語を読むだけでなく、考える講義をしていきたい。

そのためには、基礎的学習として法律英語を知ることであり、英単語やテクニカル・タームを豊富に身につけることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主にアメリカ合衆国憲法等の基本的なものを選び講読する。憲法は、構成要素としての統治機構(立法権、行政権、司法権)や、基本的人権について、どの様に規定しているのか、それぞれの意義及び内容について検討してみる。

後期は、受講生の希望をとり入れながら、あらためて指示したい。

履修上の留意点

英和辞典(和英辞典)は、持参すること。英単語の意味がわからないからこそ、辞典が必要である。受講生は、出来るだけ多く、辞典に当たることを身につけて欲しい。

成績評価の方法

講義への出席状態と、発表の評価で成績評価を行う。

教科書

開講時にプリントを配布する。

参考書等

講義内容に応じて適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(英書)	まきの 牧野 和夫	法A・法B3選	4
外書講読Ⅱ(英書)		法A・法B4選	

講義のねらい

英文の法律文書とりわけ英文契約書を読みこなすための基本的な表現を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

回数	前期講義内容	回数	後期講義内容
1	オリエンテーション	1	各種英文契約の読解(1)
2	法律英語の基礎表現(1)	2	各種英文契約の読解(2)
3	法律英語の基礎表現(2)	3	各種英文契約の読解(3)
4	法律英語の基礎表現(3)	4	各種英文契約の読解(4)
5	英文契約書の目的	5	各種英文契約の読解(5)
6	英文契約書の成立要件	6	各種英文契約の読解(6)
7	英文契約書の構成	7	各種英文契約の読解(7)
8	英文契約書重要条項の解説(1)	8	各種英文契約の読解(8)
9	英文契約書重要条項の解説(2)	9	各種英文契約の読解(9)
10	英文契約書重要条項の解説(3)	10	各種英文契約の読解(10)
11	英文契約書重要条項の解説(4)	11	レター・オブ・インテント(1)
12	英文契約書重要条項の解説(5)	12	レター・オブ・インテント(2)
13		13	レター・オブ・インテント(3)
14	前期の総括	14	後期の総括

法  
律

成績評価の方法

学年末に実施される筆記試験(教科書・ノート持込み可)で100%評価します。

教科書

牧野和夫他著『国際契約と紛争処理の実務』(中央経済社)

その他

難しい英文法律文書を学年末には理解することができるように、一緒に頑張りましょう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(独書)	まつむらの 松村 格	法A・法B3選	4
外書講読Ⅱ(独書)		法A・法B4選	

講義のねらい

外書講読の授業は、大学生活のなかで本格的な専門書に親しむことによって真の学問の妙味を味わうことにある。小中高の受験語学では経験できない学問のすばらしさを体験する時間である。この授業では、ドイツ語の原書を読むことによってその体験をする。受講生の語学力に合わせて読み合せていくので心配はない。

講義の内容・授業スケジュール

教材には、刑法の基本をわかりやすく説明した文献を使用する。

履修上の留意点

何よりも意欲と熱意と関心が肝要である。ドイツ語力を必要とするが、初めてドイツ語に接する学生でも2年間で飛躍的に上達して、大学院にドイツ語で受験して合格していった卒業生が過去数名いた。興味のある専門書を通して語学力をのばすこともできるのである。

成績評価の方法

成績の評価は、毎週の努力度によって行うだけである。試験はしない。

教科書

教材は、上記のテーマに関係するものをコピーして渡す。

参考書等

その都度指示する。

その他

授業は、順番に翻訳部分を分担し、問題点を議論していく。原書の読み方は、丁寧に指導するから心配ない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(仏書)	あら き まさ たか 荒 木 正 孝	法A・法B 3選	4
外書講読Ⅱ(仏書)		法A・法B 4選	

講義のねらい

わが国が近代国家として出発するとき、ヨーロッパ諸国の法制度や政治制度に多くを学んだ。そして、その諸制度は基本的に現在もわが国を支える枠組みとなっている。これらの諸制度が、本来どのような考え方を基礎として生まれ、どのような社会的、政治的背景のもとに発展してきたのかについて、フランス語の原書の講読を通して母国語の思考や事情を学び、わが国の制度をより広い観点から深く理解する力をつけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

教材は、受講生の語学力に合わせ、公法や私法の基本的な考えや政治の仕組みをやさしく解説した文献を選ぶつもりである。

履修上の留意点

履修にあたっては、基礎的なフランス語の力が必要であるが、なによりも継続して文献の解説に取り組む熱意のあることが求められる。

成績評価の方法

成績は、出席の回数と平常の努力を評価して行う。ペーパーテストは行わない。

教科書

教材については、必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

参考書は、授業の内容に応じてその都度指示する。

法  
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(中国書)	こう りん ひて ちと 江 林 英 基	法A・法B 3選	4
外書講読Ⅱ(中国書)		法A・法B 4選	

講義のねらい

現在の中国は経済の改革・開放政策をとっており、これを実現するため、1982年に四回目の新憲法を制定・施行し、その後三回にわたる改正を行った。その他の法律もこの憲法に基づき、“雨後春筍”のようにつぎつぎ公布された。“一衣帯水”の隣国である中国を認識することが必要である以上、その法制から着手しなければならないのである。

講義の内容・授業スケジュール

この授業は中国憲法138条の条文に書かれている中国の内政と外交方針、国民の基本権利と義務、人民代表大会の権限、人民政府の組織などを主な内容とする。

履修上の留意点

授業の進度は一週間5ページ程度である。学生諸君に朗読させ、法律用語、条文の構造(文型)を説明しながら立法理由と現在状況を論評する。

成績評価の方法

出席率、学習態度、レポートなどを判断基準として総合的に評価する。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

江英居著『中国憲法』(大学書林)3500円、『中華人民共和国法律滙編』(北京人民出版社)

その他

学生への要望：授業中私語禁止。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(スペイン書)	ましも ゆういち 真下 祐一	法A・法B3選	4
外書講読Ⅱ(スペイン書)		法A・法B4選	

#### 講義のねらい

新聞記事から専門書まで多岐にわたる分野のスペイン語テキストの読解力を養います。精密な読解力は個性ある表現力の基礎ともなります。思考力を鍛え、感覚を研ぎ澄まし、感情を豊かにするための場として講読を役立ててください。「わたしの着手する仕事は果てしなく大きい／最期の時まで私の課題となるであろう／宇宙全体にまさるともおとらず神秘的な試み／わたしはそこで見習にすぎない」とは読書という行為によせたボルヘスの言葉です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

現代のスペイン語文に親んでもらうため、できるだけ多くのテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。

#### 履修上の留意点

個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけて講読が行えるようテキストの選定にあたります。動機を明確にしておきましょう。

#### 成績評価の方法

毎回の積極的な授業参加を評価します。

#### 教科書

初回の授業で受講者と話し合って決定します。

法  
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用憲法演習	なかの たつ ひさ 中野 辰久	法A・法B3・4選	4

#### 講義のねらい

本演習の特徴は、弁護士が担当すること、司法試験等の国家試験受験を前提にしていることの二点にあります。

その特徴を踏まえ、本演習は、学部の講義あるいは基礎憲法演習を受講したことを前提に、司法試験等の国家試験に必要なと考えられる憲法の諸論点の理解並びに法解釈における応用力を身につけることを目的にします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

基本的人権論を中心に取り上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。検討テーマの一例をあげると次のとおりです。

- 1 基本的人権総論
- 2 基本的人権の限界（公共の福祉論）
- 3 精神的自由権を規制する立法の合憲性審査基準
- 4 経済的自由権を規制する立法の合憲性審査基準
- 5 社会権を巡る問題
- 6 法の下での平等 等

#### 履修上の留意点

演習（ゼミ）形式ですから、出席が必須と考えます。  
また、司法試験等の国家試験受験の観点からすると、少なくとも復習は必要と考えます。

#### 成績評価の方法

ゼミ形式で実施しますから、出席とレポートで評価する予定です（変更の可能性あり）。

#### 教科書

芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法第三版』（岩波書店）  
芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ（第4版）』（有斐閣）

#### 参考書等

演習の都度、レジユメを配布する予定です。

#### その他

司法試験等の国家試験への対処についても適宜お話ししていきたいと思ひます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用民法演習	鶴井 俊吉・上野 雅祥 小林 寛・濱中 善彦	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

本演習の特徴は、①法科大学院（ロー・スクール）への準備段階として、専門領域について精通している経験豊かな弁護士を中心に、模擬授業を共同で行うこと（共同で演習を担当するのは、前年度に続き2回目である）。②法曹家になるための前提としての大学院試験（ロー・スクール）等を念頭に入れている演習であること、の2点である。

講義の内容・授業スケジュール

演習内容は、三名の弁護士と相談して決定するが、基礎民法演習で学んできたことを前提として、ケース・スタディーなど実践的な内容の比重が大きくなると思われる。具体的事案の解決にあたって、今まで学んできた民法の基本原則をどのように活用し、法律構成して妥当な結論に導くかという、理論的思考を重視した演習になる。そのために、積極的に討論に参加できるように希望する。

検討するテーマは、受講者決定後にプリントを配布する予定でいます。

履修上の留意点

受講者が多数の場合は、最初の演習の時間に選択を行う予定でいますので、全員が成績証明書を持参して下さい。

成績評価の方法

出席状況と平常点で総合評価する。

参考書等

演習の都度、適宜指示する。

法  
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用刑法演習	木 村 美 隆	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

実定法上のひとつである刑法は、現実の社会への適用を前提に存在している。そうであれば、その適用の現実を知ることが、刑法の学習上不可欠でもあることは言うまでもないし、ひいては大学での学習と実社会との接点を知ることにもなる。またこれを検討することによって、これまで学んできた知識の正確さが問われるとともに、さらには新たな興味が喚起されることもあって、より高いレベルへの学習の契機となるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

このような視点から、基礎刑法演習等で充分時間をとって紹介することのできなかつた刑法の重要判例を、総論、各論の分野にとらわれずとりあげ、これを素材に社会に生起する現実の事件に対する刑法の適用の姿を知ることとしたい。

履修上の留意点

この講義を有意義なものとするためには、受講者は、単に判例を知識として集積しようというだけでなく、常にこれを批判的に検討しようとする姿勢が大切である。

成績評価の方法

講義で取り上げた判例のうち、任意のものをテーマにレポートを提出してもらい、成績を評価することとしたい。

参考書等

教科書、参考書としては、開講の際、受講者が入手しやすい学生向けの判例集を紹介するが、できれば、各判例の原典に当たってみることをお勧めしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 企 業 論 (前 期)	しろ 代 田 じゅん 純	法 A 3・4 選	2

講義のねらい

野村証券株式会社の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとし、野村証券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期 13 回で講義される。講義では、証券市場に密接に関連する経済情報の捉え方からスタートし、株式や、債券、投資信託などの基礎を解説した後、資産運用とライフプランニング、資本市場と投資家心理などの実践的課題に接近し、最後にはベンチャービジネスにも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報の捉え方
- 3 経済成長と金融資本市場について
- 4 証券投資のリスク・リターンについて
- 5 株式市場の役割と投資の基礎知識について
- 6 債券市場の役割と投資の基礎知識について
- 7 投資信託の役割とその仕組みについて
- 8 ポートフォリオ・マネジメントについて
- 9 市場のグローバル化と証券投資について
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場における投資家心理について
- 12 個人投資家と証券ビジネスについて
- 13 ベンチャービジネスと IPO について

法  
律

履修上の留意点

遅刻、途中退室は認めない。講師の都合でテーマが変更されることもある。

成績評価の方法

定期試験による。再試験はない。但し、レポート提出者には加点する。

教 科 書

毎回、講義資料が配布される。指定参考書として、代田純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2002 年を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おお やま れい こ 大 山 礼 子	法 A 3 選	4

講義のねらい

今年度は、民主政体における政治制度の中心的存在である議会について、多角的に検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、議論の前提となる知識を得るために、国会について解説した本を全員で読む。章ごとに担当を決めて発表してもらい、疑問点などを議論する。後期には、それぞれの問題関心に応じて個別のテーマを設定し、研究を深めることとしたい。参加者の希望に応じて、国会見学などの機会も設ける。

履修上の留意点

日頃から新聞の政治面の記事を読み、積極的に討論に参加すること。

成績評価の方法

平常点による。

教 科 書

大山礼子『国会学入門』（三省堂）（2003 年 3 月までに新版刊行の予定）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	河 野 弘 矩 <small>こうの ひろのり</small>	法A3選	4

講義のねらい

民法に関する具体的事例に直面した場合に自分の頭で考え、妥当と思われる結論を創造する習慣を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

教材の事例を通して、自分の思考を助けるため、参考文献や判例の研究を行うことはもちろんであるが、演習参加者の活発なる議論を主体として進行する。3年生は主として債権法を学習対象とする。夏と冬に合宿を予定しています。

履修上の留意点

演習参加者は、3年・4年の2ヶ年間継続して受講すること。毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回の平常点で成績評価を行いたい。

教科書

プリントを用意する予定。

参考書等

教場で指示する。

その他

このゼミは、受講者数にもよるが個人およびグループによる研究発表をもとに行う。発表者は報告の一週間前までにレジュメを配布し他のメンバーはこれをもとに質問出来るようにして、当日は活発な討論に参加できるようにしなければならない。発表者・質問者はそのテーマについて文献を収集したりその理解に努力する必要がある。また、図書館での資料収集の仕方、報告書の書き方等についてもアドバイスをする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	小 林 弘 人 <small>こばやし ひろひと</small>	法A3選	4

講義のねらい

この演習は3年生を対象とする。ここでは、行政法のうち「行政作用法」および「行政救済法」分野の基礎的知識を深めることを目的とする。具体的には25～30の論題を事前に提示し、その問題を演習時間又はゼミ合宿などで検討する。なお、当然のことであるが、演習参加者の事前の準備および教場などでの活発な発言がとくに望まれる。

後期においては、公務員受験志望者の希望もとり入れたようなゼミにしたい。ゼミにとって必要なことからはすべて演習初日に説明する。

成績評価の方法

出席状況、ゼミでの報告、質問など総合的な観点から評価する。

参考書等

新山一雄著『行政法』、法学書院 1,800円  
藤田宙靖著『行政法入門』有斐閣 1,900円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	しま ほん ひろ あき 島 原 宏 明	法 A 3 選	4

講義のねらい

手形・小切手法のケース・スタディを通じて、法律行為論の基本的な考え方を身に付けることを目標としている。この分野は技術的な性格が強く、論理的な思考力が要求されるため、調べることに同時に、自らの頭脳で考えることが大切である。

講義の内容・授業スケジュール

3年次は、モデル化された事例を材料とし、思考力を養うことに力点を置いて学習を行っていく。

履修上の留意点

現時点においては、民法・商法に関する予備知識が無くてもかまわない。ただし、ゼミというものは、あくまで学生諸君が自らのエネルギーによって創造していくものであるから、常に自分をアピールできるようにしておく必要がある。

成績評価の方法

平常点による。

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

年2回、春と夏に合宿を行う他、適宜ソフトボール等のスポーツを行う機会を設けている。

法  
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	はや かわ よし き 早 川 純 貴	法 A 3 選	4

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成15年度の前期テーマは「日本外交の現状と課題」である。アメリカとの軍事協力・経済摩擦問題、北方領土問題を含む今後の日露関係、経済成長著しい中国とのこれからの関係、過去の「謝罪」が影を落とす韓国との問題、などを取り上げ、これまでの外交政策形成過程を探りつつ、日本の国益とは何か、そして健全な両国関係はいかに構築されるべきかを考えてみたい。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教 科 書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	日 笠 完 治 <small>ひがき かんじ</small>	法A 3選	4

講義のねらい

研究としては、最新の憲法問題を常にフォローすることを目標とする。  
教育的には、受講者が関心のある憲法問題について研究する能力を獲得することを目標とする。  
研究会としては、一生涯にわたって付き合いのできる仲間づくりを考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1段階は、社会事象への深い関心の惹起、憲法学の基礎能力の修得（教科書レベル）。  
第2段階は、専門書や法律雑誌掲載の論文を理解する能力の修得（社会で通用するレベル）。  
第3段階は、各自が専門的な意見を発信することができる能力をもつ。

履修上の留意点

積極的で責任感のある学生諸君の演習参加を期待している。  
演習Ⅰと演習Ⅱを続けて履修してもらいたい。  
3年次は個別演習を繰り返し行い、基礎力を充実する。

成績評価の方法

3年生は、日常の研究活動について、積極性、成果などにに基づき評価する。

そ の 他

ゼミとして夏合宿などを行う予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	青 野 博 之 <small>あお の ひろ ゆき</small>	法A 3選	4
演 習 II		法A 4選	

講義のねらい

民法に関する判例や事例を用いて、具体的な判断能力を養うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

演習受講者をグループに分けて、そのグループ毎に、テーマを自由に選択する。テーマは民法に関するものであれば、分野は問わない。テーマは、判例から取り上げられることが多いが、マス・メディアで報道されたばかりのものでもよい。

履修上の留意点

担当グループは、テーマに関する資料の要旨（レジюме）を少なくとも1週間前に配布すること。  
演習をどのように進めていくかは、それぞれの担当グループにゆだねる。担当者が報告し、（指名しながら？）質疑応答する場合、担当者が裁判官の役割を果たし、他の者を原告・被告に分けて議論する場合などが考えられる。

成績評価の方法

出席して、しっかり発言をしたか、担当者として十分な準備をしたかなど総合して判断する。  
ゼミは、発言することがポイントである。そのことを基準として、成績を評価する。

そ の 他

議論に積極的に参加し、たくさん発言する学生であってほしい。  
希望者は、できれば、事前に先輩または私に演習の内容や進行方法を聞いておくとよい。その意味でも、履修前の見学はよい機会である。見学を歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あめ みや まさ や 雨 宮 眞 也	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

法律問題に対する着眼の仕方(問題点発見能力)、理論構成の仕方(問題解決方法発見能力)を修得し、自ら考える能力(問題処理能力)を育成することをもって、演習のねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

民法財産法部門に関する具体的事例を与え、各人が六法全書だけを頼りに、解決結果を導き出すトレーニングを行うことをもって、演習の内容とする。

履修上の留意点

民法財産法部門の教科書を精読して、基礎知識を十分に体得しておくことを要望する。法学は、自ら問題を解き自ら考えないと力がかからないものであるが、自ら考えるためには、それに必要な基礎知識(教科書知識)が必要不可欠である。

成績評価の方法

平常点による。

教 科 書

問題に応じ、その都度、指示する。

そ の 他

各週毎に、具体的事例についての解答の作成と、これに対する論評とを交互に行う。

法  
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あら き まさ たか 荒 木 正 孝	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

会社法や手形・小切手法の講義、またはこれらを理解するのに必要な民法総則、物権法および債権法など各種の講義で開いた個々の知識や考え方が本当に学生諸君の血となり肉となったかどうかは、実際に具体的な問題に取り組み、多くの人々が納得するような妥当な解決を導き出すことができるか否かにかかっている。この演習では、講義で修得した個別の知識を総合し、それをより深く理解し、十分に応用できる力をつけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では、基礎的知識を確認する作業を常に心掛けながら、具体的には、会社法と手形・小切手法に関する裁判例の中から参加者が希望するテーマや課題について発表してもらい、そのレポートを中心に活発な議論を展開するという方法で進めます。本年度は、近年における会社法の大改正にも相当の時間を割くつもりです。

履修上の留意点

参加者は、自分が発表を担当しないときでも毎時限必ず質問したり、問題提起をするつもりで予習し、積極的に発言するようにして下さい。演習では出席を重視します。夏期と冬期(学年末試験終了後)に合宿を予定しています。必ず参加して教場では望めない参加者間の全人格的な触れ合いを実現したいと思っています。

成績評価の方法

出席と平常の発言や活動を考慮して評価します。

教 科 書

鴻・落合・江頭・岩原編「会社判例百選」(6版)有斐閣、鴻・竹内・江頭・岩原・山下編「手形小切手判例百選」(5版)有斐閣などを予定していますが、その他については必要な都度指示します。

参 考 書 等

奥島孝康・中島史雄編「商法演習Ⅰ〔会社法〕」(3版)成文堂

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おう し あん 王 志 安	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

国際裁判および国内裁判の判例の分析を通して、現代国際法の適用過程を検証する。具体的に、慣習国際法が裁判においてどのように確認され、適用されるか、また条約がどのように適用されるかを実際の判例において分析する。そして演習を通して国際法に関する知識だけでなく、判例分析や報告書又は小論文の作成に関する知識および能力をも養っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

テーマとして国家の領域紛争、国際法における承認および人権問題にかかわる判例を選定し、判例の読解および関連の参考資料の学習を通して国際法の適用における実情および問題点を明らかにしていく。前期において特定の中心テーマを基準に選定された事例の勉強となるが、後半において参加者の関心を尊重して個別の判例の分析を中心に演習を行っていきたい。また、夏休みでは、原文（英文）の国際判例を読み解くための合宿を行う。

法  
律

履修上の留意点

出席および配布された資料を事前に読むことを要求する。

成績評価の方法

演習への参加状況および報告に望む態度や積極性を考慮して評価する。

教 科 書

判例百選国際法 有斐閣 2001年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おお つか かつら 大 塚 桂	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

政治学における基礎的的原理的研究をおこないます。基礎研究にあたっては、古典の文献の取り組みが不可欠です。政治思想・哲学に関心のある学生の参加を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

- I 政治学の基本文献を輪読する。
- II 共通テーマを設定し、共同研究をおこなう。
- III ゼミ生各自が定めた個人研究の発表とそれに対する指導をおこなう。

履修上の留意点

一定の読書と思索をつみかさねてきた学生の参加を切望します。政治学原論か現代国家論を履修し、私の政治学に対する姿勢を理解してくれる学生さん、いらっしゃい！

成績評価の方法

平常点

教 科 書

M・ヴェーバー（脇圭平訳）『職業としての政治』岩波文庫、300円  
吉野 作造『吉野作造評論集』岩波文庫、620円

参 考 書 等

参考書として、拙著をあげておきます。図書館等で目を通しておいください。大塚『フランスの社会連帯主義』成文堂、同『ラスキとホップハウス』勁草書房、同『多元的国家論の展開』法律文化社、同『多元的国家論の周辺』信山社、同『近代日本の政治学者群像』勁草書房。

そ の 他

4年次生は就職活動を最優先させます。金銭的負担（OB会・合宿等）、規則、束縛は一切ありません。年1～2回のお食事会を開催しますが、教員がゼミ生をご招待いたします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おお みや たかし 大 宮 隆	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

家族法の研究上、知っておいてほしいと思われる裁判例を取りあげる。

履修上の留意点

予習が必要である。

成績評価の方法

年間を通して、総合的に評価する。

教 科 書

「家族法基本判例32選」 泉久雄他編 信山社 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おか だ としひろ 岡 田 外司博	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

法  
律

講義のねらい

この経済法学演習では、主に独禁法に関する事件（審決・判決等）のうち、重要な法律問題を含むものを様々な角度から検討し、全員で討論することによって、事例研究の方法を学ぶとともに、現代日本経済と独禁法について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は10件、後期は5件（合計15件）の事例を研究する。前期の事例は予め選んだ審決・判決（最初の5件は独禁法以外の事件を素材とする）を各グループに割当て、グループの報告に基づいて討論する。後期においては、各グループが自主的に選んだ独禁法（もしくは企業）関係の素材について、文献調査や実態調査を踏まえた詳細な報告を中心に1事件につき2回分の時間をもって検討を進めることとし、各グループが自ら考えた論点について全員で討論する。

履修上の留意点

独禁法（もしくは企業）に興味のある学生の参加を希望する。

成績評価の方法

出席を最重視し、出席点に報告内容や質問・意見の回数に現れた意欲点を加味して成績評価を行う。

参 考 書 等

その都度コピーを配布するか、又は該当文献のコピーを指示する。

そ の 他

簡単な資料検索実習、見学等も予定している。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	おぎそ 綾 小 木 曾	法A3選	4
演	習	II		法A4選	

講義のねらい

刑事手続に関する諸問題について参加者が深く考察することを通じて、広く社会問題について論理的に思考し、対話する能力を養うことを目的とする。そのため、関連資料を収集し、それを分析したうえ、自らの考えをまとめ、それを相手に判りやすく口頭および文章にして伝える訓練を行う。

講義の内容・授業スケジュール

参加者が選択するテーマについての論文（200字×30枚程度）作成を最終的課題とし、3年次は口頭報告とそれについての討論により構想を練り、4年次は論文の作成にあてる。報告者とそれへの質問者を毎回指定し、演習時間内の対話を重視する。

履修上の留意点

法律に関わる職業に就こうとする学生の参加を期待する。

成績評価の方法

原則的に演習への毎回参加、3年次の口頭報告、4年次の論文作成を単位取得の条件とする。

その他

演習時間内のビデオ視聴および刑事施設等の見学により、実務の運用を知る機会をもつことも予定している。演習内容につきさらに知りたいときは事前連絡のうえ（ogiso@komazawa-u.ac.jp）、研究室（2834）を訪ねることを勧める。

法  
律

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	かねこ しょうへい 金 子 昇 平	法A3選	4
演	習	II		法A4選	

講義のねらい

本演習においては、行政上の諸制度、行政法規の仕組及び複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代のあるべき行政法理論について理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生の関心のあるテーマについて、判例研究及び、学術論文の書評を行い、参加者全員と共に、議論をつくしたいと思っている。演習の内容については、例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題、高齢者の問題、福祉の問題等である。

年二回、七月、二月にゼミ合宿を行い、研究の成果を発表し、討論を行う。  
年二回、公的施設の見学会を行う。

履修上の留意点

ゼミ生は、あらかじめ該当する判例、法令等を読みこなして欲しい。六法を持参すること。判例、論文、法律を知ることだけではなく、現実の社会の実態についても、調査し、国・地方公共団体に出向いて、担当者と面会し、取材してもらいたい。

成績評価の方法

出席（ゼミ、見学会、合宿等）により評価する。

教科書

適宜指示する。

その他

発表者は、レヂュメを作成し、論点及び、自分の意見を発表する。全員が、議論に参加出来ることを望む。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	きたの かほる	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

英米法の諸特徴について具体的に理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ員全員で検討のうえ選んだテキストを輪読形式で読み進める。毎回担当を決め、テキスト内容のほか関連事項を調査・報告させ、それにつき全員で討論する。

成績評価の方法

演習Ⅰ（三年次生）はゼミでの報告・発言をもとに平常点評価。  
演習Ⅱ（四年次生）は上記のほか卒業研究発表と卒業レポートにより評価。

教科書

提示する候補の中からゼミ員全員が検討して決定する。

参考書等

随時適宜紹介する。

その他

十分な事前学習が要求される。受け身の出席はしないこと。

法  
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	さとう たみお 佐藤 多美夫	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

このゼミでは、刑法上の重要問題を検討し、刑法理論を体系的に理解し、法的な思考を修得することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、罪刑法定主義、不作為犯（不真性不作為犯）、因果関係、正当防衛問題、錯誤問題、責任問題、共犯問題、生命・身体に対する罪、財産に対する罪等につき、判例事例研究を通して、問題点を検討し考察する。

履修上の留意点

主体的、意欲的な学生の参加を望みます。

成績評価の方法

報告内容、質問、出席等総合して評価する。

教科書

各自テーマが異なるため特定のテキストはない。

その他

このゼミは報告者の研究発表をもとに行う。発表者は報告の一週間前までにレジメを配布し他のメンバーはこれをもとに質問出来るようにして、当日は活発な討論に参加出来るようにしなければならない。発表者・質問者はそのテーマについて文献を収集したりその理解に努力する必要がある。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	塩入 みほも		法A 3選	4
演習	II			法A 4選	

講義のねらい

行政法上の諸問題を取り上げ、演習を行う。他から教授されるだけの受動的な学問ではなく、判例及び学説を自分なりに分析・検討する作業を通じて能動的に研究し、報告し、且つ他の者と法律学的討論を行えるための能力を鍛錬することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

当演習は、学生諸君の主体性を重視し、毎回学生一人一人に研究報告をしてもらい、報告後に全員でディスカッションする、という形式で行っていく。テーマについては、行政法総則一般、行政訴訟法、行政手続法、情報公開法などの各分野から重要なテーマを選び、学生各自の希望を踏まえた上で割り当てる。

履修上の留意点

公務員、行政書士等の国家試験受験者には特に有意義であると思われるが、それ以外の者でも無論履修可能である。

成績評価の方法

平常点（出席・報告・発言等）により成績評価を行う。

教科書

未定

参考書等

初回授業の際に紹介する。

法  
律

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	竹花 光 範		法A 3選	4
演習	II			法A 4選	

講義のねらい

世界の主要国——アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など——の憲法を比較考察することにより「日本国憲法」の正しい理解を行うとともに、それら諸憲法が定める制度——例えば、議会制度、内閣制度、裁判制度、人権保障の制度など——についても個別研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

各自がテーマを設定し個人報告を行うことを基本とする。報告終了後、質疑を中心に全員で討論を行う。なお、合宿の際は、統一テーマを設定し、グループ報告を行うことを原則としている。

履修上の留意点

ゼミの運営はでき得るかぎり、学生の自主性にまかせているので、ゼミ活動に積極的に参加することのできる諸君の応募を期待する。

成績評価の方法

出席点やゼミ活動への参加度等を中心に総合的に判断する。

参考書等

必要に応じて適宜紹介する。

その他

個人報告は義務ではない。従って希望者のみの報告となることもある。  
(法律と共通)



科目名		担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ		つるいしゆん 鶴井俊吉	法A3選	4
演習Ⅱ			法A4選	

講義のねらい

本演習は、金融を媒介する担保制度に関する問題を検討する。  
本年度は、担保制度を理解するうえで必要な財産法の基礎的な問題を扱う。その方法は、具体的な事例を解決するために必要な基本的な原理・原則をいかに関連させて問題を解決するか、問題把握の仕方を特に重視する。

履修上の留意点

ゼミは各自の討論を中心に進めるので、討論に積極的に参加する意欲のある学生を希望する。

成績評価の方法

ゼミでの平常点と、課題に対するレポートで成績評価を行う

科目名		担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ		にし 西 修	法A3選	4
演習Ⅱ			法A4選	

法  
律

講義のねらい

本演習は、日本国憲法にかかわるさまざまな問題点について、成立過程、解釈、各国憲法との比較などを通じて討究することを主たる内容とする。それゆえ、これまで日本国憲法の基礎的理解をしてきていることが前提になる。

講義の内容・  
授業スケジュール

年度はじめに簡単なシラバスを配布する。前年度における活動内容は、ゼミのホームページで公表している。

履修上の留意点

はじめに出席し、積極的に発言すること。

成績評価の方法

出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

教科書

拙著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー、2001年、1,500円＋税）、『日本国憲法はこうして生まれた』（中公文庫、2000年、1,143円＋税）、『日本国憲法を考える』（文春新書、1999年、690円＋税）など。

その他

授業以外に年2回の簡単なボランティア活動、夏と冬（スキー＆スノーボー）の合宿、新入生歓迎と卒業生追い出しのコンパ、「ザ・ウエスト」（新聞およびゼミ論集）の作成などへの参加が求められる。各自がなんらかの役員（ゼミ長、レク担当、会計など）に選任される。合宿、コンパでは私の落語を聴かされることがある。  
(法律と共通)

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I		原田啓一郎	法A3選	4
演習	II			法A4選	

講義のねらい

講学上の理論に終始せず、現実社会に軸をおいて、理論と現実の乖離や接点を認識しながら、社会保障に関する法的問題を受講生が主体的に検討することにより、社会的事実在即しながら法学的討論が行える能力を涵養することを目的とする。その際の検討素材として政策論議や裁判例などがあるが、フィールドワークや関係機関・当事者へのヒアリングといった手法で積極的に社会保障の現場に飛び込むことにより、社会保障の法的問題を実感・抽出することを忘れてはならない

講義の内容・授業スケジュール

社会保障法の各領域(年金・医療・福祉・生活保護・雇用・労災など)の基本的な学習を行ったうえで、受講生と相談をして決定する。  
社会保障関係の行政機関、政策担当者、施設、社会保障受給者/利用者等へのヒアリングを通して、随時「社会」と接する機会を設ける。

履修上の留意点

社会保障法の習得にあたっては、憲法・行政法・民法・労働法等といった主要な法分野の素養が必要である。ゼミへの参加のみならず、他の法分野の積極的な学習が望まれる。  
ゼミでの検討成果は、ゼミ論文としてまとめることを予定している。

成績評価の方法

平常点(ゼミ論文の成果を含む)

その他

当演習では、受講生の積極的な勉学態度が要求される。①法的に重要な事実は何か、②問題点をどのように抽出するのか、③問題点についてどのような理論的解決を図るべきか等について、自分の頭で考えてみる事が求められる。  
仲間との連帯と社会性を身につける機会として、ゼミ合宿やゼミコンパを積極的に行っている。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I		藤本茂	法A3選	4
演習	II			法A4選	

講義のねらい

わが国労働法は現在、経済構造の変化に伴う雇用システムの変容、少子高齢社会の到来、労働者意識の多様化などにより、大きく変わろうとしています。最近の労働保護法領域での法改正や解雇法制、労働契約法制、個別労働紛争処理制度などに関する議論はその表われです。また、判例の検討も重要です。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、テーマを各自受講生が関心のあるところから、自ら選択し、勉強し、理解を深めたところで発表し議論する方法で勉強しています。特に発表し議論するところに重点を置いています。  
夏季には研究合宿を行ないます。

履修上の留意点

演習のいいところは、大いに勉強し、恥をかくところにあります。出席は大前提。評価はそのあと。  
ゼミ運営に積極的に関わることも大切です。

成績評価の方法

出席、積極的発言、ゼミ運営への積極的参加など、平常時の積極的な姿勢で評価します。

教科書

開講時に話しをします。

参考書等

必要に応じて、〈調べ方〉を教えます。参考書というより法律雑誌の論文等が重要になります。自分で探すことも勉強の第一歩であると思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	まつむらいたる 松 村 格	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

第1に、刑法総論特に犯罪論の重要問題の理解を各自が討論を重ねることによって深めていくことを目標とする。第2に、各自が自分の興味あるテーマを自分で主体的・積極的に研究することを目標とする。第3に、各自が他人の主張を理解し、自分の主張を論理的に整理して発表できる態度と能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

新ゼミ生に対しては、集中的に犯罪論の復習をする集中予備ゼミを3月ないし新学期当初に行う。その間に、各自が研究発表したいテーマを考えておき、その後、各自順番に研究発表し、質疑応答を重ねる。夏休み中に統一テーマについて集中討議をする合宿を行なう。

履修上の留意点

刑法総論の基礎知識を充分に理解しておく必要がある。自分なりの刑法の使命観を築き、現実社会との係わりを念頭におきながら、ゼミに参加することを望む。

成績評価の方法

普段の授業における研究の成果と質疑応答の積極性と論理性を判断基礎とする。

教科書

松村外3名著『刑法総論』（ミネルヴァ書房）3,800円

参考書等

ジュリスト『刑法判例百選Ⅰ総論』外、随時指示する文献。

その他

ゼミは、毎回積極的に参加して討論することによって最良の見解を模索することに意義があるので、理由のない欠席は許されない。

法  
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ま ぶち きよ し 間 渕 清 史	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

この演習は、参加者が民事訴訟法の講義で習得した基礎的知識の幅を広げ且つその理解度をより一層深めることを目的とします。民事訴訟理論の緻密さとダイナミックさを体得してもらいたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

民事訴訟法に関する重要判例の中から毎回1～2を選んで、報告書による報告と参加者全員での討論を行うことを予定しています。

履修上の留意点

演習参加者には、毎回予習のうえ出席すること、及び主体的に演習に参加し、且つ積極的に発言することを希望します。

成績評価の方法

演習参加度（出席態度、報告内容、発言の有無・内容等）に依拠して行います。

教科書

『判例講義 民事訴訟法』（悠々社）3,500円 2001年

参考書等

『民事訴訟法の争点〔第3版〕』（有斐閣）2,476円 1998年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	やまぐちくに お 山 口 邦 夫	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

1・2年次において、刑法総論及び刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考えている。  
 第Ⅰ期(4・5月) 罪刑の法定をする政治的意味及び犯罪不成立の事由について。  
 第Ⅱ期(6・7月) 刑事責任のとらせ方と少年事件における、いわゆる保護処分について。  
 第Ⅲ期(9・10月) 生命・身体に対する侵害犯罪と財産犯の諸問題について。  
 第Ⅳ期(11・12月) いわゆるセクハラ問題と性犯罪との関連と峻別について。

履修上の留意点

毎時間出席し、討論に積極的に参加できる者が望ましい。また年4回ぐらい発表の機会があるので、自分の意見を発表する能力が必要である。

成績評価の方法

演習の成績評価は、講義科目と違い試験は行わない。毎回発表する際のレジュメの作成及びその発表内容、さらに他人の発表に対する討論の仕方・内容などを総合して評価する。したがって、一週間、出席すれば、単位取得については問題はない。

教科書

判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものが教材になる。判例を解説した書物なども参考になるが、毎時間、資料については、注意するので、あらかじめ指定する書物はない。

法  
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	やま だ やす ひこ 山 田 泰 彦	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

会社法の重要問題を中心に、判例・学説を検討することで、会社法制度についての基本的な理解を深めると同時に、事実から法的問題を発見し、問題を法的に分析して法的論理を展開する基礎的な力を身につけることを目的とします。そのため、判例研究と事例研究を取り混ぜながら、研究する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期と後期に私の方から要項を配布し、演習の内容とスケジュールを相談します。基本的には、前期は、会社法総論、株式会社の設立、株式を、後期には、株主総会、取締役・取締役会を研究する予定です。夏は、合宿を行い、株式会社法に関する法律討論会や、最新判例の研究を行います。そして、2月にはゼミ会誌(昇山会誌—最新号は、7号です)を刊行します。

履修上の留意点

ゼミに積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

レポーターとしての報告を中心に、平常点を加味して評価します。

教科書

会社法判例百選(第6版)有斐閣 1,900円

その他

ゼミは、3人一組で班を構成し、レポーターの班と、質問班を中心にゼミをすすめます。ゼミは、良い友人、先輩、後輩との出会いの場でもありますので、勉強や課外活動を通して活発な充実したゼミにしたいと思います。2年に1度、ゼミのOB会を開きますので、在ゼミ生の皆さんにはお手伝いをお願いすることにもなります。  
 なお、ゼミ生の募集は、新3年生です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	河野弘矩	法A4選	4

講義のねらい

民法に関する具体的事例に直面した場合に自分の頭で考え、妥当と思われる結論を創造する習慣を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

教材の事例を通して、自分の思考を助けるため、参考文献や判例の研究を行うことはもちろんであるが、演習参加者の活発なる議論を主体として進行する。4年生は民法全般を対象とする。夏と冬に合宿を予定しています。

履修上の留意点

演習参加者は、3年・4年の2年間継続して受講すること。毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回の平常点で成績評価を行いたい。

教科書

プリントを用意する予定。

参考書等

教場で指示する。

法  
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	小林弘人	法A4選	4

講義のねらい

この演習は、原則として、私の演習Ⅰを履修した4年生を対象とする。内容は、行政法の全領域におよび、行政法総論の知識の再確認を行う。具体的には、演習参加者各自に研究テーマを設定してもらい、その設定されたテーマについて、演習時間又は合宿等で発表を義務づける。なお、前期においては要望があれば、各種公務員試験のための「技術的指導」を行うことも可能である。

演習に必要な文献、その他の事項については、すべて演習初日に指示する。

成績評価の方法

出席状況、ゼミでの報告、質問など総合的観点から評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	島原宏明	法A4選	4

講義のねらい

手形・小切手法のケース・スタディを通じて、法律行為論の基本的な考え方を身に付けることを目標としている。この分野は技術的な性格が強く、論理的な思考力が要求されるため、調べることと同時に、自らの頭脳で考えることが大切である。

講義の内容・授業スケジュール

4年次の前半は判例研究を、後半はゼミ生が自ら選択したテーマでゼミ論文の作成を行う。

履修上の留意点

現時点においては、民法・商法に関する予備知識が無くてもかまわない。ただし、ゼミというものは、あくまで学生諸君が自らのエネルギーによって創造していくものであるから、常に自分をアピールできるようにしておく必要がある。

成績評価の方法

平常点による。

参考書等

開講時に指示する。

その他

年2回、春と夏に合宿を行う他、適宜ソフトボール等のスポーツを行う機会を設けている。(法律と共通)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	はやかわよしき 早川純貴	法A 4選	4

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成15年度の前期テーマは「日本外交の現状と課題」である。アメリカとの軍事協力・経済摩擦問題、北方領土問題を含む今後の日露関係、経済成長著しい中国とのこれからの関係、過去の「謝罪」が影を落とす韓国との問題、などを取り上げ、これまでの外交政策形成過程を探りつつ、日本の国益とは何か、そして健全な両国関係はいかに構築されるべきかを考えてみたい。

法  
律

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、そこではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	はやしこうじ 林幸司	法A 4選	4

講義のねらい

討論を通じて、民法上の制度や権利・義務が「受講者自身の日常生活とどのように結びついているか」を理解する力を養成すること。討論の場で、疑問や自己の意見を積極的に発言できる力を養成すること。

講義の内容・授業スケジュール

民法の判例や事例問題を素材として討論しますが、具体的なテーマについては受講者と相談して決定します。年間で6テーマを目標にし、最後に模擬裁判ができればと考えています。

履修上の留意点

とにかく発言しようという前向きの姿勢が重要です。『沈黙は禁!』ということです。また、同じ演習受講者と協調してゼミを成功させようという態度も大切です。自分の担当以外のテーマには関心がないというような態度ではダメです。

成績評価の方法

出席は当然ですが、どれだけ発言したか、毎回のゼミの特性化にどれだけ貢献したかも重要です。

# Ⅱ 專 門 教 育 科 目

## 2 政 治 学 科

政

治

政  
治



## (2) 政治学科

政治学概論	〈前期：浦田早苗、後期：早川純貴〉	375
政治学概論	〈前期：早川純貴、後期：浦田早苗〉	376
憲法	〈竹花光範〉	377
政治学原論	〈大塚桂〉	378
現代政治理論	〈井戸正伸〉	379
日本政治論	〈大山礼子〉	379
政治思想史	〈有賀誠〉	380
行政政治学	〈田丸大〉	380
国際政治学	〈小堀訓男〉	381
政治制度論	〈大山礼子〉	381
日本政治史	〈村井良太〉	382
政治過程論	〈早川純貴〉	382
ヨーロッパ政治史	〈浦田早苗〉	383
地方行政	〈内海麻利〉	383
政策決定論	〈田丸大〉	384
行政法総論	〈塩入みほも〉	384
行政法各論	〈塩入みほも〉	385
地方自治法	〈富井幸雄〉	385
民法（総則・物権法）	〈大宮隆〉	386
刑法総論	〈佐藤多美夫〉	386
労働法	〈藤本茂〉	387
刑事事政策	〈斎藤静敬〉	388
社会政策	〈原田啓一郎〉	388
国際関係論	〈南山淳〉	389
比較政治学	〈三竹直哉〉	390
国際行政学	〈福田耕治〉	391
国際経済学	〈徳永俊明〉	392
国際法	〈齋藤洋〉	393
北米政治論(1)	〈小堀訓男〉	394
北米政治論(2)	〈小堀訓男〉	394
東南アジア政治論(1)	〈休講〉	
東南アジア政治論(2)	〈休講〉	
中国政治論(1)	〈竹花光範〉	395
中国政治論(2)	〈竹花光範〉	395
ヨーロッパ政治論(1)	〈中野裕二〉	396
ヨーロッパ政治論(2)	〈中野裕二〉	397
ヨーロッパ政治論(3)	〈休講〉	
ヨーロッパ政治論(4)	〈休講〉	
アラブ・イスラム政治論	〈中島勇〉	398
中南米政治論	〈尾尻希和〉	398
比較都市論	〈内海麻利〉	399
マス・コミュニケーション論	〈平塚千尋〉	399
数量政治学	〈富崎隆〉	400
メディア社会論	〈平塚千尋〉	401
政治心理学	〈富崎隆〉	402
政治社会学	〈中野裕二〉	403
政治経済学	〈休講〉	

比較メデイア論〈休講〉									
比基	基礎	演習	〈井戸正伸〉						404
基	基礎	演習	〈浦田早苗〉						404
基	基礎	演習	〈小堀訓男〉						405
基	基礎	演習	〈塩入みほも〉						405
基	基礎	演習	〈田丸大〉						406
基	基礎	演習	〈富崎隆〉						406
基	基礎	演習	〈中野裕二〉						407
基	基礎	演習	〈早川純貴〉						408
基	基礎	演習	〈三竹直哉〉						408
基比較	憲法	論	〈西修〉						409
現	代	家	論	〈大塚桂〉					409
環	境	政	策	〈横田匡紀〉					410
国	家	全	論	〈小堀訓男〉					411
外	交	保	史	〈高光佳絵〉					412
日	本	法	史	〈茂野隆晴〉					413
西	洋	法	史	〈北野かほる〉					414
英	米	法	史	〈北野かほる〉					415
会	社	法	法	〈荒木正孝〉					416
經	濟	法	法	〈岡田外司博〉					417
国	際	紛	法	〈王志安〉					417
社	会	争	法	〈渡辺源樹〉					418
財	政	学	理	〈里中恆志〉					419
經	濟	原	論	〈浅野克巳〉					420
農	業	政	策	〈森岡仁〉					421
工	業	政	策	〈溝手芳計〉					421
ヨ	ロ	パ	經	論	〈休講〉				
商	業	政	策	〈番場博之〉					422
地	方	財	論	〈篠原章〉					423
交	通	論	〈休講〉						
地	域	計	画	論	〈今野修平〉				424
政	治	学	特	講	義(1)〈三竹直哉〉				425
政	治	学	特	講	義(2)〈内海麻利〉				426
政	治	学	特	講	義(3)〈大島稔彦〉				427
政	治	学	特	講	義(4)〈大島稔彦〉				427
外	書	講	読	I・II (英書)	〈大山礼子〉				428
外	書	講	読	I・II (英書)	〈富崎隆〉				428
外	書	講	読	I・II (英書)	〈三竹直哉〉				429
外	書	講	読	I・II (独書)	〈松村格〉				429
外	書	講	読	I・II (仏書)	〈荒木正孝〉				430
外	書	講	読	I・II (中国書)	〈江林英基〉				430
外	書	講	読	I・II (スペイン書)	〈真下祐一〉				431
現	代	企	業	論	〈代田純〉				431
演	習	I	浦田早苗						432
演	習	I	内海麻利						432
演	習	I	大山礼子						433
演	習	I	島原宏明						433
演	習	I	早川純貴						434

演習	I		〈日笠完治〉	434
演習	I		〈村井良太〉	435
演習	I	・	II 〈雨宮真也〉	435
演習	I	・	II 〈井戸正伸〉	436
演習	I	・	II 〈大塚桂〉	436
演習	I	・	II 〈岡田外司博〉	437
演習	I	・	II 〈小堀訓男〉	437
演習	I	・	II 〈塩入みほも〉	438
演習	I	・	II 〈竹花光範〉	438
演習	I	・	II 〈田丸大隆〉	439
演習	I	・	II 〈富崎隆〉	439
演習	I	・	II 〈中野裕二〉	440
演習	I	・	II 〈西修哉〉	440
演習	I	・	II 〈三竹直哉〉	441
演習	I	・	II 〈山口直邦夫〉	441
演習	II		〈浦田早苗〉	442
演習	II		〈早川純貴〉	442
演習	II		〈島原宏明〉	443

政

治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 概 論	前期：浦田 <sup>うらた</sup> 早苗 <sup>さなえ</sup> 後期：早川 <sup>はやかわ</sup> 純貴 <sup>よしき</sup>	政治1必	4

講義のねらい

本講義は3コース（＝専門課程）に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

【前期】

- ①アメリカ政治学の展開 [行動論政治学とその批判]
- ②権力論 [実体論と関係論、多元主義論と権力エリート論]
- ③政党について [機能と類型]
- ④官僚機構と政策形成について [増分主義と予算編成、稟議制]
- ⑤利益団体とロビイング [利益の組織化と圧力行動]
- ⑥選挙と政治参加について [政治的関心、政治的社会化、投票行動、マス・メディア]

【後期】

- ①現代日本の政治システムとその問題点
- ②官僚と天下り
- ③日本社会の特異性
- ④自由・権利・公共
- ⑤策二次大戦後の国際政治の軌跡
- ⑥西欧の政治制度

政  
治

履修上の留意点

政治学は権力の形成・行使・監視にかかわる事象を扱う科学であり、権力は悪魔的魅力を有する存在でもある。権力への評価は常に価値の対立を内在する。つまり政治学とはさまざまな価値が交錯する学問であり、薄っぺらな理想論者ではなく、冷徹な現実主義者が学ぶ学問でもある。

成績評価の方法

前後期に試験を実施する。

教 科 書

教科書は使用しない。

参 考 書 等

参考文献については講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 概 論	前期：早川 <sup>はやかわ</sup> 純貴 <sup>よしき</sup> 後期：浦田 <sup>うらた</sup> 早苗 <sup>さなえ</sup>	政治1必	4

講義のねらい

本講義は3コース(=専門課程)に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- ①現代日本の政治システムとその問題点
- ②官僚と天下り
- ③日本社会の特異性
- ④自由・権利・公共
- ⑤第二次大戦後の国際政治の軌跡
- ⑥西欧の政治制度

【後期】

- ①アメリカ政治学の展開 [行動論政治学とその批判]
- ②権力論 [実体論と関係論、多元主義論と権力エリート論]
- ③政党について [機能と類型]
- ④官僚機構と政策形成について [増分主義と予算編成、稟議制]
- ⑤利益団体とロビイング [利益の組織化と圧力行動]
- ⑥選挙と政治参加について [政治的関心、政治的社会化、投票行動、マス・メディア]

履修上の留意点

政治学は権力の形成・行使・監視にかかわる事象を扱う科学であり、権力は悪魔的魅力を有する存在でもある。権力への評価は常に価値の対立を内在する。つまり政治学とはさまざまな価値が交錯する学問であり、薄っぺらな理想論者ではなく、冷徹な現実主義者が学ぶ学問でもある。

成績評価の方法

前後期に試験を実施する

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

参考文献については講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲 法	たけ はな みつ のり 竹 花 光 範	政治1必	4

#### 講義のねらい

本講義は、憲法とは何か、憲法はどうあらねばならないかといった視点からの考察を中心に、日本国憲法の存在性格を明らかにすることを目的としている。すなわち、日本国憲法が、どのようにして存在するにいたったのか（憲法の成立過程）、日本国憲法は、どのような憲法として存在しているのか（憲法の性格と特色）、日本国憲法の存在が、どのような結果を生ぜしめているのか（憲法の施行状況）といったことを明らかにしようというのである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そのため、全体を二つに分け、前半は総論的講義、後半は各論的講義を行う。前半の総論的講義は、次のような章節から構成される。

#### 第一章 憲法概念と歴史

(一) 憲法とは (二) 憲法の種類 (三) 憲法の歴史

#### 第二章 日本国憲法成立の経緯と法理

(一) 日本国憲法成立の経緯 (二) 日本国憲法成立の法理

#### 第三章 日本国憲法の特質

(一) 日本国憲法の基本原理 (二) 日本国憲法の特異性

各章節の内容は、それぞれの表題からほぼ明らかなるものと思われるが、第一章では、憲法とはどのような規範か、憲法にはどのような種類があるのか、成文の憲法はどのようにして生まれ、どのような発展をとげて今日にいたっているのかについて述べる。なお、我が国における憲法の歩みということで、明治憲法の成立過程、同憲法の内容、成立後の展開についても概説する。

第二章では、現行日本国憲法が、どのようなプロセスを経て成立するにいたったのか（アメリカの対日政策、極東委員会の動き、日本政府の対応、GHQ 民政局の役割、第九〇帝国議会での審議状況等）、日本国憲法の成立を法理上どのように説明したらよいか（明治憲法との関係、占領下の改憲をどう考えるか、八月革命説、改正憲法説、無効論の是非等）を論じる。

第三章では、憲法の分類上から認められる日本国憲法の特異性（例えば、民定憲法なのか、欽定憲法なのか、協約憲法なのか、はたまた占領憲法とよぶべき憲法なのかといった、憲法を成立せしめた主体をめぐる争いがある点等）を指摘し、そのような日本国憲法が、どのような基本原理に依って立っているのか（国民主権の原理、象徴天皇制の原理、平和主義の原理、基本的人権尊重主義の原理）を明らかにする。

一方、後半の各論的講義は、本来なら、日本国憲法の逐条（日本国憲法は世界でも有数の簡略な憲法であるが、それでも全体で、前文と本文十一章 103 カ条に及ぶ）解説ということであろう。しかし、限られた時間内では、それは、ほとんど不可能に近い。そこで、とりあえず、各章ごとに規定内容や問題点を整理し、一部に立法論的指摘（どこにどのような不都合があり、それをどのように改めたらよいかといった指摘）も加味しつつ、全体として、日本国憲法の性格と特色が理解できるような講義としたい。

もちろん、第九条をはじめ、解釈上の対立が大きい条項や多くの問題を抱えている条項については、判例の紹介をはじめ、比較憲法的な考察を行うなど、特別に時間を割きたいと考えている。

#### 履修上の留意点

講義は教科書を用いて進めるが、時事的な憲法問題を取り上げ解説するなど立体的な講義を心がける予定であり、「教科書を読む」ような講義ではまったくないので、でき得る限り講義に出席することが望まれる。

#### 成績評価の方法

成績評価は、論述型（「について述べよ」ないし「について論じよ」といったタイプの問題）のペーパーテストによって行う。評価に際しては、問いに答えているか（出題された問題に関係のないことを書いた場合は大幅な減点とする）、必要なことが書き込まれているか（簡にして要を得た内容であること、余計なことを多く書いても加点されない）、論理展開に説得力があるか（単なる箇条書きでは論述型の問題に対する解答とはいえない、全体として一つの小論文となっていること）、誤字、脱字がどの程度か（専門用語の誤りは大幅な減点となる）などをチェックする。

#### 教科書

竹花光範『憲法学要論補訂版』（成文堂）3,300 円

#### 参考書等

必要に応じて、参考書の紹介、資料の配布等も考えている。

#### その他

いずれにしても、学生諸君が、憲法に関心をもち、憲法問題を積極的に考えていくよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 原 論	おお つか かつら 大 塚 桂	15以降入学生/政治1・2・3・4選必	4
		14以前入学生/政治2必	

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれませんが。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

講義の内容・授業スケジュール

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、ならびに方法

B 政治の原理的究明

① 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

② 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

③ イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）

C 政治の実体論的究明

① 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

② 機能論的究明

～政党、圧力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化

成績評価の方法

V 成績評価

単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。

成績評価は、

中間試験：50%

学年末試験：50%

以上の割合によるものとします。

なお、追・再試験も実施します。

教科書

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

その他

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」『政治学へのいざない』（成文堂）を参考にしてください。



科目名	担当者名	配当学科	単位
現代政治理論	井戸まさのぶ 正伸	15以降入学生/政治1・2・3・4選必 14以前入学生/政治2・3・4選必	4

講義のねらい

ひとびとが迫害を受けることなく、自由な生活を営むことができるか否か。また、ひとびとが豊かな生活を享受することができるか否か。政治のあり方は、政府の政策への影響を通じて、現実社会のわれわれの生活を大きく左右しています。この講義では、このように重要な役割を果たしている政治について、現代の政治学は、どこまで明らかにしているか、検討することを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、現代政治学の主要な理論を学んでいきます。特に、近年、めざましく理論的洗練が進んでいる、新制度論、デモクラシーへの移行・確率論、ソーシャル・キャピタル論、コンセンサス型民主政論、コーポラティズム論、福祉国家の「三つの世界」論など諸理論をとりあげて、各理論が現実の各国の政治を説明することにどれほど成功してきたか、検討していきます。

1. 政治学における理論とは何か
2. 政治制度（議会制と大統領制）
3. 政治と文化
4. 非民主的体制
5. 現代民主政
6. デモクラシーへの移行と確立
7. コーポラティズムと経済運営
8. 福祉国家の発展・再編
9. むすび

政  
治

履修上の留意点

授業では、教科書の内容についてより詳しい説明を行うと同時に、教科書で取り上げられなかったさまざまな理論についても紹介して行きます。履修者は、教科書を予習したうえで、毎回の講義に出るよう心がけてください。

成績評価の方法

授業への出席、中間試験、期末試験の成績をもとに総合的に判断します。

教科書

佐々木毅『政治学講義』（東京大学出版会）2,800円  
眞柄・井戸『比較政治学』（放送大学教育振興会）1,800円

参考書等

その都度、プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本政治論	大山れいこ 礼子	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

日本政治の機能不全が指摘される現在、これまでの政治のあり方があらためて問い直されている。この講義では、日本の政治のどこが問題なのか、歴史的視点や国際比較の観点から検討し、今後の改革の方向を探ることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、日本政治の問題点について、いくつかの身近な事例によって考えてみよう。その後、内閣の政治的リーダーシップ、内閣と官僚制（政官関係）、国会の立法過程、政策決定過程における与党の機能、野党の役割、選挙制度、政治資金、圧力団体、国と地方自治体との関係（中央地方関係）などについて、順次考察していく。

履修上の留意点

新聞の政治面に目をとおす習慣をつけること。

成績評価の方法

定期試験を中心に、数回実施する小テストの結果を加味して評価する。

教科書

使用しない。適宜プリントを配布。

参考書等

松村岐夫、伊藤光利、辻中豊『日本の政治（第2版）』（有斐閣Sシリーズ）

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治思想史	ありが 有賀 誠	15以降入学生/政治1・2・3・4選必	4
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

皆さんも「民主主義」、「主権」、「自由」、「平等」、「権利」といった言葉をご存知だと思いますが、改めて「それって、どういう意味？」と問いかねられると困ってしまうのではないのでしょうか。この講義では、古典古代から現在に至る政治思想の流れを整理しながら、知っているようで知らない上記のような政治の基本概念を問い直してみることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

古典古代のギリシア世界から中世、近代を経て、現代に至る西洋政治思想の流れを、代表的な政治思想家（プラトン、アリストテレス、アキナス、ホブズ、ロック、ルソーなど）を中心に見ていきます。また、それらの政治思想がどのような現代的意義をもちうるのかにも注目し、適時、現代の話題にも言及する予定です。

履修上の留意点

質問は大歓迎ですが、当然のことながら、授業中の私語は厳禁です。

教科書

有賀・伊藤・松井『ポスト・リベラリズム』（ナカニシヤ出版）3,000円

参考書等

ジョージア・ウォンキー『正義と解釈』（昭和堂）3,300円

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政学	たまる 田丸 大	15以降入学生/政治1・2・3・4選必	4
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

行政学は政治学の中でも比較的新しい分野であるが、私たちの日常生活とも非常に関係の深い学問でもある。例えば、国レベルでは狂牛病騒動に見られる農林水産省の対応や、薬害エイズ・肝炎などに見られる厚生省の対応、自治体（地方）レベルでは、2003年4月に政令指定都市に昇格するさいたま市に見られるような市町村合併であるとか、原発の是非をめぐる住民投票など、世の中の様々な現象に何らかの形で行政は関わっている。これらの行政現象に流れる行政活動の論理を探ることが、行政学の大きなテーマの1つである。

本講義では、国の省庁や地方の自治体がどのようなメカニズムに基づき活動をしているのか、政策立案や執行さらには評価の過程などにも触れつつ検討することによって、複雑な現代社会の問題点や改革のあり方を正しく理解し、問題の本質を見抜くための基本的知識や思考様式を伝えたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている（スケジュールなど詳細は開講後に知らせる）。  
1 官僚制、2 議院内閣制、3 地方自治、4 公務員制度、5 政策過程、6 行政組織における意思決定、7 政策評価、8 行政改革、9 地方分権改革 など。

成績評価の方法

一学期最後の講義におけるテスト、および学年末のテストのみで評価する。出席は取らない。レポートは課さない。しかし、授業中に扱ったことがらはすべて試験範囲とし、その中から満遍なく出題するので、出席をしない者が単位を取得することは困難である。

教科書

森田朗『改訂版 現代の行政』（放送大学教育振興会）2000年 本体2,000円  
教科書にアンダーラインを引く、書き込みを行うといった具合に使用するので、必ず用意してほしい。

参考書等

西尾勝『行政学（新版）』（有斐閣）2001年 本体3,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際政治学	こぼりのり 小堀訓男	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

政  
治

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治制度論	おおやまのりこ 大山礼子	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

民主主義国家においては、政治制度の究極の目的は、いかにして国民の民意を正確に反映する政治を実現するかにあるとあってよい。近代の歴史は、よりよい政治制度の探求の歴史だったと考えることもできよう。この講義では、こうした視点から、政治制度の発展史を辿り、議院内閣制や大統領制、あるいはさまざまな選挙制度などのもつ意味を考えていくことにしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では、まず、議院内閣制という制度についてじっくり検討する。日本をはじめ、多くの国が議院内閣制を採用しているにもかかわらず、議院内閣制は意外に理解しづらい制度であり、そのことが安易な「首相公選制」などの提案につながっていると考えるからである。議院内閣制の母国であるイギリスでの発展、ヨーロッパ大陸諸国や日本における継受と展開、そして、もちろんアメリカの大統領制にも言及する。

後期は、政党、選挙、政治資金などの問題について、主として制度的な側面から考察を加える。

成績評価の方法

定期試験を中心に、数回実施する小テストの結果を加味して評価する。

教科書

使用しない。適宜プリントを配布。

参考書等

前田英昭『現代政治制度』（高文堂出版社）  
 的場敏博『政治機構論講義』（有斐閣ブックス）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本政治史	むら い りょう た 村 井 良 太	16以降入学生/政治1・2・3・4選必	4
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

政治を理解するには、思想分析、比較、一般化など様々な方法がありますが、歴史という経験に学ぶのが政治史の分野です。日本政治史を学ぶ意味は、「知ることは楽しい」ということに加えて二つあります。一つは、全く同じ出来事は二度と起きませんが、よく似た状況やよく似た選択に直面することがあります。そのとき、過去を知るものは未来をよく生きるでしょう。もう一つは私たちのいる日本の来歴を知ることです。留学生など日本で学ぶ方々にとって日本の来歴は興味深いものでしょうし、日本人の学生にとっては自分の国についてしっかりと説明できるというのは重要な能力です。

本年度の「日本政治史」では、現代日本の原型となっている幕末明治維新から概ね第二次世界大戦の敗戦までを中心に講義します。日本はいかにして近代国家を形成し、どのように崩壊していったのか。現在の日本はいかなる遺産を引き継いでいるのでしょうか。

講義の内容・授業スケジュール

講義では教科書は使わず、講義ノートによって進めます。講義内容としては、西洋の衝撃と開国、明治維新、明治憲法の制定、日清日露戦争、第一次大戦と日本の変化、政党政治の発展、軍部の台頭、戦争と破滅など、時代の主要テーマを扱っていきます。詳しい予定は第一回目の講義でお知らせします。

履修上の留意点

履修する学生には、何より出席と積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、随時おこなう出席調査、中間レポートと学年末試験によって評価します。

教科書

特定のテキストは用いません。

参考書等

参考図書は講義の中で随時紹介していきますが、全体にわたるものとして次の四冊をあげておきます。鳥海靖『日本の近代』（日本放送出版協会）。坂野潤治『改訂版 日本政治史』（日本放送出版協会）。北岡伸一『日本政治史』（日本放送出版協会）。入江昭『日本の外交』（中公新書）。少なくとも一冊は目を通して講義の参考として下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治過程論	はや かわ よし き 早 川 純 貴	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

03年度の政治過程論は「政党をめぐる理論と実際」というテーマで、今日の政党および政党システムの特徴をいろいろな角度から論じる。現代の政党が政策決定のなかで果たす役割、国民の要求への対応、政党組織の特徴、利益団体や官僚機構との関係などを考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は理論を中心に、①サルトルの政党論②デュヴェルジェの政党類型③ロッキンのクラーヴィッジ論④パネビアンコの政党進化モデル⑤キッチェルトの社民政党論⑥連合理論⑦包括政党と1党優位政党制⑧カルテル政党論などを説明する。

後期は日本の政党に焦点を当て、①自民党・派閥②自民党・族議員③公明党の現実主義④民主党内の諸潮流⑤社会(民)党の衰滅⑥野党の抵抗力⑦選挙制度と政党システム⑧地域政党と政治参加などを論じてみたい。

履修上の留意点

本講座は1年次生より開講されているが、内容は難しく、特に前期の講義は理論が中心であるので一回でも休むと授業についていけなくなる恐れがある。受講生は毎回出席のうえ、十分理解できるよう復習を心がけ、分からないことは遠慮なく質問をすること。質問は学生の権利である。

成績評価の方法

前後期に試験を行う。

教科書

教科書は使用しない。参考書は講義のなかで随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨ ー ロ ッ パ 政 治 史	うら た さ なえ 浦 田 早 苗	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点ルネサンス期と18世紀 ・英国革命とIRA ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程 ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念 ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点——ドイツの場合—— ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 行 政	うち うみ ま り 内 海 麻 利	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

わが国の地方自治体は、国際化、情報化、高齢化など社会経済の急激な変化にさらされる一方、規制緩和、行政改革、地方分権の推進などの行政システム改革の強い要請のもとで、21世紀の地方自治のあり方を探究する変革期にある。本講義は私たちにとって身近な地方自治体における行政の仕組みや政策課題について、そのあり方を生活者市民の視点から明らかにし、学生諸君の地方自治についての専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、地方自治体の政策・制度・管理を中心として多角的に地方行政のあり方を具体的な事例を参照しながら考察し、地方自治に対する主体的な取り組みや可能性またその課題を実践的観点から考えることとしたい。なお、主として地方行政に関する次の枠組みにおいて講義するが、詳しい授業スケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

- ・都市社会の変化と地方自治体
- ・地方自治制度
- ・地方分権改革
- ・政策過程と政策評価
- ・地方自治体の計画
- ・地方自治と条例・要綱
- ・市民参加と情報公開

履修上の留意点

地方自治体に関する報道記事や関連の専門誌などに目を配り、地方行政について理解を深めるよう努力を払ってほしい。

成績評価の方法

授業への出席、レポート、学期末試験の成績を中心に評価する。

教科書

特に教科書は指定しない。

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 策 決 定 論	た ま る だ い 田 丸 大	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

本講義では、「政策はどのように作られるのか」をテーマに、なるべく幅広い切り口で考察を加えてみたいと考えている。具体的には、日本の国の省庁や地方自治体（行政）における政策決定のあり方、政治はどのように政策決定に関わっているのかといった点について、理論的な考察を加えるとともに、法律・条例・予算などを取り上げ具体的な政策決定についても論じてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている（スケジュールなど詳細は開講後に知らせる）。  
 ・政策とは ・政策の立案と形成 ・環境変動と政策立案 ・政策決定と政治行政 ・政策評価など  
 また、可能であれば、国家公務員・地方公務員・地方議会議員・シンクタンク職員などをゲストスピーカーに招き、政策決定論に関連した話をしてもらおうとも考えている（複数回）。

履修上の留意点

日本の政治に対する基本的な知識、加えて行政学の教科書程度の知識の備わっていることが望ましい。

成績評価の方法

一学期最後の講義におけるテスト、および学年末のテストで評価する。出席は取らない。レポートについては検討中であるので、開講後に知らせる。

教 科 書

特に使用しない予定であるが、検討中であるので、開講後に知らせる。

参 考 書 等

西尾勝『行政学（新版）』（有斐閣）2001年 本体3,100円  
 森田朗『改訂版 現代の行政』（放送大学教育振興会）2000年 本体2,000円

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 総 論	し お い 塩 入 みほも	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

存在する法の約9割は行政法であり、行政法の基本的な仕組と理論一般について講義を行ないます。行政法は、民法や刑法、憲法等の他の法分野とは異なって、学生レベルではあまり日常生活に直接関連がないと感じられがちですが、例えば交通取締・治安等に関わる警察権行使の適法／違法や国家賠償請求の可否など、実は知っておくと便利なことがたくさんあります。また、政治を学ぶ上では、やはり行政法の知識を備え、日本の統治構造を支えている法実態を知ることが重要でしょう。それを学ぶのが当講義の狙いです。

講義の内容・授業スケジュール

内容としては、まず総則——行政法学の基本原則、諸概念、諸制度等に関する基礎論——を説明し、次に、行政作用論——行政の各種行為形式とその法的性質（法的拘束力の有無など）、行政上の強制措置・制裁、行政調査など——について講義していきます。

履修上の留意点

行政法を初めて学習する者でもその基礎知識を一年間で習得できるよう、判例・通説を引用しながら、出来るだけ解り易く且つ簡潔に説明していくつもりです。特に公務員試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題はその都度指摘します。

成績評価の方法

試験は学年末試験のみ。成績評価は、学年末試験の結果と平常点（不定期に確認する出欠）の総合判断により行ないます。

教 科 書

特定の教科書は使用しません。但し、オリジナルノートが作れるように毎回丁寧に板書します。

参 考 書 等

最初の講義の際に紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	しお いら 塩 入 みほも	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

行政活動に対する国民の権利救済に関する法制度（＝行政救済法）について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

内容的には、国家賠償、損失補償、行政不服審査、行政事件訴訟の各法制度について講義する。

履修上の留意点

行政法の基礎知識を前提とするので、基本的には行政法総論を履修済みであることが望ましい。ただし、努力次第では、総論との並行又は単独履修も可能である。

成績評価の方法

定期試験（年度末一回）及び不定期に確認する出欠により評価する。

教 科 書

特に使用しない。

参 考 書 等

初回講義時に指示する。

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジュメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教 科 書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

参 考 書 等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。  
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民法(総則・物権法)	おお みや たかし 大 宮 隆	政治2・3・4選	4

講義のねらい

民法という法律は、日常の社会生活(財産関係と家族関係)を規律の対象とし、総則・物権・債権・親族・相続の五編に編別されている。本講の対象は、第一編総則、第二編物権である。なかでも総則は、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定を集めて構成されているので、抽象的な法文形式が多い。よって講義においては、具体例を挙げてわかりやすく説明したいと思っている。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 民法の意義
- ② 民法典の編別
- ③ 民法の指導原理とその修正
- ④ 自然人
- ⑤ 法人
- ⑥ 物
- ⑦ 法律行為
- ⑧ 期間
- ⑨ 時効
- ⑩ 物権変動
- ⑪ 占有権
- ⑫ 所有権
- ⑬ 地上権
- ⑭ 永小作権
- ⑮ 地役権
- ⑯ 留置権
- ⑰ 先取特権
- ⑱ 質権
- ⑲ 抵当権

履修上の留意点

講義には六法持参のこと。講義終了時に次週の予告をするので、教科書を読んでくること。

成績評価の方法

年度末の定期試験と出席状況を総合して評価する。

教 科 書

『新民法概説(1) 総則・物権』(有斐閣双書) 1,900円

参 考 書 等

講義の中で随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 法 総 論	さ とう たみお 佐 藤 多美夫	政治2・3・4選	4

講義のねらい

犯罪全体に共通する事項の中で、基本的な項目について、その意義と問題点を明らかにし、体系的に刑法総論を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

「犯罪とは構成要件に該当し、違法で、有責な行為である」という命題を中心に展開をし、つぎに共同正犯・教唆犯・幫助犯いわゆる共犯論を展開し、その諸問題についても扱う。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教 科 書

開講時に指示する(欠席しないように)。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	政治2・3・4選	4

#### 講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用労働関係は、リストラ、解雇や能力主義人事管理の導入などが行われ、従来の日本型雇用システムの見直しがなされています。労働法は、雇用労働関係において生じる紛争を法的解決方法を検討する法領域です。この変化に無関係ではられません。この変化は労働法の領域でも労働者の雇用にすなわち雇用関係法領域に大きく関わってきます。労働組合をめぐる法領域、労使関係法領域に割く時間を減らさざるを得ません。本講義では、雇用関係法領域を中心に、上述した雇用労働関係の変化を頭の隅に置きつつ、これまでに形成定着した労働法理の基礎を学びます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業では下記事項について、基本的なことを中心にまなぶとともに、現代的課題に言及します。詳しくは第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応のアウトラインを示すに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本的雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 労働条件の変更
- (9) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (10) 人事異動－配転、出向、転籍
- (11) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (12) 賃金、賞与、退職金
- (13) 労働時間、時間外労働
- (14) 休憩、休日、休暇
- (15) 労働災害など

政  
治

#### 履修上の留意点

毎時間出席してください。そして、積極的に質問をしてください。ただし、授業のマナーは守ってください。

授業は、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要ですし予習復習は欠かせません。

#### 成績評価の方法

出席、質問を加味しますが、学年末試験（論述式）がメインです。追・再試験は、実施します。

#### 教科書

教科書は、ベーシック労働法（浜村彰ほか著・有斐閣）、労働法（浅倉むつ子ほか著・有斐閣）が手ごろでしょう。しかし、物足りなさを感じるかもしれません。そのような受講生は、労働法（菅野和夫著・弘文堂）がいいでしょう。教科書は予習復習をするうえで必要です。少なくとも1冊は用意してください。他に教科書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして用意してください。

#### 参考書等

労働判例百選第7版（別冊ジュリスト）、六法は用意してください。六法は、法改正がありますから、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものがが必要です。第1回目の授業で紹介いたします。

#### その他

皆さんが、各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 事 政 策	さいとう よしゆき 斎藤 静 敬	政治2・3・4選	4

講義のねらい

人間は、なぜ罪を犯すのであろうか。どうすれば、この世の中から犯罪を防止することができるのであろうか？ たしかに、犯罪のない社会を実現させることは非常に困難なことである。しかしながら、実現不可能であるとして、何の努力もせずには、何の解決策にもならない。少しでもよいから犯罪のない社会の実現にむけて、われわれは努力すべきである。刑事政策を学ぶということは、まさにこの犯罪のない社会の実現にむけて貢献することにある。

講義の内容・授業スケジュール

刑事政策は犯罪を防遏するための合理的、合目的な手段、方法を探究するものである。そこで、

- 1 犯罪現象の類型的考察(例えば、少年犯罪、女性犯罪、性犯罪、暴力団犯罪、公務員犯罪、公害犯罪、精神障害者の犯罪、薬物乱用犯罪、交通犯罪、外国人犯罪)。
- 2 犯罪者の処遇(例えば、受刑者の法的地位、刑務作業、拘禁の形態、仮釈放)。
- 3 犯罪者に対する制裁(例えば、死刑、自由刑、財産刑、保安処分)。
- 4 犯罪の司法的処理(例えば、起訴猶予、執行猶予)……などについて概説する。

履修上の留意点

1. 講義には、毎回かかさず出席して欲しい。
2. 毎日、新聞の犯罪記事に目を通しておく。

成績評価の方法

筆記試験

教科書

斎藤静敬『刑事政策の諸問題』(創成社) 2,800円+税

その他

講義方式

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	はら だ けいいちろう 原 田 啓一郎	政治2・3・4選	4

講義のねらい

社会政策は、市場経済の限界や市場経済が生み出す弊害から、人々を保護し、国民生活のリスクを社会的に軽減、防止する目的で発展してきたものである。本講義では、社会政策の過去と現状を再評価し、「福祉社会」における社会政策の課題を展望し、さらに理論的理解を行うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会政策の原理
  - 1 社会政策とは
  - 2 社会政策の歴史
  - 3 福祉国家と福祉社会
- II 社会政策の諸相
  - 1 労働時間と社会政策
  - 2 賃金と社会政策
  - 3 労働市場と社会政策
  - 4 所得保障と社会政策
  - 5 サービス保障と社会政策
- III 社会政策の理論的視点
  - 1 needの判定の基準と主体
  - 2 資源とその供給
  - 3 資源の再分配

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

講義開講時に指定する。参考文献については、適宜指示する。

その他

日頃より新聞、雑誌等で社会の動向を注視してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 関 係 論	みなみ やま あつし 南 山 淳	政治2・3・4選必	4

#### 講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国際社会は、戦争による秩序の崩壊と新たな秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバル化の拡大、アメリカ同時多発テロ事件に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。

本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。国際構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題に関連させながら、講義を進めていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナーキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題など、現代国際関係の諸問題をとりあげる予定である。

#### 履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

#### 成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験等により評価する。

#### 教科書

進藤榮一『現代国際関係学』（有斐閣）  
松岡完『20世紀の国際政治』（同文館）

#### 参考書等

文献リストを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 政 治 学	三 竹 直 哉 <small>みな たけ なお や</small>	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

世界のいろいろな国で起きていることが手に届くように、さまざまな政治現象がどう説明されるかを、いっしょに考える授業です。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、指定してある教科書を使い、方法論の基礎の基礎を勉強します。それから、優れたドキュメンタリーなど、かなりの数のビデオ教材を見て外国の様子を知り、随所で比較政治学分野で現在行われている最新の研究を紹介していきたいと思います。2003年度は、移民政策の比較研究に特に力を入れたいと思っています。

前期中もしくは、後期中に、もう一冊か二冊、教科書として指定した本を買っていただく可能性があります。

この授業についての最新の情報は、下記のホームページで見られますので、ご利用ください。  
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3～4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたと思いますので、そのつもりで参加してください。

なお、本を教科書として指定した場合には、授業は指定した箇所を読んできて、内容について討論する形式になります。読んできていない人は授業に参加できなくなりますので、注意してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は<必ず>参照してください。なお、2002年3月まで掲載されているものは、あくまでも2002年度用です。2003年度用の情報は、2003年4月に入ってから確認してください。  
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

教 科 書

高根正昭『創造の方法学』（講談社）640円  
 他に一冊、もしくは二冊、指定する可能性があります。

参 考 書 等

適宜指示します。

そ の 他

授業では、みなさんがせつかく6年間（以上）も勉強した英語がさびつかないように、英語に接する機会を少しでも多く作るようにします。英語の資料は英語のまま見せたり配布したりします。

ホームページにこの授業用の掲示板を設けますので、質問や話し合いに使ってください。  
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 行 政 学	ふく だ こう じ 福 田 耕 治	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

国際行政学は、国民国家の枠を超える行政現象に注目し、国際機構内部の行政管理、国際行政と国内行政の関係、国際公共政策の管理や国境を越える政府間関係をめぐる諸問題を扱う新しい学問分野である。国際機関の行政は、その加盟国の中央行政や地方行政とどのような関係をもち、いかにして国際公共政策を形成し、実施していくのか。国内行政の「国際化」への対応はいかなるものであり、国際機関の行政はこれにどのようにかかわっているのだろうか。国際行政学は、このようなグローバルな視点、地球市民社会の一員として、人類共通の利益(国際公益)の実現という観点に立って、国際社会に貢献することを目的とする実践的性格を持った新しい研究領域である。本講義の内容は、国家公務員、地方公務員志望者、NGO職員、商社等の民間企業志望者にとっても役立つものとなる。

講義のねらい

- 1 国際行政の発達史と国際行政学の研究—対象と方法
- 2 国際機構の人事行政と国際公務員制度
- 3 国際機構の財源調達と財務行政
- 4 国際公共政策と政策科学—
- 5 国際安全保障政策
- 6 地球環境政策
- 7 国際開発援助政策
- 8 国際人権・人道政策
- 9 国際社会保障政策
- 10 国境を越える加盟国警察協力政策
- 11 食品の安全保障政策など
- 12 国際機構と行政統制、行財政改革（国際行政統制論）
- 13 国際機構行政と国内行政の関係—規制の国際的調整、国際機構、国、自治体間の国際規制協力
- 14 国際協力における NGO/NPO と自治体の役割
- 15 国際行政学の課題

政  
治

成績評価の方法

前期・後期の試験による。

教科書

福田耕治『国際行政学』（有斐閣）2003

参考書等

福田耕治『現代行政と国際化—国際行政学への序説（第二版）』（成文堂）  
福田耕治・真淵勝・縣公一郎編『行政の新展開』（法律文化社）2002

その他

講義に関係する国際機構、NGO等のURLについては、講義の際に適宜紹介していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 済 学	徳 永 俊 明 <small>とくながとしあき</small>	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としています。同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱として重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすのです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

政  
治

講義の内容・  
授業スケジュール

〈講義のテーマ (予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済  
貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(3回予定)および学年末レポートで評価します。(レポート評価のため追・再試験は行いません。)

参 考 書 等

講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際法	さいとう ひろし 齋藤 洋	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

国際社会で日々生起している諸現象・諸事件を法学の視点から捉えられるようにするために、その基礎となる知識や原則・ルール<sup>の</sup>習得をめざす。本講義は各法制度を法の発展過程の中で理解しようとする傾向をもつ。それは、担当者が現在という時間に区切って現行法制度を理解しようとするのではなく、過去から将来に続く一連の法発展過程の一時期の状態という視点で、現行法制度、特に国際法学を研究していることから生ずる傾向である。したがって講義内容も、狭大な法解釈・判例研究ではなく、当該法制度あるいは判例が人類社会もしくは国際社会の発展の中で如何なる意味を有するのか、それが社会にどのような影響を与えるのか、といったことを中心にして、現行法制度の基本ルールを説明することになる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：戦争観念と国家主権観念、国家と国際法（承認論、責任論、承継論、対外機関、条約法など）、  
地的管轄権（1）（主として海洋法）  
後期：地的管轄権（2）（主として航空法・宇宙法）、人的管轄権（国籍、外国人問題、犯罪人引渡、難民など）、  
国際機関（法主体性論、国連、その他）、紛争解決（平和的解決手段、WTOの紛争処理、国際裁判など）

履修上の留意点

国際法は我々の日常生活に最も縁遠い法制度である。したがって、法学、憲法や民法、国際関係論、外交史などを履修した上で、3年次以上になってからの受講が望ましい。換言すればそれだけの予備知識がないと理解に困難を感ずると思われる。  
また受講生は、毎日必ず新聞を読むこと。自ら図書館で判例を調べるくらいの気持ちが必要である。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績で評価する。夏期休暇中の課題は原則として課さない。

教科書

齋藤洋『国際法講義ノート・資料2003』（虹有社）予価2,000円

参考書等

授業中、適宜指示する。

その他

受講にあたって、私語を慎み、一所懸命ノートをとること。このノートが定期試験に威力を発揮するはずである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
北米政治論(1)(前期)	こ ぼり のり お 小 堀 訓 男	14以前入学生/政治1・2・3・4選必	2

講義のねらい

この講義のねらいは、“アメリカ政治の特質”を理解することにある。アメリカは、世界中から集まった、多種多様な人種によって形成された不思議な国家である。その不思議な国家を理解するためには、たった一度の独立革命（独立戦争）で国家が成立してしまった様子、アメリカの国家理念、アメリカの政党と政治を考察し理解する必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

1. アメリカ国家の成立過程
2. アメリカ政治の型式
3. アメリカの政党の機能
4. 民主党と共和党——両党の支持者はだれか。
5. 民主党か共和党か——両党の相違点は何か。
6. アメリカ政治の将来

履修上の留意点

この講義では、アメリカ政治の総論を概説するが、政治学の基礎的な知識を必要とする。基礎的な事項は、その都度明示し解説するが、理解できない点は積極的に質問して欲しい。

成績評価の方法

定期試験 70%、授業中の小テスト 30%、授業中の積極的な発言も評価の対象とする。

教 科 書

特定のテキストは使用しない。

参 考 書 等

参考書、雑誌、論文など、講義のなかでその都度紹介する。

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
北米政治論(2)(後期)	こ ぼり のり お 小 堀 訓 男	14以前入学生/政治1・2・3・4選必	2

講義のねらい

この講義のねらいは、“アメリカ政治の特質”を理解することにある。そのため、ルーズベルト大統領のニューディール政策からブッシュ大統領までの歴代の大統領の内政と外交を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

1. ニューディール体制
2. 第2次大戦後の政治と社会
3. 激動の1960年代
4. 社会変動と政治の対応
5. 1970年代後半の保守化への動き
6. レーガン政権、I期II期
7. ブッシュ政権と社会主義諸国との関係
8. 冷戦終結後のアメリカと国際政治

履修上の留意点

ルーズベルト以後の各大統領の内政と外交について、受講生のなかで希望者が研究発表をおこない、受講生全員で討論しながら理解を深めていきたい。積極的に授業に参加することを望む。

成績評価の方法

定期試験 70%、研究発表 30%、授業中の積極的な発言も評価の対象とする。

教 科 書

特定のテキストは使用しない。

参 考 書 等

参考書、雑誌、論文など、講義のなかでその都度紹介する。

そ の 他

今日の問題とアメリカとの関係について、授業中に討論するので、新聞を毎日良く読んでおくこと。



科目名	担当者名	配当学科	単位
中国政治論(1)(前期)	たけはなみつのり 竹花光範	14(前入学生/政治1・2・3・4)総	2

## 講義のねらい

当科目は、地域研究入門講座的な性格をもって設けられたものであり、中国政治の歴史と現状について、正しい理解を得ることを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業内容は、辛亥革命以後の中国の政治制度と政治事情の変遷が中心になるが、とくに中華人民共和国建設後は、そうした変遷が、国家の最高法規であるはずの憲法の上に、どのように反映しているかについて詳述する。恐らく、プロレタリア文化大革命から75年憲法の採択あたりまでの講義になるものと思う。

## 履修上の留意点

時事的な問題を取り上げて解説するなど立体的な講義を心がけるので、できる限り講義には出席すること。

## 成績評価の方法

成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。  
前もって教題提示し、その中から出題することになるものと思う。

## 教科書

竹花光範『中国憲法論序説』（成文堂）3,500円

## 参考書等

参考書（とくに、中国政治史、中国共産党史や現代化路線に関するもの）は、必要に応じて講義の中で紹介する。

## その他

中国は「近くて遠い国」といわれる。地理的には、まさに隣国といってよく、歴史的にも深い関わりがありながら、お互いの理解は、必ずしも充分とはいえない。そのことが両国の間に不必要な軋轢を生んでいるといっただけであろう。学生諸君が、正しい中国認識をもって、「あるべき日中関係」を考えるよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国政治論(2)(後期)	たけはなみつのり 竹花光範	14(前入学生/政治1・2・3・4)総	2

## 講義のねらい

当科目は、地域研究入門講座的な性格をもって設けられたものであり、中国政治の歴史と現状について、正しい理解を得ることを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

後期においては、78年憲法から現行83年憲法の採択、その後の三度にわたる部分改正について述べることになるが、そこでは、いわゆる「中国の特色をもった社会主義」、すなわち社会主義市場経済体制の特色、並びに問題点についても論及する予定である。

## 履修上の留意点

時事的な問題を取り上げて解説するなど立体的な講義を心がけるので、できる限り講義には出席すること。

## 成績評価の方法

成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。  
前もって教題提示し、その中から出題することになるものと思う。

## 教科書

竹花光範『中国憲法論序説』（成文堂）3,500円

## 参考書等

参考書（とくに、中国政治史、中国共産党史や現代化路線に関するもの）は、必要に応じて講義の中で紹介する。

## その他

中国は「近くて遠い国」といわれる。地理的には、まさに隣国といってよく、歴史的にも深い関わりがありながら、お互いの理解は、必ずしも充分とはいえない。そのことが両国の間に不必要な軋轢を生んでいるといっただけであろう。学生諸君が、正しい中国認識をもって、「あるべき日中関係」を考えるよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論(1)(前期)	なかのゆうじ 中野裕二	1(前期入学生/政治1・2・3・4選必)	2

講義のねらい

平成15年(2003年)度の「ヨーロッパ政治論(1)」はフランスを対象とする。フランスの政治制度を概観した後、近年のフランス政治を理解する上で重要なテーマを扱う。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の予定は以下の通り。ただし、部分的に変更することもある。

第1章 政治制度

1. 大統領も首相もいる国
2. 「半大統領制」
3. 「合理化された議会制」

第2章 社会編成原理としての共和制

1. フランス共和制の理念
2. 共和制の現実
3. 「フランス的統合」

第3章 移民問題

1. 移民の概観
2. 移民問題の顕在化
3. 移民問題とフランス共和制

第4章 国民戦線の台頭

1. フランスの新右翼
2. 新右翼の主張
3. 国民戦線台頭の意味

履修上の留意点

「政治制度論」をすでに受講していることが望ましい。  
フランス、広くはヨーロッパの政治に関心のある学生の受講を希望する。日本の政治に関心のある学生も、講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、日本政治との類似点・相違点という観点から問題関心を抱き受講してもらいたい。  
授業中の私語および携帯電話の使用には厳しく対処する。

成績評価の方法

期末試験を70点、小テスト・授業要約などを30点に換算し、100点満点で評価する。ただし、授業中の発言や「意見質問用紙」の提出など、積極的な授業参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いない。毎回プリントを配布し、プリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらう。

参考書等

田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度』(法律文化社)1999年  
中野裕二『フランス国家とマイノリティ』(国際書院)1996年  
畑山敏夫『フランス極右の新展開』(国際書院)1997年  
山口定・高橋進編『ヨーロッパ新右翼』(朝日新聞社)1998年  
奥島孝康・中村紘一編『フランスの政治』(早稲田大学出版部)1993年  
宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』(人文書院)1998年  
長部重康『変貌するフランス』(中央公論社)1995年  
渡邊啓貴『フランス現代史』(中央公論社)1998年  
本間圭一『パリの移民・外国人』(高文研)2001年  
三浦信孝編『普遍性か差異か』(藤原書店)2001年 など

その他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(2)(後期)	なかのゆうじ 中野裕二	1以前入学生/政治1・2・3・4部	2

講義のねらい

平成15年(2003年)度の「ヨーロッパ政治論(2)」はイギリスを対象とする。イギリスの政治制度を概観した後、近年のイギリス政治を理解する上で重要なテーマを扱う。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定は以下の通り。ただし、部分的に変更することもある。

第1章 政治制度

1. 複合国家から準連邦国家へ
2. 議会優位

第2章 政党政治——サッチャリズムからブレアの「ニュー・レイバー」へ

1. 準備作業——概念、理論の確認
2. イギリスの伝統的政党制
3. サッチャリズム
4. ブレアの「ニュー・レイバー」

第3章 北アイルランド紛争

1. 北アイルランド紛争の歴史的経緯
2. 北アイルランド紛争の基底

履修上の留意点

「政治制度論」をすでに受講していることが望ましい。  
イギリス、広くはヨーロッパの政治に関心のある学生の受講を希望する。日本の政治に関心のある学生も、講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、日本政治との類似点・相違点という観点から問題関心を抱き受講してもらいたい。  
授業中の私語および携帯電話の使用には厳しく対処する。

成績評価の方法

期末試験を70点、小テスト・授業要約などを30点に換算し、100点満点で評価する。ただし、授業中の発言や「意見質問用紙」の提出など、積極的な授業参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いない。毎回プリントを配布し、プリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらおう。

参考書等

田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度』(法律文化社)1999年  
宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』(人文書院)1998年  
梅川正美『イギリス政治の構造』(成文堂)1998年  
山口二郎『イギリスの政治 日本の政治』(筑摩書房)1998年  
舟場正富『ブレアのイギリス』(PHP 研究所)1998年  
自治・分権ジャーナリストの会編『英国の地方分権改革』(日本評論社)2000年  
豊永郁子『サッチャリズムの世紀』(創文社)1998年  
川勝平太/三好陽編『イギリスの政治』(早稲田大学出版部)1999年  
ポール・スノードン/大竹正次『イギリスの社会』(早稲田大学出版部)1997年  
鈴木良平『アイルランド問題とは何か』(丸善)2000年  
M・イグナティエフ『民族はなぜ殺し合うのか』(河出書房新社)1996年  
富田正史『「多文化主義ネーション」に向けて』(見洋書房)1996年 など

その他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アラブ・イスラム政治論(後期)	なかしま いさむ 中 島 勇	14以前入学生/政治1・2・3・4選必	2

講義のねらい

現代中東の政治問題を中心に扱う。開講中に発生する事件や紛争を手がかりに、その背景にある民族問題、宗教問題を整理する。中心的テーマは、アラブ・イスラエル紛争、イラク問題、イスラム系組織のテロ問題となる。また一神教の成立など、現在の事件の背景を理解するために必要な歴史にもふれる。

履修上の留意点

ニュースを扱うので、国際報道に関心があることが望ましい。

成績評価の方法

評価は、レポートの提出で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中南米政治論(前期)	おじり きわ 尾 尻 希 和	14以前入学生/政治1・2・3・4選必	2

講義のねらい

中南米に関する初学者を対象に、比較政治学の手法を用いて現代中南米の政治体制を検討することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず中南米諸国の政治史を外観しながら、多様性を有しつつも権威主義という共通の特徴を有するに至った政治発展の過程を東西冷戦の影響も含めて振り返り、次に80年代以降にどのように民政化・民主化に至ったのかを検討する。さらに、現在の中南米諸国が民主体制の定着過程でどのような問題に直面しているかを、新しい米州関係の形成も念頭におきながら分析する。

履修上の留意点

積極的参加・質問を期待する。

成績評価の方法

期末試験(論述形式)。

教 科 書

松下洋・乗浩子編『ラテンアメリカ：政治と社会』(新評論)1993年 3,296円

参 考 書 等

講義のなかで紹介する。

そ の 他

講義形式が中心となる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較都市論	うちうみま 内海麻利	政治2・3・4選	4

#### 講義のねらい

経済成長を目的に都市開発を進めた時代から、地域管理や経営という視点を含む持続的発展を目指した都市づくりが要請される時代へと移行しつつある。このような変化に対し今日の都市づくりは、経済のグローバル化に伴い国内外にわたる地域間競争にさらされ、持続可能性をもって地域ポテンシャルを高めることが期待されている。一方、地方分権改革により各都市独自の政策に基づき、固有の環境や景観、歴史や文化・産業などの資源を活かした個性豊かな都市のあり方が問われている。本講義では持続可能で個性豊かな都市づくりという観点から、諸外国と日本、日本における各都市について比較し、また、先進的な事例をとおして今後の都市政策における学生諸君の専門知識と理解を深めることを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業では、各回毎に今日的なテーマを設定し、様々な都市のデータ及び都市づくりに関する計画や政策、実践的な取り組み等を提示しながら講義を行うが、詳しい授業スケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

#### 履修上の留意点

授業時に紹介する教科書や参考書を読み理解を深めるよう努力を払ってほしい。

#### 成績評価の方法

授業への出席、レポート、学期末試験の成績を中心に評価する。

#### 教科書

特に教科書は指定しない。

#### 参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
マス・コミュニケーション論	ひらつかちひろ 平塚千尋	14期前入学生/政治1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現代社会に不可欠なものとして構造化されているマスコミを、テレビ報道・制作の経験をもとに、現場に近い視点から具体的に考察する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期…災害情報とメディア  
後期…社会の中のテレビ、テレビの中の世界  
この具体的な2つのテーマを通して、  
・マスコミの構造、特性、機能  
・マスコミ産業、制度  
・ジャーナリズム  
・マスコミ倫理  
など、マスコミの社会的な機能や意味、課題や問題点を考える。

#### 履修上の留意点

積極的な発言・発表のある双方向の授業を期待

#### 成績評価の方法

平常点、各回小論文及び期末レポートで総合的に評価

#### 教科書

平塚千尋『災害情報とメディア』（リベルタ出版） 2,000円

#### 参考書等

講義の中で随時紹介する

#### その他

講義の初めで、その1週間のマスコミを巡るニュースに触れる。  
教科書のほかにVTR映像やナマ資料を多用しながら講義を進める。  
講義の最終10分位でなるべく小論文を書いてもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数量政治学	とみ さき たかし 富 崎 隆	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

「数学」と聞くだけで毛嫌いする学生諸君も多いかもしれないが、数量的手法は今日の政治学において大変重要な手法となっている。政治現象が「そうである」ことを確認し、現象を明晰に「説明する」する上で、数量的手法は極めて強力なツールとなりうるからである。さらに、コンピュータを中心とした情報処理技術の急速な発達により、それは益々進展しつつある。なお、この数量的政治分析は、現代政治学で目指された政治学の「科学化」の潮流の中で急速に政治学の中に定着化していった。そして、政治を「科学的」に分析するという潮流は、戦後アメリカを中心に広がっていき、現代政治学においては、もはや主流のスタンスとなったと見てよい。実際、アメリカ政治学の代表的学術誌であり、アメリカ政治学会の学会誌である「American Political Science Review」誌上の論文中、今日では実証的論文のほとんどが広い意味での数量政治的分析（数理・計量モデルによる政治分析）をその論旨の中核に含むものとなっている。

本講義では、数量的政治分析が実証政治学全般にわたりその適用範囲を広げてきたことに注目し、数量的手法による政治分析を「マクロ政治学」「ミクロ政治学」「国際政治学」の各分野（内容については、初回講義時に説明）において紹介していき、数量政治分析が政治的現実をどのように明らかにしてきたか、また明らかにしていく可能性をもち、いかなる限界をもつかについて検討していきたい。

なお、本講義を受講する際、特別に数学素養が必要という訳ではない。政治現象を論理一貫した形で「説明」し（数理モデル）、政治現象が「そうである」ことを確認すること（計量モデル）の面白さと難しさを追体験し、理解することによって、学生諸君自らが政治を分析し、理解することへ進む足がかりを提供することが本講義の主要な目的である。また、できるだけ日々の政治トピックとの関連を意識し、数量的政治分析が決して「冷たく」「現実離れ」したものであることを示しながら、学生諸君が現実政治を「考える」材料を提供することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

- I 講義のねらいと数量的分析の基礎
- II マクロ政治学（国家と自由民主主義体制のマクロ動態解明）における数量政治学
  - 1, 政治・権力・国家の意味とその数量分析
  - 2, 近現代国家システムの展開とその数量分析
  - 3, 自由民主主義体制・民主化の意味とその数量分析
  - 4, 自由民主主義体制の比較枠組みとその数量分析
  - 5, 政治と経済のマクロ的連動関係の数量分析
- III ミクロ政治学（自由民主主義体制の作動メカニズム解明）における数量政治学
  - 1, 政党と有権者の投票行動における数量分析
  - 2, 政権形成と議会立法過程における数量分析
  - 3, 官僚制と政策決定における数量分析
  - 4, 利益集団政治における数量分析
  - 5, 中央地方関係における数量分析
- IV 国際政治学における数量政治学
  - 1, 国際政治の意味
  - 2, 国際政治の主要理論潮流とその数量的分析
  - 3, 戦争・紛争の数量的分析

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

小林良彰編 『叢書・社会科学の理論とモデル（全11巻）』（東京大学出版会）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
メ デ ィ ア 社 会 論	ひら つか ち ひろ 平 塚 千 尋	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

現代はテレビとともに始まった、そして今、デジタル電子メディアとともにポスト現代、新しい社会が幕を開けつつある。社会の変化をメディア発展史と関連づけてたどるとともに、デジタル化による高度情報社会の姿、内包する諸問題を考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・メディア史  
言葉、文字、活字、映画、電信・電話、ラジオ・テレビ
- ・メディア特性  
活字、放送、インターネット
- ・デジタル化の諸相  
放送、プリントメディア、  
ケーブル、ブロードバンド、ケータイ  
放送と通信の融合
- ・デジタル化と市民社会  
表現の自由と人権・プライバシー、デジタルデバイド、著作権、  
メディアリテラシー、市民の情報発信

履修上の留意点

今年にはテレビ放送開始50年に当たり、多くの番組や特集が企画されている。関連する放送、情報に意識的に接する事。積極的な発言・発表のある双方向の授業を期待。

成績評価の方法

平常点、各回小論文及び期末レポートで総合的に評価

教 科 書

特に指定しない

参 考 書 等

講義中に随時紹介する

そ の 他

講義の初めで、メディアを巡る1週間のニュースに触れる。  
VTR映像や資料を多用しながら講義を進める。  
講義の最終10分位でなるべく小論文を書いてもらう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 心 理 学	とみ さき 富 崎 たかし 隆	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

民主政治において、国民がどのように政治に参加するかは決定的に重要である。そして、政治心理学とは、政治に参加・関与する人々の心理と行動様式を、個々の市民（や政治家）のミクロ的視点から体系的にとらえようとする研究アプローチである。一般的には、政治心理・政治意識・政治的パーソナリティ・政治文化・政治的社会化等の個別研究領域がある。今日まで、民主政下における人々の政治心理学的分析は多様に展開してきた。さらに、近年新しい政治文化論ともいべき社会関係資本（Social Capital）論が注目を集めつつある。一方で、近年のグローバル化・情報化、特にインターネットの急速な普及によって人々の情報空間は大きく変容しつつある。

本講義では、前半に政治心理学アプローチの諸理論・モデルについて解説する。後半では、今日の日本及び先進各国における市民の政治意識や投票行動について、最近の世論調査データや選挙結果などに基づいた分析を行う。そして、それが今後の民主政治に対して持つ意味を考察する。また、政治心理を分析する際に必要な計量的分析における方法論についても解説する。

全体としては、政治心理学アプローチによる様々な研究を検討していくことを通じ、現代における政治・社会変動を視野にいれつつ、自由民主主義体制の作動メカニズムを、有権者を中心とした政治心理や行動の側面から明らかにしていくこと目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

- I 政治心理学の理論とモデル
  1. 政治心理学の目的と方法
  2. 合理的選択理論と政治心理
  3. 態度理論と政治心理
  4. 認知理論と政治心理
  5. 政治文化論・パーソナリティ論と政治心理
  6. 社会関係資本（Social Capital）論と政治心理
  7. インターネット時代の政治心理（サイバー・デモクラシー？）
- II 政治心理の実証分析
  1. 戦後日本（1）55年体制下・石油ショック以前
  2. 戦後日本（2）55年体制下・石油ショック以後
  3. 戦後日本（3）細川内閣以後
  4. 戦後アメリカ
  5. 戦後イギリス
  6. その他の諸国
- III まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

堀江・富田・上條編『政治心理学』（北樹出版、1980年）  
 小林良彰『選挙・投票行動』（東京大学出版会、2000年）  
 その他、適時指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 社 会 学	なかのゆうじ 中野裕二	政治2・3・4選必	4

### 講義のねらい

この講義は政治学の発展段階で目指された「科学化」をキーワードとする。政治学の「科学化」にとって重要な理論家やその理論を考察することで、現代政治学の方法がいかに形成されてきたかを理解する。

第1部では、19世紀の社会学者がそれぞれどのような問題関心を抱き、その問題関心に基づきいかに社会学・社会科学の理論・方法を展開したかに焦点を絞る。第2部では、19世紀のヨーロッパを中心とした社会学が、20世紀にアメリカでいかに政治学として受容されたか、現代政治学がいかに誕生したかに焦点を絞る。

### 講義の内容・授業スケジュール

講義の予定は以下の通り。ただし、部分的に変更することもある。

イントロダクション——政治社会学について

1. 政治学の歴史
2. 現代政治学の構造
3. 政治社会学とは？

#### 第5章 ヴェーバー

1. ヴェーバーの問題関心
2. 社会科学における社会的事象の認識
3. ヴェーバーにとっての社会学
4. 「価値自由」と「客観性」

#### 第1部 19世紀以降の社会学

##### 第1章 トクヴィル

1. トクヴィルの問題関心
2. 分析方法の特徴

##### 第2章 マルクス

1. 時代背景と問題関心
2. 空想的社会主義批判
3. 科学的社会主義

##### 第3章 コント

1. コントの問題関心
2. 「新しい科学」=社会学
3. コント実証主義の意義と限界

##### 第4章 デュルケム

1. デュルケムの問題関心
2. 実証主義的方法
3. 実証的研究
4. デュルケムの意義と問題点

#### 第2部 20世紀の政治社会学

##### 第6章 政治科学のルネサンス

1. 政治哲学・政治理論批判
2. 制度論的アプローチの超越  
——政治過程論の誕生

##### 第7章 行動論の時代

1. 行動論的アプローチ
2. 行動論政治学の方法
3. 行動論の変容から「行動論以後」へ
4. 行動論政治学の影響

##### 第8章 政治システム論

1. 一般システム論
2. 政治システム論

政  
治

### 履修上の留意点

この講義は、政治学の方法の発展に問題関心を集中させて進められる。受講生には、この講義の受講後には、政治学の理論・方法がいかに発展したかを大づかみで理解できていることが期待される。

受講生は、この講義を他の理論系科目の導入として位置づける、または、理論系科目の総仕上げとして位置づけてもらいたい。

なお、授業中の私語および携帯電話の使用には厳しく対処する。

### 成績評価の方法

期末試験を70点、小テスト・授業要約などを30点に換算し、100点満点で評価する。ただし、授業中の発言や「意見質問用紙」の提出など、積極的な授業参加は別途高く評価する。

### 教科書

教科書は用いない。毎回プリントを配布し、プリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらう。

### 参考書等

- 砂田一郎／藪野祐三編『比較政治学の理論』東海大学出版会、1990年、第1章  
 N.J. スメルサー『社会科学における比較の方法』玉川大学出版部、1996年（第2章）  
 J. クーネン＝ウッター『トクヴィル』白水社、2000年  
 新藤人ほか『社会学のあゆみ』有斐閣新書、1979年  
 エンゲルス『空想より科学へ』岩波文庫、1966年  
 大塚久雄『社会科学の方法』岩波新書、1966年  
 トマス・モア『改版 ユートピア』中公文庫、1993年  
 角山榮／川北稔編『路地裏の大英帝国——イギリス都市生活史』平凡社ライブラリ

### その他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	井戸正伸	政治2選	4

## 講義のねらい

本演習では、現代政治理論における古典的著作を輪読していくことにより、内容の理解を目指す。なお、3、4年時におけるゼミナールにおいて学生諸君が十分な成果をあげることができるよう、この基礎演習では、ゼミでの発表の仕方、論文作成の方法などについても指導していきたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期は、グローバリゼーション、社会民主主義、福祉国家について論じている現代政治理論の古典をゼミ生全員で読んでいきます。

後期は、現代政治理論の中から、学生自身がテーマを選んで、各自、個人研究を進め、その中間成果をゼミで発表し、最終的には短い論文を完成させることを目指します。

## 履修上の留意点

まずは出席すること。そして、わからない点はなんでも聞いてください。

## 成績評価の方法

論文の内容とゼミへの熱意により総合的に評価します。

## 教科書

エスピング・アンデルセン『福祉国家の三つの世界』ミネルヴァ書房  
 ションフィールド『現代の資本主義』オックスフォード大学出版局  
 スーザン・ストレンジ『国家の退場』岩波書店  
 ダール『経済デモクラシー序説』三嶺書房  
 バリントン・ムーア『独裁と民主政治の社会的起源』岩波書店

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	浦田早苗	政治2選	4

## 講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

## 講義の内容・授業スケジュール

14年度は共通テーマとして「変革期の日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われている。前期の発表は『日本国境警備隊発足』、『市町村合併』、『個人情報保護法』、『地球温暖化問題』、『2大政党制への道』、『児童虐待根絶』というものであった。後期は発言する力を強める目的でパネルディスカッションやディベートを行う予定である。

## 履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならない。

## 成績評価の方法

発表内容と各自の持つ意欲によって評価する。

## 教科書

文藝春秋編『日本の論点2003』（文藝春秋、2,700円）

## その他

研究発表では、学生諸君各自が興味あるテーマを自由に選択することができる。年3～4回のコンパと夏合宿が7月にある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	小堀訓男	政治2選	4

講義のねらい

政治学と国際政治学の基礎的な知識を整理しながら理解すると同時に、受講者各自が興味をもっている問題を研究する方法と、発表する能力を訓練する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、政治学と国際政治学の基礎的な知識を受講者全員で討議しながら、講義形式で授業をおこなう。同時に並行して、受講者各自に自分が興味をもっているテーマを提出させ、それをもとに、各自に研究資料や研究方法を指導する。

後期は、それまで指導を受けた各自の研究テーマを各自が発表し、その内容について全員で討議する。討議することによって、研究発表の方法や研究内容・問題点の所在を明らかにし、本格的な演習を受講する能力を身につけたい。

履修上の留意点

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。研究したい、ということと、研究出来るということは別であるが、まず、研究テーマを明確にして研究したいという情熱をもつことが先決である。あとは、この講座で研究するための方法や能力を身につける訓練をしてほしい。

成績評価の方法

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

活発な授業参加と発言を求める。講義に関連したビデオ（各種の国際事象の実録など）を見る予定である。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	塩入みほも	政治2選	4

講義のねらい

三、四年次においていずれかのゼミに所属を希望する者の為に、演習を行える基礎的能力を修得させることを狙いとする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回各自に特定のテーマについて研究・報告をしてもらい、報告後には全員でディスカッションを行う。テーマは、主として行政法（国家と国民の関係を規制する法）に関する問題をと上げる予定である。具体的テーマの割当ては、学生各自の希望を踏まえて決定する。

履修上の留意点

公務員、行政書士等の国家試験の受験を考えている者には特に有意義である。

成績評価の方法

成績評価は、平常点（出席・報告・発言回数等）により行う。

参考書等

適宜必要により指示する。

その他

授業はゼミナール形式で行う。研究・調査方法、報告の仕方、レジュメの書き方等のノウハウは、初回に指導すると共に、その都度必要に応じて教示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	た ま る だ い 田 丸 大	政治2選	4

講義のねらい

本基礎演習では、3年次からの演習を視野に入れ、基礎的知識を養うとともに、現実の政治・行政の観察・問題発見・分析・提案能力の基礎を養うことを目的とする。報告発表・レジュメの作成・討論などについて、その基礎的な作法・素養についても修得する場としたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

- ゼミ生と相談してから決めたいと思うが、現在のところ、以下を考えている。
- ①現代の政治・行政の重要課題をいくつか取り上げ、そのテーマを素材にフリートークを行う（ゼミ生各自が自分の意見を述べ、その後自由に議論してもらう）。
  - ②現代の政治・行政に関する基本的な文献を講読する。
  - ③ゼミ生がそれぞれテーマを設定し、個別であるいは共同で調査研究し、その成果を発表する。
  - ④ディベートを行う。

履修上の留意点

無断欠席は認めないので、注意すること。

成績評価の方法

出席・発表・発言などを総合的に評価する。無断欠席者には単位を与えないこともある。

教科書

適宜指定する。

その他

合宿を行うか否かについては、ゼミ生と相談して決めたい。なお、ゼミ生のうち、卒業後の進路として、各種公務員を視野に入れている者に対しては、国・地方の公務員の仕事や職場環境がどのようなものであるか、試験勉強をどのようにスタートさせればよいかなどについて、若干のアドバイスを行いたいと考えている。

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	と み さ き た か し 富 崎 隆	政治2選	4

講義のねらい

3年次からの演習に向け、様々な政治課題に関する問題意識、政治学的分析をおこなうための資料収集能力、論理構築能力、プレゼンテーション能力等を養うことを目的とします。具体的には、前期にグループ対抗のディベートを中心におこない、後期に班毎の共同研究リサーチとプレゼンテーションを中心におこなっていききたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

日本および世界で議論されている具体的政策課題をディベートのテーマとして取り上げます。ディベートとは、ある問題を取り上げ、是非の2チームに分かれ一定の形式に沿って、一種のゲームのように（勝敗を決める形で）討論をおこなうものです。基礎演習での、ディベート実施の目的は、具体的政策課題を採りあげること、広く政治問題への問題意識をもつと同時に、ディベートを通じ諸君の論理・実証・思考・討論能力を向上させてもらう事にあります。前期議論した政策問題を中心に統一テーマを決め、後期に班毎にリサーチを行い、プレゼンテーションをおこなってもらいます。さらに、全体で論集をつくることを目標としたいと思います。受講生の希望や場合によっては、3・4年の演習にも参加してもらいたいと思います。

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価します。

その他

積極的・主体的参加を期待したいと思います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	なかのゆうじ 中野裕二	政治2選	4

#### 講義のねらい

#### 一般目標

1. 政治学とは政治現象を科学的に理解しようとする学問であるが、最近の「政治」をみてみると自分とは遠くかけ離れたものとしか思えない。そこで、この基礎演習では、政治とは実に自分にとって身近な存在であることを再発見する。
2. 政治現象をどのようにすれば科学的に理解できるのかを学ぶ。そのためには、政治学の基本的な概念や理論を手がかりにする必要があるため、それらを学ぶ。
3. その手段として教科書の各章をグループ報告し、他人に伝えるという作業を通して自ら教科書の内容を理解し、さらにレジュメ（サマリー）の書き方、報告の仕方、討論の仕方自身につける。
4. 身につけた知識や技術を具体的な政治のテーマに即して、実際に討論する。
5. このような一般目標を実現するために、この基礎演習の内容は大きく3つに分けられる。
  - (1) 教科書のグループ報告
  - (2) セミ内ディベート
  - (3) 授業内討論・授業内レポート

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 自己紹介。グループ分け。報告担当章の決定。
2. ディベート・ルール解説。第1回ディベート論題決定。
3. 序章「政治学を勉強してみませんか」報告者：中野
4. 1章「えっ!!投票するの?誰に投票するの?」
5. 2章「テレビが政治をつくる?」
6. 3章「政治家ってどんな人?」
7. 授業内討論：テーマ「小選挙区制と比例代表制」
8. 第1回ディベート：テーマ未定
9. 授業内討論：テーマ「議会制民主主義のものと住民投票」
10. 4章「思想と利権のからみあい」
11. 5章「官僚ってどんな人?」
12. 6章「情報とコネが大事」夏休みレポート課題発表
13. レポートへのコメント。第2回、第3回ディベート論題決定
14. 7章「政策のつくられ方」
15. 8章「目立たない最高権力者」
16. 9章「自立の気概」
17. 授業内討論：テーマ「男女平等」
18. 第2回ディベート：テーマ未定
19. 授業内討論：テーマ「政治家とカネ」
20. 10章「世界はどこへ行く?」
21. 11章「役に立つ(?)内政干渉」
22. 12章「21世紀への試練」
23. 授業内討論：テーマ「有権者資格18歳」
24. 第3回ディベート：テーマ未定
25. 授業内レポート：テーマ未定

#### 履修上の留意点

1. テキストにはそれぞれのテーマが15頁程度にまとめてあるので、報告者でなくとも事前によく読んでおくこと。
2. 数人のグループに分かれ、各章の要約をプリントにして、人数分をコピーして配布する。プリントに即して報告し、他の受講学生からの質問に答えられるように、事前に準備する。
3. 報告を聞き、不明な点があれば積極的に質問する。
4. 各章のテーマに関連する現実性次についての討論に積極的に参加し、発言する。
5. ディベートのテーマを自発的に考え、積極的に提案する。

#### 成績評価の方法

1. 毎回の出席を評価する。
2. グループ報告の内容、報告者以外の質問内容を評価する。
3. 討論・ディベートへの積極的参加を評価する。
4. 授業内で作成するレポート内容を評価する。
5. 1～4を総合的に判断し成績評価とする。

#### 教科書

伊藤光利編『ポリティカル・サイエンス事始め〔新版〕』（有斐閣、2003年予定）  
 (注意) 上記の教科書を購入する際は「新版」であることを確かめること

参考書等

受講学生は受講開始までに、  
鹿野政直『日本の歴史9 日本の現代』（岩波ジュニア新書339）岩波書店、2000年  
新藤宗幸『行政ってなんだろう』（岩波ジュニア新書299）岩波書店、1998年  
を読んでおくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	はやかわ よしき 早川純貴	政治2選	4

講義のねらい

基礎演習は3年次からの演習に向け、政治学の基礎的知識を養い、多面的な観察力と深い分析力、さらには資料収集方法を身につけることを目的としている。とりわけ当演習ではこうした能力を、グループ対抗のディベートおよび班毎のリサーチ（フィールドワークを含む）を通して涵養していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ディベートで扱うテーマは日本の政治・社会・経済の諸問題（特に賛否両論が際立つ問題）に限定し、それぞれのテーマについて二つのグループが是側・非側の立場からアプローチしていく。ディベートは勉強の目標であり総括でもある。リサーチは地方政治が抱えるさまざまな課題について、それぞれ担当の班がフィールドワークを行い、その成果を発表する。また担当したリサーチについてはレポートを提出をしてもらう。

履修上の留意点

当基礎演習で鍛えて欲しいのは、自分の考えをきちんと言葉で表現できる力、あるいは自分たちの主張を効果的に相手（聞き手）に伝え、十分に納得させる力である。そのためには学生諸君の議論とフィールドワークへの積極的参加を求めたい。

成績評価の方法

議論や調査への参加度、発表の充実度、レポートの内容などを総合して評価する。

教科書

教科書は用いない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	み たけ なお や 三竹直哉	政治2選	4

講義のねらい

自分について知り、政治学について考え、研究の仕方の基礎をしっかりとやる基礎演習です。

講義の内容・授業スケジュール

内容やスケジュールは、毎年変わります。2003年度のは未定です。最新情報は、下記のサイト（ホームページ）をご覧ください。

履修上の留意点

平常点によります。詳しいことは下記サイトをご覧ください。

成績評価の方法

平常点によります。詳しいことは下記サイトをご覧ください。

教科書

その都度、指示します。

参考書等

その都度、指示します。

その他

三竹担当の演習・基礎演習の情報は、下記をご覧ください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

質問等は、下記までどうぞ。

mitake@komazawa-u.ac.jp

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較憲法	にし西 おさむ修	政治2・3・4選	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといって非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。①比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）②主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、③アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、④項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。

履修上の留意点

①開講時にシラバスを配付するか、KOMSY に詳細を記載するので、よく読んでおくこと  
②日本国憲法との関連で問題意識をもつこと ③私語は絶対に慎むこと ④途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

①出席・レポート 20点 ②前期試験 40点 ③後期試験 40点。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

①西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」  
②アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年  
③西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年

その他

授業中に試験をする可能性があるの、注意すること。

政  
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代国家論	おおつか 大塚 桂	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1 国家論の課題 2 幕末政治過程 3 幕末政治思想（水戸学、国学） 4 公議政体論 5 太政官制・内閣官制 6 大日本帝国憲法 7 法典整備・司法制度 8 統帥権・戒厳（令） 9 地方官官制 10 自由民権運動 11 帝国議会 12 財政制度 13 教育勅語 14 国家神道 15 社会主義運動 16 大正デモクラシー 17 天皇機関説 18 天皇制ファシズム 19 統制経済 20 まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。  
A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。  
B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。  
※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環 境 政 策	よこ した まさ くに 横 田 匡 紀	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

この講義では、多様化、複雑化、グローバル化している環境問題の状況を踏まえて、環境政策のメカニズムを理解していきます。日本、世界各国、国際社会における環境政策の具体例に言及しながら、行政の視点、企業の視点、市民の視点が交錯する諸相を明らかにします。公務員志望者、マスコミや民間企業志望者あるいは環境問題関連の資格試験なども念頭に置き、有益な情報の提供をこころがけ、環境政策をみる視座を涵養したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

序—将来の世代のための選択

- ・環境政策を見る眼—政策科学とガバナンスの視点
- ・環境政策の対象—ローカルからグローバルへ

1. 持続可能な発展のガバナンス

- ・ストックホルムからヨハネスブルクへ
- 持続可能な発展をめぐるガバナンスの軌跡
- ・ガバナンス形成の担い手
- 政府、企業、国際組織、自治体、NGO

・持続可能な発展の政策課題

- 京都議定書、モントリオール議定書、WSSD、世界水フォーラム、貿易と環境、環境安全保障 人権・民主化と環境 等

2. 循環型社会の公共政策過程

・循環型社会形成の道のり

- 公害問題から地球環境問題、循環型社会へ
- ・循環型社会における政策手法—環境と経済の両立に向けて
- ・循環型社会の政策課題

—廃棄物、ダイオキシン、エネルギー問題、ISO14001、環境アセスメント、環境税、自治体環境政策 IT社会と環境 等

\*受講生の関心や授業の進行度に応じて優先順位を変更することがある。

\*時事問題を随時とりあげる予定である。

\*新聞記事やビデオなどを多用し、理解の深化に努める予定である。

政  
治

履修上の留意点

講義中は私語厳禁とする。

KOMSYにも講義の情報を掲載する予定である。

成績評価の方法

試験を基本とし、レポートや平常点などを加味し総合的に判断する。

教 科 書

横田匡紀『地球環境政策過程』（ミネルヴァ書房）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 家 安 全 保 障 論	こ ぼり のり お 小 堀 訓 男	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

カントがその著、『永遠平和のために』において「相共に生活する人々間の平和状態は、けっして自然状態なのではない。自然状態はむしろ戦争状態である。すなわち、たとえつねに敵対行為が勃発してゐるのではないにしても、絶えずそれによって脅かされているのである。だから平和状態は樹立されなければならない」と述べているごとく、人間が、その長い歴史のうちで不断に希求してきたものは永遠平和であって、戦争それではなかったのである。カントによって提起された「永遠平和」という、この哲学的命題は、皮肉にも彼の夢想曲に終始してきたのが現実の歴史過程の常態である。本講では、「人は何故集団社会を形成するのか、集団を単位とした闘争と、個人レベルでの闘争は何処がどのように違うのか」をテーマに、国家の安全保障を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 人は何故集団社会を形成するのか。
2. 近代国家の特質。
3. 国家安全保障の意味・機能・手段。
4. 国家安全保障に関する諸見解。
5. 国家安全保障の理念と現代的課題。

履修上の留意点

「人はなぜ闘争するのか」ということに興味をもっている学生への積極的な参加を望む。

成績評価の方法

ディスカッションでの発言点と期末試験で評価する。

教 科 書

小堀・志鳥共著『国家安全保障の研究』（高文堂出版） 1,200円

参 考 書 等

授業中に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 交 史	たか みつ よし え 高 光 佳 絵	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

1920～50年代の東アジアを中心に概観する。『日本外交文書』等を利用して実証史学の一端に触れつつ、歴史上の様々な外交構想を学ぶことで外交交渉というもののイメージをとらえることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 歴史とは何か：「国民の物語（フィクション）」？
2. 外交の主体と国際構造
3. 「ワシントン体制」は存在したか
4. 日本の連盟脱退における外交的意図
5. 英米の東アジア政策形成における天羽声明の位置付け
6. 四国借款団とホーンベック構想
7. 中国幣制改革とリース＝ロス構想
8. 重光葵と戦時外交
9. 朝鮮戦争をめぐる東アジア国際関係
10. 日ソ国交回復と北方領土問題

履修上の留意点

レポートの評価に際しては内容はもちろん、形式についても対象とするので、基本的な技術の修得に意欲のある学生の受講を望む。

成績評価の方法

レポート

教 科 書

山内志朗『ぎりぎり合格への論文マニュアル』（平凡社新書）2001年 700円  
藤原帰一『戦争を記憶する』（講談社現代新書）2001年 660円

参 考 書 等

加藤陽子『戦争の日本近現代史』（講談社現代新書）2002年  
細谷千博編『日米関係通史』（東大出版会）1995年  
木畑洋一・イアン＝ニッシュ他編『日英交流史1600—2000』第1～2巻（東大出版会）2000年  
波多野澄雄『太平洋戦争とアジア外交』（東大出版会）1996年  
季鍾元『東アジア冷戦と韓米日関係』（東大出版会）1996年  
田中孝彦『日ソ国交回復の史的研究』（有斐閣）1993年

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本法制史	しげのたかはる 茂野隆晴	政治2・3・4選	4

#### 講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り、法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。年間の通史の授業は時代区分に基づいて行うのがふつうである。近年では、近現代史のもつ重要性も強調されるようになってきているので、講義ではそうしたことにも配慮しつつも、本年は国初から近世までの4期の法制の特色を主に講述し、終りに『家』制度を行いたい。

年間の講義を受講することによって、日本の法文化への愛着が深まったといわれるようなればと思う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

序 日本法制史を学ぶにあたって

- I 日本法制史とは
- II 基礎法学のなかの法制史
- III 日本法制史の時代区分
- IV 日本法制史教育の沿革

第1章 上古（氏族法時代）

- (1) 総説 (2) 氏族制度 (3) 法の始源 (4) 法の分化

第2章 中古（律令法時代）

- (1) 総説 (2) 律令法

第3章 中世（武家法時代前期）

- (1) 法の系統 (2) 分国法〔国法〕 (3) 起請文

第4章 近世（武家法時代後期）

- (1) 織豊二氏の法令 (2) 徳川幕府の法令

終りに『家』制度と現代の法意識

政  
治

#### 履修上の留意点

史資料に則して行う授業ですのでテキストは必ず揃えて欲しい。また、授業中の私語は当然ながら厳禁ゆえ、守れない者があれば直接にも指摘することになる。

#### 成績評価の方法

年間1度の定期試験と出席点によって評価する。

#### 教科書

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円

#### 参考書等

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円。このほかにも、場合によりプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	政治2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066-1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造 封建制
    - 第3節 統治構造 封建制の解体
    - 第4節 法構造
  - 第3章 近世 (1350-1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

政  
治

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	また の 北 野 かほる	政治2・3・4選	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1章 法系
  - 第1節 近代法の法系
    - (1) 西洋近代法
    - (2) 二大法体系
    - (3) 大陸法系あるいはローマ法系
    - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
  - 第2節 イギリス法の特徴
    - (1) 一般的特徴
    - (2) 歴史的特徴
  - 第3節 英米法の分類
    - (1) 法域
    - (2) 法源
    - (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
  - 第1節 法内容の歴史性
    - (1) 歴史的連続性
    - (2) 法系としての特徴
  - 第2節 法観念の社会性
    - (1) 法の観念
    - (2) 法システムにおける裁判の位置
    - (3) 救済と権利
  - 第3節 法思考の実務性
    - (1) 総論
    - (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
  - 第1節 判例法
    - (1) 判例法
    - (2) 判決における法考察
    - (3) 判例法の考察
  - 第2節 判例法の理論
    - (1) 外枠
    - (2) 内実
    - (3) 先例性の判断
  - 第3節 制定法の解釈
    - (1) 制定法の位置づけ
    - (2) 厳格な分離解釈の理論

政  
治

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円  
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

昨年度から講義計画に変更が生じているため、シラバスが一部大きく変更になっている。試験準備には講義ノートが最も有効であるが、過年度のノートの有効性は大きく下がる。各自注意して出席し、ノートをとること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 社 法	あら き まさ なか 荒 木 正 孝	政治2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・  
授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、多くの人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を採り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原理を理解してもらうつもりである。

具体的には、①会社法総論として、会社の経済的機能、法的概念、権利能力などについて解説し、②会社の設立においては、株主有限責任の原則、資本に関する原則、発起人の意義・地位、定款の作成、会社の実体形成手続、設立関与者の責任、設立無効、設立登記などを説明し、③株式制度では、株式の概念、株式の種類、株式の併合・分割・消却、株式譲渡の自由と制限、名義書換、株式の担保化などに触れる。④会社の管理・運営については、機関の意義・特色・分化、株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、監査役について各種の問題点を検討する。

政  
治

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。商法は、民法を一般法とする特別法であるから、会社法に限らず、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層理解しやすい。ただ、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法＝財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履修していなくても受講には差し支えない。

平成13年度および14年度に重要な商法の改正が行なわれたので、必ず平成15年度版の六法をもって講義に臨んで下さい。

成績評価の方法

年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

鴻・落合・岩原・江頭編『会社判例百選』（第6版）（有斐閣）  
奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第3版』（成文堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経 済 法	岡 田 外司博 <small>おか だ としひろ</small>	政治2・3・4選	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容と実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

政  
治

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際紛争解決法	王 志 安 <small>おう し あん</small>	政治2・3・4選	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で説明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしつかりと取ってもらいたい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストや出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）、東信堂、2002、2,000円

参 考 書 等

市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

そ の 他

授業は power point を使って講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学原理	わた なべ ちと き 渡 辺 源 樹	政治2・3・4選	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会学的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 社会学とは何か 社会的事実/実証性 “予期せんがために見る” /社会学的分析/現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為 なぜ“action”からなのか/社会の基礎的単位として行為/行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程 人間の行為は“inter”して社会的となる/人間関係・社会関係・国際関係/交換/社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準 1、役割の取得-社会化 フロイドとパーソンズの“社会化の過程”を中心に
- 第5回 2、役割の準拠-準拠集団 準拠枠/所属集団と準拠集団/動機と態度の概念
- 第6回 3、役割の葛藤/マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム/マージナルマンとして青年期/マージナルマンとして職場人間
- 第7回 社会統制と逸脱行為 1、規範と同調-逸脱の次元 行為と社会的秩序/サンクション・パターン
- 第8回 2、ラベリングと予言の自己成就 印象操作/シンボルとシンボル操作/逸脱とラベリング/予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論 マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団 1、社会集団とは何か 集団の特質/集団の分類/家族と企業体
- 第11回 2、集団の構造と機能 社会有機体説と構造・機能/機能連関/機能要件(AGIL図式)
- 第12回 3、地位と役割 集団の単位としての役割/ロールセット、地位系列/業績的地位・帰属的地位
- 第13回 4、集団のリーダーシップ 集団目標/集団効果性/ホワイトのリーダーシップ論/PM理論とリーダーシップ
- 第14回 5、集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉一性/集団規範/凝集性を高める条件/モラール
- 第15回 集団・文化・パーソナリティ
- 第16回 組織論と官僚制 1、組織の一般理論 現代社会と組織体/組織の一般理論第17回
- 2、官僚制組織の基本原理解 ウェーバーの支配の3類型/官僚制組織の基本原理解(ウェーバー、ミヘルス)/支配・権力・権威
- 第18回 3、官僚制組織の動態 官僚制組織における“目標の転移”/ホーソン実験/ゲルドナー、ブラウの官僚制論
- 第19回 社会意識 1、社会意識とは何か 社会意識の2つの途/マルクスとウェーバー
- 第20回 2、ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第21回 3、社会的性格 i) フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として第22回 ii) ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第23回 4、社会的態度(社会心理) 行為の科学的説明/ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第24回 全体社会の構成 1、経済と社会…経済と経済社会学/産業社会・消費社会/経済の国際化・従属理論
- 第25回 2、政治と社会…政治と政治社会学/権力/政治文化 3、法と社会…法と法社会学/法の機能/規範 4、教育と社会…教育と教育社会学/学歴と社会移動
- 第26回 社会成層の社会学 階級と階層/職業構成/社会移動/地位の一貫性・非一貫性/成層研究の課題

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教科書

開講時に提示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 政 学	さと なか つね し 里 中 恆 志	政治2・3・4選必	4

講義のねらい

経済生活の中で公共部門の占める比重は確実に増加しつつある。財政学は公共財政経済を対象とする学問であるが、そこでは市場経済原理の私経済とは異なる原理が作用する。公経済は租税徴収等による資金調達と、それをとおしての財政支出によらねば需要を充足できない経済領域である。したがって租税負担分配の方式、財政支出基準の考え方を問題にする。経済社会の変遷につれて負担の方式や支出基準についての考え方も変化する。そして公経済の比重が高まるにつれて、公経済と私経済の相互のかかわりもますます重要になる。

国民が財政意志の形成に参加する方法は民主主義の手続きをとおしてであるから、有効な財政政策の実現のためには、国民が財政をコントロールするルールと、その背後に作用し合う諸力について理解していなければならない。国民はまた財政政策に対する基礎的な判断基準をもっていないなければならない。このような観点から財政意志の形成過程、租税徴収による負担の分配、歳出の効率と合理性、財政の総需要管理政策について講ずる。

講義の進め方はまず財政意志の形成過程では予算の編成手続きの理解から入る。歳入面については租税収入を主要税種別に扱い、つぎに歳出面について主要経費別の考察を進める。さらに公経済の私経済へのかかわりについて総需要管理政策を講ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール

(第1週) 講義内容の紹介と年間授業計画の説明 (第2週) 公共財と公共部門 (第3週) 財政の歴史概略 (第4週) 予算編成と主計局の査定 (第5週) 予算編成と政党政治 (第6週) 予算政府案と議会審議 (第7週) 予算の執行と競争入札 (第8週) 予算の政治過程 (第9週) 租税原則学説 (第10週) 給与所得税と課税の普遍性 (第11週) 申告所得税と累進課税 (第12週) 法人税と徴税技術 (第13週) 国際化と移転価格税制 (第14週) 一般消費税と付加価値 (第15週) 地方税と地方歳出 (第16週) 地方財政費と財政調整の制度 (第17週) 機関費と純粋公共財 (第18週) 公共事業費と費用=便益分析 (第19週) 公共事業費と公共財産の形成 (第20週) 社会保障関係費と所得再分配 (第21週) 補助金とスビルオーバー (第22週) 公債費と公債負担 (第23週) 総需要管理政策と国民所得の決定 (第24週) 課税乗数と均衡予算定理 (第25週) 公債による財源調達と債券価格 (第26週) 大量国債の累積とその限界 (第27週) 財政金融政策と国際収支 (第28週) 財政投融资と政府貯蓄 (第29週) 試験と評価についての説明 (第30週) 試験

授業の配当曜日によって年度授業回数に若干の異動があり、予定どおりの時間数が組めないことがある。その場合は一部予定を割愛することがある。

履修上の留意点

法学部には関連科目として経済学分野の「経済原論」及び「経済政策」の講義が設けられている。「財政学」は経済と政治の学際的な分野の科目であるから、こうした関連科目を履修することが望ましい。他学部履修の制度も活用が望まれる。

成績評価の方法

成績評価は学期末テストとして行われる試験による。試験は論述式による。自筆のノート持ち込み可。

教科書

里中恒志=八巻節夫編著『新財政学 [改訂版]』(文眞堂) 3,143円+税

参考書等

大蔵省大臣官房調査企画課長編『図説日本の財政』各年度版(東洋経済新報社)  
野口悠紀雄著『公共政策』モダン・エコノミックス12(岩波書店) 2,000円  
中谷巖著『入門マクロ経済学』(日本評論社) 3,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの かつみ 浅野 克巳	政治2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ経済学
  - 1. 経済循環と国民所得の諸概念
  - 2. 所得はどのようにして決まるのか
  - 3. 45度線モデルとI-Sバランス
  - 4. IS-LM分析と財政金融政策
  - 5. 経済の変動と成長
  - 6. 賃金・物価・インフレーション
  - 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
  - 1. 市場と価格メカニズム
  - 2. 消費者行動の理論
  - 3. 企業行動の理論
  - 4. 不完全市場とは何か
  - 5. 市場の失敗
  - 6. 不完全情報の経済学
  - 7. リスクと不確実性
  - 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

政  
治

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）  
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

その他

経済学部浅野ゼミ HP の『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込み OK！ 大いに利用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済政策	もり おか じん 森 岡 仁	政治2・3・4選	4

講義のねらい

経済学の実践部門としての経済政策が自由主義経済に成立した過程と、そこではたす役割を明らかにする。人口高齢化や少子化の経済的帰結にも言及し、最後に高齢化社会における経済政策と人口政策の関係を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

I. 現代経済と経済政策 II. 経済政策学の発展 III. 現代経済政策の課題 IV. 経済の成長政策 V. 経済の安定政策 VI. 産業組織政策 VII. 社会均衡化政策 VIII. 経済政策と人口政策

履修上の留意点

日常生活に生起する経済問題に日頃から関心を抱き、自分達の身の回りにある経済問題の解決手段として経済政策を考え、学ぶことが大切である。

成績評価の方法

学年末の定期試験、授業の出席状況

教科書

森岡他著『現代経済政策』（千倉書房）1975年

政  
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
農業政策	みぞ て よし かず 溝 手 芳 計	政治2・3・4選	4

講義のねらい

農業のあり方は、様々な問題に関わってくる。現代の農業は、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が重要となり、経済の国際化の中で農業の位置付けを問われている。農業に携わる人々にとっては、安定した就業条件、収入確保が必要である。消費者にとっては、適正な価格で良質の食料が安定的に供給されることが望まれる。農業が自然環境や生態系に及ぼす影響、国土保全機能などいわゆる多面的機能に対する関心も高まっている。地域作りや住宅問題では、農地の扱いもかかわってくる。授業では、こうした事実を念頭に置きつつ、現代日本の農業政策と関連分野の政策の構造を明らかにするとともに、その背景、経済学的意義、問題点も検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- 農業に関わる諸問題の概況を説明し、問題状況のイメージをつくる。
- 土地利用産業、生物資源培養産業といった農業の産業的特性について考察するとともに、それらの現代的展開を紹介する。
- 戦後日系の農業政策の流れを概観したうえで、WTO体制の下での農政の特徴を示す。
- 食品安全、環境、土地、住宅、地域振興など関連分野の政策が農業政策に及ぼす影響を検討する

履修上の留意点

出欠票をかねた「コミュニケーション・カード」を配布するので、授業の感想や質問を書くこと。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とするが、出席状況も考慮に入れる。

教科書

使用しない。授業時にレジュメ、資料等を配布する予定。

参考書等

- ・井野隆一ほか『農業問題入門』（大月書店）
- ・北出俊昭『日本農政の50年』（日本経済評論社）
- ・田代洋一『日本に農業は生き残れるか』（大月書店）
- ・食糧政策研究会編『WTO体制下のコメと食糧』（日本経済評論社）
- ・中野一新編『アグリビジネス論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
工 業 政 策	おく やま まさ ゆき 奥 山 雅 之	政治2・3・4選	4

講義のねらい

我が国の工業を題材として、その生産構造の特徴を確認しながら、海外生産の加速や空洞化の進展といった状況のもと、その展望と工業政策の方向を考察する。また、環境との調和、新産業育成、産学連携といった今日的課題についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

- ①日本産業における工業の役割と特徴
- ②生産構造の変化と生産の海外化
- ③大都市工業、地方工業の実態と課題
- ④工業政策の今日的課題（環境との調和、新産業育成、産学連携など）
- ⑤我が国工業の展望と工業政策の今後

履修上の留意点

講義を通じて「ものづくり」産業の役割や重要性について再認識することを目標とする。

成績評価の方法

成績は学年末試験で評価する。ただし、レポート提出等も評価の対象とする。追試・再試は行わない。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

加藤秀雄著『ボーダレス時代の大都市産業』新評論。その他、必要がある場合には、授業で別途案内したい。

そ の 他

多くの企業事例を紹介しながら、今後の日本の「ものづくり」産業について一緒に考えていきたい。

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	ばん ば ひろ ゆき 番 場 博 之	政治2・3・4選	4

講義のねらい

商業政策（流通政策）とは、流通に関わる企業の活動に対する公的な介入（政策）を意味する。日本ではグローバルスタンダードの名のもとに規制緩和が進んでいるが、欧米では必ずしもそうではない。日本の商業政策とは何か、どのような特徴を持つのかを本講義では考えて行く。

講義の内容・授業スケジュール

前期は総論、後期は各論を行う。総論では流通経済学の基本的事項を概説し、そのあと日本の商業政策体系を解説する。各論では競争政策と出店政策を中心に説明する。また、講義の流れとは別に、テーマ講義を数回行う。そこでは、現在問題となっている商業政策・流通に関するテーマを取り上げて、1回完結の講義を行う。詳細なシラバスは開講時に配布する。

成績評価の方法

原則として定期試験の結果のみで評価する。必要に応じて小レポートを課すことも検討しているが加点の程度は高くない。

教 科 書

前期の総論では使用しないが、後期の各論では使用する予定である。書名等は後期の開講時に提示する。

そ の 他

講義ではOHC（教材提示装置）ならびにビデオを用いて、より具体的に商業政策にかかわる問題を見て行くこととする。講義の多くで教員の方で用意した書き込み式プリント、統計資料などを用いる。

問い合わせ先、E-mail: h2banba@cuc.ac.jp、HP: http://www.cuc.ac.jp/~h2banba

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 財 政 論	しのはらあきらの 篠原章	政治2・3・4選	4

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編] (主として前期)

1. 地方財政論を学ぶということ
2. 地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編] (主として後期)

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄問題と地方分権
4. 地方財政と地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：高齢化と地方財政
7. ケーススタディ：「東京」の社会経済学

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と授業時の課題（レポート）等によって総合評価する。再試験実施。

教科書

片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『地方財政論』（税務経理協会刊）2,800円（本体価格）

参考書等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

その他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メール（akirashinohara@ma2.justnet.ne.jp）でも受けつける。また、篠原ホームページ（<http://www.daito.ac.jp/~akirashi/>）にも講義関連の情報を掲示するので活用してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 域 計 画 論	こ 今 の し ゆう へい 野 修 平	政治2・3・4選	4

講義のねらい

地理学の研究対象である地域は、自然、歴史等の基礎条件の下、市場原理に基づく資本の動向と、社会的意志決断による政策選択により大きく影響を受け、日々新たになりつつ未来へ向けて人々の努力が続けられている。

本論は社会的意志決断による政策選択を主として取上げ、これが地域形成にもたらした影響とこの政策の在り方を考えることを講義のねらいとしている。地理学にとって Sein の科学から Sollen の科学への道を切り拓こうとするものでもある。

戦後体制の中で体系化している準拠法、行政体系、政策の沿革等を認識した上で、体系上の基本計画となる全国総合開発計画を詳細に取上げ、現在審議中の次なる全国総合開発計画にも触れる。学習の一環として実地に則した学習の一つとして、夏休みには「ふるさとの未来像」と取り組むこととしている。

履修上の留意点

本講義の関連科学として最も密接な領域は経済政策、交通計画、都市学、環境生態学等多岐に亘るため、幅広い学習が求められると共に、これを克服していく熱い情熱と意欲が求められる。

成績評価の方法

成績の評価は、夏休みに取り組む「ふるさとの未来像」の取組みと、年度末試験によるが、途中何回かの小論文テストとレポートがあり、重要事項の復習と思考力および論文作成能力向上のトレーニングを行う。

教科書

とりえず『第4次全国総合開発計画』（国土庁刊）を使用するが、国における政策の進展状況によっては、新しい刊行物を追加利用する。またコピーや OHP での資料配布等も随時行なう。

参考書等

参考図書等は講義中紹介する。

その他

地域を地域住民の手で自らつくり上げていく上で、取り組むべき姿勢、不可欠な視点、基礎認識として必要な学識、計画策定への思考方法の最も基本的領域に取組み、地域づくりの主人公としての市民が持つべき責務を痛感させられる講義にしたいと念じている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学特殊講義(1)(前期)	み たげ なお や 三 竹 直 哉	政治2・3・4選	2

講義のねらい

この授業では、他の社会と比較することを通じて、私たちの住む日本の社会や私たち自身について、よりよく理解することを目的とします。外国の話がよく出てきますが、日本の社会や自分たち自身のあり方を考え、よく知ることが目的です。  
この授業では、必ずしも私が専門的に研究していることを取り上げるわけではありません。みなさんと一緒に、考えたり悩んだり面白がったりする授業です。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期には、なるべく日本の政治学ではあまり取りあげられないトピックを取りあげます。特に、社会の中の価値観が問題になるトピックに重点を置きたいと思います。トピックの例は、昨年度の授業内容を載せてある下記のホームページの、「比較社会論」のところを参考にしてください。(まったく同じトピックを取りあげるかもしれませんが、違うトピックを取りあげるかもしれません。)その他、この授業についての最新情報も、このホームページで確認してください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3・4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたいと思いますので、そのつもりで参加してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は<必ず>参照してください。なお、2003年度用の情報は、2003年4月に入ってから確認してください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

教 科 書

授業で指示します。

参 考 書 等

適宜、授業で紹介します。

そ の 他

授業では、みなさんがせつかく6年間(以上)も勉強した英語がさびつかないように、英語に接する機会を少しでも多く作るようにします。英語の資料は英語のまま見せたり配布したりします。

ホームページにこの授業用の掲示板を設けますので、質問や話し合いに使ってください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学特殊講義(2)(後期)	うち うみ ま り 内 海 麻 利	政治2・3・4選	2

講義のねらい

近年、社会情勢の変化の中で、市民参加・市民活動が注目されている。特に前者は、政策形成プロセスにおける参加を意味する場合が多く、これは行政が主として担う「公共性」と市民が望む「公共性」との乖離をうめようとするものである。他方、市民活動においては、自治に対する自主的な取り組みやNPO等による公益活動の急速な展開により、地域社会が育て担う「新しい公共」の存在が顕在化している。しかし、こうした市民を中心とした政策形成プロセスや公益活動等には、合意形成や一定の秩序を生み出す政治システムが必要とされる。本講義は全国の事例を通じて市民と公共性との関係を政治という観点からとらえ、その体系と理論、実践手法について学生諸君の専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業では、主として次の視点につき講義するが、その内、数回、市民参加や市民活動の場に出向きヒヤリングや体験授業などを行う。なお、詳しい授業スケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

- ・市民と公共性
- ・市民団体と市民活動
- ・政策形成プロセスにおける市民参加
- ・合意形成とその手法
- ・コミュニティ・ガバナンス

政  
治

履修上の留意点

受講期間に身近な地域の市民参加や市民活動に参加、見学されることが望ましい。

成績評価の方法

授業への出席、レポート、学期末試験の成績などを中心に評価する。

教 科 書

特に教科書は指定しない。

参 考 書 等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学特殊講義(3)(前期)	おおしまとしひこ 大島 稔彦	政治2・3・4選	2

講義のねらい

国会における立法の機能を中心に、地方議会も含めて、議会の構成・組織・運営について、法制度と実態の相互関係を検証しながら、概観する。日本の政治を理解するためには、一つの重要な要素として、国会法を中心とする議会関係の法規とその運用の理解が必須であり、制度論に偏らず、現実の政治の動きと絡めて見ていきたい。また、公務員志望者にとって、議会に関する実際の理解は、実務的な面でも有用だろう。

講義の内容・授業スケジュール

議会、特に国会について、機能面からは、法律の立法、行政の監視・コントロール、与野党による国民の政治的意思の集約などに注目する。構成については、議会制民主主義のあり方を踏まえて、選挙制度と審議・意思決定方法を検討する。組織面では、組織としての議会・その補佐・事務局機構を総合的に把握し、運営面からは、意思決定過程、政党・会派の役割、先例と個別の政治状況との関係などを分析する。法制度としては、国会法、議院規則、関連法規・選挙法などの内容に触れ、また、適宜、外国の議会制度を参照する。以上の各側面を通じて、日本の議会制度と議会関係法規の実際の特色を明らかにしていきたい。

履修上の留意点

憲法をはじめとする国会法、選挙法などの関係法規も参照されたい。

成績評価の方法

基本的には課題テーマについてのレポート提出による。出席状況も加味する。

教科書

大石真『議会法』有斐閣（有斐閣アルマ）2001.12発行 本体1,600円

参考書等

講義で紹介

その他

講義形式（場合によりディスカッションを併用したい）

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学特殊講義(4)(後期)	おおしまとしひこ 大島 稔彦	政治2・3・4選	2

講義のねらい

立法過程は、政策立案・法案立案過程と、審議過程に分けられる。また、立法は、政府立法と議員立法とに分けられる。それぞれについて、具体的な問題を通し、(講師の)体験を踏まえて、さまざまな関連要素を検討しながら、日本の立法過程の全体像と特色を明らかにしていきたい。議会関係法論と同様、日本の政治の理解にも公務員志望にとっても、必要かつ有用と考える。さらに、立法後のフォローアップとフィードバックのあり方についても検討し、立法(政治)学へのパースペクティブを試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

政策と言われるものが、どのように生まれ、どのような経過を辿ってどのような結末を見るか、立法事実の認識、政治状況、行政庁の作業・役割、審議前過程における与党事前審査・野党への根回し、政党の関わり、議員の役割、国会補佐機構の関わりなど、さまざまな要素を踏まえて、概観する。立法過程は、一般論が妥当しにくく、個別事例の分析を積み重ねることが必要であり、立案と審議のそれぞれについて理念的なあり方とその実際を、具体的な事例を参考に検証する。

履修上の留意点

できるだけ主要日刊新聞（特に政治面）一紙は読んでほしい。

成績評価の方法

基本的には課題テーマについてのレポート提出による。出席状況も加味する。

教科書

未定

参考書等

講義で紹介

その他

講義形式（場合によりディスカッションを併用したい）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外書講読Ⅰ(英書)	おお やま れい こ 大 山 礼 子	政治3選	4
外書講読Ⅱ(英書)		政治4選	

講義のねらい

ダールの名著『デモクラシーとは何か On Democracy』に原書で挑戦する。

講義の内容・授業スケジュール

訳書を参照しつつスピードを上げて読むところと、じっくり英語の文章を分析するところを織り交ぜながら、一年間でまとまった量の英文を読破する。履修者は英語の専門書を一冊読みとおす気構えで取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

平常点による。

教 科 書

Robert A. Dahl, *On Democracy*, Yale University Press. 1998. (ペーパーバック版 Nota Bene Series で可)

参 考 書 等

ダール、中村孝文訳『デモクラシーとは何か』(岩波書店)

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外書講読Ⅰ(英書)	とみ さき たかし 富 崎 隆	政治3選	4
外書講読Ⅱ(英書)		政治4選	

講義のねらい

英文で書かれた、新聞やインターネット上の情報を理解し、さらに英文で政治学論文を読むための基礎的な読解力を向上させることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

まずは、英字新聞・雑誌、英文のインターネット記事を材料に、政治的事件を探りあげていきたいと思います。次に、近年の現代政治学論文を素材として使用する予定です。ただし、文献内容は受講生と相談して決めます。

履修上の留意点

演習形式で行います。

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(英書)	み たけ なお や 三 竹 直 哉	政治3選	4
外書講読Ⅱ(英書)		政治4選	

講義のねらい

英語で、比較政治学分野の専門的な文献(本や論文)を読むことに挑戦します。

講義の内容・授業スケジュール

この外書講読では、日本語訳を作ることは一切しません。実践的に、英文を英文のまま理解し、できるだけ早く読めるようになることを目指します。  
最初の数回で、新聞記事などを使って、訳さずに早く読む練習をします。  
後は、グループで専門的文献を読んでいくことになります。

履修上の留意点

他の参加者と一緒に助け合いながら読んでいきますので、英語力はそれほど気にする必要はありません。入試の英語に準備をした人であれば十分です。むしろ、英語で専門文献を読むので、日本語で専門的文献を読んだことがある、もしくは読むつもりのある人が対象になることに注意してください。

授業時間は、グループ作業が多くなりますので、必ず毎回出席することが前提になります。重くても、必ず中辞典以上の辞書(電子辞書は不可)を持参してもらいます。

成績評価の方法

平常点によります。ただし、病気等で欠席が多くなってしまった人や授業態度に問題があった人などは、特別に試験を行った上で単位認定します(この場合、試験は定期試験期間外に行います)。

教科書

英文の本を指定するかもしれませんが、その場合、授業中に案内します。

参考書等

なし。

その他

詳しい情報は、三竹ゼミのホームページで確認して下さい。  
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

政  
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(独書)	まつ むら いたる 松 村 格	政治3選	4
外書講読Ⅱ(独書)		政治4選	

講義のねらい

外書講読の授業は、大学生活のなかで本格的な専門書に親しむことによって真の学問の妙味を味わうことにある。小中高の受験語学では経験できない学問のすばらしさを体験する時間である。この授業では、ドイツ語の原書を読むことによってその体験をする。受講生の語学力に合わせて読み合せていくので心配はない。

講義の内容・授業スケジュール

教材には、刑法の基本をわかりやすく説明した文献を使用する。

履修上の留意点

何よりも意欲と熱意と関心が肝要である。ドイツ語力を必要とするが、初めてドイツ語に接する学生でも2年間で飛躍的に上達して、大学院にドイツ語で受験して合格していった卒業生が過去数名いた。興味のある専門書を通して語学力をのばすこともできるのである。

成績評価の方法

成績の評価は、毎週の努力度によって行うだけである。試験はしない。

教科書

教材は、上記のテーマに関係するものをコピーして渡す。

参考書等

その都度指示する。

その他

授業は、順番に翻訳部分を分担し、問題点を議論していく。原書の読み方は、丁寧に指導するから心配ない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(仏書)	あらきまさたか 荒木正孝	政治3選	4
外書講読Ⅱ(仏書)		政治4選	

講義のねらい

わが国が近代国家として出発するとき、ヨーロッパ諸国の法制度や政治制度に多くを学んだ。そして、その諸制度は基本的に現在もわが国を支える枠組みとなっている。これらの諸制度が、本来どのような考え方を基礎として生まれ、どのような社会的、政治的背景のもとに発展してきたのかについて、フランス語の原書の購読を通して母国語の思考や事情を学び、わが国の制度をより広い観点から深く理解する力をつけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

教材は、受講生の語学力に合わせ、公法や私法の基本的な考えや政治の仕組みをやさしく解説した文献を選ぶつもりである。

履修上の留意点

履修にあたっては、基礎的なフランス語の力が必要であるが、なによりも継続して文献の解説に取り組む熱意のあることが求められる。

成績評価の方法

成績は、出席の回数と平常の努力を評価して行う。ペーパーテストは行わない。

教科書

教材については、必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

参考書は、授業の内容に応じてその都度指示する。

政  
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(中国書)	こうりんひでもと 江林英基	政治3選	4
外書講読Ⅱ(中国書)		政治4選	

講義のねらい

現在の中国は経済の改革・開放政策をとっており、これを実現するため、1982年に四回目の新憲法を制定・施行し、その後三回にわたる改正を行った。その他の法律もこの憲法に基き、“雨後春筍”のようにつぎつぎ公布された。“一衣帯水”の隣国である中国を認識することが必要である以上、その法制から着手しなければならないのである。

講義の内容・授業スケジュール

この授業は中国憲法138条の条文に書かれている中国の内政と外交方針、国民の基本権利と義務、人民代表大会の権限、人民政府の組織などを主な内容とする。

履修上の留意点

授業の進度は一週間5ページ程度である。学生諸君に朗読させ、法律用語、条文の構造(文型)を説明しながら立法理由と現在状況を論評する。

成績評価の方法

出席率、学習態度、レポートなどを判断基準として総合的に評価する。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

江英居著『中国憲法』(大学書林)3,500円、『中華人民共和国法律滙編』(北京人民出版社)

その他

学生への要望：授業中私語禁止。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(スペイン書)	ま しろ ゆう いち 真 下 祐 一	政治3選	4
外書講読Ⅱ(スペイン書)		政治4選	

#### 講義のねらい

新聞記事から専門書まで多岐にわたる分野のスペイン語テキストの読解力を養います。精密な読解力は個性ある表現力の基礎ともなります。思考力を鍛え、感覚を研ぎ澄まし、感情を豊かにするための場として講読を役立ててください。「わたしの着手する仕事は果てしなく大きい／最期の時まで私の課題となるであろう／宇宙全体にまさるともおとらず神秘的な試み／わたしはそこで見習にすぎない」とは読書という行為によせたボルヘスの言葉です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

現代のスペイン語文に親んでもらうため、できるだけ多くのテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。

#### 履修上の留意点

個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけて講読が行えるようテキストの選定にあたります。動機を明確にしておきましょう。

#### 成績評価の方法

毎回の積極的な授業参加を評価します。

#### 教科書

初回の授業で受講者と話し合って決定します。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代企業論(前期)	しろ た じゅん 代 田 純	政治3・4選	2

#### 講義のねらい

野村證券株式会社の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとし、野村證券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回で講義される。講義では、証券市場に密接に関連する経済情報の捉え方からスタートし、株式や、債券、投資信託などの基礎を解説した後、資産運用とライフプランニング、資本市場と投資家心理などの実践的課題に接近し、最後にはベンチャービジネスにも言及する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報の捉え方
- 3 経済成長と金融資本市場について
- 4 証券投資のリスク・リターンについて
- 5 株式市場の役割と投資の基礎知識について
- 6 債券市場の役割と投資の基礎知識について
- 7 投資信託の役割とその仕組みについて
- 8 ポートフォリオ・マネジメントについて
- 9 市場のグローバル化と証券投資について
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場における投資家心理について
- 12 個人投資家と証券ビジネスについて
- 13 ベンチャービジネスとIPOについて

#### 履修上の留意点

遅刻、途中退室は認めない。講師の都合でテーマが変更されることもある。

#### 成績評価の方法

定期試験による。再試験はない。但し、レポート提出者には加点する。

#### 教科書

毎回、講義資料が配布される。指定参考書として、代田純『日本の株式市場と外国人投資家』(東洋経済新報社)2002年を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	浦田早苗	政治3選	4

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

14年度は共通テーマとして「変革期の世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われている。前期の発表は『EUとNATO～欧州安全保障～』、『大学教育改革』、『ODAのあり方』、『自衛隊～日本の安全保障～』、『(パネルディスカッション) 議員秘書制度の是非』、『(パネルディスカッション) 個人情報保護法の是非』、『(ディベート) 外国人参政権の是非』、『(ディベート) 首都機能移転の是非』というものであった。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならない。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ意欲によって評価する。

教科書

文藝春秋編『日本の論点2003』(文藝春秋、2,700円)

その他

学内外のディベート戦に積極的に参加すること、及び年2回の合宿とゼミ論集の刊行を励行している。

政  
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	内海麻利	政治3選	4

講義のねらい

本演習は、社会情勢が変化し、その変革が求められる都市政策・地方行政・市民参加・まちづくりに関連し、柔軟な発想から問題意識を持ち、実践的かつ創造的な新たな知見を自ら探求するとともに、その解決策を提起できる能力を引き出し伸ばすことを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

研究期間内において各人が行う研究スケジュールやプログラム(問題意識の発掘、研究テーマ・方法の設定、関連文献の収集及び実地調査、考察とりまとめなど)を自ら作成し、問題意識に対する新たな知見や解決策を自主的に進める。主にゼミでは発表・報告、ディスカッションを中心に各研究内容を議論する。

履修上の留意点

ゼミの運営自体も学生の主体性を重視するため、積極的なゼミ活動への参加が望まれる。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、ゼミに対する意欲などを総合的に評価する。

参考書等

個々人の研究テーマに応じて適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	おおやま れいこ 大山 礼子	政治3選	4

講義のねらい

今年度は、民主政体における政治制度の中心的存在である議会について、多角的に検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、議論の前提となる知識を得るために、国会について解説した本を全員で読む。章ごとに担当者を決めて発表してもらい、疑問点などを議論する。後期には、それぞれの問題関心に応じて個別のテーマを設定し、研究を深めることとしたい。参加者の希望に応じて、国会見学などの機会も設ける。

履修上の留意点

日頃から新聞の政治面の記事を読み、積極的に討論に参加すること。

成績評価の方法

平常点による。

教 科 書

大山礼子『国会学入門』（三省堂）（2003年3月までに新版刊行の予定）

政  
治

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	しま ほん ひろ あき 島 原 宏 明	政治3選	4

講義のねらい

手形・小切手法のケース・スタディを通じて、法律行為論の基本的な考え方を身に付けることを目標としている。この分野は技術的な性格が強く、論理的な思考力が要求されるため、調べることに同時に、自らの頭脳で考えることが大切である。

講義の内容・  
授業スケジュール

3年次は、モデル化された事例を材料とし、思考力を養うことに重点を置いて学習を行っていく。

履修上の留意点

現時点においては、民法・商法に関する予備知識が無くてもかまわない。ただし、ゼミというものは、あくまで学生諸君が自らのエネルギーによって創造していくものであるから、常に自分をアピールできるようにしておく必要がある。

成績評価の方法

平常点による。

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

年2回、春と夏に合宿を行う他、適宜ソフトボール等のスポーツを行う機会を設けている。  
(法律と共通)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	はや かわ よし ま 早 川 純 貴	政治3選	4

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成15年度の前期テーマは「日本外交の現状と課題」である。アメリカとの軍事協力・経済摩擦問題、北方領土問題を含む今後の日露関係、経済成長著しい中国とのこれからの関係、過去の「謝罪」が影を落とす韓国との問題、などを取り上げ、これまでの外交政策形成過程を探りつつ、日本の国益とは何か、そして健全な両国関係はいかに構築されるべきかを考えてみたい。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教 科 書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ひ かき かん じ 日 笠 完 治	政治3選	4

講義のねらい

研究としては、最新の憲法問題を常にフォローすることを目標とする。教育的には、受講者が関心のある憲法問題について研究する能力を獲得することを目標とする。研究会としては、一生涯にわたって付き合いのできる仲間づくりを考えている。

講義の内容・授業スケジュール

第1段階は、社会事象への深い関心の惹起、憲法学の基礎能力の修得（教科書レベル）。  
第2段階は、専門書や法律雑誌掲載の論文を理解する能力の修得（社会で通用するレベル）。  
第3段階は、各自が専門的な意見を発信することができる能力をもつ。

履修上の留意点

積極的で責任感のある学生諸君の演習参加を期待している。  
演習Ⅰと演習Ⅱを続けて履修してもらいたい。  
3年次は個別演習を繰り返し行い、基礎力を充実する。

成績評価の方法

3年生は、日常の研究活動について、積極性、成果などにに基づき評価する。

そ の 他

ゼミとして夏合宿などを行う予定である。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	村 井 良 太	政治3選	4

講義のねらい

本演習は日本政治史に関わる良書を輪読し、議論することを通じて政治への理解を深めることを目的としています。なかでも政党政治の機能や展開に注目し、私たちが手にしている民主主義の実際についても考えてみたいと思っています。加えて本演習を通じて、読む、書く、話すという基本的な技術を身につけてもらうことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、論文を用いたり、本を指定したり、学生とも話し合いながら決めていきます。テーマは日本政治史を中心に、概ね政治、外交、国際関係などに関わるものと考えています。始めは論文など簡単なものを用いますが、最初に一冊だけ教科書を指定しておきます。このような輪読とは別に、同様のテーマでレポートを書き、ディベート等を行います。

履修上の留意点

履修する学生には、たくさん本をまじめに読み、考え、出席し、積極的に発言しあうことが求められます。それを楽しみと感じる学生を歓迎します。

成績評価の方法

成績は、出席、報告、発言、レポートなどから総合的に判断されます。演習は他の講義以上に、教官、学生ともに参加者全員でつくりあげていくものです。その貢献は評価の対象になります。積極的に参加してください。

教科書

テキストは、演習のなかで随時決めていくこととなりますが、渡辺昭夫『日本近代8 大國日本の揺らぎ』（中央公論新社）2400円＋税をまず指定しておきます。

その他

授業の方法は、基本的には、毎回、テキストを指定して、それを輪読しながら議論することになります。報告者はレジュメをつかって報告します。報告者以外の学生も、毎回、少なくとも一分間程度の発言を求められます。レポートも書き、時にはディベートもおこないます。新開講ですので、イベントや合宿をはじめ、いろいろなことを新たに生み出していきたいと思います。そんな意欲のある学生を求めています。

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あめ みや まさ や 雨 宮 眞 也	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

法律問題に対する着眼の仕方（問題点発見能力）、理論構成の仕方（問題解決方法発見能力）を修得し、自ら考える能力（問題処理能力）を育成することをもって、演習のねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

民法財産法部門に関する具体的事例を与え、各人が六法全書だけを頼りに、解決結果を導き出すトレーニングを行うことをもって、演習の内容とする。

履修上の留意点

民法財産法部門の教科書を精読して、基礎知識を十分に体得しておくことを要望する。法学は、自ら問題を解き自ら考えないと力が出ないものであるが、自ら考えるためには、それに必要な基礎知識（教科書知識）が必要不可欠である。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

問題に応じ、その都度、指示する。

その他

各週毎に、具体的事例についての解答の作成と、これに対する論評とを交互に行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	井 戸 正 伸 <small>い と まさ の が</small>	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

本演習では、現代政治理論における古典的著作の輪読を通じて、内容の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、ゼミ生全員で現代政治理論の古典を読んでいます。  
後期は、政治文化論、政党、利益集団、民主政への移行・確立論、福祉国家の「三つの世界」論など、現代政治理論の中から、学生自身がテーマを選んで、各自、個人研究を進め、その中間成果をゼミで発表し、最終的にゼミ論文を完成させることを目指します。

履修上の留意点

まずは出席すること。そして、わからない点はなんでも聞いてください。

成績評価の方法

ゼミ論文の内容とゼミへの熱意により総合的に評価します。

教 科 書

オルソン『国家興亡論』PHP 研究所  
オルソン『集合行為論』ミネルヴァ書房  
クラウチ／ストリーク編『現代の資本主義制度』NTT 出版  
ダウズ『民主主義の経済理論』成文堂  
レイバハルト『多元社会のデモクラシー』三一書房

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	大 塚 桂 <small>おお つか かつら</small>	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

政治学における基礎的的原理的研究をおこないます。基礎研究にあたっては、古典的文献の取り組みが不可欠です。政治思想・哲学に関心のある学生の参加を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

I 政治学の基本文献を輪読する。  
II 共通テーマを設定し、共同研究をおこなう。  
III ゼミ生各自が定めた個人研究の発表とそれに対する指導をおこなう。

履修上の留意点

一定の読書と思索をつみかさねてきた学生の参加を切望します。政治学原論か現代国家論を履修し、私の政治学に対する姿勢を理解してくれる学生さん、いらっしゃい！

成績評価の方法

平常点

教 科 書

M・ヴェーバー（脇圭平訳）『職業としての政治』岩波文庫、300円  
吉野 作造『吉野作造評論集』岩波文庫、620円

参 考 書 等

参考書として、拙著をあげておきます。図書館等で目を通しておいってください。大塚『フランスの社会連帯主義』成文堂、同『ラスキとホップハウス』勁草書房、同『多元的国家論の展開』法律文化社、同『多元的国家論の周辺』信山社、同『近代日本の政治学者群像』勁草書房。

そ の 他

4年次生は就職活動を最優先させます。金銭的負担（OB会・合宿等）、規則、束縛は一切ありません。年1～2回のお食事会を開催しますが、教員がゼミ生をご招待いたします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おか だ としひろ 岡 田 外司博	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

この経済法学演習では、主に独禁法に関する事件（審決・判決等）のうち、重要な法律問題を含むものを様々な角度から検討し、全員で討論することによって、事例研究の方法を学ぶとともに、現代日本経済と独禁法について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は10件、後期は5件（合計15件）の事例を研究する。前期の事例は予め選んだ審決・判決（最初の5件は独禁法以外の事件を素材とする）を各グループに割当て、グループの報告に基づいて討論する。後期においては、各グループが自主的に選んだ独禁法（もしくは企業）関係の素材について、文献調査や実態調査を踏まえた詳細な報告を中心に1事件につき2回分の時間をもって検討を進めることとし、各グループが自ら考えた論点について全員で討論する。

履修上の留意点

独禁法（もしくは企業）に興味のある学生の参加を希望する。

成績評価の方法

出席を最重視し、出席点に報告内容や質問・意見の回数に現れた意欲点を加味して成績評価を行う。

参 考 書 等

その都度コピーを配布するか、又は該当文献のコピーを指示する。

そ の 他

簡単な資料検索実習、見学等も予定している。

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	こ ぼ り のりお 小 堀 訓 男	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

国家は国際社会にあって、外部から受けるインパクトに対し、さまざまなリアクションを引起す。これを国家の行動と呼ぶならば、国家は国際社会のなかで行動するための何らかの基準があるのではないか、という素朴な疑問をもって、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などを研究の素材としてとりあげ、それらの事象を分析する。つまり、この演習では、国家には何らかの行動基準があるのではないかという問題意識をもって、諸種の国際事象を分析、考察する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回から第4回までの演習では、“国際政治とは、いかなるものか”をテーマに討論し全員が国際政治について共通の認識をもてるようにする。

第5回から第8回までの演習では、国家についての基礎的知識を得るために、国家論の諸説を整理する。殊に、国家・民族・階級について、各自研究し討論する。

第9回からの演習では、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などの具体的な事象について、興味あるテーマを各自が選び、その現象を分析しながら、国家の内部に包含されている民族や階級が、その国家の行動にどのように作用しているかを考察し、国家の行動基準の法則性の有無を検討する。

履修上の留意点

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。殊に国家の政策決定について興味をもっている学生の受講をのぞむ。

成績評価の方法

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

演習に関連したビデオ（20世紀の戦争の記録など）を見る予定である。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	しお いら 塩 入 みほも	政治3選	4
演	習	II		政治4選	

講義のねらい

行政法上の諸問題を取り上げ、演習を行う。他から教授されるだけの受動的な学問ではなく、判例及び学説を自分なりに分析・検討する作業を通じて能動的に研究し、報告し、且つ他の者と法律学的討論を行えるための能力を鍛錬することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

当演習は、学生諸君の主体性を重視し、毎回学生一人一人に研究報告をしてもらい、報告後に全員でディスカッションする、という形式で行っていく。テーマについては、行政法総則一般、行政訴訟法、行政手続法、情報公開法などの各分野から重要なテーマを選び、学生各自の希望を踏まえた上で割り当てる。

履修上の留意点

公務員、行政書士等の国家試験受験者には特に有意義であると思われるが、それ以外の者でも無論履修可能である。

成績評価の方法

平常点（出席・報告・発言等）により成績評価を行う。

教科書

未定

参考書等

初回授業の際に紹介する。

政  
治

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	たけ はな みつ のり 竹 花 光 範	政治3選	4
演	習	II		政治4選	

講義のねらい

世界の主要国——アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など——の憲法を比較考察することにより「日本国憲法」の正しい理解を行うとともに、それら諸憲法が定める制度——例えば、議会制度、内閣制度、裁判制度、人権保障の制度など——についても個別研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

各自がテーマを設定し個人報告を行うことを基本とする。報告終了後、質疑を中心に全員で討論を行う。なお、合宿の際は、統一テーマを設定し、グループ報告を行うことを原則としている。

履修上の留意点

ゼミの運営はでき得るかぎり、学生の自主性にまかせているので、ゼミ活動に積極的に参加することのできる諸君の応募を期待する。

成績評価の方法

出席点やゼミ活動への参加度等を中心に総合的に判断する。

参考書等

必要に応じて適宜紹介する。

その他

個人報告は義務ではない。従って希望者のみの報告となることもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	た 田 丸 だ い 大	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

本演習では、国あるいは地方の行政はどのように展開されているのか、具体的な行政活動や政策を取り上げ、その仕組みや問題点を考察することによって、今後の日本の中央・地方行政のあり方を探ってみたい。行政学は、とりわけ近年、現実の問題に深くコミットメントすることをその特徴とするが、現実の行政の観察、問題発見、提案能力を培うことが本演習の最終目標である。

講義の内容・授業スケジュール

- ゼミ生と相談して決めたいと思うが、現在のところ、以下を考えている。
- ①現代日本の政治・行政が抱える重要課題をいくつか取り上げ、そのテーマを素材にフリートークを行う（ゼミ生が各自の意見を述べ、その後自由に議論する）。
  - ②現代日本の政治・行政に関する基本的な文献を講読する。
  - ③ゼミ生がそれぞれテーマを設定し、個別であるいは共同で調査研究し、その成果を発表する。
  - ④ディベートを行う。

履修上の留意点

無断欠席は認めないので、注意すること。

成績評価の方法

出席・発表・発言などを総合的に評価する。無断欠席者には単位を与えないこともある。

教科書

適宜指定する。

その他

国家公務員あるいは地方公務員の実務家をゲストに迎え、意見交換を行う予定である。行政のあり方に興味関心のある者が受講対象である。なお、公務員志望者には、試験勉強の仕方・併願先のアドバイス・面接対策などを行う予定である。（公務員志望者を優先するわけではない）

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	とみ 富 さき 崎 たかし 隆	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

全体としては、現代政治学の理論的・実証研究（特に数量的研究）を「体験すること」を演習の主たる目的としていきたいと思えます。演習の雰囲気自体は、学生諸君と「創りあげていく」ものだとも思えます。そして、共同（及び個々に）で研究活動やその他の活動に参加していく中で、「現代政治をみる視点」を養って欲しいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

演習の第1の活動は、3年次における共同研究、4年次における卒業論文の作成です。ここでいう「研究」とは、本を読んでまとめることとは基本的に異なります。それは単なる「お勉強」です。本研究会における研究とは、従来世界中でも誰も「知らなかった」「そうであるといえなかった」政治現象を「そうである」と確認・発見する作業です。もちろん、そのためには多くの努力と創造性が必要です。

第2に、具体的な、みなさんの毎週の研究会での中心活動は、当面ディベート（模擬討論）になると思えます。毎週のディベートを通じて、政治学における基本問題に対する理解と問題発見をしてもらいます。研究会でのディベート実施の目的は、政治学の従来の議論の意義と問題点を探ることにあります。しかし、同時にディベートを通じ諸君の論理・実証・思考・討論能力を向上させてもらいたいと思えます。

第3に、研究会としてインターカレッジ・セミナーに参加していきたいと思えます。他の参加ゼミとしては、明治大学・中邨ゼミ・小西ゼミ、日本大学・青木ゼミ、拓殖大学・大谷ゼミなど（予定）があります。このセミナーでは、年1回の共同合宿や講演会、大学対抗のディベート大会などを行なっていく予定です。

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価します。

その他

積極的・主体的参加を期待したいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	なかの野 裕二	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

受講学生が1・2年次生の間を得た政治の知識と政治学の理論を、自ら選んだテーマの研究に応用することが目的である。  
そのため、受講生は自らの問題関心に基づいてテーマを設定し、調査・研究し、年度末に論文という形にまとめる。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回の演習の時間は、ゼミ論文作成までの研究中間報告と質疑応答にあてる。  
なお、本ゼミは例年、政治学科ゼミ対抗のディベート大会などに参加しているので、演習の時間を用いて、ディベート技術の習得と大会準備を行う。

成績評価の方法

平成16年1月締切（詳細日程は未定）の論文の提出、出席状況、報告内容、議論への積極的参加度、ディベートなどへの積極的参加度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

平成16年度は担当者が在外研究の予定である。そのため平成16年度の演習は開講されないの  
で注意してほしい。

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	にし西 おさむ 修	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

本演習は、日本国憲法にかかわるさまざまな問題点について、成立過程、解釈、各国憲法との比較などを通じて討究することを主たる内容とする。それゆえ、これまで日本国憲法の基礎的理解をしてきていることが前提になる。

講義の内容・  
授業スケジュール

年度はじめに簡単なシラバスを配布する。前年度における活動内容は、ゼミのホームページで公表している。

履修上の留意点

まじめに出席し、積極的に発言すること。

成績評価の方法

出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

教 科 書

拙著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー、2001年、1,500円＋税）、『日本国憲法はこうして生まれた』（中公文庫、2000年、1,143円＋税）、『日本国憲法を考える』（文春新書、1999年、690円＋税）など。

そ の 他

授業以外に年2回の簡単なボランティア活動、夏と冬（スキー＆スノーボー）の合宿、新入生歓迎と卒業生追い出しのコンパ、「ザ・ウエスト」（新聞およびゼミ論集）の作成などへの参加が求められる。各自がなんらかの役員（ゼミ長、レク担当、会計など）に選任される。合宿、コンパでは私の落語を聴かされることがある。  
(法律と共通)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	み 三 たけ な お や 哉 竹 直	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

比較政治学的な研究を自らやってみる演習です。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は特定の共通文献を参加者全員で研究し、後期は各個人のテーマで研究して論文を作成する形をとります。共通テーマは「異質性との共存」とし、共通文献には、移民（外国人労働者）政策関連のものをとりあげています。個人研究のテーマは自ら決め、必ず複数の事例を比較することになっています。

前期、後期とも、ゼミ運営の主体は学生のみなさん自身です。

履修上の留意点

たくさん書き、本や論文にたくさん接し、図書館にたくさん行ってもらいます。そういうことが「楽しい」と思う人向けの演習です。

この演習の内容は、下記のサイトで詳しく見ることができます。現在履修している学生のみなさんの様子もわかります。私の演習に応募される方は、<必ず>参照して下さい。

このサイトの内容を読んでおくこと、および、4月の授業開始時までに、受信制限のない電子メールアドレス（携帯電話のものは不可）を持っていること、インターネットを利用できる環境にあること（大学の自習室で可）ことが、履修条件です。（その他にもいくつか条件がありますので、下記のサイトで必ず確認してください。）

4年次にも就職活動と両立させて、きちんとゼミを続ける気持ちがあることも条件としています。

政  
治

成績評価の方法

平常点によります。詳しいことは下記サイトをご覧ください。

教 科 書

その都度、指示します。

参 考 書 等

その都度、指示します。

そ の 他

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>  
質問等は、遠慮なく下記までどうぞ。  
mitake@komazawa-u.ac.jp

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	やま ぐち く に お 夫 山 口 邦 夫	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

政治学科に配当されている刑法の履修だけでは不十分なので、刑法各論の聴講を前提とする。刑事政策的感心があれば望ましいであろう。

講義の内容・  
授業スケジュール

1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考えている。

第Ⅰ期（4・5月）罪刑の法定をやる政治的意味及び犯罪不成立の事由について。

第Ⅱ期（6・7月）刑事責任のとらせ方と少年事件における、いわゆる保護処分について。

第Ⅲ期（9・10月）生命・身体に対する侵害犯罪と財産犯の諸問題について。

第Ⅳ期（11・12月）いわゆるセクハラ問題と性犯罪との関連と峻別について。

履修上の留意点

毎時間出席し、討論に積極的に参加できる者が望ましい。また年4回ぐらい発表の機会があるので、自分の意見を発表する能力が必要である。

成績評価の方法

演習の成績評価は、講義科目と違い試験は行わない。毎回発表する際のレジメの作成及びその発表内容、さらに他人の発表に対する討論の仕方・内容などを総合して評価する。したがって、一ヶ問、出席すれば、単位取得については問題はない。

教 科 書

判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものが教材になる。判例を解説した書物なども参考になるが、毎時間、資料については、注意するので、あらかじめ指定する書物はない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	浦 田 早 苗 <small>うら た さ なえ</small>	政治4選	4

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

14年度は共通テーマとして「変革期の世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われている。前期の発表は「EUとNATO～欧州安全保障～」、『大学教育改革』、『ODAのあり方』、『自衛隊～日本の安全保障～』、『(パネルディスカッション) 議員秘書制度の是非』、『(パネルディスカッション) 個人情報保護法の是非』、『(ディベート) 外国人参政権の是非』、『(ディベート) 首都機能移転の是非』というものであった。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならない。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ意欲によって評価する。

教 科 書

文藝春秋編『日本の論点2003』(文藝春秋、2,700円)

そ の 他

学内外のディベート戦に積極的に参加すること、及び年2回の合宿とゼミ論集の刊行を励行している。

政  
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	早 川 純 貴 <small>はや がわ よし き</small>	政治4選	4

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成15年度の前期テーマは「日本外交の現状と課題」である。アメリカとの軍事協力・経済摩擦問題、北方領土問題を含み今後の日露関係、経済成長著しい中国とのこれからの関係、過去の「謝罪」が影を落とす韓国との問題、などを取り上げ、これまでの外交政策形成過程を探りつつ、日本の国益とは何か、そして健全な両国関係はいかに構築されるべきかを考えてみたい。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教 科 書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	しま ぼら ひろ あき 島 原 宏 明	政治4選	4

講義のねらい

手形・小切手法のケース・スタディを通じて、法律行為論の基本的な考え方を身に付けることを目標としている。この分野は技術的な性格が強く、論理的な思考力が要求されるため、調べることに同時に、自らの頭脳で考えることが大切である。

講義の内容・  
授業スケジュール

4年次の前半は判例研究を、後半はゼミ生が自ら選択したテーマでゼミ論文の作成を行う。

履修上の留意点

現時点においては、民法・商法に関する予備知識が無くてもかまわない。ただし、ゼミというものは、あくまで学生諸君が自らのエネルギーによって創造していくものであるから、常に自分をアピールできるようにしておく必要がある。

成績評価の方法

平常点による。

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

年2回、春と夏に合宿を行う他、適宜ソフトボール等のスポーツを行う機会を設けている。

政  
治

政  
治

# Ⅲ 他学部履修科目

他学部  
履修科目

履修科目  
他学部

### Ⅲ. 他学部履修科目

産業・職業社会学	〈 休 講 〉	
社会福祉発達史	〈林 千代〉	449
国民所得論	〈吉野 紀〉	450
日本経済史	〈橋野 知子〉	451
中小企業論	〈吉田 敬一〉	452
教育経済論	〈谷 敷 正 光〉	453
日本経済論	〈小林 正 人〉	454
アジア経済論	〈鄭 章 淵〉	455
中国経済論	〈小林 修 二〉	456
アメリカ経済論	〈瀬戸 岡 紘〉	456
ロシア・東欧経済論	〈山 縣 弘 志〉	457
マーケティング	〈曾 我 信 孝〉	458
労務管理論	〈堀 龍 二〉	459
財務会計論	〈小 栗 崇 資〉	460
会計監査論	〈森 田 佳 宏〉	461
管理会計論	〈石 川 祐 二〉	462
原価計算論	〈 休 講 〉	
貿易論	〈古 沢 紘 造〉	463
銀行論	〈 休 講 〉	
親族法	〈五 島 京 子〉	464
相続法	〈門 広 乃 里 子〉	464
ヨーロッパ政治論(1)	〈中 野 裕 二〉	464
ヨーロッパ政治論(2)	〈中 野 裕 二〉	464
国際政治学	〈小 堀 訓 男〉	464
ヨーロッパ政治史	〈浦 田 早 苗〉	464
比較政治学	〈三 竹 直 哉〉	464
現代国家論	〈大 塚 桂 桂〉	464
経営労務論	〈 休 講 〉	
国際経営論	〈茂 垣 広 志〉	465
商業史	〈山 田 勝 勝〉	465
保険経営論	〈石 名 坂 邦 昭〉	466
財務会計論	〈渡 邊 恵 一 郎〉	467
経営分析論	〈片 桐 伸 夫〉	468
税務會計論	〈高 木 克 己〉	469
経営情報論	〈高 井 徹 雄〉	470
情報理論	〈西 村 和 夫〉	471
経営統計	〈長 国 強〉	472

履修科目  
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 ちよ 代	法A・政治・法B	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本の特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。

参 考 書 等

その都度紹介する予定である。

そ の 他

特に無し。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よしの 吉野 おさむ 紀	法A・政治・法B	4

講義のねらい

わが国の労働力は就業者6,660万人(平成12年)を数え、その内で約5,600万人の人が事業所等で雇用者として働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万にのぼる家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成12暦年のGDPによって514兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上を舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回  
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。  
《参考》経済企画庁「平成13年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回  
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。  
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回  
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。  
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回  
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。  
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回  
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J.ゴードン『現代マクロエコノミックス(上)』(第6版)(多賀出版)

履修科目  
他学部



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史 (後 期)	はし の とも こ 橋 野 知 子	法 A・政治・法 B	4

講義のねらい

本講義では、19-20世紀の日本における経済社会の変化を国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。知ること、そして変化の原因を考えることこそが重要なのです。

講義の内容・  
授業スケジュール

19-20世紀の日本経済を、歴史的な流れをとらえつつ、重要なトピックスを中心に講義します。講義形式で進めますが、映像の利用による説明も随時取り入れる予定です。講義は、以下の項目順に進める予定です。

1. 近代日本経済史へのアプローチー日本経済史を学ぶ意義
2. 幕末の経済と開港
3. 明治維新
4. 殖産興業と松方財政
5. 近代産業の発達／軽工業と重工業
6. 日清・日露戦争と日本経済
7. 第一次大戦と日本経済
8. 1920年代～昭和恐慌へ
9. 高橋財政
10. 戦時経済
11. 戦後経済改革
12. 経済復興
13. 高度経済成長
14. 高度成長の終焉～バブルの時代へ
15. 平成不況と現代経済

成績評価の方法

レポートと試験により評価します。再試験はございませんのでご注意ください。

教 科 書

特に指定しません。毎回資料を配付します。

参 考 書 等

講義の中でその都度紹介します。

そ の 他

この講義は週2回おこなわれ半期で終了する集中科目です。

他 学 部  
履 修 科 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	よし た けい いち 吉 田 敬 一	法A・政治・法B	4

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業者は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかった、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を下支えしてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。

そこで本講義では、戦後日本の経済発展において、自動車工業を事例として中小企業が果たしてきた重要な役割を明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしているので(例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など)、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再・追試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）  
 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）  
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）  
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）  
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

他履修科目  
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	谷 敷 正 光	法A・政治・法B	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、21世紀に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化とリテラシー・識字率
- (2) 日本の経済成長と教育
- (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
- (4) レーガン大統領の経済と教育 1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
- (5) レーガン大統領の経済と教育 2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
- (6) ブッシュ大統領の経済と教育 1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
- (7) ブッシュ大統領の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
- (8) クリントン大統領の経済と教育 「アメリカ教育法」 (一部ビデオ)
- (9) サッチャー首相の経済と教育 「教育改革法」 (一部ビデオ)
- (10) プレア首相の経済と教育 「教育委員会の民営化」 (一部ビデオ)
- (11) プレア首相の経済と教育 「オープニングアウト」 (一部ビデオ)

2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (12) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
- (13) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
- (14) 教育令時代における経済と教育 1 工場払下と産業の勃興 (一部ビデオ)
- (15) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
- (16) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
- (17) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
- (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
- (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」

3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法と教育 (一部ビデオ)
- (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5~6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためビデオ・映画・OHPを使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40~50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。  
 小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）  
 森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）  
 G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）  
 舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP 新書）  
 プライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）  
 A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）  
 揖西光速『日本資本主義発達史－産業資本の成立と発展－』（有斐閣）  
 猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）  
 三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）  
 天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）  
 沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）  
 その他は講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	小林正人	法A・政治・法B	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

履修科目  
他学部

講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程  
 景気の現状と雇用情勢  
 戦後改革  
 日本の高度経済成長：歴史とその原因  
 産業政策の役割  
 石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- イノベーションと産業発展  
 産業構造の理論と歴史  
 主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械  
 日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較  
 製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望  
 平成不況の意義  
 情報通信革命（インターネット）

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義ではOHPなどをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

学期末テストによる。試験は論述式である。再試験は実施する。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア経済論	ちよん 鄭 ちやん よん 章 淵	法A・政治・法B	4

#### 講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 〔前期〕

1. 経済発展の前史
  - (1) 植民地経済の概要
  - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
  - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴  
※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
  - (2) 開発独裁体制の成立  
※韓国の事例、その他の開発独裁
  - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
  - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
  - (2) ASEANの歴史
  - (3) 日本企業の進出状況

##### 〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
  - (1) 中国の開放政策
  - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
  - (1) アジアNIEs論
  - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
  - (1) APECの発展過程
  - (2) ASEANの自由化過程
  - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
  - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
  - (2) その他の諸問題…環境問題 etc.
  - (3) 日本とアジアとの関係の展望

#### 成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストと夏期レポートで総合的に評価する。試験の際に自筆のノート参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。追・再試験を実施する。

#### 教科書

特に定めませんが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。  
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

#### 参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小杉修二	法A・政治・法B	4

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」(1949-57)、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」(1958-78)について学ぶ。

ソ連モデル期に中国は途上国の特徴＝機械の生産能力の欠如を克服し、国民生活を改善した。

毛沢東モデル期に兵器の一定の自給と核ミサイルの保有に至った。この時期、国民生活は改善されず、臨戦体制づくりのため経済効率は低下し行きづまった。

後期はこの状況を打開した「鄧小平モデル」(1978-)を学ぶ。独自の超大国志向は維持しながらも平和共存政策への転換の下、開放政策、沿海部重点開発、軽工業優先開発、「独立した工業体系」づくりからの脱却、生産請負等の農業改革、市場経済への移行によって高度成長を達成、また、国民生活を改善し、「世界の生産現場」になった。後期には中国のかかげていた社会主義、「中国脅威論」等の問題をも考えてみたい。

履修上の留意点

言うまでもないが、私語、飲食、携帯電話は禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済建設』(龍溪書舎) 4000円

参考書等

平田幹郎『中国データブック 2000-2001』(古今書院) 3800円

その他

授業方法 講義+ビデオ映像の活用

履修科目  
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	法A・政治・法B	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。

◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇他国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』(瀬戸岡訳 青木書店 1994年)をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがた ひろし 山 縣 弘 志	法A・政治・法B	4

#### 講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることができないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まざりもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
  - (1) 社会主義論とマルクス
  - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
  - (1) 1920年代から30年代への転換
  - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
  - (1) 「計画経済」の成立と実態
  - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
  - (1) 経済構造の特質と軍事生産
  - (2) 工業生産力と工業技術
  - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
  - (1) 経済改革の時代
  - (2) プレジネフと停滞の時代
  - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
  - (1) ロシア・東欧の文化と社会
  - (2) 資本主義化の諸問題
  - (3) ロシアと日本——比較経済史——

#### 履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。  
再試験実施。

#### 教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

#### その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
マーケティング	曾我信孝	法A・政治・法B	4

講義のねらい

大規模企業が展開するマーケティング政策の原理を理解してもらい、それらが消費者にどのような影響を与え、経済さらには文化に影響を与えているかも考えてもらうことを狙いとしている。

講義の内容・授業スケジュール

1. マーケティングの問題点
  - ・消費者の価値観とマーケティング支配
  - ・マーケティングと収奪関係
2. 製品政策
  - ・新製品開発が意味するもの（切れない電球は出来ないのか）
  - ・差別化政策、多様化政策、細分化政策（なぜブランドがあるのか）
  - ・ライフサイクルの短縮化（なぜ「モデルチェンジ」をするのか）
3. 価格政策
  - ・価格の概念（価格の内訳は何であろうか）
  - ・価格設定の方法（高級品ほど利益率が高いのはなぜか）
  - ・新製品の価格設定（価格操作による購買意欲の操作を知っていますか）
  - ・再販売価格維持（定価とオープン価格のちがいは何でしょう）
4. チャンネル政策
  - ・流通組織、流通経路（商品はメーカーから消費者までどのように流れていますか）
  - ・販売チャンネル（販売チャンネルを支配する理由は何でしょう）
  - ・チャンネルの支配形態（ディーラーって何ですか）
5. 販売促進政策
  - ・販売員管理（賃金の高低で販売員を管理できますか）
  - ・広告（貴方の潜在意識が広告にさらされているのを知っていますか）
  - ・サービス（現在存在していないようなサービスを思いつきますか）
6. 国際化戦略
  - ・現地化（なぜ日本企業は生産の現地化をする必要があったのか）
  - ・マーケティングの現地化（なぜ現地でマーケティングを展開する必要があったのか）

履修科目  
他学部

履修上の留意点

講義を通じて基礎理論を理解してもらうことはもちろんですが、毎時間2~4度は問題を提起します。学生諸君は、単に講義を聴くだけではなく、積極的に問題意識に取り組む姿勢を持っていただきたい。

成績評価の方法

1. 期末試験を最重視する。期末試験は年間の講義範囲から論述問題を提出する。評価の基準はその内容を十分理解でき、さらに現実の問題意識ができていのかどうかを判断する。したがって、参考文献等の抜書き解答等には厳しい評価となる。
2. 中間期に夏休みの課題としてレポートを提出してもらい評価の参考にする。
3. 著しく授業を妨害したものは、評価対象からはずす可能性がある。
4. 再試験は実施する。

教科書

指定なし

参考書等

1. 曾我信孝ほか3名著『現代マーケティングの基線』（同文館）3,000円
2. 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円



科目名	担当者名	配当学科	単位
労務管理論	ほり 堀 龍 じ	法A・政治・法B	4

#### 講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
  1. 労務管理の目的、機能、対象
  2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
  1. 電産型賃金体系
  2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
  1. 日本的労務管理の形成と展開
  2. 労使関係の転換
  3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
  1. 雇用形態の多様化
  2. 賃金・処遇の成果主義化
  3. 職能資格制度とキャリア形成
  4. 成果主義と目標管理と人事考課
  5. 労働時間の弾力化
  6. 「新・日本的経営」と労使関係

#### 成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

#### 教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

#### 参考書等

講義中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	小 栗 崇 資	法A・政治・法B	4

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価します。また、時々、小テストも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論』（白桃書房）

参考書等

必要に応じて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	もり 森 田 佳 宏	法A・政治・法B	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・  
授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等に関する研究を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考書等

（財）財務会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	いし かわ ゆう じ 石 川 祐 二	法A・政治・法B	4

#### 講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自らの状況を把握し、それに基づいて自らを管理していかなければならない。とりわけ、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的な話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

#### 履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会计学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

#### 成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

#### 教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個人々の成果を反映したテキストとなる。

#### 参考書等

講義において適宜配布する。

#### その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう ぞう 古 沢 紘 造	法A・政治・法B	4

#### 講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

#### I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

#### II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

#### 成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

#### 教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

#### 参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
親 族 法	五 <sup>ご</sup> 島 <sup>とう</sup> 京 <sup>きやう</sup> 子 <sup>こ</sup>	政治	4

(P.314) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
相 続 法	かど <sup>かど</sup> 門 <sup>ひろ</sup> 乃 <sup>の</sup> 里 <sup>り</sup> 子 <sup>こ</sup>	政治	4

(P.307) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論 (1)	なか <sup>なか</sup> の <sup>の</sup> 野 <sup>ゆう</sup> 裕 <sup>じ</sup> 二 <sup>二</sup>	法A・法B	2

(P.396) 参照

他履修科目  
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論 (2)	なか <sup>なか</sup> の <sup>の</sup> 野 <sup>ゆう</sup> 裕 <sup>じ</sup> 二 <sup>二</sup>	法A・法B	2

(P.397) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
国 際 政 治 学	こ <sup>こ</sup> ほり <sup>ほり</sup> の <sup>の</sup> 訓 <sup>お</sup> 男 <sup>お</sup>	法A・法B	4

(P.390) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	うら <sup>うら</sup> た <sup>た</sup> ま <sup>ま</sup> な <sup>な</sup> え <sup>え</sup> 苗 <sup>なえ</sup>	法A・法B	4

(P.383) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
比 較 政 治 学	み <sup>み</sup> たけ <sup>たけ</sup> な <sup>な</sup> お <sup>お</sup> や <sup>や</sup> 哉 <sup>哉</sup>	法A・法B	4

(P.390) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
現 代 国 家 論	おお <sup>おお</sup> つか <sup>つか</sup> か <sup>か</sup> つら <sup>つら</sup> 桂 <sup>桂</sup>	法A・法B	4

(P.409) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志	法A・政治・法B	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。この科目は、再試験を実施しません。

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業史	山田勝	法A・政治・法B	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点      | (6) 継続性       |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流通量       |
| (3) 利潤          | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商品          | (9) 価格革命      |
| (5) 市場          | (10) 情報社会と商業  |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教科書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
保険経営論	いしなざか くに あき 石名坂 邦 昭	法A・政治・法B	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)  
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

その他

この科目は、再試験を実施しません。



科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	わたなべ えいちろう 渡邊 恵一郎	法A・政治・法B	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- ② 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- ③ 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- ④ 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。  
この科目は、再試験を実施しません。

他学部  
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 分 析 論	かたぎり のぶ お 片 桐 伸 夫	法A・政治・法B	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
  - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

\* レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆ 提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

\* テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆ 質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教 科 書

開講時、指示します。

参 考 書 等

随時、紹介します。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税務会計論	たがき かつみ 高木 克己	法A・政治・法B	4

### 講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
  - (1) 移転価格税制
  - (2) タックス・ヘイブン対策税制
  - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

他学部  
履修科目

### 履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

### 成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

### 教科書

開講時に指示する。

### 参考書等

開講時に指示する。

### その他

毎回出欠をとるかどは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 情 報 論	たか い てつ お 高 井 徹 雄	法A・政治・法B	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法と体系的なもの、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 理 論	にしむらかずお夫 西村和夫	法A・政治・法B	4

#### 講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C. E. Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をして、現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

#### 履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

#### 成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

#### 教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

#### 参考書等

そのつど紹介します。

#### その他

〔関連科目〕→ 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	ながこ きょう 長 国 強	法A・政治・法B	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：季節指数、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計推測：標本分布、区間推定、仮説検定

統計的意志決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修科目  
他学部

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。  
この科目は、再試験を実施しません。

# IV 随 意 科 目

随意科目



## IV. 随 意 科 目

英 語 (海外演習) .....	477
中国語 (海外演習) .....	477
比 較 思 想 特 講 (小 川 順 敬) .....	477

随意科目

科目名	配当学科	単 位
英 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科目名	配当学科	単 位
中 国 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期留学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語セミナーに参加申込みをする。

随意科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較思想特講	小川 順 敬	法A・政治	4

講義のねらい

この講義では、仏教やキリスト教、また日本の民俗宗教などに見られる生命観、人間観（人格概念）について考察したい。  
 今日、脳死・臓器移植問題の中で、生命の意味が問い直されているが、そういった議論の理解を深めるためにも、宗教的生命観・身体観・人格概念などを整理しておきたい。  
 なお、本科目は哲学的視点と、宗教学的視点からの講義が一年おきに開講される。本年度は宗教学の立場からの講義である。

講義の内容・授業スケジュール

前期は仏教・キリスト教の生命観に関する主要な議論のいくつかを概観したい。その際、教義レベルの観念的な議論だけでなく、仏教文化圏やキリスト教文化圏の社会で実際に行なわれている様々な宗教儀礼などを取り上げ、これらを通して生命観の具体的諸相を比較しておきたい。

後期は日本の民俗宗教に見られるアニミズム的生命観の今日的評価について、いくつかの議論を紹介、概観することとしたい。

また、オセアニアを対象とする人間観、人格概念の具体的な研究を取りあげ、文化人類学、宗教人類学で議論されてきたアニミズム的生命観および人格概念を検討することにした。

成績評価の方法

年度末レポート他で評価します。

教 科 書

教科書は用いません。

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。関連資料はその都度コピーで配布します。

随意科目

# V 「日本語」・「日本事情」科目

日本事情  
日本語

## V. 日本語・日本事情科目

### 《日本語科目》

日	本	語	I	〈佐野典子〉	483
日	本	語	I	〈多田羅哲子〉	483
日	本	語	II	〈佐野典子〉	483
日	本	語	II	〈多田羅哲子〉	484
日	本	語	III	〈多田羅哲子〉	484
日	本	語	III	〈湯村礼子〉	485
日	本	語	IV	〈石川守〉	485
日	本	語	IV	〈湯村礼子〉	485
日	本	語	V	〈石川守〉	486
日	本	語	V	〈多田羅哲子〉	486
日	本	語	VI	〈石川守〉	487
日	本	語	VI	〈多田羅哲子〉	487

### 《日本事情科目》

日本事情 I	〔地理〕 (前期)	〈須山 聡〉	487
日本事情 II	〔自然〕 (前期)	〈清水 善和〉	488
日本事情 III	〔歴史〕 (後期)	〈宮本 由紀子〉	489
日本事情 IV	〔思想〕 (前期)	〈赤羽 由規子〉	489
日本事情 V	〔社会〕 (後期)	〈李 妍 炎〉	490
日本事情 VI	〔政治・法律〕 (後期)	〈中野 裕 二〉	491
日本事情 VII	〔文学〕 (後期)	〈奥原 淳 子〉	491
日本事情 VIII	〔文化・芸術〕 (後期)	〈赤羽 由規子〉	492
日本事情 IX	〔経済〕 (前期)	〈吉田 敬 一〉	492
日本事情 X	〔経営〕 (前期)	〈鈴木 幸 毅〉	492

「日本事情」  
「日本語」



科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	佐野典子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	多田羅哲子	全学科	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。

漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- ・常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- ・語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方にも練習する。
- ・助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

「日本語」  
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II	佐野典子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、前期は、日本の映画を中心に、日本語を勉強する。後期は、同じテーマを持った、外国の映画との、比較を通して、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	全学科	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- ・事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
  - ・発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
  - ・あわせて書く練習もする。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- ・読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- ・スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ・ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- ・話したことを文章にまとめる。
- ・テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	全学科	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- ・話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
  - ・一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- ・今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- ・その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- ・また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発言や提出物を重視する。

教科書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 Ⅲ	湯 村 礼 子 <small>ゆ むら れい こ</small>	全学科	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テスト etc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度 etc）を総合的に評価する。

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 Ⅳ	石 川 守 <small>いし がわ まもる</small>	全学科	2

講義のねらい

日本語の中上級の文型、表現、会話の表現を学ぶことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 形式名詞を中心とした表現。
2. 最近よく使われる会話文型を分析する。
3. 会話特有の表現について学ぶ。

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみと期末試験等で総合的に評価する。特に出席は重視。

教 科 書

授業中に配布する。

参 考 書 等

特になし。

「日本語  
日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 Ⅳ	湯 村 礼 子 <small>ゆ むら れい こ</small>	全学科	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）  
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物 etc）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	石川 守 <small>いし かわ まもる</small>	全学科	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	全学科	2

講義のねらい

- ・読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
- ・現在マスコミ等でよく使われている表現、外来語等の語彙などを知る。

講義の内容・授業スケジュール

本・新聞・雑誌等の生教材を読んで、今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを確認する。  
テーマについて話し合ったり書いたりする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

プリントを配布、ビデオも使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	いし <sup>かわ</sup> <sup>まもる</sup> 石川 守	全学科	2

講義の内容・  
授業スケジュール

日本語Vで学習した内容は引き続き、更にその残りの文法と中上級全般とのかかわりを中心に講義を進めていく。

主たる項目は以下の通りである。

- ・目的の表現
- ・試みの表現
- ・条件の表現 「と」「たら」「なら」
- ・原因・理由の表現
- ・逆接の表現
- ・依頼の表現
- ・使役の表現と用法
- ・受身の表現
- ・自動詞と他動詞
- ・使役の受身
- ・～てしまうの用法

その他

順番は必ずしも上の通りとはならない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	たたら <sup>あき</sup> <sup>こ</sup> 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

読解能力を向上させる。  
文章を読むことを通して、文法や適切な語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

小説・エッセイなどを中心に読み、そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、正しくより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教科書

プリントを配布。

「日本語」  
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 I 〔地理〕(前期)	す <sup>やま</sup> <sup>さとし</sup> 須山 聡	全学科	2

講義のねらい

日本のさまざまな地域についての知識を深め、日本の地域的な特徴について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業はゼミ形式で進める。受講者で日本の特定地域（都道府県あるいは都市）を分担し、それぞれに地域について毎回2～3人に発表してもらい、それをもとに議論する。

成績評価の方法

出席と発表内容、および議論への参加状況によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅱ 〔自然〕(前期)	し み ず よ し か ず 清 水 善 和	全学科	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせ、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1) アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2) 現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3) 自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 章 位置
  - 1. 国上の範囲
  - 2. 行政区分
  - 3. 位置の特徴
- II 章 気候
  - 1. 世界の気候帯
  - 2. 海流
  - 3. 気候の特徴
  - 4. 気団と季節
  - 5. 台風
  - 6. 天気予報
  - 7. 生物季節
  - 8. 俳句と季節
- III 章 地質・地形
  - 1. 弧状列島
  - 2. 変動の歴史
  - 3. 多様な地形
  - 4. 火山
  - 5. 地震
- IV 章 生物
  - 1. 世界の植生帯
  - 2. 日本の植生帯
  - 3. 生物地理区
  - 4. 日本の海産生物
  - 5. 帰化種の侵入
  - 6. 自然保護の制度

履修上の留意点

なし。

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教 科 書

特定の教科書はなし。

参 考 書 等

参考書は適宜紹介する。

そ の 他

必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	みやもと ゆきこ 宮 本 由紀子	全学科	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを日安にする。

履修上の留意点

板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートまたは筆記試験で成績の評価とする。

教科書

なし

参考書等

その都度知らせる。

その他

講義のみ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	あか ぼ ゆきこ 赤 羽 由規子	全学科	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。  
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の中で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

「日本語」  
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 V 〔社会〕(後期)	李 妍 炎 り けん えん	全学科	2

講義のねらい

この講義では、一般的に「日本的」「日本型」「日本らしい」と言われるような社会事象を発見し、その意味を探り、それについて理解し、検討していくことを目的とする。それによって、受講生とともに日本社会への理解を深めていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

新聞記事や映像などを素材として、受講生が「日本的」「日本型」「日本らしい」と思うようなものを選んで、授業で発表する。その発表をベースにコメントや議論を加えて授業を進めていく。大まかなテーマとスケジュールは以下のとおりである。

1. ガイダンス
2. 日本の政治 (政治家)
3. 日本の経済 (企業)
4. 日本の外交 (国際交流・国際援助)
5. 日本の教育 (学校・子育て)
6. 日本の若者
7. 日本の芸能
8. 日本の事件簿
9. 日本の事件簿
10. 日本の暮らし
11. 日本の暮らし
12. ディスカッション: 「日本的」と「日本らしい」から考える日本社会論
13. まとめ

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

平常点 (出席) とレポートによる。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 事 情 VI [政治・法律](後期)	なかの ゆうじ 中 野 裕 二	全学科	2

講義のねらい

この講義は、日本語を母語としない学生を対象にして、日本の政治制度を概観し、現在の日本政治の争点と課題を理解することを目的とする。  
項目ごとにまず講義を行い、そのうえでその項目に即したテーマを設定し、受講生の間で討論をして内容の理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

取り上げる項目は次のとおり。

1. 国会
2. 政党政治
3. 首相
4. 官僚
5. 地方政治
6. 政治参加

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。できるだけ双方向型の授業にしたいと考えている。

成績評価の方法

①出席、②質問、発言など授業への積極的参加度、③期末試験を総合的に評価する。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。毎回プリントを配布するので、そのプリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらう。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 事 情 VII [文学](後期)	おくはら じゅんこ 奥 原 淳 子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、文学・言語に対する理解を深めることを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進めます。その際、内容はもちろん、言語面での問題点も共に考えていきます。

テーマは、文学作品、作家、日本語の言語項目を対象とします。

第一回の授業には、予め関心のある作品や作家、言語項目を持って出席してください。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・レポート

教 科 書

その都度指示します。

参 考 書 等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕(後期)	あかばゆきこ 赤羽由規子	全学科	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を日差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ 〔経済〕(前期)	よしだけい 吉田敬一	全学科	2

講義のねらい

第2次世界大戦に敗れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No. 1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本

履修上の留意点

難しい経済学の予習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

定期試験とレポートで評価します。また再・追試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

講義中に必要に応じて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ 〔経営〕(前期)	すずきこうき 鈴木幸毅	全学科	2

講義のねらい

環境問題を取り上げ、外国の状況と比較しながら日本の特徴をとらえる。

成績評価の方法

出席を重視し、時々短いレポートの提出を求める。

教科書

教科書、参考書は、授業のはじめに指定する。

# 法律学科フレックスB



# I 全 学 共 通 科 目



# 1 宗教教育科目





# 1. 宗教教育科目

仏教と人間	〈松本史朗〉	501
仏教と人間〔再クラス〕		
仏教と人間	〈熊本英人〉	501
仏教と人間〔再クラス〕		
仏教と人間〔再クラス〕	〈皆川広義〉	502
仏教と人間〔再クラス〕	〈小坂機融〉	503
仏教と人間〔再クラス〕	〈岩永正晴〉	503
仏教と人間〔再クラス〕	〈吉村誠〉	504



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	まつ 松 もと 本 し 郎 史 朗	法B1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		全学科2・3・4年	

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教 科 書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	くま 熊 もと 本 えい 人 英 人	法B1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		全学科2・3・4年	

講義のねらい

日本における宗教とは何か、仏教を中心に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

仏教史を概観したうえで、日本の仏教および宗教の現在を考える。  
仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。ブッダの伝記や仏教史上の事件、人物などのなかから、現代につながる話題を取り上げて解説していく。宗教に対する無関心、無自覚の持つ問題を理解してもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。適宜レポートを課す。

教 科 書

適宜プリントで配布する。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	みな がわ ひろ よし 皆 川 広 義	全学科2・3・4年	4

#### 講義のねらい

仏教の開祖・釈尊（おしゃかさま）の生涯と教えを学ぶことによって、現代に生きる私たちの人間としての道を学んでゆきたい。

釈尊は、約2500年まえ、インドのヒマラヤ南麓にあった釈迦国の皇太子として生まれた。彼は、青年時代までは幸せな人生を歩んでいたが、ある日身近にいる人々の老病死の苦悩をみて、自分もいつかはあのような一大事に直面することを自覚させられた。

釈尊は、その生死の苦悩から解脱して、安心と生きがいを求めて、沙門という宗教者になられた。沙門は、樹下石上に生活し、三衣一鉢しか所有しないで、道を求める宗教者であった。彼は幸いにも六年の修行の後に、菩提樹下で座禅瞑想中に悟りを得て、生死の苦悩からの解脱道を発見せられた。人間が、なんのために生まれ、成長し、そして老い、病にたおれ、死してゆくのかという人生の目的をも悟られたのである。

釈尊は、悟りを得てから45年間、八十歳で亡くなるまで、自分が悟り発見した生死の苦悩からの解脱道と人生の目的とを、多くの苦悩に打ちひしがれている人々に伝道されたのである。

本学は、曹洞宗がこの釈尊の教えにもとづいて設立した大学であり、この『仏教と人間』の講義を通して、各自がおのれの人間としての道を学びとっていただきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

はじめに、人間と宗教について、社会学、心理学、宗教学、仏教などをふまえて、わかりやすく語りたい。

次に、釈尊の生涯と教えを考察し、彼の宗教の成立とその教えへの世界へのひろがりについて述べる。

結びに、仏教の教えを通して、私たちがなんのために生まれ、成長し、老病死してゆくのか、つまり、人生の目的について、各自が自分の問題として明らかにできるようにしてゆきたい。

#### I 人間と宗教

- 1 現代人の意識と行動
- 2 世界の宗教状況
- 3 我國の宗教と問題点
- 4 有所得の宗教と無所得の宗教
- 5 人間存在の有限性 生老病死

#### II 仏教 仏教の開祖 釈尊の生涯と教え

- 1 釈尊の国インドと時代
- 2 誕生と成長
- 3 出家求道 沙門の道
- 4 菩提樹下の悟り 自己の真実 生命
- 5 初めての説法 釈尊の教え ①縁起説 ②血諦説
- 6 45年の伝道
- 7 沙羅双樹下の入滅
- 8 弟子たちによる仏教の誕生
- 9 釈尊仏教の世界へのひろがり

#### III 人生の目的

私たちは、なんのために生まれ、成長し、老い、病にたおれ、そして死してゆくのか。

#### 履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。

宗教教育科目の「仏教と人間」は、本学がほこりうる講座であり、この授業を通して他大学ではなかなかない得ない人間の陶冶と人格の完成をなしとげて、豊かな人生をつくりだしていただきたい。

#### 成績評価の方法

聴講態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

#### 参考書等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間〔再クラス〕	小坂機融	全学科2・3・4年	4

#### 講義のねらい

当授業は、大学教育を実施するに当って、先づ本学の建学の理念である仏教思想による知性と慈悲とを兼ね備えた人間の育成を目指し、仏教的情操を基調として、広い知識と専門の学術とを修得して行くという本学独自の講座である。

仏教は、人間および世界に対する深い洞察からもたらされた思想信仰である。偏りのない智慧の獲得をもって一切を正しく認識判断して、おのおのの実人生を虚妄なものではなく、確実なものとして生きる道を示して来た。仏教は、伝統を有しているが、決して古くさいものではなく、常に現実の事として響くものであるから、これからの諸君の学業と人生に生かされることを切望する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 現代文明社会の明と暗
2. 現代文明の理念を吟味する
3. 科学技術の飽なき進歩への信仰と危惧
4. 人間の自然認識とその問題点
5. 人間—その成りたちと変貌—
6. 本能と自我とエゴイズム
7. 仏教における人間観・世界観・自然観
8. 仏教による認識と行動
9. 仏教を基盤とする文化・社会・政治・経済等
10. 逼塞しない人生

#### 履修上の留意点

この講座の核は、誰れもがそらすことのできない課題であるので自身で真剣に考えることに努めてほしい。

#### 成績評価の方法

授業の伝達度を確認するため、毎時間その日の問題を提示して解答して貰うことと、期末試験・出席状況等によって評価する。

#### 教科書

講義形式、出来れば1～2回坐禅実習。

#### 参考書等

松本史朗著『仏教への道』、奈良康明著『仏教と人間』（共に東京書籍）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間〔再クラス〕	岩永正晴	全学科2・3・4年	4

宗教教育

#### 講義のねらい

曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教への関心を持ってもらうことが本講義の目的です。しかし、煩雑な儀礼や慣例・漢文などの語学・特殊な用語・独特の思考法・多量の文献など、諸君から仏教を遠ざける要因は少なくないでしょう。そこで本講義では、その要因のひとつ、仏教で用いる用語の解説に主眼を置きながら、仏教の考え方を紹介していきます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、仏教について冷静に考察するための材料が提供できれば、と考えています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

原則として毎回ひとつの用語をテーマに定め、解説する。

#### 履修上の留意点

成績評価に際しては、平常点など補助的な評価材料を一切用いないので注意して貰いたい。

#### 成績評価の方法

学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート、出席点等はない。

#### 教科書

教科書は未定。但し千円程度のものを用いる予定で、初回の授業において指示する。

#### 参考書等

平川彰著『仏教入門』（春秋社刊）  
古田紹欽訳注『正法眼蔵随聞記』（角川文庫）。  
その他は講義の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	よしむら まこと 吉村 誠	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

仏教の礼拝対象である仏像には、信者でなくともその美に心打たれることがある。そこにはいかなる思いが託されているのだろうか。また寺院には、神秘的なマンダラを前に呪文を唱え、あるいは清寂たる庭を背に黙座する人がいる。それらはいったい何を象徴しているのだろうか。本講義では、代表的な仏教芸術を手がかりに、美に託された思想の源流を求めて、遠くブッダの時代へとさかのぼる。その思想を未来へと投じたとき、私たちの人生や来るべき世界はどのように照らされるのだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

前期は仏教のイコノロジーについて。仏・菩薩への信仰を分析し、その背後にある思想を読み取ってゆく。後期は仏教のシンボリズムについて。密教と禅の象徴形式について考察し、それらの意味を読み解いてゆきたい。年間を通じて、日本人の人間や社会に対する見方が、仏教のそれに裏打ちされていることを発見するであろう。さらに日本人が培ってきた感性や思惟が、これからの生活や社会に何らかの意味を持つのか否か、持つとすればどのようなありかたにおいてか、という問題についても考えをめぐらせたい。

履修上の留意点

必修科目であるが、この機会を前向きにとらえ、日本の文化史・美術史の教養として、宗教学・仏教学の入門としてなど、自分なりの目標を立てて授業に臨んでもらいたい。出席励行。

成績評価の方法

出席状況とレポートによる総合評価。

教 科 書

プリントを使用する。

参 考 書 等

授業中に随時紹介する。

そ の 他

授業は講義形式。

## 2 教養教育科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、  
フレックス A の頁を参照してください。(→P. 23)





## 2. 教養教育科目

### (1) 人文分野

宗教学	〔聖と俗〕	菅原 壽清	509
宗教学	〔比較宗教文化〕	田中 かの子	510
文学(1)(3)	〔日本文学「古典」〕	合瀬 純華	510
文学(2)	〔日本文学「近代」〕	保明 陽子	511
歴史学(1)	〔日本近代史〕	林 彰	511
歴史学(2)	〔中国古代史〕	小林 惣八	512
歴史学(3)	〔中国古代思想史〕	小林 惣八	512
哲学	〔西洋思想の源流〕	河谷 淳	512
哲学	〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理	513
哲学	〔現代文明と人間〕	鈴木 聡	513
論理学	〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理	514
論理学	〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享志	514
倫理学	〔現代と倫理〕	古田 知章	515
倫理学	〔人生と倫理〕	末木 恭彦	515
教育の思想		伊藤 茂樹	516
教育と社会		伊藤 茂樹	516
発達と学習の心理学		川田 三夫	517
カリキュラムと学習		川田 三夫	518

### (2) 社会分野

法学・憲法	〔法と権利〕	鶏徳 啓登	519
法学・憲法	〔法と社会生活〕	長谷川 日出世	519
社会科学論	〔社会認識の思想〕	枝松 正行	520
経済学	〔現代経済と人間〕	明瀬 政治	521
社会学	〔現代社会を考える〕	呉 炳三	522
社会学	〔現代文化を考える〕	橋爪 敏	522
統計学	〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康慈	523
文化人類学	〔文化と人間〕	川上 新二	523
文化人類学	〔諸民族とコスモロジー〕	杉井 純一	524
政治学	〔政治システムと政治参加〕	村井 良太	525
政治学	〔国際社会と日本〕	山村 恒雄	525

### (3) 自然分野

心理学(1)	〔ヒューマン・ウォッチング〕	鈴木 順一	526
心理学(2)	〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	526
生物学	〔生態と進化〕	清水 善和	527
生物学	〔生物と環境〕	中村 敏枝	529
コンピュータ基礎(1)(3)	〔コンピュータと情報〕	竹田 洋一	530
コンピュータ基礎(2)(4)	〔コンピュータと情報〕	上原 隆平	530
地球科学	〔地球環境の現在・過去・未来〕	山縣 毅	531
地球科学	〔変動帯としての日本列島〕	藤井 享	532
自然環境論	〔宇宙から見た地球環境〕	篠原 正雄	533
自然環境論	〔環境と保全〕	山縣 毅	534
情報数学	〔情報と論理〕	小沢 誠	534



科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔聖と俗〕	菅原 壽清 <small>すが わら とし きよ</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえてみたいと考えております。授業は講義形式とし、前半は宗教学・宗教人類学についての基礎的な問題を、後半は聖と俗を手がかりに、日本人の生死観、東南アジアや中国雲南など、具体的な地域の事例を基にしながら、現代社会との関わりや人びとの暮らしと宗教について、順次考えてみたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 〈宗教人類学入門〉
- 1、宗教と宗教人類学（宗教をとらえる視点）
  - 2、宗教人類学の研究領域（多様なアプローチ）  
〈宗教の多様性〉
  - 3、さまざまな宗教形態（その多様な形態）
  - 4、宗教の分類方法（現代の分類方法）  
〈聖なるコスモロジー〉
  - 5、聖と俗
  - 6、東南アジア・中国雲南の人びとの暮らしと宗教
  - 7、シャーマニズム
  - 8、日本人の生死観

成績評価の方法

試験+出席点+レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし。

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

ビデオ・スライドなども使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔比較宗教文化〕	田 中 かの子 <small>たなか かのこ</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

「～教」という名称に慣れていると、あたかもそれが視えない壁をなして他宗教との境界をつくっているかのように思えてくる。けれども諸宗教のおこなわれている現地に行ってみると、そこには「～教徒」である以前の、「人間」として限りある生命（いのち）をまっとうするための様々な生き方がみられ、宗教の多様性よりもはるかに個性豊かで、意外性に富んでいる。宗教文化は、そのような「人間」の諸相を信仰生活によりまとめあげるものであるが、共に生きる信仰の異なる人々との交流をとおして伝播する思想の影響力は測りがたく、実際の「～教」というのは、世界地図では表示できない範囲と次元において展開してゆくものである。本講は、このように融通性のある宗教観にもとづき、世界の主要な宗教文化を誤解や偏見を廃した正しい観点から理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから、講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をとともなうゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教を選び、それぞれの歴史・思想・文化、および、相互の歴史的連関について解説する。その予備知識として、前期の初めには、比較宗教学の基本的立場、宗教多元主義の問題点、諸宗教を比較する方法などを講ずる。  
比較宗教文化の具体例としては、仏教美術とキリスト教美術を取り上げる。

履修上の留意点

生きた諸宗教の実相を垣間見るため、祈りの声や聖歌（録音テープ）を聴き、スライドを鑑賞することを重視する。

成績評価の方法

出席状況、夏休みのレポート（B5版に収まる短文のなかで自己表現できるような課題）、各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験（たんなる答案であるにとどまらず、在学中の貴重な時間を費やした一つの作品となるような問いをたてる予定）。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 (1)(3)〔日本文学「古典」〕	合 瀬 純 華 <small>あわせ すみ かの</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

平賀源内といえばエレキテルの発明家であり、本草学者、鉱山開発、殺人の末の獄死など、その破天荒な生涯から奇人変人として知られている。だが、彼の文学作品は当時の江戸の戯作者たちに影響を与え、「江戸戯作の祖」として評価されている。日本の古典文学史においては源内が生きた18世紀後半は、文化の中心が上方から江戸へ移行し、洒落本や黄表紙など多様な都市文芸が開花する時期でもある。以上の観点から、この講義では平賀源内の文学と江戸中期の戯作を鑑賞することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

まずは文学史的な知識をふまえた上で、平賀源内の生涯と時代背景を概観し、特に小説『根南志具佐』を現代語訳しながら講読する。その他の江戸戯作については、具体的な作品を影印と翻字によって読みながら、変体仮名の解読を目標とする。

履修上の留意点

講義中の私語、携帯電話の使用（含メール）は禁止する。

成績評価の方法

出席状況および前後期2回の定期試験による。

教科書

必要に応じてプリントして配布する。

参考書等

中村幸彦校注『風来山人集』（岩波書店、日本古典文学大系）  
その他。

その他

4月開講第一回目の授業時に詳細なシラバスを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (2)〔日本文学「近代」〕	ほ 保 明 陽 子 あき よう こ	法B・法A選	4

講義のねらい

明治期以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。これまで日本という国は、西欧の「近代化」に多大な影響を受けてきた。しかし昨今の風潮は、その流れを端に押しやる勢いがある。そこで、これまでの過去の歴史的経緯を考慮しつつも、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ日本独自の「近代化」を、文学的視座から改めてとらえ直す。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会の背景をかいま見る。

講義の内容・  
授業スケジュール

文学作品に現れた「英雄」「恋愛」「家」「武士道」「宗教」「癒し」「救い」といった様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。このような日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組をとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何かを探求するが、具体的な作品についてはそのテーマごとに適宜講義において明らかにする。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品を本格的に読むことになる。授業に出席することで新しい読み方を探求し、そして実際にその本を読み、そこで獲得した読みの成果を表現することが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して課されたテーマの考察が、不定期なレポート提出という形で成績に反映される。

教 科 書

適宜講義で指示する。

参 考 書 等

適宜講義で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 学 (1)〔日本近代史〕	はやし 林 彰 あきら	法B・法A選	4

講義のねらい

今年度は、幕末から明治・大正時代にかけての思潮・思想を中心に概観していく予定でいる。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、日本化されていくか、他方、伝統的な思想が天皇制を核にいかに関わり、近代思想とどう錯綜・対立していくのか。それらを見ていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は近代史の概説をこころみる。その後、近代の思潮動向をおっていく。とくに、体制側の思想や反体制側の思想を運動もからめてみていく。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

参 考 書 等

講義中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (2)[中国古代史]	小林 惣八	法B・法A選	4

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。  
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (3)[中国古代思想史]	小林 惣八	法B・法A選	4

講義のねらい

ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。  
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 [西洋思想の源流]	河合 淳	法B・法A選	4

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主に扱う。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば、現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義では次のような内容を取り扱う。
- (1) ギリシア哲学（ソクラテス以前・ソクラテス・プラトン・アリストテレス）
  - (2) キリスト教哲学（教父哲学、スコラ哲学）
  - (3) 近代哲学（デカルト、ロック、カント）

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 〔近代の人間観と世界観〕	いこた まさる 伊古田 理	法B・法A選	4

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点をさぐる。今年度は、特に「歴史」について検討する。近代において、「歴史」の概念がどのように形成され、現代文明を考えるうえでどのような意義と問題点をもっているかを解説する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要なところをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教 科 書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 〔現代文明と人間〕	すず き きとる 鈴木 聡	法B・法A選	4

講義のねらい

本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を学生諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

以下の素材のうちのいくつかを叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果論
2. 演繹
3. 帰納
4. 仮説形成
5. グルーのパラドクス
6. 懐疑的パラドクス
7. ニューカムのパラドクス
8. 囚人のディレンマ
9. 言語哲学

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

そ の 他

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→…という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	いこた まさる 伊古田 理	法B・法A選	4

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

①古典的三段論法 ②公理系 I～命題論理 ③公理系 II～述語論理 ④コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	あさ お たか し 麻 生 享 志	法B・法A選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで①論理とは何かを考え、②変化する論理学の各内容についての知識を持ち、③日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、パラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えたいです。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。



科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔現代と倫理〕	<small>ふる</small> 古 <small>た</small> 田 <small>とも</small> 知 <small>あき</small> 章	法B・法A選	4

#### 講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかねばならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上に立つてこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、「自己」と「世界」あるいは「他者」との関係などの、「自己」と倫理をめぐる基礎的な諸問題を整理し、後期は、前期で扱った内容をもとに、現代社会で関心が集まっている、生命倫理、環境倫理といった応用倫理に関する諸問題の検討をおこなう。

#### 成績評価の方法

二回の定期試験(中間試験、年度末試験)と平常点(出席状況、夏期レポート等)で評価する。

#### 教科書

『原典による哲学の歴史』(公論社)

#### 参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔人生と倫理〕	<small>すえ</small> 末 <small>き</small> 木 <small>やす</small> 恭 <small>ひこ</small> 彦	法B・法A選	4

#### 講義のねらい

人は一人では生きることができない。生きることは、必然的に人と人の関りの場に身を置かねばならない。人倫の中に生きるのである。人は、また、「よく」生きることを求める。ここに、どう生きるのが「よく」生きることか、また、それがどうして「よく」生きることになるのかという問題が生じる。これらは、「倫理学」の主要な内容をなす。本講義は、我々が生きることの「倫理」性に自覚を深めることを目的として、その参考となるように先人の「倫理」をめぐる諸説を紹介する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

今年度は、特に環境との関わりに問題をしぼる。又、参考とする先人は、東洋(特に中国・日本)に限り、東洋の伝説的な思想が現代に於ていかに役立つかを課題としたい。教科書は、国際シンポジウム「東洋の伝統的環境思想の現代的意義」の報告論文集である。講義は、教科書に収める論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進みながら考察を深めてゆく。

#### 履修上の留意点

ノートは確実にとる(板書を書き写すだけでなく口頭説明も的確に要をとらえ記録すること)

#### 成績評価の方法

中間試験と学年末試験、レポートに出席態度を加味して判断する。

#### 教科書

『東洋の環境思想の現代的意義』(農山漁村文化協会)

#### 参考書等

講義中に適宜に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想(前期)	伊藤茂樹	法B・法A 2選	2
		12以降入学生/政治2選	

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。  
 ・近代社会と教育  
 ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会(後期)	伊藤茂樹	法B・法A 2選	2
		12以降入学生/政治2選	

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。  
 ・現代の教育問題  
 ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
発達と学習の心理学(前期)	かわ だ みつ お 川 田 三 夫	法B・法A 2選	2
		12以降入学生/政治2選	

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。
- 3) 発達に影響を与える広義の環境の問題について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達や学習をめぐる現状と問題点
- 2) 発達や学習の理論、乳児期・幼児期の発達の特徴と留意点
- 3) 児童期の発達の特徴と留意点
- 4) 青年期の発達の特徴と留意点
- 5) 青年後期・成人期の発達の特徴と留意点
- 6) 人格の発達と問題点
- 7) 社会性の発達と問題点
- 8) 情緒や性意識の発達と問題点
- 9) 交友・対人関係の発達と問題点
- 10) 若者文化や社会風俗の歴史の変遷と現状の問題点
- 11) 青少年の非行等の問題行動
- 12) 人格障害、情緒障害、神経症的な問題行動等
- 13) 学校生活をめぐる諸問題
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

ない。

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。  
この科目は、平成11年度までに「教育心理学」「青年心理学」の単位を取得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
カリキュラムと学習(後期)	かわ だ みつ お 川 田 三 夫	12以降入学生/法B 2選	2
		12以降入学生/法A・政治 2選	

講義のねらい

- 1) 教授－学習課程に関わる基本的な事項を学習する。
- 2) 教育目標、教育課程を中心に学習活動の効果的な展開について考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達と学習（教育）をめぐる現状と問題点
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論の基本と応用
- 4) 教育(学)・教育心理学の基本と応用
- 5) 教育理論や方法の歴史的変遷、現状と課題
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程（学校教育の基本について）
- 8) 教授－学習過程（学習指導、学級集団、生徒指導）
- 9) 教育評価の歴史的変遷、現状と課題
- 10) 学習指導要領（改訂の歴史、『学校教育法』、『学校教育法施行規則』等）
- 11) 総合的学習、職業教育、生涯学習、障害児教育
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題（授業時間、教科書、教科書検定、等）
- 13) その他（教員養成、教員採用の問題、教育制度・教育行政等の問題、等）
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

ない。

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。  
この科目は、前期に「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	りい 鶏 徳 啓 登	法B・法A選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。  
①法の意義 ②法発生背景 ③法とその近辺の社会規範 ④法の種別と解釈 ⑤法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。  
①民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。  
②憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。  
③国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	法B・法A選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわり合いを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 科 学 論 〔社会認識の思想〕	えだ まつ まさ ゆき 枝 松 正 行	法B・法A選	4

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教 科 書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参 考 書 等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

そ の 他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 〔現代経済と人間〕	みょう せ まさ はる 明 瀬 政 治	法B・法A選	4

#### 講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

受講生にあっては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいると思います。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- ① 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
- ② きょうは「経済学」か、と言わせたい

そして、

- ③ 結構おもしろい（じゃん）、と言わせるぞ

#### 成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りて業間チェック（クイズ）を行い、平常点として考慮します。

#### 教科書

教科書は、開講時に指示します。基本事項を整理しておきたい受講生、もっと本格的に学びたい受講生には、下記の図書を推薦します。

#### 参考書等

- 幸村千佳良 著『経済学事始』（多賀出版）  
 伊藤元重 著『入門経済学』（日本評論社）  
 林俊彦 著『需要と供給の世界』（日本評論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	奥 炳 三 <small>お びよん さん</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

社会学は個人、さらに社会集団などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバル化にともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	橋 爪 敏 <small>はし つめ さとし</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）  
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）  
その他授業中に適宜指示したい。



科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康 慈 <small>しんぎょうち こうじ</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を導き出す道具で、経営・経済をはじめとする社会現象の解析、意志決定など幅広い分野で活用されています。本講義は統計学の入門として、基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- ①記述統計 ②標本空間と確率 ③確率変数と確率分布 ④母集団と標本 ⑤推定 ⑥検定  
⑦相関 ⑧回帰

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して出席していくことが大切です。

成績評価の方法

出席・課題・試験を統合して評価します。

教科書

必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

必要に応じて適時紹介します。

その他

配布資料に基づき、例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするため、適時課題演習を実施します。また、期末試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	川上 新 二 <small>かわかみ しんじ</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

世界にはさまざまな文化を背景として暮らす人々がいるが、その彼らのもつさまざまな文化を理解すること（異文化理解）が、すなわち彼らを理解することにつながる。また異文化理解は我々以外の文化を理解するというだけではない。異文化を理解することは、我々の文化の再発見、再認識にもつながる。さらにさまざまな文化の理解は、それを生み出した人間の理解にもつながる。この講義では、さまざまな異文化を紹介しながら、その理解のための見方を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

先ず、文化とは何か、文化人類学における文化のとらえ方について紹介した後、婚姻、家族、親族、宗教、儀礼、経済行為などさまざまな場面で見られる世界各地の事例を紹介しながら、異文化理解のための視点を養うことにする。

成績評価の方法

出席状況、レポートの提出状況および内容、定期試験によって評価する。原則として遅刻、途中退席を認めず、また頻繁に授業内容のまとめ等のレポートを提出してもらうことを考えている。

教科書

教科書は指定しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ い じゆん いち 杉 井 純 一	法B・法A選	4

講義のねらい

様々な民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、相互の文化的相違についての認識を深める学問です。例えば、人々の生活様式や儀礼、慣行を通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「他者を理解する」ことの困難さを味わいながら、「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
  1. 文化人類学とは何か
  2. 文化とコミュニケーション
  3. 環境と人間
  4. ジェンダーとセクシュアリティ
  5. 婚姻・家族・親族
- II 民族とコスモロジー
  1. 呪術と宗教
  2. 儀礼の構造
  3. 儀礼・神話・世界観
  4. 神聖王権
  5. 民族・宗教・国家

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート（20%）、期末試験（60%）、平常点（20%）で評価します。

教 科 書

特に指定しません。

参 考 書 等

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）  
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）

そ の 他

できるだけ、ビデオを利用します（年に4～5回程度）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	むら い りょう た 村 井 良 太	法B・法A選	4

講義のねらい

日々耳にするニュースの多くは、直接間接に政治と関係しています。消費税や公共事業に見られるように、政治は私たちの生活一般に深く関わっているのです。また私たちは主に選挙を通じて政治をつくる立場にもあります。日本のような民主主義社会において、政治への理解は社会人の大切な素養であるといえます。本講義は、政治参加とそれを支える政治システムに注目しながら、社会人の素養としての政治学、政治を見る目を養うことを目的としています。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は基本的に下記教科書を下敷きにおこないますが、各テーマごとに話をふくらませたり、政治史など新たにテーマを加えたりしながら進めていきます。講義内容としては、官と民の関係、地方分権、選挙、政治参加、マスコミと政治、国会、官僚制、首相のリーダーシップ、国際政治、経済交渉など政治学に基本的なテーマに、占領、講和、日本の国際社会復帰など政治史上の知識を加味していきたいと思っています。詳しい予定は第一回目の講義でお知らせします。

履修上の留意点

履修する学生に求めるのは何より政治を知りたいという熱意です。積極的な参加を期待しています。

成績評価の方法

成績は、随時おこなう出席調査、中間レポート、学年末試験により評価します。

教科書

真淵勝・久米郁男・北山俊哉『はじめて出会う政治学』（有斐閣）1,700円＋税。

参考書等

参考図書は講義のなかで随時紹介していきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔国際社会と日本〕	やま むら つね お 山 村 恒 雄	法B・法A選	4

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本をめぐる諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すず き じゆん いち 鈴 木 順 一	法B・法A選	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅ですていただきます。  
授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。  
毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教 科 書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円  
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——（ナカニシヤ出版）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (2) 〔人間関係を考える〕	すず き じゆん いち 鈴 木 順 一	法B・法A選	4

講義のねらい

より良い人間関係を築くには、自分や他人の性格を深く理解し受容する必要があるでしょう。特に、自己を知り自分をコントロールすることは重要です。  
自分のことは自分が一番良く知っているようでいて、実は案外知らないことが多いことを深層心理学は教えてくれます。他人という鏡を通して自己を見つめなおさないと、本当の自分の姿はなかなか見えてこないものです。  
本講座では、主として性格心理学や臨床心理学を背景にして、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いの性格を理解し、より良い人間関係を築いていくような体験学習をしていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。  
毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教 科 書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円  
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——（ナカニシヤ出版）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 (生態と進化)	し 清 み 水 よ し 善 か ず 和	法B・法A選	4

### 講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
  - (1) 生命の歴史性
  - (2) 遺伝子と生命現象
  - (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
  - (1) 地質年代図
  - (2) マーグリスの共生説
  - (3) カンブリアの爆発
  - (4) 大量絶滅
  - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
  - (1) リンネ式分類体系
  - (2) 生物五界説
  - (3) 種の定義と属性
  - (4) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化－生物は誰がために生きるか
  - (1) 動物行動学の歩み
  - (2) 適応度とゲーム理論
  - (3) 利他的行動と血縁淘汰
  - (4) 性選択と性比
  - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学－産めよ殖えよ地に満てよ
  - (1) 潜在的な増殖率
  - (2) 密度効果
  - (3) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
  - (1) 種間関係と共生
  - (2) 花と昆虫の共進化
  - (3) 菌根
  - (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
  - (1) 霊長類の系統
  - (2) ヒトの発展段階
  - (3) ホミニゼーション（ヒト化）
  - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
  - (1) ダーウィン以前
  - (2) ダーウィン進化論
  - (3) ネオ・ダーウィニズム
  - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
  - (1) 生態系（エコ・システム）
  - (2) 食物連鎖と生物濃縮
  - (3) 光合成と呼吸
  - (4) 生産諸量

- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
  - (1) 物質循環の大原則
  - (2) 水の循環
  - (3) 炭素の循環
  - (4) 窒素の循環
  - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
  - (1) 遷移のモデル
  - (2) さまざまな遷移
  - (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
  - (1) 3つの多様性
  - (2) 多様性の尺度
  - (3) 生物地理区と植生帯
  - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
  - (1) 里山の生物
  - (2) 都市と生物
  - (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

試験、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

受講者には清水が執筆した web 版教科書（無料ダウンロード可）を紹介する。

参考書等

章ごとに適宜紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	法B・法A選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内では狂牛病問題が浮上した。狂牛病は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を超えて感染することが生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料（肉骨粉）として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食、しかもとも食いをさせたため生じた、人災なのである。人間の生産活動は、生物と環境にいま何をもたらしているのだろうか。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. はじめに
2. 生物の生活
  - a. 地球の歴史・生命の起源
  - b. 生命の誕生
  - c. 生命の維持——いのちを支える物質とエネルギー
  - d. 植物の物質生産
  - e. 遷移——溶岩上に森林が成立するまで
  - f. 遷移——植物群落の世代交代
  - g. 個体群の内部構造——順位制となわばり
  - h. 生殖行動——こどもを確実に残すための作戦
  - i. 生態系——めぐる生命の輪
3. 人間の活動と地球環境
  - ・化学物質の功罪
    - a. 化学物質がつくる豊かな生活
    - b. ゴミ焼却とダイオキシン
    - c. ダイオキシン汚染
    - d. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）
  - ・バイオテクノロジー
    - e. 遺伝子組み換え生物
    - f. クローンと動物工場
  - ・地球温暖化とエネルギー問題
    - g. 地球温暖化のメカニズム
    - h. 生態系におよぼす影響
    - i. 新エネルギー革命
    - j. 原子力利用の諸問題

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科はじめ各教科の知識を本講義の前提とする。意見発表の場を設けたいので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点で総合評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学・地球に生きるいのちを考える』（宣協社）

参 考 書 等

その都度紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(1)(3) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	たけ だ よう いち 竹 田 洋 一	法B選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン(OSはWindows)で主としてワープロソフト(WORD)と表計算ソフト(EXCEL)を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の方法、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習(自宅または情報センターの自習室などのパソコンで)を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらう課題、そして学期末に行うテスト(実技+筆記)の三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教 科 書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(2)(4) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	うえ ほん りゆう へい 上 原 隆 平	法B選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやったらいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔地球環境の現在・過去・未来〕	やま がた たけし 山 縣 毅	法B・法A選	4

#### 講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地域と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義をしていきます。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
  - ・ 関東平野の断層と地震
  - ・ 房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
  - ・ 伊豆大島、箱根の火山活動
  - ・ 関東山地の地質
  - ・ 関東平野の地下表層部の地質

#### 成績評価の方法

レポートと出席状況で評価いたします。

#### 教 科 書

特に定めない。

#### 参 考 書 等

『最新 図表地学』（浜島書店）ISBN4-8343-4002-3C7344

#### そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔変動帯としての日本列島〕	ふじ い すずむ 藤 井 享	法B・法A選	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯とって過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 第四紀の地殻変動（曲動地形、断層地形等）
- ⑤ 日本列島の活断層
- ⑥ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑦ 火山活動と火山地形
- ⑧ 最終氷期と後氷期の日本列島

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977  
その他の参考書、文献等は講義の中で紹介する。

そ の 他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 環 境 論 〔宇宙から見た地球環境〕	しの はら まさ お 篠 原 正 雄	法B・法A選	4

#### 講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境について講義します。太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきました。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に取り上げます。

日常生活でのある行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっていないうちに、効果も立証されていない手段でともかく対処しなければいけないという場合もあります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ていると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 宇宙と地球  
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源
2. 宇宙と地球環境  
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
3. 地球環境の変動  
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
4. 地球環境問題  
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
5. 宇宙と地球の未来  
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

#### 成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

#### 教科書

石田恵一著『宇宙と地球環境』（成山堂書店）1,600円

#### 参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』（岩波新書）660円  
その他、講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕	やまがた たけし 山 縣 毅	法B・法A選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化  
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害  
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

履修上の留意点

なし

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価いたします。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	おざわ まこと 小 沢 誠	法B・法A選	4

講義のねらい

実社会に起こる種々の問題をグラフで表現し、具体的な解決方法を導き出すことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、グラフと部分グラフ・木・連結度・オイラー回路とハミルトンサイクル・マッチングを学び、その応用として、最短道問題・連結子問題・信頼できる通信ネットワーク・中国郵便配達夫問題・巡回セールスマン問題・適正割り当て問題を取り扱う。後期に、辺着色・独立集合とネットワーク・点彩色・平面的グラフ・有向グラフ・ネットワークを学び、その応用として、時間表問題・Schurの定理・Mengerの定理を取り扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

J. A. Bondy & U. S. R. Murty (立花俊一・奈良知恵・田澤新成訳)『グラフ理論への入門』(共立出版) 2,800円

参考書等

R. Diestel(根上生也・太田克弘訳)『グラフ理論』(シュプリンガーフェアラーク東京)4,200円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

### 3 外国語科目

外国語

### 3 . 外国語科目

#### [ 英 語 ]

英語 I A (法B)	〈佐々木 隆〉	539
英語 I A (法B)	〈今井 夏彦〉	539
英語 I A (法B)	〈小笠原 隆元〉	540
英会話 I (法B)	〈永野 光一〉	540
英語 L L I (法B)	〈真砂 久晃〉	540
英語 I B (法B)	〈荻野 一成〉	541
英語 I B (法B)	〈杉本 誠〉	541
英語 I B (法B)	〈行廣 泰三〉	541
英語 I B (法B)	〈町田 成男〉	542
英語 I A・I B [再クラス]	〈丹治 弘昌〉	542
英語 I A・I B [再クラス]	〈伊勢村 定雄〉	542
英語 I A・I B [再クラス]	〈伊勢村 定雄〉	543
英語 I A・I B [再クラス]	〈山縣 裕〉	543
英語 I A・I B [再クラス]	〈佐藤 江里子〉	543
英語 I A・I B [再クラス]	〈本間 俊一〉	544
英語 II A (法B)	〈影山 なおみ〉	545
英語 II A (法B)	〈島村 豊博〉	545
英語 II A (法B)	〈北村 弘文〉	545
英語 II A (法B)	〈今井 夏彦〉	546
英語 II B (法B)	〈行廣 泰三〉	547
英語 II B (法B)	〈町田 成男〉	547
英語 II B (法B)	〈樋渡 俊光〉	547
英語 II B (法B)	〈太田 美智子〉	548
英語 II A・II B [再クラス]	〈丸小 哲雄〉	548
英語 II A・II B [再クラス]	〈山縣 裕〉	548
英語 II A・II B [再クラス]	〈笹倉 貞夫〉	549
英語 II A・II B [再クラス]	〈萩原 輝〉	549

#### [ ド イ ツ 語 ]

ドイツ語 I A (法B)	〈松岡 晋〉	550
ドイツ語 I B (法B)	〈野島 利彰〉	550
ドイツ語 I A・I B [再クラス]	〈本橋 右京〉	550
ドイツ語 II A (法B)	〈清水 修〉	551
ドイツ語 II B (法B)	〈篠原 敏昭〉	551
ドイツ語 II A・II B [再クラス]	〈本橋 右京〉	552

#### [ フ ラ ン ス 語 ]

フランス語 I A (法B)	〈今関 ア ン〉	553
フランス語 I B (法B)	〈前田 祝一〉	553
フランス語 I A・I B [再クラス]	〈桑田 禮彰〉	553
フランス語 II A (法B)	〈八木 明美〉	554
フランス語 II B (法B)	〈木下 雄介〉	554
フランス語 II A・II B [再クラス]	〈竹田 正純〉	554

[ 中 国 語 ]

中国語ⅠA・ⅠB (法B) 〈塩旗伸一郎・天野 節〉	555
中国語ⅠA・ⅠB [再クラス] 〈大久保 明 男〉	555
中国語ⅠA・ⅠB [再クラス] 〈曹 泰 和〉	556
中国語ⅡA (法B) 〈秋 元 翼〉	556
中国語ⅡB (法B) 〈王 聡〉	556
中国語ⅡA・ⅡB [再クラス] 〈弘 兼 加奈子〉	557
中国語ⅡA・ⅡB [再クラス] 〈東 映 全〉	557

[ ス ペ イ ン 語 ]

スペイン語ⅠA (法B) 〈大 岩 功〉	558
スペイン語ⅠB (法B) 〈大 岩 功〉	558
スペイン語ⅠA・ⅠB [再クラス] 〈栗 林 ゆき絵〉	559
スペイン語ⅡA (法B) 〈亀 山 晃 一〉	559
スペイン語ⅡB (法B) 〈中 山 直 次〉	560
スペイン語ⅡA・ⅡB [再クラス] 〈栗 林 ゆき絵〉	560

[ ロ シ ア 語 ]

ロシア語ⅠA (法B) 〈廣 田 英 靖〉	561
ロシア語ⅠB (法B) 〈廣 田 英 靖〉	562
ロシア語ⅠA・ⅠB [再クラス] 〈杉 山 秀 子〉	562
ロシア語ⅡA (法B) 〈廣 田 英 靖〉	563
ロシア語ⅡB (法B) 〈廣 田 英 靖〉	563
ロシア語ⅡA・ⅡB [再クラス] 〈杉 山 秀 子〉	563

《選 択 科 目》

英 会 話 Ⅱ 〈永 野 光 一〉	564
英 語 L L Ⅱ 〈外 池 一 子〉	565



# 英 語 I A

## 〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	きさき 佐々木 たかし 隆	法B1年	2

### 講義のねらい

本テキストは日本のことを題材としたもので、英語で日本を紹介するのに役にたつ内容である。

### 講義の内容・授業スケジュール

身近な英語から様々な表現にアプローチする予定。できるだけ新しい内容、関心の高いものを扱う為、特にテキストは設けないで進める予定。リスニング的な要素から、ライティングの要素なども扱いたいと希望している。

### 成績評価の方法

成績評価は出席を重視し、授業での発表等を重視します。

### 教科書

*Things Japanese in English* (マクミラン・ランゲージハウス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	いま い 今井 なつ ひこ 夏彦	法B1年	2

### 講義のねらい

本テキストは「社会の場」で出会うと思われる様々な状況を想定した場合に、あり得るような会話のやり取りを中心に、カセットテープを使い、文法的事項も取り入れながらヒアリングとスピーキングの技能を高めることを目標としている。

### 講義の内容・授業スケジュール

1回に1章進む予定である。

### 履修上の留意点

語学は何よりも参加することが大切なので出席を重視し、毎回何らかの作業をしたいと思う。

### 成績評価の方法

成績は出席点を中心に、受講態度、2回の定期試験などを総合的に評価する。

### 教科書

『エブリデイ・トーカーやさしい会話作文-』(朝日出版社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	<small>おがさわら りゅう げん</small> 小笠原 隆 元	法B1年	2

講義のねらい

受講者の英語力向上、意志伝達、運用能力の向上を目標にしたい。  
年間25回前後の授業で実力向上は出来ない事を認識して、各自が積極的に自己学習をしてほしいものです。

講義の内容・授業スケジュール

日英両語によるレポート、小作文等を10回以上課すので覚悟されたい。

履修上の留意点

授業初回時には英語力の実力考査をしたいので辞書持参で必ず出席の事。また諸関連資料と提出物を配布するので留意すべし。

成績評価の方法

単位認定評価は試験、提出物、授業参加度、等々の総合的評価で行う。

教 科 書

テキストはまず次のものを用意されたい。  
①『語順が身につく英作文』(朝日出版社)1,800円+税  
②『ニュースで学ぶ総合英語』(成美堂)1,700円+税  
(レポート・自習用テキスト)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	<small>なが の こう いち</small> 永 野 光 一	法B1年	2

講義の内容・授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する(受け身の授業ではなく積極的な参加を望む)。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	<small>まな ご ひさ あき</small> 真 砂 久 晃	法B1年	2

講義のねらい

基本的な英語のListening能力と発音の向上をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間、ビデオを見ながら、Listeningの練習をして耳を慣らし、少なくとも日常会話が聞き取れるようにする。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。(正当な理由のある欠席については考慮する)

成績評価の方法

成績 = (前期の点数 + 後期の成績) ÷ 2  
前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%) となる。

教 科 書

CUTTING EDGE Elementary/Pre-Intermediate Video Workbook (Longman) 1540円

そ の 他

最初の授業では、詳しい説明をするので、必ず出席すること。

# 英 語 I B

## 〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	おぎの 荻野 かずしげ 一成	法B1年	2

### 講義の内容・授業スケジュール

中学高校時代に英語で苦労した人は多いが、英文の内容がわかった時の喜びを知る人は少ないようだ。  
前期はパンフレットや広告などを材料に、素早く必要な情報を読み取る訓練をする。後期は短編ストーリーを3本読み通す。

### 成績評価の方法

出席点、レポート（前後期各1回）と定期試験の総合評価とする。

### 教 科 書

『ミニミステリー・モデルズ』（金星堂）と授業時配布のプリント  
英語に強い苦手意識をもつ人のリハビリとしての効果も期待できる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	すぎもと まこと 杉本 誠	法B1年	2

### 講義のねらい

新聞英語のテキストを通して、急変する国際情勢を正しく把握し、認識することを目的とする。従って、新聞英語の語法知識もさることながら、各分野で使用されている単語やキーワードなどをしっかりとらえ、新聞英語に対する知識と能力を高め、生きた英語を学ぶとともに、激動する社会問題そのものにも興味を持てるようにすることを目指す。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期は容易に、しかも楽しく英字新聞が読めるということを重視し、日常生活に密接な関わりのある記事を取り上げる。後期は、地球環境問題、経済、文化に関する記事を多く読み、大意を把握し、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけたい。

### 履修上の留意点

毎時間の予習が必要である。

### 成績評価の方法

前・後期の定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

### 教 科 書

『実りある生活への招待』（成美堂）1,700円

外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	ゆきひろ たいそう 行 廣 泰 三	法B1年	2

### 講義のねらい

平易なテキストを用いて、基本的文法事項を確認しながら、読解力と語彙力を養うことを目的とする。

### 成績評価の方法

成績は、出席、平常のテスト、それに前期と後期の試験を通し、総合的な観点から評価する。

### 教 科 書

テキストは、ジム・クヌーセン (Jim Knudsen) *Quick and Easy* (やさしいリーディングと語彙演習) (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	町田 成男 <small>まちだ せいお</small>	法B1年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解とスピード・リーディングの基礎を身につける。読解力については、精読に加えて、段落・文章等の大意を把握する。リスニングについては、テープを聞きながら同時に大意を把握する。

成績評価の方法

出席点と発表（授業内）と年2回の試験の総合評価とする。

教科書

多数あるテキストの中から現在検討中。第1回めの授業でプリントして発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	丹治 弘昌 <small>たんじ ひろまさ</small>	法B2・3・4年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的には教場にて説明します。

成績評価の方法

成績評価は原則として3分の2以上の出席を最低限として、数回の小テスト並びに年2回の期末テストによって判定します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	伊勢村 定雄 <small>いせむら さだお</small>	法B2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、辞書の使い方などの基本を学ぶことを主眼とするが、出席と予習も重視する。

講義の内容・  
授業スケジュール

2~3時間で1レッスンを終わるように進む。〔本文の音読→Questions（2種類）→English Break→ダイアログ（音読・訳読）→小テスト〕の順でやる予定。（変更も少しある。）

履修上の留意点

予習必要！辞書は毎回持参のこと！

成績評価の方法

ペーパーテスト及び出席態度。

教科書

伊勢村定雄・Dennis R. Kogge『アメリカン・ライフを英語で』（北星堂書店）1,900円

参考書等

中型英語辞典なら何でも可。

その他

水曜日6時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	いせむら さだお 伊勢村 定 雄	法B 2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、辞書の使い方などの基本を学ぶことを主眼とするが、出席と予習も重視する。

講義の内容・  
授業スケジュール

2~3時間で1レッスンを進む。  
進め方は：〔本文の音読→訳読→Exercises〕となるが、音読は全員が参加し、他は1人ずつ指名してやってもらう。

履修上の留意点

予習必要！辞書は毎回持参のこと！

成績評価の方法

ペーパーテスト及び出席態度。

教科書

渡辺節子他『インターネットで世界旅行』（南雲堂）1,800円

参考書等

中型英語辞典なら何でも可。

その他

水曜日 7時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	やま がた ゆたか 山 縣 裕	法B 2・3・4年	2

講義のねらい

日常会話を TOEIC 形式の問題などまじえながら学習する。学生用 CD 付教材使用。

成績評価の方法

定期テスト・出席点などを総合的に評価する。

教科書

S. Eckstut・青木雅幸著『TOEIC テストに役立つ日常英語』（成美堂）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	さとう えりこ 佐 藤 江里子	法B 2・3・4年	2

講義のねらい

異文化が抱える現実を理解するための13のトピックから成るテキストを用い、総合的な視点で内容を把握しながら、実践的な英語力を習得することを日指す。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。

成績評価の方法

出席、発表、毎回行う小テスト、授業態度などの平常点（50%）と、前期後期試験（50%）による総合評価。

教科書

『FACE IT! 異文化への視線』（南雲堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A ・ I B 〔再クラス〕	ほん ま とし かず 本 間 俊 一	法B 2・3・4年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常的な生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教 科 書

『愛の諸相』（朝日出版社） 1,700円

# 英 語 II A

## 〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	かげ やま 影 山 なおみ	法B 2年	2

### 講義のねらい

英語で自由作文を書く実力を身に付ける。

### 講義の内容・授業スケジュール

学生の理解にあわせて、スローペースで学習をすすめていく。テキストだけでなく、時には英米の小説や映画の英語に触れる機会をつくる予定。

### 成績評価の方法

出席、授業態度、テストの点数という三つの点から総合的に評価する。

### 教 科 書

『日本文化を英語で表現』(成美堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	しま むら とよ ひろ 島 村 豊 博	法B 2年	2

### 講義のねらい

英文を書く際に既習の文型や文法事項をどう活用すればよいかを学び、興味ある話題についてパラグラフのレベルで英文が書けることを目標にする。同時に日本とアメリカの生活文化の違いへの理解を深め、これを英語で表現できるようにする。

### 成績評価の方法

前後期二度の定期試験に提出物など平常点を加えて、総合評価をください。

### 教 科 書

齊藤 宏/Keith T. Nishimura 著 *WRITING ABOUT CROSS-CULTURAL TOPICS* (成美堂) 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	きた むら ひろ ふみ 北 村 弘 文	法B 2年	2

### 講義のねらい

普段日本にいて英語を話す機会が少ない我々は、外国人の話す英語を聞いてある程度理解はできて、英語で自分の意見を言うとなると、そう簡単ではない。ただこれも習慣の問題で、それほど深刻に考える必要はない。今、我々が英語で自分の意見を言う時、我々はまず頭に日本語が浮かび、次いでその日本語を英語に翻訳して発表する。ところが、もしこの日本語を英語に翻訳するというプロセスを省いて、一挙に頭に英語が浮かぶようにはできないだろうか？ 勿論それができるのです。そういう習慣を身に付ければよいわけです。

### 成績評価の方法

定期試験(前・後期)の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

### 教 科 書

*Try America* (三修社) 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	<small>いま い なつ ひこ</small> 今 井 夏 彦	法B2年	2

講義のねらい

本テキストは、留学、環境問題、マルチメディア、世界の英語、心のIQなど身近な話題を取り上げ、それぞれの場面でライティングとオーラル・コミュニケーションの能力を高めることを目標としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

多少省略することもあるが、1回1章進む予定である。

履修上の留意点

語学は何よりも参加することが大切なので出席を重視する。

成績評価の方法

成績は、出席点と夏休みの課題及び2回の定期試験の点を総合的に評価する。

教 科 書

『日常会話英作文』（成美堂）



# 英 語 II B

## 〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading：I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	ゆき ひろ たい そう 行 廣 泰 三	法 B 2 年	2

### 講義のねらい

正確なコミュニケーション能力を身につけることは、英語の論理展開を理解することが必要といわれています。これを解決する一つの方法は、英文の構成要素がどのように展開されているかを身につけることです。そこでこの授業では、パラグラフの文を通して読解能力を養うことを目的とします。

### 成績評価の方法

成績は、出席、平常のテストそれに前期と後期の試験を通し総合的な観点から評価をします。

### 教 科 書

高曽根美香、John Eckard『はじめてのパラグラフ・リーディング』（三修社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	まち だ しげ お 町 田 成 男	法 B 2 年	2

### 講義のねらい

I B を基礎として、さらにできるだけ多くの文章が読めるように、大意の把握を心がけ、読む速度をあげる。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学ぶ。

### 成績評価の方法

出席点と授業中の発表、それに年 2 回の試験の総合評価とする。

### 教 科 書

多数ある中から現在検討中なので、第 1 回目の授業の時に、プリントしてテキストの発表と内容を説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	ひ わたり しゆん こう 樋 渡 俊 光	法 B 2 年	2

### 講義のねらい

現在の日本経済の不況の中で、就職戦線に打ち勝つために、そして即時に会社に就職した時に役立つ Business English を学習、マスターする事を目的とし、口頭で会話ができるようになることを主眼とする。

### 成績評価の方法

出席点、二回の定期試験で評価し、年間欠席数は 5 回以内とする。

### 教 科 書

A SHORTER COURSE IN BUSINESS ENGLISH (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	おお たち みちこ 太田美智子	法B 2年	2

講義のねらい

英語読解力の養成とリスニングの向上を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

「推理小説の父」と言われるウィルキー・コリンズの代表作のひとつ、*The Woman in White* を読みます。テキストを味わいつつ、ほの見えるヴィクトリア朝の問題点にも目を向け、広範な楽しみ方をしましょう。また、奥床しいささか古風な表現方法なども堪能しましょう。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

*The Woman In White* (南雲フェニックス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A・II B 〔再クラス〕	まる こ かつ お 丸小哲雄	法B 3・4年	2

講義のねらい

環境問題を取り扱いたい。20世紀は戦争と科学技術の時代で、抗生物質と農薬、そして遺伝子の革命であった。現代ではインターネットによる情報社会であり、「IT革命の時代」と呼ばれるようになってきた。しかし自然破壊と化学物質の毒性による人間環境の痛めつけはわれわれが予想した以上に進んでいるようです。加えて、地球温暖化問題、大気・水質汚染問題、人口爆発、それらを原因とする環境ホルモンなどの問題も深刻な様相を呈しています。そこで環境保護運動の土台となるキー・ワードを捉えつつ、環境問題に対する関心を高め、自己表現としての実用英語を修得していただきたい。

同時に、20分間を教材を利用してリスニング・タイムとして、70分をリーディング・タイムとします。リスニング・タイムは語彙と総合理解を、リーディング・タイムはテキストの読み・解釈・批評の能力を涵養してゆきます。レポート提出もあります。

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）、前期・後期の語学試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- ・リーディング・テキスト：『危うい日本の生活環境』（英宝社）
- ・リスニング・テキスト：12 *Great Hit Songs* (4) (英宝社)

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A・II B 〔再クラス〕	やま がた ゆたか 山 縣 裕	法B 3・4年	2

講義のねらい

日常会話を TOEIC 形式の問題などまじえながら学習する。学生用 CD 付教材使用。

成績評価の方法

定期テスト・出席点などを総合的に評価する。

教科書

S. Eckstut・青木雅幸著『TOEIC テストに役立つ日常英語』（成美堂）1,900 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A ・ II B 〔再クラス〕	ささ くら さだ お夫 笹 倉 貞 夫	法B 3・4年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに、実践的な英語運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

平易な現代アメリカ口語英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用。

履修上の留意点

予習・出席重視。

成績評価の方法

前・後期末テストの他、随時レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら最終評価を出す。

教 科 書

Pearl Buck 『*The Bible Story* (聖書物語)』(太陽社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A ・ II B 〔再クラス〕	はぎ わら てる 萩 原 輝	法B 3・4年	2

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、自分の考えや意見を、英語で表現出来る能力の習得を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

4月から6月は、"Happiness"と"Money"と"work"についての章を学ぶ。7月は前期のまとめと、前期試験を実施。9月から12月は、"Love and Hate"と"Humor and Laughter"と"Experience"についての章を学ぶ。1月は後期試験を実施する。

履修上の留意点

いつでも自分の考えや意見を英語で表現出来るようにするために、自主的に勉強する態度を身に付けて欲しい。なお、教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果、等の総合評価。

教 科 書

Jim Knudsen 著『名句で英語を学ぶ』(南雲堂) 1,957円

## [ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	まつ おか すずむ 松 岡 晋	法B1年	2

### 講義のねらい

下に記した教科書を用いて一年間でドイツ語の初等文法を学習します。

### 講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語の文字、発音規則の説明から始めて徐々に積み重ね、一年後には簡単なドイツ語の文章を読めるレベルに到達できれば、と考えております。授業では文法規則の説明が中心になりますが、それ以外に各課ごとに例文を列挙したコピーを配布し、実際のドイツ文に慣れていただきます。また、発音も重視して、随時、反復練習をおこないます。

### 履修上の留意点

文法学習は積み重ねですから、定期的に出席することを切に望みます。また、教科書以外に、最初の時間に何種類か示す中型の「独和辞典」のうちの一冊を必ず購入してもらい、それを毎回持参していただきます。

### 成績評価の方法

成績評価は、最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢など）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

### 教科書

長谷川つとむほか著『らくらくドイツ文法』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	の じま とし あき 野 鳥 利 彰	法B1年	2

### 講義のねらい

文法をある程度踏まえながら、耳からドイツ語を学びます。

### 講義の内容・授業スケジュール

付属のCDを自宅で聞いてあることを前提として授業を進めます。教室では練習問題に答えってもらうことを主眼にします。

### 履修上の留意点

文章をそのまま暗記してしまうほどCDを聞き込んでください。そうすれば練習問題も簡単に分かります。

### 成績評価の方法

予習をしてあるか否か、2回の期末試験、ヒアリングテストなどを総合的に判断して成績を評価します。

### 教科書

シュレヒト／三室著『ドイチュ・プラクティッシュ〈ロート〉』三修社 2500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A・I B 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京	法B2・3・4年	2

### 講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

### 講義の内容・授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で理解を確かなものとし、習得を助けます。

### 履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

### 成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

### 教科書

諏訪田『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 Ⅱ A	し みず おさむ 清 水 修	法B 2年	2

講義のねらい

特にコミュニケーション能力の養成をめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初は特に、復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。

履修上の留意点

ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。  
受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法

主に平常点で評価します。

教 科 書

プリントを用意します。

参 考 書 等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 Ⅱ B	しの ほら とし あき 篠 原 敏 昭	法B 2年	2

講義のねらい

ドイツ語 I A・I B で習った基礎的なことがらをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の文章が理解できるようになることをめざします。あわせてより進んだレベルの文法項目の学習もおこないます。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツ人の考え方や行動スタイルなどもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

予習をやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教 科 書

大谷弘道『CD付きドイツ人を知る9章』（三修社）2500円

参 考 書 等

授業の中で指示します。

そ の 他

CDをつかった授業をおこなう予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京	法B3・4年	2

講義のねらい

やさしい文章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・  
授業スケジュール

初級文法を初めから復習し、場合によっては補足します。表現は短くて平易です。  
テーマは、ドイツ語圏の日常生活や生活文化です。私たちには馴染みのない事柄が興味深く紹介されています。

履修上の留意点

テキストには丁寧な文法問題が用意されています。しっかり予習して授業に臨んでください。  
予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教 科 書

Briel・渡辺『アルタークスレーベン』（郁文堂）2000円

## 〔フランス語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	いま ぜき 今 関 ア ン	法B1年	2

### 講義のねらい

フランス語初級文法の確実な習得を目的とする。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

文法の問題点を学生自身が発見し、読み・書き・話し・聞く、という全ての能力を使ってフランス語文法を身につける。

### 履修上の留意点

毎回必ず仏和辞典を持ってきて、実際に作業しながら授業を進めてゆく。宿題は必ずすること。欠席すると小テストに不都合が生じるので皆勤を目指して欲しい。

### 成績評価の方法

各単元毎の小テストを含む出席点 50%、定期試験 50%

### 教 科 書

伊勢晃『グラメール』（草美出版社）2,500 円

### 参 考 書 等

仏和辞典、清岡智比古『フラ語動詞、こんなにわかっていいかしら？』（白水社）1,500 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	法B1年	2

### 講義のねらい

音としてのフランス語に慣れ親しんでもらいます。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

生活上の基本語・基本動詞・基本文型を習得することを主たる目的とします。

### 履修上の留意点

毎回の授業が新しいことの学習であり、その積み重ねで1年間の勉強が成り立っているのですから、欠席すれば先のことが分からなくなります。このことに留意すること。

### 成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績を評価します。また出席点や平常の課題なども考慮します。

### 教 科 書

沢田・ラタンジオ・黒川編『アミカルマン——フランス語・フランス文化への誘い』（改訂版）（駿河台出版社）1,800 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A ・ I B 〔再クラス〕	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	法B2・3・4年	2

### 講義のねらい

フランス語の基礎の習得

### 講義の内容・ 授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、できるかぎり分かりやすく初級文法を説明しながら、簡単な文章読解・練習問題・会話表現を通じて、フランス語の基礎を身につけます。

### 履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

### 成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

### 教 科 書

大津・楠瀬・村岡『赤い風船』（朝日出版社）

### 参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ A	や <sup>ぎ</sup> <sup>あけ</sup> <sup>み</sup> 八 木 明 美	法B 2年	2

講義のねらい

初級文法をひととおり学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教 科 書

『ル・フランセ』（白水社）1,750円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ B	きの <sup>した</sup> <sup>ゆう</sup> <sup>すけ</sup> 木 下 雄 介	法B 2年	2

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

平易な文章の探偵小説をテキストに用いる。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもない。テキスト中のすべての単語の品詞名・用法を確認して授業にのぞむこと。予習を怠り、教室に坐りに来るだけの学生は受講者とは認めない。かならずまともな仏和辞典を教室に持参すること（ポケット版の小辞典は不可）。

成績評価の方法

平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点する。

教 科 書

野村二郎編注『ロンメルのお宝』（白水社）1,470円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ A ・ Ⅱ B 〔再クラス〕	たけ <sup>だ</sup> <sup>まさ</sup> <sup>ずみ</sup> 竹 田 正 純	法B 3・4年	2

講義のねらい

初級文法の復習をしながら教科書を読み進めていく。と同時に、中級フランス語の骨格部分も学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

読む・話す・書くの基本部分の練習を繰り返す。

履修上の留意点

辞書を必ず持参すること。授業を休まないこと。

成績評価の方法

小テストのほか、提出物も課す。それをベースに前後期2度の試験で評価する。

教 科 書

ミュリエル・ジョリヴェ『フランス男性から一言』（第三書房）1,100円



# 中国語

中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

(P.148) 参照

【辞書について】

(P.149) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA	塩旗伸一郎	法B1年	2
中国語ⅠB	天野節	法B1年	2

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・  
授業スケジュール

単語の発音と意味の確認と文法の説明及び例文の発音と意味をⅠAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をⅠBで行う。

履修上の留意点

予習、復習、出席を必ずして、声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

出席、課題、授業態度、テストで総合判定する。

教科書

牧田英二『新編例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

その他

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	おおくぼ あき お 大久保 明 男	法B2・3・4年	2

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得をめざす

履修上の留意点

毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

以下の三項目で総合評価する

- ① 出席率：全授業回数の四分の三以上出席すること。6回以上の欠席は単位放棄とみなす。
- ② 小テスト：各課終了後に小テストを行う。必ず受けること。
- ③ 学習態度：遅刻、早退、私語、指されて「わかりません」の即答などは消極的な学習姿勢としてマイナス評価される。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語ははじめの一步』（白水社）2,060円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	曹 泰 和	法B2・3・4年	2

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

履修上の留意点

元氣よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原 茂・陳淑梅等著 アニメ中国語『恋する莎莎』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	秋 元 翼	法B2年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

日本語でもよく使われる9つの故事成語について書かれた教科書を使用する。文章は全文ピンインつきのやさしい中国語で書かれている。成語は中国の歴史に根ざしているので興味をそられるであろう。

履修上の留意点

教科書には練習問題もあるので予習・復習をして授業に臨んでもらいたい。音読練習も重視したい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果と各期末のテストで評価する。

教科書

荒屋勤、金佩華、橋本幸枝著『日本に生きる中国語—故事成語編—』（朝日出版社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	王 聡	法B2年	2

講義のねらい

発音の復習や簡単な日常会話の学習と並行しながら、文法の基礎事項を順次学んでいく。中国語のヒアリングと会話の能力を高めることを目標とする

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：発音の復習。コミュニケーションの中で実際に使う基本表現の習得。基礎文法の解説。  
後期：日常会話と基礎文法の習得を中心にし、発音の復習も念頭に。

履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

成績評価の方法

出席率・授業態度・平常点50%、定期試験50%。

教科書

三瀧正道他『たのしく話そう中国語』（朝日出版社）2,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	<small>ひろ</small> 弘 <small>かね</small> 兼 <small>かなこ</small> 加奈子	法B3・4年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

めざましい発展をとげている現在の中国を「住宅の話」「結婚の話」等の十二の項目に分けて授業を行なう。

翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

履修上の留意点

中国語が嫌いな学生も、苦手意識を持たずに授業に参加してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教 科 書

三濑正道・楊光俊 新訂版『現代中国 走馬看花』（朝日出版社）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	<small>あずま</small> 東 <small>えい</small> 映 <small>ぜん</small> 全	法B3・4年	2

講義のねらい

本講座では、学生諸君が大学一年生の時に学習した中国語A、またはBで、学習した音読を再確認し、このテキストを通じて、読解力の向上にとどまらず、中国人の生活・文化・風俗習慣により、ものの見方、考え方なども垣間みることができ、中国を多く知ることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

このテキストは、中国の故事や民話、人民生活、新聞記事等から構成された文章を教材にし、中国への関心を高めることを目指す。

履修上の留意点

出席重視・大声で読むこと、時間厳守そして事前予習することが大切である。

成績評価の方法

試験、出席、授業態度等総合的に判断する。

教 科 書

頼石傳等共著『現代中文課文』（神保出版）1,650円

## [スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	大岩 功	法B1年	2

### 講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

### 講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

### 履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

### 成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

### 教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）  
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

### 参考書等

辞書  
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円  
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円  
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円  
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円  
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	大岩 功	法B1年	2

### 講義のねらい

I A で学ぶ初級文法をふまえて、スペイン語の初歩的な運用能力を身につけることをねらいとします。

### 講義の内容・授業スケジュール

I B は作文を中心とした演習がメインとなりますが、適宜、文法項目の解説もします。

### 履修上の留意点

演習が主ですから、必ず予習して授業に臨んでください。宿題をやってくることは最低条件です。授業には辞書を持参してください。

### 成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

### 教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）  
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

### 参考書等

辞書  
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円  
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円  
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円  
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円  
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>くり ぼやし え</small> 栗 林 ゆき絵	法B2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、課題、小テストを実施。

履修上の留意点

指示された課題は必ずやってくること。

成績評価の方法

平常点（出席、課題）6割以上、試験（小テストおよび前後期末）6割以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。

教 科 書

堀田英夫『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）1,900円

参 考 書 等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）  
\*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ A	<small>かめ やま こう いち</small> 亀 山 晃 一	法B2年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより、習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしないこと。自ら興味をもち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教 科 書

開講時指示

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ B	<small>なか やま なお じ</small> 中 山 直 次	法B 2年	2

講義のねらい

前年度に引き続き、楽しみながら、スペイン語の総合的な学習を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度スペイン語ⅠBで使用した『トーレス一家の人たち』の前半を簡単に復習した後、その後半を学習します。これまで通り、場面別の会話文を訳読し、そこから取り出した文法を解説し、関連問題を解きます。ただし、今年度は、授業に変化をもたせるために、毎回副読本を使って簡単なスペイン語会話の演習をはさみます。

履修上の留意点

外国語の学習には「継続は力なり」という格言がよくあてはまります。「勉強する」というよりは「つきあう」という感覚で結構ですので、気楽に、しかし気長に取り組んでください。

成績評価の方法

授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。(いわゆる学期末定期試験は行いません)。

教 科 書

中山著『トーレス一家の人たち』(芸林書房)：昨年度からの継続受講者は購入不要です。  
中山著『250語でできるやさしいスペイン会話』(白水社)：今年度用の副読本です。

参 考 書 等

辞書・参考書等は、現在持っているもので十分まにあうと思います。ただし、辞書は小型の携帯用だけでは幾分物足りなくなるかも知れませんので、その場合、できれば『現代スペイン語辞典』(白水社)・『西和中辞典』(小学館)・『新スペイン語辞典』(研究社)などのうちいずれか一冊を補充してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ A ・ Ⅱ B 〔再クラス〕	<small>くり ばやし え</small> 栗 林 ゆき絵	法B 3・4年	2

講義のねらい

本年度は会話表現の習得に重点をおく。動詞の活用形を学びながら、基本表現の応用の仕方を理解し、それをを用いて様々なニュアンスの文を作ることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

活用・文法事項の確認→応用作文、会話表現の説明→応用作文、を交互に行う。

履修上の留意点

辞書(和西つきが望ましい)は授業中に使用するので必ず持ってくること。基本表現は口をついて出るよう発音練習を繰り返してほしい。

成績評価の方法

出席日数が6割に満たないものは、試験の採点を行わない。小テスト、前後期の試験を合わせて60%以上とることが単位取得の最低条件。

教 科 書

木村琢也『スペインへのパスポート』(同学社)

参 考 書 等

『プログレッシブスペイン語事典』(小学館)  
\*辞書を所有しない者は上記の辞書を購入するように。

## 〔ロシア語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I A	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	法B1年	2

### 講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ポデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

### 成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

### 教 科 書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）価格未定  
杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,751円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I B	<small>ひろ</small> <small>た</small> <small>ひで</small> <small>やす</small> 廣 田 英 靖	法B1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教 科 書

杉山秀子他著『21世紀ののロシア語』(大学書林) 価格未定  
杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,751円

参 考 書 等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I A ・ I B 〔再クラス〕	<small>すぎ</small> <small>やま</small> <small>ひで</small> <small>こ</small> 杉 山 秀 子	法B2・3・4年	2

講義のねらい

一般的に、語尾変化があるロシア語は、難しい言語であるとおもわれがちですが、その動詞、形容詞、名詞の語尾変化を含む文法体系は、驚くほど首尾一貫しており、ある程度基本文法を学ぶと、ロシア語の文体が如何に単純、明快であるか、さらにその構成が極めておおらかで、自由、柔軟なことに気がつきます。このような特徴を持つユニークなロシア語の学習を通して、ユーラシア大陸における旧ソ連の各共和国、諸民族の生活や文化の背景にも広い視野でスポットをあてます。

最初の段階では、ローマ字やギリシャ文字と共通のものもあるわずか33個のロシア語アルファベットの綴、発音をイラストで示し、次にごく簡単な言葉、挨拶、ことわざを利用しながら、アクセントとリズム、イントネーションを反復練習し、自然におぼえることに重点をおきます。

徐々にロシア語の基本文法を体系的に分かりやすく解説し、平易な文型、実用的で応用のきく会話表現を学び、辞書を用い簡単な文章が正確に読み取れるようになります。

授業の合間には、気分転換をかねてポピュラーなロシア民謡を口ずさんだり、楽しく内容豊かなアニメーション・ビデオを鑑賞し、頭脳を能率よく働かせるロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

戸辺又方『1年生のロシア語』(白水社) 1,400円

参 考 書 等

『露和辞書』



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II A	<small>ひろ た ひで やす</small> 廣 田 英 靖	法B 2年	2

講義のねらい

ロシア語 IA で学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

教場にてプリントを配布。

参 考 書 等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II B	<small>ひろ た ひで やす</small> 廣 田 英 靖	法B 2年	2

講義のねらい

ロシア語 I で学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

教場にてプリントを配布。

参 考 書 等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II A ・ II B 〔再クラス〕	<small>すぎ やま ひで こ</small> 杉 山 秀 子	法B 3・4年	2

講義のねらい

ロシア語 IA で学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

教場にてプリントを配布。

参 考 書 等

『露和辞書』

# 英 会 話 Ⅱ

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の日安は英検2級合格、TOEFL のスコアー450点、TOEIC のスコアー500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅱ	なが の こう いち 永 野 光 一	法B1・2・3・4選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

# 英 語 L L II

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階のLL教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFLで450点、TOEIC500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	との いけ かず こ 外 池 一 子	法B1・2・3・4選	2

## 講義のねらい

日常生活の様々な場面をテーマにした会話の聞き取りを中心にリスニング力の向上を目指しますが、最終目標はそれを基にスピーキングの力をつけることです。

## 講義の内容・ 授業スケジュール

そのために、個々の音声の発音に加えて、語や句の中におけるアクセントの位置、リズム、イントネーション、さらには音が連続した時、また弱く発音された時の音の変化などに留意しながら授業を進めます。

## 履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。各レッスンのポイントとなる表現は必ず覚えること。カセットテープを必ず持参すること。

## 成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

## 教 科 書

開講時に指示する。



## 4 保 健 体 育 科 目

# 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

## 保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
限6時							宮 沢	健康・スポーツ論
7 時 限	大 石	ニュースポーツ	竹 田	健康・スポーツ論	※高橋	空手道		
	秋 田	バドミントン			村 松	卓球		
	※宮沢	卓球			三 幣	バドミントン		

※は、科目の主担当者

## 4 . 保健体育科目

健康・スポーツ論 (前期)	〈鈴木 淳平〉	571
健康・スポーツ論 (前期)	〈田中 佳孝〉	572
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈川村 正義〉	573
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	〈秋田浩一・三幣晴三〉	574
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈内山 雅博〉	575
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋 俊介〉	576
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	〈大石 武士〉	577
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用)	〈休 講〉	
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用)	〈休 講〉	
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) (ゴルフ)	〈森本 葵 他〉	578
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) (スキー・スノーボード)	〈鈴木 淳平 他〉	579





科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	法B選	2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件（13項目）の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活充化の意識の育成を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併せて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11 時限目：　　〃
- 12 時限目：トレーニング理論全般
- 13 時限目：　　〃
- 14 時限目：　　〃
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	田 中 佳 孝 <small>た な が よ し た か</small>	法B選	2

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて  
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について  
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5~7 主なビタミンの働きについて  
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8~10 健康な学生生活を送る為のビタミン
  - 飲酒
  - 喫煙
  - スポーツ
  - 外食、甘党
  - ダイエット
  - 妊娠
- 11~12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、優~不可の評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

教 科 書

なし

参 考 書 等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)  
 『0歳からのビタミンバイブル』／『貝原益軒の養生訓』／『サーロインステーキ症候群』  
 ／『食事療法』／『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	かわむらまさよし 川村正義	法B1選	2

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境、特にフレックスB学生に対して、例え少ない時間であっても、卓球を通じて体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、目標の説明
- 2 時限目：ラケットの種類の特徴、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- 3 時限目：サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- 4 時限目：サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- 5 時限目：サービス、バックハンド
- 6 時限目：サービスレシーブ、バックハンド
- 7 時限目：総合練習
- 8 時限目：総合練習 シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：〃
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：〃
- 15 時限目：まとめ、テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

教 科 書

服装は運動着、体育館用シューズ。  
用具は全て貸与する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	あぎた せい 浩一・三幣 みねさ はるみ 晴三	法B1選	2

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習  
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術  
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術  
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの選び方、ルールの説明  
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10時限目：シングルスゲームの選び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12時限目：同 第2日目
- 13時限目：同 第3日目
- 14時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

成績評価の方法

服装：一般的な運動服装  
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

教 科 書

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	うちやま まま ひろ 内 山 雅 博	法B1選	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボールを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明  
(バスケット・ボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフ・コート 2 対 1、ゲーム (1 次リーグ)
- 4 時限目：ハーフ・コート 3 対 2、ゲーム (1 次リーグ)
- 5 時限目：ハーフ・コート 4 対 3、ゲーム (1・2 次リーグ)
- 6 時限目：ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (2 次リーグ)
- 7～9 時限目：実技テスト、ゲーム (2 次リーグ)  
(バレーボール)
- 10 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 12 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 13～15 時限目：実技テスト、ゲーム (トーナメント)

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70 点)、実技テスト (20 点)、態度点 (10 点)、60 点以上を合格とする。

そ の 他

種目の内容については、第 1 回目の授業時に決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか ほし しゆん すけ 高 橋 俊 介	法B1選	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	もり 森 もと 本 まもる 葵 他	法B選	2

#### 講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的なねらいを主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係をつくっていくための基礎を学んでほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 17:40~18:00 9-173 教場  
2回目 4月16日(水) 17:40~18:00 9-173 教場  
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書発行を行います。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 7月20日(日) 13:00~16:00 2研-102 教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
  - 1日目【9月8日(月)】実技：14:00~17:00《打撃練習》  
講義：19:00~21:00《ゴルフスイングの基本》
  - 2日目【9月9日(火)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》  
講義：19:00~21:00《ゴルフのマナーやエチケット》
  - 3日目【9月10日(水)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》  
講義：19:00~21:00《ゴルフのルール・ラウンドについて》
  - 4日目【9月11日(木)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《ラウンド・その他》  
講義：19:00~21:00《ラウンドの反省と総括》
  - 5日目【9月12日(金)】実技：9:00~11:00・12:30~14:30《ラウンド・その他》

#### 履修上の留意点

生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成15年9月8日(月)~9月12日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：①宿 泊 軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話(0267)46-1111  
長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉  
②練習場 軽井沢ゴルフ練習場 電話(0267)48-1211  
③コース 晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- 3) 定員：20名
- 4) 集合解散：現地(軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)  
詳細については事前授業で説明するので必ず出席すること。
- 5) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。  
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること(16:30以降は夜間総合事務室で受付けます)。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。  
納入期間：平成15年5月26日(月)~6月7日(土)
- 6) 服装・用具：
  - ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
  - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
  - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。  
※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

#### 成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、出席点70%、技術の上達度および小テスト30%(ルール、マナー等)

#### そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平 他	法B選	2

#### 講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 17:40~18:00 9-173 教場  
2回目 4月16日(水) 17:40~18:00 9-173 教場  
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月22日(月) 13:00~16:00 2研-102 教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
  - 1日目【2月16日(月)】  
午後、現地ホテルロビー集合  
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
  - 2日目【2月17日(火)】  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
  - 3日目【2月18日(水)】  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
  - 4日目【2月19日(木)】  
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
  - 5日目【2月20日(金)】  
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

#### 履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成16年2月16日(月)~2月20日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場  
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話 (0195) 73-5019
- 3) 定員：スキー 20名  
スノーボード 5名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。  
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること(16:30以降は夜間総合事務室で受付けます)。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。  
納入期間：平成15年5月26日(月)~6月7日(土)
- 5) 用具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

#### 成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

#### そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。



# Ⅱ 専 門 教 育 科 目

## 法 律 学 科 フ レ ッ ク ス B

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、  
フレックスAの頁を参照してください。(→P. 291)



## II. 専門教育科目

### 法 律 学 科

※印の科目については、法律学科フレックス A の頁を参照してください。

法 学 概 論	〈北 野 かほる〉	585
憲 法	〈日 笠 完 治〉	586
民 法 総 論	〈大 宮 隆〉	586
刑 法 総 論	〈佐 藤 多美夫〉	587
会 社 法	〈荒 木 正 孝〉	587
行 政 法 総 論	〈金 子 昇 平〉	588
国 際 法	〈王 志 安〉	589
裁 判 法	〈雨 宮 眞 也〉	590
※比 較 憲 法	〈西 修〉	(314)
※親 族 法	〈五 島 京 子〉	591
※法 社 会 学	〈岡 寄 修〉	(315)
日 本 法 制 史	〈 休 講 〉	
西 洋 法 制 史	〈北 野 かほる〉	592
刑 事 政 策	〈斎 藤 静 敬〉	593
法 思 想 史	〈河 見 誠〉	594
政 治 学 原 論	〈大 塚 桂〉	595
※マス・コミュニケーション論	〈平 塚 千 尋〉	(321)
※政 治 史	〈村 井 良 太〉	(323)
経 済 原 論	〈藤 原 碩 宣〉	596
行 政 学	〈田 丸 大〉	596
現代法のトレンド		
	〈藤本 茂・青野博之・荒木正孝・大宮隆・岡田外司博・間渕清史〉	597
基礎憲法演習	〈中 野 辰 久〉	598
基礎民法演習	〈早 坂 亨〉	599
基礎刑法演習	〈木 村 美 隆〉	600
物 権 法	〈亀 田 浩 一 郎〉	601
債 権 総 論	〈河 野 弘 矩〉	602
債 権 各 論	〈青 野 博 之〉	603
刑 法 各 論	〈松 村 格〉	604
有 価 証 券 法	〈島 原 宏 明〉	605
登 記 法	〈田 沼 浩 浩〉	605
※英 米 法	〈北 野 かほる〉	(329)
※独 法	〈山 口 邦 夫〉	(331)
※仏 法	〈上 井 長 久〉	(330)
行 政 法 各 論	〈塩 入 みほも〉	606
税 法	〈岸 田 貞 夫〉	606
地 方 自 治 法	〈富 井 幸 雄〉	607
国 際 紛 争 解 決 法	〈王 志 安〉	608
担 保 物 権 法	〈鶴 井 俊 吉〉	609
相 続 法	〈門 広 乃 里 子〉	609
商 法 総 則 ・ 商 行 為 法	〈工 藤 聡 一〉	610
保 險 ・ 海 商 法	〈加 瀬 幸 喜〉	610
民 事 訴 訟 法	〈間 渕 清 史〉	611

民事執行・保全法	〈橋本 聰〉	611
倒産処理法	〈雨宮 眞也〉	612
刑事訴訟法	〈小木曾 綾〉	612
労働法	〈藤本 茂〉	613
社会保障法	〈原田 啓一郎〉	614
金融法	〈川田 悦男〉	615
経済法	〈岡田 外司博〉	615
国際私法	〈笠原 俊宏〉	616
環境法	〈松村 弓彦〉	616
知的財産権法	〈盛岡 一夫〉	617
財政学	〈速水 昇〉	617
国際関係論	〈南山 淳〉	618
経済政策	〈飯田 泰之〉	618
会計学総論	〈森田 佳宏〉	619
経営学総論	〈岩波 文孝〉	620
簿記論	〈鈴木 勝浩〉	621
※証券取引法	〈春田 博〉	(340)
※国際取引法	〈横山 真規雄〉	(343)
※航空・宇宙法	〈工藤 聡一〉	(338)
※消費者法	〈河野 弘矩〉	(339)
※法哲学	〈河見 誠〉	(337)
※社会政策	〈原田 啓一郎〉	(345)
※外交史	〈高光 佳絵〉	(347)
※政治思想史	〈有賀 誠〉	(347)
※外書講読 I・II (英書)	〈岡田 外司博〉	(348)
※外書講読 I・II (英書)	〈金子 昇平〉	(348)
※外書講読 I・II (英書)	〈牧野 和夫〉	(349)
※外書講読 I・II (独書)	〈松村 格〉	(349)
※外書講読 I・II (仏書)	〈荒木 正孝〉	(350)
※外書講読 I・II (中国書)	〈江林 英基〉	(350)
※外書講読 I・II (スペイン書)	〈真下 祐一〉	(351)
応用憲法演習	〈中野 辰久〉	622
応用民法演習	〈鶴井俊吉・上野雅祥・小林 覚・濱中善彦〉	622
応用刑法演習	〈木村 美隆〉	623
現代企業論	〈代田 純〉	623
演習 I・II	〈青野 博之〉	624
演習 I・II	〈大宮 隆〉	624
演習 I・II	〈小木曾 綾〉	625
演習 I・II	〈金子 昇平〉	625
演習 I・II	〈西 修〉	626
演習 I・II	〈間 湖 清史〉	626
演習 I・II	〈山口 邦夫〉	627
演習 I・II	〈山田 泰彦〉	627
演習 I・II	〈林 幸司〉	628

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 概 論	きたの 北野 かほる	法B1必	4

講義のねらい

これから法学を学んで行くための基本的観点と感覚を養うため、「法」と社会と人間との関わりについての一般的考察、「法」の社会的機能の要点、を概観し、「法学」の全般的機能を考察した上で、「法学」を学ぶことの意味を改めて考える。また、今後の学習の指針として、現代日本の法学の諸分野とその大まかな特徴を解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 社会と法
  - 第1章 一般的考察
    - 第1節 人間と法
    - 第2節 規範と権力
    - 第3節 正義
  - 第2章 集団編成原理と法規範
    - 第1節 初期的段階の社会原理と法規範
    - 第2節 発達した段階の社会原理と法規範
- 第2部 近代日本の法
  - 第1章 近代日本の系譜
    - 第1節 日本の法的近代化
  - 第2章 近代日本の法
    - 第1節 近代日本法の特徴
    - 第2節 日本近代法の分類
    - 第3節 現代日本法の動向

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく制限する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

そ の 他

夏休みに法・法学関連の書籍を一冊読んで概要をまとめる訓練を目的とするレポートを課す。強制ではないが、レポート提出者には一定限度の優遇措置をとる。読書感想文を求めるレポートではなく、学術書の内容を正確に把握する訓練であるので、目的を十分理解して取り組むこと。

一冊読めば試験勉強ができるような教科書はない。試験準備には講義ノートが最も有効な手段である。講義内容は毎年少しずつ違うので、過年度のノートはあまり役に立たない。出席はとらないが、事実上出席していないと試験準備ができなくなるので、十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲 法	日 笠 完 治	法B1必	4

講義のねらい

憲法学の体系的な理解ができるようにする。とはいえ、憲法学のすべての領域に触れることはできないので、基礎的項目や重要な論点を取り上げながら講義をする。そして、受講者が憲法学的に思考する能力を修得することを望む。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、イントロダクション、憲法学の体系、憲法の理念及び原理、立法・行政・司法という統治機構、財政、地方分権などを扱う。後期は、基本的人権の理論、精神的自由権、経済的自由権、国務請求権、社会権、参政権、人身の自由などを検討していく。

履修上の留意点

授業後に質問を受け付けたい。積極的に質問して欲しい。

成績評価の方法

原則的には、定期試験の結果に基づき評価を行う。なお、レポート提出などの日常的学習活動については、加点主義で考慮する。

教科書

日笠完治『憲法がわかった』（改訂版）（法学書院）2,600円前後

参考書等

法令集として、『ポケット六法』『コンパクト六法』『デリー六法』などの最新版が必要。判例集として、『憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ [第4版]』『憲法判例集』などを参考に。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 総 則	大 宮 隆	法B1・2・3・4選必	4

講義のねらい

民法は、個人相互間の私的生活関係の基本法として、財産（物の所有や契約など）と家族（夫婦・親子や相続など）に関する事項を規律する法律である。日本の民法典は、総則・物権・債権・親族・相続の配列で、五編より構成されているが、本講義の対象は、総則編である。総則には、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定が集められている。民法の学習にあたっては、条文数が多いことや、内容が複雑で技術的な構成をとっているため、親しみ難い面があるので、実際の社会生活から遊離することのないように、例示をできるだけ多くして説明することを心がけている。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 民法とはどのような法律か  
民法典の沿革、構成
- 2 民法の法源（財産と家族に関する法律はどのような形で存在するのか）
- 3 民法の解釈
- 4 民法の指導原理
- 5 権利の主体——自然人・法人
- 6 権利の客体——物
- 7 権利の変動原因——法律行為・意思表示・代理・無効及び取消・条件及び期限・期間・時効

履修上の留意点

教科書をしっかり読んで、出席してもらいたい。

成績評価の方法

数回のテストを予定している。その結果と、学期末試験の成績を総合して、評価する。

教科書

河野弘矩『改訂版民法総則講義』（八千代出版）3,100円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 法 総 論	佐 藤 多 美 夫	法B1・2・3・4選必	4

講義のねらい

犯罪全体に共通する事項の中で、基本的な項目について、その意義と問題点を明らかにし、体系的に刑法総論を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

「犯罪とは構成要件に該当し、違法で、有責な行為である」という命題を中心に展開をし、次に共同正犯、教唆犯、幫助犯いわゆる共犯論を展開し、その諸問題についても扱う。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教 科 書

開講時に指示する（欠席しないように）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 社 法	荒 木 正 孝	法B2・3・4選必	4

講義のねらい

この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・  
授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、多くの人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を採り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原理を理解してもらおうつもりである。

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。商法は、民法を一般法とする特別法であるから、会社法に限らず、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層理解しやすい。ただ、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法＝財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履修していなくても受講には差し支えない。

平成13年および14年に重要な商法の改正が行なわれたので、必ず平成15年版の六法をもって講義に臨んで下さい。

成績評価の方法

年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

鴻・落合・岩原・江頭編『会社判例百選』（第6版）（有斐閣）  
奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第3版』（成文堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 総 論	かねこしやうへい 金 子 昇 平	法B2・3・4選必	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、プライバシー保護法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべき行政法の理論を考えていかなければならない。そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・トゥ・デートな課題を積極的に提示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 行政と法の関係
  - ①法律による行政の原理 ②行政法の意義と範囲 ③行政法の法形式 ④行政上の法律関係
- 2) 行政主体と私人
  - ①行政主体と行政客体 ②国の行政組織 ③地方公共団体の行政組織 ④行政機関・公務員
  - ⑤行政情報と法
- 3) 行政手段法
  - ①行政立法 ②自治法 ③行政計画 ④行政行為 ⑤行政契約 ⑥行政指導 ⑦行政調査
  - ⑧行政強制 ⑨行政罰
- 4) 行政手続の法

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教 科 書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

参 考 書 等

塩野宏他編『行政判例百選』（第四版）（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 法	おう し あん 王 志 安	法B 2・3・4選必	4

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（上）、東信堂、2002、2,800円

参 考 書 等

松田幹夫編著『現代国際法』（八千代出版）1997年 2,700円  
市販されている国際条約集

そ の 他

授業はすべて power point を使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
裁判法	あめ みや まさ や 雨宮真也	法B2・3・4選必	4

### 講義のねらい

主として、わが国の裁判制度について、その組織と運用の実情を理解させることをもって、この講義の目的とします。

裁判とは、社会関係における利害の衝突、紛争を解決し調整する規律を定めるための、法的な権威を有する第三者の判定です。

社会関係の複雑化と国民の権利意識の高まりとに従い、現代社会において裁判の果たすべき役割は、年々その比重を増してきています。

裁判制度の現にある姿を明らかにするとともに、そのあるべき姿を求めるため、特に、裁判の本質、裁判の構造、裁判の論理、裁判と法律の解釈、裁判と事実認定、裁判の機能、判例の成立と意義等の諸論点について、重点を置いて講義します。

裁判における裁判官の思考プロセスにも触れ、法的思考の何たるかをも明らかにしたいと考えています。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 講義は、後掲の教科書に従って次のように進めて行きます。
- |   |  |
|---|--|
| <p>第1章 法と裁判の役割</p> <p>1 民事法の実現と民事手続</p> <p>① 紛争</p> <p>② 法規範</p> <p>③ 訴訟</p> <p>2 刑事法の実現と刑事手続</p> <p>① 刑事手続の目的</p> <p>② 適切な手続の保証</p> <p>③ 刑事裁判</p> <p>3 司法権と違憲審査権</p> <p>① 司法権と裁判所</p> <p>② 違憲審査権と司法権の独立</p> <p>第2章 裁判所制度</p> <p>1 最高裁判所</p> <p>2 高等裁判所</p> <p>3 地方裁判所</p> <p>4 家庭裁判所</p> <p>5 簡易裁判所</p> <p>第3章 法律家の役割</p> <p>1 裁判官</p> <p>2 検察官</p> <p>3 弁護士</p> <p>4 準法律家</p> <p>5 法曹養成</p> | <p>第4章 裁判の仕組み</p> <p>1 民事裁判</p> <p>① 民事訴訟の基本構造</p> <p>② 訴えの提起</p> <p>③ 審理の展開</p> <p>④ 証拠調べ</p> <p>⑤ 判決</p> <p>⑥ 上訴（不服申立て）</p> <p>2 家事裁判</p> <p>3 行政裁判</p> <p>① 行政訴訟の類型</p> <p>② 行政訴訟の特色</p> <p>4 刑事裁判</p> <p>① 刑事手続の流れ</p> <p>② 捜査手続</p> <p>③ 公訴の提起と検察官の役割</p> <p>④ 公判手続の基本原則とその運用</p> <p>⑤ 刑事裁判の課題</p> <p>5 憲法裁判</p> <p>① 違憲審査制と憲法裁判</p> <p>② 違憲審査権の運用状況</p> <p>第5章 裁判をめぐる現代的課題</p> <p>1 市民の裁判を受ける権利</p> <p>2 市民の司法参加</p> <p>3 国際化と裁判</p> |
|---|--|

### 履修上の留意点

教科書を予め読んで、疑問点を把握しておいて下さい。

### 成績評価の方法

期末試験における論文式テストにより評価します。

### 教科書

市川正人外著『現代の裁判』（有斐閣アルマ）

### 参考書等

兼子一・竹下守夫『裁判法』（有斐閣法律学全集）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親 族 法	ことう きょうこ 五 島 京 子	法B・法A1・2選	4

#### 講義のねらい

民法典第四編親族編に規定される内容を中心に「親族法」の講義を行う。身近な家族の問題を法的視点から理解することを通じて、民法の基礎的な考え方を身につけることを目的としたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

私法の一般法である民法には財産関係を規律する法と家族関係を規律する法が含まれるが、本講座は後者を講義の対象とする。具体的には、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次講じていくことになるが、法律を初めて学ぶ方たちのために最初はゆっくりと基本的用語の説明をしながら講義を進め、知識がある程度集積してくる夏休み明けから進度を速めていく予定である。民法の条文解釈を中心に、わが国における制度の歴史や欧米家族法との比較、法社会学的な考察をも踏まえ、最近の立法の動向を紹介しながらダイナミックな家族をめぐる法状況を検討したい。

#### 履修上の留意点

面白がって講義に参加していただくのは大歓迎だが、その興奮を講義の時間内に隣の人たちと分かち合うのは控えていただきたい。1人のひそひそ話が100人分集まれば、もはやひそひそ話ではなくなるのである。

#### 成績評価の方法

定期試験により成績評価をするが、出席状況などの平常点をも加味する。

#### 教 科 書

遠藤浩ほか編『民法（8）親族〔第4版増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

#### 参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明・水野紀子編『家族法判例百選〔第6版〕』（有斐閣）2,200円  
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北野 かほる	法B・法A1・2選	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066 - 1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造 封建制
    - 第3節 統治構造 封建制の解体
    - 第4節 法構造
  - 第3章 近世 (1350 - 1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

そ の 他

一冊で問に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 事 政 策	さいとう よしゆき 齋藤 静 敬	法B・法A1・2選	4

講義のねらい

人間は、なぜ罪を犯すのであろうか。どうすれば、この世の中から犯罪を防止することができるのであろうか？

たしかに、犯罪のない社会を実現させることは非常に困難なことである。しかしながら、実現不可能であるとして、何の努力もせずには、何の解決策にもならない。少しでもよいから犯罪のない社会の実現にむけて、われわれは努力すべきである。刑事政策を学ぶということは、まさにこの犯罪のない社会の実現にむけて貢献することにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

刑事政策は犯罪を防遏するための合理的、合目的な手段、方法を探究するものである。そこで、

- 1 犯罪現象の類型的考察(例えば、少年犯罪、女性犯罪、性犯罪、暴力団犯罪、公務員犯罪、公害犯罪、精神障害者の犯罪、薬物乱用犯罪、交通犯罪、外国人犯罪)。
- 2 犯罪者の処遇(例えば、受刑者の法的地位、刑務作業、拘禁の形態、仮釈放)。
- 3 犯罪者に対する制裁(例えば、死刑、自由刑、財産刑、保安処分)。
- 4 犯罪の司法的処理(例えば、起訴猶予、執行猶予)……などについて概説する。

履修上の留意点

1. 講義には、毎回かかさず出席して欲しい。2. 毎日、新聞の犯罪記事に目を通しておく。

成績評価の方法

筆記試験

教 科 書

齋藤静敬『刑事政策の諸問題』(創成社) 2,800円+税

そ の 他

講義方式

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	かわみ まこと 河見 誠	法B・法A1・2選	4

#### 講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀的枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方に関しても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人の生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそういった格闘は、何も2002年現在の私たちが初めて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にふさわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在よって立っている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的人権や民主的統治機構は、基本的には近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代法思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

近代以前：古代ギリシャの法思想（ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス）、  
中世ローマ・キリスト教の法思想（キケロ、アウグスティヌス、トマス・アキナス）  
近代：自然権・社会契約論（ホッブス、ロック、ルソー）、ドイツ観念論（カント、ヘーゲル）  
近代から現代へ：社会主義法思想（マルクス）、新カント派法哲学（ケルゼン、ラートブルフ）、新しい自然法論（コーイング、カウフマン、フィニス）、現代の法思想状況について

#### 履修上の留意点

レジュメと参考資料を配布し、それらに基づいて授業を進めていく。参考資料については授業中に配布するが、レジュメについてはKOMSY上の河見のURLから、各自、印刷して持ってくること（<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kawami/>）。

#### 成績評価の方法

定期試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課すかもしれない。

#### 教 科 書

特に指定しないが、参考書に挙げた2冊は教科書に準じたものとして、しばしば引用する。

#### 参 考 書 等

田中成明他『法思想史（第2版）』（有斐閣Sシリーズ、1997年）1,700円  
三島淑臣『法思想史（新版）』（青林書院、1993年）5,000円  
その他、随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 原 論	おお つか かつら 大 塚 桂	法B・法A1・2選	4

### 講義のねらい

#### I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

#### II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

#### III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

#### IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、および方法

B 政治の原理的究明

①政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

②共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

③イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）

C 政治の実体論的究明

①制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

②機能論的究明

～政党、压力団体

### 成績評価の方法

本年度もまた、受講者との相談のうえ A・B 両方式のうちのいずれかに決定します。

A 方式（レポートによる単位認定）

複数回（前・後期）のレポートを提出してもらい成績を評価します。課題報告（レポート）の作成をとおして、文献の読解力と書く能力を涵養します。

B 方式（試験による単位認定）

中間・学年末試験により、成績を評価します。評価基準は、中間試験50%、学年末試験50%です。

※A 方式の場合には、追・再試験は実施しません。B 方式は、実施します。

### 教 科 書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000 円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900 円

### 参 考 書 等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論	ふじ 藤 原 碩 宣 わら ひろ のり	法B・法A1・2選	4

講義のねらい

経済学の基本的要件の理解  
日本経済の直面する課題  
理論と現実の乖離とその説明  
といった点を主眼として行います。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では、経済学の性格、他分野との関係、成立要件といった基礎と、マクロ経済学国民経済循環、産業連関分析、国民所得概念および国民所得決定論など。  
後期では、ミクロ経済学および応用経済学——個別経済主体の行動分析、寡占経済理論、パブルの発生とその崩壊、財政・金融問題など。

履修上の留意点

授業に出席し、ノートをよくとる事が大切です。

成績評価の方法

ペーパーテスト。但し、自発的なレポートやテーマを決めたスクラップ作りなどを試験前に提出すれば、評価に加えます。

教科書

藤原碩宣編著『経済と経済学』（実教出版）  
その他は適宜授業中に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政学	た まる だい 田 丸 大	法B・法A1・2選	4

講義のねらい

行政学は政治学の中でも比較的新しい分野であるが、私たちの日常生活とも非常に関係の深い学問でもある。例えば、国レベルでは狂牛病騒動に見られる農林水産省の対応や、薬害エイズ・肝炎などに見られる旧厚生省の対応、自治体（地方）レベルでは、2003年4月に政令指定都市に昇格するさいたま市に見られるような市町村合併であるとか、原発の是非をめぐる住民投票など、世の中の様々な現象に何らかの形で行政は関わっている。これらの行政現象に流れる行政活動の論理を探ることが、行政学の大きなテーマの1つである。

本講義では、国の省庁や地方の自治体がどのようなメカニズムに基づき活動をしているのか、政策立案や執行さらには評価の過程などにも触れつつ検討することによって、複雑な現代社会の問題点や改革のあり方を正しく理解し、問題の本質を見抜くための基本的知識や思考様式を伝えたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている（スケジュールなど詳細は開講後に知らせる）。  
1 官僚制、2 議院内閣制、3 地方自治、4 公務員制度、5 政策過程、6 行政組織における意思決定、7 政策評価、8 行政改革、9 地方分権改革など。

成績評価の方法

一学期最後の講義におけるテスト、および学年末のテストのみで評価する。出席は取らない。レポートは課さない。しかし、授業中に扱ったことがらはすべて試験範囲とし、その中から満遍なく出題するので、出席をしない者が単位を取得することは困難である。

教科書

森田朗『改訂版 現代の行政』（放送大学教育振興会）2000年 本体2,000円  
教科書にアンダーラインを引く、書き込みを行うといった具合に使用するので、必ず用意してほしい。

参考書等

西尾勝『行政学（新版）』（有斐閣）2001年 本体3,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代法のトレンド	<small>ふじもと</small> 藤本 <small>しげる</small> 茂・ <small>あおの</small> 青野 <small>ひろゆき</small> 博之 <small>あらき</small> 荒木 <small>まさたか</small> 正孝・ <small>おおみや</small> 大宮 <small>たかし</small> 隆 <small>おかだ</small> 岡田 <small>としひろ</small> 外司博・ <small>まがら</small> 間瀬 <small>きよし</small> 清史	法B・法A1・2選	4

講義のねらい

現在、社会は大きく変化しようとしています。法もそれと無関係ではられません。本講義では、専門科目の講義担当者が講義では充分触れることのできない現代的課題について、いくつか取り上げて検討していきます。本年度は、主として民事法関係の担当者が、リレー形式で授業を行います。

通常の講義形態と異なりますので、第1回目の講義で、履修上の一般的な注意点と各専門領域での講義内容の概要を説明します。受講希望者は、第1回目の講義に必ず出席してください。

講義の内容・授業スケジュール

担当者の順および講義内容は、「詳細情報画面」を参照してください。専門領域ごとに3回～4回を予定しています。

履修上の留意点

私語はしないでください。携帯電話はスイッチ OFF。欠席はしないように注意してください。

成績評価の方法

各担当教員（6名）が、それぞれの講義時間の中で、小テストやレポートなどによって評価を行ない、それらの総合点で全体的な評価・単位認定を行ないます。詳細については、担当者ごとに異なりますので注意してください。

リレー形式なので、学年末試験および追再試験は実施しませんので注意してください。

教科書

講義全体を通じた教科書は特に指定しません。

参考書等

参考図書等については、各回の担当者の指示に従ってください。なお、六法は毎回、必ず持参してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 憲 法 演 習	なか の たつ ひさ 中 野 辰 久	法B・法A1・2選	4

#### 講義のねらい

本演習の特徴は、弁護士が担当すること、司法試験等の国家試験を念頭にしていることの二点にあります。その特徴を踏まえ、本演習は以下の諸点を目的に行いたいと思います。

- 1 受講生に身近と思われる具体的事例を素材として取り上げ、憲法等の法律が実社会でどのような役割を担っているかを明らかにするとともに、憲法の基本原理を重点的に検討する。
- 2 1を通して、司法試験等の国家試験に必要と考えられる憲法の基本原理・基礎的知識の習得を目指し、リーガルマインドの養成をはかる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

主に基本的人権に関する事例を取り上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。検討テーマの一例をあげると下記のとおりです。

- 1 死刑の合憲性
- 2 氏名権
- 3 外国人の人権－選挙権、指紋押捺の問題
- 4 平和主義・戦争の放棄－自衛隊の合憲性
- 5 プライバシー権－タレントの権利
- 6 法の下での平等－尊属殺重罰規定違憲判決、議員定数不均衡問題
- 7 表現の自由－報道の自由
- 8 職業選択の自由－プロ野球のドラフト制度
- 9 生存権
- 10 教育を受ける権利－校則の問題
- 11 信仰の自由・政教分離－靖国神社の問題等

#### 履修上の留意点

演習（ゼミ）形式ですから、できるかぎり出席することが望ましいと考えます。また、司法試験等の国家試験を念頭に置くと、復習は必ずしてほしいと思います。

#### 成績評価の方法

登録人数が多い場合は試験を実施します。そうでない場合には出席とレポートで評価することになります。

#### 教科書

芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法第三版』（岩波書店）  
芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ〔第四版〕』（有斐閣）

#### 参考書等

演習の都度、レジュメを配付する予定です。

#### その他

司法試験等の国家試験への対処、弁護士の仕事等についても適宜お話していきたいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 民 法 演 習	はや さか とおる 早 坂 亨	法B・法A1・2選	4

講義のねらい

本講義は、受講生が初学者であることを前提に、事例をもとに、実務的観点から民法の基礎・考え方を学ぶ。また、実務法曹になる前提としてロースクール入試、司法試験等を意識し、これらが何を要求しているかについて考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

民法では、現実には起こりうる私人間の紛争を規律するという側面を有するため、法的安定性ととも、具体的事案について結論の具体的な妥当性が要求される。従って、事例は、実際の判例を取り上げるが、その他、実務法曹になる前提としての司法試験の問題等も取り上げ、実務法曹としてどの様な基本的知識が必要とされるかについても講義、検討する。

履修上の留意点

本講義では、判例、司法試験の過去の問題を素材とするが、本科目の受講生は、民法の初学者を前提としていることから、これらの検討にあたっては、その点を充分配慮し、基本的事項から検討するので、予習よりも復習に重点をおいて受講して欲しい。  
また、講義にあたっては、積極的に発言して欲しい。

成績評価の方法

知識の習得度には重点を置かない。むしろ民法の考え方をどれだけ理解したかという点から評価する。

教 科 書

特段指定はしない。

参 考 書 等

講義において適宜指示する。

そ の 他

本講義は基本的に討論形式とする。  
実務法曹として必要な知識の取得を目的とすることから、ロースクール教育、司法試験についても当然念頭においた講義となる。最終的な司法試験合格の為に、相当程度の勉強が必要だが、ただがむしゃらに勉強さえすれば良いというものではない。司法試験はあくまで法律実務家になる為の試験であるから、実務法曹として何が望まれているのかを理解し、その方向性に向かって勉強することが必要とされる。従って、判例、司法試験の問題の検討を通じて、実務法曹として、どの様な能力が求められているのか、また司法試験では何が要求されているのか、そのためにはどの様な勉強をしていけば良いのか、論文の考え方、特に勉強の方向性についての講義・討論を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 刑 法 演 習	木 村 美 隆 <small>きむら よし たか</small>	法B・法A1・2選	4

講義のねらい

刑法の基礎知識、思考方法の習得を目的とすることは当然であるが、司法試験をはじめとする各種国家試験の合格を目ざす学生諸君の存在を意識して、その対策への導入路となることをも心がけたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

刑法は、犯罪の一般的成立要件を中心に分析、検討する刑法総論と、殺人罪、窃盗罪など個別の犯罪の成立要件を分析、検討する刑法各論に分けて講ぜられるのが一般である。この演習では、前期から後期中までをかけ、刑法総論のテーマを取り上げ、その余の時間で刑法各論の重要論点にふれる予定としている。

刑法は、古くから学説上の争いが顕著で、ときに学界を二分するような議論もなされてきたが、この演習では特定の学説上の立場に把われることなく、常に多様な考え方、視点のあることにふれていきたい。

また、司法試験等各種国家試験の対策も念頭に置き、そのために必要な学習方法にも言及する予定である。

さらに、弁護士としての実務経験も適宜織り込み、法律が現実に応用される世界への興味を引き出せたら幸いと考えている。

履修上の留意点

テレビ・新聞等で多くの犯罪が取り上げられることもあって、刑法は親しみやすい科目であるかもしれない。しかし、ひとたび教科書を開いてみれば、極めて論理性の高い体系のあることに気づかされ、学習の容易でないことを知るはずである。中途半端な学習態度で臨んでもらいたくない。

成績評価の方法

出席と、試験の結果により評価する。

教 科 書

特定の教科書は使用しないが、学習上何らかの体系書に拠ることが望ましい。参考となる文献は開講時に指示する。

そ の 他

講義形式が中心となるが、学生の発表能力を養うため、試験とは別に答案を書き添削を加える、いわゆる答案練習の機会を持つてみたいと考えている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
物 権 法	かめ だ こういちろう 亀 田 浩一郎	法B2選	4

講義のねらい

われわれの生活関係を規律する一般法である民法は、財産的関係を処理するにあたり、物権（所有権・抵当権といった物に対する権利）と債権（売買代金債権・貸金債権といった人に対する権利）という2種類の権利を用いている。本講義は、このうち物権を道具として財産的関係を処理しようとする分野について、基本的な法理論を学習し、物権法の体系的な理解をめざすものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、物権法の前半部分（民法175条～294条）にあたる物権法総論、占有権、所有権および用益物権を対象とする（この部分だけを「物権法」とする教科書が多い）。

後期は、物権法の後半部分（民法295条～398条の22）にあたる留置権、先取特権、質権、抵当権という典型担保に、非典型担保（譲渡担保、仮登記担保等）をも含めた「担保物権法」と呼ばれる分野を対象とする。

具体的内容は以下の通り。

[前期]

- 1 物権法の位置づけ…民法財産編における総則・物権・債権各編の関係
- 2 物権の意義・性質・客体
- 3 物権法定主義
- 4 優先的効力・物権的請求権
- 5 物権変動の意義・原因…公示と公信
- 6 物権変動を生ずる法律行為…意思主義と形式主義、物権行為の独自性、物権変動時期
- 7 不動産物権変動…不動産登記、對抗の意義、登記を必要とする物権変動、第三者の範囲
- 8 動産物権変動…引渡、即時取得
- 9 占有権…占有の成立、占有権の承継、占有権の効力
- 10 所有権…相隣関係、所有権の取得、共有
- 11 地上権、永小作権、地役権、入会権

[後期]

- 1 債権の効力と担保制度の必要性
- 2 担保物権の種類・性質
- 3 留置権
- 4 先取特権
- 5 質権
- 6 抵当権の設定と被担保債権の範囲
- 7 抵当権の効力の及ぶ目的物の範囲、物上代位
- 8 抵当権の実行
- 9 抵当権と利用権との調整…短期貸借の保護、法定地上権
- 10 抵当不動産の第三取得者の保護…代価弁済、條除
- 11 抵当権の侵害
- 12 抵当権の処分
- 13 共同抵当
- 14 根抵当権
- 15 非典型担保…譲渡担保、仮登記担保、所有権留保など

履修上の留意点

「六法」は必ず持参すること。

予習・復習を行い、その際には覚えようとするのではなく、自分の頭で考え理解することを心がけてほしい。講義もただ受け身で聴くのではなく、自分で考えながら積極的な態度で臨んでもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、学年末の定期試験の結果によって行う予定。

教 科 書

開講時に指示・説明する。

参 考 書 等

開講時に指示・説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
債 権 総 論	河 野 弘 矩	法B 2 選	4

#### 講義のねらい

債権法とは、形式的には民法第三編債権の規定の総体（399条～724条）をいい、実質的には債権関係を規律する法規の全体を意味している。債権法は、物権法と共に市民生活のうち財産関係を規律する法規であり、主として財貨の移動関係を定めた法律といえよう。

債権法 債権総論 第一章 総則－債権の目的、効力、多数当事者の債権、債権譲渡、債権の消滅の5節から構成されている（399条～548条）

債権法 各論 第二章 契約（549条～696条）

第三章 事務管理（697条～702条）

第四章 不当利得（703条～708条）

第五章 不法行為（709条～794条）

講学上、債権法第一章総則を債権総論といい、第二章以降を債権各論と呼んでいる。

本講義は、上記の第一章の債権総則を対象とする。債権総則は、実質上契約から生ずる債権を念頭においた規定と解される場合が多いことから、講義のなかでは契約の例示を多く登場させ、極力具体的事例を以て抽象的理論を説明するようにしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の進行は、債権法の規定の順序に従い、以下の通り行う。

- (1) 債権の意義及びその性質
- (2) 債権の目的
- (3) 債権の種類（特定債権、種類債権、金銭債権、利息債権、選択債権、任意債権）
- (4) 債権の効力（自然債務、強制履行、債務不履行、第三者による債権侵害、責任財産の保全、他）
- (5) 多数当事者の債権関係（連帯債務、保証債務）
- (6) 債権関係の移転（債権譲渡、債務の引受、契約上の地位の譲渡）
- (7) 債権の消滅（弁済、代物弁済、供託、相殺、更改、免除、混同）

#### 履修上の留意点

必ず続けて受講すること。

講義には、六法全書を必ず持参すること。

講義についての質問は、毎回講義終了後質問を受けることは当然であるが、その他前期と後期の授業最終日に質問を受ける時間を設ける予定です。

#### 成績評価の方法

期末試験により評価する。出席点を加味するか否かは今後検討したい。

#### 教 科 書

教科書は、河野弘矩『債権法講義』（八千代出版）価格未定を使用予定。  
参考書については、授業のなかで紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
債 権 各 論	あおのひろゆきの 青野博之	法B・法A2選	4

#### 講義のねらい

債権各論とは、民法典のうち、第3編「債権」の第2章「契約」、第3章「事務管理」、第4章「不当利得」および第5章「不法行為」をいう。

たとえば、Aが自己所有の土地をBに売却する契約をBとの間で締結した場合には、Aは、Bに対して代金を払うように請求することができる。つまり、代金債権が発生する。また、Cの家にDの運転する車がぶつかって、家が壊れた場合には、Cは、Dに対して賠償金を払うように請求することができる。つまり、損害賠償債権が発生する。このように、債権は、契約、不法行為など、さまざまな理由によって発生する。このような債権発生原因について考察するのが、債権各論である。具体的には、たとえば不法行為では、どんな場合に損害の賠償を求めることができるか、どのような損害の賠償をもとめることができるかが問題となる。

なお、債権の発生原因のうち、債権各論で学ぶのは、契約、事務管理、不当利得および不法行為だけであるが、これらが債権発生原因の主要なものである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

契約の成立（申込、承諾）  
 契約の効力（同時履行の抗弁権、危険負担）  
 契約の解除  
 所有権移転型の契約（贈与、売買、交換）  
 貸借型の契約（消費貸借、使用貸借、賃貸借）  
 労務提供型の契約（雇傭、請負、委任、寄託）  
 その他の契約  
 事務管理  
 不当利得  
 不法行為の要件  
 不法行為の効果  
 特殊な不法行為

#### 履修上の留意点

できるだけ債権総論も受講してほしい。債権各論を理解するために重要な科目だからである。また、これ以外の民法の科目も受講すると、民法全体の理解につながる。

質問は大歓迎である。講義の中では、私からも質問するので、答えてほしい。双方向型の講義を目指している。

#### 成績評価の方法

質問した回数および私からの質問に対する解答の回数を重視する。解答が正しいかどうかではなく、考えて解答することに意味がある。安心して答えてほしい。

受講者がそれほど多くなければ、質問と応答による平常点だけで成績を評価する。しかし、平常点で成績を評価することができないほど受講生が多ければ、年度末の試験を行う。試験を行う際には、いっさいの持ち込みを不可とする。

#### 教科書

大島俊之ほか著『プリメール民法4・債権各論』（法律文化社）2,700円 2000年  
 教科書は上記のものを使うが、自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

#### 参考書等

講義に際して紹介する。

#### その他

出席し、質問し、私からの質問に答える、積極的な学生であってほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 法 各 論	まつ 村 格 松 村 格	法B 2選	4

#### 講義のねらい

刑法各論は、刑法各則規定の解釈が中心になるが、すべての条文の解釈を検討することは時間的に不可能であるので、特定の条文にしぼって講義していくことにする。そこで、現代型犯罪と称される犯罪規定の解釈とか、時代の変遷に伴って条文の解釈再検討を余儀なくされているような問題にしぼって講義していきたいと思う。学生諸君は、それらの犯罪がなぜ問題になっているかということをよく考えてもらいたいと同時に、その際に、刑法総論で学習した「人権保障」と「法益保護」という刑法の指令を常に念頭におきながら解釈をしてもらいたい。行為無価値論か結果無価値論かという違法性の実質の問題も常に係ってくるので、自分の立場をしっかりと築いてもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 刑法における生命の保護  
動物の生命／人の受精卵（初期胚）・胚子の生命／胎児の生命／人の生命  
人の生命の始期と終期／安楽死と尊厳死／自殺関与罪の問題点
2. 暴行罪と傷害罪  
暴行と傷害の概念／暴行と傷害の意義／同時傷害の特例／胎児性傷害の問題点  
ひき逃げと傷害致死罪・遺棄致死罪・殺人罪
3. 住居侵入罪と放火罪  
住居侵入罪の保護法益／住居侵入罪の問題点  
放火罪の既遂時期／建造物一体性の問題
4. 名誉・信用を侵す罪  
信用毀損罪／信書開封罪／名誉毀損罪と侮辱罪／名誉毀損罪と事実の証明
5. 性と犯罪  
わいせつ性の概念／強制わいせつ罪／わいせつ物頒布罪  
夫婦間レイプ／女子による強姦罪／強盗強姦罪
6. 財産罪の諸問題〈1〉  
財産罪の態様／財産罪の保護法益／財物の概念  
無銭飲食・宿泊／キセル乗車／クレジットカード詐欺  
不法原因給付と詐欺罪／権利行使と詐欺罪
7. 財産罪の諸問題〈2〉  
強盗罪の諸問題／横領罪と背任罪  
コンピュータ犯罪と財産罪
8. 各種偽造の罪  
通貨偽造罪／文書偽造罪／有価証券偽造罪
9. 電子コピーの文書性・電磁的記録の文書性  
文書偽造罪と電磁的記録不正作出罪／テレホンカードの度数不正変更
10. 公務員関連犯罪  
賄賂罪の問題点／職権濫用罪／公務執行妨害罪と業務妨害罪
11. 刑事裁判に支障を来す罪  
犯罪蔵匿罪／証拠湮滅の罪／偽証罪
12. その他

#### 履修上の留意点

刑法各論に関心のある学生諸君だけの参加を希望するが、教科書以外のことや特別資料に基づいて講義するので、毎回出席してノートをとることが必要である。

#### 成績評価の方法

定期試験のほか逐次小テストをするので、それらと出席状況を総合的に評価して決める。

#### 教 科 書

松村格『刑法学への誘い』（八千代出版）  
松村格『日本刑法各論教科書』（八千代出版）

#### 参 考 書 等

別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅱ各論（第4版）』（有斐閣）  
『刑法基本講座（全6巻）』のうち5巻6巻（法学書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
有価証券法	しま 島 ほん 原 ひろ 宏 あき 明	法B2選	4

講義のねらい

現代の経済社会における企業間の取引では、手形や小切手等の有価証券が数多く使用されている。中でも手形と小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制の多くは商法上の他の有価証券にも及んでいる。したがってその体系の理解は有価証券全般を理解する上で不可欠なものである。また、手形や小切手は金銭債権と結び付いた証券であるため、これに関する法体系は債権法の一部として把握され、民法の債権総論と密接な関係にある。

講義の内容・授業スケジュール

手形法は第一編が替手形と第二編が約束手形の二編から成り立っており、為替手形についての規定の多くを約束手形に準用するという構成になっている。ただし、わが国においては為替手形がほとんど用いられていないという現実があり、また為替手形に比べて約束手形の方が仕組みが単純であるため、条文の順序とは一致しないが講義では約束手形を中心に説明を行い、適宜が替手形、及び為替手形と基本的な仕組みを同じくする小切手についての説明を付け加えていくという形をとる。

なお、企業活動に関わったことのない学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味が起こりにくいいため、なるべく具体的な判例を示して解説をしていくつもりである。

成績評価の方法

成績評価は期末試験による。

教科書

島原宏明『手形法学への誘い』（八千代出版）2,500円

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
登記法	た 田 ぬま 沼 ひろし 浩	法B・法A2選	4

講義のねらい

「不動産登記法」及び「商業登記法」の講義を行う。初めて不動産登記法・商業登記法を学ぶ者にも、以前勉強したことのある者にも、民法・商法の手続法としての不動産登記法・商業登記法が現在の取引社会においてどのような役割を担っているのか、不動産登記・商業登記制度の意義を通じて、両法のより深い理解を図ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

不動産登記においては、不動産に関する取引全体の流れにおける不動産登記の役割を理解することを目指したい。商業登記法においては、会社法と関連させることによって会社の起業に役立つ程度の知識を最低限習得できるように努めたい。

履修上の留意点

受講者は民法第二編物権（物権法）、商法第二編会社（会社法）を履修することが望ましい。この講義を受講することが望ましい者は、将来、不動産・金融関係の会社に就職を希望する者、起業して自営業を目指す者、そして司法書士試験を受験したいと考えている者に限らない。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況や中間試験（レポート）も加味する。

教科書

法務省民事局編『不動産登記実務〔五訂版〕』（法曹会）4,000円  
 法務省民事局第四課編『商業登記法入門』（きんざい）3,619円  
 六法全書（コピーでも良い）は、毎回持参すること。（最新の六法全書であること）

参考書等

遠藤浩・青山正明編『別冊法学セミナー 基本法コンメンタール〔第四版補訂版〕不動産登記法』（日本評論社）3,500円（初学者は基本法コンメンタールを直ちに購入しなくても良い。）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	しほ いり 塩 入 みほも	法B 3・4選	4

講義のねらい

行政活動に対する国民の権利救済に関する法制度（＝行政救済法）について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

内容的には、国家賠償、損失補償、行政不服審査、行政事件訴訟の各法制度について講義する。

履修上の留意点

行政法の基礎知識を前提とするので、基本的には行政法総論を履修済みであることが望ましい。但し、努力次第では、総論との並行又は単独履修も可能である。

成績評価の方法

定期試験（年度末一回）及び不定期に確認する出欠により評価する。

教 科 書

特に使用しない。

参 考 書 等

初回講義時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 法	まし だ さだ お 岸 田 貞 夫	法B・法A 3・4選	4

講義のねらい

税法の体系を法律적인見地から検討し、所得税法等の規定の解釈を中心として、税法の意義、役割、問題点等を研究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

税法の意義、機能、体系、租税法律関係の特色、租税の確定手続き、所得税法における納税義務者、課税所得の意義、所得の種類、収入及び必要経費の範囲等について、順次講義する。

履修上の留意点

予習の上、問題意識をもって授業に参加されたい。

成績評価の方法

前期および後期の試験の結果により評価する。

教 科 書

岸田貞夫著『税法としての所得課税』（税務経理協会）2,900円

参 考 書 等

金子宏著『租税法』（弘文堂）

そ の 他

授業は講義方式で行う。なお、レジュメを配付する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	法B・法A3・4選	4

#### 講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

#### 成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。

#### 教 科 書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房） 2,000円

#### 参 考 書 等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。  
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

#### そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 紛 争 解 決 法	おう し あん 王 志 安	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）、東信堂、2002、2,000円

参 考 書 等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

そ の 他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
担 保 物 権 法	つる 鶴 井 俊 吉	法B 3・4 選	4

講義のねらい

この講義では、民法典の第二編「物権」のうちで、留置権、先取特権、質権、抵当権を中心に、譲渡担保、仮登記担保等が対象となる。担保物権制度は、資本主義経済の発展に伴って、その重要性がますます増大している。今日、財産法領域で最も変化の多いところであり、取引界の要請により、新しい法令が制定され、年々歳々進展し、著しく変動している。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが土地を買い、建物を建てる、あるいは自動車を買うという場合に、多くは金融機関から融資を受けることになるが、金融機関では何らかの担保を要求してくる。この場合に、抵当権や質権といった担保物権を金融機関に設定する。このように小は個人の資金調達のため、あるいは大は、企業の活動資金獲得のために担保は重要な役割を担っている。担保物権法のもつ経済的意義は極めて重要である。

しかし、学生にとって担保物権法は、民法の中で最も難解なところと感じられ、また比較的近い領域だと思われる。それは、多数の関係当事者が複雑に絡み合い、また解釈上でも技術的性格が強いことに原因がある。

そこで講義では、担保物権法の基礎的な考え方を理解できるように、できるだけ判例等の具体例をとりあげ、図解してわかりやすいように心掛ける予定である。

履修上の留意点

学期の初めには、担保物権法の主要な部分についての概略の説明を予定している。それによって担保制度の全体像がおおよそ把握できるであろう。それゆえ、最初から講義に出席しないと理解できなく、なかなか興味を持てなくなるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

成績評価の方法

年度末の定期試験の結果と講義出席の状況を考慮して総合的に評価する。

教 科 書

遠藤・川井他編『民法（3）担保物権』（有斐閣双書）を予定している。

参 考 書 等

講義の最初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	かど ひろ のり こ 門 広 乃 里 子	法B 3・4 選	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法（9）相続〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円 六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商法総則・商行為法	く どう そう いち 工 藤 聡 一	法B3・4選	4

講義のねらい

商法は企業に関する法であり、商法総則は企業の人的・物的組織を規定し、商行為法は企業取引に特有な法律関係を規律する。本講義では、商法総論として、商法の意義とその内容について基礎知識を得た後、商法総則および商行為法の基本的枠組みを考察する。企業実務は変化が著しく、商法典は必ずしもそれについていけていない。そこで、現行法の弾力的柔軟な解釈に留意するとともに、法文には現れていない現代的な企業取引に関する法規整のあり方についても、考えていくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

商法総論に関して一商法の意義、商法の特徴、商法の体系、商法の適用等  
 商法総則に関して一商人、商業使用人、代理商、商号、商業帳簿、商業登記、営業譲渡等  
 商行為法に関して一商事売買、仲立営業、問屋営業、運送取扱営業、運送営業等  
 \*詳細な講義計画は開講時に発表する。

成績評価の方法

後期末試験(70%)の結果に平常点(30%)を加えて成績評価する。  
 試験は論述式とする。平常点のカウントの仕方は、受講者の数をみて決める。

教科書

関口雅夫編著『現代商法I(総則・商行為)』(八千代出版)2,800円+税  
 必要に応じてプリント教材を配布する。なお、六法を毎回必ず持参すること。

参考書等

江頭憲治郎・山下友信編『商法(総則・商行為)判例百選(第4版)』(有斐閣)2,300円+税  
 江頭健治郎『商取引法(第2版)』(弘文堂)3,800円+税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 険 ・ 海 商 法	か せ こう き 加 瀬 幸 喜	法B3・4選	4

講義のねらい

保険法および海商法の基礎的知識を習得することがこの講義の目的です。  
 まず、保険についてですが、私達は、火災、自動車事故、病気といった様々な危険に囲まれて生活しています。これらの危険を減少させることは可能です。しかし、それをまったく除去することは不可能です。ここに、保険の必要性があります。つまり、共通する危険をもつ者達があらかじめ掛け金を拠出して、それを現実に損害を被った者の損害填補に充てるという仕組みです。これが保険制度です。保険制度はこのように有用なものです。他面、これは濫用されるおそれの高いものでもあります。少額の保険料で多額の保険金を取得することが可能であるからです。近年、しばしば新聞などで報道されている保険金殺人事件はこの代表的なものです。この講義では、保険制度のもつこれら2つの側面を法的視点から解明しようと考えております。  
 次に、海商法ですが、海商法は船舶を手段とする海上企業活動に関する法です。船舶というと、時代遅れの交通手段に思われますが、物品の運送については依然として主役の地位にあります。また、海商法は、歴史的にいうとその起源を中世の慣習法に求めることができます。そのため、この法分野には独特の制度がみられます。これらについて、概説する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期および後期の前半を保険法の講義にあて、残りの時間を海商法にあてる予定です。

履修上の留意点

債権法の基礎的知識を習得していることが望ましいです。

成績評価の方法

出席は年間を通じて7~8回とる予定です。これは、成績評価の際に加算事由とします。期末試験は持ち込み不可で行います。

教科書

山野嘉朗・山田泰彦編著『現代保険・海商法30講 第5版』(中央経済社)4,000円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 事 訴 訟 法	間 潤 清 史	法B 3・4選	4

講義のねらい

この講義では、民法など民事実体法についての一応の学習を終えた学生を対象として、民事訴訟手続の概説を行います。ここに民事訴訟手続とは、私人間の権利義務ないし法律関係の存否を巡って生じた紛争の解決を目指し、そのための基準を提示する手続のことをいいます。判決手続だけでなく、和解、調停および仲裁などの訴訟以外の民事紛争解決手続についても講ずる予定です。受講者に民事手続の全体像と民事理論の基本を体得してもらうのがこの講義の目標です。

講義の内容・授業スケジュール

①民事紛争の解決制度、②民事訴訟制度の現代的課題、③訴え、④裁判所、⑤当事者、⑥第三者による訴訟進行、⑦本案と訴訟要件、⑧当事者と裁判所の役割、⑨口頭弁論の諸原則、⑩口頭弁論の準備、⑪証明と証拠、⑫証明責任、⑬当事者の行為による訴訟の終了、⑭終局判決とその効力、⑮複数請求、⑯共同訴訟、⑰訴訟参加、⑱当事者の変動、⑲上訴・再審、⑳簡略な手続

履修上の留意点

履修者は相当の覚悟をもち、かつ必ず予習のうえ出席すること。

成績評価の方法

学年末試験の結果と受講者の提出物の内容に依拠して行います。問題作成および成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮します。

教科書

上原敏夫・池田辰夫・山本和彦 著『民事訴訟法（第3版補訂）』（有斐閣Sシリーズ）2001年および小林秀之編『判例講義民事訴訟法』（悠々社）2001年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 事 執 行 ・ 保 全 法	橋 本 聡	法B・法A 3・4選	4

講義のねらい

民事訴訟などによって確定された債権者の権利を、国家機関である裁判所が強制的に事実上実現するにあたっては、まず、権利の実現を簡易・迅速に行うことが要請されます。しかし、そのために、債権者の人格の尊重や生活の保障が犠牲になってもよいわけではありません。また、債権者の権利を実現する過程では、他の債権者や第三者の利益だけでなく、社会的利益も絡み合ってきます。

この講義では、民事執行法と民事保全法と取り上げますが、前者は、上のような諸利益の調整を行い、かつ、権利を迅速に実現するための仕組みを定めたものであり、後者は、そのような権利の実現を保全するための仕組みを定めたものです。講義では、これらの法律が具体的にはどのような仕組みを予定しているのか、そしてそれがどのような基本原則に基づいて動かされているのか、ということについて理解することを目的にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

第一回目の講義の際にシラバスを配布する予定です。

履修上の留意点

民事訴訟法および民法（特に担保物権）を履修しているか、または併行して履修していることが望ましい。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価を行います。

教科書

山木戸克己『民事執行・保全法講義 [補訂二版]』（有斐閣ブックス1999年）

参考書等

授業の際に、適宜、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	あめみや まさや 雨宮 眞也	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

主として、破産法についての基礎理論と現行法の解釈論を中心に講義する。関連して会社更生法、民事再生法についても講義し、わが国の倒産処理体制の総合的理解が得られるよう講義する。  
法理論は社会現象をリードするとともに、社会現象はまた法理論をリードする。両者の相互関係をふまえつつ、学生諸君の法的思考力の向上に努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の構成に従って、順次講義を進める。

履修上の留意点

破産法は、法律のつぼと云われるように、実体法、手続法、刑事法から構成され、民法、商法、労働法等々を、いかに修正するかという学問でもある。破産法の学習を通して、学生諸君が実体法と手続法を総合して理解する力を養うことを期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績により評価する。

教科書

倒産処理法の分野は、最近めまぐるしい改正が行われ、各種教科書の改定作業が進められているので、開講時に指定する。

参考書等

同様に開講時に指定する。

その他

授業は講義方式となるが、受講生の数によっては、ゼミ方式を取り入れることもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
刑事訴訟法	おぎそ りょう 小木曾 綾	法B3・4選	4

講義のねらい

個人の自由や命は、犯罪による脅威からも国家の不正な権限行使からも守られなければならない。国民が刑事裁判に参加する制度の導入が検討されているが、その前提となるのは、正しい刑事司法制度の理解である。  
犯罪が解明され、その実行者が何らかの「けじめ」をつけることは、犯罪によって損なわれた被害者－社会－加害者の関係修復に必要なことであるが、国の強制権限が用いられる刑事手続では、個人の自由やプライバシー、無辜の不処罰といった自由社会の拠って立つ価値もまた守られなければならない。こうした複合的な目的を実現するために刑事司法制度が用意している仕組みを理解し、その適正な運用について考える。

講義の内容・授業スケジュール

概ね、前期は、①刑事手続の概要、②任意捜査と強制捜査、③逮捕、④捜索・押収、⑤職務質問、所持品検査捜査、⑥新しい捜査方法、⑦被疑者取調べ、⑧被疑者の弁護権、について、後期は、①訴追裁量、②公判構造、③起訴方式と訴因、④証拠開示、⑤排除法則、⑥自白の証拠能力、⑦伝聞法則、⑧無罪推定、⑨二重危険禁止、などを扱う予定である。  
授業は、テキストに沿って進めるが、授業の内容を理解するには、下記に示すレジюмеや、参考書を読まなければならない。

履修上の留意点

毎回のレジюмеをホームページ (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ogiso/>) に掲載し、そこに読むべき参考書のページも指定する。履修者は、これをあらかじめ人手し、六法とテキストを必ず持参して授業に臨んでほしい。予習・復習を怠れば、単位の修得は難しい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験によるが、日常の勉強を促すため、何らかの課題を課すことを考えている。基本的概念の理解、論点の把握・整理、正確な法律用語の使用、文章構成力などが評価基準となる。

教科書

田口・佐藤・白取編『目で見る刑事訴訟法教材』有斐閣

参考書等

田口守一『刑事訴訟法』弘文堂、渥美東洋著『レッスン刑事訴訟法（上）（中）（下）』（中央大学出版部）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふしもと しげる 藤 本 茂	法B 3・4 選	4

#### 講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本の雇用慣行に見直しながされています。現在は、変動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、裁量労働、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限や男女雇用平等、などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進めます。労働組合を中心に扱う労使関係法領域も重要ですが、あまり多くの時間を割くことができません。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことを学ぶことを中心にして、現代的課題に言及しようと思います。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外・休日労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

#### 履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

#### 成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

#### 教科書

ベーシック労働法（浜村彰ほか著・有斐閣）か労働法（浅倉むつ子はか著・有斐閣）のうち1冊は用意してください。ほかにも、関心に応じた選択ができるようにいくつか紹介します。受講者は必ず、1冊は用意してください。

#### 参考書等

第1回目の授業で、プリントをして紹介します。六法に関しては、最新のもの（法律改正があるので特に注意）そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

#### その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 保 障 法	はら た けい ちろう 原 田 啓 一 郎	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。

社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教 科 書

講義開講時に指定する。参考文献については、適宜指示をする。

なお、多方面の法律に言及するため、ポケット六法レベルのものでは不十分であるので、社会保障立法を収録する六法を各自必ず用意すること。

そ の 他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは本科目と平行履修していることが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
金 融 法	かわたえつお 川 田 悦 男	法B・法A 3・4選	4

講義のねらい

わが国の金融界は、金融のグローバル化、自由化という大きな流れのなかで、不良債権問題などバブル後遺症からの早期脱却と、21世紀の生き残りをかけた業務戦略の再構築を図るといふ、相反する重要な経営課題に直面している。

これを利用者の側からみると、現代社会は企業も個人も金融機関と極めて密接な関わりあいをもっており、経済社会はもちろん個人の生活に至るまで銀行取引なしには成り立たないといっても過言ではない。

本講義は、このような認識のもとで、われわれ一般市民として、また将来の企業人・金融人として必要な金融取引に関する法律知識と諸問題について、できるだけ実社会の生きものとして学ぶことを狙いとしており、実学の楽しさも学びとっていただきたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

金融法はまだ新しい科目分野であるが、その対象領域はかなり広く関係する法律も多い。本講義では、これらを主に具体的な取引法の観点から学ぶこととし、制定法の規定が現実にはどのように修正されて実際取引に適用されているのか、また、金融環境の変化がどのような新しい法律問題を生じさせているのかなど生きた学問として学習する。

講義内容は次を予定している。詳しくは初回講義の際に資料配布する。

- I 金融法の特質、わが国の金融制度、金融機関の業務内容
- II 預金取引、為替取引、電子マネー・e取引
- III 手形取引、手形交換と取引停止処分制度
- IV 貸出取引、消費者取引、担保、倒産、相続、差押

成績評価の方法

学年末試験を基本に評価する。

教 科 書

最初の講義のときに話します。

そ の 他

講義形式による。毎回のプリントとサブテキスト配布、一部ビデオ利用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	おかだとしひろ 岡 田 外司博	法B 3・4選	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 私 法	かさ ほん とし ひろ 笠 原 俊 宏	法B3・4選	4

講義のねらい

渉外的要素を有する私法問題の解決を目的とするのが国際私法である。それは、狭義において、準拠法の選定を主たる役割とする。その意味において、国際私法は、民法や商法のように私法問題の直接的な判断基準となる法律とは、規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範などと呼ばれることがある。講義においては、国際私法のような特質を明らかにしつつ、実質法における理念の変化が国際私法にとっても無縁でないことを実証的に論じたいと考えている。時として難解な科目であるといわれることがあるが、最近の身近な問題を具体例として取り上げるなどして、できる限り分かり易いものとなるよう工夫したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容およびスケジュールについては、ほぼ次のように予定している。

1. 国際私法総論（4月、5月、6月）
2. 国際家族法（6月、7月、9月、10月）
3. 国際財産法（11月、12月）
4. 国際民事訴訟法（1月）

履修上の留意点

基礎となる他の科目、就中、家族法について、基礎知識を有することが好ましく、民法についても併せて学習することを期待する。

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって行なう予定である。

教科書

笠原俊宏著『国際家族法要説（新訂版）』（高文堂出版社）を使用する。

参考書等

いずれかの六法を常に携帯することを望む。

その他

授業は普段講義によって進行するが、時折、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環 境 法	まつ むら ゆみ ひこ 松 村 弓 彦	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

環境問題を事実と法律論の両面から理解する。私法からのアプローチを中心とするが、現在我が国が当面している環境法上の重要課題については、公法・国際法の分野の問題を含めて勉強する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書と判例（必要に応じて配布する）を中心とし、概ね以下の項目にわたる。

- (1) 環境法の背景・歴史・理念等
- (2) 環境保全法制
- (3) 環境責任
- (4) 費用負担
- (5) 特殊問題－我が国が当面する諸問題

履修上の留意点

事実を踏まえた法理論の理解を深めること。

成績評価の方法

論文式試験（年1回）および授業中の報告の評価による。

教科書

拙著『環境法』（成文堂）

参考書等

森島昭夫ほか編『公害・環境判例百選（別冊ジュリスト126号）』（有斐閣）2,300円

その他

授業の方法：テーマに応じて講義形式とゼミ形式を併用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
知 的 財 産 権 法	もり おか かず お 盛 岡 一 夫	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

知的財産権法には、狭義の工業所有権法（特許法・実用新案法・意匠法・商標法）の他に著作権法等が含まれる。知的財産権法は、知的所有権法または無体財産権法といわれることもある。知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるように、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：特許法・実用新案法  
後期：意匠法・商標法・著作権法・不正競争防止法

成績評価の方法

前期・後期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。

教科書

盛岡一夫『工業所有権法概説－知的財産権法の基礎知識－〔第4版〕』（法学書院）

参考書等

特許庁編『工業所有権法逐条解説』（発明協会）、中山信弘『工業所有権法上』（弘文堂）  
鴻・紋谷・中山編『特許判例百選』（有斐閣）、斉藤・半田『著作権判例百選』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 政 学	はや み のぼる 速 水 昇	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。その反面、わが国の政府は、平成12年度末で国債の発行残高が約364兆円、地方公共団体の赤字が約187兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約647兆円になる。この数字は12年度わが国のGDP見込みの129.6%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これから高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。

成績評価の方法

試験、授業中の小テスト

教科書

速水昇著 要説『財政学』（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	みなみ やま あつし 南 山 淳	法B・法A3・4選	4

#### 講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国際社会は、戦争による秩序の崩壊と新たな秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバリゼーションの拡大、アメリカ同時多発テロ事件に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。

本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。国際構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題を関連させながら、講義を進めていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題など、現代国際関係の諸問題を取りあげる予定である。

#### 履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

#### 成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験等により評価する。

#### 教科書

進藤榮一 著『現代国際関係学』（有斐閣）  
松岡 完 著『20世紀の国際政治』（同文館）

#### 参考書等

文献リストを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済政策	いい だ やす ゆき 飯 田 泰 之	法B・法A3・4選	4

#### 講義のねらい

経済に関する諸問題についてその政策的な対応のあり方を論じる。複雑な現状を理解し、対応策を探るためにも問題を整理し、論理的に把握することが必要である。経済問題に関してその導きの糸となるものこそが経済理論に他ならない。本講では基本的なミクロ経済学・マクロ経済学の知識を援用し「経済学的に妥当な政策」を論じることを中心的な課題とする。講義全体に必要な基本ツールの学習後、①理論的な枠組みを解説し、②それをを用いて政策的課題を論じ、③現実の事例・データで確認するというプロセスを繰り返すことで講義を進めていく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は経済学の基本思考、図表・データの読み方使い方といった基本ツールを講義した上で、ミクロ・産業レベルの経済政策課題を中心に学習する。具体的には「貿易」「課税」「公共投資」「環境問題」「産業政策・産業規制」「不況の長期化」などを取り扱う。後期はマクロレベルの経済政策課題の学習と現在の日本経済に対する様々な政策提案の検討を行う。具体的には「財政政策の根拠」「金融政策の手法」「失業問題」「不良債権処理」「需要創出型構造改革」「インフレーションターゲット」などが中心になるだろう。

#### 履修上の留意点

出席は問わないかわりに講義中の私語等には厳しく対応する。

#### 成績評価の方法

2回のレポート提出と後期試験。再試験は行わない。

#### 教科書

指定しない

#### 参考書等

ミクロ経済学・マクロ経済学に関する基本的なテキストを持っていると便利である。その他の参考文献に関しては講義の中で紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 学 総 論	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	法B 3・4 選	4

#### 講義のねらい

会計とは、特定の経済主体が営む経済活動およびこれに関連する経済的事象を、主として貨幣額で測定・記録・伝達する行為である。また、これらの行為を通じて得られる各種の情報を会計情報という。この会計情報の中心的存在が貸借対照表や損益計算書などの財務諸表である。会計学の主たる研究領域としての企業会計は、企業が作成する会計情報の提供先の相違により、財務会計と管理会計とに分類されるが、とりわけ財務会計は、財務諸表の作成および公開をその主要な課題とする。公認会計士による会計監査も財務会計の領域に属する。

本講義は、会計学の初学者を対象として、会計学の概要を理解し、財務会計論や会計監査論を学習する上での基本的な知識を習得することを目的としている。このためには、財務諸表の作成・公開についての制度面・理論面からの理解のみならず、これと表裏一体をなす財務諸表作成のための技術的な側面、すなわち簿記の基礎についての理解も不可欠である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

財務諸表の作成から公開に至る一連の過程を概括的に理解できるよう、会計の制度面、理論面および技術面における基本的事項について解説を行う。

具体的には、わが国の企業会計制度、簿記の基礎、財務諸表の仕組み・内容、財務諸表の公開、監査制度の順で講義する。スケジュールとしては、簿記の基礎（日本商工会議所簿記検定試験3級程度）までを前半、それ以降を後半とする予定である。

#### 成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

#### 教 科 書

新井清光著、加古宜士補訂『現代会計学』（中央経済社）2,500円  
加古宜士、渡部裕巨編著『新検定簿記講義3級商業簿記』（中央経済社）680円

#### 参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 学 総 論	いわ なみ ふみ たか 岩 波 文 孝	法 B 3・4 選	4

#### 講義のねらい

21世紀の企業経営は、グローバル化とIT革新の進展という急激な経営環境の変化に対応することが求められています。また、長期化した不況など実感を持って企業経営のあり方を学ぶ機会でもあるといえます。

経済学部には、現代企業の経営に関連する科目が多く開講されています。とくに経営学史、経営管理論、労務管理論、経営戦略論、財務官理論、マーケティングなどは、現代企業の構造と機能、あるいは企業経営に関連する諸問題の系統的・体系的理解には不可欠な科目です。経営学総論では、経済学部において経営学関連科目を学ぶことの意義について講義します。

本講義では、企業経営を理解するための基礎的な知識の獲得を目的とします。はじめて経営学を学ぶ学生に向けて、企業経営の仕組みについて身近な例を取り上げながら、授業を進めていきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 現代の企業社会と経営学を学ぶ目的
- 3 現代企業とマネジメント
- 4 企業形態の展開
- 5 企業経営と経営組織
- 6 経営システムと情報システム
- 7 トップ・マネジメントの組織と機能
- 8 組織・管理の諸理論
- 9 企業経営と情報化・グローバル化の進展
- 10 環境保全と企業経営
- 11 非営利組織のマネジメント
- 12 企業経営をめぐる諸課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。また、授業はテキストおよび配布レジュメにより進めます。

#### 履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

#### 成績評価の方法

レポートおよび学年末の定期試験により総合的に評価します。

#### 教 科 書

前期 渡辺峻『やさしく学ぶ経営学入門』（八千代出版）2000年。  
後期 仲田正機・夏目啓二編著『企業経営変革の世紀』（同文館）2002年。

#### 参 考 書 等

随時レジュメ等配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 論	すずき かつひろ 鈴 木 勝 浩	法B3・4選	4

講義のねらい

簿記は、企業の経済活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理に基づいて記録・計算する方法である。現在企業ではコンピュータによる会計処理が主流となっているが、その基本には複式簿記の原理があり、マニュアル方式による簿記と何の変わりもない。また簿記は会計関連科目を学ぶ上で基礎的前提となるものであるため、初めて会計を学ぶ学生を考慮に入れ、複式簿記の原理をわかりやすく解説を行っていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講義では、まず簿記の歴史と複式簿記の原理を解説した後、日商簿記検定3級程度の知識を得るべく、簿記一巡の手続きに従い、記帳演習を取り入れながら個別事項を学習していく。また現在の実務状況を勘案し、コンピュータ環境下における簿記会計の在り方についても触れていきたい。

履修上の留意点

簿記はその性格上、知識の積み重ねが必要であるためなるべく欠席しないこと。また簿記は一定のルールさえ習得してしまえばその後の理解は容易である。したがって講義のスタートを大事にしたいと考えており、学生諸君もそのつもりでいて欲しい。

成績評価の方法

出席率及び定期試験の総合評価で行う。  
再試験は実施する。

教 科 書

新井清光『入門簿記』（中央経済社）

参 考 書 等

『要点整理 日商簿記検定練習問題集3級』（一橋出版）

そ の 他

講義の際には、電卓を持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 憲 法 演 習	なか の たつ ひさ 中 野 辰 久	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

本演習の特徴は、弁護士が担当すること、司法試験等の国家試験受験を前提にしていることの二点にあります。

その特徴を踏まえ、本演習は、学部の講義あるいは基礎憲法演習を受講したことを前提に、司法試験等の国家試験に必要と考えられる憲法の諸論点の理解並びに法解釈における応用力を身につけることを目的にします。

講義の内容・授業スケジュール

基本的人権論を中心に取り上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。検討テーマの一例をあげると次のとおりです。

- 1 基本的人権総論
- 2 基本的人権の限界（公共の福祉論）
- 3 精神的自由権を規制する立法の合憲性審査基準
- 4 経済的自由権を規制する立法の合憲性審査基準
- 5 社会権を巡る問題
- 6 法の下の平等 等

履修上の留意点

演習（ゼミ）形式ですから、出席が必須と考えます。  
また、司法試験等の国家試験受験の観点からすると、少なくとも復習は必要と考えます。

成績評価の方法

ゼミ形式で実施しますから、出席とレポートで評価する予定です（変更の可能性あり）。

教 科 書

芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法第三版』（岩波書店）  
芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ（第4版）』（有斐閣）

参 考 書 等

演習の都度、レジュメを配布する予定です。

そ の 他

司法試験等の国家試験への対処についても適宜お話ししていきたいと思ひます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 民 法 演 習	つるい しゆんさち うのの まさよし 鶴井 俊吉・上野 雅祥 こばやし さとみ ほしむら 小林 覚・濱中 善彦	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

本演習の特徴は、①法科大学院（ロー・スクール）への準備段階として、専門領域について精通している経験豊かな弁護士を中心に、模擬授業を共同で行うこと（共同で演習を担当するのは、前年度に続き2回目である）。②法曹家になるための前提としての大学院試験（ロー・スクール）等を念頭に入れている演習であること、の2点である。

講義の内容・授業スケジュール

演習内容は、三名の弁護士と相談して決定するが、基礎民法演習で学んできたことを前提として、ケース・スタディーなど実践的な内容の比重が大きくなると思われる。具体的事案の解決にあたって、今まで学んできた民法の基本原則をどのように活用し、法律構成して妥当な結論に導くかという、理論的思考を重視した演習になる。そのために、積極的に討論に参加できるように希望する。

検討するテーマは、受講者決定後にプリントを配布する予定です。

履修上の留意点

受講者が多数の場合は、最初の演習の時間に選択を行う予定です。全員が成績証明書を持参して下さい。

成績評価の方法

出席状況と平常点で総合評価する。

参 考 書 等

演習の都度、適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 刑 法 演 習	木 村 美 隆 <small>きむら よし たか</small>	法B・法A 3・4選	4

講義のねらい

実定法上のひとつである刑法は、現実の社会への適用を前提に存在している。そうであれば、その適用の現実を知ることは、刑法の学習上不可欠でもあることは言うまでもないし、ひいては大学での学習と実社会との接点を知ることにもなる。またこれを検討することによって、これまで学んできた知識の正確さが問われるとともに、さらには新たな興味が喚起されることともなって、より高いレベルへの学習の契機となるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

このような視点から、基礎刑法演習等で充分時間をとって紹介することのできなかった刑法の重要判例を、総論、各論の分野にとらわれずとりあげ、これを素材に社会に生起する現実の事件に対する刑法の適用の姿を知ることとしたい。

履修上の留意点

この講義を有意義なものとするためには、受講者は、単に判例を知識として集積しようというだけでなく、常にこれを批判的に検討しようとする姿勢が大切である。

成績評価の方法

講義で取り上げた判例のうち、任意のものをテーマにレポートを提出してもらい、成績を評価することとしたい。

参 考 書 等

教科書、参考書としては、開講の際、受講者が入手しやすい学生向けの判例集を紹介するが、できれば、各判例の原典に当たってみることをお勧めしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 企 業 論 (前 期)	代 田 純 <small>しろ た じゆん</small>	法B 3・4選	2

講義のねらい

野村證券株式会社の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとし、野村証券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回で講義される。講義では、証券市場に密接に関連する経済情報の捉え方からスタートし、株式や、債券、投資信託などの基礎を解説した後、試算運用とライフプランニング、資本市場と投資家心理などの実践的課題に接近し、最後にはベンチャービジネスにも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報の捉え方
- 3 経済成長と金融資本市場について
- 4 証券投資のリスク・リターンについて
- 5 株式市場の役割と投資の基礎知識について
- 6 債権市場の役割と投資の基礎知識について
- 7 投資信託の役割とその仕組みについて
- 8 ポートフォリオ・マネジメントについて
- 9 市場のグローバル化と証券投資について
- 10 試算運用とライフプランニング
- 11 資本市場における投資家心理について
- 12 個人投資家と証券ビジネスについて
- 13 ベンチャービジネスとIPOについて

履修上の留意点

遅刻、途中退室は認めない。

成績評価の方法

定期試験による。再試験はない。

教 科 書

毎回、講義資料が配布される。指定参考書として、代田純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2002年を使用する。

科目名			担当者名	配当学科	単 位
演	習	I	あおのひろゆきの 青野博之	法B3選	4
演	習	II		法B4選	

講義のねらい

民法上の問題を自分で見つけ出し、相手も納得できるような解決を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

民法上のさまざまな問題の中から、ゼミ生が報告したいテーマを自分で探し出してくる。このテーマがゼミの内容になる。たとえば、授業を聞いていたときに疑問に思ったこと、新聞を読んでいて他の人がどのように思うか聞いてみたくなったことなどであるが、民法上の問題であれば、なんでもよい。

履修上の留意点

ゼミ生が報告したいテーマを自分で探し出し、報告し、全員で質疑応答してほしい。ゼミ生が主役である。主役たちの活発な討論を期待する。ゼミ生の意欲と関心でゼミが進んでいく。そんなゼミになることを希望する。出席して、しっかり発言する、これが大切である。毎回、担当者が作成し、少なくとも1週間前に配布されたレジュメ（要旨）にそって討論する。レジュメは、予習のため必要であるから、必ず準備するように。1回でテーマが終わってもよいし、2回以上続いてもよい。

成績評価の方法

出席して、しっかり発言をしたか、担当者として十分な準備をしたかなど総合して判断する。ゼミは、発言することがポイントである。そのことを基準として、成績を評価する。

そ の 他

発言しているうちに、聞く方も発言したくなるような、そんな発言をする学生に参加してほしい。そうすると、ゼミ生全員の民法理解も進むであろう。

科目名			担当者名	配当学科	単 位
演	習	I	おおみやたかしの 大宮隆	法B3選	4
演	習	II		法B4選	

講義のねらい

家族法の研究上、知っておいてほしいと思われる裁判例をとりあげる。

履修上の留意点

予習が必要である。

成績評価の方法

年間を通して、総合的に評価する。

教 科 書

泉久雄他編『家族法基本判例32選』（信山社）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おぎそ 綾 りよう	法B 3選	4
演 習 II		法B 4選	

講義のねらい

日本の刑事手続きに多大な影響を与えているアメリカ合衆国の刑事手続きに関する著書を原文で読み進みながら、日本の運用と比較しつつ、刑事司法のあるべき姿を考える。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカのみならず、世界中が注目したO.J. シンプソン事件を担当した著者の『Reasonable Doubt (合理的疑い)』と題する本を各自に訳してもらいながら、刑事裁判における真実、手続的公正さ、陪審などについて議論する。年度末に、テキストの要約程度のレポート提出を求める。

履修上の留意点

英語の原著を読むので、毎週出席のうえ、相当量の予習（日本語訳）をする覚悟のある学生の参加を求める。単年度ごとの開講である点に注意すること。

成績評価の方法

平常点によるが、年度末のレポート提出を義務付ける。

そ の 他

開講時にコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	かね こ しょう へい 金子昇平	法B 3選	4
演 習 II		法B 4選	

講義のねらい

本演習においては、行政上の諸制度、行政法規の仕組および複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代のあるべき行政法理論について理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生の関心のあるテーマについて、判例研究および、学術論文の書評を行い、参加者全員と共に、議論をつくしたいと思っている。演習の内容については、例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題、高齢者の問題、福祉の問題等である。

年二回、七月、二月にゼミ合宿を行い、研究の成果を発表し、討論を行う。

年二回、公的施設の見学会を行う。

履修上の留意点

ゼミ生は、あらかじめ該当する判例、法令等を読みこなして欲しい。六法を持参すること。判例、論文、法律を知ることだけではなく、現実の社会の実態についても、調査し、国・地方公共団体に出向いて、担当者と面会し、取材してもらいたい。

成績評価の方法

出席（ゼミ、見学会、合宿等）により評価する。

教 科 書

適宜指示する。

そ の 他

発表者は、レジュメを作成し、論点および、自分の意見を発表する。全員が、議論に参加出来ることを望む。

科目名			担当者名		配当学科	単位
演	習	I	にし 西	おまむ 修	法B 3選	4
演	習	II			法B 4選	

#### 講義のねらい

私は、演習をつぎのように位置づけたいと考えます。すなわち、マスプロ教育に陥りがちな一方通行を補うべく、双方向性を大切にし、履修生と教師、履修生同士のディスカッションを多用して、みずからを磨きあげる場であると。そしてそれは、たんに勉強ばかりでなく、合宿などを通じて、心のふれあいのなかから、あらたな自分を見つけだす場でもあると。こんな場にするために、私はつぎのような方針でのぞみたいと思っています。

- (1) ゼミのモットーは「出会い、学び合い、そして人間愛」です。
- (2) とくに少人数の場合、日々のふれあいが大切なので、毎回、出席すること。
- (3) ディスカッションには、積極的に参加し、かならず発言すること。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前記と後期に分け、前期は1、2冊の本を精読し、それについてディスカッションをします。共通に読む本として、拙著『日本国憲法を考える』（文春新書）1999年、『日本国憲法はこうして作られた』（中公文庫）2000年などを予定しています。またディスカッションの内容としては、①日本国憲法の成立過程とその法的問題点、②憲法第9条をめぐる諸問題、③世界の憲法トレンド、④人権の現代的意味などを考えています。その他、年2回の合宿を行います。従来の例では、レジャーとしてテニス、スキーをとりいれています。本演習のキャッチ・フレーズは「出会い、学び合い、そして人間愛」。明るく、アット・ホームな感じが特色のゼミであるといわれています。

科目名			担当者名		配当学科	単位
演	習	I	ま 間	が ち き よ し 史	法B 3選	4
演	習	II			法B 4選	

#### 講義のねらい

この演習は、参加者が民事訴訟法の講義で習得した基礎的知識の幅を広げ且つその理解度をより一層深めることを目的とします。民事訴訟理論の緻密さとダイナミックさとを体得してもらいたいと考えています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

民事訴訟法に関する重要判例の中から毎回1～2を選んで、報告書による報告と参加者全員での討論を行うことを予定しています。

#### 履修上の留意点

演習参加者には、毎回予習のうえ出席すること、及び主体的に演習に参加し、且つ積極的に発言することを希望します。

#### 成績評価の方法

演習参加度（出席態度、報告内容、発言の有無・内容等）に依拠して行います。

#### 教科書

『判例講義 民事訴訟法』（悠々社）3,500円 2001年

#### 参考書等

『民事訴訟法の争点〔第3版〕』（有斐閣）2,476円 1998年



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	やまぐちくに お夫 山 口 邦 夫	法 B 3 選	4
演 習 II		法 B 4 選	

#### 講義のねらい

今までに、少なくとも刑法総論を履修済みの学生を、できれば刑法各論も履修または今後履修するものを中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考える。  
 第Ⅰ期(4・5月) 総論の中心、罪刑の法定と犯罪不成立の事由について。  
 第Ⅱ期(6・7月) 刑事責任と少年事件におけるいわゆる保護処分について。  
 第Ⅲ期(9・10月) 個人法益のうち、生命・身体に対する侵害罪と財産罪の諸問題を中心に。  
 第Ⅳ期(11月・12月) 社会法益のうち、特に性犯罪の問題とセクハラとの関連など。

#### 履修上の留意点

毎時間、出席し討論に積極的に参加できる態度が望ましいだけでなく、年4回ぐらい発表が義務づけられているので、発表する能力も必要である。

#### 成績評価の方法

演習の成績評価は、講義科目と異なり試験はない。毎回の発表の際のレジメの作成及びその発表内容、さらに他の人の発表に対して討論する時の発言内容及び討論の仕方など、総合して評価する。したがって、一年間、出席すれば、単位取得については問題はない。

#### 教科書

判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものと、判例を解説した書物が参考になるが、毎時間、資料については注意をするので、あらかじめ指定する書物はない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	やま た やす ひこ 山 田 泰 彦	法 B 3 選	4
演 習 II		法 B 4 選	

#### 講義のねらい

株式会社法の基本的な内容理解を中心に、現代の経済社会において必要不可欠の組織となっている株式会社を法的側面から、研究する。前期に会社法総論を見て、株式会社の特質を確実に理解した後、引き続き取締役の義務・責任を検討し、後期は新株発行等に入る予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ゼミであるから、上述の基本的な予定に沿って、小テーマを選び、これを各ゼミ生に順次レポーターになってもらい、その報告をたたき台として、全員で討論する。小テーマは、株式会社法の各種制度・原則から、これらに関連する判例研究を取りまぜつつ、私の方で予め提示し、ゼミ生に割り振ることにする。

#### 成績評価の方法

成績評価は、レポーターとしてのレジメ作成内容、報告内容、発言等を総合して行なう。出席は、必ずとる。理由のない欠席、遅刻に対しては、厳しく対応する。

#### 教科書

教材として、『会社法判例百選(第6版)』(有斐閣)1,800円を指定する。この他、必ず、会社法についての概説書は購入しておくこと。

#### その他

このゼミでは、会社法を2年時に履修し、相当程度の知識と理解を有する学生であることが前提である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	はやし 林  こう 幸  じ 司	法B 4選	4

#### 講義のねらい

- 1：民法の中でも、特にゼミ生が興味をもてるテーマを選択し、じっくり時間をかけて理解を深めてもらうこと
- 2：「具体的な事例問題や判例を素材に『討論』すること」の重要性を修得してもらうこと
- 3：討論において、ゼミ生自身納得のいく結論(見解)が出せるよう努力してもらうとともに、それを根拠づける「法的理論構成」の重要性を理解してもらうこと

#### 講義の内容・授業スケジュール

民法全領域(家族法も含む)の中から、ゼミ生の希望により、いわゆる「争点」となっているテーマを選択するが、できるだけ体系的な視点から「つながり」のあるテーマ設定を行っていきたいと考えている。

#### 〈方法〉

- 1：具体的な「事例問題」及び「判例」を素材とすること  
私が個人的に作成した事例問題、及び適当と思われる具体的な判決例を提示し、それを素材として討論を行う。
- 2：様々な討論の方式を試みること  
討論といっても、その方式・方法は様々である。①各分担につき報告者を決め、レジュメを作成してもらって、その進行の過程で討論を進めるという通常の方法もあれば、②模擬裁判の方式をとり、裁判官・原告・被告の立場に分かれて弁論をシミュレートしてもらい、その後、それぞれの立場を越えて討論を戦わせるという方法もある。本演習では、受講生諸君が興味を掻き立てられる討論の方式を試みて行きたいと考えている。
- 3：各テーマにつき全員が担当者となること  
どのような討論方式を採ったとしても、あるテーマでは報告者だが、別のテーマでは「お客さん」という者が出てくると、どうしても「活気ある討論」の実現は難しくなる。全員が同じ資格で討論に参加できるようにするという意味で、各テーマでゼミ生全員が担当者となってもらうよう配慮するつもりである。
- 4：常にゼミ生全員の発言が義務づけられること  
当然のことであるが、毎回、ゼミ生全員からの発言が望まれる。「沈黙は『禁』」である。

#### 履修上の留意点

思いっきり討論できる人間関係をつくるということは、実は大変に難しいことである。ゼミ生の関係がギスギスしていて皆バラバラというのでは、討論はケンカの種になるか、又はそれを恐れるあまりに沈黙が永続する、ということになりかねない。それぞれ異なる意見・対立する見解かもしれないが、互いに協力して討論を成功させるという姿勢で臨んでほしいし、そのための親睦交流も配慮するつもりである。

15年度新規募集はしない。

#### 成績評価の方法

①いつも積極的に討論に参加しているか、②自分自身の見解を提示できたか、③その際、法的な理論構成はなされているか、などが評価対象となる。結論や理論構成が私と違っているかどうかなどは全く問題とならない。評価の対象外である。自分自身で納得できる見解を発言してほしいし、それによって、自分に『自信』をもってもらいたいからである。

# Ⅲ 他学部履修科目



### Ⅲ. 他学部履修科目

商社	学	総論	〈大吹勝男〉	.....	633					
会	会	思想	史〈休講〉							
国	際	経済	論〈徳永俊明〉	.....	634					
社	会	政	策〈休講〉							
価	格	理	論〈荒木勝啓〉	.....	635					
国	民	所得	論〈休講〉							
銀	行	業	論〈休講〉							
中	小	企	業論〈吉田敬一〉	.....	636					
中	国	経	済論〈小杉修二〉	.....	637					
人	ア	メ	リ	カ	経	済	論	〈森岡仁〉	.....	638
ア	メ	リ	カ	経	済	論	〈瀬戸岡紘〉	.....	639	
貿	易	監	査	論	〈休講〉					
会	計	監	査	論	〈石川祐二〉	.....	641			
管	理	会	計	論	〈河見誠〉	.....	642			
法	思	想	史	論	〈雨宮眞也〉	.....	643			
倒	産	処	理	法	論	〈宮城徹〉	.....	644		
ア	メ	リ	カ	経	営	学	論	〈高田光明〉	.....	645
経	営	財	務	論	〈日野健太〉	.....	646			
経	営	組	織	論	〈園田哲男〉	.....	647			
公	益	企	業	論	〈園田哲男〉	.....	647			
管	理	会	計	論	〈猿山義広〉	.....	647			
会	計	監	査	論	〈阿部一人〉	.....	648			
日	本	経	済	論	〈休講〉					



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おお ぶき かつ お 大 吹 勝 男	法 A・法 B	4

#### 講義のねらい

近年、経済学部にもヤンキーだか、モンキーだかわからない、以前の駒大生にはみかけなかった入学者が出現している（風体ではなく、受講態度）が、本学もまた大学であるかぎり、真理を探究する学問の場でなければならない。したがって、まず講義の妨害となる集団的私語をするような入学者諸君の受講は遠慮願いたい。

さて、講義の内容であるが、本講義も、現代の風潮にしたがい、企業はいかにすればより多くの利潤・利益を取得・実現することができるか、その方法を探ることを課題とする。すなわち、いかにしてサラリーマンおよび労働者を搾取（この言葉がわかるかな）するか、経営者の立場からその方法を考えるということである。これは、裏を返せば、経営者になることのないほとんどの諸君からみれば、いかに自分が搾取されているかを学ぶことになる。さらに現代風にいえば、なにゆえにこれほどまでに多くの若くて将来のあるサラリーマンが過労死や過労自殺に追込まれるのか等々を考えるてだてにもなる。以上のような問題を意識しつつ授業では流通論を講義するものであり、その内容からして流通経済論といいかえてもよいとおもう。諸君は、流通理論の習得に努めるとともに単なる知識ではなく、将来社会にでても使い捨てのサラリーマンになることのないように、それらを学ぶ過程において、論理的に思考する能力を身につけてもらいたい。そして、単なる入学者ではなく、大学の学生となって卒業してもらいたい。そのためには、一年間を通して授業に出席することが必要である。また、本講義は、諸君が履修するであろうマーケティングおよび商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するであろう。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容は、下記の項目にしたがってすすめるが、本年度は現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論に重点をおいて講義する。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通費用）
- (4) 商業資本論（電子商取引、e コマース）
- (5) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）

#### 成績評価の方法

評価は、期末試験によるが、講義の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また、各講義項目が終る毎に、小テストを実施し、諸君の理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とする。再試験は実施する。

#### 教 科 書

1. 大吹勝男著『流通費用の基礎理論』（梓出版社、4月刊行予定）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 済 論	徳 永 俊 明 <small>とくながとしあき</small>	法A・法B	4

#### 講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言っても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすのです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ (予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民主義と世界経済  
貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

#### 成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(3回予定)および学年末レポートで評価します。(レポート評価のため追・再試験は行いません。)

#### 参 考 書 等

講義の中で適宜紹介します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価 格 理 論	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	法A・政治・法B	4

#### 講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することでもある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのである。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといてもよい。従って講義のかかなりの部分がそのために準備と練習にあてられると思っただきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、偏微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 消費曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノ・ナッシュ均衡
- (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

#### 成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験実施。

#### 教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	法A・政治・法B	4

#### 講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業者は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかった、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を支えてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。

そこで本講義では、戦後日本の経済発展において、自動車工業を事例として中小企業が果たしてきた重要な役割を明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題

#### 履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしているので(例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など)、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

#### 成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再・追試験も実施します。

#### 教 科 書

本講義では教科書は使用しません。

#### 参 考 書 等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）  
 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）  
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）  
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）  
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 経 済 論	こ 小 すぎ 杉 しゅう 修 じ 二	法 A・法 B	4

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」(1949-57)、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」(1958-78)について学ぶ。

ソ連モデル期に中国は途上国の特徴＝機械の生産能力の欠如を克服し、国民生活を改善した。毛沢東モデル期に兵器の一定の自給と核ミサイルの保有に至った。この時期、国民生活は改善されず、臨戦体勢づくりのため経済効率は低下し行きづまった。

後期はこの状況を打開した「鄧小平モデル」(1978-)を学ぶ。独自の超大国志向は維持しながらも平和共存政策への転換の下、開放政策による外資の呼びこみ、沿海部重点開発、軽工業優先開発、「独立した工業体系」づくりからの脱却、生産請負等の農業改革、市場経済への移行によって高度成長を達成、また、国民生活を改善し、「世界の生産現場」になった。後期には中国のかかっていた社会主義、「中国脅威論」等の問題をも考えてみたい。

履修上の留意点

言うまでもないが、私語、飲食、携帯電話は禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済建設』(龍溪書舎) 4000円

参考書等

平田幹郎『中国データブック 2000-2001』(古今書院) 3800円

その他

授業方法 講義＋ビデオ映像の活用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 論	もり おか じん 森 岡 仁	法A・政治・法B	4

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというのではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況  
再試験を実施する。

教 科 書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参 考 書 等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年  
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

そ の 他

授業の方法：講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	<sup>せとおか</sup> 瀬戸岡 <sup>ひろし</sup> 紘	法A・政治・法B	4

#### 講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の子備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。  
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランテニア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

#### 履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能な限りとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

#### 成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がない限り実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

#### 教 科 書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
貿易論	ふるさわこうぞう 古沢紘造	法A・政治・法B	4

#### 講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるどころまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
  1. 農産物と貿易
  2. 水産物と貿易
  3. 林産物と貿易
  4. 鉱物資源と貿易
  5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
  1. 開発援助と貿易
  2. 環境と貿易
  3. WTOと貿易
  4. グローバリゼーションと貿易
  5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

#### 成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り、授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

#### 教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

#### 参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	いし かわ ゆう じ 石 川 祐 二	法A・政治・法B	4

#### 講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自らの状況を把握し、それに基づいて自らを管理していかなければならない。とりわけ、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的な話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

#### 履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

#### 成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

#### 教 科 書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個人々の成果を反映したテキストとなる。

#### 参 考 書 等

講義において適宜紹介する。

#### そ の 他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 思 想 史	かわみ 見 誠	政治	4

#### 講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀的枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方に関しても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人の生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそういった格闘は、何も2002年現在の私たちが初めて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にふさわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在よって立っている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的人権や民主的統治機構は、基本的には近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代法思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

近代以前：古代ギリシャの法思想（ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス）、  
中世ローマ・キリスト教の法思想（キケロ、アウグスティヌス、トマス・アクィナス）  
近代：自然権・社会契約論（ホッブス、ロック、ルソー）、ドイツ観念論（カント、ヘーゲル）  
近代から現代へ：社会主義法思想（マルクス）、新カント派法哲学（ケルゼン、ラートブルフ）、新しい自然法論（コーイング、カウフマン、フィニス）、現代の法思想状況について

#### 履修上の留意点

レジュメと参考資料を配布し、それらに基づいて授業を進めていく。参考資料については授業中に配布するが、レジュメについてはKOMSY上の河見のURLから、各自、印刷して持ってくること（<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kawami/>）。

#### 成績評価の方法

定期試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課すかもしれない。

#### 教 科 書

特に指定しないが、参考書に挙げた2冊は教科書に準じたものとして、しばしば引用する。

#### 参 考 書 等

田中成明他『法思想史（第2版）』（有斐閣Sシリーズ、1997年）1700円。  
三島淑臣『法思想史（新版）』（青林書院、1993年）5000円  
その他、随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倒 産 処 理 法	あめ みや まさ や 雨 宮 眞 也	政治	4

講義のねらい

主として、破産法についての基礎理論と現行法の解釈論を中心に講義する。関連して会社更生法、民事再生法についても講義し、わが国の倒産処理体制の総合的理解が得られるよう講義する。

法理論は社会現象をリードするとともに、社会現象はまた法理論をリードする。両者の相互関係をふまえつつ、学生諸君の法的思考力の向上に努めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書の構成に従って、順次講義を進める。

履修上の留意点

破産法は、法律のつぼと云われるように、実体法、手続法、刑事法から構成され、民法、商法、労働法等々を、いかに修正するかはの学問でもある。破産法の学習を通して、学生諸君が実体法と手続法を総合して理解する力を養うことを期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績により評価する。

教 科 書

倒産処理法の分野は、最近めまぐるしい改正が行われ、各種教科書の改定作業が進められているので、開講時に指定する。

参 考 書 等

同様に開講時に指定する。

そ の 他

授業は講義方式となるが、受講生の数によっては、ゼミ方式を取り入れることもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 営 学	みやぎ ちか 宮 城 徹	法A・政治・法B	4

#### 講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要日について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要日をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2003年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル・エージェント理論 (2)

#### 成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

#### 参 考 書 等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹『企業制度とプロパティ・ライツ理論』『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹『情報と企業経営の理論的諸問題』日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹『経営者論』鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹『経営学の歴史』藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹『組織の経済理論の基礎構造』日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation, Eine okonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

#### そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 財 務 論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	法A・政治・法B	4

#### 講義のねらい

#### 〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態で通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを旨とする。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

#### 〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達がいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

#### 履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

#### 成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

#### 参 考 書 等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）  
 染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

#### そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営組織論	ひのけんた 日野健太	法A・政治・法B	4

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのため、この講義では、組織論で扱われる基本概念を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。ここでは、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、何回かケースを取り上げる。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるように配慮する。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数は対応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) グループダイナミクス
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織におけるパワーとコンフリクト
- (6) 組織の環境適応
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) イノベーションと組織変革
- (10) まとめ

履修上の留意点

特に、前提となる特別の知識は必要としないが、自分の所属する組織や見聞する組織を思い浮かべながら学習すると理解が深まるであろう。また、授業中質問することがあるが、そんなに難しいことを訊くつもりはないので、大きな声で答えてほしい。

成績評価の方法

学期末2回の定期テストのウエイト80% 小テスト等のウエイト20%  
講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、基本的に成績評価には加味しない。

教科書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

参考書等

高橋・山口・磯山・文『経営組織論の基礎』（中央経済社）  
桑田・田尾『組織論』（有斐閣）

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公益企業論	そのだてつお 園田哲男	法A・政治・法B	4

- 講義のねらい**

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別された意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。
- 講義の内容・授業スケジュール**

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行なう。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。
- 履修上の留意点**

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。
- 成績評価の方法**

成績評価は、単元ごとに小テストやレポートをし、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しい評価を行なうつもりである。
- 教科書**

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行なうつもりである。
- その他**

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	さるやまよしひろ 猿山義広	法A・政治・法B	4

- 講義のねらい**

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思想を学びます。
- 講義の内容・授業スケジュール**

  1. 管理会計の意義と体系
  2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
  3. 意思決定のための原価概念と利益概念
  4. 原価管理会計
  5. 予算統制
  6. 投資意思決定
- 履修上の留意点**

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。
- 成績評価の方法**

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価する。ただし、中心になるのは期末試験の結果である。
- 教科書**

中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会）  
なお、適宜、プリントを配布する。
- 参考書等**

櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）
- その他**

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	あべかずひと 阿部一人	法A・政治・法B	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”  
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

- |                           |                    |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 会計監査の意義と目的 (総論) (1)    | 10. 監査人            |
| ①監査の必要 ②監査の意義             | 11. 監査証憑           |
| ③監査の対象                    | 12. 監査計画           |
| 2. 会計監査の意義と目的 (2)         | 13. 内部統制           |
| ①監査の目的 ②監査思想の変遷           | 14. 試算             |
| ③監査の効用                    | 15. 監査技術と監査手続      |
| 3. 監査の機能                  | 16. 監査調書           |
| 4. 会計上の誤謬と不正              | 17. 監査報告書          |
| 5. 監査の種類                  | 18. 連結財務諸表の監査      |
| 6. 会計監査と財務諸表監査            | 19. 中間財務諸表の監査      |
| 7. 我国の監査制度                | 20. システム監査         |
| ①証券取引法監査 ②商法監査            | 21. 国際監査基準         |
| ③その他の監査制度                 | 22. 現代監査論の動向       |
| 8. 監査基準 (1)               | ①監査概念の拡大化          |
| ①必要性 ②生成と展開               | ②監査保証に程度の差を認める監査概念 |
| 9. 監査基準 (2)               |                    |
| ①意義 ②体系 ③一般基準 ④実施基準 ⑤報告基準 |                    |

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート(夏季)および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

大矢知司『監査論概説』(白桃書房) 3,300円

参考書等

- 田島四郎『最新監査論』(税務経理協会) 2,900円  
高田正淳『最新監査論』(中央経済社) 2,800円  
鳥羽至英『監査基準の基礎』(白桃書房) 3,900円  
三澤一『会計監査の理論』(中央経済社) 2,800円  
山樹忠恕・椋田信男『監査基準精鋭精説』(税務経理協会) 3,500円  
脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』(中央経済社) 3,800円

その他

この科目は、再試験を実施しません。